

# 同盟 時事月報

第二號

三月十四日發行

第八卷

昭和十九年  
二月事項

統帥國政緊密化成る

物品稅等四改正稅法實施

決戰非常措置要綱

米反攻內南洋に迫る

獨機倫敦猛爆開始・亞國政情動搖

☆月間大觀 ☆時事月表  
☆大東亞戰記 ☆時事文獻彙報

213號

# 東京海上火災保險株式會社

本社東京丸の内

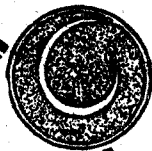
支店 大阪、横濱、京都、福岡、神戸  
出張所 名古屋、廣島、新京、上海

戰爭保險  
戰爭死亡傷害保險

營業種類

海上運送 火災 森林 利益

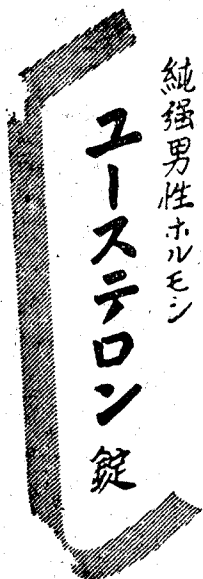
自動車 硝子 盜難 傷害 航空 風水害



貯蓄戰 命生國帝

勝たねばならぬ

内ノ丸・京東



## ユーステロン錠

純強男性ホルモン

疲勞恢復に

活力養成に



植村製藥株式會社  
大阪三軒石各五樓本館

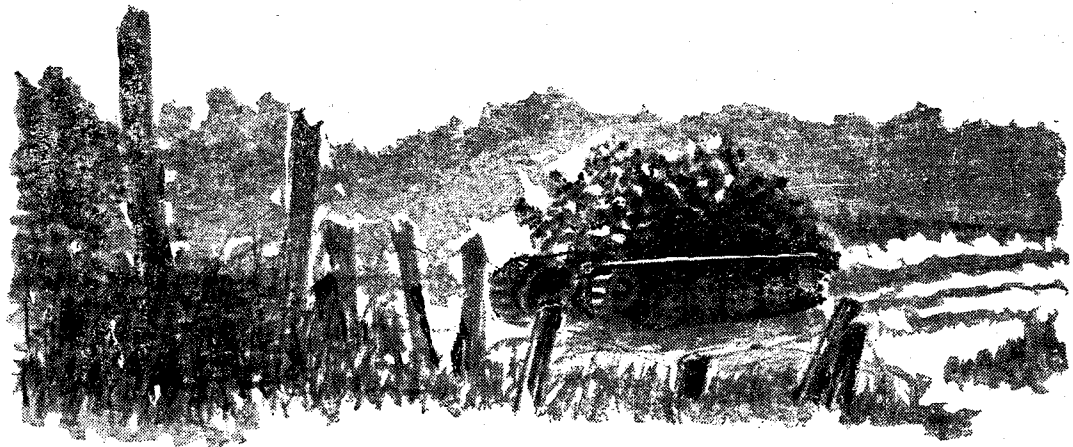


# 阜新炭礦株式會社

資本金 貳億貳千萬圓

滿洲國錦州省阜新市

取締役會長 高 碯 達 之 助  
 事務取締役 丹 羽  
 常務取締役 長 久 美 陽



# 戦はん哉、勝たん哉

觀大事時

敵アメリカの反攻は二月に入つて、いよいよ猛烈となつてきた。わが内南洋マーシャル諸島クエゼリン環礁を侵し、西カリオン諸島の中樞トラック島を衝き、更に深くマリアナ諸島、グアム島を窺ふ。戦局挽回に焦躁するルーズヴェルトが一人力みかへつてゐる觀なしとしないが、この反攻を邀撃してクエゼリン、ルオットに、將又トラックに、我が方も亦貴重な犠牲を捧げたことを深思しなければならない。戦つて勝たざるなき無敵皇軍にしてなほ且つかか、貴重な犠牲を拂はざるを得なかつたところに敵アメリカの反攻努力の並ならぬことを知るのである。

アメリカはこの太平洋反攻と共に頻りに歐洲第二戦線を呼號、更にこれらの武力攻勢と並行して活潑な外交攻勢を展開し世界制覇の野望を臆面もなくさらけ出してゐる。世界を米英の奴隸化から救ふ道は唯一つ、樞軸の勝利あるのみといふ我等の確信はいよいよ深まるばかりである。ここに敢て奴隸化といふ所以のものは、米英が巧言令色を以て足下に跪つかせた南伊の悲惨な狀況をみれば自づと理解がゆくであらう。

この時にあつて我が統帥、國政の緊密化が一段と促進され、決戦非常措置が相次で實行に移されたことは極めて時宜に適した措置といはなければならぬ。しかし、それが獨り國政首腦の努力畫策にのみ委ねべきものでないことは今更斷るまでもないであらう。その努力に協力すべき官民一億の心構に、ささかでも缺けたところがあつては、刻下緊要を要する戦力増強の達成に遺憾なきを保しえないのである。もとより戦力増強といふからには飛行機、船舶或は石炭等重點の指向せらるべきものがあるのは當然であるが、一國の眞の戦力の向上は、國民一人一人の倦まざる戦意と不斷の戦争努力に培はれるのである。勤勞報國、勤儉貯蓄、食糧増産すべて敵米撃滅への協力である。個人の常任座臥一舉一動がすべてわが國運の隆替につながるといつても過言ではない今日如何なる職務であれ——それが一見自己の利害に關りないやうに見えても——渾身の努力を傾けて最善の效力を發揮する様刻苦すべきである。

適者生存といふ言葉は單なる机上の贅言ではないのである。

## 同盟時事月報(三月十四日)目次

- 戦はん哉、勝たん哉(時事大觀)……………一
- ………同盟現地報告……………
- 獨逸經濟戦線をゆく……………五
- ビルマのチーク材……………九
- 月間時事(次頁見よ)……………二
- ☆大東亞戦記……………一〇
- ◇放送・講演・談話……………一六
- 後記……………一六
- 時事文獻彙報……………一六

# 同盟時事月報 (月間時事) 目次

## 世界戦況

### 大東亞戦争

#### 【特報】

- ▲太平洋決戦深刻……………三六
- クエゼリン、ルオントに敵上陸……………〃
- ▲兩指揮官以下六千五百壯烈なる戦死……………〃
- 敵トラツク諸島を窺ふ……………〃
- マリアナ諸島東方海面に敵機動部隊出現……………〃

- 【一般】
- ▲一月中陸軍航空部隊綜合戦果……………〃
- 米軍の死傷十六萬……………〃
- 激軍死傷六萬六千……………〃
- 支那方面……………〃
- ▲支那派遣軍週間戦況……………〃
- ▲北支……………〃
- ▲中支……………〃
- ▲南支……………〃
- ▲空襲……………〃

### 東南アジア

- ▲佛印……………〃
- 在支空軍の暴舉續……………〃
- ▲タイ……………〃
- 敵機バンコックに來襲……………〃
- ▲ビルマ戦線……………〃

- ▲緬支國境……………〃
- ▲アラカン戦線……………〃
- ▲ブチドン正面より攻勢開始……………〃
- ▲敵主力を包圍猛攻中……………〃
- ▲英印軍第七師の大半を殲滅……………〃
- ▲荒鷲作戦日誌……………〃
- ▲ボース最高指揮官聲明……………〃
- ▲敵側も敗戦を認む……………〃

### 印度方面

- ▲チャトラプールを初爆撃……………〃
- ▲海鷲リタコングダ爆撃……………〃
- ▲海鷲カルタダ附近強襲……………〃
- ▲海鷲インド洋に進攻……………〃

### ニューギニア

- ▲敵機來襲益々熾烈……………〃
- ▲敵輸送船團連續爆撃……………〃
- ▲グンビ岬地區激戦續……………〃
- ▲アガツに激動の敵を撃滅……………〃
- ▲マダン奪還を狙ひ敵海上部隊も發動……………〃

### 海上戦線

- ▲兩潜水艦の喪失を發表……………〃
- 【中部太平洋】
- ▲連日各島に執拗なる侵攻……………〃
- ▲南太平洋……………〃
- ▲ニューブリテン島……………〃
- ▲ラバウル侵攻白熱化……………〃
- ▲潜艦ウオッセで大巡撃……………〃
- ▲五百八十機來襲……………〃
- ▲敵の航空侵攻熾烈化……………〃
- ▲グロスター岬、マーカー岬……………〃

## 歐米戦争

### 獨軍公表戦況

- ▲アラウエ島等猛爆……………〃
- ▲海鷲敵輸送船團を攻撃……………〃
- ▲ブーゲンビル島……………〃
- ▲モノ島、トロキナ岬猛爆……………〃
- ▲小型舟艇で魚雷艇を撃沈……………〃
- ▲敵重砲一個中隊を撃退……………〃
- ▲ニューアイルランド島……………〃
- ▲アラフラ海、パングダ海……………〃

### 東部戦線

- ▲フィンランド地區……………〃
- ▲ヘルシンキ連爆……………〃
- ▲北部地區……………〃
- ▲バルト國境で白熱戦……………〃
- ▲プスコフ攻防戦最高潮……………〃
- ▲中部地區……………〃
- ▲舊波國境の戦況……………〃
- ▲ドルーチ河に到達……………〃
- ▲ホルムを撤收……………〃
- ▲南部地區……………〃
- ▲赤軍下河中流で新攻勢……………〃
- ▲ルガ郊外で壯烈な市街戦……………〃
- ▲獨軍チエルクアツイ脱出……………〃
- ▲クリヴオイ・ログ撤收……………〃

### 南部戦線

- 【イタリア戦線】
- ▲反樞軸軍損害……………〃
- ▲南伊地區……………〃
- ▲ネツツノ敗戦に憂慮……………〃
- ▲敵も驚嘆する獨軍の猛戦……………〃
- ▲ネツツノ橋頭堡孤立化……………〃
- ▲空中戦、空爆……………〃
- ▲ローマ盲爆……………〃
- 【バルカン諸國】
- ▲獨軍ベルヅク市占領……………〃
- ▲赤軍も共産匪に合流……………〃

- ▲共産匪掃蕩戦果……………〃
- ▲反樞軸空軍アグラム市盲爆……………〃
- 【西部戦線】
- ▲獨英猛砲撃……………〃
- ▲獨機ロンドン連續猛爆……………〃
- ▲英機ベルリン再度盲爆……………〃
- ▲米英機獨本土爆撃……………〃
- ▲米英機獨占領地爆撃……………〃

### 海上戦線

- ▲獨海軍部隊戦果……………〃
- ▲英國艦艇喪失……………〃
- ▲地中海……………〃
- ▲加、豪華船の喪失を發表……………〃
- ▲獨潜水艦活躍……………〃
- ▲大西洋……………〃
- ▲佛沿岸で獨英海戦……………〃
- ▲ドイツ水雷戦隊の戦果……………〃
- ▲ル・アーヴル沖の海戦……………〃
- ▲北方水域……………〃

## 國內要事

### 政治

#### 【特報】

- ▲國務統帥の緊密化達成……………〃
- ▲統帥部首腦更新……………〃
- ▲首相重大發言……………〃
- ▲爾今宮中に閣議を開催……………〃
- ▲決戦非常措置要綱成……………〃
- ▲先づ四項目實施……………〃

### 政府

- ▲内閣改造斷行……………〃
- ▲官吏功勞表彰令制定……………〃
- ▲内務、農商兩省交流大異動……………〃
- ▲海運行政機構一新……………〃
- ▲外廓團體の整備狀況……………〃
- ▲行政査察……………〃

- ▲臨時司法長官會同……………〃
- ▲全國内政部長會談……………〃
- ▲閣議決定主要事項……………〃
- ▲法律公布……………〃
- ▲主要人事……………〃
- 【外交】
- ▲ア國の我利益代表國はスイス……………〃
- ▲大東亞民族會議召集……………〃
- ▲俘虜待遇逆宣傳の真相……………〃
- ▲滿洲國黃興農部大臣來朝……………〃
- ▲スターマー獨大使南方視察……………〃
- ▲バルガス比島大使着任……………〃
- 【軍事】
- ▲音羽正彦侯クエゼリンに戦死……………〃
- ▲感狀有賞……………〃
- ▲主要人事……………〃
- ▲貴族院……………〃
- ▲衆議院……………〃
- ▲翼賛政治會……………〃
- ▲國民運動一元化折衝……………〃
- ▲大政翼賛會……………〃
- ▲後藤副總裁事務總長事務取扱……………〃
- ▲外地・地方……………〃
- ▲地方……………〃
- ▲東京外十都市の新建築を抑制……………〃
- ▲福岡知事鏡山監督局長兼任……………〃
- ▲政治短信……………〃
- ▲第八十四議會……………〃
- ▲兩院未曾有の快速審議……………〃
- ▲貴族院……………〃
- ▲本會議……………〃

▲算總會  
▲委員會  
▲議院  
▲本會議  
▲委員會  
▲戰策實施概略

決戰策實施概略

▲外交方策  
▲財務施策  
▲經濟施策  
▲鐵鋼  
▲燃料  
▲農業  
▲其他  
▲食糧對策  
▲供出配給  
▲作付統制  
▲水產食糧  
▲其他  
▲運輸對策  
▲勞務施策  
▲厚生施策  
▲其他

一般

▲會社經理統制令改正  
▲財政・金融

▲十七年度國有財產廿一億圓增加  
▲地方財政運営に弾力性  
▲租稅  
▲物品、遊興飲食、入場及特別行爲の四稅施行  
▲朝鮮も四稅増徴實施  
▲貯蓄  
▲十九年度貯蓄目標三百六十億

▲地方別貯蓄增加目標額  
▲預金部資金運用計畫變更  
▲普通銀行店舗整理  
▲支那、泰、佛印在留邦人に戰爭保險實施  
▲工・礦業

一般

▲航空燃料緊急確保策成る  
▲科學技術審議會答申  
▲機械・金屬  
▲機械工業等整備實施要領決定  
▲特別價格増強製造用擴充  
▲ボキサイト法アルミナ買上價格引上  
▲鍛壓機緊急報査措置進捗  
▲電力  
▲家庭用電力更に三割節減  
▲其他  
▲製紙業整備要領決定  
▲農業  
▲米穀買上高三千六百萬石  
▲戰時農業要員指定、農地賣買認可制實施  
▲空閑地を利用雜穀を増産  
▲薪炭確保對策要綱發表  
▲勞務  
▲職業能力申告令改正  
▲工場事業場の勤務査察  
▲配給  
▲衣料切符決戰的に改正  
▲價格形成中央委員會二十二部會指定  
▲物價協力會議、明年度物價決定  
▲運輸交通  
▲三、四月を海上輸送力非常動員期間  
▲荷役機械動員實施要綱決定  
▲會社團體

▲會社  
▲團體  
▲經濟短信  
▲經濟指標  
▲文  
▲化

文 化

▲長慶天皇御陵御治定  
▲宮廷錄事  
▲定期敘勳  
▲出版整備大詰へ  
▲情報局國民演劇選獎決定  
▲國民映畫六作品決る  
▲京都の國寶五三九點疎開  
▲雜誌整備進捗  
▲十九年度第二回國寶指定  
▲全國で十九劇場閉鎖  
▲學術  
▲初の恩賜發明獎勵賞決る  
▲初の技術院賞授賞者發表  
▲恩賜賞、學士院賞授賞者決定  
▲要申告科學技術者範圍等指定  
▲文藝・美術  
▲文士は工場寄宿舎の舍監に  
▲教育  
▲學徒軍事教育強化要綱發表  
▲大學、高專に海軍軍事教育實施  
▲官立專門學校志願者昨年より增加  
▲朝鮮諸學校の戰時非常體制  
▲中等校生に軍教勤務  
▲國民學校令等戰時特例公布  
▲育英會法等三法律三勅令公布  
▲公立大學戰時措置委員會設置要領  
▲厚生  
▲第二回勳勞顯功章授與者發表  
▲應徵士の信賞必罰方針決る  
▲體育  
▲鍊成日誌

▲計  
▲文化短信  
▲國民政府  
▲大東亞

國民政府

▲政治・軍事  
▲舊敵虐移管式  
▲國府行政院會議  
▲清鄉工作全體會議開催  
▲譚杭州市長暗殺さる  
▲淮海省正式發足  
▲軍事  
▲一部軍隊の歸農實施  
▲財政・經濟  
▲娛樂消費特稅を制定  
▲經濟  
▲淮南省備備券交換制限撤廢  
▲農業增產促進委員會設置  
▲農業增產策成る  
▲國府本年度水利開發事業物價連絡會議開催  
▲社會・文化  
▲禁烟運動開始  
▲中國文學協會を設立  
▲香港  
▲重要物授受制限規則撤廢  
▲澳門ドル紙幣發行權總督に附與  
▲華北  
▲政治  
▲日華文化會議開催提唱  
▲山西省で共產黨員處斷  
▲經濟  
▲亞歐橫斷鐵道基礎調査進む  
▲緊急増産實施要綱決定

▲中國短信  
▲滿洲國  
▲宮廷錄事  
▲政治・軍事  
▲全滿省次長會議  
▲協和會全滿省本部副長會議  
▲經濟、交通兩部機構改革  
▲「滿洲假名」決定  
▲軍事  
▲國軍參謀長會議  
▲鐵道警護總隊を改編統合  
▲財政・經濟  
▲十年度公債消化率百%  
▲滿洲國價格等臨時措置法を擴大  
▲社會  
▲緊急農地造成計畫通り進捗  
▲國民手帳實施  
▲電力一元經營  
▲開拓  
▲第二回滿洲國全體會議

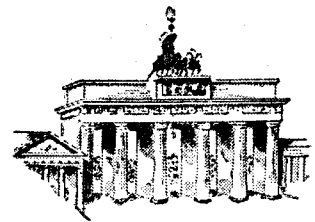
滿洲國

▲重慶政權  
▲政治・軍事  
▲西藏郵政處を接收  
▲重慶政權、成都へ移轉計畫  
▲抗日紙益世報停刊  
▲國共の相和表面化  
▲蔣社會道德の低下を嘆く  
▲對英反感露骨化  
▲軍事  
▲雲南遠征軍司令官代理に衛立煌  
▲スチルウエル重慶軍の統制を蹂躪  
▲軍事機構大改革  
▲經濟  
▲重慶治下の法幣下落

重慶政權

▲政治・軍事  
▲西藏郵政處を接收  
▲重慶政權、成都へ移轉計畫  
▲抗日紙益世報停刊  
▲國共の相和表面化  
▲蔣社會道德の低下を嘆く  
▲對英反感露骨化  
▲軍事  
▲雲南遠征軍司令官代理に衛立煌  
▲スチルウエル重慶軍の統制を蹂躪  
▲軍事機構大改革  
▲經濟  
▲重慶治下の法幣下落





同盟現地報告

ドイツ經濟戰線を行く

ベルリンにて 池上幹徳特派員

消耗戦下再出發の方圖

ドイツの軍需増産の努力についてきくこと
はすでに久しい。シュベア計畫の名で呼ぶこ
との出来るドイツ軍需生産の飛躍的な増進の
ための前提条件を作らうといふ軍需工業の根
本的な立直しは一九四二年の春にはじまつた
が、戦時中に工業生産組織のこのやうな大規
模な切替を行ふのは簡単ではない。

誰かはこれをドイツ軍需生産の敵前大轉進
と形容したが當らずといへども遠からず、敵
前轉進であるが故に生産組織の切換へをしな
がらも一方ではその時々々の軍需生産を減らさ
ぬやうに努めねばならない。すでに一九四一
年の夏頃から次の年に備へて當時の生産組織
を基礎にしてではあるとはいへ、軍需生産の
増進に力癩が入られたのは當然である。

さて物質戰の重大性を十二分に認識しては
じめられた一九四二年春からのドイツ軍需生
産の敵前轉進はその年の東部戦線および北阿
戦線における大攻勢に必要な軍需品を供給し
ながら急速に推しすすめられ一九四二年秋の

候には漸くその緒につくやうになつた。すな
はち一九四二年冬から一九四三年春にかけて
ドイツの軍需生産は敵前轉進の最初の成果と
して開戦以來一九四一年夏ごろまでの比較的
停滯してゐた水準にくらべていちじるしく増
大したことは争へない。一九四二年の秋から
軍需品發注に際しての前拂金交付制が停止さ
れたり家賃税先取實施その他の方法で一時的
乍らも國債の急激な膨脹を防ぐ方法がとられ
たことはその頃から、戦費の異常な膨脹を生
ずる軍需生産の急激な増大がもたらされた事
實を反映するものである。軍需生産の増進の

第一次成果は一九四三年六月シュベア氏の
軍需相就任以來最初の軍需生産成績報告とな
つて現はれた。これはシュベア計畫第一次
報告ともいふべきものであらう。シュベア
氏はこの報告の中で「ドイツの軍需生産は逐
年増加し一九四三年五月にはすべての部門で
記録的水準に達した……總統の要求を達成し
たばかりでなく部分的にはそれをはるかに超
えた……一九四二年春以來今日までにほとん
どすべての兵器、彈薬において、當時の數倍

の生産を行ふやうになつた」とのべ、軍需増
産の前提である原料、資材及勞働力の供給が
確保されてゐる事を詳しく説き、軍需品の増
産成績につき數字をあげて成果を強調した。

戦時生産省の敵前發足

一九四三年六月軍需相シュベア氏が行つ
た報告による軍需生産増加成績はつぎの如き
ものであつた。

- 四一年平均月産
に對する四三年
五月の生産率
一、銃砲彈
イ、全體 六・三〇倍

- 口徑五種
以上の彈
戰車砲彈 一〇倍
ハ、野戰輕榴彈 一・三〇倍
ニ、重砲彈 四・四〇倍
ホ、手榴彈 四・一〇倍
ヘ、地雷 一九倍

- 口徑三・
七種以上
のもの
ロ、機關銃 〇・七倍
ハ、輕野砲 四・四倍
ニ、高射砲 三・一五倍
ホ、對戰車砲 六倍
三、戰車
イ、全體 數倍
ロ、輕戰車 〇・二倍

- 勞力
粗銅 四三%増
銅 七八%増
アルミ 五〇%増
九〇%減

- 資材消費率
同じく勞力
粗銅 一五〇%増
銅 一三三%増
アルミ 五七%増
二%減

ハ、重戰車 一二倍半
(前線への供給高)
四、航空機 數倍
シュベア計畫第二段階へ 一九四三年春を
期してドイツは戰爭遂行上直接かつ絕對に必
要な地域を防衛する方針に轉じた。外廓地域
において今度は逆に地理的な条件を利用して
退避作戰を行ひ、自己戦力の消耗を極度に少
なくするとともに進攻する米英ソを出来るだ
け消耗させることとなつた。一九四三年春か
らは東部戦線では今度はソ聯の第一次春季、
夏季さらに秋季攻勢となり地中海方面では米
英軍のイタリア侵入となつたのである。
ドイツはこのやうに地域を利用して守勢戰
略をとりつつ同時に軍需生産をさらにいぢじ
るしく増加させることに全力を傾注してきた
すでにシュベア計畫の基本である軍需生産
組織の切替へは一九四二年秋ごろからは軌
道にのつたのでそれをさらに徹底して軍需生
産に拍車をかけることが一九四三年春以來の
重要課題になつたのである。一九四三年一月
末に戦時全國民勞働申告令が公布されて國內
人的資源の最終的ともみられる動員が行はれ
たこと、商業・手工業その他戦時非重要工業
の大整理がそれにつづいて斷行されたことは
シュベア計畫が第二次の段階に入つたこと
を物語つてゐる。もちろん人的資源の動員の
蔭には國防軍の兵員需要がさらに増加した事
實の存することを見逃すことは出来ない。
軍需生産のこの第二次の段階は一九四三年
秋まで續いた。この間生産組織の切替へは軍
需工業全般にわたつて徹底されこれにとりま





役、スフ工業界の權威として活躍）技術局長はザウル氏で二人ともケール氏と同様産業界の出身であり、シュペーア氏の片腕である。

さらに戦時生産省には官民代表者から成る軍需諮問委員会が設置されてゐる。委員長はシュペーア氏が国防軍からミルヒ元帥、フロム大將、クイツェル海軍大將、トーマス歩兵大將、レーブ砲兵大將が出てゐるほか、民間工業を代表してビユヘル(A.E.G.)ケスラー(ベルクマン電気會社、元全國工業團體理事長)ブライガー(ヘルマンゲージング工場)ペン

ステン(合同製鋼)レヒリング(レヒリング製鐵)レーネルト(ライン・メタル・ボルシツク社)フエグラール合同製鋼、カイザー・ウイル(ヘルム研究所長)ツァンゲン(マンネスマン鋼管、全國工業團體理事長)の八氏が委員に選ばれてゐる。

シュペーア増産計畫に基く軍需生産組織の切替へにもつとも重要な役割を演じてゐるのは軍需工業の自治統制機關である軍需品生産者中央および特別委員會と軍需資材供給者中央および特別團體である。この兩機關は戦時生産省および國防軍と密接な聯絡をとり、各部分における生産計畫の決定配分にあたる

とともに軍需企業間の技術交換、生産率比較を徹底的にすため軍需生産の合理化あるひはフンク經濟相のいふ生産協同體の確立に劃期的な効果をあげた。シュペーア氏の軍需生産成績報告中で軍需工業の指導的頭腦として代表的に名前をあげた人々はいづれもこれら機關の指導者として自己の屬する企業増産に挺身するとともに自己の屬する企業部門の増産

實現に活躍してゐる人々である。すなはちローランド(戦車生産者中央委員會、ウエルナー(發動機生産者中央委員會)、フライデー(飛行機生産者中央委員會)、ガイレンベルク(銃砲彈生産者中央委員會)、テイクス(銃砲生産者中央委員會)デゲンコルプ(機關車生産者中央委員會)がそれらの人々である、同時に軍需工業の指導的な頭腦として名をあげられた人々をみるとさらにブライガー(ヘルマンゲージング工場、全國石炭聯合會理事)、ヘヒリング(ヘヒリング製鐵會社、全國聯合會理事長)、ボルシエ自動車工業界の權威で、ドイツ國民自動車の設計者、戦車委員會委員長)、ミュラー(クルツの設計部長)などがある。

航空部門の統制機構 なる軍需品の質的發展については技術陣の動員にとめてをり、たとへば戦車についてみれば戦車戦術の權威であるグデリアン大將が實戰の經驗を生かして戦車試験を引受けるとともに、ドイツ國民自動車設計者であるボルシエが戦車委員會の委員長として設計の改良發展に専心シウエルナー(合同自動車會社)を委員長にする發動機生産者中央委員會が生産實行の任に當るといふ工合である。なほ飛行機生産については航空省次官ミルヒ元帥が統轄の重任を負ひ、民間技術陣、生産陣代表を集めた飛行機工業諮問委員會がゲリッングの許に設けられてゐる。民間生産および技術陣を總動員するための軍需品生産者委員會及軍需資材供給者中央團體といふ自治機關組織の先驅をなしたのは

此飛行機工業諮問委員會の下に設けられた關

係生産部門の團體(リング)であつたことをつけ加へておくことも無駄ではなからう。

戦力最高調到達近し

一九四三年秋以來ドイツは所謂熱狂的の軍需増産に邁進してゐる。その成果がけたして何時の日に實を結ぶかはもとより豫斷のかぎりではないが、おそらく一九四四年の春から夏にかけての候がドイツ軍需生産が開戦以來の最高水準に近づく時ではなからうか。それにはもとより増産計畫が意外の發展によつて妨害されないことを必要とする。生命に影響をおよぼす最後の防衛線はどこにひくかはたしかでないがすくなくともブルガリア、ルーマニアを核心とするバルカン一帯、北伊、フランス、ベルギー、オランダ、デンマークからノールエー、フィンランドはこの内廓陣地のうちに入らう。

この内廓陣地のうちに入らう。軍需原料の確保 シュペーア氏は軍需増産報告のなかで必要な原料と勞働力供給は大量の軍需生産を繼續するもつとも重要な前提であるとして、原料の供給についてつぎのやうに述べてゐる。

戦争前からはじめられた四ヶ年計畫の成果にもつときドイツ軍需生産のための基礎が確立されたので原料は需要を十分に満足してゐる。競争になつてからも原料自給のため生産設備が逐年増設され、軍需生産の大擴張を可能にしてゐる。石炭と鐵は戦争開始以來ドイツ軍の占領下に入つた西歐および東歐各地における生産設備の利用で大いに増大した。さらに製鐵工業における生産合

理化により鐵鋼の日産はいちじるしく高められた。軍需工業が緊急に必要とする各種の特殊鋼にあつてはドイツはアメリカとは同様の生産能力をもつてゐるが、一九四二年に生産は顯著な増加をしめた。軍需生産に必要不可欠からざる非鐵金屬についてはドイツ國內および占領地における生産を大いにたかめた。銅、アルミニウム、マグネシウム、クロム、マンガンなどの軍需工業に對する供給は戦争第四年目において十分に確保されてゐる。さらに金屬の消費節約は大いに効果をあげ、合金類および不足勝ちの金屬の消費はいちじるしく縮減された。今後不足勝ちの金屬に對する依存度を少くするために一層の努力が拂はれよう。また占領地域においてこの種の金屬が豊富に存するから、明年(一九四四年)における軍需生産の大増進に必要な金屬の供給は十分に確保されてゐる……

豊富な石炭と褐炭 シュペーア氏の言明にも窺はれるやうにドイツ軍需原料供給上の最大の隘路は依然銅および合金用金屬に存してゐるの明かである。しかし軍需生産の飛躍的な増進にもなつて石炭・鐵・アルミニウムその他ドイツが今日でもなほ豊富に生産してゐるものにあつても消費節約が重要性をましめてきてゐる。それと同時にドイツ占領地およびいはゆる歐大陸内廓陣地内における軍需工業原料資源の確保と生産増進もまたきはめて重要になつてきてゐる。試みに二、三、軍需工業原料についてみるとオーストリアを含む

ドイツの褐炭生産高は一九三八年において約

増大した。さらに製鐵工業における生産合

工業原料についてみるとオーストリアを含む

ドイツの褐炭生産高は一九三八年において約

増大した。さらに製鐵工業における生産合

工業原料についてみるとオーストリアを含む

ドイツの褐炭生産高は一九三八年において約



しかしドイツ國防軍の兵員必要の増加と軍需増産にともなふ勞働力需要の激増はさらに多くの人的資源の動員を要求するやうになつた一九四三年はじめの戦時全國民勞働申告令にはじまるザウケルの人的資源動員の第二次の段階は専らドイツ國內女子勞働力の動員に根幹がおかれた。その結果ドイツ勞務者中にするる女子勞務者の數が急激に増加した。開戦以來時々におこなはれた個々の發表からドイツ國內における官公吏をのぞく勞務者數の發展をしめすと次のやうになる(單位百萬)

總數	男	女	外國(捕虜除く)	男	女
一九三九年春	三・七〇	二・七〇	八・二	?	?
一九四〇年末	三・六三	二・三〇	八・〇	一・四〇	〇・四〇
一九四一年末	三・〇〇	二・三〇	八・九	二・一〇	〇・五
一九四二年春	三・〇	二・三	二・五	二・二	〇・五
一九四三年春	三・〇	二・六	二・五	二・〇	一・五
同 秋	?	?	?	?	?

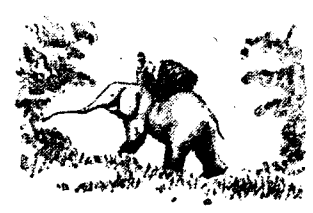
あるかが窺はれよう。外國勞働力のドイツ國內への動員も一九四三年夏以降は飽和點に達した。しかしバドリオ政府の裏切りにもなふイタリア事情の變化にもなつて同國勞働力のドイツへの動員がなほ行なはれ、また東部戦線における退避作戰に際しては農畜産物の移動とともに人的資源のドイツ支配下ににある地域への大移動を行ふなど人的資源の確保にドイツの苦心のほどが窺はれる。

食糧確保の努力 軍需生産とならんで重大な意味をもつ食糧供給はどうであらうか。今日までドイツはこの面では軍需工業もおよぼぬ成果を収めてきた。一九三三年以來のドイツ經濟の再建が戦時においてもつとも効果を發揮したものの一つはその農業政策にあるといつてもよい。もちろんドイツの食糧經濟が戦時において簡單に行はれたといふ譯ではない。働きの大部分を國防軍に出したドイツ農家は、非常な緊張と困苦のうちに食糧増産につとめてゐる。一方消費部門は屢次の食糧配給縮減をしのげねばならなかつた。ことにドイツ食糧供給上の隘路である脂肪と肉についてはドイツ國民は最低必要限度以下の配給に甘んじてゐる。さらにドイツ食糧當局は戦争以來ほとんど毎年わたつたヨーロッパ全體の天候不順とも戦はねばならなかつた。しかもこの困難をよく克服して國防軍に對する十分な食糧供給、自由勞働者に對する追加食糧の配給、一千萬人をこえる外國勞働者に對する食糧供給および北歐諸國の食糧不足補充を行ふのにドイツ食糧當局は成功した。

歐洲農作は稀な順調な天候に恵まれて概して豊作であつた。その上占領地はもちろん同盟各國における農業生産維持が實を結んで自給度がいづれもいちじるしく高まつた。なかんづくウクライナにおけるドイツ食糧關係當局の努力の結果東部戦線の作戰軍に對する食糧現地供給をほぼ達成した事實を高く評價しなければならぬ。一九四三年春以來の東部戦線における退避作戰は食糧上にも貴重な廣大な地域を喪失する結果になつたが一九四三—四四年度收穫については農民および家畜類と共に出來得るかぎり後方に移動させるのに成功したといはれる。したがつて植物性食糧に關する限り一九四四年夏の候までの歐大陸の食糧供給は確保されたといふべきであらう動物性食糧についても飼料の自給度を高めることによつてドイツ國內はもちろん各國とも在家畜飼養數の回復につとめるから現在の供給量を維持出來るとみてよからう。ただウクライナの農作についていふならばドイツ軍の退避作戰の結果その大半が戰場となり、その結果ウクライナの三分の二がドイツの統制外にあつて一九四三年秋の耕作播種が行へなくると假定して一九四四年夏以降の食糧供給に對してはその不足を他の地域で補はなければならぬ。一九三七年におけるウクライナの穀物輸移出は五百三十萬トンであつたといふ。一九四三年の冬から四四年春にかけての歐大陸が天候が前年度と同様順調で、ルーマニアが三百萬トンに近い穀物の過剩をきたすやうであればもちろん一九四四年夏以降も植物性食糧の供給に心配はないであらう。しかし天候がもし悪くともつねに萬全の策を講じて遺憾のなかつたドイツ食糧當局は十分の用意を怠つてゐないであらう。(了)

この木材の王チークの世界最大の産出地はビルマである。チークはこのほかに、印度半島、泰、南米、スマトラなどに分布し、またジャワにはこれの人工造林をみるが、いづれもその産額は少なく、ビルマは戦前統計で毎年四十五萬トン(二百二十五萬石)ほどを

### 緬甸のチーク材



山崎早市 社主シーグンラ

チークは、ビルマ語でチユン(KYUN)といふ落葉の大喬木で、桐のやうな大葉をつけ幹は杉のやうに天へ向つて伸び、樹の肌は楨に似てゐる。これより得るチーク材は大材が多く、その材質は日本の樺に似て、堅牢で白蟻に安全、水や熱に對して曲裂少なく、鐵と接合して錆を生じない。さらにかくも有用な上に加工まで容易であり、俗にキング・オブ・ウッドの稱がある。造船用材としては夙に世界一の名聲を博し、そのほか車輛、建築、橋梁、家具、枕木、兵器等の製作に廣汎な用途をもつてゐる。

一九三九年五月の人口調査にもとづく十五歳乃至五十四歳のドイツ人男子の數は二三、六七七千人、また十五歳乃至四十九歳までのドイツ人女子の數は二二、四二五千人となつてゐる。一九四三年秋頃の官公吏を含むドイツ人勞務者總數は約二千四百萬人、國防軍動員數をかりに一千万人と見積りこれに勞働率の義勇勞働を加へ、さらに婦人の少なからぬ部分が家庭にしばられてゐることを考へ物理的に動員可能とみられるドイツ人男女合計四千六百萬人にくらべドイツの戦時人的資源の動員がいかに最終的段階にまで徹底されて

食糧情勢の好轉 幸ひに一九四三—四四年度

毎年四十五萬トン(二百二十五萬石)ほどを

産出し、その七割を輸出に向け世界チーク市場の七二%を占めてゐた。チークはビルマ林業の大宗で、この産額は、ビルマ林業總額の約半ばに及び、林産はこのチークの故に農産と鑛産につぐビルマの世界的資源となつてゐた。さうして今次戦軍勃發後は、關係者の敢闘努力により作戦開始後早くも半成にして伐採より製材にいたる戦前の一貫作業機構が復舊をみ、現に従來に比肩する生産が行はれ、戦力増強に大きな役割を果してゐる。

### 主要産地とベグー・ヨマ

ビルマにおけるチークは北緯十五、六度より同二十五度に至る間の年降雨量一、二五〇耗乃至三〇、〇〇耗をみる丘陵地に竹、ピンカドウ、エマナ、ミョウチヨウ、イン、カニインその他雑多のジャングルの樹木と混生してゐる。排水の良好な沖積砂土地はこれの成育の好適地であり、ベグー・ヨマやチンドウイン河・サルウイン河流域の低地等は廣大なチーク林で蔽はれてゐる。ところでビルマの山林は内地とは異なり、純林はなくしてすべて甚しい混雑林である。最適地といはれるベグー・ヨマでさへほんの僅かしかチーク樹をみかけぬところがかかり多い。それもその筈でビルマのチーク林は平均十二%のチーク樹を

何れも亭々と天を摩し高さを競ひ合つてゐるベグー・ヨマあたりのチーク樹高は平均十丈といふが、凡ゆる樹木が眞直ぐに碧空をさし枝が長くて枝と葉を高く頭部にかざして陽を受けてゐるチークは二十年にして七丈四十年でほほこの平均に達するといふ、まづ樹高を思ひ切り伸ばし、それから樹幹の肥大に向ふ生長の仕方であるが、かうして樹木の成育に存適な南方密林では陽光を奪ひ合ふ激しい生存競争が行はれるのである。それにこのあたりは日本の臺灣と緯度を等しうする亞熱帯なので、赤道に近い熱帯密林のやうな大羊齒類、蔓莖植物の甚しい繁茂もない。だから密林に這入ると樹幹は馬場の柵のやうに密生し、陽は中間に遮られて樹下は小暗いながら何か開豁な裕りをもつてゐる。チーク林の多いビルマの密林は、北方の高地と南部の沿海地方を除けば何處も一様にこんな感じである。

### 保護を受ける伐採林

戦前チークは政廳の嚴重な保護を受け、庭先ぎにあるものまで登録され、これの伐採はすべて許可制になつてゐた。そして伐採には天然更新の方式がとられ、チークの自然的増殖のみが伐倒の對象となり、普通二十年乃至三十年を一回期とし、百二十年乃至百五十年を輪伐期として、一定寸法以上の巨木が擇伐された。即ち濕潤林では胸高周圍七呎五吋以上の激しい南方密林では、これの害を避けるため樹木は甚しい樹種の混雑を自然に招くといふ。そしてこの密林は日本の杉林のやうな高い整然たる林相をもつ、チークも他の雜木も

は全部更新されるといふ仕組みである。かうした保護は戦争勃發後の現在も殆んどそのまま繼承されてゐる。そして伐採から搬出にはチークの比重が大きいのと、密林の交通が不便なために特異な興味ある方法がとられる。いはゆる巻枯らし(ガードング)と象の使役がこれである。

### 興味ある流送方法

生木のチークは重いので伐採しても流送の便がない。それでチークを伐採するときにはまづその三年前に巻枯らしを行ふ、即ち伐採すべきチーク樹を選ぶと、これの根本より一、二尺の上、なるべく地表に近いところで樹の周圍に傷帯を作り、樹皮およびこれに接する白色の邊材を幅五寸ほど剝くやうに切とるのである。すべて樹木はこの邊材を養分の通路とするため、チークはこれにより立枯れて次第に輕くなり、三年後には比重が〇・六四となり漸く水にも浮び流送が可能となる、そこで初めてこれを伐倒し、先端に角落しを行ひ目途穴をあけて原木とする。原木があまりに長大で曲折する川の流送に不便であるか、またはその延びが整直でないときには、これを二、三の原木に切断する。かうして普通一本のチーク樹から平均二本の眞直ぐな原木が得られ、その長さは短くて三間長きは十間に及ぶ、原木は目途穴に鎖をかけ象に曳かせてまづ附近の溪流に流す。ついでこれがイラワジシッタンの大河に流れ出るのを待ち集めて筏を組み、さらに流送を續けて製材所へ達する

で屢々停滯し、往々河床に數十本、百數十本の大きな堆積を作り上げ静止する。乾季の減水期にはこの堆積の形成が多く、一方にそのとりほし作業が行はれるが、時にこの停滯と静止が幾回も繰り返されて、奥地の溪流から大河へ流れ出るまでに數年を費やすこともある。普通流送が始まつてから製材所へつくまでに、近いところでは一年、遠ければ三年乃至五年の長年月を経るといふ。だから巻枯らしを行つてから製材へつくまでに、少くとも四年多ければ九年を要するわけである。これが何かほかの柔い材質の木であるなら、材は痛んで崩れて了はう、けれどもチークは材質が堅牢で油分に富むため、この長い歲月を河に放浪しながらその質を損せず、少々の陽やけで製材所へ達するのである。そして以上の経路のうち、原木をその伐倒場から最初の溪流へ運ぶまでの作業と河床の停滯や堆積を流れ易いやうにとりほし作業とに象が使用される。前者を斂出しといひ。後者をとりほしといふ。斂出しには時に水牛の牛車を用ひることがある。奥地や坂道は必ず象の強力を必要とし、とりほしもまた巨象の勞役によつてのみ可能である。かうしてビルマチーク材は深い密林と巨象と大河を背景として悠々たる歲月と雄大な機構によつて産出される。ビルマの氣候は雨季と乾季に分れるが、雨季は土が濡れて原木を曳き易く川も増水して勢ひをますので、チーク伐採の作業は七割までこの雨季に行はれ残餘が乾季に行はれる。

ひ百數十年を経る間に、同一地域のチーク樹のである。ところでこの原木は溪流の中途

# 月 間 大 觀

年九十和昭

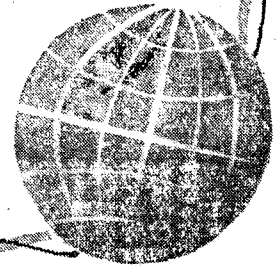
月 二

日 一 自  
日 九 十 二 至

— 録記外内るよに電盟同 —

世 大 國 世 時 月  
界 内 界 事 間  
東 要 戰 月 大  
情 亞 事 況 表 觀

☆



## 月 間 大 觀

### 内 國

東條内閣大改造を  
斷行(十九日)東條  
嶋田兩大將の參謀總  
長並びに軍令部總長  
親補(二十一日)續

いて十五項目に亘る決戦非常措置要綱決定(二十五日)と將に劃期的な重大施策が僅か月末の一週間を出ざる短期間に續々斷行せられた。戦局の凄愴なる、またこれに即應せる對策の妙! 將に大東亞戰爭史上に永く記録さるべき劃期的な一旬であつた。

去月二十一日以來再開せられてゐた第八十四議會は、マーシヤルに敵アメリカ軍上陸戰鬪繼續中との報を聞きつつ、決戦調の快速を以つて衆議院は五日、貴院は七日その全法案及び豫算を成立せしめ自然休會に入つた。かくて政府は議會で表現された全國民の戰爭完遂の意欲を背景として公約せる決戦施策を敏速果斷に實施することになつた。續いて新衣料切符の發表(八日)會社經理統制令の改正並びに戰時農業專員の確保及び國民登録制の擴大等を含む四勅令改

正案の決定(十日)があり、十二日には明年度貯蓄目標額三百六十億と決定、十五日増税法の公布等續々と緊迫せる事態に對する諸施策が決定實施されて前半を遂げた。

しかるに十七日敵の有力なる機動部隊がわが内南洋の要衝トラックを空襲せりと報が發表された十九日の夜、突如東條内閣改造が斷行された。農商相に内田、藏相に石渡、運通相に五島の諸氏を入閣せしめ、東條内閣はこの重大戰局に即應強化されたのである。この敵前改造を斷行せる狙ひは、今やすべての施策を善と信する方向に向つて即時敢行せねばならぬと云ふ理念に打建てられたのであつたが、續いてこの改造を全からしむる意味で政戰兩略の一致體制へ空前の一石が打たれたのである。即ち續いて二十一日斷行せられた東條大將參謀總長並びに嶋田大將の軍令部總長親補である。同時に二參謀次長制も決定、茲に劃期的な統帥と國務の緊密化が大英斷を以つて實現され、戰爭完遂の不動強力なる體制の確立をみた。即ちこの至妙なる人的配置によつて國務と統帥との間に水も洩らさぬ協調を創り、政戰兩略の完全なる一致

を具現し、作戰と政治を調和せしめつつ適時適切な對策を講じ得るに至つたこと、曩の内閣改造による國務體制の充實とが相伴うて、ここに東條内閣の戰爭指導態勢は完璧に強化されたのである。

さらに敵は不遜にも遂に二十一日マリアナ群島方面にも來襲するに至つたが、さきのマーシヤル方面のわが戦死者六千五百と發表された二十五日、政府はこの難局打開の方途を急遽大膽に實行すべくこの日意義深い宮中の初會議において「決戦非常措置要綱」を決定した。情報局の發表にも「決戦の現段階に即應し、國民即戰士の覺悟に徹し精進刻苦その總力を直接戰力増強の一點に集中」すべきであるとして斷行の愴烈な決意を述べてゐるが、その内容は學徒動員の徹底、女子挺身隊強制、強度の疎開實施、高級享樂面の追放、信賞必罰日曜縮減、中央監督事務の地方移讓徹底等の緊急非常措置を含む十五項目であつた。しかもこれ等の諸對策は成案の出來次第時を移さず實施されるもので、既に一部は續々實施斷行されつつある。(山崎)

# 大東亞

## 戰況

長大な海上交通線

の不利を冒し圖に乗つて出撃に出てゐる

ニミッツ麾下の大機動部隊はさきにクエゼリン、ルオットを衝き、大膽にもわが最前線基地たるトラックに襲ひかかつたが敵の無茶な戦法はマリアナ群島東方の海上でわが鐵の内線作戦の各個撃破に空母、軍艦五隻を撃沈破され、ここに敵の出鼻は挫かれ、北太平洋戦線方面に於ては四日の敵機、北千島襲撃、敵艦艇の盲砲撃はわが北の護に一段の緊張がみなぎり、士氣旺盛である。

支那大陸戦線では各地に肅清討伐戦が依然順調に進捗し、空中からはわが陸軍が在支米空軍に連日の如く鐵槌を下してゐる。一方緬印戦線では南部緬印ブチドンモンドク方面に英印軍の蠢動を見るやわが軍は時を移さず機先を制する一大作戦を開始、二月五日には要衝トングバサーを攻略し、一氣にマユ山系の峻嶮を突破わが巧妙なる迂回作戦はよく敵の退路を断ち英印軍第七師團をシンセイワ盆地附近でこれを包圍、一大殲滅戦が展開されてゐる。印度國民軍も皇軍に協力、戦果を収めてゐる旨、廿九日の大本營は報じたのである

西南太平洋に於てソロモン、ニューギニア各戦線も激烈を極め中部太平洋方面では、クエゼリン、ルオットの守備部隊指揮官山田、秋山の兩少將以下の壯烈な全員戦死十七日のトラック島の空襲の報にわが一億の血はたぎり復讐の一念に凝結したのである。敵の攻勢には局限があるが、マリアナの敵の敗戦を見よ、我に鐵の内線作戦の妙のあることを。

## 大陸

決戦段階に即應じて東亞全民族あげて戦闘配置に就いてゐる時、大陸においても戦力増強に向つて逞しき進軍詔が奏でられてゐる。

國民政府は本年度主要目標の一つに農業増産を掲げてゐるが、二月八日を第一着手として農業増産策進委員會の生誕を見るに至つた次いで十四日には全國農業増産會議の開催を見、續いて十、十一兩日南京に清郷全體會議が召集せられた。正に國府が懸案の農業増産に積極的な工作を開始するに至つた事を示すものと云ふことが出来るその成果を大いに期待されねばならない。全國農業増産會議席上、周佛海行政院副院長は「農業増産に總力を結集し、中國農業史上に新紀元を劃すべし」と激勵し、また清郷全體會議においては汪主席

は清郷工作の最大目標として治安確保、増産運動、清心の三つを掲げ、特に本年は増産の年である事を強調、このためには生産人民の痛苦となる貪官奸商の肅清を断行せねばならぬと訓示した點は注目される。一方輕工業に就ても實業部では綿糸布、燐寸、石鹼、硝子紙類の五種に亘る輕工業振興案を樹立し、遊資の生産面への導入を圖ることとなつた。國府は二十二日物價連絡會議を召集、廿七日には戦時物價管理暫行條例實施辦法を實施し評定價格の設定、物價取締強化により物價安定に努力を傾けてゐるが、農業及輕工業部面の増産は物價問題解決への重要基礎を成すものであり、物價安定によりまた増産も一段と推進される。

華北でも省市長會議が廿二日より開られ戦力増強、増産に向つて一層の努力を申合せた。

滿洲國では昭和製鋼、本溪湖煤鐵公司、東邊道開發の三大製鐵會社合同により新に特殊法人滿洲製鐵(資本金七億四千圓)が設立され戦時下喫緊の要務たる鋼鐵の増産に拍車をかけることとなり、また直接生産部門の決戦増産態勢に應じて經濟行政擔當の經濟部及交通部の機構改革を断行し、現場に對應する經濟行政機構の整備を行

つた。斯く大陸の戦力増強の着々進められてゐるの時、東亞の反逆兒重慶は愈々軍事的、政治的、經濟的に米の植民地化への途を辿り自ら招た非運を啣てゐる。(半谷)

## 南方

短期決戦を焦る米軍の對日反攻作戦は南中太平洋に容易ならぬ波を濺はせ、戰爭の相貌は愈々凄烈の度を加へ來つたが、斯る様相を反映して南方各地域に於て防衛體制の整備に、戦力の増強に急速な決戦體勢を具現せんと眞摯な努力が傾注され、各國の施策の面に將又現地住民の軍政協力體勢に急テンポの躍進が遂げられたのは力強い限である。

即ち比島に於ては獨立第一回國民議會が二日終了したが、通過法案六十件中には大統領非常時宣言法案、行政機構改革、中央銀行法案等國內體制整備に必須の諸法案が多数を占め比島の復興再建が愈々軌道に乗つた觀が深い、中でも非常時宣言法は我國の總動員法的な意義を持つ非常時立法で廿四日早くも「強制農耕令」となつて發動される。また十四日比島民防護團の全國的結成が發令され國土防衛體制も茲に完備化した。

ジャワに於ては第二回中央參議院會議が開催され「決戦體勢の強化實踐方策」が防空、防諜、食糧増産の各項に亘り原住民の確乎たる決意を織込んで策定された。答申案は三月發足の新任民奉仕組織「ジャワ奉仕會」の事業として強力に實施されるが、これによりジャワ將來の軍政徹底と、物的人的資源の戦力化は飛躍的進展段階に入る譯である。

シンガポール陥落二周年を迎へて更生マレーは必勝の信念も新たに經濟建設と自主防衛に専念し、ビルマ國また産米維持計畫等増産に拍車する一方、ラングーン大學を再開するの餘裕綽々振りである

佛印本年度豫算は歳入出共二億一千八百十三萬ピアートル、數百萬の本國分撥金を負擔しながらも依然として健全財政を維持し順調な歩みを續けてゐる。

印緬南部國境の英印軍殲滅戦に於て印度國民軍は皇軍に全面的に協力、動搖する印度兵に投降者を續出せしめ英側を痛く狼狽させたボース最高指揮官は七日「我々の最後の勝利に限りなき、確信を持つ」と不動の決意を表明し、英國の壓制下に苦惱する全印度民衆に歡喜の衝撃を與へ、飢饉と搾取に喘ぐ印度民衆は此ボース氏の聲を耳にし、更にガンヂー夫人獄死の報に接して愈々獨立達成の信念を新にした事であらう。(丸山)

### 歐 米

赤軍エス トニア國

の戰場と化し、獨空軍の報復の意欲は着々實現されつつある。

### 反樞軸

第二戰線問題も可成り緊迫した状態を呈してきてゐることは疑へない。スペインに對する米英の強引な壓迫は遂ひに對西石油輸出の禁止、イタリヤ商船の引渡要求などとなり、トルコに對する英土軍事會談も英國の強引なトルコ脅迫への正體露呈となつて現はれてゐる。これがイペリヤ乃至バルカン侵攻作戦に關聯してゐることは言ふまでもないが、今のところ、兩國に對する壓迫は兩國政府の強硬な態度のためはかばかしく進捗してゐないやうである。

境に接するや北部地區戰線は俄かに緊張間もなく傳へられたのがソ芬和平交渉説である。米國國務長官ハルは八日、芬蘭に對し戰線離脱を要緊、芬蘭元首相パーシキヴィ氏は中旬ストックホルムで駐瑞ソ聯公使コロンタイ女史と平和條件に關し會談を開始したといはれる。この問題に對する芬蘭の態度は未だ決定に至つてゐない同國は最近ノルウェーと通商協定を更新し樞軸側との協力關係持續を希望するかに見えるが、現にタンネル藏相は「若し受け容れられるものなら、媾和條件を直ちに受諾の用意がある」と言明して居り、ドイツ側としては事態の成行を慎重に注視する必要があるやう

米英のスペイン、ポルトガル兩國に對する壓迫は依然續けられ、ポーキサイト、ウオルフラム等軍需品の對獨供給停止を要求してゐる。これに對し西葡兩國はイペリア半島の平和維持のために固く結ばれ、共同戦線を張つてゐる。十九日早朝から初まつた獨空軍の連續的ロンドン爆撃は激烈を極め、四〇年秋の猛爆に匹敵するといはれる。ロンドンには再び第一線

始は、一段と西歐の戰機熱すを覺えしめるとともに、来るべき戰闘の苛烈凄愴のほどを想はせる。他方、東部戰線の戦局は、二月初旬より急激に氣温が上昇したので、例年に比し泥濘期が早く到来し戦局は膠着状態に入るものと豫想され、獨軍方面でも戦局の小休止を報じてゐたが、下旬に及んで再び猛烈な寒氣が襲來したので、再び全戦線に亘つて、赤軍が攻勢を開始するにいたり、東部戦線は依然活況を續けてゐる。攻勢の火蓋は二月二十四日の中部ロガチエフ市方面から開始されたが、次第に北部及び南部に波及し、全戦線の攻勢に轉じたが、戦局の重點はエストニア、ラトヴィヤ國境前面で、その攻勢は熾烈を極め、既にフィンランドに政治的壓迫を加へる迄に進出してゐる。中部戦線は、ドイツ軍の伸縮性に物を言はせた防禦戦法が成功して、ソ聯側の喧傳した獨軍南北兩斷作戦は失敗に終つたやうであるが、最近にいたり、クリゾオイ・ログ西南方面を重點とする南部攻勢が積極化せんとする形勢を見せてゐるやうである。また一部では中部戦線に赤軍大兵力集結中との觀測もなされてをり、形勢は樂觀を許さぬものがある。

### 米 洲

謀略と壓迫によつて米洲唯一の中立國アルゼンチンをして對樞軸斷交の擧に出でさせた

米國は更にスペインにも働かけ、石油禁止を武器として、アルゼンチンの場合と同様、スペインを中立より引き下ろす降ろさんとしたがフランコ統領はあくまで中立堅持の方針を内外に宣明した。複雑な國內問題に支配されるルーズヴェルトは短期決戦を焦り、太平洋に打算を無視した無理矢理な反攻作戦を開始し、その得た僅少な戦果を内外に大々的に宣傳してゐるが、何といつても、内政問題はルーズヴェルト政權の痛で、今秋の選挙を控へ、これが處理は多大の困難に直面するであらう、即ち昨秋來の懸案である食糧助成法案、増税法案及びルーズヴェルトが三年越の懸案であると呼稱する國民徵用法案等はいづれも議會の反撃に遇つて、行き惱みの状態で、既に政府提案の食糧助成法案に對しては議會は助成金禁止法案をもつて當り、増税法案に對しては政府の要求額一〇五億ドルに對し、僅かにその五分の一たる二十三億一千五百萬ドルをもつて對抗した。ルーズヴェルトはこれに對し拒否權を發動し、前者に於て

は辛じて成功したが、後者に於ては兩院に於ける缺席議員の壓倒的多數を以つて拒否權棄切に成功しルーズヴェルトの惨敗に終つた。この間民主黨の上院院內總務パークレーの辭職問題といふ副産物さへ飛び出す始末で、大統領はこのところ四面楚歌といふ形だ。また一方政府の戦局に對する出歌羅羅な發表は戦局樂觀論を國民の間に醸成し、政府の最も惱みとする人的資源及軍需生産の問題に種々の障害を與へつつあるが如くである。即ち陸軍當局の發表によると一九四三年九月以降の動員豫定兵力は六十七萬五千名に對し、三三%減少の四十五萬七千名しか動員できず、問題の父親召集はどうしても必要な處置となつてゐる。アルゼンチンの對樞軸斷交に味を占めた米國は更に壓迫を加へ、對樞軸宣戰にまで出でんとしたがアルゼンチン境界に隱然たる勢力を有する樞軸派のペロン一派はクダターを行ひ、ラミレス大統領及びヒルベルト外相、ゴンザレス書記長官を迫出し、樞軸派のファレル副大統領を、大統領に据ゑ内政一新に乗出したが、米國はこれに不滿の意を表し、遂にアルゼンチンに對し斷交の擧に出でた。

# 時事月表

(昭和十九年二月)

## 國內

## 大東亞

## 世界

- 一 輕金屬に特別價格統制實施(昭和十八年下期より)決定 △  
鍛鍊機械「戰時型」三種決定(即日實施)
- 二 疎開貨物の輸送荷造料等決定(五日實施)
- 三 學生の軍事教育強化方策發表
- 四 衆議院は本日で政府の提案全部を譲り必勝決議案を可決して自然休會に入る △女學生戰時基進服の制定發表
- 五 貴族院本日を以て議事一切を終り八十四議會は實質的に終了す △秋山輝男海軍中將戰死發表 △十九年度纖維製品供給確保要綱決る △新衣料切符内容發表
- 六 合成ガムの劃期的發明に初の恩賜賞授與決定
- 七 中等教育戰時措置發表—男子に軍事科學、女子に救急看護、保育等重點付課
- 八 賀陽宮邦壽王殿下陸軍歩兵學校教導隊附に御轉補第一線より御歸還 △第十八回國家總動員審議會開會—國民職業能力申告令子外三諮問案を可決 △國民登錄制擴大—十二歳より六十歳、女子四十歳迄登錄
- 九 長慶天皇の御陵を御治定、嵯峨東陵と勅定せらる △佐藤、安田兩海軍大佐二階級特進發表
- 十 十九年度國民貯蓄增加目標三百六十億圓に正式決定 △航空燃料及高級潤滑油を重點産業並扱ひへ、緊急確保策成る

- 一 敵、マインシャル諸島に侵寇、クエゼリン、ルオット兩島に上陸洋艦等四隻撃沈破 守備地域確保
- 二 比島國會閉會
- 三 我潜水艦、マインシャル群島ウオッセ島附近に於て敵大型巡洋艦一隻撃沈 △ジャワ第二回中央參議院閉會
- 四 緬印國境、我先制攻撃開始—緬甸方面陸軍部隊、印度國民軍と協同、フチドン、アキヤブ正面に於て英印軍を撃破進撃—大本營發表 △陸軍部隊、敵航空部隊に對する一月中の戰果發表—緬支、南太平洋に於て敵三七三機撃破、我方損害四〇機—大本營發表
- 五 ビルマ、産米維持計畫發表—本年度以降の目標量四百萬噸
- 六 海軍航空部隊六、七、九三日間に敵五八〇機と交戦、その一一七機撃墜—我方未歸還九機—大本營發表
- 七 陸軍部隊、航空部隊と協力、緬印國境マユ山系以東の敵主力を包圍 六日モンドウ方面の敵退路遮斷—大本營發表 △國府滿郷工作全體會議開催
- 八 米機、ラバウルの病院を不法爆撃 △滿洲電力統制一元化—一電力建設並に運營機構再編成要綱—決定
- 九 米機、ラバウルの病院を不法爆撃 △滿洲電力統制一元化—一電力建設並に運營機構再編成要綱—決定

- 一 ソ聯憲法修正發表—ソ聯邦十六共和國の單獨外交關係樹立を容認 △赤軍エストニア國境東方キングゼツプ占領公表
- 二 ソ聯最高會議、各聯邦共和國に外務委員部設置決定 △獨軍キングゼツプ撤收公表 △反樞軸軍、アルバノ丘法王離宮冒爆
- 三 △反樞軸軍カッシンノ突入、市街戰展開(△亞、國、洪、羅、勃、佛(ブイシー)政府)と斷交
- 四 獨軍ネツツノ橋頭堡包圍 △赤軍機大舉芬蘭首都ヘルシンキ爆撃
- 五 米大統領、増稅案で議會に敗北—兩院大統領提出案を二十三億一千五百萬、ドルに削減可決
- 六 米、芬蘭壓迫—米、芬の樞軸戰線離脱を要求 △獨軍ニコポリ撤收
- 七 スターリン對英強硬回答—ソ波國境問題、亡命波蘭と交渉不可の旨傳達 △米俘虜待遇に關し對日通牒傳達發表—不法虐待と虚構のデマ捏造
- 八 英土軍事會談決裂、英使節團アンカラ引揚



一四 官吏功勞表彰令外十勅令中改正勅令公布 △大東亞民族會議招集(六月)決定 △村田海軍大佐以下十將士の二階級特進發表  
 一五 内務省東京部外十都市を建築規制區域に指定 △機械工業等整備要領決定  
 一六 物品、遊興飲食、入場及特別行爲の四稅施行 △薪炭確保對策要綱發表 △公私立學校整備命令權制定 △學校學科整備命令權を含む學民學校等戰時條例公布(即日並に四月一日實施)  
 一七 第十四回大東亞戰爭海軍側死者及び第三十三回支那事變海軍側死者論功行賞並に迎海軍中尉以下十五勇士の二階級特進發表 △青年師範學校創設(四月一日實施) △恩賜賞 學士院賞受賞者決定  
 一八 鐵鋼に特別價格報獎制實施(十九年度より) 決る △薪炭値上げ實施  
 一九 内閣改造斷行―藏相石渡莊太郎、農商相内田信也、運通相五島慶太三氏辭任  
 二〇 第六十六回支那事變陸軍側生存者論功行賞發表、同時に郷軍會員並に一般人の支那事變論功行賞發表  
 二一 東條大將參謀總長に、島田大將軍令部長に親輔さる、同時に參謀次長二人制を實施、後宮大將同次長に補せらる  
 二二 閣議に於て東條首相戰局突破に全閣僚の奮起を求む、今後の閣議は宮中に開くこととす △人口調査、國民登錄施行  
 二三 吉田福岡縣知事福岡鎮山監督局長兼務となる △大日本育英會初の奨學生千七百七十三名採用  
 二四 戰爭保險制度を共榮圏内に擴張―支那、泰、佛印は三月一月より實施  
 二五 第一回宮中閣議、決戦非常措置要綱を決定、この一年を「精進の一年」とす △内務、農商兩省交流人事發表、丸山翼實會事務總長宮城縣知事に就任 △音羽正彦侯爵戰死發表  
 二六 應徴士の信賞必罰規定公布(即日實施)  
 二七 今明兩日臨時司法長官會同、東條首相憲實犯罪に對し果斷なる處置を要望 △全國內政部長會議開催(四日間) △大衆雜誌時局雜誌、娛樂雜誌等の殘存誌決定發表  
 二八 決戦非常措置四具體策發表、高級享樂停止、官廳の常時執務、官吏の出張制限他一件

二三 陸軍航空部隊廣西省丹竹初爆擊  
 二四 タロア島に敵艦來襲、わが守備隊艦砲射撃に應酬擊退す  
 二五 海軍航空部隊ブーゲンビル島の敵艦團強襲、艦船七隻以上擊沈破  
 二六 重慶本年度豫算、二百億元と決定  
 二七 敵トラツク島空襲―有力なる敵機動部隊同島を反覆空襲我陸海軍部隊と激戰展開 △滿洲製鐵事業の大合同―滿洲製鐵株式會社設立要綱參議院會議通過(四月一日實施) △國府最高國防會議、禁煙辦法司法(三月三十日實施)  
 二八 敵艦タロア島砲擊  
 二九 トラツク島來襲の敵艦退發表―十七日より十九日に亘る本戰艦に於て敵艦二隻擊沈、空母一隻擊破、飛行機五四機以上擊沈、わが方損害、巡艦二隻、驅逐艦三隻、輸送船一三隻、飛行機二〇機喪失―大本營發表  
 三〇 華北省市長官會議開催 △比島政府、非常時狀態宣言 △印度敵マリアナ島に來襲―二十二日戰艦八、空母十數隻を基幹とする敵有力艦隊マリアナ諸島近海に出現、海軍航空部隊右を攻撃同夜より廿三日未明にかけ空母一、大型軍艦三隻を擊沈、空母一隻を中破、また敵機は廿三日サイパン、テニアン、グアムを空襲―大本營發表  
 三一 クエゼリン、ルオット兩島守備隊玉碎發表―山田、秋山兩少將指揮下の右二島守備隊將兵軍屬六千五百名 敵二箇師團に大損害を與へ二月六日最後の突撃を敢行全員戰死す―大本營發表  
 三二 滿洲國交通部機構改革決定  
 三三 印緬國境英印軍第七師主力殲滅發表―二月九日よりシンゼイウ盆地附近に包圍猛攻、印度國民軍も協力し二十四日までその大半を殲滅、殘敵掃蕩中―大本營發表 △滿鐵運賃改正(四月一日實施)

三三 佛、南岸地中海沿海七縣に軍政施行發表 △クイレルキリア占領  
 三四 獨軍伊戰線アブリア占領  
 三五 亞國樞軸派掀起―樞軸派の巨頭ペロン大佐クーデター斷行 對樞軸宣戰 布告の陰謀破碎  
 三六 亞國後任外相就任―海相スエイロ、外相を兼任、法、文相後任にシルフエラを任命  
 三七 獨軍東部戰線スターラヤ・ルツサ撤收發表  
 三八 米空軍二千機、獨西北部を盲爆 △獨空軍ロンドン猛爆  
 三九 米大統領、増稅案に拒否權を發動 △獨軍ホルム市撤收發表  
 四〇 獨軍クリヴオイ・ログ及びピロガチエフ撤收 △獨軍ルーツク市奪回  
 四一 米下院、増稅法案に對する大統領の拒否權を覆す △亞國大統領ラミレス正式辭職 △獨軍重砲擊機隊ロンドン大空襲  
 四二 米増稅案成立  
 四三 米、昨年度の造艦百六十萬噸と發表  
 四四 獨芬通商協定成立 △ラトヴィア國境でソ獨激闘、自兵戰展開  
 四五 米出征兵投票案成立 △芬蘭建國功勞者ペール・スヴィインフーヴド氏逝去

# 世界戰況

## 大東亞戰爭

### 太平洋決戰深刻

#### 特報

#### クエゼリン、ルオツト兩島 陸海守備隊全員戰死を遂ぐ

#### クエゼリン、ルオツトに敵上陸

#### ラバウルに七二七機來襲

大本營發表(昭和十九年二月五日十一時)一、マーシャル諸島方面其の後の戦況左の如し

○敵は航空母艦、戦艦を基幹とする有力なる機動部隊と基地航空部隊とを以て、一月三十日朝來連續ルオツト、クエゼリン、ウオツゼ、マロエラツブ、ブラウン其他マーシャル諸島全域に亘り砲爆撃を行ひ來り、二月一日にはクエゼリン及ルオツト島に上陸せり

○所在帝國海軍航空部隊並に陸海軍守備部隊は全力を奮つて此の敵を遂に撃退し、二月一日迄に敵機五十二機を撃墜、二十四機を撃破、驅逐艦二隻を撃沈、巡洋艦、驅逐艦各一隻を炎上せしめたり

○クエゼリン及ルオツト島に於ては所在陸海軍守備部隊の勇戦に依り上陸し來れる敵の一部を撃退する等、激闘を續け守備地域を確保しあり

二、ソロモン諸島方面に於ては其の後連日多數の敵機ラバウルに來襲し所在帝國海軍航空部隊並に陸海軍守備部隊は之を遂撃し

○一月二十九日には午前二回に亘り來襲せる敵機二百五十七機中三十九機(内不確實十七機)を撃墜せり

○一月三十日には午前二回に亘り來襲せる敵機約二百九十機中六十三機(内不確實十九機)を撃墜せり

○一月三十一日には午前來襲せる敵機約八十機中十四機(内不確實四機)を撃墜せり

我方未歸還五機

○一月三十一日には午前來襲せる敵機約八十機中十四機(内不確實四機)を撃墜せり

我方未歸還五機

○一月三十一日には午前來襲せる敵機約八十機中十四機(内不確實四機)を撃墜せり

我方未歸還五機

○一月三十一日には午前來襲せる敵機約八十機中十四機(内不確實四機)を撃墜せり

我方未歸還五機

○一月三十一日には午前來襲せる敵機約八十機中十四機(内不確實四機)を撃墜せり

我方未歸還五機

○一月三十一日には午前來襲せる敵機約八十機中十四機(内不確實四機)を撃墜せり

我方未歸還五機

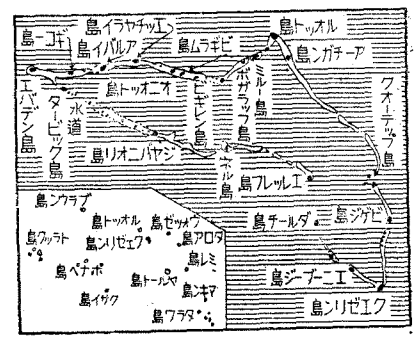
○一月三十一日には午前來襲せる敵機約八十機中十四機(内不確實四機)を撃墜せり

我方未歸還五機

激烈な爆撃と、砲射撃を反復、マーシャル諸島は一瞬にして懐愴な決戦場と化したに至つた、次いで廿一日も猛猛強引な敵の攻撃は夜となく晝となく繼續し、明けて二月一日には爆撃、砲撃の掩護下に敵部隊はクエゼリン及ルオツト島に上陸した、勿論我が海軍並に海陸守備部隊はこの間、終始見敵無殺、撃たずば止まずの燃ゆるが如き闘魂をもつて敵部隊を奮つて、激闘を續け、一月廿日以後二月一日までの三日間に、敵機五十二機撃墜、二十四機撃破、敵驅逐艦二隻撃沈、巡洋艦、驅逐艦各一隻炎上の戦果を収めた、殊にクエゼリン本島南部方面の一点點において我が陸海軍守備部隊は敢然敵上陸部隊に對して肉弾突撃を敢行し壯絶な白兵戦を展きこれを撃退する等、全戦域に亘つて我が將兵の士氣愈々旺盛、何れもその守備地域を斷乎として確保してゐる、激闘は今なほ繼續中であつて敵は痛烈な犠牲を喫しつつも飽くまでマーシャルの一角に

激烈な爆撃と、砲射撃を反復、マーシャル諸島は一瞬にして懐愴な決戦場と化したに至つた、次いで廿一日も猛猛強引な敵の攻撃は夜となく晝となく繼續し、明けて二月一日には爆撃、砲撃の掩護下に敵部隊はクエゼリン及ルオツト島に上陸した、勿論我が海軍並に海陸守備部隊はこの間、終始見敵無殺、撃たずば止まずの燃ゆるが如き闘魂をもつて敵部隊を奮つて、激闘を續け、一月廿日以後二月一日までの三日間に、敵機五十二機撃墜、二十四機撃破、敵驅逐艦二隻撃沈、巡洋艦、驅逐艦各一隻炎上の戦果を収めた、殊にクエゼリン本島南部方面の一点點において我が陸海軍守備部隊は敢然敵上陸部隊に對して肉弾突撃を敢行し壯絶な白兵戦を展きこれを撃退する等、全戦域に亘つて我が將兵の士氣愈々旺盛、何れもその守備地域を斷乎として確保してゐる、激闘は今なほ繼續中であつて敵は痛烈な犠牲を喫しつつも飽くまでマーシャルの一角に

激烈な爆撃と、砲射撃を反復、マーシャル諸島は一瞬にして懐愴な決戦場と化したに至つた、次いで廿一日も猛猛強引な敵の攻撃は夜となく晝となく繼續し、明けて二月一日には爆撃、砲撃の掩護下に敵部隊はクエゼリン及ルオツト島に上陸した、勿論我が海軍並に海陸守備部隊はこの間、終始見敵無殺、撃たずば止まずの燃ゆるが如き闘魂をもつて敵部隊を奮つて、激闘を續け、一月廿日以後二月一日までの三日間に、敵機五十二機撃墜、二十四機撃破、敵驅逐艦二隻撃沈、巡洋艦、驅逐艦各一隻炎上の戦果を収めた、殊にクエゼリン本島南部方面の一点點において我が陸海軍守備部隊は敢然敵上陸部隊に對して肉弾突撃を敢行し壯絶な白兵戦を展きこれを撃退する等、全戦域に亘つて我が將兵の士氣愈々旺盛、何れもその守備地域を斷乎として確保してゐる、激闘は今なほ繼續中であつて敵は痛烈な犠牲を喫しつつも飽くまでマーシャルの一角に



橋頭堡を確保せんと必死の攻撃を反復してゐる

兩指揮官以下四千  
五百壯烈なる戦死

砲爆下の激闘八日間  
軍屬二千も共に瘞る

大本營發表(昭和十九年二月廿五日十六時)クエゼリン島並にルオツト島を守備せし約四千五百名の帝國海軍部隊は一月廿日以降來襲せる敵機動部隊の熾烈なる砲爆撃下之と激戦を交へ二月一日敵約二ヶ師團の上陸を見るや之を遂撃し勇戦奮闘敵に多大の損害を與へたる後二月六日最後の突撃を敢行全員壯烈なる戦死を遂げたり

ルオツト島守備部隊の指揮官は海軍少將山田道行にしてクエゼリン島守備部隊指揮官は海軍少將秋山門造なり

尙兩島に於て軍屬約二千名も亦守備部隊に協力奮戦し全員其の運命を共にせり

兩指揮官略歴【二十五日】

△山田道行少將(原籍地)佐賀縣唐津市大字唐津(現住所)鎌倉市亂橋材木座、明治四十四年九月十一日海軍兵學校入學、大正三年十二月十九日同校卒業、同四年十二月十三日任少尉、同六年十二月一日任中尉、同九年十二月一日任大尉、同十五年二月一日任少佐、昭和五年十二月一日任中佐、同十一年十二月一日補舞鶴海軍航空隊司令、同十二年五月廿日補海軍航空本隊出仕、同年十二月一日任大佐、同十三年三月廿二日横須賀鎮

守府附仰付、同十四年十月十五日補  
海軍航空本部技術部第三課長兼海軍  
技術會議議員、同十七年十一月一日  
任少將、同年十一月一日補霞ヶ浦海  
軍航空隊司令

△秋山門造少將(原籍地)香川県三  
豊郡津田村(現住所)吳市宮原、明  
治四十四年九月十一日海軍兵學校入  
學、大正三年十二月十九日同卒業、  
同四年十二月十三日任少尉、同六年  
十二月一日任中尉、同九年十二月一  
日任大尉、同十五年十二月一日任少  
佐、昭和七年十二月一日任中佐、同  
十二年十二月一日任大佐、同十四年  
六月一日補金澤地方海軍人事部部长  
同十六年十月十五日補海軍艦政本部  
造船監督官兼造船兵監督官海軍航空本  
部造船兵監督官、同十七年八月十日補  
吳海軍工廠總務部長、同十八年五月  
一日任少將

戦闘經過【廿五日】敵米は去る一月  
三十日未明、有力なる機動部隊をも  
つてマーシャル諸島海域に侵入、我  
が基地に對し大規模な空襲を反覆す  
ると共に、二月一日未明以降、戦艦  
巡洋艦等よりなる強力なる艦隊の援  
護下にクエゼリン島に約二ヶ師團の  
兵力を揚陸した、敵のギルバート侵  
攻以來二ヶ月に亘る敵空軍の猛襲に  
對し、毅然その配置を護つて敵上陸  
作戰に備へ來つたわが將兵は、敵大  
部隊が來襲するや断然起つて之に猛  
反撃を加へ、晝夜を分たぬ敵戦機  
群の反復銃爆撃と熾烈な艦砲射撃に  
身を曝しつゝ、寡勢よく我に數倍す  
る優勢な敵上陸部隊に對し、全員、  
全身全靈を敵魂と化して激戦苦闘を  
續け彈盡きれば肉弾を唯一の武器と  
して尨大な敵の鐵軍を反撃し續けた  
のであつた、この間クエゼリン本島

において南部外側に上陸せる敵部  
隊を撃退し、更にルオット島守備隊  
も寸土も敵に譲らざる奮戦、敵に痛烈  
な損害を與へたのである、かくて皇  
軍は海、空、陸の三方よりする敵の  
猛爆を邀撃激闘すること實に八日間  
二月六日に至りルオット島において  
は指揮官山田道行少將、クエゼリン  
島においては指揮官秋山門造少將以  
下全員が雲霞の如き敵兵中に向つて  
白刃を振つて突入、その肉弾を以つ  
て神州護持の御構となつたのである  
マーシャル作戦に對する外電を見れ  
ば、敵は徴々たるクエゼリン環礁に  
一日最高五千トロン上陸までに實に一  
萬五千トロンに達する尨大な鐵軍を注  
ぎこんだと報じてゐるが、この一事  
をもつても敵のクエゼリン環礁  
攻撃が如何に激烈なものであつたか  
を知り得よう、しかも我が將兵は終  
始冷靜この強烈な攻撃にも何等動す  
ることなく、その一念を敵撃滅に燃  
へ上らせて激意を反覆し、二月二日  
朝には「士氣旺盛、敵撃滅に邁進す」  
との烈々たる決意を打電した、然し  
この通信を最後に無電連絡は杜絶し  
たのである

海相國民の猛省を促す

【二十五日】嶋田海相は、二十五日  
クエゼリン環礁守備の我が將兵並に  
軍屬六千五百が全員壯烈なる戦死を  
遂げた旨大本營より發表されたるを  
機會に、特に重大戦局に關する談話  
を發表した

△重大戦局に關する嶋田海相談  
本日大本營發表並に海軍省公表にあ  
りました通、二月五日マーシャル群  
島、クエゼリン環礁守備の我が將兵  
屬約六千五百名は指揮官山田、秋山

兩少將以下全員結束寡兵克く衆敵に  
當り勇戦奮闘遂に壯烈なる戦死を遂  
げられましたが、曩に山本元帥の機  
上戦死、アツツ島並にタラワ、マキ  
島守備部隊の玉碎があり今亦此の  
壯烈鬼神を泣かむる忠烈に際合し  
まして、惻々胸を打たるものがあり  
ります、特に此の度は音羽侯爵の戦  
死もありまして我等一億國民は今こ  
そ此等の忠烈に應ぶべく總蹶起し各  
員の職域に於て捨身の働をなさねば  
ならぬと存じます、之迄の戦況に付  
きましては其の都度發表せられたる  
通であります、最近に於ける戦局  
の進捗は極めて迅速且背烈にして其  
の今後内外に及ぼす影響は洵に重大  
深刻なものがあります、而して現在  
この方面の戦闘は我が本土を去る約  
二千哩の彼方に於て戦はれつゝあり  
ますけれども航空機の發達せる近代  
戦の性質より断ずれば今や既に彼我  
國境を接せりと言ふも敢て過言では  
ないのであります、故に神州を護持  
し断じて我皇土を護らんが爲には此  
の敵を撃滅し各群島戦域は之を絶對  
死守せざるべからざること火を賭る  
より明らかなであります、今や敵米の  
主力は其の全力を擧げ東亞を目掛け  
て押寄せつゝあります、帝國海軍は  
意氣軒昂此の大敵を邀へ勇戦敢闘中  
であります、皇國興廢の岐る此  
の重大戦局に對し必死の決意を以て  
速に萬全の準備を整へ全軍結束、堅  
確なる必勝信念の下、帝國陸軍との  
協同を愈々緊密にし断乎として戦ひ  
抜き勝抜かんとすることを堅く期して居る  
ものであります、何卒國民諸君に於  
ては以上帝國海軍の心持を  
十二分に御察せられ皇國隆替の岐  
る、今日、此の時に處し我は如何に

敵上陸の模様

【リスボン廿三日發】マーシャル諸  
島に對する米軍の上陸は艦砲射撃並  
に空爆に依る掩護の下に先づ一月廿  
一日午前九時十分クエゼリン環礁北  
端に位するルオット島に少將ハリ  
・シュミットの指揮する第四海兵隊  
師團が向つたが日本軍守備隊の邀撃  
をうけ相當の死傷者を出した、次で  
午後に至りルオットにも海兵隊が揚  
陸、一方クエゼリン環礁南端のクエ  
ゼリン島を狙ふ少將チャールス・コ  
レット麾下の陸軍第七歩兵師團も  
殆んど海兵隊と時を同じうして作戦  
を開始した様子だが日本軍の猛烈な  
抵抗に遭遇して戦闘は米軍にとり一  
向に捗まぬ進捗しなかつたといは  
れる、又日本軍との肉弾戦を嫌ふ米  
軍が上陸前から上陸後にかけてマー  
シャル諸島に投下した砲爆量は實に  
一萬四千噸に達するといはれるが、  
之は物量による攻勢以外、日本軍を  
破ることは不可能だとの彼等の考へ  
方を如實に示すものだ

皇軍守備隊奮戦

【リスボン二十三日發】マーシャル  
諸島クエゼリン環礁の皇軍守備隊は  
壓倒的に優勢な兵力を擁する米軍上  
陸部隊を邀撃、これに多大の損害を  
與へた後、全員戦死したが敵側報道  
も皇軍守備隊鬼神の奮戦ぶりを認め  
てゐる

敵側發表

【リスボン廿三日發】パー  
ー、ルーズヴェルトは一日午後の記  
者團會見に於て「上陸部隊は日本軍  
の熾烈な抵抗を蒙つてゐる」旨言明  
した、またニミッツ司令官は同日の  
公表でルオット島では日本航空部  
隊の抵抗が強かつたと發表した  
一、米國戰時特報局の在外陸軍部隊  
向け放送は「米軍はクエゼリン島に  
於て特に猛烈な爆撃に遭遇した」旨  
報じた

すべきを克く省察し夫々の本分に  
邁進せられ以て皇國一丸となつて此  
の戦を勝ち抜かんとを切望して已  
みません

すべきを克く省察し夫々の本分に  
邁進せられ以て皇國一丸となつて此  
の戦を勝ち抜かんとを切望して已  
みません

すべきを克く省察し夫々の本分に  
邁進せられ以て皇國一丸となつて此  
の戦を勝ち抜かんとを切望して已  
みません

すべきを克く省察し夫々の本分に  
邁進せられ以て皇國一丸となつて此  
の戦を勝ち抜かんとを切望して已  
みません

一、ニミッツ司令部は同日「クエ  
ゼリン島では日本軍の猛烈な抵抗が  
續いてゐる」と發表した、また同日  
ニミッツは次の如く揚言してゐる、  
約三萬の米軍が未曾有の大艦隊の掩  
護砲火の下に海岸に殺到した、日本  
軍は兵力の優勢な米第四海兵隊に對  
し最後の猛抵抗を試みてゐる  
UP前線特派員の二日の報道による  
とクエゼリン島の日本軍は同島東側

### 敵トラツク諸島を窺ふ

#### 我軍奮戦これを撃退

### 敵有力機動部隊

#### トラツク諸島空襲

大本營發表(昭和十九年二月十八日  
十六時)二月十七日朝來敵は有力な  
機動部隊を以てトラツク諸島に反  
覆空襲し來り同方面の帝國陸海軍部  
隊は之を遂撃、激戦中なり

敵側發表【リスボン十七日發】ワシ  
ントン來電「米國海軍省は十七日夜  
次の通り發表した  
十六日朝太平洋艦隊に所屬する有力  
なる海軍機動部隊は數百機の編隊を  
以てトラツク島の日本海軍基地に對  
する攻撃を開始した、詳細は未だ不  
明である

【リスボン十八日發】米太平洋艦隊  
司令部は十七日夜公報をもつてトラ  
ツク島攻撃が十六日午前開始された  
旨發表し、同攻撃には數百機の米空  
軍が参加してゐる旨報じてゐる、ま  
たUP電報によれば「太平洋艦隊司  
令部の公表によれば作戦は繼續中で

の強力防禦陣地に據つてゐるが、米  
海空軍の組織的砲撃下で奮戦して  
ゐる、また他のUP電報によるとク  
エゼリン島の日本軍は一日並びに二  
日夜猛烈な逆襲を行った  
占領を發表【リスボン廿二日發】ワ  
シントン來電「米國海軍省は米軍が  
クエゼリン環礁に屬するクエゼリン  
ルオットの兩島嶼を占據した旨發表  
した

鳥攻撃の續報は全然ないので戦況の  
詳細は依然判明しない、米國機動部  
隊は作戦状況を厳秘に附してゐる」  
と報じてゐる

#### 敵進撃急速度化す

【十八日】敵有力機動部隊は我がト  
ラツク諸島に反覆空襲し中部太平洋  
戦局は愈々重大局面を展開しつつあ  
るスプリューアンズ麾下の米中部太平  
洋艦隊がわが領土の一角マーシャル  
諸島クエゼリン環礁に強引な上陸を  
行つたは去る二月一日、その後敵  
はミレ、ブラウン、タロア、ウオツゼ  
等のわが各基地に獐猛な攻撃を反覆  
しつつあつたが、マーシャル諸島新  
攻勢開始後二十日に滿たない二月十  
七日、朝から十八日にかけ大膽にも  
有力機動部隊群と延數百機に達する  
戦爆連合の大編隊群をもつてわが戦  
略圏、内南洋の中核、トラツク諸島  
に反覆強襲を加へて來た、既に激闘  
はわが領土内で行はれてゐる、尨大  
な鐵量を含み痛烈な犠牲をも顧みざ  
る敵の侵攻は、日本本土から一、八  
〇〇哩の間近に迫つたのだ、昨年十  
一月十九日ギルバート諸島に新攻勢  
を開始してから僅か二ヶ月、ギルバ  
ートを侵しマーシャルに上陸し、今  
またトラツクに來襲したので、ギル  
バート作戦からマーシャル作戦開始  
までの準備期間は約七十一日、マー  
シャル作戦からトラツク侵攻までの  
期間は十八日強引不逞な侵攻と共に  
次期作戦開始までの期間が急速に短  
縮されつつある深刻なる現實より我  
々の決戦行動に起されなければなら  
ない、即ち我方のガダルカナル島轉  
進以來の敵作戦の速度を見ると  
△南太平洋方面

二月 ガダルカナル島より轉進  
六月廿日 敵レンドバ島へ上陸  
十月月上旬 コロンバガラ島より轉進  
十月廿七日 敵モノ島上陸  
十一月一日 敵ブリーゲンビル島トロ  
キナ岬上陸  
十二月十五日 敵ニユーブリテン島  
マーカー岬上陸  
十二月廿六日 敵ニユーブリテン島  
ボルゲン灣東西岸へ上陸  
△ニユーギニア島方面  
九月四日 敵ホボイ上陸  
九月廿二日 敵フインシハーヘン上  
陸  
一月二日 敵ゲンビ岬へ上陸  
△中部太平洋方面  
十一月廿一日 敵ギルバート諸島へ  
上陸  
一月三十日 敵マーシャル諸島へ新  
攻勢  
二月一日 敵クエゼリン島及びルオ  
ツト島へ上陸  
二月十七日 敵トラツク島反覆空襲  
となつてゐる、かくの如く敵の侵攻  
速度が著しく急速化しつつあること  
は、日本に時を藉すことを極度に恐  
れる敵の焦慮を物語るものではある  
が、同時に敵侵攻企圖の極めて強力  
なことを示唆するものである、尙ほ  
トラツク諸島の戦略的位置は日本本  
土及び南方戦線との補給路上の核心  
に位し、更に南方資源地帯と本土と  
の交通線上の要衝でもあつて、單に  
本土防衛の要點たるに止まらな、  
従つて若しここが敵手の蹂躪に委せ  
られれば、南方戦線への武器彈藥兵  
員の補給は重大脅威に曝され同時に  
資源地帯からの原資材の本土への輸  
送、その戦力化等にも痛烈な影響を  
蒙ることとなり、戦争遂行上由々し

#### 敵機動部隊を撃退

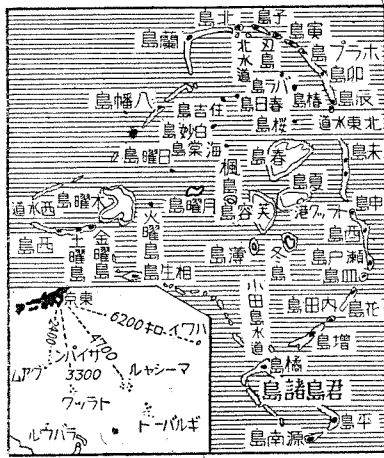
#### 我方の損害十八隻

大本營發表(昭和十九年二月廿一日  
十六時)トラツク諸島に來襲せる敵  
機動部隊は同方面帝國陸海軍部隊の  
奮戦に依り之を撃退せり、本戦闘に  
於て、敵巡洋艦二隻(内一隻戦艦な  
るやも知れず)撃沈、航空母艦一隻  
及軍艦(艦種未詳一隻)撃破飛行機  
五十四機以上を撃墜せしめ、我方も  
亦、巡洋艦二隻、驅逐艦三隻、輸送  
船十三隻、飛行機百二十機を失ひた  
る他地上施設に若干の損害あり  
戦闘經過【廿一日】十七日驅戰艦、  
航空母艦を基幹とする敵有力機動部  
隊がトラツク諸島海域に出現し、十  
八日にかけて延數百機に達する戦爆機  
群をもつて攻撃を反覆するや、帝國  
陸海軍部隊は寡勢よりの敵の執拗な來  
襲を遂撃、激闘三日のち十七日敵  
巡洋艦二隻(内一隻は戦艦とも見ら  
れる)を撃沈、空母一隻を撃破、十  
九日艦種未詳の軍艦一隻を撃破し十  
七日より十九日に亘り敵機五十四機  
以上撃墜の戦果を収めたが、我方も  
また巡洋艦二隻、驅逐艦三隻、輸送  
船十三隻、飛行機百二十機喪失と云  
ふ甚大なる損害を蒙つたのである、

【リスボン十八日發】米國機動部隊  
のトラツク島攻撃に關しては米國政  
府は軍機に屬するの一點張りて戦況  
の詳細を發表せず「米國海軍未曾有  
の大作戦」などと抽象的な言葉で大  
袈裟に宣傳、専ら民意の煽動に努め  
てゐるが、ワシントン來電によれば  
海軍長官フランコ・ノツクスは十八  
日の記者團會見で「トラツク島攻撃  
の戦況については同方面水域で日本  
潜水艦が作戦してゐると思はれるが  
らまだ發表出來ない」といつた程度  
でお茶を濁したといはれる、また日  
本側は米國軍地上部隊がトラツク島  
に上陸したと報じてゐるが事實かと  
の質問に對してはノツクスは頭から  
否定したと傳へられ、十八日の米國  
戦時情報局軍隊向放送も「トラツク

の強力防禦陣地に據つてゐるが、米  
海空軍の組織的砲撃下で奮戦して  
ゐる、また他のUP電報によるとク  
エゼリン島の日本軍は一日並びに二  
日夜猛烈な逆襲を行った  
占領を發表【リスボン廿二日發】ワ  
シントン來電「米國海軍省は米軍が  
クエゼリン環礁に屬するクエゼリン  
ルオットの兩島嶼を占據した旨發表  
した

の強力防禦陣地に據つてゐるが、米  
海空軍の組織的砲撃下で奮戦して  
ゐる、また他のUP電報によるとク  
エゼリン島の日本軍は一日並びに二  
日夜猛烈な逆襲を行った  
占領を發表【リスボン廿二日發】ワ  
シントン來電「米國海軍省は米軍が  
クエゼリン環礁に屬するクエゼリン  
ルオットの兩島嶼を占據した旨發表  
した



二損害の一部を認む

この尊い犠牲の數からして我々は今の激闘が大東亞戦争勃發以來嘗つて見ない激烈なものであつたことを容易に想像し得る、帝國陸海軍部隊の言語に絶する奮戦により敵機動部隊に甚大な損害を與へてこれを撃退したとは云へ、トラツク海域を繞る一、米軍は飛行機十七機を喪失し艦一隻に損害を蒙つた

マリアナ諸島東方海面に 敵機動部隊出現

大本營發表(昭和十九年二月二十八日十六時)  
二月二十二日午前航空母艦十數隻、戰艦八隻を基幹とする敵機動部隊はマリアナ諸島東方海面に出現せり、帝國海軍航空隊は逸早く之を捕捉し二十三日黎明より二十三日月黎明に亘り反復攻撃を加へ航空母艦一隻、大型軍艦三隻(内二隻航空母艦の算大なり)を撃沈、航空母艦一隻を中破せり、敵は二十三日午前延約二百機の艦載機を以てサイパン、テニヤに並に Guam 島を空襲せるのち東方に遁走せり、我方の損害輕微なり

【リスボン廿日發】眞珠灣來電米とする悍猛執拗な敵野望の現はれてある、今回の敵艦隊はさきにマインマル諸島並にトラツク諸島を攻撃せるものと同一の機動部隊で、米中部太平洋艦隊主力の強力な一部であり、これが廿二日午前、數群に分れて出現テニヤン、サイパン、Guam 島に對し熾烈な空襲を反復せんと企圖したのであつた然し同方面海域に鐵壁の哨戒陣を張つてゐたわが海軍は、逸早くこれを捕捉して、同日夜半から翌廿三日黎明にかけて數次に亘る激烈な攻撃を反復、大本營發表の如く敵空母一隻及び大型軍艦三隻を撃沈、空母一隻を中破せしめた、撃沈せる大型軍艦三隻中の二隻は、空母たるの算大であつたが、確認は出来なかつたのである又中破せる空母一隻はわが海軍の必殺の魚雷を喰ふや、天に沖する大火柱を噴きあげて、左に大きく傾斜忽ちにして進行を停止し、沈没に預したが、やがて起ち上り、黒煙と噴煙に包まれながら再び進行して行くのが認められた斯くして敵企圖は、わが海軍の先制攻撃により、その大半を挫折され、廿三日午前、僅かに延二百機の艦載機をもつて、サイパン、テニヤン、Guam 島に對して空襲を加へたのち遁走し去つたのである、サイパンは東京より僅か千二百六十六哩を距るに過ぎず、かかる近距離にあるわが強靱な鐵壁陣に對し、猪突侵攻する敵企圖の大膽さには呆れるが、これを單に無謀な企として、輕視することは断じて許されない

【廿八日發】諸島反復空襲後僅か五日目の廿二日午前敵は空母十數隻、戰艦八隻を基幹とする有力機動部隊をもつて、今度はマリアナ諸島東方海面に強引な再侵攻を企てて來た、わが本土防衛の重要戰略圏に飽くまで楔を打ちこまんと

つた米機動部隊は廿二日日本軍に依つて發見され同日夜から二十三日朝にかけて日本航空部隊の攻撃をうけ「結局優勢な米軍は日本航空部隊の攻撃を排除し豫定通り作戦を遂行し」と苦しい發表を行つたが、公報の最後の一句に「米機動部隊はマリアナ群島において日本艦隊を發見し得なかつた」といふ言葉が挿入されてゐるがその點が米消息筋の間でも問題となり軍事通は以上の如き表現からして米軍の企圖は全然達成されなかつたものと看做して非常に失望してをり、同時に米側の公報文が全般的に從來になく消極的であることも失望の念を一層深めさせてゐる様子である、日本軍が米艦隊に與へた大損害については依然煙被りを續け米軍の損害は僅かに飛行機六機を喪失したに過ぎないと述べるに止めてゐる

【リスボン廿四日發】ワシントン來電米國陸軍次官バートソンは二十四日開戦以來二月七日までの米軍損害につき次の通り小出し發表した

内 陸軍	死 一、一八、一二八名
内 陸軍	傷 一九、四九九名
内 陸軍	負 四、四九三名
内 陸軍	行方不明 九、三二二名
内 陸軍	死 二、六、七四五名
内 陸軍	傷 二、六、七四五名
内 陸軍	負 二、六、七四五名
内 陸軍	行方不明 二、六、七四五名
内 陸軍	死 三、九、七三三名
内 陸軍	傷 三、九、七三三名
内 陸軍	負 三、九、七三三名
内 陸軍	行方不明 三、九、七三三名
内 陸軍	死 一、六、五〇六名
内 陸軍	傷 一、六、五〇六名
内 陸軍	負 一、六、五〇六名
内 陸軍	行方不明 一、六、五〇六名
内 陸軍	死 一、六、五〇六名
内 陸軍	傷 一、六、五〇六名
内 陸軍	負 一、六、五〇六名
内 陸軍	行方不明 一、六、五〇六名

一 般

一月中陸軍航空 部隊綜合戰果

大本營發表(昭和十九年二月四日十五時廿分)  
帝國陸軍部隊の一月中に於ける敵航空部隊に對する進攻及逆襲作戰の綜合戰果次の如し(既に發表せるものを含む)

一、支那方面	擊墜十四機(内不確實六機)
二、緬甸方面	擊墜三十九機(内不確實十五機)
三、バングラ海方面	擊墜七機(内不確實一機)
四、ニユーギニア方面	擊墜百六十機(内不確實四十五機)
五、ブーゲンビル島及ピスマルク群島	擊墜七十三機(内不確實十一機)
六、合計	擊墜三百七十三機(内不確實七十八機)

【リスボン九日發】キャンベラ來電

濠軍死傷六萬六千

# 支那方面

## 敵進撃 週間戦況

【南京四日發】 (二月四日發表)

引續き本週も敵の戰意、行動は殆ど見るべきもなく、依然續行中の各地における肅清討伐戰を除くほか、全般的に各戦線とも特筆すべき戰況は行はれなかつた、これは大陸におけるわが戰略趨勢が益々整備充實し、確乎不動のものとなつてゆくに反し、敵重慶政權が曩に行はれたわが常德進攻戦においてうけた潰滅的損害並に各戦域における全面的敗戦によつてその抗戦力が物心兩方面において相當の打撃を蒙つたことを物語りものである、なほ在支米空軍は數次に亘るわが連續的攻撃に蒙つた損害を打續く惡天候を利用して只管補強整備に奔走を續けてゐるのであり、今後におけるその動向は敵の呼號す

【南京廿五日發】 (二月二十五日發表)

わが陸軍航空部隊の敵空軍基地に對する攻撃はいよいよ熾烈を加へ、その奮闘を制壓すると共に多大の戦果を収めてゐる、即ち十八日には前進基地建甌(福建省)を又二十四日には同じく江西省における前進基地吉安に夫々奇襲攻撃を敢行し、滑走路その他に全彈を命中その大半を爆碎して一時使用不能に陥らしめた、最近敵空軍はわが攻撃の活潑化するに伴ひその受ける損害を怖れて専ら迴避戰法をとつてゐる様である、華北における剿共戰は着々成果を收め續行中であるが、最近においては河北高莊西北方孟家庄、冷泉、吟水の各方面において敵屍、俘虜一九四

【太原廿七日發】 晋冀魯豫邊區參議

年秉鈞は中共内部政策の矛盾と友邦日本の一貫せる道義に目醒め去る二

### 北 谷洪泉大隊長剿共戰

【石門十五日發】 定縣保安大隊谷洪泉大隊長は部下〇〇名を率ひ皇軍に協力、共匪肅清討伐の歸途去る十二日定縣に向ふ途中東通陽(定縣東方七キロ)において系統不明の敵數十名と遭遇激烈な戦闘を展開、谷大隊長自ら陣頭に起つて寡兵を指揮し腹を制壓交戦一時間に及んだが不幸腹部に貫通銃創をうけ再び立つた、なほ部下と知る小隊長を呼び「既に彈藥盡きたり部下を掌握して速かに〇〇の皇軍に連絡せよ」と命じ自らは拳銃を喉にあてて剿共戦の華と散つた

### 中 敵戰鬥機九江に來襲

【漢口十三日發】 去る十日午後五時十分ごろ中支九江地區に在支米空軍P40七機、P38一機が超低空で來襲したが、わが地上部隊は直ちにこれを邀撃してP40二機を擊破した、わが方には被害はなかつた、なほ墜落機を敵搭乗員は落下傘で降下したが星子(九江南方鄱陽湖西岸)北方でわが軍の捕虜となつた

### 南 香港に敵二十七機來襲

【香港十五日發】 十一日午後敵ノースアメリカンB25十七機が香港方面に來襲したが、わが海軍は激烈な空戦の後B25一機、P40三機計四機の敵機を擊破した、この戦闘でわが方未歸還機一機の尊貴性を出した

### 安慶附近に米機來襲

【〇〇基地三月一日發】 和平地區擾亂を企圖して執拗なるケリラ出撃を續ける敵在支米空軍は、廿九日午後二時二十分頃P38、P40、B25の戦機を連合二十數機をもつて安慶附近に來襲した、わが方海軍部隊の邀撃に忽ち一機を擊破(不確實)され、わが猛攻に狼狽した敵は爲すところもなく倉皇として遁走した

### 空 湖北省老河口を爆撃

【リスボン六日發】 重慶來電によれば日本航空部隊は五日午前湖北省西北部の老河口を爆撃したといはれる

### 陸軍遂川、南雄連爆

【〇〇基地十一日發】 我が陸軍航空部隊は十日夜半月明を利用して遂川飛行場を急襲、地上にあつた敵大型飛行機五乃至六機を爆碎、敵に甚大なる損害を與へて全機悠々歸還した

### 〇〇基地十三日發

二月十一日わが陸軍航空部隊は廣東省南雄及び江西省遂川兩飛行場に進攻左の大戦果を収めた

### 一、南雄攻撃

戰爆連合の編隊をもつて午前九時南雄飛行場に進攻滑走路を爆碎した

### 二、遂川攻撃

有力なる戦闘隊をもつて午前九時廿五分折からの惡天候を冒して遂川飛行場に進攻、敵戰鬥機P38、P40、P51など約四十機と激烈なる空中戦を展開、P38九機内不確實一機、P40一機、P51二機内不確實一機、合計十二機を擊破したわが方損害は自爆一機未歸還五機であつた

### 歸順續出

【太原廿七日發】 晋冀魯豫邊區參議年秉鈞は中共内部政策の矛盾と友邦日本の一貫せる道義に目醒め去る二

【リスボン十三日發】重慶來電によれば日本航空部隊は十一日の空襲にひき續き十二日午前再び廣東省の南雄飛行場に爆撃を加へた

### 南鄭、西安の敵基地爆撃

【〇〇基地十日發】わが陸軍航空部隊は九日戦爆連合の大編隊をもつて陝西省の要衝南鄭(漢中)の敵空軍基地を猛襲、わが爆撃機は悠々全彈を敵軍事施設に浴せ全機無事歸還した、次いで十日午前にはわが陸軍航空隊は急襲し爆弾の雨を降らせ滑走路を始め軍事施設を徹底的に爆砕全機無事歸還した

### 贛州飛行場を爆撃

【リスボン十三日發】重慶來電によれば日本航空部隊は十二日午前、江西省の在支米軍前進基地、贛州飛行場に猛爆を加へたといはれる

### 陸軍衛陽を爆撃

【〇〇基地十三日發】わが陸軍航空部隊は十三日早朝には湖南省の敵航空基地衛陽を強襲、敵に甚大な損害を加へた、この日敵の遊撃機は一機もなくわが荒鷲は滑走路その他地上施設に烈烈な爆撃を敢行して悠々全機歸還した

### 平南を爆撃

【リスボン十四日發】重慶來電によれば日本航空部隊は十三日廣西省東部の淨江北岸平南を爆撃したといはれる

### 丹竹飛行場急襲

【〇〇基地十六日發】わが陸軍の精銳は去る十三日夕刻在支米空軍がその前進基地として最近新設利用せんとした廣西省丹竹飛行場に對し奇襲先制攻撃を敢行、滑走路並に軍事施設を爆砕したが、重慶側も十五日の放送で同地より程近い平南の郊外が日本航空部隊の爆撃を蒙つた旨發表し、右事實を確認した、丹竹飛行場は廣西省東部にあり、最近米空軍が企圖しつつある支那沿岸海上輸送路攻撃に桂林、柳州などの基地はやゝ遠隔で行動が思ふようにならなため、同地まで基地を推進しその建設工事に狂奔最近漸く滑走路その他の施設をほぼ完成してゐたものである、敵のこの動向を嚴重監視中であつたわが荒鷲はこれを見逃す筈はなく、米空軍が同飛行場を使用する出鼻を叩き折つた譯である

### 建甌飛行場爆撃

【〇〇基地十九日發】十八日午後三時半わが陸軍航空部隊は爆撃隊をもつて建甌飛行場に進攻、滑走路を爆砕し一時その使用を不能に陥らした

### 海鷲南寧を急襲

【東京那海〇〇基地廿日發】帝國海軍航空部隊は十四日南寧(廣西省)の敵飛行場を急襲し、挑戦し來れる敵戦闘機群と空戦を展開、敵カーチスP4二機を撃墜したのち、飛行場並に軍事施設に猛襲を加へ多大の戦果を収めて歸還した、わが方は未歸還一機の貴い犠牲を出した

### 陸軍吉安を奇襲

【〇〇基地廿五日發】わが陸軍航空部隊は廿四日午後四時六分戦爆連合の大編隊をもつて、敵前進基地吉安(江西省中部)を奇襲したが、この日敵機の挑戦するものなく我軍は悠々吉安飛行場の滑走路の大半を爆砕して使用不能に陥らしめ全機無事歸還した

### 在支米空軍新空路打開に狂奔

【ビルマ〇〇基地廿九日發】辛くも命脈を保つ重慶にとつて唯一の輸血路であり、更にわが後方攪亂を呼號して齟齬する在支米空軍の命の綱とも云ふべきテンスキヤ、昆明間を結ぶ敵空輸路は、昨秋以來のわがビルマ方面陸軍の封鎖戦により今や全く輸血路としての機能を停止するに至つたが、この窮狀打開に腐心した敵側は最近遂に昆明テンスキヤ空路を廢止し四川省の新津並に宜賓とテンスキヤを結ぶ新空路を開拓した、新津は成都南西卅キロ、宜賓は敘府といはれ兩地ともテンスキヤを隔ること約一千キロ、昆明空路に比し遙かに東方に迂廻してゐるためにわが戦術の監視圏からは多少離れてゐるが、この新津-テンスキヤ、宜賓-テンスキヤ兩空路は世界で最も困難な航空路の一つである、僅か一千キロを越える大雪山系をはじめ峻嶒が聳え寒氣厳しく高原地帯には常に濃霧が立ちこめてゐるといふ氣象的に困難なコースでこの地形と氣象の困難を排除してどの程度まで輸送の實を擧げ得るか疑問とされ、早くも事故續出に悲鳴を上げてゐる有様である

## 東南アジア

### 佛 在支米空軍の暴舉

【ハノイ八日發】在支米空軍は最近連日の如く北部佛印に來襲がリラオス州ルアンアラバシ及びビエンチアーンを二時間に亘つて空襲にまた六日には安南南部ドンハ、カンチリ間を初めて空襲、佛印縦貫鐵道の旅客列車に機銃掃射を行ふの暴舉を敢てしたが、六日の列車襲撃に關し、佛印當局は八日左の如く公表した

戦爆連合よりなる米空軍編隊は去る六日午後北部安南において旅客列車を攻撃し、九名の死者、四十名の負傷者を生ぜしめた、その内三名は歐州人負傷者であるなほ在支米空軍は八日午後三時ごろにもラオカイ方面より北部安南地區に侵入何等なすところなく進走したが、侵入在支米空軍はハノイ以南地區に侵入する傾向が次第に顯著となりつつある

【ハノイ九日發】在支米空軍は九日午後三時頃數機をもつてハイフォン地區に來襲したがわが、地上砲火に阻まれ目的を達せず、同地郊外に銃爆撃を加へて進走した、わが方被害なし

【ハノイ十二日發】在支米空軍は十二日午前、午後の二回に亘り北部佛印トキンキン地區に侵入、ドーン、クワンエン、ウインエン地區に銃爆撃を加へ來つたが、わが方の被害は被害なし

【ハノイ十六日發】北部佛印に對する在支米空軍の來襲は最近頗るその度數を加へてゐるが、十五日にはB24四機をもつて北部安南に侵入、非軍事施設に銃撃を加へたが、その一機はタンホア附近日佛兩軍地上火器により同地北方二十キロの地點に墜され、機體は百米四方に四散、搭乗員六名は即死を遂げた

【ハノイ十八日發】トランスオーションの傍受の十七日シドニー電による、西南太平洋反樞軸軍當局は海上に撃墜される米機が夥しく、その都度搭乗員が饒の好餌になるのに苦慮して、今後搭乗員には特殊の饑除けの藥品を携帯せしむるに決定したといはれる、右藥品は搭乗員が帯に結び着け撃墜されて海中に落ちると容易に海水に溶け單に饑のみならずニユーギニア方面に多い鰐魚まで驅除する特效があると同電報は傳へてゐる

【ハノイ廿四日發】在支米空軍は三日の北部佛印の偵察に引續き二十四日午後二回に亘り十數機をもつて佛印支國境モンカイ方面より進入、ハノイ、ハイフォン、ドーン地區に來襲したが惡天候に阻まれて目的を達せず進走した

【ハノイ廿六日發】在支米空軍の佛印に對する空襲は最近漸次南下の傾向にあつたが、廿六日午前十時四十分ハノイ、サイゴン間の要地ツランを空襲した

【ハノイ廿七日發】在支米空軍は廿七日午後三時五分B25三機をもつてハノイ南方約八十キロのナムディン附近に來襲銃爆撃を行つたが人員被害なし

【ハノイ廿九日發】廿三日北部佛印に來襲せる米機B5二機はわが地上部隊の邀撃をうけ遁走中、遂に基地に歸投し得ず、蒙附近に墜落、機體は何れも大破、搭乗員數名は負傷したことが判明した

【ハノイ廿九日發】佛印總督府では最近における在支米空軍の佛印來襲狀況につき廿九日左の如く公表し無辜の良民に對する敵の暴舉を剔抉した

二月中在支米空軍は旅客列車、北部安南の非武装村落及びトンキン沿岸航行中の旅客ジャンクに對し爆撃及び機銃掃射を行つた、また十八日にはB25型爆撃機八機がモンカイ附近に來襲し、ハノイに投鏑中の支那ジャンクには支那人及び佛印原住民百餘名の船客が乗船してゐたが、三回は炎上八十名の死者を出した、二月一日から廿三日迄の盲爆に仆れた犠牲者數は死者百五十二名負傷者百七十二名に達した

**タ**  
**イ**  
**敵機バンコツクに來襲**  
【バンコツク七日發】敵空軍B24爆撃機數機は五日午後十時より約一時間に亘りバンコツクに來襲したが、日タイ兩軍戦闘機及び地上兵器の邀撃に遭つて狼狽、バンコツク市對岸のトンブリ市内及びバンコツク市北部に爆弾約四十箇を投下遁走した、わが方の損害輕微である

【バンコツク十一日發】昨十日夜十時半頃敵機十數機がバンコツク市上空に來襲したか日タイ兩軍戦闘機及び對空兵器の邀撃に遭つて例の如く盲爆したのち遁走した、我が方には

**大使館に被弾があつた他損害輕微**  
**ビルマ戰線**  
**ラングーン來襲の敵機四を撃墜**

【ビルマ一日發】ビルマ方面陸軍航空部隊は廿九日夜ラングーン上空に來襲せる敵爆撃機隊十數機を邀撃、壯烈な空中戦を展開、瞬時にしてB24四機(内不確實二)を撃墜、他を悉く撃退した、わが方損害なし、なほこの戦闘に夜間戦闘の妙を發揮した瀧口廣中尉(香川縣)及び山口文一准尉(鳥取縣)兩勇士に對しビルマ方面航空部隊最高指揮官〇〇部長より賞詞が授與された

**支**  
**重慶殘兵掃蕩戰果**  
【ラングーン八日發】昨年十月敵重慶軍はわが怒江作戰に於て一敗退を受け敗退した戰に、去る一月六日以來わが軍は緬甸境平野附近の山中に彷徨してゐた重慶敗殘部隊の掃蕩作戰を續行中であつたが、二月二日をもつて終了した戰果をおさめた

**緬**  
**中部地區で日英兩軍接觸**  
【イスタンブール二日發】ニューデリ來電「東南アジア軍司令官部は一日の公報において「緬甸國境線中部地區のチダイム地區で反樞軸軍は日本軍哨戒部隊と接觸、損害を生じた」旨發表した

**日本の反撃に作戦困難**

【リスボン二日發】インド駐屯重慶軍は米軍の手先に踊らされてビルマ公路に代る新輸血路の建設に苦力代りに使役され北部ビルマに通ずるフイコン地帯に進出を企圖しては鐵壁の防衛陣を布く皇軍にその出鼻を叩かれてゐるが、駐印支米軍司令官スチルウエルは一日皇軍の頑強な反撃を認めると共に同方面の作戰の困難を指摘して次の如く語つた

フイコン溪谷の重慶軍はビルマ北部への進出を企ててゐるが新ルートへの建設を阻止せんとする日本軍はこれに對し熾烈な反撃に出てをり日本軍は極めて頑強である、作戰の回数がいへば歐洲戦線に比して少ないが地形の困難な密林地帯である點を考慮すれば寧ろ活潑であるといへるであらう、重慶軍は作戰に従事する一方、新ルートの構築を進めてゐるが、しかしこの公路建設は極めて困難な工事でその成否は將來の戦局如何によつて決定されるであらう

**スチルウエル等防空壕に退避**  
【廣東十四日發】重慶電がビルマ前線報道として傳へるところによれば印緬支米軍司令官スチルウエルは本月初め重慶軍の蠢動するビルマ北部の戰線を観望したが、その際日本軍の砲撃は重慶軍司令部附近に集中し數發はスチルウエルの位置より二三百ヤードの距離で炸裂、スチルウエル等は防空壕内に退避して一晝夜の間外にも出られない目に遇つたといはれる

**重慶軍當局敗戦を自認**  
【廣東二十九日發】重慶放送によれば、重慶軍事スポークスマンは廿八日北部緬甸國境方面の戦況に關し、「フイコン溪谷においては重慶軍が現在以上前進することはなかなか困難であり、なんとなれば、日本軍は完全であり、日本軍に他の方面で不利な問題でも起らぬ限りこれ以上の進出は到底困難と考へられるからである」と述べ、重慶軍の敗戦を自認してゐる

**敵砲艇二隻を撃破**  
【ラングーン五日發】わが航空部隊は三日午前十一時三十分ラムレー島(アキヤブ南方)附近に出撃し來つた敵の砲艇に攻撃し六百噸級のものを二隻に至近弾を與へ撃破した、わが方損害なし

**フチドン正面より攻撃開始**  
**印度國民軍全面協同**  
大本營發表(昭和十九年二月七日十六時二十分)  
緬甸方面帝國陸軍部隊は、フチドンアキヤブ正面に於て反攻を企圖し、二月四日フチドン正面より果敢なる攻撃を開始せり、印度國民軍亦各方面の我部隊と協同戦闘中にして戰況順調に進歩しつつあり

**陸軍當局談**【ラングーン七日發】ビルマ方面陸軍當局は當面の戦況に關し次の如く語つた  
昨春ビルマ奪回を呼號しアラカン方面に蠢動を開始しわが反撃に遭つて遂にアラカンの悲劇をもつて潰滅し去つたのは未だ耳新しいことであるその後敵はビルマ奪回の妄念に執着し續け重慶を尻押して雲南方面遠征

**陸營敵陣を先制爆撃**  
【ラングーン五日發】昨春四月のアラカン慘敗の悲劇以來十ヶ月、依然としてビルマ反攻を呼號しつつわが軍を驅り立て怒江上流より逐次北ビルマ方面へ侵入を企圖したが、月初この機先を制して起上つたわが精銳のため徹底的に慘敗を喫し反攻の氣勢挫け怒江東岸地區の防備に専念する窮地に陥り、此窮狀につけ英の野望に對し遠征軍長官陳誠が憤然辭任したのも既に周知の事實である、焦躁やる方なき敵はマウントバツテン南アジヤ軍司令部の機構漸く整ふに及んで再度英第十四軍の主力と戦車中隊、火砲まで繰出してアキヤブ北方モンドウを圍り、一旦わが方が戰略的に無價値として撤退したモンドウへの進出を以て鬼の首でも取つた如くチャーチルまでが祝電を送るといふ狂喜ぶりで眞に笑止の限りであつた、かねてこの敵の企圖を充分に察知せるわが軍は祖國獨立への熱意に燃えて進軍しつつあるインド國民軍と密接なる連繫のもとに鐵桶の布陣を敢行、充分敵を陣前に引ついで徐々に戦機を熟するを待ち満を持して放たなかつた、二月四日節分の佳き日遂に惡魔拂ひの進撃は開始せられた、命令一下諸部隊は相呼應して一齊攻撃の火蓋を切り烈々たる鬪魂のもと敵の策源地〇〇方面めざして所在の敵を撃破進撃中である、インド國民軍の士氣はまた極めて旺盛、一舉にベンガルの要衝チツタゴンを奪取せんと意氣込んで堂々の前進を續けてゐる





く若干の戦略的後退をなすやチャール英首相は有頂天となり愈々マウ

アラカン作戦の経過概要

一、八十一兩師を後方に備へ、モンドウ、ブチドン間マニ山系に英印軍

英印軍第七師の大半を殲滅

大本營發表(昭和十九年二月廿九日十七時)

【〇〇基地二十日發】ビルマ英印軍がビルマ奪回の觸手を動かしたのは

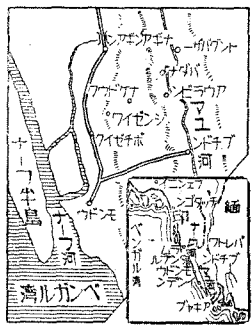
五師は師團長H・B・ブリック少將の下に第百三十二、第百六十九兩旅團をもつて編成され、モンドウ北

一、二月九日以降英印軍第七師團主力を、ブチドン西北方シンゼイワ

に亘つて出撃、第一回出撃にはベグナリー(モンドウ對岸)附近ナリー

河を上において敵船團を捕捉、一、千トン級一隻に直撃弾を五百乃至一、千

二、印度國民軍亦我と協力大なる戦果を擧げつつあり



北方地區に西阿から派遣した第七十

を結ぶ線に引きつけ、敵一撃撃滅の機を熟するを待機してゐた、我が精鋭部隊は二月四日拂曉を期して、攻撃の火蓋をきるや、我が挺進部隊は五日マヌ河左岸の敵中を突破してトングバザールを占領、間も無く、進路を急轉し二隊に分れて西進、一氣にマヌ山系の峻険を突破、敵第七師の背後を衝くとともにマヌ河畔の要衝ナギヤンギヤンを陥し、マヌ河に架された敵唯一の自動車道路上の橋梁を破壊する一方、モンドウ、ナギヤンギヤン中間のワーピン北方道路を遮断してモンドウ正面の敵第五師の退路を扼し敵の意表に出た、これに呼應して、ブチドン正面の我が部隊も攻撃を開始し、敵の指揮混亂に乗じてナゲドウク峠を抑へ敵の補給路を中斷して敵第七師をシンゼイワ盆地に完全に包圍した、この前半の作戦は我が行動開始以來九日迄の僅か六日間で形成されたもので、これにより、ビルマ奪回を企圖する敵第十四軍の主力第七、第五の兩師に對する大包围殲滅戦の態勢は完整されたのである、かくて愈よ敵第七師に對する包围作戦は敵の最後の足掻きにも拘はらず次第に壓縮され、敵第七師の主力は我が完全なる包圍下に曝され、我が我がのため混亂の極に達した敵軍は輸送機により英軍高級將校の脱出に汲々とする等敵英軍の指揮系統は拾収すべからざる潰亂状態に陥り、我が空軍の壓倒的攻勢と相俟つて遂に第七師の大半は殲滅されるに至つた、この間敵第五師は勿論、雲南遠征軍並に緬印國境カラダ

ふ爲體であつたことは敵の指揮系統が如何に不統一で而かもその戦意の低劣であつたかを明らかに示してゐる、一方今次作戦に参加し我が軍に協力奮戦した印度國民軍は英印軍中の印度兵の投降は續出、その跡を斷たざる状態を呈し敵英軍に對し深刻なる恐怖を與へてゐるが、皇軍は印度國民軍の勇敢なる協力の下、山嶽、水郷、濕地帯等の作戦上の惡條件を克服し、よく善謀勇戦、この赫々たる戰果を収めるに至つた、我が將兵の言語に絶する勞苦に對しては全國民均しく肅然襟を正し、心から感謝の誠を捧げなければならぬ、今次の敵第七師殲滅戦の成功は、融通無碍なる内線作戦と果敢なる敵退路遮断作戦とを併用せる典型的な包围作戦の結果にして、敵がうまうまと引つかかつた我が誘引戰術は大東亞戦史に特筆すべき巧妙なる戰術であつた、かくて敵のビルマ反攻は英印軍第七師の殲滅により、戦前の誇大な揚言にも似ずただ徒らに英軍の戦力、士氣の薄弱なる實體と、作戦の拙劣さを露呈したのみで、我が前線將兵の敵撃滅の闘魂の前に、敵のビルマ反攻はさきのアラカンの悲劇ととも世紀の悲劇と化しつゝある、而もこの失敗は爆發寸前の印度内部並に敵米英の間に躍る重慶陣營に甚大なる影響を及ぼすべきものとして重視される

敵主力を肉彈蹂躪

【ビルマ前線〇〇基地發】 戰車〇〇輛、火砲〇〇門、自動車〇〇輛をもつて死物狂ひの抵抗を續けるシンゼイワ盆地の英第七師主力五千に對し

包围網を刻々壓縮しつゝあつた我が精銳諸部隊はいよいよこれに最後の止めを刺すべく廿三日夜半より熾烈な攻撃を開始し、〇〇部隊長自ら陣頭に立つて敵陣に殺到、物量を持て敵と壯烈な肉彈戰を演じつゝ主力部隊は敵を蹂躪、これを潰滅して二九高地とナゲドク南方二軒の高地を結ぶ線に進入、他の一部隊は敵の左側を迂回してシンゼイワ南方〇〇高地の敵三ヶ大隊を殲滅して南下しブチドン西方高地による殘敵に對し掃蕩戦を開始した、かくてシンゼイワ盆地を中心に二旬に亘つて展開された英第七師の包围殲滅戦はここに終りを告げ右往左往する殘敵の掃蕩戦に移行したのである、アラカンの悲劇は我等の豫期せる通り再び實現し敵が呼號したブチドン正面よりビルマ反攻企圖は完全に挫折した

友軍の殲滅を第五師拱手傍觀

【〇〇基地一日發】 マヌ山系シンゼイワ盆地における英印軍第七師はその大半を殲滅されるに至つたが、ナ

イワ河畔の第五師はモンドウ方面より進撃する皇軍部隊の脅威にさらされ、何等なす術もなく友軍の殲滅されるのを見ながら拱手傍觀の態であり、また緬印國境を南下した英印軍第八、十一師も、ブチドン東北方二十餘キロのカラダ河谷でわが〇〇部隊の果敢なる反撃に前進を阻まれ〇〇部隊との間に前哨戰を反覆しつゝあるに過ぎない

荒鷲作戦日誌

【ビルマ〇〇基地廿九日發】 ビルマ奪回の掛聲喧しく敵が營々一ヶ年の

苦心になる南部緬印國境の英印軍一個師を一舉に包圍殲滅した今次アラカンの作戦に直接協力したビルマ方面陸軍航空部隊は去る四日敵の主要據點モンドウ地區を爆撃を皮切りに地上進撃部隊に呼應壓倒的の量を頼んで反撃する敵機を隨所に撃退しつゝ常に先制、敵企圖を覆す果敢な對地砲爆撃を續行、遂に十三日アラカンの一角に追ひ込んだ敵主力部隊五千への猛烈徹底の急降下爆撃によつて痛烈な殲滅の幕を決定づけられたのであつた

△四日 地上の拂曉戦に呼應進發した戰團機隊及び急降下爆撃隊はモンドウ上空に進攻、滯空中のスビットファイヤー一及び機種不明一、合計二機を血祭にして敵砲兵陣地に突撃し急降下爆撃を敢行して高射砲一門高射機砲五門を爆碎、更に自動車及び密集部隊に大損害を與へて緒戦に於いて既に敵心膽を寒からしめた

△五日 ブチドン地區に進攻の軍隊は小瘡にも挑みかかつたスビットファイヤー約四十機と熾烈な空中戦を展開その十五機を撃墜したが、急降下爆撃隊は附近の道路上に充満せる敵自動車群に狙ひ打ちの猛爆を行ひその一部を炎上せしめ、五日夜早くも浮立立つた敵自動車群連走の報に勇躍基地を飛び立つた荒鷲爆撃隊は圖々しくもライトを點けつばなしの自動車群をボンナズエク、ナゲドク路に捕捉、巨彈を浴びせてその一部を炎上せしめ敵の意表に出た初の夜間爆撃は戰略上豫期以上の効果を生んだ

△七日 夜半皎々たる月明を利用して再度ボンナズエクを猛爆、敵敵密集部隊及び集積せる軍事資材に巨彈を浴せて大損害を與へた

△八日 全面的反攻に雪崩を打つて遁走する敵軍を急進戰團機及び急降下爆撃隊はナゲドク河畔ナゲドク附近に敵船群を捕捉、一千トン級一隻に直撃弾を與へ、また五百トン乃至一千トン級四隻に至近弾を浴せて五百トン級一隻を大破せしめたが、更に一隊は敗走路の關門ナゲドク及びボリバザールに集積する敵密集部隊及び彈藥集積所を爆碎、更にボリバザール以南の道路上に充満する兵員滿載の自動車群を急襲、直撃一、炎上二、顛覆三、兵員多数を殺傷甚大なる損害を與へた、又この日無敵軍戰團機は挑戰の敵機と交戦、ハリケーン四、スビットファイヤー二、大型輸送機一、合計七機を撃墜した

△九日 引續き敗敵を追つてワピン上空に進攻、遁走中の敵自動車五十數輛を銃爆撃してその大部分を擱座炎上せしめたが、この日の空中戦においてハリケーン三機スビットファイヤー五機合計八機を撃墜した

△十日 愈よ混亂する敵輸送路を切断すべく戰爆連合〇〇機の大編隊をもつて再度ボリバザールを強襲、密集部隊を銃爆撃するとともに同部落北西部ナゲドク河支流の軍區を爆碎した

△十一日 夜連日の息をもつかせぬ荒鷲の猛進撃に四分五裂した敵部隊を急迫、同夜はまづボリバザール及び

ケンチャカ部落に集結の密集部隊  
軍事資材を痛傷、五ヶ所より火災を  
生ぜしめ、またナリフ河支流の同部  
落附近を蛇行進走せんとする敵船一  
隻を炎上せしめた

△十二日 夜續いてボンナズエックに  
集結を急ぐ敵車輜群、軍需資材を爆  
撃、凡そ五箇所においてその大部分  
を炎上せしめた

△十三日 八日以來完全なるわが地  
上部隊の包围にありながらも戦車  
自動車の大群及び優秀なる火砲をた  
のむ敵主力五千がマヌ山系の盆地シ  
ンゼイワ部落に布陣して無益の抵抗  
を試みんとするに對し連日連夜の出  
撃にも疲れを知らぬ荒鷲隊は精銳地  
上軍の總進撃に呼應、これに最後の  
止めの一撃を下し、急降下爆撃隊  
が熾烈なる防禦砲火を潜つて戦車、  
貨車群に全滅的損害を與へて兵員多  
數を屠れば無敵戰機隊また敵十數  
機と交戦スピットファイヤー四機を  
撃墜敵主力はかくて致命的大打撃に  
いだのである

△十三日 夜四散せる敵は又もや敗  
走關門ボンナズエックに集結中との報  
に引續き爆撃隊は同部落を強襲山積  
する軍事資材を悉く灰燼に歸せしめ  
た

△十四日 夜引續き夜間爆撃隊はモ  
ンドウ地區に出撃、蠢動する敵密集  
部隊に手練の巨弾を叩き込んで悠々  
歸還した  
△十五日 今や斷末魔の敵主力の命  
の綱、空の補給を斷絶すべく、無敵  
戰機隊は再びシンゼイワ上空に進  
攻スピットファイヤー、ボーファイ  
タ、ハリケン等機種とどりの敵  
戰機群に突入してスピットファイ  
ヤー十機ハリケン二機合計十二機

を撃墜他を悉く撃退した、撃墜合計  
四十八機  
△十八日 午後、急降下爆撃隊及び  
戰機隊は更にカラダン河支流のテ  
ンヨウ部落を強襲、英印密集部隊約  
二千に徹底的猛爆を敢行してその大  
部分を潰滅せしめた、なほ戰機隊  
は遭遇せる敵ハリケン二機を撃墜  
した、撃墜累計五十機

△廿二日 モンドウ・ボンナズエック  
道路上のジャングルにおいて最後の  
抵抗を試みんとする敵重砲陣地を奇  
襲せるわが戰機連合の大編隊は必殺  
の急降下爆撃をもつて完全にこれを  
沈黙せしめた、かくて氣息奄々無意  
味な反撃を繰返した敵英印軍第七師  
は遂に廿四日夜までに大半潰滅しわ  
が精銳地上部隊は目下殘敵掃蕩中で  
ある

### ボーヌ最高指揮官聲明

【ビルマ〇〇基地廿九日發】ビルマ  
反攻の夢空しくアラカンの悲劇を再  
現した英第七師團の潰滅は日本と密  
接なる協力の下に祖國の解放に進撃  
するインド國民軍の輝しき門出の凱  
歌であり、この快報に接しボーヌ最  
高指揮官は左の如き聲明を發した  
英第七師團主力の潰滅は誠に快報で  
ある、殊にインド國民軍部隊が日本  
軍との密接なる協力の下にアラカン  
の地に英軍を撃破し英國に對する最  
初の戰闘に輝しき勝利を記録したこ  
とは更に喜ばしきことである、この  
事は又マウントパツテンが呼號した  
ビルマ反攻が不名誉なる結果に終つ  
たことを示すものである、アラカン  
の敗北が在印英軍の士氣に及ぼす影  
響をごまかすことは出来ない、マウ  
ントパツテンの率ゐる軍隊は死の陷

穿へ走りこんだ、余はマウントパツ  
テンがどのやうな辯解をチャーチル  
やスチルウェル、蔣介石にするかを  
いぶかしく思つてゐる、チャーチル  
は恐らく早計にもマウントパツテ  
ンに、モンドウ奪還の祝電を送つたこ  
とによつて彼自身が世界の笑草を作  
つたことを残念がつてゐるだらう、  
若し彼が第七師團が自滅の運命への  
盲進以外に何等の地點をも奪回しな  
かつたと云ふことを知つてゐたら  
「沈黙は金なり」との金言を思ひ浮  
べたであらう、蔣介石は在印英米聯  
合軍が次の雨季までに相當の成功を  
収め、ビルマ公路の再開が實現する  
と言じたことに失望させられたに違  
ひない、そのビルマ公路を再開する  
どころか、マウントパツテン軍はビ  
ルマ前線に決定的打撃を蒙つたので  
ある、蔣介石は最早マウントパツテ  
ンの向う見ずといふ空手形に望みを繋  
ぎ得ない、スチルウェルは英國の統  
禦や軍略、英軍部隊の戦闘力には全  
く愛憎をつかずに違ひない、チャ  
ーチルについてはこれ以上マウントパ  
ツテンに祝辭を浪費する必要は無い  
譯だ、一九四二年六月におけるビル  
マからの潰走、昨夏の第一次アラカ  
ンの悲劇、そして英軍にとつての敗北  
の連鎖であり、インドにおける彼等  
の最後の崩壊を物語に相應はしい前  
奏曲である、前線における戦友の勝  
利に印度國民軍將兵の間に漲る感奮  
の波はまだ全東亞印度人の間に湧  
き上つてゐる、今は祖國に致命的打  
撃に限りなく慰められたことを信じ  
て疑はない、余は同胞が現在ビルマ

の再建と稱してタイプライターの上  
でビルマを統治し紙上計畫を弄んで  
ゐるビルマ總督と稱するレヂナルド  
マンスマスの活動を茶番劇として片  
付けることと確信する

### 雲南遠征重慶軍も戦力低下

【ビルマ前線〇〇基地廿六日發】西  
南太平洋上における反攻をアメリカ  
の手に委ねビルマ奪回に關する限り  
雨季明けともビルマ總反攻戦を展開せ  
んと豪語した東南アジア反樞軸軍司  
令部は既に十一月、十二月、一月、  
二月と雨季の四ヶ月を経過をして  
總司令官マウントパツテンが正式就  
任した十一月十九日からして九三ヶ  
月總反攻を呼號せる面目は何處へや  
ら、徒らに北部緬印國境フロン地  
區における敗戦、南部緬印國境にお  
いてはアラカンの悲劇を繰返しつつ  
敵が眼目とするビルマの奪回とその  
政治的企圖さらに重慶の抗戦強化等  
微塵の効果も擧げ得ず、今や敵が企  
圖せる凡ゆる計畫は畫餅に歸せんと  
してゐる、かくて残る乾季三、四、  
五の三ヶ月間において敵は更に敗戦  
の足掻きを續けるであらう、目下フ  
ロン地帯に於いては在印重慶軍三  
ヶ師に加ふるに英米兩軍をもつてし  
てなほ且皇軍の猛攻を受け、ブチド  
ン、モンドウ正面では其主力がシン  
ゼイワ盆地の我が包圍鐵環内にあつ  
てバリケードを築き憐い抗戦を續け  
しかもこの南北西緬印國境における  
戦を敵は未だに前哨戦と稱してその  
敗戦の規模の小たることを内外に宣  
傳してゐる有様である、なほ且つこ  
の敗戦の真只中にあつて米英重慶反  
日發】東南アジア軍司令部はアラカ  
ン戦線の戦況に就き七日次の通り發

印度兵の逃亡對策に就いては「貧民  
救済」に名を藉り、食糧飢饉に喘ぐ  
印度民衆を欺いて強制徵用するの鬼  
畜振りをみせ、たまたまダナンケル  
生振り組の印度兵に足止め故國に歸  
るや彼等を一ヶ所に足止めしアラカ  
ン戦線始め緬印國境方面に關する戦  
況についてはマウントパツテン司令  
部の發表する公報すら彼等に知らし  
めず、只管アラカン再度の悲劇を蔽  
ひ隠さんとするなど、その焦燥振り  
は笑止の限りである、なほ怒江東岸  
の雲南遠征重慶軍の現状を見るに陳  
誠の後を襲つて總指揮官代理となつ  
た衛立煌の着任後は愈々重慶將兵と  
米將校の反目は激化の一途を辿り、  
その戦力低下の一例を馬匹にとると  
大體昨秋一ヶ師に二千頭を持つてゐ  
たものが昨今では約二百五十頭とい  
ふ貧弱さまで剩へ「大理」附近その他  
に跳梁する匪賊討伐に忙殺され、更  
に加ふるに皇軍の進撃に兢々として  
その戦意は頓に衰へてゐる、この窮  
狀に加ふるに敵は緬印國境において  
我が軍に協力する印度國民軍へ投ず  
る印度兵が續出する嚴然たる事實が  
あり、これを覆ひ隠さんとして我が  
方に投降した印度兵の俘虜が慘酷な  
扱ひを受けゐるなどと最近ロンドン  
、デリーから盛んにデマ放送を行  
つてゐるが、かかる遠慮なしデマ宣  
傳は徒らに敗戦の事實を裏付けるだ  
けで却つてチャンドラ・ボース總帥  
の下に投じた印度兵の士氣を愈々昂  
めるといふ逆効果を生んでゐる

### 敵側も敗戦を認む

トング・バザイを占領【リスボン七  
日發】東南アジア軍司令部はアラカ  
ン戦線の戦況に就き七日次の通り發

表した

一、アラカン戦線では五日日本軍の反撃力が増大し、日本軍奇襲部隊は反樞軸軍偵察部隊の隙を衝いて進撃し五日トング・バザーを占領した右戦線に續いて五日夜まで兩軍入り亂れての激戦が展開され、日本軍は翌六日もトング・バザー西南で攻撃を續行した

日本軍の多方面攻撃に悲鳴【リスボン十三日發】ニューデリー來電によればマウントバツテン司令部は十二日の戦況公表に於て「アラカン戦線の日本軍はトング・バザー西南に在る反樞軸軍兵站線及び防禦陣地に對し攻撃を續行した、日本軍の一部は依然反樞軸軍の背後に進出してゐる反樞軸軍はしばしば多方面から同時攻撃を蒙つて居り、この方面では過去九日間に亘つて激戦が續行されてゐる」と發表、更に翌十三日には同司令部は次の通り發表した、マニ丘陵の東方及び西方で激戦續行中で戦況の歸趨は豫斷を許さない、反樞軸軍は日本軍の頑強な抵抗を蒙りつつ兵站線の回復に努力してゐる

なほ、トング・バザー東北方のカラダン地区に於ても激戦續行中といはれる

ナガケドウク峠東端に突入【リスボン十三日發】UPニューデリー特派員はアラカン戦線の戦況に就き次の通り報じてゐる

日本軍は迂回作戦によつて英軍の背後を衝きナガケドウク峠の東端に突入し、英軍と激戦展開中である、マニ丘陵の東方では日本軍は反樞軸軍前線背後の兵站線に對して攻撃を加へて居る

四日發】ニューデリー來電

東南アジア軍司令部は十四日アラカン戦線の戦況に就き次の通り發表した

日本軍はマニ丘陵を通過してナガケドウク峠の東端附近の英軍陣地を攻撃中であるが日本軍の一部は英軍の背後にまはり同峠西方の一村落を占領した

激戦の後敵陣地を占領【リスボン十四日發】マウントバツテン司令部は十五日公報に於て「日本軍は激戦の後十四日早朝トング・バザー西南の反樞軸軍陣地を占領した、反樞軸軍は引續き兵站線を回復しようと努力してゐるが、日本軍の頑強な抵抗と反撃を蒙つてゐる」と發表した、なほ右發表によれば北部ビルマのフーコン溪谷では日本軍がタイアガ部落の東北及び南方の兩地點で重慶軍と接觸したといはれる

有力挺身部隊敵兵站線を切斷【リスボン十六日發】マウントバツテン司令部は去る十二日の公報に於て皇軍挺身部隊が反樞軸軍の背後に進出して兵站線を切斷した事實を確認、次で十五日の公報では「激戦中心地たるトング・バザー西南で皇軍が反樞軸軍陣地を占領した」と發表するに至つた、またAP通信ニューデリー特派員は十六日の報道に於て反樞軸軍陣地内に突入した皇軍挺身部隊は兵力約〇〇名の有力部隊であり、英印軍と白兵戦を展開したと報じ目下

ブチドン北方ナガケドウク峠近傍で激戦續行中であると述べてゐる

餘儀なきに至つた」旨發表した

皇軍の包圍攻撃に苦戦【リスボン十七日發】ニューデリー來電に依れば東南アジア軍司令部は十七日アラカン戦線の戦況に就き次の通り發表した

アラカン戦線ではブチドン西方及び西北方で若干の局地的戦闘が展開された、反樞軸軍主要兵站線上の要衝たるナガケドウク峠近傍では、日本軍が反樞軸軍を包圍しようとして新攻撃を展開したが、印度第七師團は陣地を死守した

皇軍兩丘陵を占領【リスボン十七日發】ニューデリー來電

東南アジア軍司令部は十六日夜次の通り言明した

アラカン戦線ナゲトクにおいて日本軍はマニ山系の峠を見下す兩丘陵を十四日夜占據した、英軍はモンドウ北方の有力な陣地から撤收した

英印軍に對し間斷なき攻撃を加へ來つたためわが身は無用の消耗をさけ一時撤收したが、今回再びこの方面で激戦が展開されるに至つた、日本軍の攻撃は熾烈かつ地の利を占めてゐるから英印軍の努力は並大抵ではない、しかし日本軍は決して單なるモンドウ地帯の確保に満足せず、更に進んでインドにまで進入せんとしてゐる、この際インド民衆は冷靜を持して日本軍の進攻に備へなければならぬ

英軍の攻勢頓挫【リスボン十八日發】ニューデリー來電

東南アジア軍司令部は十八日の公報において左の如く發表した

一、マニ山脈地区において反樞軸軍部隊は北方より攻撃を企圖したが、日本軍の極めて熾烈な砲火に遭遇し反樞軸軍の攻撃は頓挫するに至つた

一、ナゲドク峠においては戦闘繼續中である

日本軍快進撃【リスボン十八日發】ニューデリー來電によれば、東南アジア軍司令部は十七日の公報において日本軍の優勢を認め、左の如く發表したと云はれる

本軍の砲火に依り前進を阻止された

一、アラカン溪谷に於ては激戦が繼續してゐる

數回に亘つて敵陣猛攻【リスボン十九日發】ロイター通信社

ニューデリー來電に依れば東南アジア軍司令部は十九日次の如く發表した

一、反樞軸軍はナゲドク峠に於て日本軍の熾烈な攻撃に遭遇してゐる

一、マニ山脈東方地区に於て車隊一日發】マウントバツテン司令部は廿日の公表に於て、英軍は英軍陣地

の背後に突入した日本軍部隊と激戦中であり、英軍兵站線は依然脅威に曝されてゐると述べ、更に次の如く報じてゐる

英第七印度部隊は日本軍がナゲドウ峠を通ずる兵站線を遮断したため孤立化した他の英軍部隊は同部隊を救援しようとしてゐる、しかし日本軍は英軍の救援を出来るだけ困難ならしめようとして英軍兵站線上に食ひ込んでゐる、また十八日夜日本軍挺身部隊はモンドウ北方〇〇哩の道路上に突入するに成功した

またPニューデリー電報は次の通報じてゐる  
ナゲドウ峠の東端が依然戦局の中心になつてゐる

アラカンで激戦續く【リスボン廿二日發】東南アジア軍司令部は二十一日の公表に於て「ナゲドウ峠東端附近では第七印度師團が孤立状態に陥り、目下兩軍入り混り亂れての激戦が展開されてゐる」と發表した

ナゲドウ峠で激戦【リスボン二十七日發】ニューデリー來電「アラカン戦線に作戦中の英第十四軍の一將校は戦況に就き次の通り言明した  
ナゲドウ峠の攻防戦は今や最後の段階に突入した、日本軍は過去十六日間に亘つて同峠を俯瞰する重要高地を占領してゐる、同高地の日本軍のためナゲドウ峠を占領しようとする反樞軸軍の作戦は阻害されてゐる

またマウントバツテン司令部の公表によれば日本軍はプチドン・モンドウ街道の北方地区でも攻撃を續行中であり、更に中部戦線チン丘陵地区でも兩軍偵察部隊の衝突が行はれてゐるといはれる

チン丘陵で激戦【リスボン廿八日發】ニューデリー來電「東南アジア軍司令部は緬甸戦線の戦況に就き二十八日次の通り發表した  
一、アラカンの主要戦線では二十七日戦況は著しく不活潑化した  
二、二十六日夜、日本軍がモンドウ一、二十日街道北方の丘陵地帯で攻撃を加へて来た

一、中部戦線のチン丘陵地帯では二十七日、日本軍大部隊が反樞軸軍陣地に對し反撃を加へ來り、熾烈な戦闘の後、反樞軸軍の一部は若干の後退を餘儀なくされた

# 印度方面

## チャトラプールを初爆撃

【ベンナン六日發】帝國海軍航空部隊は四日夜間長驅してインドベンガル灣に進攻、セイロン島北方六百哩のチャトラプール附近の敵陸上施設を初爆撃して全弾を命中、四ヶ所に炎々たる大火災を認めて全機無事歸還

## 海鷲タコタコンダ爆撃

【ベンナン七日發】わが海鷲は五月初明印度洋ベンガル灣沿岸のチャトラプール南西方二百二十哩のタコタコンの敵軍事施設を爆撃、三ヶ所を炎上せしめ更にベンガル灣沿岸を航行中の敵輸送船團護衛艦を發見するやこれに爆撃を加へて全機無事歸還した

## 海鷲カルクダ附近を強襲

【ベンナン十日發】わが海鷲のインド方面敵基地に對する攻撃は引續き強引に反覆され、七日未明には長驅セ

イロン島カルクダ附近の敵陣地を強襲、敵軍事施設に巨彈の雨を降らせこれを爆砕、次いで九日未明にはチツタゴン沖で八千噸級の敵輸送船を捕捉し直撃弾を浴びせこれを撃沈した、我が方何れも損害なし

## 海鷲インド洋に進攻

【ベンナン十二日發】帝國海軍航空部隊は十一日未明長驅インド洋に颯翼を延ばしカルカタ方面を攻撃、カルカタ下航のガンジス河三角洲附近で敵大型輸送船一隻を爆撃大破せしめ、無事歸還した

# 濠洲方面

## 一ニユーギニア

## 敵機來襲益々熾烈

【南太平洋前線基地發】ニューギニアのわが基地に對する敵空軍の來襲はいよいよ熾烈を加へてゐるが、わが部隊はこれを邀へ善戦敢闘、次の如くその都度敵に多大の損耗を喫せしめてゐる

一月卅一日「マダン西北約百キロ、プナブんにB25十三機、P40十二機、計二十五機が來襲、わが地上火器により、その一機を撃墜した、わが方輕傷一名

二月二日「夜間ニューギニア島西端ケタワに敵大型爆撃機五機が來襲、わが守備部隊は對空砲火を以てこれと交戦撃退した、わが方被害なし

二月三日「マーチンB26十一機、B24一機がハンサ地区に來襲、わが地上火器の奮戦によりB26五機を撃墜した、わが方戦死一名午前九時頃B24、P38、P47、計九十六機がウエワクのわが飛行場に來襲したが、わが方これを邀撃、B24二機を撃墜した、わが方は地上において五機大破又は上方の損害をうけた

二月四日「午前B25七十三機、P40二十三機、ユアラコブラP39二機、計九十八機の大編隊をもつてわがマダン地区に來襲、わが地上火器はこれを邀撃してB25三機(内不確一機)を撃墜した、わが方は戦死一、輕傷三、その他損害頗る輕微であつた

二月五日「午前ハンサ地区に二回に亘りB25、A20、P40、その他延機數百十三機の敵機群が來襲、低空をもつて爆撃を加へ來つた、わが空陸部隊はこれを邀撃、五機内(不確實一)A20十四機、合計十九機を撃墜した、わが方の損害は戦死一、負傷數名、午後P40二機がマダン地区に來襲し銃撃を加へ來つたが、わが方は地上火器をもつてこれを邀撃、直にその一機を撃墜、他の一機を遁走せしめた、わが方損害なし

二月六日「午前ウエワク地区にP47B25、延五十七機が來襲したが、空中戦によりB25、高射砲によりP47各一機を撃墜した、わが方の損害輕微、正午頃B25三機がマダン西南南方地区に來襲したが、わが地上火器により三機とも叩き落された、我方損害なし

二月八日「早朝にはウエワク地区にP47十一機が來襲、わが戦闘機隊はこれを邀撃、その一機を撃墜した、A20は米國ダグラス會社製で、通稱

ボストンと稱するものである、同種は舊式のものに屬し、特に夜間攻撃機として歐洲戦線では既に使用されてゐたもので、英軍はこれをサブツクと稱してゐる

二月十日「午前十時半頃、B24、25P47、計八十數機がニューギニア島ウエワク飛行場に來襲したが、われは高射砲に依りこれを邀撃、B25二機は火を噴かぬ、B24二機に黒煙を發せしめた、當日は非常に曇天だつたため戦果は確認されなかつたが、右三機は恐らく撃墜されたものと認められる、わが方の損害は地上に於て飛行機一機炎上したのみ

一月十二日「午前マダン西南方地区にP43十四機が來襲したが、わが地上部隊はこれを邀撃地上火器によりその二機を撃墜した

二月十四日「午前九時頃B26、P40P47、計約九十機がウエワク、プナブんに來襲、わが航空部隊並びに地上部隊はこれを果敢に邀撃して空中戦によりP40を四機、B26を四機計八機を撃墜、又對空火器によりB26計二機、P40を一機計十四機撃墜、總計二十二機を撃墜した、同戦線におけるわが方の損害は未歸還戦闘機二機、地上においては損害殆どなし、午前マダン西南方地区においてB47五機が來襲したのをわが地上火器によつてその三機を撃墜した、わが方の損害は負傷者一名のみ

二月十五日「午前八時過ぎウエワク北方海上のわが船團に對しP40、P47、計約六十機の敵編隊が攻撃し來つた、これに對しわが戦闘機隊は果敢に突入し壯烈なる空中戦を展開、P40五機を撃墜し敵編隊を撃退した

この際我が方に未歸還三機の意い機

性を出したが、船團には何ら損害がなかつた、特に清水曹長機は十四日ウエック遊撃戦においてB26三機を撃墜するといふ戦果をおげたが、この日もまたP40二機を撃墜、その赫赫たる功績は部隊の賞讃の的となつてゐる、またこの日午後五時半頃我が他の一隊はウエック西南約百八十キロのヌルに設定中の敵飛行場を爆撃し、これに大損害を與へた

二月十六日午前七時頃P46四機マダン南方地区に偵察に飛來したがその一機は自ら火焰を吐いて墜落した二月二十二日午前、西端ケクワに機種不明の敵機七機來襲、わが部隊はその一機を撃墜した、わが方損害輕微

二月二十五日十時より十時半頃まで二次に亘つて敵機B24、B25、B26延約八十機が我がウエック陣地に來襲、我が方はこれを遊撃して高射砲によりB24二機、B25一機、B26五機計八機(内不確實四機)を撃墜して他を遁走せしめた、我が方の損害は戦死四名であつた

二月廿八日午前九時ウエック附近に敵B24、P40、P38計約卅機が來襲、わが方は地上火器を以てこれを捕捉、齊射を浴せてB24二機に白煙をはかせてこれを遁走せしめた、わが方の損害は殆んどなし

敵輸送船團連續爆撃

【南太平洋〇〇基地三日發】一月廿一日午後、帝國海軍航空部隊はニューギニア、フィンシハーヘン附近海面において敵輸送船團を發見、これに猛爆を加へ大型輸送船一隻に直撃弾を與へ猛烈な誘爆を起さしめてこれを撃沈した、わが方全機無事歸還

【南太平洋方面〇〇基地六日發】帝國海軍航空部隊は三日午前ニューギニア島フィンシハーヘン港外の敵輸送船團を攻撃するとともに、ニューブリテン島マーカー岬附近海上の敵小型舟艇群に對し低空銃爆撃を加へ更に同日午後ブーゲンビル島南方海域で輸送船團を捕捉、直ちに低空をもつて爆撃を加へ全機無事歸還した

【南太平洋〇〇基地八日發】六日夜我が海軍はニューブリテン島、ニューギニア島中間海峡で敵輸送船團を發見これを爆撃し甚大な戦果を收め、更に同夜フィンシハーヘン方面の敵飛行場を攻撃、全弾を目標に命中せしめ、その二箇所を爆發炎上せしめたまた同夜ニューブリテン島マーカー岬グロースター岬方面の陸上敵陣地を急襲し熾烈な攻撃を加へてこれを爆撃した、これらの攻撃を通じてわが方未歸還一機の尊い犠牲を出したほか損害はなかつた

【南太平洋〇〇基地九日發】我が海軍は七日午前マーカー岬方面の敵を攻撃、海上トラック一隻を爆撃してこれを撃破、更にフィンシハーヘン敵飛行場を急襲一ヶ所を炎上せしめた、また八日朝にはマーカー岬方面の敵舟艇群を爆撃し、更にニューギニア島ブナ附近の敵輸送船團を攻撃大規模輸送船一隻に直撃弾を浴せ爆發炎上せしめいづれも全機無事歸還した

【南太平洋方面〇〇基地十二日發】帝國海軍航空部隊は、九日夜トロキナ岬附近の敵飛行場を攻撃、越えて十日未明モノ鳥敵飛行場を急襲して全弾を命中これを爆撃し更に同日午後ニューギニア島フィンシハーヘン港内の敵輸送船團を攻撃して大型輸送船一隻を撃破した、續いて十一日未明クレン岬方面の敵輸送船團を攻撃して小型輸送船一隻を爆發炎上大規模輸送船二隻を撃破、小型舟艇四隻を撃沈、更にボルゲン灣方面の敵地上部隊を攻撃して二ヶ所を爆發炎上、またトロキナ岬方面の敵飛行場陸上陣地に對し熾烈な敵高角砲弾を冒して爆撃、滑走路等を爆破した

【南太平洋〇〇基地十四日發】帝國海軍航空部隊は十二日深更から十三日朝にかけてニューギニア島北岸モロベ灣南方約八十哩のワイドフント岬沖で敵輸送船團を捕捉、果敢な攻撃を浴せて大型輸送船一隻を撃破別動隊はブーゲンビル島トロキナ岬の敵飛行場を爆撃、更にモノ鳥の敵陣地をも強襲してこれを爆撃し、わが方いづれも全機無事歸還した

【南太平洋〇〇基地十五日發】わが海軍は十四日未明ニューギニア島クレン岬敵輸送船團を捕捉攻撃し、輸送船驅逐艦各一隻を撃破した、またニューブリテン島ボルゲン灣方面敵輸送船團を攻撃し、大型輸送船一隻に直撃弾を浴せ爆撃し、大規模に更にアラウエ島並にアルブ方面陸上陣地を爆撃して何れも全機無事歸還した

【南太平洋〇〇基地八日發】ニューギニア島ハナサ以南地区には外國人宣教師達百数十名が在住してゐたが最近敵米空軍の盲爆が激しくなつて來たので、皇軍は彼等を敵火から避けさせるためナム島に避難させて保護を加へてゐた、然るに米空軍に

この島に對しても盲爆を行ひ來つたので皇軍は特に海上トラックで宣教師達をボーランディエア方面に移すことになり、去る六日ウエック沖を航行中であつた、ところが同日午前七時二十分突如敵米空軍B25廿八機が海上トラックの上空に飛來した、ここの日天氣は極めてよかつたのであるが、敵機はあはやといふ間に超低空が襲撃態勢をとり三機編隊を加へて再々乗海上トラックに銃撃を組んで來た、乗船中の避難者の過半数は婦女子で、大部分甲板に出てをり白色その他はつきりした色彩の衣服をまとひ、特に婦人の大部分は修道女の制服を着けてゐたのであるから、敵米兵が四、五十米の高處から半身乗り出すやうにして銃撃を加へた際明かに非戦闘員であることが明白に認められた筈である、護衛のわが勇士達は身をもつて避難者達をかばつたが殘忍且つ執拗な敵銃撃のため遂に死者五十八名、重傷八十名、その他殆ど全員負傷するといふ悲惨事を現出したしてしまつた、陸軍部隊はこれら負傷者を早速最寄の軍衛生機關に托し手篤い看護を加へるが、口に入道を唱へ、キリスト教國民を誇る敵米人の本性を遺憾なく暴露したものと見て皇軍の憤激を新にすると共に敵軍とは雲泥の差ある皇軍の手篤い保護に對して避難者達は心から感謝してゐる

【南太平洋〇〇基地十五日發】わが陸軍部隊は去十三日午後九時頃グンビ岬附近の敵高射砲陣地を爆撃これに大損害を與へ、更に午後十一時半頃同岬敵陣地を爆撃し、一ヶ所炎上

せしめたるほか大なる損害を與へた同日他の一隊は午後九時及九時三十分の二回に亘りマザブ飛行場を襲撃し、その附属施設を爆撃し大なる損害を與へた

【南太平洋〇〇基地廿四日發】グンビ岬西方モット河及びグンビ岬南方地區において敵と對峙中の我が部隊は敵の出撃を撃退し、或は敵中に入して戦果を擧げてゐる、十九日夕刻モット河河口附近を渡河しようとして約二百の敵を攻撃し、廿日朝迄に敵遺棄死體三十、虜獲品迫撃砲一、自動小銃十二、其他多數の戦果を收めた、我が方の損害は戦死四名であつた、又グンビ岬南方地區においては連日我が小部隊を震駭させてゐる、即ち一日潜入兵は手榴弾によつて幕舎四を人を入した、又二十二日敵中に潜入した兵は敵歩哨を射殺し、敵情を搜索した後悠々歸還した、十五日同じく敵の後方に潜入して敵の幕舎を爆撃した、十八日潜入兵は敵情を搜索すると共に兵六名より成る機關銃分隊を手榴弾によつて爆撃し悠々歸還した、更に廿日敵の斥候七、八名を近距離に誘致しこれを殲滅、他の斥候は手榴弾をもつて敵の曲射砲一門機關銃二挺、幕舎四個を爆撃した

【南太平洋〇〇基地廿七日發】北東ニューギニア方面に於ける戦局の膠着に躍起となつた敵は最近西南ニューギニアのエイランデン河口附近アガツ方面に濠蘭兵を侵入させゲリラ的蠢動を

【南太平洋〇〇基地八日發】ニューギニア島ハナサ以南地区には外國人宣教師達百数十名が在住してゐたが最近敵米空軍の盲爆が激しくなつて來たので、皇軍は彼等を敵火から避けさせるためナム島に避難させて保護を加へてゐた、然るに米空軍に

この島に對しても盲爆を行ひ來つたので皇軍は特に海上トラックで宣教師達をボーランディエア方面に移すことになり、去る六日ウエック沖を航行中であつた、ところが同日午前七時二十分突如敵米空軍B25廿八機が海上トラックの上空に飛來した、ここの日天氣は極めてよかつたのであるが、敵機はあはやといふ間に超低空が襲撃態勢をとり三機編隊を加へて再々乗海上トラックに銃撃を組んで來た、乗船中の避難者の過半数は婦女子で、大部分甲板に出てをり白色その他はつきりした色彩の衣服をまとひ、特に婦人の大部分は修道女の制服を着けてゐたのであるから、敵米兵が四、五十米の高處から半身乗り出すやうにして銃撃を加へた際明かに非戦闘員であることが明白に認められた筈である、護衛のわが勇士達は身をもつて避難者達をかばつたが殘忍且つ執拗な敵銃撃のため遂に死者五十八名、重傷八十名、その他殆ど全員負傷するといふ悲惨事を現出したしてしまつた、陸軍部隊はこれら負傷者を早速最寄の軍衛生機關に托し手篤い看護を加へるが、口に入道を唱へ、キリスト教國民を誇る敵米人の本性を遺憾なく暴露したものと見て皇軍の憤激を新にすると共に敵軍とは雲泥の差ある皇軍の手篤い保護に對して避難者達は心から感謝してゐる

【南太平洋〇〇基地十五日發】わが陸軍部隊は去十三日午後九時頃グンビ岬附近の敵高射砲陣地を爆撃これに大損害を與へ、更に午後十一時半頃同岬敵陣地を爆撃し、一ヶ所炎上

せしめたるほか大なる損害を與へた同日他の一隊は午後九時及九時三十分の二回に亘りマザブ飛行場を襲撃し、その附属施設を爆撃し大なる損害を與へた

【南太平洋〇〇基地廿四日發】グンビ岬西方モット河及びグンビ岬南方地區において敵と對峙中の我が部隊は敵の出撃を撃退し、或は敵中に入して戦果を擧げてゐる、十九日夕刻モット河河口附近を渡河しようとして約二百の敵を攻撃し、廿日朝迄に敵遺棄死體三十、虜獲品迫撃砲一、自動小銃十二、其他多數の戦果を收めた、我が方の損害は戦死四名であつた、又グンビ岬南方地區においては連日我が小部隊を震駭させてゐる、即ち一日潜入兵は手榴弾によつて幕舎四を人を入した、又二十二日敵中に潜入した兵は敵歩哨を射殺し、敵情を搜索した後悠々歸還した、十五日同じく敵の後方に潜入して敵の幕舎を爆撃した、十八日潜入兵は敵情を搜索すると共に兵六名より成る機關銃分隊を手榴弾によつて爆撃し悠々歸還した、更に廿日敵の斥候七、八名を近距離に誘致しこれを殲滅、他の斥候は手榴弾をもつて敵の曲射砲一門機關銃二挺、幕舎四個を爆撃した

【南太平洋〇〇基地廿七日發】北東ニューギニア方面に於ける戦局の膠着に躍起となつた敵は最近西南ニューギニアのエイランデン河口附近アガツ方面に濠蘭兵を侵入させゲリラ的蠢動を

【南太平洋〇〇基地八日發】ニューギニア島ハナサ以南地区には外國人宣教師達百数十名が在住してゐたが最近敵米空軍の盲爆が激しくなつて來たので、皇軍は彼等を敵火から避けさせるためナム島に避難させて保護を加へてゐた、然るに米空軍に

この島に對しても盲爆を行ひ來つたので皇軍は特に海上トラックで宣教師達をボーランディエア方面に移すことになり、去る六日ウエック沖を航行中であつた、ところが同日午前七時二十分突如敵米空軍B25廿八機が海上トラックの上空に飛來した、ここの日天氣は極めてよかつたのであるが、敵機はあはやといふ間に超低空が襲撃態勢をとり三機編隊を加へて再々乗海上トラックに銃撃を組んで來た、乗船中の避難者の過半数は婦女子で、大部分甲板に出てをり白色その他はつきりした色彩の衣服をまとひ、特に婦人の大部分は修道女の制服を着けてゐたのであるから、敵米兵が四、五十米の高處から半身乗り出すやうにして銃撃を加へた際明かに非戦闘員であることが明白に認められた筈である、護衛のわが勇士達は身をもつて避難者達をかばつたが殘忍且つ執拗な敵銃撃のため遂に死者五十八名、重傷八十名、その他殆ど全員負傷するといふ悲惨事を現出したしてしまつた、陸軍部隊はこれら負傷者を早速最寄の軍衛生機關に托し手篤い看護を加へるが、口に入道を唱へ、キリスト教國民を誇る敵米人の本性を遺憾なく暴露したものと見て皇軍の憤激を新にすると共に敵軍とは雲泥の差ある皇軍の手篤い保護に對して避難者達は心から感謝してゐる

【南太平洋〇〇基地十五日發】わが陸軍部隊は去十三日午後九時頃グンビ岬附近の敵高射砲陣地を爆撃これに大損害を與へ、更に午後十一時半頃同岬敵陣地を爆撃し、一ヶ所炎上

せしめたるほか大なる損害を與へた同日他の一隊は午後九時及九時三十分の二回に亘りマザブ飛行場を襲撃し、その附属施設を爆撃し大なる損害を與へた

【南太平洋〇〇基地廿四日發】グンビ岬西方モット河及びグンビ岬南方地區において敵と對峙中の我が部隊は敵の出撃を撃退し、或は敵中に入して戦果を擧げてゐる、十九日夕刻モット河河口附近を渡河しようとして約二百の敵を攻撃し、廿日朝迄に敵遺棄死體三十、虜獲品迫撃砲一、自動小銃十二、其他多數の戦果を收めた、我が方の損害は戦死四名であつた、又グンビ岬南方地區においては連日我が小部隊を震駭させてゐる、即ち一日潜入兵は手榴弾によつて幕舎四を人を入した、又二十二日敵中に潜入した兵は敵歩哨を射殺し、敵情を搜索した後悠々歸還した、十五日同じく敵の後方に潜入して敵の幕舎を爆撃した、十八日潜入兵は敵情を搜索すると共に兵六名より成る機關銃分隊を手榴弾によつて爆撃し悠々歸還した、更に廿日敵の斥候七、八名を近距離に誘致しこれを殲滅、他の斥候は手榴弾をもつて敵の曲射砲一門機關銃二挺、幕舎四個を爆撃した

【南太平洋〇〇基地廿七日發】北東ニューギニア方面に於ける戦局の膠着に躍起となつた敵は最近西南ニューギニアのエイランデン河口附近アガツ方面に濠蘭兵を侵入させゲリラ的蠢動を

【南太平洋〇〇基地八日發】ニューギニア島ハナサ以南地区には外國人宣教師達百数十名が在住してゐたが最近敵米空軍の盲爆が激しくなつて來たので、皇軍は彼等を敵火から避けさせるためナム島に避難させて保護を加へてゐた、然るに米空軍に





の後撃退した、損害輕微
△十三日 朝ミレ島に戦爆連合廿八機來襲二機撃墜、午前タロア島にB25、B26延十機來襲、一機撃墜、朝ウオツゼ島にB25六機來襲、二機を撃墜した
△十四日 午前ウオツゼ島にB24一機來襲これを撃墜、タロア島には海上部隊の艦砲射撃あつたが直に撃退

△十六日 晝間タロア島に敵艦爆延十五機、朝ミレ島に小型機十二機來襲、敵機二機撃墜、またタロア島に敵海上艦艇の砲撃
△十七日 午前有力な敵機動隊を以てトラツク諸島に反覆空襲、タロア島に敵戦爆連合延十六機來襲、更に海上艦艇より艦砲射撃
△十八日 タロア島に敵海上艦艇が來襲艦砲射撃を加へ、更にTBF艦載戦闘機機など延十一機が數回に亘り攻撃を加へて來たが、わが守備部隊はその都度これを撃退した、我が方損害輕微

△十九日 朝ヤルト島に敵小型機延十數機が來襲したが、わが守備部隊は地上砲火を浴びせてその二機を撃墜した、我が方損害輕微、又タロア島に數次に亘り敵海上艦艇、B25數機が來襲したが、わが守備部隊はこれと交戦B25一機を撃墜、他を撃退した、わが方の損害は輕微
△二十日 晝間にはタロア島に延八機を以て來襲、我が方守備部隊はこれを邀撃撃退した、我が方被害なし
△廿一日 晝間タロア島に延八機を以て攻撃を加へ更に海上艦艇を以つて艦砲射撃を浴びせて來たが我が方守備部隊は交戦の後これを撃退した、我が方損害輕微、トラツク諸島に敵

機動部隊來襲、之れを撃退
△廿二日 朝タロア島に敵小型機延十四機來襲し、わが守備隊はこれと交戦撃退した、わが方被害なし、午前敵機動部隊マリアナ諸島東方海面に出現、之れを撃退
△廿三日 朝ミレ島に敵小型機十機來襲したがわが守備隊はこれを撃退した、同日朝ヤルトにコンソリデーテッドB24爆撃機四機來襲したがわが守備隊はこれを撃退した、午前敵艦載機約二百サイパン、テニヤグラム諸島を襲撃
△廿三日 朝ミレ島に敵小型機十數機が來襲したが、所在部隊はその一機を撃墜した、ついで廿四日晝間マロエラツプ環礁タロア島に對しても敵B25十二機が來襲、わが所在部隊はこれと交戦した、わが方いづれも被害なし
△廿四日 午後敵コンソリデーテッドB24大型爆撃機延十七機が數回に亘つてマーシャル諸島ヤルト島に攻撃を加へて來た、同島所在のわが部隊は熾烈な對空砲火を浴びせてその二機を撃墜した、我方地上に若干の損害があつたのみ

南太平洋

島ンテリブユニ

ラバウル侵攻白熱化

大本營發表戰經過
【五日】一月廿日朝、突如開始されたマーシャル諸島に對する敵ニミツツの新攻勢に呼應して、ソロモン海城ラバウルに對する敵の空

からの侵攻も、二十九日、卅、卅一日の三日間、引續き執拗なる敵機の侵攻が

反復され、マーシャル諸島に對する新攻勢の有利な展開に躍起の動きを見せてゐる、今回の敵の侵攻は廿九日以降の僅か三日間に、連續五回に達しその總延機數も、更に七百廿二機に達するといふものである、而もこの連續侵攻は、既に去る廿六日以來一日も休むことなく、反復されたものであつたが、廿九日以降の來襲も我が空海陸三位一體の立體的攻撃により、脆くもその百廿六機を叩き落された、先づ廿九日の午前、敵はコンソリデーテッドB24十九機、艦爆四十八機、ロッキードB38、ボートシヨルスキーF4U、グラマンF6F各戰開機百九十機、計二百五十七機をもつて、二回に亘り攻撃を繰返して來たが、空陸よりの銃砲火は忽ちにして、B24三機、艦爆九機F4U二十二機、F6F三機、機種不明二機、計三十九機を撃墜した、次いで三十日午前、又も敵は二回に亘りB24十八機、F6F百六十五機、ノースアメリカンB25爆撃機二十八機、グラマンTBF艦載爆撃機八十機、計二百九十一機をもつて來襲

我が方撃墜機は、B24一機、F38二機、F4U三十七機、F6F三機、TBF十六機、計六十三機を叩き墜したかかる連續的痛打にも懲りず、翌三十一日にはB24十九機、P38十五機、機種不明の艦載爆撃機七十機、機種不明の戰開機八十機、計百八十四機に來襲せる敵機を邀撃し

○二月三日には來襲せる敵機約二二機中二六機(内不確實九機)を撃墜、三機以上を撃破せり、我方未歸艦を撃墜、次いで第二次にはコンソリデーテッドB24十六機、戰開機三十機、計四十六機が來襲、わが海鷲はF4U一機を撃墜した、このほか一次二次を通じ地上砲火で機種不明

機の高貴未歸艦機を出したが、敵の損害百二十六機に比すると、我が海鷲の一よく十、二十を斃す入神の戰闘技術には目を見らざらぬを知られない
一ヶ月に來襲三二一五機【五日】ラバウルに對する敵機の來襲狀況は、年頭以來一ヶ月間に三千二百十五機以上に達してゐるが、我が海鷲並に地上守備部隊は、その約二割六分の八百五十六機以上を撃墜するの戰果を擧げてゐる、しかし我方も亦六十四機の未歸艦機を出してゐる、その内譯は次の如し

潜艦ウオツせて大巡撃沈

ラバウル來襲五六三機
大本營發表(昭和十九年二月七日十六時)

一、帝國潜水艦は二月三日未昭マーシャル諸島ウオツゼ島附近海面に於て敵大型巡洋艦一隻を撃沈せり
二、帝國海軍航空部隊並に陸海軍守備部隊は二月三日以降連日ラバウルに來襲せる敵機を邀撃し
○二月三日には來襲せる敵機約二二機中二六機(内不確實九機)を撃墜、三機以上を撃破せり、我方未歸艦を撃墜、次いで第二次にはコンソリデーテッドB24十六機、戰開機三十機、計四十六機が來襲、わが海鷲はF4U一機を撃墜した、このほか一次二次を通じ地上砲火で機種不明

約二〇〇機中五五機(内不確實一二機)を撃墜、三機を撃破せり、我方未歸艦一機
戰闘經過【七日】一、マーシャル方面 マーシャル諸島方面海域に活躍中のわが潜水艦は三日未明ウオツゼ島附近海域で敵艦を發見、大膽にも至近距離に肉薄し、大型巡洋艦に必殺の魚雷を放ち見事これを撃沈した電波兵器と航空機の發達した現在では潜水艦の活躍が著しく制約され、特に巡洋艦の武裝艦に對してはたとへこれを捕促しても肉薄攻撃は至難であるが、傳統を誇る帝國無敵潜水艦は敵艦影を捕へたが最後、凡ゆる困難を排除して敢然敵の懐に飛びこみ飽くまでこれを斃さずばやまないこの闘魂は大東亞戰開始以來、既に幾度びとなく輝く戰果となつて現はれ、全世界驚異の的となつてゐるが最近では昨年十一月廿五日未明、ギルバート諸島マキン島西方海面で敵航空母艦一隻に撃沈概ね確實の損害を與へてゐる

二、ラバウル方面 一月末に引續き敵は連日百五十乃至二百機に上る大編隊をもつて熾烈な攻撃をラバウルに反覆強行してゐる點が注目される
○二月三日 敵はこの日も二回に亘つて來襲したが、第一次の敵機種はグラマンTBF五十五乃至六十機、ノースアメリカンB25二十乃至百八十機、これに對しわが海鷲は、TBF二機、戰開機二十一機、計二十三機を撃墜、次いで第二次にはコンソリデーテッドB24十六機、戰開機三十機、計四十六機が來襲、わが海鷲はF4U一機を撃墜した、このほか一次二次を通じ地上砲火で機種不明

自一日 二、四八八 七四〇 五六
至廿八日 二、四八八 七四〇 五六
來襲 擊墜 未歸艦
廿九日 二五七 三九 五
卅日 二九〇 六三 二
卅一日 一八〇 一四 一
合計 三、二一五 八五六 六四

敵は連日百五十乃至二百機に上る大編隊をもつて熾烈な攻撃をラバウルに反覆強行してゐる點が注目される
○二月三日 敵はこの日も二回に亘つて來襲したが、第一次の敵機種はグラマンTBF五十五乃至六十機、ノースアメリカンB25二十乃至百八十機、これに對しわが海鷲は、TBF二機、戰開機二十一機、計二十三機を撃墜、次いで第二次にはコンソリデーテッドB24十六機、戰開機三十機、計四十六機が來襲、わが海鷲はF4U一機を撃墜した、このほか一次二次を通じ地上砲火で機種不明

二機を撃墜、艦爆二機B24一機、計三機を撃破してをり、この日の総合戦果は来襲敵機約二百二十機中二十六機撃墜、三機を撃破し去つた、わが方の損害は未帰還一機である

②二月四日 この日も二回来襲、第一次来襲敵機種はB25二十五機、TB4四機、F4U三十機、計九十五機、第二次はB24十八機、F4U十機、P38二十機計四十八機で、うち海鷲は第一次にF4U九機を、第二次にはP38二機を撃墜、地上砲火は二回を通じてB24三機を撃破した

この日の総合戦果は来襲敵機四百四十三機中撃墜十一機、撃破三機わが方未帰還一機の犠牲を出した

③二月五日 この日にはB24十八機B25十三機、TB4F七十機、F4U六機、F6F、P39、P4F等約百機、計約二百機が大舉して来襲、わが海鷲はこれを遊撃、B24一機、B25一機、TB4F二十一機、F4U二十三機、F6F一機、P39及びP40七機、計五十四機を撃墜、一方地上砲火では機種不明一機を撃墜、B24三機を撃破した、この戦闘でわが方は未帰還一機を出した、かくて三、四、五の日の来襲敵機延機数は約五百六十三機に達し、うち九十二機を撃墜、九機を撃破し、我方三機の損害を出してゐる、これより一月以來の総合戦果は来襲敵機延機数約三千七百八十三機、撃墜九百四十八機、撃破二十機となり、これに對しわが方の損害は六十七機である

守備部隊は、二月六日以降連日ラバウルに來襲せる敵機を遊撃し、二月六日には來襲せる敵機約百六十機中二十七機(内不確實十四機)を撃墜せり我方の損害未帰還三機、二月七日には來襲せる敵機約二百機中四十五機(内不確實十五機)を撃墜せり、我方の損害未帰還一機、二月九日には來襲せる敵機約二百二十機中四十五機(内不確實十一機)を撃墜せり、我方の損害未帰還五機

戦闘経過【十日】  
△二月六日 コンソリデーテッドB24、ノースアメリカンB25、グラマ38戦闘機、ボートシヨルスキーF4U艦載戦闘機群を配し、總計約百六十機に達する大編隊をもつて來襲したが、わが海鷲並に陸海守備部隊は、B25、TB4F、F4U、P38計二十七機を叩き落した

△二月七日 敵はB24、TB4F、F4Uに、F4F、艦載戦闘機、グラマンF4T、ダグラスSBD急降下爆撃機を加へ約二百機の大編隊をもつて攻撃を加へて來たが、我は空海陸三位一體の遊撃戦によつてB24、TB4F、F4U、F4F等に脆くも火を吐かせて撃墜、來襲敵機群に又も潰滅的損害を與へた  
△二月九日 なか一日置いた九日、今度は三次に分れて攻撃を反復、第一次には艦載爆撃機八十機、戦闘機五十機、計百三十機、第二次にはB24十九機、戦闘機二十機、計三十九機、第三次にはB25二十五機、戦闘機二十機、計四十五機、總計約二百機が入れ替り立ち替り來襲、わが海鷲並に陸海軍守備部隊はその都度こ

れを遊撃し、F4U三十機、P40三機、P38一機、TB4F五機、B24三機、A36三機、合計四十五機を撃墜、かくて三日間に敵は百十七機を喪失、空軍勢力に痛烈な打撃を受けに至つた、この間わが方は六日に三機、七日に一機、九日に五機、計九機の貴い犠牲を出した、九日の戦闘においては珍らしくノースアメリカンA36新鋭戦闘機(ムスタング)が姿を現はしたが、わが海鷲の前には物の數ではなかつた、その三機がアツケなく叩き落された、(此のノースアメリカンA36は單座戦闘機ノースアメリカンP51がムスタングの名で英國に輸出され、緊急偵察又は地上攻撃に使用される場合にA36と呼ばれP51の別名といへよう、これが米國に遊輸入されて米國でも地上攻撃に使用する場合時にA36と呼稱してゐる、空戦の場合と異つて地上攻撃に使ふときは機銃の數、その他武装においてP51と多少異にしてゐるのみである、液冷發動機一馬力一基で最大速度六百四十五キロ、航続距離千三百キロ、視界は主翼内に四挺、胴體に二挺を有してゐる、角張つた翼端を持つ先細の主翼と同じ角張つた形の尾翼、美しい頭部の形状放熱器を胴體後下方側に装置したための方が彫らんだ曲線的な胴體の形をしてゐる)

△二月十三日 來襲敵機T・B・F六十機、B25二十機、B24二十三機、戦闘機六十機、計百六十三機の内T・B・F六十機、B24一機、F4U二機、F6F二十二機、計四十二機(内不確實七機)を撃墜、T・B・F四機、TB4F二機、戦闘機三機計九機を撃墜、我方損害八機  
△二月十四日 來襲敵機T・B・F八十機、B25十五機、B24二十八機、戦闘機九十五機、計二百十八機(内B24一機)、戦闘機二機計三機(内不確實一機)を撃墜、我方損害一機更に地上砲火によつてT・B・F十一機を撃墜、同三機を撃破せる事判明  
△二月十五日 朝ノース・アメリカンB25二十二機、戦闘機三十機、計五十二機來襲、わが方はうちB25二

機、ロッキードP38、ボートシヨルスキーF4U七機、計九機を撃墜、B25六機を撃破、わが方の損害未帰還二機、地上には損害なし  
△二月十六日 朝コンソリデーテッドB24十九機、戦闘機計四十九機來襲、わが海鷲はこれを遊撃B24一機を撃破した、敵機群はわが海鷲の遊撃に遭ひ何等攻撃に出ずることなく倉皇として遁走した、わが方損害なし  
△二月十七日 朝グラマンT・B・F七十機、B25廿三機、戦闘機五十機計百四十三機來襲、わが方はT・B・F二機、F4U十五機、計十七機を撃墜した、わが方未帰還二機、地上に輕微な損害をうけた、この戦闘でわが地上部隊も敵TB4F五機、戦闘機二機、計七機を撃墜、TB4F二機を撃破したことが判明した  
△二月十八日 敵TB4F、B25、戦闘機合計約百六十機來襲、同方面の陸海軍部隊はこれを遊撃してB25計七機を撃墜した、わが方の損害三機地上損害輕微  
△二月十九日 午前TB4F、B24、戦闘機合計約百七十機來襲、陸海軍守備部隊はこれを遊撃、F4U、F6F、TB4F、B24、計三十一機を撃墜、B24、TB4F計八機を撃破した、わが方の損害八機、地上の損害輕微であつた

敵の航空侵攻機烈  
【ラバウル發】 敵のラバウル來襲、航空侵攻企圖は漸次強烈化し彼我の航空機は最近愈々激烈化の一途を加へてゐる、二月十日以降の戦況左の通り  
△二月十日 來襲敵機 T・B・F

△二月二十一日 午前二回に亘りラバウルにTB4F、B24戦機計百三十九機が來襲し、わが所在部隊はこれを遊撃、TB4F六機を撃墜、TB4F二機、B24二機を撃破した、わが方の被害輕微  
△二月二十二日 午前三回に亘りT

△二月二十二日 午前三回に亘りT

△二月二十二日 午前三回に亘りT

五百八十機來襲

―百十七機撃墜、九機を失ふ

大本營發表(昭和十九年二月十日十六時)帝國海軍航空部隊並に陸海軍

七機が來襲、わが所在部隊はこれを邀撃、T B F四機を撃墜、T B F三機を撃破した、わが方被害輕微

△二月二十三日 晝間B 24、P 38戰鬥機、計五十四機が來襲、わが所在部隊はこれを邀撃、P 38一機を撃墜した、

△二月二十四日 數回に亘りB 24、その他戰鬥機計百八十六機が來襲したが、わが所在部隊はこれを邀撃交戦した、

△二月二十六日 午前二回に亘つて敵B 24、B 25、艦爆、戰鬥機等延百五十四機がラバウルに來襲したが、同島所在のわが部隊は艦爆一機を撃墜、三機を撃破した

△二月二十七日 午前にも敵は艦爆戰鬥機等延百五十八機をもつて二回に亘り攻撃を反覆、我が部隊は艦爆九機、P 38三機、計十二機を撃墜、艦爆五機、P 38二機、計七機を撃破した、我方何れも被害なし

### 來襲の米機病院及び白人居住地を銃爆撃

【ラバウル十四日發】二月十一日朝敵はS、B、D、約四十機をもつてラバウルに來襲したが、わが空地部隊の果敢なる反撃に阻止され、軍事施設に對する攻撃不可能と見るや、不法にもラバウル郊外コロポのわが病院並にこれに隣接する、わが軍において保護中の白人居住地帯、教會堂、白人墓地等の非戰鬥地帯に對し銃爆撃を加へるの兇畜の蠻行を敢てした、當日は早朝來一片の斷雲もなく、水珠に澄み、視界極めて良好であつた上に、病院南側の海に接する標高約二十メートルの臺上にある病棟三ヶ所の屋上には縦十メートル横

六メートルの赤十字が標示してあるほか、地上には病院船ぶえのすあいれす丸と同様の大ききの標識看板が上空に對して提示してあり、布か附近一帶はわが軍において保護中の宣教師を含む約三百名の白人居住地帯で、同地區中央には教會堂の尖塔が高くそびえ、一見非戰鬥地區たることは明瞭である同地區に對し敵機は高度約一千メートルより約三百メートルまで急降下し銃撃並に爆撃を加へ、更に隣接する白人墓地をも爆撃した、前後の事情より見て敵が故意に非道極まるかから蠻行を敢てしたことは至つて明白である、わが現地軍將兵は度重なる敵の兇畜行爲に對し極度に憤激、また被害を蒙つた白人居住地帯の宣教師も敵今回の不法銃爆撃が明らかに故意に行はれた事實を認め極めて憤慨してゐる、今回の不法爆撃による被害はわが病院のみに五百キロおよび百キロ爆彈十數發命中、軍關係死傷者は患者がその大多數を占めて相當數に上り、白人保護者中米人フアザル・オウマンが自國將兵の蠻行の犠牲となつて即死したほか、負傷者六名を出し、更に天主堂、白人住宅十戸倒壊、白人墓地には百キロ爆彈命中し、數十基の墓標を倒壊した

### グロスター岬マーカーズアラウエ島等猛爆

【リスボン九日發】メルボルン來電 西南太平洋反艦軸軍司令部は九日の公報において日本軍航空部隊がニューブリテン島グロスター岬の反艦軸軍飛行場並びにアラウエ島の埠頭地區を攻撃、負傷者を生ぜしめた旨發表した

【リスボン十日發】メルボルン來電 西南太平洋反艦軸軍司令部は十日次の通り發表した

一、日本航空部隊はアラウエの米軍陣地を三回に亘り爆撃した

【南太平洋〇〇基地十四日發】帝國海軍航空部隊は十二日未明西部ニューブリテン島マーカーズ岬及びアラウエ島方面を攻撃し、敵陣地並に軍事施設に全彈を命中、爆發を起さしめ全機無事歸還した

【リスボン十五日發】メルボルン來電 西南太平洋反艦軸軍司令部は十五日日本軍航空部隊がニューブリテン島アラウエ、グロスター岬並びにブーゲンビル島の反艦軸軍陣地を爆撃し損害及び死傷を出した旨發表した

【南太平洋方面〇〇基地廿二日發】帝國海軍航空部隊は十九日午前ビレロ島敵陣地を爆撃全彈を目標に命中爆破せしめ全機歸還した

### 海軍敵輸送船團を攻撃

【南太平洋〇〇基地十八日發】わが海軍は十六日朝、ニューブリテン島ツル沖において敵輸送船團を捕捉しこれを攻撃、大型輸送船一隻に直撃弾を與へて大破炎上せしめわが方全機無事歸還した

【南太平洋〇〇基地二十日發】わが海軍は十八日午前ニューブリテン島マーカーズ岬沖で敵小型船舶群を捕捉これに痛烈な爆撃を浴びせて海上トラック一隻を撃破した、また同日午前ニューギニア島北岸ワッドランド岬附近においてわが海軍は敵輸送船團を攻撃し大型輸送船一隻を撃破した

【南太平洋〇〇基地十六日發】帝國海軍航空部隊は十二日深夜三回に亘りブーゲンビル島トロキナ岬敵飛行場並に附近地帯を攻撃、飛行場附近軍事施設を爆碎大爆發を起し炎々たる黒煙は天に沖した、更にニューギニア島アムンダを攻撃飛行場、滑走路、棧橋附近を爆撃、滑走路二ヶ所及び棧橋一ヶ所に大爆發を起させ何れも全機無事歸還した、更に十四日午前ニューブリテン島ツル方面敵輸送船團を捕捉、攻撃、中型輸送船一隻を撃破、更に他の一隊はビレロ島の敵陸上陣地を爆撃し一ヶ所を炎上せしめた、又ニューギニア島ブナ方面の敵輸送船團を攻撃し全機歸還した

### 島ルビンゲーブ

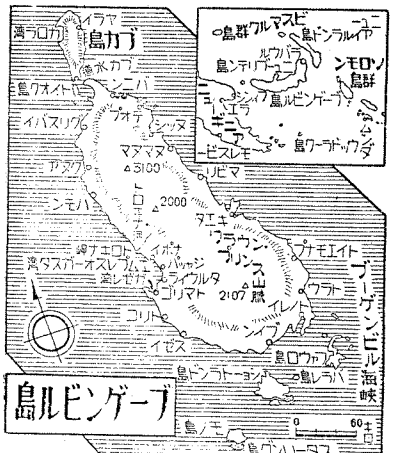
モノ島、トロキナ岬を猛爆 敵艦船を撃沈破

【南太平洋〇〇基地七日發】わが海軍航空部隊は四日ポルゲン灣方面敵輸送船團を攻撃中型輸送船一隻を撃破、同日夕刻モノ島敵飛行場を強襲し敵戰鬥機群の抵抗を排除し二ヶ所を爆破、二ヶ所に火災を起さしめ、更にブーゲンビル島トロキナ岬敵飛行場を襲ひ四ヶ所を炎上せしめた、また海軍は五日深更から六日未明にかけ再びモノ島敵飛行場を強襲、三ヶ所を爆破炎上せしめ、續いて六日未明にはニューブリテン島グロスター岬方面敵地上部隊並に飛行場等を爆碎して全機無事歸還した

【南太平洋〇〇基地十四日發】我が海軍は十三日夕刻ブーゲンビル島トロキナ岬敵飛行場を強襲、附近軍事施設を爆碎して全機無事歸還した

【南太平洋〇〇基地十九日發】帝國海軍航空部隊は二月十四日深更より十五日未明にかけて數次に亘りブーゲンビル島西方海面において北上中の敵輸送船團を捕捉攻撃し、敵特殊大型輸送船一隻を撃沈、特殊中型輸送船二隻を大破炎上、大型巡洋艦、巡洋艦、驅逐艦、輸送船各一隻を撃破したほか、艦種未詳數隻を爆破炎上せしめた、わが方未歸還五機

【リスボン十八日發】メルボルン來電 西南太平洋反艦軸軍司令部は十八日の公報に於いて日本航空部隊がブーゲンビル島西岸沖の反艦軸軍船舶を攻撃、損害及び死傷者を生ぜしめた旨發表した



島ルビンゲーブ

小型舟艇に魚雷艇を撃沈破

【ラバウル廿日發】十六日夜わが海軍小型舟艇はショートランド島北方海面において敵魚雷艇二隻と遭遇、猛烈な肉薄戦のちその一隻を撃沈他の一隻を撃破した、我が方若干の負傷者があつたのみ

【南太平洋〇〇基地二十四日發】十九日午後六時頃ブーゲンビル島西海岸においてわが大小發各一隻は薄暮の海上において我補給船を狙ふ敵魚雷艇五隻と遭遇するや敵の機先を制して敵舷側近く突進、二倍に餘る敵魚雷艇はわが捨身の突進攻撃に忽ち潰亂、わが大小發は縦横に奮戦、忽ち敵艇二隻を撃沈他の三隻に損傷を與へて遁走せしめ凱歌を奏しつゝ基地に歸投した、わが方の損害戦死三名である

【南太平洋〇〇基地廿九日發】南太平洋海域におけるわが船舶部隊は、前線基地への海上補給の重要任務に任じ敵の制海、制空權下において勇戦奮闘を續けてゐるが、去る廿五日午後八時頃ブーゲンビル島西海岸においてわが陸軍小舟艇隊は敵機廿八機、魚雷艇十隻以上と遭遇してこれと激戦を交へ、魚雷艇五隻を撃沈、二隻を撃破したが、同附近の海岸にあつたわが警備隊はまたこれに協力敵魚雷艇一隻を撃沈、合計八隻を撃沈破して他を撃退、完全にその任務を完遂した、同戦闘におけるわが方の損害戦死一名、小舟艇沈没二隻であつた

またその前日廿四日にはマダン東南方地区のわが守備部隊は、敵魚雷艇二隻に對し砲撃を加へその一隻を撃沈、他に損害を與へて遁走せしめた

敵重砲一個中隊を撃退

【南太平洋〇〇基地二十四日發】トロキナ北方地区において十五日朝わが斥候は敵重砲一箇中隊が北上してゐるのを発見、その背後よりこれを急襲した敵は兵力を逐次増加して追撃砲掩護のもとに反撃して來つたが十五日夜これを撃退敵は死傷者を收容して退却した目認した敵の遺棄屍體七十わが方の損害は戦死十四名

來襲敵機二機撃墜

【ラバウル廿六日發】二十四日朝ブーゲンビル島東南端の我が陣地に敵戦闘機延十一機が數回に亘つて來襲低空銃撃を加へて來たが同島所在の我が部隊はこれと交戦その二機を撃墜した我が方被害なし

ブカ島に敵機來襲

【ラバウル廿六日發】廿三日朝敵ボートシコロスキーF4U及び大型機延十機が數回に亘りブカ島に來襲、同島所在のわが部隊はこれを攻撃しF4U二機を撃墜した我方被害なし

【南太平洋〇〇基地廿九日發】

廿五日午前午後にかけて敵ヴオートシコロスキーF4U延十三機が數回に亘つてブカ島に來襲したがわが所在部隊は三機を撃墜したわが方損害なし

カビエンに敵機大襲來襲

【ラバウル十日發】七日夜コンソリデー・テッドP.D. Y長距離爆撃機一機は我がニューアイランド島カビエンに來襲したが、我が守備部隊はこれを撃墜し

島ドンラルイアーユニ

が守備部隊はこれを撃墜し

た、我が方被害なし

【南太平洋〇〇基地十四日發】十三日朝ニューアイランド島カビエンに對し敵コンソリデーテッドB24四十七機、戦闘機十機計五十七機の大編隊が攻撃を加へて來たが、同島所在の我が守備部隊は熾烈な對空砲火を浴びせてこれを撃退した、我が方被害輕微であつた

【ラバウル十七日發】

ニュー・アイランド島カビエンに對し十五日午前中三回に亘りB25、P38、B24、B26の延二百十九機が來襲、わが守備部隊はこれと交戦、十二機を撃墜他を撃退した、わが方の被害は輕微であつた

【ラバウル廿日發】

十六日午前ニュー・アイランド島カビエンに敵ロツキードP36、コンソリデーテッドB21、ノースアメリカンB25戰機連合計約百機が來襲したが、わが守備部隊は直ちにこれを邀撃對空十字砲火を浴びせて撃退した、我が方損害輕微

ラバウルの孤立化を企つ

【二十日】ラバウルの背後カビエン方面からする侵攻は従來威力偵察の範圍を出なかつたが、去る十三日の四十七機來襲に次ぐ大襲來襲はラバウル四周のわが基地に對する積極的攻勢開始とも見られ、同方面戦局の重大化を物語るものとして注視を要する、なほ本年に入つてからカビエンに來襲せる敵機撃墜戦果左の如し

Table with columns for date (一月一日, 四月, 七月七日) and number of aircraft shot down (一〇六, 七六, 一一二).

來襲敵機數 撃墜數

頭堡及びドニエプロベトロフスク西南方における強力な赤軍の突破企圖を撃破し、赤軍戦車八十一臺を撃破一、ポグロビシチエ南方においてドイツ軍は茲數日間に赤軍から奪回した地域を掃蕩し、捕虜多數を得、戦

Table with columns for date (十三日, 十五日, 十六日) and number of aircraft shot down (五七, 二一九, 一〇〇).

敵艦逐艦カビエンを砲撃

【ラバウル廿四日發】廿二日夜ニューアイランド島カビエン沖に敵艦三隻出撃し來り、陸上を砲撃したが、同地わが警備隊はこれに應戦一機に命中弾を與へ大火災を生ぜしめて撃退した、わが方被害なし

サムラサキ方面に五機來襲

【南西太平洋〇〇基地三日發】一月三十一日午後アラフラ海タニンバル諸島サムラキ方面に敵コンソリデーテッドB24五機が來襲したが、わが海軍戦闘機隊は直ちにこれを邀撃、その二機わが方損害輕微

【南西太平洋〇〇基地十八日發】

南方資源地帯に對する敵機の來襲は最近著しく活潑化しつゝあり、去る十六日未明には、モルツカ諸島アンボン、タニンバル諸島サムラキに敵大規模爆撃機十機、双發爆撃機五機計十五機が攻撃を加へてきたが、わが守備部隊はこれを邀撃、撃退した、わが方損害輕微

【南西太平洋〇〇基地八日發】

四日夜アンボン島アンボンに機種不明の敵機十四機が來襲したが、わが守備部隊は直ちにこれを邀撃し熾烈な對空砲火を浴びて撃退した、わが方被害なし

アンボンに敵機來襲

【南西太平洋〇〇基地八日發】四日夜アンボン島アンボンに機種不明の敵機十四機が來襲したが、わが守備部隊は直ちにこれを邀撃し熾烈な對空砲火を浴びて撃退した、わが方被害なし



獨軍公表戦況

【ベルリン發】總統大本營發表 一、東部戦線 △、ドイツ軍はニコポリ橋頭堡及びドニエプロベトロフスク西南方における強力な赤軍の突破企圖を撃破し、赤軍戦車八十一臺を撃破一、ポグロビシチエ南方においてドイツ軍は茲數日間に赤軍から奪回した地域を掃蕩し、捕虜多數を得、戦

車多数を撃破した  
一、ノヴォグラード・ヴォルィンヌク西南方及び西方においてはドイツ軍は優勢な赤軍と交戦繼續中であるが、赤軍は若干の地點で地歩を獲得するに成功した  
一、プリビアーチ河南方においてはドイツ軍は極めて困難な地勢にも拘らず頑強な赤軍の抵抗を排して赤軍陣地深く突入し、一方プリビアーチ河とベレジナ河の間では赤軍の規模な攻撃は失敗し、この地域の戦闘は緩慢となつた

一、グイテプスク西北方及びネヴェリ北方で赤軍は戦車及び戦闘機の掩護の下に反復攻撃を加へて来たが失敗に終つた  
一、イルメン湖からフィンランド灣に亘るドイツ軍の激烈な防禦戦において赤軍は數ヶ所において更に進出して、ドイツ軍はこれに對し熾烈な抵抗を續けて居り、特に局部的反撃によつて赤軍に甚大な損害を與へた

一、イタリヤ南方においては兩軍共に増援軍を得て戦闘は更に熾烈化した、ネツツノ方面においては反樞軸軍は北方及び東北方に向つて猛攻を續けてゐるがドイツ軍はこれと激戦の後敵の突破企圖を挫折せしめ甚大な損害を與へた  
一、ミンツルノ及びカステル・フオルテの南方地區においては反樞軸軍は廿一日の戦闘に蒙つた莫大な損失のため局地的攻撃を加へて来たに過ぎなかつた  
一、ドイツ軍は激戦の後再びモンテ・ユガを失つたが、カツシノ地區においてはドイツ軍は敵の猛攻を撃退し反撃によつてサン・エリア西方の

高地數ヶ所を奪回した  
一、アドリア海沿岸においては反樞軸軍は戦車の掩護の下に進出を試みたが、ドイツ軍の集中防禦砲火を浴びて撃退された  
【ベルリン發】 總統大本營發表  
一、ドニエプロベトروفスク西南方においては赤軍は犠牲を顧みぬ攻撃を續け激戦の後ドイツ軍陣地に局部的突出部を形成した  
一、キエウオウオグラードとペーラヤツエルコヒの中間地區においては赤軍は數回に亘る出撃にも拘らず何等の成功を収めなかつた、反撃に出たドイツ軍戦車隊は赤軍陣地に突入し、兵員器材に大打撃を與へた  
一、ノヴォグラード、ウオルィンヌク、ウエスト及び西方においてはドイツ軍は西南方に進出せんとして攻撃を續ける赤軍を繰返し撃退した  
一、プリビアーチ河とベレジナ河との中間では戦闘は再び活潑となつたが、ドイツ軍は數次に亘る赤軍の出撃を撃退するに成功した  
一、ネヴェリ北方においては赤軍は有力な空軍の掩護下に再びドイツ軍陣地を攻撃したが赤軍は夥しい死傷者を出し多數の戦車を失つて敗退した

一、反樞軸軍はネツツノ橋頭堡を擴大せんとして戦車の掩護の下にアブリリア、チステルナ地區北方に向つて依然強力な攻撃を續けてゐる、反樞軸軍は一地點において深い突出部を形成したがその他の方面ではドイツ軍は敵の攻撃をすべて撃退し戦車多数を撃破した、更にドイツ軍は突出部を閉鎖せんとして反撃に出で着々成果を収めてゐる  
一、南部地區、サン・エリアの西方では砲撃と戦車の強力な掩護の下に反樞軸軍は終日攻撃を續けたが壓倒的に優勢な兵力にも拘らず甚大な損害を蒙つて僅かに重要でない地區を獲たのみであつた、ドイツ軍の反撃によつて數ヶ所の高地を奪回した  
一、アドリア海沿岸戰區では反樞軸軍は戦車の掩護の下に攻撃を開始したがドイツ軍はこれに夥しい損害を與へて撃退した  
【ベルリン發】 總統大本營發表  
一、ドニエプロベトروفスク西南方においては現在赤軍戦車部隊と激烈な防禦戦を交へてゐる  
一、キエウオウオグラードとペーラヤツエルコフ中間地區において攻勢

に出でゐるドイツ軍は頑強な赤軍の反撃に遭遇し目下激戦が續けられてゐる  
一、プリビアーチ沼澤地帯南方地區においては赤軍はシュベトフカに對し反復攻撃を加へて来たが失敗に終つた、更にその西北方においてドイツ軍は熾烈な防禦戦の後ロヴノ及びルーツクから撤収した  
一、プリビアーチ河とベレジナ河の中間地區及びグイテプスク西方においては赤軍は攻撃を再開したが、ドイツ軍はこれと一進一退の激闘の後防禦戦に成功した  
一、イルメン湖からフィンランド灣に亘る戦線ではドイツ軍は引続き防禦戦を交へてゐる赤軍は優勢な兵力を以て特にノヴォゴロド西方及びナルヴァ東方において攻勢を續けてゐるが、ノヴォゴロド地區においてドイツ軍は赤軍戦車二十二臺を撃破し反撃に成功した  
【ベルリン發】 總統大本營發表  
一、ネツツノ上陸の反樞軸軍はその北方戰區において局部的攻撃を加へたが失敗に終り、ドイツ軍は集中的反撃によつて再び反樞軸軍の收めた若干の成果を挫折せしめた  
一、南部地區においてはカツシノ周辺の高地帯で激戦が續けられてゐるが同市を俯瞰する諸高地は依然ドイツ軍の手中にある、この戦闘において兩軍の損害は共に甚大であつた  
一、その他の戦線は終日平穩であつた  
【ベルリン發】 總統大本營發表  
一、ニコポリ地區では三日激戦が展開された、ニコポリ市南方

では赤軍の攻撃を悉く撃退同市西北方ではドイツ軍は優勢な赤軍に對し反撃に出で多大の損害を與へた  
一、キエウオウオグラード、ペーラヤツエルコヒ中間では赤軍は援軍を得た後絶え間なく攻撃を續け來つたが、ドイツ軍一部は赤軍の猛烈な戦車攻撃を撃退、過去二日間に戦車四十四臺を撃退した  
一、プリビアーチ沼澤地帯南方地區では赤軍は數地點で攻撃を加へ來つたが、ドイツ軍により激戦の後撃退された  
一、プリビアーチ、ベレジナ兩河間では赤軍は空軍の掩護下にまたまたドイツ軍戦線を突破しやうと試みたが、ドイツ軍は熾烈な機動戦の後撃退した  
一、グイテプスク地區では極めて大規模な第二次防禦戦が開始された、赤軍は多數の歩兵師團、戦車、飛行機を繰り出してグイテプスク東南並

一、イタリヤ南方においては兩軍共に増援軍を得て戦闘は更に熾烈化した、ネツツノ方面においては反樞軸軍は北方及び東北方に向つて猛攻を續けてゐるがドイツ軍はこれと激戦の後敵の突破企圖を挫折せしめ甚大な損害を與へた  
一、ミンツルノ及びカステル・フオルテの南方地區においては反樞軸軍は廿一日の戦闘に蒙つた莫大な損失のため局地的攻撃を加へて来たに過ぎなかつた  
一、ドイツ軍は激戦の後再びモンテ・ユガを失つたが、カツシノ地區においてはドイツ軍は敵の猛攻を撃退し反撃によつてサン・エリア西方の

に出でゐるドイツ軍は頑強な赤軍の反撃に遭遇し目下激戦が續けられてゐる  
一、プリビアーチ沼澤地帯南方地區においては赤軍はシュベトフカに對し反復攻撃を加へて来たが失敗に終つた、更にその西北方においてドイツ軍は熾烈な防禦戦の後ロヴノ及びルーツクから撤収した  
一、プリビアーチ河とベレジナ河の中間地區及びグイテプスク西方においては赤軍は攻撃を再開したが、ドイツ軍はこれと一進一退の激闘の後防禦戦に成功した  
一、イルメン湖からフィンランド灣に亘る戦線ではドイツ軍は引続き防禦戦を交へてゐる赤軍は優勢な兵力を以て特にノヴォゴロド西方及びナルヴァ東方において攻勢を續けてゐるが、ノヴォゴロド地區においてドイツ軍は赤軍戦車二十二臺を撃破し反撃に成功した  
【ベルリン發】 總統大本營發表  
一、ネツツノ上陸の反樞軸軍はその北方戰區において局部的攻撃を加へたが失敗に終り、ドイツ軍は集中的反撃によつて再び反樞軸軍の收めた若干の成果を挫折せしめた  
一、南部地區においてはカツシノ周辺の高地帯で激戦が續けられてゐるが同市を俯瞰する諸高地は依然ドイツ軍の手中にある、この戦闘において兩軍の損害は共に甚大であつた  
一、その他の戦線は終日平穩であつた  
【ベルリン發】 總統大本營發表  
一、ニコポリ地區では三日激戦が展開された、ニコポリ市南方

【ベルリン發】 總統大本營發表  
一、ニコポリ地區では三日激戦が展開された、ニコポリ市南方

【ベルリン發】 總統大本營發表  
一、ニコポリ地區では三日激戦が展開された、ニコポリ市南方

【ベルリン發】 總統大本營發表  
一、ニコポリ地區では三日激戦が展開された、ニコポリ市南方

部沿岸地帯に來襲、多數の機砲、爆彈を投下してウイヘルムスハーフェン市の住宅區域に特に甚大な損害を與へた、現在迄判明した所ではドイツ防空陣は米國四發機五機及び戦闘機多數を撃墜した

一、三日夕遅く反樞軸空軍數機はドイツ西部並に西北部を爆撃した
一、ドイツ空軍は三日夜ロンドン並にイングランド東南部を大舉強襲各所に大火災を生ぜしめた
一、ドイツ雷撃機隊が一日北河沖合で反樞軸護送船團を攻撃、多大の戦果を収めたが、更に商船二隻一萬六千噸に大損傷を與へたことが判明した、かくて損傷を蒙つた反樞軸艦船數は巡洋艦一隻、商船九隻六萬八千噸に上る

五

【ベルリン發】 總統大本營 發表

一、ニコポリ地區において赤軍橋頭堡南部並に同市西北方の赤軍突出部において赤軍の重壓が増大したが、獨軍は強力なる赤軍の攻撃を撃退すると共に赤軍の局部的突出部を閉塞した
一、キローヴオグラードとベライヤ・ツェルコヒ中間地區においては不斷に増強されつつある赤軍は獨軍に對して間斷なく猛攻を加へてゐるが獨軍は反撃に轉じ頑強なる赤軍の抵抗を排して一地區においては強力な赤軍陣地を突破すると共に更に前進して赤軍に人的、物的に大損害を與へた

一、ベレジナ河南部並にウイテプスクにおいては獨軍は獨軍陣地を突破せんとする赤軍と激戦を展開、その陣地を保持することに成功した
一、ネヴェリからフィンランド灣にかけての戦線においては赤軍の重壓は四日に至り稍々弱化した、獨軍は赤軍の數箇所における局部的攻撃を撃退、多數の戦車を擱挫せしめた
一、ドイツ空軍は四日、獨軍はネットツノ橋頭堡地區において反樞軸空軍數個大隊に對する包圍鐵環を更に壓縮し、現在までに英兵九百名を捕虜にした、反樞軸軍はこの包圍部隊を救援せんとしてアブリリア北方から戦車部隊を以て攻撃し來つたが獨軍はこれを撃退した
一、カツシノ山岳地帯においては激戦が繼續されてゐる、反樞軸軍は一度撃退された後再びカツシノ市内東北部に侵入し來つたが、獨軍はこれに反撃を加へて又もや驅逐したカツシノとベルモンテ中間地區においては反樞軸軍は四日終日に亘る猛砲撃の後二、三百メートルの地域を獲得することに成功した
一、獨軍はブローニエ港に對する反樞軸空軍の空襲企圖を撃退、四發機九機を撃墜した
一、米空軍爆撃機隊は四日白晝密雲に隠れて西部ドイツに來襲、特にフランクフルト・アン・マイン市の住宅地區が損害を蒙つた、悪天候にも拘らず、獨防空部隊は四發機二機を撃墜した
一、四日夜反樞軸機數機はレーニツシュ・プロシア及びウエストフアリア地方に爆彈を投下した

六

【ベルリン發】 總統大本營 發表

一、ニコポリ地區において獨軍師團は南下する赤軍に對し熾烈なる防禦砲火を浴びせた
一、キローヴオグラードとベライヤ・ツェルコヒ中間地區においては獨軍は各地區において前進を繼續、赤軍部隊を四散せしめるとともに赤軍軍車四十五臺を撃破、赤軍を更に後方に撃退した、赤軍は他地區において局部的攻撃を加へ來つたが成功しなかつた
一、プリビヤチ沼澤地帯南方地區においては前進する赤軍先頭部隊との間に激戦が五日も展開された、一方獨軍は反撃に出て相當の成功を収めた

一、ベレジナ河南方及びウイテプスクにおいて赤軍は獨軍陣地突破を企圖して新たな攻撃を加へ來つたが獨軍及び砲兵隊は頑強なる抵抗を加へ赤軍に甚大な損害を與へその企圖を挫折せしめた、同方面における防禦戦は依然繼續されてゐる
一、ネヴェリ北方、スターラヤ・ルツサ南方及びイリメン湖とレンダラード・プスレカウ鐵道中間地區において赤軍は戦車の掩護下に繰返し攻撃し來つたが獨軍は反撃と白兵戦によつて赤軍に甚大な損害を與へこれを撃退した
一、ネットツノ橋頭堡においては五日は彼の偵察及び突撃隊の活動があつたのみで平靜であつた
一、獨軍はアブリリア北方の反樞軸軍に對する掃蕩作戦において戦車の増強を受けた敵歩兵一箇聯隊を掃蕩

九百名を捕虜としたがその内十九名は將校である、一方敵戦車十一臺、装甲火車二臺を撃破、戦車二臺、多數の歩兵兵器を手つかずで鹵獲した
一、南部戦線では反樞軸軍は五日も極めて有力なる砲兵隊の掩護下に山岳都市カツシノを猛攻した、敵は又もや同市内北部に突入したが勇敢なる獨軍部隊は直ちに反撃を加へこれを撃退した
一、獨軍は五日夜敵揚陸港ネットツノを爆撃した、掃蕩飛行士の言によれば軍需品貯藏庫に大爆発と火災が發見されたといはれる
一、獨軍は五日西歐占領地上空において敵機十一機を撃墜した
一、敵機數機は五日夜ルル地方及びベルリン地區に對し爆彈を投下した
一、獨空軍は五日夜アングリア東南

七

【ベルリン發】 總統大本營 發表

一、ニコポリ地區では赤軍は依然攻勢を續け來つたが、ドイツ軍は撃退するとともに反撃に出でドイツ軍陣地に突入した赤軍數個集團をも驅逐した
一、キローヴオグラード、ベライヤ・ツェルコヒ中間地區では赤軍は執拗に攻撃を加へ來つたが、數地點に小規模な突出部を形成した以外失敗に歸した大損害を蒙り、戦車廿一臺を喪失した
一、ボロンノエ西方でも赤軍の攻撃は撃退され、ドイツ機甲師團は赤軍三個大隊を掃蕩した
一、プリビヤチ沼澤地帯南方で、ド

イツ軍は赤軍騎兵數個部隊と交戦中である
一、ウイテプスク及びベレジナ南方では赤軍は優勢な兵力をもつてドイツ軍陣地を突破するため攻撃を續け來つたが、ドイツ軍は激戦の後またまた多大の戦果を収めた
一、赤軍は六日ネヴェリ北方で戦車力の掩護の下に大軍を繰り出して攻撃を加へ來り、今尙戦闘中である
一、イルメン湖とフィンランド灣の間ではドイツ軍は赤軍の反撃を撃退して後作戦を遂行戦果を収めた
一、ネットツノ橋頭堡は平穩であつたドイツ軍砲兵隊は橋頭堡沖合の反樞軸艦船集團に砲撃を加へた
一、ドイツ空軍爆撃機隊は五日夜アブリリアの反樞軸軍の上陸地點を強襲、驅逐艦一隻、中程輸送船二隻に大損傷を蒙らした
一、カツシノ西北方では米國軍は大軍をもつて終日攻撃を加へ來つたがドイツ軍は白兵線を展開、大損害を與へて撃退した
一、西歐占領地域上空で反樞軸軍飛行機十二機を撃墜した旨七日發表した

八

【ベルリン發】 總統大本營 發表

一、シヤシコフ東方、ベレジナ河南方及びウイテプスク方面における赤軍の突撃企圖はドイツ軍の頑強な抵抗に遭遇してゐる、ドイツ軍はシヤシコフ方面で赤軍戦車十七臺を撃破した
一、イルメン湖西方及びルガ北方にお

いて赤軍は戦車及び空軍の掩護の下に反撃して来たがドイツ軍は反撃を加へ、熾烈な白兵戦の後撃退した。ドイツ軍はネヴェリ北方ルガ西方及びナルヴァ附近において反撃に成功、陣地を局部的に改善した。一、ドイツ軍は二月一日より七日までに東部戦線で赤軍飛行機百九十二機を撃墜した、ドイツ軍の損害は十七機であつた。

一、カウシノ西北方における反樞軸軍の壓迫は依然續けられてゐるが、大規模な戦闘行動には至らなかつた。反樞軸軍は茲數日間に蒙つた甚大の損害のため陣容の整備を行つてゐるのが偵察された。

一、ドイツ軍は比類なき闘志を以て熾烈な防禦戦を遂行しニコポリ附近、チエルカウシ西方、シヤシコフ東方、ベルジナ河南方、イルメン湖の南方及び西方並にルカ地域における強力な赤軍の突破企圖を撃退し、赤軍の形成した局部的突出部を閉塞した。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、八日シヤシコフ南方における赤軍戦車五十八臺撃破と發表されたドイツ軍の戦果は更にその後百十三臺に増加した。

一、ドイツ軍將兵は比類なき闘志を以て熾烈な防禦戦を遂行しニコポリ附近、チエルカウシ西方、シヤシコフ東方、ベルジナ河南方、イルメン湖の南方及び西方並にルカ地域における強力な赤軍の突破企圖を撃退し、赤軍の形成した局部的突出部を閉塞した。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

日二十

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

日二十

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

日二十

一、ドイツ軍は依然續けられてゐるが、ドイツ軍將兵の英雄的抗戦によつて九日、赤軍の企圖はすべて失敗に終つた。

來つたが、ドイツ軍の十字砲火を浴びて潰滅した、同戦場でドイツ軍は反樞軸軍戦車十七臺を破砕した

一、ドイツ長距離砲陣はネッツノ港内の反樞軸艦船團及び橋頭堡の一飛行場を砲撃、多大の戦果を収めた

一、カステル・フォルテではドイツ軍は反樞軸軍の一突破地域を壓縮、奇襲攻撃をもつて一高地を奪取した

一、カツシノ西北方では終日激戦が展開され、ドイツ軍は白兵戦をもつて米國軍の反復強襲を悉く撃退した

一、米英空軍爆撃機隊は強力な戦闘機隊の直衛下に十一日白晝西部ドイツに侵入、數個所に盲爆を加へ、フラインクフルト・アム・マイン、ルドウイクスハルト、エン兩市の住宅區域に無差別に爆彈を投下して損害を蒙らせ、市民間に死傷者を生ぜしめた

一、ドイツ防空陣は再び米國空軍の集中爆撃を阻止したが、現在迄判明した所では米國機二十六機を撃墜してゐる

日四十

一、獨快速艇隊は十二日夜英國海岸に進攻、ハンバー河口に於て英護衛艦一隻を撃沈した

一、カツシノ地区ではドイツは赤軍の局地的攻撃を撃退したが、チェルカツスイ西方、シヤンコフ東方では依然激烈な攻撃、防衛兩作戦を展開、赤軍戦車百二十七臺、火砲六十八門を撃破した

一、ドイツ軍戦車師團はドブノ附近でドイツ軍陣地に突入した赤軍一個部隊を殲滅した

一、ブリビヤーチ、ベレジナ兩河間では赤軍は攻撃を停止した、同地區におけるドイツ軍は一月十六日から二月十日迄空軍の掩護下に抗戦を續行、赤軍歩兵三十個師及び多數の戦車部隊の執拗な突破企圖を撃挫、兵員器材に多大の損害を與へた

一、赤軍はグイテプスク地區及びネヴェリ北方地區で攻勢を再開したがドイツ軍は激戦の後撃退した

一、イルメン、ペイブス兩湖間ではドイツ軍は計畫に従ひ赤軍の妨害を受けることなくして若干地區から撤収した、他の地區ではドイツ軍は赤軍の進出を阻止すると共に反撃作戦を進めてゐる

日五十

一、獨快速艇隊は十二日夜英國海岸に進攻、ハンバー河口に於て英護衛艦一隻を撃沈した

一、カツシノ地区では十三日終日激戦が續行され、反樞軸軍は廢墟と化したカツシノ市中心部迄再び突入したが、ドイツ軍は猛反撃に出で撃退した

一、反樞軸空軍は十三日夜ローマ市を空襲したが軍事施設は何等の損害も蒙らなかつた

一、強力なドイツ空軍部隊は十三日夜良好な視界を利用して大舉ロンドン市を爆撃、各所に火災を生ぜしめた

一、更には北方においてドイツ空軍の快速爆撃機隊はムルマンスク鐵道上の赤軍輸送施設の爆撃を續行し、列車三輛に甚大な損害を與へた

一、二月八日より十四日までドイツ軍は東部戦線において赤軍飛行機二百六機を撃墜したが、ドイツ空軍の損害は二十七機であつた

日六十

一、カツシノ地区では十三日終日激戦が續行され、反樞軸軍は廢墟と化したカツシノ市中心部迄再び突入したが、ドイツ軍は猛反撃に出で撃退した

一、カツシノ方面において反樞軸軍は茲數日間に蒙つた甚大な損害に恐れをなして攻撃を停止した

一、チェルカツシイ西方及びシヤンコフ東方においてドイツ軍は赤軍の頑強な抵抗を撃砕し、その熾烈な反撃を突破して更に進出を遂げた

一、北部戦線ではスターラヤ、ルツサ南方イルメン、ペイブス兩湖の間地帯並びにナルヴァ地區における赤軍の攻撃はすべて挫折し、ドイツ軍は數回に亘つて攻撃を加へ多大の戦果を収めた

一、十五日を通じ兩軍の偵察行動と奇襲部隊の活動が見られただけで大規模な戦闘は行はれなかつた

一、十五日所報の如くカツシノのベネディクチーネ僧院は、院内は勿論

日三十

【ベルリン發】

△東部戦線

一、東部戦線の南部地區に於て獨軍師團はクリヴォイ・ログ東南、チェルカツシイ西方及びシヤンコフ東方地區に於て赤軍の不斷の救助企圖と反撃を激戦の後撃退して更に成功を収めた

一、ドブノ附近に於ては激戦が繼續されてゐるが、獨軍は赤軍戦車十六臺を撃破した

【ベルリン發】

△東部戦線

一、カツシノ附近に於ては熾烈なる戦闘が繼續された、過去數週間に亘つて激烈なる防禦戦に挺身してきた獨擲彈筒部隊は更に強烈なる敵の攻撃を撃退することに成功すると共に反撃に轉じてカツシノ市北部郊外の敵據點數箇所を粉砕した

一、獨空軍快速戰闘爆撃機隊は十二日夜英本土東南部及びロンドンを爆撃した

【ベルリン發】

△東部戦線

一、カツシノ附近に於ては熾烈なる戦闘が繼續された、過去數週間に亘つて激烈なる防禦戦に挺身してきた獨擲彈筒部隊は更に強烈なる敵の攻撃を撃退することに成功すると共に反撃に轉じてカツシノ市北部郊外の敵據點數箇所を粉砕した

一、獨空軍快速戰闘爆撃機隊は十二日夜英本土東南部及びロンドンを爆撃した



その周辺にもドイツ軍は一兵も居らなかつたに拘はらず反樞軸軍の爆撃によつて殆んど灰燼に歸した、よつてドイツ軍はその廢墟を防禦線に取入れた

一、戦闘機及び爆撃機よりなるドイツ空軍は十五、十六の兩夜に亘り反樞軸艦船の集團及びネツツノ、アンチオ地帯を攻撃しB驅逐艦一隻、輸送船四隻一萬九千噸に直撃弾を浴せ燃料、軍需品貯藏庫數棟を破壊し宿營地數ヶ所に火災を生ぜしめた

日七十

發表

△東部戰線

一、クリヴオイ・ログ東南に於いて走軍は獨軍陣地を攻撃し來つたが何等成功しなかつた、一方獨軍車部隊は反撃に出で俘虜と鹵獲品を得た

一、シヤシコフ東方に於いては獨軍は頑強なる赤軍の抵抗を排して更に進出、赤軍戰車三十六臺を破壊した一方獨軍は同方面及びチユルカツスイ西方に於ける赤軍の攻撃を撃退した

一、グイテブスク附近に於いて赤軍部隊は戰車及び空軍の支援下に獨軍陣地突破の企圖を再開し獨擲彈筒部隊は砲兵隊、迫撃砲部隊戰車及び空軍の支援下に激戦の後再び完全なる防禦戦の成功を収めた

一、イルメン湖とベイブス湖中間地帯並にナルヴァ湖周辺に於いて赤軍は多數地點に於いて獨軍陣地を攻撃し來つたが獨軍は激戦の後これを盡く撃退、赤軍に甚大なる損害を蒙らしめた、獨軍部隊は一地區に於て赤軍二個大隊を殲滅した

一、十六日夜ソ聯空軍はヘルシキ

に對して再び猛爆を加へた、同國對空部隊は敵機八機を撃墜した

△イタリヤ戰線

一、ローマ南方に於いて獨軍部隊はネツツノ橋頭堡を更に壓縮するため攻撃を再開した

一、反樞軸軍部隊はアブリリア東南に於いて戰車隊の支援下に反撃作戦を展開したが獨軍はこれを撃退、反樞軸軍に多數の死傷者を出さしめた

一、カツシノ地區に於いては反樞軸軍は再び強力部隊を以つて獨軍陣地を攻撃したが獨軍は激烈なる防禦戦の後その攻撃を挫折した

一、獨海岸砲兵隊はガエタ灣の敵船を砲撃して有效なる成果を収めた

一、アドリア海岸に於いては獨軍部隊は反樞軸軍基地を強襲してこれを破壊、捕虜と鹵獲品を得た

日八十

發表

△東部戰線

一、クリヴオイ・ログ東南南方及び北方において赤軍は十七日有力な戰車歩兵力をもつて攻撃を加へ來り激戦が展開された、今尚ほ戰闘繼續中であるが、特にクリヴオイ・ログ市東南方に形成された突破口では激戦が行はれてゐる

一、ニコポリ地區の激戦においてドイツ軍は昨年十一月五日から本年二月十五日までの間に赤軍の突破企圖を粉碎、大損害を與へた、以上の作戦でドイツ軍は赤軍戰車千七百五十四臺、火砲五百三十三門、その他多數の武器、器材を撃破乃至鹵獲、飛行機五十六機を撃墜した

一、チユルカツスイ西方ではドイツ軍は赤軍の猛反撃を撃退して、過去

數週間後方を遮断されてゐた有力なドイツ軍部隊との連絡を樹立した、赤軍の包圍下にあつたドイツ軍は救出作戦を開始したドイツ軍戰車部隊は陣地に合流した

一、イルメン湖地方、ベイブス湖に至る戦線及びナルヴァ附近では赤軍は戰車隊の掩護下に強力な兵力を繰り出して攻撃を加へ來つたが、ドイツ軍により悉く撃退された

一、ドイツ軍は一切の軍事施設を破壊した後赤軍の妨害を受けることな

一、カツシノ附近ではドイツ軍は反樞軸軍の攻撃を悉く撃退、數箇所ドイツ軍陣地に突入した反樞軸軍は驅逐した、以上の戦闘で反樞軸軍は大損害を蒙つた

一、イタリヤ戰線ではドイツ軍は反樞軸機十八機を撃墜した

一、ドイツ海軍艦隊は十六日タルバ島北方で英國砲艦二隻を撃沈した

日九十

發表

△東部戰線

一、クリヴオイ・ログに於いて赤軍は更に壓迫を増大、終日攻撃を繼續したが、ドイツ軍は一進一退の激戦の後これを撃退し、赤軍が數ヶ所において形成した深い突出部を閉塞した

一、チユルカツシノ西方において更に放出されたドイツ軍部隊は困難な地形にも拘らずドイツ軍主力陣地に合流を遂げ、數回に亘る赤軍の反撃はすべて撃退された

一、グイテブスクにおいてドイツ軍は狙撃兵五十ヶ師團及び多數戰車部隊よりなる赤軍の攻撃に對し二月二日から十六日に亘つて頑強な抵抗を續け、ドイツは遂に防禦戦において更に新たな勝利を獲得し、グイテブスクに對する赤軍の第二次攻撃は完全に熄んだ、この間の戦闘において赤軍の蒙つた兵員器材の損害は極めて甚大で、地上部隊と協力したドイツ空軍部隊は空中戦及び地上砲火によつて赤軍飛行機百二機を撃墜した

一、イルメン、ベイブス湖の中間地帯並びにナルヴァ市區においてドイツ軍は前日と同様戰車及び空軍に掩護された有力な赤軍の攻撃を撃退した

一、イタリヤ戰線

一、ネツツノ橋頭堡においては兩軍共に砲兵部隊を大量に繰出して激戦を續けたが、ドイツ軍の包圍環は更にアブリリア南方四料の線に進出した、戰車を伴ふ敵の反撃は多大の損害を加へられてすべて撃退され、ドイツ軍は捕虜及び戦利品多數を獲た

一、カツシノ附近では多大の損害を蒙つて劣勢となつた米軍に代り、インド人部隊が終日に亘つてドイツ軍の山嶽陣地に出撃を試みたが、ドイツ軍砲火によつてすべて撃退された、數ヶ所の突出部は反撃によつて直ちに閉塞され、無数の死體がドイツ軍陣地の前面に遺棄された、カツシノ停車場は幾度かその手を替へたが遂にドイツ軍の手中に歸した

日十二

發表

△東部戰線

一、クリヴオイ・ログ南方に於いて獨軍部隊は赤軍陣地を突破して多數の據點を獲得した、赤軍はクリヴオイ・ログ市の兩側において攻撃し來つたが成功しなかつた

一、シヤシコフ東方においても赤軍の攻撃は激戦の後挫折した、同方面で赤軍は戰車二十六臺を喪失した

一、プリビアーチ河とベレジナ河の間地區において赤軍は強力なる準備砲撃の後戰車及び空軍の支援下に再び攻撃を開始したが、獨軍は熾烈なる自兵戦を展開して赤軍の攻撃を撃退するとともに局地的突破口を閉塞した

一、獨軍は中部戰線後方地區における匪賊に對する戦闘において頑強なる敵の抵抗を排して敵據點二百五十七、補給倉庫百以上を破壊するとともに夥しい兵器と食糧を鹵獲した、匪賊は多數の死傷者を出した

一、ヴエリキエ・ルキ北方及びイルメン湖南方において活潑なる戦闘が繼續され、右戦闘は現在なほ進行中である

一、赤軍の重壓はイルメン湖とベイブス湖中間地區、並にナルヴァ地區において繼續してゐるが、獨軍は激戦の後多數の赤軍の攻撃を粉碎した

一、赤軍前進部隊及び戦闘中の部隊は獨軍の集中砲火を潰滅した、赤軍が突出した數箇地點においては激戦がなほ繼續されてゐる

一、ステンメル砲兵大將麾下の

獨陸軍部隊及びリエ中將麾下の獨

親衛隊は英雄的防禦戰に於て克く數  
的に壓倒的優勢な敵部隊の攻撃に耐  
へると共に敵包圍環の突破に成功し  
た、司令官並に將兵は英雄的忍耐、  
大膽なる戦意、犠牲をいとぬ同志  
愛を信條とする獨軍將兵の傳統的歴  
史に更に輝ける一頁を加へたもので  
ある、一方右部隊を救援するために  
ブライヒ將軍麾下獨機甲部隊はフォ  
ン・ヴォルマン將軍麾下陸軍部隊と  
協力して悪天候と最も困難なる地形  
を克服して赤軍包圍網突破のための  
準備措置を完了した

一、赤軍は人的物的に甚大なる損害  
を蒙り二月四日から十八日までの間  
に戦車七百二十八臺、砲八百門を喪  
失し捕虜數千名を出した、ゼーデス  
ン中將の指揮する獨第八空軍は地上  
部隊に對して最高度の支援を與へ、  
輸送機並に爆撃機は悪天候と敵戰團  
機の抵抗を冒して包圍部隊に對して  
食糧を投下すると共に負傷者二千四  
百名を後方へ輸送した、右作戦で獨  
輸送機三十二機を喪失したが敵機五  
十八機を撃墜した

△イタリヤ戦線  
一、ネットスの橋頭堡における戦闘は  
十九日も不斷的の橋頭堡を以て繼續さ  
れた、アフリリア南方、東南方にお  
いて獨軍の攻撃と戰軍隊の支援を受  
けた敵の反撃とが交錯した  
一、獨空軍戰團爆撃機及び戰團機編  
隊はネットスの橋頭堡に對し日夜有效  
なる爆撃を加へてゐる、一方アンテ  
ナ港に對しても必中彈を與へて軍需  
倉庫に大少を發せしめた  
一、アンテオ沖合の船舶に對する攻  
撃において獨軍は七千噸の輸送船一  
隻を撃沈、更に二隻合計一萬六千噸

を大破した  
一、アンテオ沖合の水域において獨  
潜水艦隊は滿載の上陸用舟艇三隻、  
一萬六千噸の貨物船一隻、驅逐艦二  
隻を轟沈した、右水域において獨潛  
水艦が敵巡洋艦を撃沈したことは既  
に發表した通りである  
一、南部戦線においては反樞軸軍は  
前數日の大損害により十九日は大規  
模な攻撃に出でなかつた、ワステル  
・ポオルテ東北方地区における激烈  
なる局地戦を除いては平靜であつた  
一、イタリヤ全線上空において獨軍  
は十九日敵機十八機を撃墜した

△西部戦線  
一、廿日早曉英空軍爆撃機編隊は中  
部ドイツの各地に對して威嚇爆撃を  
加へた、特にライプツヒ市の住民地  
區に對して多數の高性能爆弾及び機  
銃爆撃機八十三機を撃墜した、反樞  
軸空軍は十九日夜もドイツ北部及び  
西北部の各地に對し爆弾を投下した  
一、獨海軍高射砲隊は二月十一日か  
ら二十日までの十日間に敵機十二機  
を撃墜した

日一廿

【ベルリン發】 總統大本營  
發表表  
△東部戦線  
一、クリヴオイ・ローグ南  
方ンヤシコフ東方、ベレリナ南方及  
びヴィテプスク東南方の各地區で赤  
軍の一部は戰軍隊の掩護下に反復攻  
撃を加へ來つたが、ドイツ軍はそれ  
ぞれ大損害を與へて撃退、赤軍戰車  
二十臺を破摧した  
一、北部戦線ではドイツ軍は數地區  
で計畫に基き戦線を短縮するため撤  
收した、赤軍は追撃を試みたが、ド  
イツ軍により撃退された

△イタリヤ戦線  
一、ネットスの橋頭堡では一進一退の  
激戦が續行されてゐるが、ドイツ軍  
は戰軍隊の掩護下に數回に亘つて反  
撃を加へ來つた反樞軸軍を撃退、更  
に攻撃に出で反樞軸軍一個中隊を殲  
滅、アフリリア南方では一個部隊を  
殲滅した、同部隊はドイツ軍の包圍  
を脱するため猛反撃を試み、他の反  
樞軸軍も必死で救出せんと試みたが  
ドイツ軍により悉く撃退された  
一、ドイツ長距離砲隊はアンテオ、  
ネットス、兩港を砲撃、多大の戦果を  
擧げた  
一、南部地區では特記すべき戦闘は  
行はれなかつた

日二廿

【ベルリン發】 發總統大本  
營發表表  
△東部戦線  
一、クリヴオイ・ローグ市  
内においてドイツ軍は突入して來た  
赤軍と熾烈極まる市街戦を展開した  
一、スヴェニゴロドカ、ジャシコフ  
東方、ベレリナ南方、ロガチエフ東  
北方における赤軍の攻撃はすべて甚  
大な損害を蒙つて撃退され、ドイツ  
軍は赤軍の形成した突出部を閉塞し  
た、イルメン、ペイブス兩湖の中  
間地區において赤軍は大規模な攻撃  
を加へたが、ドイツ軍は數ヶ所にお  
いてこれを撃退した

△西部戦線  
一、米國空軍爆撃機隊は二十日白晝  
ドイツ中部及び北部の數箇所を盲爆  
特にライプツヒ市に多大の損害を生  
ぜしめた  
一、英國空軍爆撃機隊は二十一日早  
朝密雲を利してストットガルト地區  
を攻撃、特に同市住宅地域に盲爆を  
加へて損害を生ぜしめ、文化記念物  
教會、公共建物等を破壊した  
一、以上の諸盲爆に際してドイツ防  
空陣は悪天候を冒して米英兩國空軍  
機四十九機を撃墜したが、大部分四  
機重傷機であつた  
一、ドイツ空軍は廿日夜強力なる戰  
爆機隊をもつて再びロンドンを攻撃  
多數の爆彈焼夷彈を投下して、都心  
地區に大火災と破壊を生ぜしめた  
一、ドイツ潜水艦隊は北大西洋水域  
において反樞軸驅逐艦及び哨戒隊と  
執拗且つ熾烈な戦闘を交へた後、商  
船護送艦十一隻を撃沈した

日三廿

【ベルリン發】 總統大本營  
發表表  
△東部戦線  
一、クリヴオイ・ローグ東  
南方においてドイツ軍擲弾兵部隊は  
對戰車砲の掩護下に赤軍陣地を突破  
し更に執拗に抵抗する敵に攻撃を加  
へて兵員に甚大な損害を與へた  
一、ズヴェニゴロドカ地區、ブリブ  
ヤーチ河南方におけるドイツ軍の攻  
撃は多大の戦果を収めた  
一、ドイツ空軍はジメミールの赤軍  
飛行基地を奇襲、飛行機二十機を撃  
破した

△西部戦線  
一、ベレリナ河南方及びヴィテプス  
ク東南方においてドイツ軍は赤軍の  
局部的攻撃をすべて撃退しロガチエ  
フ東北方において進出して來た赤軍  
と激戦を續けてゐる  
一、北部戦線のイルメン湖西南及び  
西方においてはドイツ軍は計畫通り  
退避作戦を進めてゐる  
一、ペイブス湖東方において赤軍は  
反復攻撃を加へて來たが、ドイツ軍  
はすべてこれを撃退した  
一、ドイツ軍は一切の軍事施設を破  
壊した後クリヴオイ・ローグ市から  
撤收した

△イタリヤ戦線  
一、ネットスの橋頭堡において反樞軸  
軍は數回に亘つて攻撃を加へて來た  
がすべて失敗し、この戦闘でドイツ  
軍は戰車を伴ふ敵一個中隊を殲滅し  
た  
一、アフリリア南方において反樞軸  
軍は數回に亘つて攻撃を加へて來た  
がすべて失敗し、この戦闘でドイツ  
軍は戰車を伴ふ敵一個中隊を殲滅し  
た  
一、アンテオ南方においてドイツ  
軍は數回に亘つて攻撃を加へて來た  
がすべて失敗し、この戦闘でドイツ  
軍は戰車を伴ふ敵一個中隊を殲滅し  
た

△イタリヤ戦線  
一、アンテオ南方においてドイツ軍は  
數回に亘つて攻撃を加へて來たが  
すべて失敗し、この戦闘でドイツ軍  
は戰車を伴ふ敵一個中隊を殲滅し  
た  
一、アンテオ南方においてドイツ軍  
は數回に亘つて攻撃を加へて來た  
がすべて失敗し、この戦闘でドイツ  
軍は戰車を伴ふ敵一個中隊を殲滅し  
た

△イタリヤ戦線  
一、アンテオ南方においてドイツ軍は  
數回に亘つて攻撃を加へて來たが  
すべて失敗し、この戦闘でドイツ軍  
は戰車を伴ふ敵一個中隊を殲滅し  
た  
一、アンテオ南方においてドイツ軍  
は數回に亘つて攻撃を加へて來た  
がすべて失敗し、この戦闘でドイツ  
軍は戰車を伴ふ敵一個中隊を殲滅し  
た

△イタリヤ戦線  
一、アンテオ南方においてドイツ軍は  
數回に亘つて攻撃を加へて來たが  
すべて失敗し、この戦闘でドイツ軍  
は戰車を伴ふ敵一個中隊を殲滅し  
た  
一、アンテオ南方においてドイツ軍  
は數回に亘つて攻撃を加へて來た  
がすべて失敗し、この戦闘でドイツ  
軍は戰車を伴ふ敵一個中隊を殲滅し  
た

災を生ぜしめた

日四廿

【ベルリン發】 總統大本營發表

一、クリヴオイ・ローグ地区における戦闘は茲數日間比し稍々緩慢となり、數回に亘る赤軍の攻撃は撃退された

一、スヴェニゴロドカ西方において攻勢に出たドイツ軍は若干の進出を遂げた

一、シヤシユコフ東方における赤軍の攻撃は特に頑強であつたが再び失敗に終り、ドイツ軍は赤軍戦車多數を撃破した

一、ザストラフ附近及びプリビアチ湿地帯南方地区におけるドイツ軍の攻撃は多大の戦果を収めた

一、ベレジナ河南方、ロガチエフ北方ウイテプスク東南方におけるドイツ軍の防禦陣地は熾烈な度を減ずることなく續けられてゐる、ドイツ軍は赤軍の突破企圖をすべて撃碎して局部的突出部を閉塞、赤軍の兵員、器材に甚大な損害を與へた

一、イルメン、ペイブス兩湖の中間地帯において赤軍はドノ一兩側及びルガプレスカウ鐵道西方のドイツ軍の分遣部隊を突破せんと試みたが失敗に終つた

一、ナルヴァ地区における戦闘は益々熾烈となり赤軍が數日間形成した突出部を閉塞せんとするドイツ軍の攻撃は頑強な抵抗を排して着々進められてゐる

一、ドイツ軍はアブリリア南方において包圍された反樞軸軍の頑強な抵抗を排して更に狹隘な地域に壓縮し捕虜四百以上を獲た、反樞軸軍は重砲火と輦砲射撃の掩護の下に數回に亘つて救援を試みたが、ドイツ軍の防禦陣地によつて撃碎された

一、ドイツ軍はアブリリア南方において包圍された反樞軸軍の頑強な抵抗を排して更に狹隘な地域に壓縮し捕虜四百以上を獲た、反樞軸軍は重砲火と輦砲射撃の掩護の下に數回に亘つて救援を試みたが、ドイツ軍の防禦陣地によつて撃碎された

日五廿

【ベルリン發】 總統大本營發表

一、クリヴオイ・ローグ地区及びズヴェニゴロドカにおいてはドイツ軍は二十四日赤軍の攻撃を悉く撃退した、ズヴェニゴロドカ北方及びプリヒヤチ湿地帯南方地区において反撃に出たドイツ軍は赤軍の頑強な抵抗を排して戦果を擴大してゐる

一、ベレジナ河南方及びロガチエフ北方のドイツ軍は、兵力を増強した

一、英國空軍爆撃機隊は廿四日夜再びシユウインフルト市に爆撃を加へた

一、反樞軸空軍アローター機隊は更に西部ドイツの數個所に盲爆を加へた

一、ドイツ防空陣は以上の各空襲に際し反樞軸機百六十六機を撃墜したが内百四十三機は四發爆撃機であつた

一、ドイツ空軍は廿四日又復ロンドン市の大規模爆撃を敢行、多大の戦果を収めた

一、ドイツ快速艦隊は廿四日ドーヴアー海峡北部入口で驅逐艦數隻の護衛する英國護送船團を強襲、商船二隻三千トンを撃沈した、英國快速艦隊はドイツ快速艦隊の歸途を擁して攻撃を加へ來つたが失敗に歸しドイツ側は全部基地に無事歸還した

一、ドイツ快速艦隊は廿四日ドーヴアー海峡北部入口で驅逐艦數隻の護衛する英國護送船團を強襲、商船二隻三千トンを撃沈した、英國快速艦隊はドイツ快速艦隊の歸途を擁して攻撃を加へ來つたが失敗に歸しドイツ側は全部基地に無事歸還した

一、ドイツ快速艦隊は廿四日ドーヴアー海峡北部入口で驅逐艦數隻の護衛する英國護送船團を強襲、商船二隻三千トンを撃沈した、英國快速艦隊はドイツ快速艦隊の歸途を擁して攻撃を加へ來つたが失敗に歸しドイツ側は全部基地に無事歸還した

日六廿

【ベルリン發】 總統大本營發表

一、ドニエプル河とクリヴオイ・ローグとの中間地区及びキエフ南方において赤軍は激戦を展開して赤軍の攻撃を撃退すると共に局部的突出部を閉塞した

一、中部地区の後方において獨保安部隊はフランス義勇軍と協力してソ聯の大匪賊團を掃蕩、死傷者多數を出さしめると共に夥しい戦利品を鹵獲した、匪賊の集窟四十三、特火點並に補給倉庫千以上を破壊した

一、北部地区に於ける赤軍部隊は計畫に従つて更に分離作戦を行つた

一、獨軍はプレスカウ湖東岸とナルヴァ戦線において激戦の後赤軍の攻撃を挫折せしめた

一、廿六日夜ソ聯威嚇爆撃機隊はヘルシンキを攻撃、住民地区に損害を生じ一般市民の間に死傷者を出した

一、イギリス空軍は廿四日夜再びシユウインフルト市に爆撃を加へた

一、反樞軸空軍アローター機隊は更に西部ドイツの數個所に盲爆を加へた

一、ドイツ防空陣は以上の各空襲に際し反樞軸機百六十六機を撃墜したが内百四十三機は四發爆撃機であつた

一、ドイツ空軍は廿四日又復ロンドン市の大規模爆撃を敢行、多大の戦果を収めた

日七廿

【ベルリン發】 總統大本營發表

一、ドニエプル河とクリヴオイ・ローグ中間地区ベレジナ河南方において獨軍部隊は一部地区において激戦を展開して赤軍の攻撃を撃退すると共に局部的突出部を閉塞した

一、中部地区の後方において獨保安部隊はフランス義勇軍と協力してソ聯の大匪賊團を掃蕩、死傷者多數を出さしめると共に夥しい戦利品を鹵獲した、匪賊の集窟四十三、特火點並に補給倉庫千以上を破壊した

一、北部地区に於ける赤軍部隊は計畫に従つて更に分離作戦を行つた

一、獨軍はプレスカウ湖東岸とナルヴァ戦線において激戦の後赤軍の攻撃を挫折せしめた

一、廿六日夜ソ聯威嚇爆撃機隊はヘルシンキを攻撃、住民地区に損害を生じ一般市民の間に死傷者を出した

一、イギリス空軍は廿四日夜再びシユウインフルト市に爆撃を加へた

一、反樞軸空軍アローター機隊は更に西部ドイツの數個所に盲爆を加へた

一、ドイツ防空陣は以上の各空襲に際し反樞軸機百六十六機を撃墜したが内百四十三機は四發爆撃機であつた

一、ドイツ空軍は廿四日又復ロンドン市の大規模爆撃を敢行、多大の戦果を収めた

日八廿

【ベルリン發】 總統大本營發表

一、ドニエプル河とクリヴオイ・ローグ中間地区ベレジナ河南方において獨軍部隊は一部地区において激戦を展開して赤軍の攻撃を撃退すると共に局部的突出部を閉塞した

一、中部地区の後方において獨保安部隊はフランス義勇軍と協力してソ聯の大匪賊團を掃蕩、死傷者多數を出さしめると共に夥しい戦利品を鹵獲した、匪賊の集窟四十三、特火點並に補給倉庫千以上を破壊した

一、北部地区に於ける赤軍部隊は計畫に従つて更に分離作戦を行つた

一、獨軍はプレスカウ湖東岸とナルヴァ戦線において激戦の後赤軍の攻撃を挫折せしめた

一、廿六日夜ソ聯威嚇爆撃機隊はヘルシンキを攻撃、住民地区に損害を生じ一般市民の間に死傷者を出した

一、イギリス空軍は廿四日夜再びシユウインフルト市に爆撃を加へた

一、反樞軸空軍アローター機隊は更に西部ドイツの數個所に盲爆を加へた

一、ドイツ防空陣は以上の各空襲に際し反樞軸機百六十六機を撃墜したが内百四十三機は四發爆撃機であつた

一、ドイツ空軍は廿四日又復ロンドン市の大規模爆撃を敢行、多大の戦果を収めた

虜とし敵戦車二百十二臺を破壊、二  
十一臺を使用不能に陥らしめたほか  
五臺を鹵獲、大砲四十門以上を破壊  
した

日八廿

【ベルリン發】 總統大本營  
△東部戦線  
一、赤軍は二十七日はクリ  
ヴオイ・ローグの両面にお

いて強力な歩兵、戦車隊を繰り出し  
て攻撃を續けたが、ドイツ軍は  
悉く撃退、數個所の楔を閉塞した  
一、ブリビヤーチ湿地帯南方の數地  
點では激戦が展開された  
一、ヤンポリではドイツ軍は反撃に  
出て赤軍を撃退した

一、ベレジナ南方では赤軍は戦車隊  
の掩護下に反復攻撃を加へ來つたが  
ドイツ軍により撃退された  
一、ドイツ空軍はルーマニア空軍と  
協力して大砲キーロヴオグラエド東  
方の赤軍砲兵陣地戦車、歩兵集團を  
攻撃、ドニエプル河の一橋梁を爆破  
した

△イタリア戦線  
一、廿七日は局地的戦闘が行はれた  
のみである  
一、ドイツ軍はアブリリア西南のブ  
オン・リボン附近で過去數日間包圍  
中の反樞軸軍約二個大隊を激戦の後  
殲滅した、反樞軸軍は苛烈な白兵戦  
で多大の損害を蒙つた

一、ドイツ長距離砲陣はアンチオ、  
ネットツの上陸據點を砲撃、多大の  
戦果を擧げたほか、ドイツ空軍はア  
ンチオ港を強襲、各所に大火災を生  
ぜしめた

日九廿

【ベルリン發】 總統大本營  
△東部戦線  
一、ケルチ東方及びクリヴ

オイ・ローグ地區においてドイツ軍  
は數回に亘る赤軍の攻撃を撃退して  
甚大な損害を與へ、反撃によつて赤  
軍の局部的突出部を閉塞した  
一、ブリビヤーチ湿地帯においては  
局地的戦闘が活潑に續けられてゐる

一、ベレジナ河南方及びヴイテフス  
ク東南方における優勢な赤軍の攻撃  
はドイツ軍陣地の前面において挫折  
し、ドイツ軍は反撃によつて狭隘な  
地區における激戦の後赤軍を數ヶ所  
の突出部から驅逐した  
一、ネヴエリ西北方において赤軍は  
狙撃兵數ヶ師團を以て攻撃を開始し  
たが、ドイツ軍は激戦の後防禦戦に  
おいて完全な勝利を収めた  
一、ブスコフ湖東方及びナルヴァに  
おいて赤軍は攻撃を反復したが大不  
功に終りドイツ軍砲兵部隊は赤軍の  
機動部隊及び陣地を潰亂せしめた  
一、有力なドイツ空軍部隊は地上部  
隊を掩護し特にクリヴグオイ・ローグ  
ドブノ、ブスコフ湖方面において赤  
軍歩兵及び機甲部隊に低空攻撃を加  
へ、又爆撃及び高射砲多數を撃破した  
軍の車輛及び高射砲多數を撃破した  
最北戦線においてもドイツ空軍快速  
爆撃機隊はムルマンスク鐵道沿線の  
赤軍兵舎を爆砕した

△イタリア戦線  
一、ネットツノ橋頭堡においてドイツ  
軍は奇襲によつて陣地を局部的に改  
善した  
一、南部地區カステル、フォルテ及  
びテレレにおける反樞軸の攻撃はす  
べて撃退された

△空中戦  
一、二月中に於て獨軍は東部戦線に  
於てソ聯飛行機七百六十三機を撃墜  
した、内四十三機は陸軍部隊が撃墜

したものである、この期間に於ける  
獨機の喪失は四十三機である  
一、獨空軍は快速爆撃隊が廿九日夜  
ロンドンを痛撃した

二月前半獨空軍の戦果

【ベルリン十八日發】 ドイツ軍當局  
は十八日次の如く言明した  
二月一日から十六日迄の間にドイツ  
空軍並びに高射砲隊は、ドイツ國內  
及び西部占領地域に於て、英空軍の  
内及び二百四十四機を撃墜した、  
又イタリア戦線に於ては同期間内に  
空軍爆撃機並びに戦闘機八十一機を  
撃墜破した、英國情報報は最近ドイ  
ツ空軍が反樞軸空軍の攻勢を受けて  
ゐるので、東部戦線から若干の空軍  
部隊を廻して來なければならぬこと  
と宣傳してゐるが、これが如何に  
出鱈目であるかは、二月一日から  
十五日迄の間に東部戦線に於てソヴ  
エト空軍四百二十六機が撃墜されて  
ゐるといふ事實だけでも證明されよ  
う

東部戦線

獨軍術をもつて力を防ぐ

【チューリッヒ七日發】 北はフィン  
ランド灣から南はベレコフ地峽に  
至る蜿蜒二千二百料の長大な戦線に  
勃發した獨ソ兩軍の第三次冬季攻防  
戦は二月の第二週に入るに及んで意  
外に早く最高潮に達した、東部戦線  
における今年の冬季は例外的に暖か  
で、まるで冬とは思へぬ程の気温で

例年より早い春の訪れが豫想されて  
ゐるが、赤軍が強引に攻勢を續行し  
てゐるのは泥將軍を伴ふ春の到來前  
に戰略的成功を確保しやうと焦慮し  
てゐるためと解される、獨ソ兩國の  
情報によればドニエプル、ブグ兩河  
間の戦線では例年の四月より三月早  
く既に泥濘期が始まり、深さ二十五  
糎から自動車、車軸迄位の泥の海と  
化してをり、気温も八度程度のため  
れるが北部戦線でも雪不足のため赤  
軍セベリア部隊はスキーを使用出來  
ぬ有様だ、一月中旬赤軍がレニング  
ラード周辺のドイツ軍封鎖線突破攻  
勢を開始して以來、東部戦線の焦點  
は北部戦線に固定されてゐたが、二  
月第一週に入るに至つて戦闘は全線  
に波及、一月中旬赤軍が「劇的一週間」  
と評してゐる様にエストニア國境に  
對する赤軍の大規模攻勢以外、赤軍  
はネヴエリ北方及び南方、ヴイテフ  
スク南方ベレジナ河南方、ブリビヤ  
ーチ湿地帯南方、キーロヴオグラ  
イトとペーラヤ・ツェルコヒの中間ニ  
コポリ周邊及びベレコフ地峽の各  
戦線で一齊に攻撃を開始、攻撃範圍  
はドイツ軍全防衛線を徹ふに至つて  
ゐる、以上を對しドイツ軍は兵力防  
約の既定方針を堅持しなければならない  
ひ切つた戦線縮小を斷行してをり、  
ドイツ著名ラジコ評論家デイトマー  
ル中將も「ゴム紐が動き出す様に」  
と評してゐるが、ドイツ軍當局の言  
明によればドイツ軍は有効適切に豫  
備兵力を使用も、未だ一箇所の包圍乃  
至戦線突破も、赤軍に許してゐない  
様だ、北部戦線におけるナウルグア  
ベイブス湖を結ぶ線迄のドイツ軍の  
撤收以外に注目すべき現象は舊ポー  
ランド國境西方のロヴ、ノルツク撤

收で、モスクワ側は以上により北方  
ブレストリトウスク、南方レンベル  
グに對するヴァアウチン軍の進攻路  
が拓かれレンベルグの陥落はドニエ  
プル彎曲部におけるマンシニタイ  
ン軍をルーマニア迄撤收せしめ、ブレ  
ストリトウスクの陥落は中部及び北  
部戦線のドイツ軍をして東プロシア  
迄後退せしめるであらうと宣傳して  
ゐる、これに對しバーズラー・ナハ  
ヒテン紙軍事記者レガートウスキ  
はヴァアウチン軍がルツク進出をも  
つて一旦停止し、ドニエプル、ブグ  
兩河間の第一、第二ウクライナ戦線  
軍を側面から掩護してドイツ軍の反  
撃を阻止しやうと努めるであらうと  
觀測してゐるが、ドイツ軍司令部の  
公報によればポロンノエ地區で激戦  
が展開されてゐるところからみると  
ヴァアウチン軍はルツク突出部の基  
底を擴大、カルベチアに對する南進  
の出發點と化さうと圖つてゐること  
は明瞭だ、ペーラヤ・ツェルコヒ、キ  
ーロヴオグラード中間の戦局は混沌  
として真相把握に苦しむがソ聯側は  
カーネフ橋頭堡でドイツ主第八、第七  
混成軍十二萬を包圍したと主張して  
ゐる、以上を對し、ドイツ側はジグザグに  
入組んだ戦線で激戦が展開され、戦  
線が目醒しく變化してゐると報ずる  
以外包圍の事實は認めてゐない、ニ  
コポリ橋頭堡の戦局も判然とせず、  
ドイツ軍當局は赤軍の攻勢開始を認  
めてゐるが、ソ聯はニコポリ西北方  
及び東北方で幅百六十料に亘りドイ  
ツ軍陣地を突破、ドイツ軍五個師六  
萬を包圍したと稱してゐる、他方ベ  
レコフ地峽、ベレジナ南方、ヴイ  
テフスク、ネヴエリの各地區におけ  
る赤軍の攻勢は阻止されてゐるがレ

ガートウズ氏はドイツ軍豫備兵力を引き付けるための牽制策と解してゐる様だ、チューリッヒ・ツァー・ツァー紙ベルリン電によればドイツ軍當局は東部戦線の大攻防戦は今後弱化する所か寧ろ愈々激化するとの見解を持してゐるが、ドイツ報として既にドイツ政府は對應措置として既にドイツ人のウクライナ移民十四萬を引揚げさせたと傳へられる

### 赤軍の兩斷作戦時遅し

【チューリッヒ十四日發】ベルリンからの戦況報道を綜合すれば二月第三週に入るに至つてドイツ軍は遂に第三次冬季戦における重大危機を脱したとの感を深めてゐる、尤も赤軍の攻勢が續行されてゐる限り、現在の戦線が膠着するといふことにはならないが、併しドイツ軍のいふ「護謄紙」陣地分裂の危機が解消されたことだけは確かだ、チューリッヒ・ツァー・ツァー紙の再編に努めてゐると報じてゐるが、ジュルナルド・ド・ジュネーブ紙のベルリン電によれば、ドイツ軍當局は十四日カーネフ突出部でドイツ軍十個師を包圍したとのソ聯側の主張を十四日初めて否定したといはれる、總統大本營十四日の公報はブリヤター、ペレジナ兩河中間地区において廿五日間に亘り間斷なく續行されたロコフスキ一廳下白ロシア戦線軍の突破攻勢が遂に中止された旨發表してゐるが、以上は同方面におけるドイツ軍防禦陣地を崩壊させようとな圖した赤軍の戰略攻撃が終熄したことを意味するものとみるべく、今後は恐らく局地的な戦術攻勢が来るべき夏季攻勢のための基地獲得戦の程度を出ぬであらう、ラ・スイス紙軍事記者の見解によればロヴノ地区では楔を打ち込み、マンシュタイン軍の完全包圍を企圖してゐるといはれる、北部戦線のルガ地区における赤軍の若干の成功は否定し得ないが、キエフヒラー軍の包圍にはまなまと失敗した様だまた中部戦線では赤軍はボロツクを抜けばバルト國境への道が拓かれるといふので焦つてゐるが、目下の所ヴィテプスク地区におけるドイツ軍の頑強な攻勢は赤軍の西方進出を完全に阻んでゐる、併し四月になつて大規模な行動が不可能となる迄は赤軍のボロツク突破の作戦企圖は進展されやう、又右軍事記者の報道によればドイツ軍司令部以上の可能性を充分考慮してをり、多少の地域を放棄しても赤軍のこの攻勢を阻止するであらう、ウクライナ戦線では赤軍のロヴノ進出に伴ひカルバート・ウクライナに對する進路は一應拓かれた譯だが、ドイツ軍陣地の兩斷を圖る赤軍參謀總長ワシレフスキ元帥の大作戦計畫を實現するには時既に遅しの憾みがある

### 獨マルセレ少將戦死

【ベルリン十七日發】獨軍當局は十七日、ジグフリード・マルセレ陸軍少將が東部戦線の戦闘で戦死を遂げた旨發表した、同少將は享年五十六歳、リビア戦線・アラオイン上空で戦死した有名な戦闘機乗りマルセレ大尉の父君である

### インランド地区

#### ヘルシンキを連爆

【ストックホルム七日發】モスクワ來電ソ聯情報局は六日夕のヘルシンキ爆撃について七日夜次の通り發表した

六日夜赤軍爆撃機隊はヘルシンキ市を空襲、軍事、工業施設、鐵道、港灣施設並びに市街中心地を爆撃した、飛行士の報告によれば、強烈な爆撃の後に三十ヶ所以上に火災が生じたのが認められ、特にガス・タンク所在地、兵營、停車場、倉庫等に大火災が生じ、又造船所、乾船渠、航空機工場に大爆発が起り、船渠は爆撃隊の歸路二百五十軒の遠方より偵察機は火災がまだ消滅せずに至り偵察機は火炎に覆はれてゐる市街が濛々たる火炎に覆はれてゐることを報告した、本空襲において我が方の損害は未詳四機である

【ストックホルム八日】ソヴェト空軍は六日夜ヘルシンキを爆撃したが通信聯絡遮断のため爆撃の詳細は八日漸くストックホルムに到達した、右詳報によれば爆撃は前後四時間に亘り参加爆撃機は百五十機乃至百八十機、市民の間に死者三十八名、負傷者二百三十二名を出したと云はれる、婦女子は既に立退きを開始したが七日朝に至る迄爆撃による火災は依然鎮火するに至つてゐない

【ベルリン九日發】ヘルシンキ來電ソインランド軍司令部は九日の公報で「六日夜のソ聯空軍のヘルシンキ爆撃に際し同市附近でソ聯爆撃機三機を撃墜、地上砲火により多数に損傷を與へた」旨發表した

【ストックホルム十七日發】ソヴェト空軍反樞軸の神經戦と呼應し、十六日夜から十七日拂曉にかけてヘルシンキに三回の爆撃を行つたが、第一回は十六日午後七時頃五十機前後から成る爆撃機隊を以て來襲市の中心地区に爆撃を加へ、更に午後十一時頃再び來襲、猛烈的な市の周邊地区に前回よりも更に至る爆撃を加へた、更に十六日深夜に至り有力な爆撃機隊は第三回目の空襲を強行し、爆撃は十七日午前一時頃から二時頃迄續行された

【ストックホルム十七日發】ヘルシンキ市並にその周邊地区は十六日午後八時半から十七日午前五時半の間に再び四百機以上から成ると確認されたソヴェト空軍の爆撃を受けた、火災が諸所に發生し市街地の、建築物が破壊され市民の間に十二名の死者並に十四名の負傷者を出した、フィンランド軍高射砲隊は敵機八機を撃墜し、更に多数の敵機を撃破したソヴェト空軍は更にタムペレ市その他フィンランド東南部及び南部地方をも敵撃したがフィンランド軍戦闘機はソヴェト空軍とアラウス地峡で三回の空中戦を交へて爆撃機一機、戦闘機二機を撃墜した、フィンランド地峡でソヴェト爆撃機二機が高射砲によつて撃墜されソヴェト空軍の損害は少くも合計十三機に達した、オネガ湖南方戦線に於てフィンランド軍砲兵隊は水原を横斷して湖岸に到達しようとな圖した敵小分遣隊を撃碎した

【ストックホルム十七日發】ヘルシンキ來電ソインランド軍最高司令部は廿七日次の通り發表したソヴェト空軍は廿六日夜六百機以上の編隊をもつて前後十二時間におたヘルシンキ市に爆撃を加へ市内隨所に高性能爆弾並に焼夷彈を投下した、市内の建物特に住宅地区の建築物が損害を受け火災を起し、一般市民の間に死傷者を出した、芬蘭軍はソヴェト空軍の十二機を撃墜した

【ストックホルム廿七日發】ソヴェト空軍は廿六日夜數百機の編隊を以てヘルシンキを大舉爆撃した、爆撃は前後二時間に及んだが特に午後六時過ぎと夜半が猛烈を極め市内廿ヶ所に大火災が起つたと云はれる、但しストックホルムとヘルシンキ間の電話連絡が杜絶した爲め被害の詳細は未だ判明しない

【ストックホルム九日發】ヘルシンキ來電ソインランド軍當局は赤軍飛行機百五十機が十日夜コトカ市を二時間に亘り爆撃し、市民の間に死者八名、負傷者二名を出した旨十一日發表した

【ストックホルム十二日發】ヘルシンキ來電ソインランド軍當局は二十日次の如く發表した

約四十機からなるソヴェト軍爆撃隊は二十一日夜ヘルシンキ市北方三百二十五哩、ボスニア灣の沿岸のウレアルポルク(オウル)市を爆撃、焼夷彈、高性能爆弾を投下して火災を生ぜしめ、建築物が破壊されたが、市民の損害は僅少であつた、更に約百名から成る赤軍分遣隊は猛烈な砲爆

### 各要地を爆撃

【ストックホルム九日發】ヘルシンキ來電ソインランド軍當局は二十一日夜ヘルシンキ市北方三百二十五哩、ボスニア灣の沿岸のウレアルポルク(オウル)市を爆撃、焼夷彈、高性能爆弾を投下して火災を生ぜしめ、建築物が破壊されたが、市民の損害は僅少であつた、更に約百名から成る赤軍分遣隊は猛烈な砲爆

撃の後にマーセルキヤ地峡に到達攻  
撃を加へたが、フィンランド軍はこ  
れを撃退し、他の地帯でも赤軍小偵  
察隊を撃破した

ツルク港【ストックホルム廿三日  
發】モスクワ來電、ソ聯情報局は廿  
三日夜の如く發表した  
ソヴエト空軍は廿二日夜大擧フイン  
ランドの西南端ツルク(オーホ)港  
を攻撃、軍事並に工業目標に爆撃を  
加へた、市中には爆發に伴つて隨所  
に火災が發生し、特に造船所、機關  
工場及び軍需品集積場に大火災の起  
るのが認められた、ソヴエト空軍の  
損害は未歸還四機であつた

オウル市【ストックホルム廿八日  
發】ヘルシンキ來電、フィンランド  
政府は廿八日次の爆撃情況公報を發  
表した  
ソヴエト空軍は再び廿七日夜オウル  
市(ホスニヤ灣沿岸)を爆撃し、高  
性能爆弾及び焼夷彈を投下した

ソ聯空軍病院船を雷撃  
【ベルリン三月一日發】ドイツ軍當  
局はソ聯空軍がドイツ病院船に數回  
に亘つて電撃を放つた非人道的行為  
を攻撃して一日次の通り言明した  
ソ聯空軍雷撃機は廿七日フィンラン  
ド灣口のダゴイ島沖でドイツ病院船  
に數回に亘つて攻撃を行つたが悉く  
失敗に終つた、更に廿八日午前六時  
頃同島北方で別の病院船に電撃を加  
へたが父も失敗した、ソ聯空軍の  
屢次の病院船攻撃は明かに國際法に  
違反する非人道的行為である

バルト國境で白熱戦  
【ストックホルム廿一日發】  
エストニア國境附近を南北

に貫流するルガ河に沿つて布陣した  
ドイツ軍は、モナストイルキエとキ  
ンギセツプの二據點で赤軍の進出を  
喰ひ止め、隨所で壯烈な戦車自兵戰  
を展開してゐるが、一日に至り形勢  
は愈々急迫を告げ、數地點で赤軍の  
同河西岸進出を許すの止むなきに至  
つた様だ、ドイツ軍當局も事態重大  
化を率直に認め、赤軍の數的優勢を  
指摘してをり、ソ聯情報局も一日の  
公報で既にキンギセツプを手中に收  
めて、愈々エストニア國境西方のナ  
ルヴァ攻勢を開始した旨報じてゐる  
他方レングラード戦線軍中央部隊  
はヴオルホフ戦線軍と呼應してルガ  
北方四十軒のチヴエンスリヤからヴ  
オルホフ西方三十軒のリュバニを  
經てノヴゴロド西方六十軒のバテツ  
カヤを結ぶ馬蹄型の包圍線を漸次壓  
縮、ルガで袋の口を閉せんと圖つ  
てゐるが、ドイツ軍の反撃熾烈を極  
め、空前の消耗戦を現出してゐる様  
だ、更にノヴオソコリニキから西進  
するボボフ廳下第二バルト戦線軍も  
ラトヴィア中心に殺倒してをりバル  
ト國境を中心に戦局は刻々緊張の度  
を加へてゐる

獨逸軍キンギセツプ撤收【ベルリン二  
日發】總統大本營は二日の公報をも  
つて北部戦線のドイツ軍が激戦の後  
エストニア國境西方十八軒のキンギ  
セツプ市を撤收した旨發表した

ラトヴィアを狙ふ  
【ストックホルム十四日發】前線報  
道によればルガ市を撤收したドイツ  
軍に追跡してレニングラード・ワル  
シャワ公路をブスコフ指して南下す  
る赤軍は十四日ブリュツサ河北岸に  
背水の陣を布くドイツ軍の強力な抵

抗に遭遇沼澤地帯の惡天候を冒して  
激戦を展開してゐるが、ベイス湖  
東岸のグドフ南方及び東南方から水  
陸兩用戦車隊を繰り出してドイツ軍  
の退路を斷たんと試みる赤軍別働隊  
の壓迫は意外に強力の様だ、赤軍の  
直接目標がベイス湖南端のブスコフ  
を奪回とラトヴィア侵入にあること  
は明瞭で、ドイツ軍も十三日以来リ  
ガ方面から戦車主力とする強力な  
増援軍を續々派遣交通要衝ブスコフ  
の増援軍を續々派遣交通要衝ブスコフ  
の増援軍を續々派遣交通要衝ブスコフ  
の増援軍を續々派遣交通要衝ブスコフ

スターラヤ・ルフサ撤收  
【モスクワ十九日發】ソ聯情報局は  
十八日赤戦がイルメン湖南方のスタ  
ラーラヤ・ルツサを占領した旨發表し  
た

ブスコフ攻防戦愈々緊迫  
【ストックホルム廿三日發】北部戦  
線では赤軍は延長三百軒に亘る馬蹄  
形の攻圍陣にブスコフ市を收め、レ  
ニングラード戦線軍はブスコフ東北  
方六十五軒のストルギ・クラヌス  
イエから攻撃を加へ、ヴオルホフ戦  
線軍はブスコフ東方九十軒のドノ  
フ市及び東部郊外で苛烈な市街戦  
を展開、更に第一バルト戦線軍はド  
ノフ西南二十五軒のボルホフ市に側  
面から重壓を加へてをり、レニング  
ラード戦線の最終段階とも稱すべきブ  
スコフ攻防戦は今や目睫に迫るに至  
つた

バルト諸國を目指して強引  
作戦を展開  
【ストックホルム廿七日發】前線報

道を綜合するに赤軍は中北部戦線に  
於ける今次攻勢を以てバルト三國の  
運命をきめる決定的戰闘たらしめん  
としてゐる模様で、後方から續々増  
強部隊を送つて強引な突破作戦を企  
圖してゐる、赤軍との間に白熱的激戦を展  
開してゐる、赤軍は三方面からエス  
トニア、ラトヴィア、リトニア國  
境に向つて進撃してゐるが、その第  
一軍はフォン・キエヒラー將軍麾下  
獨逸軍の重要據點ブスコフを突破  
してエストニア國境に出でんとする  
作戦であり、目下赤軍は北方、東北  
東方の三方面からブスコフに對し重  
壓を加へ北方部隊は同市を距る十五  
哩、東北部隊は二十哩、東方部隊  
は三十哩の地點に在ると傳へられる  
同方面に於ては赤軍は自動推進器の  
ついた橋を使用して凍結の湖上を後  
方から増強部隊を輸送してゐるとい  
はれる、バルト諸國到達を目指す赤  
軍の第二軍はホルム西方から進撃し  
てラトヴィア國境及びブスコフ・ヴ  
イルナ鐵道に接近してゐる部隊で、  
此の部隊はドノフ・ノヴオソコリニ  
キ鐵道を越えて目下ラトヴィア國境  
に鋒先を進めてゐる、第三軍ノヴオ  
ソコリニキ西方で作戦してゐるボボ  
フ將軍麾下の赤軍部隊で此の部隊は  
モスクワ・リガ鐵道に沿つて西進、  
目下ノヴオソコリニキ西方廿哩に所  
在するブスコフシユカ東方十哩の地點  
で獨逸との間に激戦を展開してゐる  
様子だ、此の部隊の方面の目標はラ  
トヴィア國境東方廿六哩に所在する  
交通の要衝イドリイツアに先づ到達  
せんとするにある模様である

トニアの關門ブスコフ市の争奪を繞  
る獨逸兩軍の大攻防戦はいまや最高  
潮に達した模様で前線報道によれば  
赤軍は四方面から同市攻略を企圖す  
る一部は同市北方十一軒のトロシノ  
驛及びボゴレルカの南方に進出、既  
にブスコフの市街を望見しうる地域  
でドイツ軍内廓守備隊と一進一退の  
激戦を展開中であるといはれる、ド  
イツ軍前線報道によるとこの方面の  
戦線では數日前から寒波が襲來し、  
數地點では氣温が零下二十度位に低  
下してゐるので、これまで若干泥濘  
化した處の道路も全く凍りつき、赤  
軍はこの時とばかりにスキー部隊や  
橋部隊を繰出して間斷なくドイツ軍  
陣地の突破を企圖してゐるといはれ  
る

他方ベイス湖とフィンランド灣中  
間地區では赤軍が廿八日ナルヴァ河  
沿岸の橋頭堡を擴大、ナルヴァ西方  
のドイツ軍を包圍しようとしたが、  
ドイツ軍の猛反撃を蒙り驅逐された  
模様だ、またブスコフ南方の赤軍は  
ラトヴィア國境の突破を焦慮してを  
り、目下同市西北のノヴォルジェフ  
近傍で激戦續行中といはれる、ドイ  
ツ軍前線報道によると赤軍は廿八日  
更にネヴエリ西北方、及びクリミヤ  
半島のケルチ東北で大攻勢を再開  
したといはれるが、戦況の詳細は不  
明だ、ドニエプル彎曲部内では依然  
クリヴオイ・ログ南方が激戦中心地  
の様で、前線報道によると赤軍は  
同市南方のシロコエ附近で攻撃を續  
行したが、ドイツ軍に驅逐されたとい  
はれる

ブスコフ攻防戦最高潮  
【ストックホルム二十九日發】エス  
トニアの關門ブスコフ市の争奪を繞  
る獨逸兩軍の大攻防戦はいまや最高  
潮に達した模様で前線報道によれば  
赤軍は四方面から同市攻略を企圖す  
る一部は同市北方十一軒のトロシノ  
驛及びボゴレルカの南方に進出、既  
にブスコフの市街を望見しうる地域  
でドイツ軍内廓守備隊と一進一退の  
激戦を展開中であるといはれる、ド  
イツ軍前線報道によるとこの方面の  
戦線では數日前から寒波が襲來し、  
數地點では氣温が零下二十度位に低  
下してゐるので、これまで若干泥濘  
化した處の道路も全く凍りつき、赤  
軍はこの時とばかりにスキー部隊や  
橋部隊を繰出して間斷なくドイツ軍  
陣地の突破を企圖してゐるといはれ  
る

市の損害二萬  
【ストックホルム二十九日發】エス

【ストツクホルム十四日發】モスクワ來電ニソ聯情報局は一九四一年秋におけるドイツ軍のレニングラード包圍以來、レニングラード市民の死傷は死者二千、負傷者一萬五千、その他三千合計二萬名なる旨十四日發表した

赤軍小枝隊ノルウエー北岸に上陸

【ベルリン二十一日發】ドイツ情報によれば赤軍奇襲部隊の小枝隊は小艇に分乗して二十日午前三時突如ノルウエー北岸フィンマルク地方、ノルドキン島東岸とヴァルドエ市の中間にあるベーツフィヨルドに上陸ノルウエー市民四名を拉致、財産を掠奪逃走したといはれる

中部地區

舊波國境戰況

【ストツクホルム三日發】舊ポーランド國境方面に於ける戰況に就て獨總統大本營は三日獨軍が同國境西方三十哩に所在するロヴノ及びロヴノ西方四十哩のルーツクから撤收した旨發表したが、ソ聯側では同方面の戰況に就ては完全に沈黙してゐる、ロヴノ地區に於ける戰鬪は過激な報ぜられてゐるところであるがルーツクは突然現れた新戰場で恐ろしくワゴロド・ウォルインスキから西進を続けロヴノ地區に進撃を停止してゐる赤軍部隊が轉進して新攻勢を開始したことは明らかだ、獨側報道によれば赤軍は舊波國境東方、ノワゴロド・ウォルインスキ・西南に所在するシエベトフカ地區の獨軍に對しても攻撃を加へてゐるといはれる

ルーツク方面で新攻勢

【ストツクホルム廿六日發】廿六日のドイツ側報道に依れば、赤軍は舊ポーランド國境西方のルーツク市方面でも大規模な攻勢を開始したといはれ、東部戰線の戦局は再び活潑化と豫想はれるに至つた

赤軍損害五萬を突破

【ベルリン十四日發】ドイツ軍當局のベレジナ河南方地區の大攻勢戦におけるドイツ軍の壓倒的戦果に關し十四日次の通り發表した  
ベルジナ南方の攻勢戦は去る一月十六日開始され、二月十日以來ドイツ軍は前後二回に亘つて大規模な反撃を展開した結果、赤軍は大損害を出して敗走した赤軍の損害は次の通り  
△戦死一萬六千△負傷三萬五千乃至四萬△捕虜千八百△擊破された戦車百十一臺△同火砲百七門  
以上に對しドイツ軍の戦死千五百八十四名を含めて八千を算するのみである

ポブリスクで赤軍新攻勢

【ストツクホルム十四日發】ドイツ情報によれば赤軍はプリヒヤーチ濕地帯北方ベレジナ流中流の要衝ポブリスク地區で十五個師をもつて突如攻勢を開始、水陸兩用戦車及び落下傘部隊を繰り出してドイツ軍と激戦展開中といはれる

ドルーチ河に到達

【ストツクホルム二十五日發】中部戰線ベレジナ河南方からロカチエフ北方に至る四百五十哩の長大な戦線冬季第二次攻勢の火蓋を切つたコソフスキ一麾下白霧戦線軍は二十五日早來攻撃方向を明確に二方面に分け一部をして長驅リトワニアを衝く態勢を探らしめ、他の兵力をしてドニエプル河西岸の二要衝オルシヤ、モギレフを側面から衝かんとする作戦に出るに至つた、即ちロカチエフ市を放棄したドイツ軍に追撃する赤軍はジエウロビンを南方に見通しつてモスクワ・ワルシャワ公園に沿つてポブリスクに進撃、フオン・クルーグ麾下のドイツ軍はポブリスク東方十五哩オラ河とドニエプル支流の中間森林地帯で赤軍を遮撃して激戦を展開してゐるが赤軍は更にミンスク、ヴィルノを経てリトワニア海岸に達せんとする赤軍參謀總長ワシレフスキ一計畫を愈々實現に移すべく決意したことは明瞭となつた、他方ロガチエフ北方三十五哩ドニエプル河西岸のブイホフ西南から行動を起した赤軍は二十五日ドルーチ河に到達銜先を北に轉じて同河上流沿ひにモギレフに西方から包圍せんと圖つてゐる模様で、ドイツ軍當局も認める如く數的に優位を持つ赤軍の攻勢は相當強烈といはれ、中部戰線の戦局は再び活潑に躍動するに至つた

ホルムを撤收

【ベルリン廿三日發】總統大本營は廿二日の戦況公報において獨軍がヴエリキエ・ホルムに北方のホルムを撤收した旨發表したが、獨軍當局は廿三日右に關し次の詳報を發表した  
獨軍が一切の軍事施設を完全に破壊した後撤收したホルムの戦場からは廿三日朝現在に於て新報告は未だ來てゐない、獨軍は同市を二箇半年に亘つて掌握してゐた、この期間中赤軍は繰返し同市を奪回せんとして攻撃し來つたが、獨軍はこれを堅守したのである、特に一九四二年一月廿一日から同年三月五日までの期間は獨軍部隊にとつて最も榮光に輝く期間であつた、最近においてシエララ將軍並に麾下部隊は主力部隊から遮断されるに至つたが、壓倒的優勢な赤軍に對して血戦を展開してよく同市を防衛し、二月廿日夜同市を撤收する直前においても強力なる赤軍の攻撃を撃退して敵に甚大なる損害を與へたのであつた

南部地區

赤軍下河川流で新攻勢

【ストツクホルム三日發】モスクワ來電によればソ聯情報局は三日ドニエプル河川中流における同河川とプグ河中間地區に於て赤軍が新攻勢を開始した旨を發表したが、赤軍の右新攻勢がプグ河上流東方地區に於て成功裡に進歩しつつある獨軍の反撃作戦を阻止しドニエプル河彎曲部の獨軍の歩兵並に戦車部隊を包圍遮断せんとするにあることは明らかである、今次攻勢に於ては第二ウクライナ戦線軍と第一ウクライナ戦線軍が同時に作戦行動を起した模様で、第二ウクライナ戦線軍はキーロヴオグラード北方から西進、一方第一ウクライナ戦線軍はベラヤ・ツメルコフ東南地區から東進、獨軍の頑強なる抵抗を受けつつも無理押しして五日間の戦鬪の後、ベラヤ・ツメルコフ東南六十哩のズヴェニゴロドカ並にズヴェニゴロドカ東方十八哩のシニコラで兩軍は合體したが獨軍の鋭鋒に阻まれてそれ以上には進出し

スメラ占領を公表

【ストツクホルム三日發】獨軍當局は去る廿九日獨軍がチェルカツスイ西南のスメラから撤收した旨發表したがソ聯情報局は三日の戦況公報においてドニエプル河川中流地區における新攻勢を發表するに當り赤軍が同市を占領した旨公表した

二千の戦車火花散らす激鬪

【ストツクホルム七日發】マリノフスキ一麾下赤軍第二ウクライナ戦線軍のニコポリ橋頭堡包圍新攻勢の開始を俟つて東部戦線の焦點は三轉してドニエプル大彎曲部に移動するに至つた、ロイター通信モスクワ特派員ハロルド・キングの報道によればキーロヴオクラード東南方より進發した赤軍はイングル河川流域に沿つて急速に南下クヴィグロイ・ローク西方通過してニコライエフ、ヘルソンを通過して殺倒、ニコポリ東方から西方五十軒のアポストロヴオでドニエプロベトロフスク・ヘルソン鐵道とニコポリ・クヴィグロイ・ローグ鐵道を遮断してイヴァノヴオを抜き、ニコポリ西方四十軒の地點でドニエプル河西岸十三軒に迫つてゐるといはれる、以上の赤軍新攻勢の直接目的はニコポリの滿備産地を堅持するドイツ軍を内線包圍すると同時に、ドイツ軍主力を東西に遮断するにあるは明瞭で、ドイツ情報によればドイツ軍は無慮八百臺の戦車を繰り出し

赤軍の強引な鋒先を縦横に破壊してゐる様だ、他方ベレーヤ・ツェルコヒ東方ドニエプロウ西岸の橋頭堡カ...

赤軍オデッサを狙ふか

【ストックホルム九日發】前線情報によれば、滿俺地ニコポリを撤収したフオン・マンシユタイン軍は九...

ルガ郊外で壮烈な市街戦

【ストックホルム十二日發】赤軍第一...

一、第二ウクライナ戦線軍の全面作戦によるチェルカウスイ西方のドイ...

【ベルリン十八日發】チェルカウスイ西方のドイツ軍が赤軍の重圍を空...

獨軍チエルカフスイ脱出

【ストックホルム廿三日發】ドイッ軍のクリヴオイ・ローグ撤収によつ...

クリヴオイ・ローグ撤収

【ストックホルム廿三日發】ドイッ軍のクリヴオイ・ローグ撤収によつ...

南部戦線

イタリア戦線

反樞軸軍損害

【ストックホルム十六日發】ロンドン來電... 英國首相チャーチルは十六日の下院で...

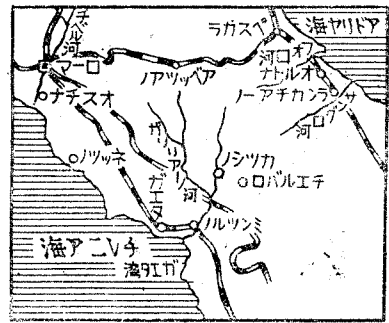
ブルーイト河西岸で白熱的戦車戦

【ストックホルム二十四日發】前線報道を綜合するに...

記念日前にク市奪回を嚴命

【ストックホルム廿二日發】赤軍創設廿六周年記念日を目前に控えた南...





撃沈または撃破 輸送船及び上陸用舟艇 合計三十萬噸 △捕虜五千名 △戦車撃破百臺以上 △損傷者推定一萬二千名

北阿侵入以来の投下爆弾 十萬噸

【リスボン三日發】 アルジェーラ電によれば北阿反樞軸軍司令部は二日地中海方面に作戦中の反樞軸空軍は一月中に一萬八千噸の爆弾を投下、斯くて北阿侵入以来一月未までの投下爆弾量は十萬噸に達した旨發表したといはれる

イタリアの戦果及び損害

の會見に於てイタリア戦線の米軍損害を左の如く發表した △死者一千四百五十八名 △負傷者一萬八千五百四十四名 △行方不明一六千四百二十九名 △計一三萬八千六百四十一名

【ベルリン廿九日發】 ミラノ來電 〓 イタリア共和ファシスト黨機關紙コロリスボンデンツァ・レブブリカーナは廿八日開戦以來、イタリア軍が収めた戦果並に全損害を左の通り發表した

尙右數字が實際損害より遙かに少ない欺瞞發表であることは云ふまでもない

イタリア海軍は開戦以來英國商船二百隻、百四十七萬四千噸を撃沈し、艦艇百六十隻、三十六萬五千四百十噸を撃沈した、その他イタリア海軍艦艇が大破或は中破せしめた敵艦艇は六十九隻、三十五萬八千五百六十噸に達した

カナダ軍 【リスボン十九日發】 オッタワ來電 〓 カナダ政府はシチリア及びイタリア戦線における一月八日までのカナダ軍死者總數を今回次の通り發表した

△戦死者一、三五四名 △戦傷者四、六六五名 △捕虜八六六名 △行方不明一、二二九名

ネツツノ上陸以來損害 【ベルリン二十三日發】 ドイツ軍當局筋は反樞軸軍が一月二十二日ネツツノに上陸して以來、一箇月間に蒙つた損害は次の通りなる旨二十二日言明した

△撃沈 巡洋艦二隻、驅逐艦七隻 △撃破 巡洋艦三隻、驅逐艦六隻

廿隻、補助巡洋艦三隻、驅逐艦廿隻 潜水艦七隻、機動艇六隻、艦型未詳六隻を撃沈、艦艇二百隻に損害を與へた、一九四〇年六月十一日から一九四二年十二月卅一日迄の期間にイタリア空軍は六千回の爆撃を行ひ、爆弾四十萬六千個、その内の爆藥量一萬三千噸を投下した、又二百廿萬發の機銃弾を發射した、五期間三箇の空中魚雷を投下した、右期間中イタリア空軍の滞空時間は廿六萬四千六百四十四時である

一九四三年七月迄に各戦線で蒙つたイタリア軍の戦死者は五萬六千四百一十一名、行方不明は廿萬三千四百五十二名、商船隊もまた二千五百八十名、戦死者を出した、更に空軍の戦死、行方不明は六千名、イタリア兵で捕虜になつた者の總數は五十萬である、非戦闘員の具體的數字は發表されてゐないが、信すべき筋の概算によれば約十一萬に達する、そのうち大部分は婦女子である、イタリア海軍は地中海及び大西洋において三百四十二隻の艦艇を喪失した、内八十四隻は潜水艦であつた、イタリア商船隊は開戦當時三百五十萬噸の船舶を有してゐたがその大部分は失はれてしまつた、チュニジアへの補給戦が最高潮に達した一九四三年四月中だけで十二萬噸の船舶が撃沈され、更に長期に亘つて使用不能に陥つた船舶は五萬噸に達した

獨軍よく戦ふ 【リスボン三日發】 ローマ來電によれば同市を隔るる三十哩のネツツノ新戦場からは晝

夜の別なく股々たる砲聲爆音がローマまでよく聞える様になつたといはれ、戦局の焦點は依然アビヤ街道上のチステルナ、カンポ・レオーネの兩地點にあり、地中海反樞軸軍司令部公報は此の正面のドイツ軍が數回猛烈極まる逆襲を加へたと報じて居り、ドイツ軍當局はこれにより米軍に甚大な損害を加へた旨發表してゐる、ドイツ軍はその至寶「虎」戦車隊を始め重砲兵隊をも繰り出して反樞軸軍の陣地に痛烈な打撃を加へて居り、十一日午前ネツツノ、アンチオに上陸した當時「ローマ」席捲容易なり」との感を抱いた反樞軸陣營の夢想を徹底に打砕いてゐる、ここ

勢の地位から防禦的地位に顛落し、既得陣地維持のために懸命の努力を試みてゐる模様である、獨軍は戦車部隊をしてアンチオ・アルバーノ街道を遮断せしめてアブリリア北方に突出した英軍部隊を包圍殲滅、斯くて反樞軸軍戦線を混亂状態に陥れたものであるが、ローマとの連絡を完全に確保してゐる同方面獨軍はその後續々増強部隊を送つてネツツノ橋頭堡に對して大きく張つてゐるアルデア、アブリリア、チステルナを結ぶ弧狀包圍線強化に努めてゐる模様で新に精銳一個師が該方面戦線に到達したといはれる、ロイター特派員

を依然確保してゐるが、米軍はサンデーヴイッド・ブラウンの報道に依れば、増強獨師團は第七百十五歩兵團で斯くて同方面獨軍兵力は少くとも四個師一個旅團となつたといはれる、ケツセルリンク元帥は戦機動けばネツツノ橋頭堡殲滅の大反撃作戦を開始するものと豫想されるが右に關しロイター特派員は次の如く報じてゐる

ケツセルリンク元帥がこれに對し萬全の對策を有するであらうことは信賴しても良からう

米英既設陣地維持に懸命 【リスボン七日發】 ネツツノ上陸軍のローマ進撃企圖はケツセルリンク元帥麾下獨精銳部隊の猛反撃に遭つて空しく挫折し反樞軸軍は今や攻勢の地位から防禦的地位に顛落し、既得陣地維持のために懸命の努力を試みてゐる模様である、獨軍は戦車部隊をしてアンチオ・アルバーノ街道を遮断せしめてアブリリア北方に突出した英軍部隊を包圍殲滅、斯くて反樞軸軍戦線を混亂状態に陥れたものであるが、ローマとの連絡を完全に確保してゐる同方面獨軍はその後續々増強部隊を送つてネツツノ橋頭堡に對して大きく張つてゐるアルデア、アブリリア、チステルナを結ぶ弧狀包圍線強化に努めてゐる模様で新に精銳一個師が該方面戦線に到達したといはれる、ロイター特派員

を依然確保してゐるが、米軍はサンデーヴイッド・ブラウンの報道に依れば、増強獨師團は第七百十五歩兵團で斯くて同方面獨軍兵力は少くとも四個師一個旅團となつたといはれる、ケツセルリンク元帥は戦機動けばネツツノ橋頭堡殲滅の大反撃作戦を開始するものと豫想されるが右に關しロイター特派員は次の如く報じてゐる

ケツセルリンク元帥がこれに對し萬全の對策を有するであらうことは信賴しても良からう

六日早曉獨戰車並に歩兵部隊はチヌケンジー・キングは十一日「反樞軸軍は今やイタリヤ戦線において未嘗有の慘敗を喫すかも知れぬことと覺悟しなければならぬ、萬一反樞軸軍が敗北したならば第二次大戦は數ヶ年間に亘つて長引かせる結果とならう」と言明、ネッツノ敗戦の影響を深刻に憂鬱してゐると傳へる

一方カウツノ戦線に於ては同市周邊で一進一退の激戦が依然繼續されてゐるが、獨軍は同市を完全に掌握してゐる

### ネッツノ敗戦に憂慮

【リスボン十一日發】ネッツノ橋頭堡に對するドイツ軍の果敢な包圍戰が進展するに伴ひ反樞軸軍はイタリヤ本土上陸以來最大の軍事的危機に陥り羅馬への道近しと誇號した反樞軸陣營は一氣に暗澹たる雰圍氣に投げ込むに至つたが、ワシントン來電によればローズヴェルトは十一日の記者團會見で努めて樂觀的氣分を醸し出さうと努め「ローマ南方の橋頭堡における反樞軸軍の事態は極めて緊迫してゐるが、反樞軸軍は同方面の制海空權を依然確保してゐるから、必ずしも悲觀するに當らぬ、われわれは反樞軸海空陸軍が橋頭堡の作戰に協力出来た候の回復を祈つてゐる」と言明したといはれる、またニューヨーク・タイムズ紙も十日の社説でネッツノ慘憺たる敗戦を認め「反樞軸軍はドイツ軍よりも優秀な武器を極めて多量に持つてゐない限り、ドイツ軍の優勢に對して多くの生命を犠牲に供して對抗してなければならぬ」と論じ、イタリヤ戦線では生命を惜んで物量の優勢を確保せよと強調してゐる、他方オッタワ來電によればカナダ首相マ

ケンジー・キングは十一日「反樞軸軍は今やイタリヤ戦線において未嘗有の慘敗を喫すかも知れぬことと覺悟しなければならぬ、萬一反樞軸軍が敗北したならば第二次大戦は數ヶ年間に亘つて長引かせる結果とならう」と言明、ネッツノ敗戦の影響を深刻に憂鬱してゐると傳へる

### 上陸の危機刻々に増大

【リスボン十二日發】前線報道を綜合するにネッツノ橋頭堡の英軍部隊は十一日アプリア南方に於て獨軍に對し反撃に出るとともにこれまでネッツノ港西北の海岸地帯で待機してゐた米歩兵第五十六師團並に第八十二空輸陸戰師團もネッツノ橋頭堡の左翼戦線に姿を現した様子だが英軍の反撃は獨軍に依つて完全に粉砕せられるとともに米軍師團も新行動を阻止されてゐる、ネッツノ戦線は茲二、三日來驟雨に襲はれ、此の結果反樞軸軍は一層難澁を極めてゐる様子だがエクスチェンジン・テレグRAF通信社前線特派員は次の如く報告してゐる

多くの爆弾口や砲弾口は満々たる水で蔽はれ軍需品輸送車は此の穴に落ちないやうにするために非常な苦心をしなければならぬ、ネッツノ橋頭堡の大部分は今や沼澤地帯の様相を呈してゐる

### 敵も驚嘆する獨軍の猛戦

【リスボン十八日發】十六日拂曉より開始されたネッツノ橋頭堡の反樞軸軍に對するドイツ軍第二回目の攻撃は苛烈を極めてゐるがドイツ軍前線報道によれば同地區で捕虜となつたチヌエジヤ作戦以來歴戦の英軍古兵は、「これ迄に一番激しい戦であつた」と恐怖を語つてゐたといはれる、ドイツ軍は各種野砲重砲を初め列車砲までも出動させて上陸地點の反樞軸軍、橋頭堡沖合の艦船に巨弾を叩きつけてゐるのに對し反樞軸軍は鐵砲の應援を求めて應射する等イタリヤ戦線空前の戦鬪が展開されてゐるといふ、U.P.電報はドイツ軍がアプリア南方の一地區に對してだ

て堅陣を布いて居り、しかもカウツノとの連絡を遮斷されてゐる現狀において反樞軸軍は何等かの打開策を講ぜざる限りネッツノ上陸軍殲滅の危機は刻々に増大してゐる

### 獨軍のアプリア占領を確認

【リスボン十六日發】アルジェリヤ來電に地中海方面反樞軸軍司令部は十六日、獨軍がアンチオ・アルバーノ街道の要衝アプリアを占領した旨正式に發表したといはれる

が、ドイツ軍は十七日中にその十八機を撃墜した、ドイツ軍は英軍部隊の必死の防戦を排して十七日にはアプリア南方の重要高地數箇所を占領し反樞軸軍を徐々に窮地に追込んでゐる、南部戦區カウツノ地區では米第五軍は此の要衝突破に焦つてゐるが、十七日には猛烈な砲撃を開始一秒間に五發の割合で、ドイツ軍防禦戦に砲弾を叩き込んだといはれる、此の地區のドイツ軍兵士が勇戦奮闘、寸土を許さざる猛戦振りには反樞軸側報道も舌を捲いてゐる、此の正面に新たに英印軍歩兵第四師團が増強されたといはれるが、此の事實を以つても米軍の損害が甚大に上つてゐることは明らかだ

### 退去中の修道士を攻撃

【リスボン十八日發】廢墟と化したカウツノ修道院に最後迄踏とまつて修道院の神聖を擁護してゐた當年八十三歳の高僧、修道院長オレヨリオ・デイ・アマレ師もドイツ軍代表の懇請を容れ十八日生殘つた司祭並に修道士と共に修道院長を立去つた、修道士達は修道院長を先頭にモンテ・カシノーの頂から長い列を作つて附近の谷間に下りたところ、反樞軸軍が假借なく攻撃を加へたために修道士達の間に新たに多數の死傷者を出したといはれる、修道院長は近くローマに赴き詳細を法王ピオ十二世に報告する豫定である、同國の反樞軸軍の非人道的攻撃により廢墟の中からは修道士の死體約百が發掘されその他一般人の死傷は六百以上上つてゐると傳へられる

【リスボン十一日發】ネッツノ橋頭堡に對するドイツ軍の果敢な包圍戰が進展するに伴ひ反樞軸軍はイタリヤ本土上陸以來最大の軍事的危機に陥り羅馬への道近しと誇號した反樞軸陣營は一氣に暗澹たる雰圍氣に投げ込むに至つたが、ワシントン來電によればローズヴェルトは十一日の記者團會見で努めて樂觀的氣分を醸し出さうと努め「ローマ南方の橋頭堡における反樞軸軍の事態は極めて緊迫してゐるが、反樞軸軍は同方面の制海空權を依然確保してゐるから、必ずしも悲觀するに當らぬ、われわれは反樞軸海空陸軍が橋頭堡の作戰に協力出来た候の回復を祈つてゐる」と言明したといはれる、またニューヨーク・タイムズ紙も十日の社説でネッツノ慘憺たる敗戦を認め「反樞軸軍はドイツ軍よりも優秀な武器を極めて多量に持つてゐない限り、ドイツ軍の優勢に對して多くの生命を犠牲に供して對抗してなければならぬ」と論じ、イタリヤ戦線では生命を惜んで物量の優勢を確保せよと強調してゐる、他方オッタワ來電によればカナダ首相マ

ケンジー・キングは十一日「反樞軸軍は今やイタリヤ戦線において未嘗有の慘敗を喫すかも知れぬことと覺悟しなければならぬ、萬一反樞軸軍が敗北したならば第二次大戦は數ヶ年間に亘つて長引かせる結果とならう」と言明、ネッツノ敗戦の影響を深刻に憂鬱してゐると傳へる

【リスボン十六日發】アルジェリヤ來電に地中海方面反樞軸軍司令部は十六日、獨軍がアンチオ・アルバーノ街道の要衝アプリアを占領した旨正式に發表したといはれる

【リスボン十八日發】廢墟と化したカウツノ修道院に最後迄踏とまつて修道院の神聖を擁護してゐた當年八十三歳の高僧、修道院長オレヨリオ・デイ・アマレ師もドイツ軍代表の懇請を容れ十八日生殘つた司祭並に修道士と共に修道院長を立去つた、修道士達は修道院長を先頭にモンテ・カシノーの頂から長い列を作つて附近の谷間に下りたところ、反樞軸軍が假借なく攻撃を加へたために修道士達の間に新たに多數の死傷者を出したといはれる、修道院長は近くローマに赴き詳細を法王ピオ十二世に報告する豫定である、同國の反樞軸軍の非人道的攻撃により廢墟の中からは修道士の死體約百が發掘されその他一般人の死傷は六百以上上つてゐると傳へられる

### 第三次反攻を準備か

【リスボン廿三日】イタリヤ戦線ネツツノ橋頭堡では十六日開始されたドイツ軍の第二次夜攻が一時小やみとなり、概して小康状態にあるが、二十二日も局地的戦闘と砲撃戦が繰り返された、反樞軸軍は最強の楔を打ち込まれたアブリリア南方正面で態勢の不利を建て直すべく逆反攻を表つてゐる模様で、總統大本營の發表によれば此の地區でドイツ軍は二十二日戦車の掩護下に進出を試みた一支隊を全滅し、更に他の一隊を包圍殲滅したといはれる、A.P.の前線報道も次の通り報じてゐる

兩軍共に先週中の激戦の損害補填と陣容整備に従事し、猛烈な砲撃戦のほか一般に平靜であつた、アブリリア南方では局地的戦闘が交へられたが、大勢に変化は無い、またトランス・ラヂオ電報はドイツ軍がチステルナ地區で二手に別れて局地的攻勢を展開したと報じてゐる、ケッセルリンク元帥が前回の反攻にも優に強力な新攻勢を準備してゐるのではないかといふのが敵側一般の観測で、ロイター特派員デ・ヴイッド・プラウンはドイツ軍が有力な新兵力を此の正面に集結して新攻勢開始の態勢を整へてゐる旨報道してゐる南方戦線ではカッシノ攻防戦が再び膠着状態に入つてしまつた様子で、トランスラヂオ電報はその模様を次の通り傳へてゐる

ネツツノ戦一週間の戦果

【リスボン廿四日發】ローマ來電イタリヤ派遣ドイツ軍司令部はドイツ軍がネツツノ橋頭堡の戦闘で二十日迄の一週間に収めた戦果を次の通り發表した

△捕虜合計一、四九六名、内英兵七〇五名、米兵六四二名、その他一四九名△反樞軸兵力損害總數推定四千人、戦車撃破五十六臺

此のほかシヤーマン型戦車四臺を完全なまま鹵獲したほか兵器彈藥等多數

ネツツノ包圍の獨兵力十五萬

【リスボン廿五日發】イタリヤ戦線は兩軍の活潑な活動が見られなくなつてから既に五日間を經過した、ネツツノ橋頭堡のドイツ軍は第二次反攻で占領した地域の掃蕩を完了し、更にその陣地の擴大強化を圖つてゐる模様で、A.P.及びトランスラヂオ電報はドイツ軍が廿四日橋頭堡の反樞軸軍に對し二回強力な攻撃を敢行したと報じてゐる、ドイツ軍長距離砲隊も攻撃の手を緩めず巨弾を敵陣に叩き込んで居り、ロイター電報はアソチオ、ネツツノの揚陸地點に連續的にドイツ軍長距離砲弾が落下し、これに惱まされてゐることを認めてゐる、反樞軸側の推定によればネツツノ包圍環を形成するドイツ軍は約十五萬の優勢な兵力からなるといはれる

ネツツノ橋頭堡孤立化

【リスボン廿七日發】米第五軍は醫院爆撃等の暴舉を敢てしてまで是非でもカッシノを攻略せんとして無理押しでの攻撃を繼續したにも拘らず

獨軍の英雄的戦闘に依つて一敗地に塗れて以來、カッシノからローマへ通ずる道路を「血の公路」と呼んで畏怖してゐるが、反樞軸軍が若しローマ到達の意圖を成就せんとすればどうしてもカッシノ方面の米軍とネツツノ方面の反樞軸軍が合流しなければならぬので米第五軍は部隊の立直しを急ぐと共に新鋭兵力の増強に努め、性懲りもなく、新攻勢を開始してカッシノを突破せんと策してゐる様子だ、獨側報道によればカッシノ方面に新に反樞軸軍數個師が配置されたといはれる、然し獨軍もまたこれまでの戦闘休止期間を利用してグスタフ線を更に一層鐵壁化したことは明瞭であり、反樞軸軍が再び同線突破を企圖すれば従来以上血の犠牲を余儀なくされることは必然である、一方ネツツノ橋頭堡に於ては過去數日來歩兵部隊の戦闘は殆ど休止状態に在るが兩軍砲兵隊は依然活潑な砲撃戦を展開してゐる様子だ、特

に獨軍長距離砲の威力は強大且つ正確でネツツノ港沖合の反樞軸艦隊は陸地に接近することが出来ず、艦砲を以て獨軍陣地に「メの家屋」を被せんとした當初の作戦は現在に於ては全く不可能になつたと傳へられる、反樞軸軍は目下ネツツノ橋頭堡に對し主として飛行機に依る物種投下によつて補給してゐる様子だが、ネツツノ橋頭堡の孤立化を救済するために反樞軸軍は出来るだけ早くカッシノ方面に於て攻勢を再開しなければならぬ立場に置かれてゐる

獨宣の猛反撃に震へあがる

【リスボン廿九日發】イタリヤ戦線ネツツノ橋頭堡では數日來惡天候が

支配し小競合以上の歩兵戦闘は行はれてゐないが、この間兩軍共に兵力の増強に狂奔してをり天候回復と同時に再び激戦が展開される氣配が濃厚となつた、ロイターの前線特派員はドイツ軍の第三次總反攻の開始を懸念して次の通り報道してゐる

橋頭堡周邊に一面に布陣されたドイツ軍長距離砲は二十八日早朝を期して一齊にアンチオ地區に對して猛砲撃の火蓋を切つた、その熾烈さは正に反樞軸軍の上陸以來の激しさである、ドイツ軍が過去數日間の天候不良を利用してその重砲陣を著しく増強したことは明らかである、朝來、大小口径のドイツ軍砲弾が上陸地帯に一時の休みもなく雨霰と落下してをり、天候が晴れあがればケッセルリンク元帥が乾坤一擲の大攻勢を開始するのではないかと見られる

一方米第五軍の主要戦線たるネツツノ地區でも兩軍競つて兵力増強に従事してゐるが、ドイツ軍がこの地區で最近獲た捕虜の中には、當初から英米軍將兵のほかに、フランス傀儡軍兵士、モロッコ土民兵、ニュージランド兵、マオリ土民兵、インド兵、米軍中の黒人兵、ハワイ出身のリビデン人兵等を網羅し、文字通り一種展覧會の觀を呈してゐるといふが、米軍の損害が甚大に上りその補填に苦しんでゐることが分る、ロイター電報はドイツ軍が急速度で増強され、カッシノ防衛軍の戦力は毫も低下してゐない旨認めてゐるから米軍が再び無謀な突破作戦を企てれば更に舊に倍する兵力消耗を覺悟せねばなるまい

空中・戦中

【ベルリン二日發】ミラノ來電再建イタリヤ空軍の戦闘機隊は二十八、三十一日の兩日ヴイデーノ市に來襲した反樞軸爆撃隊を邀撃、敵四發重爆二機、戦闘機三機を確實に撃墜し、ほか撃墜したと思はれるものに重爆二機あり、イタリヤ空軍は二機を失つた

獨空軍の戦果

【ベルリン十六日發】ドイツ軍夜間爆撃機隊は十五日夜數編隊を以つて連續イタリヤ南部の要港アンチオを襲撃、港灣施設並びに停泊中の船舶に爆撃を加へ商船四隻總計一萬九千トン、驅逐艦一隻を撃破したほか武器彈藥庫に甚大な損害を與へた

【ベルリン廿日發】ドイツ軍當局は二十日次の如く發表した

ドイツ空軍爆撃機隊は十九日夜數回に亘りネツツノ港内の反樞軸軍輸送船團を爆撃、七千噸級の輸送船に直接弾を與へて轟沈、輸送船二隻合計一萬六千噸を大破、一隻に火災を生ぜしめた、十九日イタリヤ戦線の空中戦においてドイツ空軍は英軍スピツェルファイヤー戦闘機十四機、ミツチェル爆撃機四機を撃墜した

ローマ盲爆

【ベルリン三日發】ヴァチカン來電反樞軸空軍はイタリヤ各地に對し無差別盲爆を加へてゐるがローマ法王廳は二日ローマ東南三十キロに所在するアルブノ丘の法王離宮カステル・ガンドルフォに爆弾が落ち相當損害を蒙つた旨發表した、同離宮の

バルカン諸國

獨軍ヘルヅグ市占領

【ベルリン四日發】ミラノ來電 米空軍爆撃機隊は三、四の兩日トリュステ、リミニ、アルバノ、フォルミア、ポルト・シカナテイ等のイタリヤ諸都市に又もや盲爆を加へ住宅地帯、教會等を破壊した上住宅に多數の死傷者を出した

【ベルリン廿五日發】ローマ來電 米軍爆撃機隊は二十四日フィウメ市に來襲、住宅地域に盲爆を加へ、市民の間に百名前後の死傷者を出したが、二十五日午後又々來襲、住宅地域への盲爆を繰返し、市立病院を破壊、市民の間に死傷者を出した

【ベルリン八日發】反樞軸空軍の國際法を無視した非人道的行爲は限度を知らぬ有様だが、ドイツ軍當局は反樞軸空軍が去る六日イタリヤにおいてドイツ病院列車に無法にも低空機銃掃射を加へ傷病兵並に看護兵數名の死傷者を生ぜしめた旨八日發表した、右病院列車は國際法の規定通り明白な標識が附されて居り、一見して病院列車と識別する事が出来る様になつてゐたもので反樞軸空軍が國際法を無視して意識的に右行爲に出たことは明白であり、ドイツ朝野の憤激を集めてゐる

病院列車、砲爆撃

【ベルリン廿八日發】ローマ來電に  
【ベルリン十九日發】ローマ來電に  
【ベルリン廿八日發】ローマ來電に  
【ベルリン十九日發】ローマ來電に

【ベルリン廿八日發】ローマ來電に  
【ベルリン十九日發】ローマ來電に  
【ベルリン廿八日發】ローマ來電に  
【ベルリン十九日發】ローマ來電に

イタリヤ都市盲爆

【ベルリン廿二日發】ローマ來電によれば反樞軸空軍は一日又もやボローニアに威嚇爆撃を加へ市民に多數の死傷者を出したほか住宅地に損害を蒙つたとはいはれる、ガローニア大學の前校舎、サンタ・マリア・デーブルガリ教會が破壊されたほかサン・ジョヴァンニ教會サン・ピエトロ寺院等が大破、損害を蒙つたといはれる

【ストツクホルム九日發】ドイツ軍は舊ユーゴスラヴィヤ領内の共産匪掃蕩戦を着々進めてゐるが、ロンドに電に依ればアグラム、スプリトは八日同市を放棄したといはれる

【ストツクホルム十日發】舊ユーゴスラヴィヤ領内の共産匪の發動は依然執拗に續けられドイツ軍は年末から精銳部隊を増強して大規模な掃蕩戦を續行してゐるが、最近共産匪に英軍が合流してドイツ軍の建設工作に妨害を加へてゐる様子、ロンドン來電によれば十日のチトー軍公表は次の通り發表したといはれる

英軍部隊はユーゴ共産軍と協力してダルマチヤ海岸地域のヴァール島で活躍してゐる、スロヴァキア海岸地域の優越なドイツ軍は攻勢を續行しコチエグエでは激戦が展開されてゐるが、同市からダルマチヤ海岸のサザクに通ずる鐵道はドイツ軍の手中にある、セニ、オゴリン附近では目下激戦が繼續されてゐる

【リスボン十一日發】ロンドン來電に  
【リスボン十一日發】ロンドン來電に  
【リスボン十一日發】ロンドン來電に

英軍も共産匪に合流

【ストツクホルム十日發】舊ユーゴスラヴィヤ領内の共産匪の發動は依然執拗に續けられドイツ軍は年末から精銳部隊を増強して大規模な掃蕩戦を續行してゐるが、最近共産匪に英軍が合流してドイツ軍の建設工作に妨害を加へてゐる様子、ロンドン來電によれば十日のチトー軍公表は次の通り發表したといはれる

【ベルリン廿九日發】ドイツ軍當局は東方歐洲地域における共産匪掃蕩戦の戦果につき廿九日次の通り發表した

△二月中の戦果  
一、チトー軍遊撃隊は歐洲東南地域において二月中に死者四千九百二十七名、捕虜二千八百八十八名を出した

【ベルリン廿九日發】アグラム來電に  
【ベルリン廿九日發】アグラム來電に  
【ベルリン廿九日發】アグラム來電に

共産匪掃蕩戦の戦果

【ベルリン廿九日發】アグラム來電に  
【ベルリン廿九日發】アグラム來電に  
【ベルリン廿九日發】アグラム來電に

匪徒の歸順續出

【ベルリン廿九日發】アグラム來電に  
【ベルリン廿九日發】アグラム來電に  
【ベルリン廿九日發】アグラム來電に

反樞軸空軍アグラム市盲爆

【ベルリン廿二日發】ザグレナ來電に  
【ベルリン廿二日發】ザグレナ來電に  
【ベルリン廿二日發】ザグレナ來電に

# 西部戦線

## 獨英猛砲撃戦

## 「暗黒週間」の損害三千名以上

**盲爆撃の損害**【ストツクホルム廿四日發】アグラム來電「反樞軸空軍は廿二日アグラム市を盲爆した。右爆撃に關し同市の「アブラツキー・ナード」紙は次の如く報じてゐる。アグラム市には軍事目標物は存在しないので、同市の爆撃は後方擾亂を目的としたもので、共產黨政権テロとの諒解の下に行はれたことは明瞭だ、右爆撃による被害は破壊家屋十四、大破家屋六十、死者百三名、負傷者百五十名であつた

**修道士八名慘死**【ベルリン廿三日發】アグラム來電によれば反樞軸空軍は二十一日午前アグラム市を爆撃し教會一棟、修道院二棟が破壊され修道士八名が慘死したといはれる

**盲爆の犠牲**【ベルリン廿九日發】アグラム來電「去る二十一日のクロアチア首都アグラムに對する反樞軸空軍の盲爆により、市民の間に死者六十七名を出した、そのうちには女子二十八名、子供十名、司祭八名が含まれてゐる

## 反樞軸空軍の損害

【リスボン廿二日發】 ロンドン來電「英國空軍アーチボルト・シンクレアは二十一日「一九四三年一月一日から十二月三十一日まで」にドイツ本土並に歐洲北部上空で英空軍は二千三百六十九機米軍航空隊は九百九十七機を喪失した、一九四四年一月における損害は夫々英空軍三百十九機米軍航空隊百七十八機である」と言明した

**在英米空軍損害**【リスボン廿三日發】ロンドン來電「米軍第八航空隊司令官部は廿三日次の如く發表した

## 獨機ロンドン連續猛爆

**一月下旬**【ベルリン二日發】ドイツ軍最高司令部は一月下旬のドイツ空軍によるロンドン爆撃に關し、二日次の如く言明した

英軍當局はさる一月廿一日夜及び廿二日の二回に亘るドイツ空軍のロンドン爆撃を故意に過小評價し、ドイツ空軍の参加機數及び爆撃による被害に關し欺瞞發表を行つてゐるが、總參加機數九百機以上、内ロンドンを爆撃したのは七百五十機で、投下した爆弾及び焼夷弾は一千噸以上上つてゐる、その他はイングランド東部の第二次爆撃に向つたが、ドイツ空軍の喪失機數は双方を通じて廿五機に過ぎない、参加搭乗員は低空飛行の際ロンドンのシタイー地區の各

## 所に大火災及び倒壊が生じてゐるのを目撃したと述べてゐる

【ストツクホルム六日發】ロンドン來電「英國空軍省はドイツ空軍爆撃機隊が六日早晩ロンドン地區並にイングランド東部、東南部に來襲し損害と死傷者を生ぜしめた旨六日發表した

【リスボン十二日發】ロンドン來電によれば英國空軍省は、ロンドン地區を含む東南イングランド地方が十一日夜再びドイツ機の來襲を受けた旨十二日發表したと言はれる

ドイツ機は各地に爆弾を投下、建築物に損害を與へ又相當の死傷者を生ぜしめた模様である

【ベルリン十四日發】ドイツ軍當局はロンドン爆撃について十四日次の通り言明した

ドイツ空軍は數百機から成る重爆撃機隊を以て、十三日午後九時から一時間に亘りロンドンに對し集中爆撃を加へた、英軍は無數の探照燈でドイツ空軍を追い付たが捕捉出來ず、偽裝によつてドイツ軍爆撃機隊を迷はせようとの企圖も完全に失敗した

ロンドン地區の砲臺、並に高射砲座は最初一せいに砲門を開き市の上空に彈幕を張つたがドイツ軍爆撃機は内數ヶ所に直撃弾を浴びて沈黙させてゐる

爆撃開始數分後に早くも市の數ヶ所に火災が生じ、間もなく延焼して大火災となつた、爆撃を終へて編隊が歸還する際、ロンドン市の上空を最後に通過した爆撃機の操縦士は、市の廣大な地域に多數の火災が起つてゐるのを認めた、激撃に舞ひ上つた英軍戦闘機との間に空中戦が展開されたが内五機は火焰を發して墜落したのが確認された、ドイツ軍

## の損害は未歸還八機である、ドイツ空軍のロンドン爆撃は最近これで四度目だが、從來爆撃の効果を輕視民心慰撫のごまかしをやつて市民を憤激させてゐたB・B・Oも今回の大爆撃については、さすがに輕視出來ず大狼狽の態である

【ベルリン十九日發】ドイツ當局筋は十九日次の通り言明した

爆撃機數百機からなるドイツ空軍が十八日夜ロンドンを空襲、一時間廿分に亘つて猛爆を加へ、市内の廣汎な地區に多數の大火災を生ぜしめた

ロンドン市の防空陣は從來よりも一層強化されてゐるが、ドイツ空軍は新攻撃戰術を以て最近における最大の爆撃を加へた、右爆撃でドイツ軍は五機を喪つた

【ストツクホルム十九日發】十九日早朝ドイツ空軍のロンドン爆撃に關して英軍當局は「各地で損害並に死傷を出した」と發表したのみで詳細は不明であるが、ロイター電報が一九四〇年から四年にかけての大爆撃以來の最も猛烈な爆撃の一つであると報じてゐることから見て、損害は甚大なものであることは相違ない、サンフランシスコ放送局もロンドン來電として次の様に報道してゐる

ドイツ空軍爆撃機隊は戦闘機に掩護された三編隊となつて英佛海峽を渡り、ロンドン市に對して焼夷弾だけでなく一個も投下した、火の雨は凡ゆる方面から上つた、數千名の消防夫が獅子奮迅の活躍をしたが損害は非常に大きい模様だ、損害の實數は發表がない爲に不明であるが死傷者は數百名に上るだらうといはれてゐる

## リガを爆撃

【ストツクホルム十日發】ストツクホルムテドニゲン紙の報道によればソヴェト空軍は九日ラトヴィアの首都リガを爆撃したと傳へられる

**シユタイル市を爆撃**

【リスボン廿三日發】ナポリ來電「反樞軸軍司令部は米軍第十五航空隊爆撃機隊が二十三日ヴィン西方約九十五哩のシユタイル市を爆撃した旨二十三日發表した

## 獨英猛砲撃戦

## 「暗黒週間」の損害三千名以上

【ストツクホルム廿三日發】ロンドン來電「獨英兩軍の沿岸砲陣地は廿三日朝四時から四十分に亘りドーグア海峽を挟んで熾烈な砲撃戦を交へた、英軍は従前に比して極めて猛烈な砲撃を行ひ、これに對し獨軍の重砲陣もまた猛然と應酬して轟音は天をつんざく程であつたと傳へられる

【ベルリン二十六日發】ドイツ軍當局はドイツ空軍並に高射砲隊が反樞軸空軍に與へた損害を二十六日次の通り言明した

二十一日から二十五日迄の五日間にドイツ軍は反樞軸空軍六百三十七機を撃墜した、その内五百六十二機は最新鋭四發爆撃機である、反樞軸軍間中に五千名以上の飛行士が喪失された譯で、基地に辿り着いた飛行士のうちにも死傷者があると考へられるから反樞軸空軍の人的損害は更に甚大なものと見られる

【ベルリン十九日發】 ドイツ軍當局は十九日早朝のロンドン大爆撃に際し未歸還機五機を出した旨發表したが、其後二機が無事歸還した爲ドイツ空軍の損害は僅か三機に過ぎなかつたと十九日夜言明した

【ストックホルム二十一日發】 ドイツ空軍は十八日夜の大爆撃に引續き二十日夜又もや大編隊を以て約廿分亙りロンドン地區を爆撃した。ベルリンからの報道は右爆撃に参加した一大隊長の談話として右爆撃の模様を次の如く報じてゐる

【ベルリン二十一日發】 ドイツ空軍爆撃機隊は東方及び東南方より二手に分れてドーヴァー海峡を越えロンドン市上空に侵入した、英軍防禦砲火は葡萄の房形で一塊りになつて爆發するやうな新しい戦術を用ひ又英軍が盛んに宣傳してゐるロケット砲をも使用したが、これら新戦法もドイツ軍の爆撃に對しては何らの効果を収めなかつた、ドイツ軍爆撃機は終始編隊を崩さず集中爆撃を續け市内重要目標に對し數千發の爆弾と數十萬個の焼夷彈を投下し多大の効果を収めた、引き上げるに際し英軍長距離戦闘機が追撃して來たが、悉く擊退した、又炎々と燃え広がるロンドン市内の猛火は遙か遠くからも見ることが出來た

【ロンドン二十一日發】 ドイツ軍今回の爆撃に單なる宣傳でなく大爆撃の再開であることを指摘し次の如く報じてゐる

【ロンドン二十一日發】 ドイツ軍今回の爆撃は、十八日の爆撃に劣らぬ強烈なもので、十八日の爆撃が最初の發表よりも遙かに大きな損害を與へてゐる點より見て今度の爆撃が豫想される、かかるといふ考へが流布し始めてゐる、事實ドイツ軍は今回の爆撃で新戦術を用ひたらし英軍の高射砲陣はすべて高過ぎる所で爆發殆んど命中せずドイツ軍は少しも編隊を紊さず悠々引き揚げたといはれる

【ロンドン二十一日發】 ドイツ軍當局はドイツ軍重爆撃機隊が廿一日夜再びイングランド東南部及びロンドン地區に猛爆を加へ、多大の成功を収めたが、ドイツ軍の損害は輕微で未歸還一機なる旨廿二日發表した

【ベルリン廿二日發】 ドイツ軍當局はドイツ軍重爆撃機隊が廿二日夜再びイングランド東南部及びロンドン地區に猛爆を加へ、多大の成功を収めたが、ドイツ軍の損害は輕微で未歸還一機なる旨廿二日發表した

【ベルリン廿三日發】 廿二日夜行はれたドイツ軍のロンドン爆撃は参加機數からいつてドイツ軍當局は廿三日外國記者團との會見で次の通り言明した

爆撃にはみられなかつた程多數の爆撃機が参加したが、今回の「最初の大爆撃」で損害が最も輕微であつたことは注目し値する、ドイツ空軍は今次ロンドン爆撃で新式の焼夷彈を使用した、その威力は立派に確證された

【ストックホルム廿三日發】 廿二日夜行はれたドイツ空軍のロンドン爆撃が空前の規模のものであつたこと、反輻射砲も認められてゐるところでA.B.ロンドン特派員ビルメアは廿三日「ドイツ空軍は廿二日夜相當の機數をもつてロンドンを二方向から攻撃、無數の高性能爆弾及び焼夷彈を雨の様に投下して各所に火災を生ぜしめ、ロンドン全市を震撼せしめた、英國空軍省も廿三日公言に開始以來最大の空襲であつたことを認めてゐるが、今回を含めてロンドン市は二月一日以降前後十一回に亙つて爆撃を蒙つた」と報じ、UP.ロンドン電報も「曾てない程規模も大きく熾烈な空襲であつた」と告白してゐる

【ベルリン廿四日發】 獨軍當局は獨空軍のロンドン連爆に關し次の如く言明した

獨空軍爆撃機隊は廿三日夜ロンドンに對し再び大規模な爆撃を加へた、爆撃は廿二時廿分に開始され中斷することなしに廿三時まで繼續された使用機數は過去數日間における大規模爆撃に使用したと同數で、大量の爆弾及び焼夷彈を投下し火災を發生せしめた、獨機一機未歸還である

【ストックホルム廿五日發】 アフトンブラデット紙のロンドン特派員は廿三日夜の爆撃について次の通り報道してゐる

百機乃至百五十機以上來襲、爆撃機隊がロンドン上空に來襲、爆彈の雨を降らせた結果、市内に至る處火焔に包まれるに至つた、しかし事態は今後更に悪化するであらう、英國空軍省當局も平均百機以上のドイツ空軍爆撃機がロンドン地區に到達するが、ドイツ軍は爆撃の結果、良好と述べ更に兵力を増大するであらう、住宅は爆撃のため崩壊してしまひ一地區に於ては數へきれない程多數の子供達が生埋めになつてしまつた、消防隊や英軍並に米軍の部隊が一生懸命消火に努めてゐるがロンドンの外廓地區では一九四一年三四月頃に劣らないやうな大火事が起つた、市内の各通りには大爆撃で大きな穴があき、交通も遮斷されてゐる

【ストックホルム廿五日發】 ドイツ空軍の爆撃戦術の中で一番目立つてゐることは恐らく速度が早くなつたことだ、ロンドン上空では追風の上を過ぎて極めて短時間内に爆撃目標の空を過ぎて去つてしまふから英軍の防空部隊はこれを追ふに非常に苦しいのである、ドイツ空軍はイングラの海岸地帯では僅か千米程度の高度を保つてゐるに過ぎないがロンドン地區に近づけば六千米の高度からランチェンをかけた儘急降下爆撃に移る、爆撃に向ふ際メツサシーユミット一四〇の速度で一時間六百五十軒乃至七百五十軒でロンドンとドーヴァー海峡との間を僅か八分で突破出来る勘定である、尤も爆撃の搭載量は割合に少く各機二噸程度だが、爆彈の爆發力は大戦勃發當時に比し

【リスボン廿五日發】 英國政府はドイツ空軍のロンドン連爆について報道を嚴重に取締つてゐるが、首相チャーチルに引續き國王ジョージ六世が女王とともに廿五日午後從災害地區を視察したと傳へられるから爆撃の被害は一九四〇年九月六日の大爆撃に匹敵すると解される、廿五日英國からリスボンに到着した旅行者にも被害の深刻なことを確認した

全くの恐怖爆撃だ、どの地區が損害を蒙つたなどと言ふ生易しいことでもなく、どこもかしこも全市がドイツ空軍の爆撃を受け、ここなら安全だと思へるやうな場所は全然ない、「一月の空襲ではロンドン子は二、三

年前と全く同じだ」と負け惜しみを言つてゐたが今度は『以前よりずつと悪い』と誰もがこぼしてゐる」と述べ、ロンドンの各紙もドイツ空軍の威力を認め、例へばニュース・クロニクル紙は次ぎの通り報道して居る

数千名の市民が再び地下鐵の停留所に避難し出し一九四一年の冬の頃と全く同じやうな光景を現出してゐる、しかもその頃に比べると状態は一層悪い、家々の壁や床は裸かで僅かに新聞紙が貼りつけてあるだけで、子供等は薄い毛布にくるまつてうづくまつてをり、又地下鐵構内の混雑もものすごく、警官は手荒い手段を用ひて漸く整理してゐる程だ、被害はロンドン市内だけでなく、ゲリンズ地帯も大損害を蒙り、天文臺、海軍大學校は大破、ウーリツチ地帯の軍需工場は高性能爆弾、焼夷彈の直撃を多數受けて大火災を起し、チャタムの兵器廠も同様火災により大損害を蒙つた、ロンドン市内中心地帯、イングリッド銀行中央郵便局等も全壊、その他の建築物も大抵破壊され、ロンドン市民で住む家を失つたのは實に數千に達すると云はれる

【ストツクホルム二日發】 ロンドン來電に依れば英國空軍省は二日、英空軍は一月中にドイツに對し九回の大爆撃を行ひ高性能爆弾一萬六千五百トンを投下したがその内九千トンがベルリン市に投下された旨發表したといはれる

【ストツクホルム二日發】 英空軍モスクイト爆撃機隊は一日夜又もやベルリンを空襲したといはれる

【ベルリン十六日發】 獨軍當局は英空軍のベルリン爆撃に關し次の通り發表した

【ストツクホルム三日發】 ロンドン來電に依れば英國空軍省は三日、開戦以來一九四三年未だに反樞軸軍が鹵獲撃沈乃至撃破した樞軸船舶は一千萬トン以上、一九四三年だけで二百五十萬トンに上つた旨例の如く誇大な

### ベルリン盲爆に九千噸の爆弾

【ストツクホルム二日發】 ロンドン來電に依れば英國空軍省は二日、英空軍は一月中にドイツに對し九回の大爆撃を行ひ高性能爆弾一萬六千五百トンを投下したがその内九千トンがベルリン市に投下された旨發表したといはれる

### 英機ベルリン再度盲爆

【ストツクホルム二日發】 英空軍モスクイト爆撃機隊は一日夜又もやベルリンを空襲したといはれる

【ベルリン十六日發】 獨軍當局は英空軍のベルリン爆撃に關し次の通り發表した

【ストツクホルム十六日發】 ロンドン來電に依れば英國空軍省は十六日、英空軍爆撃機隊が十五日夜ベルリンを攻撃した旨發表したといはれる

【ストツクホルム十一日發】 ロンドン來電に依れば英國空軍省は十一日、英空軍は一月中旬以來九回、一方同空軍省は十一月中旬以來九日間にベルリンに對し二千二百噸以上の爆弾を投下した、此爆撃に於て四十三機を喪失した旨發表したといはれる

### 米英機、獨本土爆撃

二月中に於ける米英機の獨本土爆撃概況左の通り

西部  
ウイロヘルム・ハーフェン 三日白晝(米戰爆連合二六機撃墜)  
フランクフルト 四日(米戰爆九二機喪失) 八日(米戰爆二五機撃墜) 十日午前(米戰爆五一機撃墜)

中部  
ライプツヒ 十九日夜(英七九機喪失) 二十日正午(米三八機撃墜)

南部  
オフシエルスレーベン 二十日、ニバルスベルグ 二十日、二十二日(以上米機)

西南部  
ハノーファー 二十一日午前(米戰爆)

レーゲンスブルク市 廿二日白晝(米機一二九機撃墜) 廿五日(米機)

アルプス地方 廿三日午後(米機四九機撃墜)  
シュタイル市 廿四日、廿五日(米機)

ハルバルシユタツト市 廿二日(米機)  
アウグスブルグ 廿五日白晝(米機一五機撃墜、英機二四機喪失)

米英機獨占領地爆撃  
二月中に於ける米英機の西歐獨占領地爆撃概況左の通り

西歐  
フランス  
パリ 五日白晝(米英機)  
北部 三日、七日、八日、十日(二〇機喪失) 廿二日、廿五日(英機) 廿九日(英米機)

カレド 十二日白晝、十五日、廿二日、廿四日、廿九日(以上米機)  
ツローン 四日午後  
ブローニユ 廿八日午後(三機撃墜) オランダ  
ギルツエ・リーエン 十日(英) 十四日(米) 廿二日(米) 廿四日(英) 廿五日(米) 廿六日(米) 廿四日(英)

## 海上戦線

### 獨海軍部隊戦果

【ベルリン一日發】 ドイツ海軍部隊は一月一日以降廿一日迄に反樞軸驅逐艦二十三隻、潜水艦四隻、商船二十四隻十三萬八千トン、上陸用舟艇三隻、護衛艦二隻を撃沈したが、ドイツ空軍の戦果を加算すれば反樞軸商船廿一隻、十七萬八千トンを撃沈、五十一隻、二十四萬九千トンを大破、驅逐艦二十八隻、上陸用舟艇十隻を撃沈、更に巡洋艦三隻、驅逐艦六隻、上陸用舟艇二十五隻を大破させた旨一日發表された

【ベルリン三月一日發】 獨軍當局は一日二月中に於ける獨潜水艦及び空軍の戦果に關し次の如く發表した

△撃沈 商船二十六隻(十四萬四千八百五十五トン)、小形貨物船十一隻(八萬六千三百四十四噸(二十萬噸)(内數隻は沈没と推定))

以上のほかに巡洋艦一隻、驅逐艦及び護衛艦十五隻、快速艇八隻、哨戒艇一隻を撃沈、巡洋艦一隻、快速艇數隻を撃破した

### 英海軍省の誇大發表

【リスボン三日發】 ロンドン來電によれば英國海軍省は三日、開戦以來一九四三年未だに反樞軸軍が鹵獲撃沈乃至撃破した樞軸船舶は一千萬トン以上、一九四三年だけで二百五十萬トンに上つた旨例の如く誇大な

数字を發表したといはれる、英國海軍省は右数字中には日本の喪失船舶乃至ソ聯側が與へたドイツ船舶の損失数は含まれてゐないと述べてゐる

英國艦艇喪失

【ストツクホルム十四日發】 ロンドン來電 英國海軍省は潜水艦シムンン號が豫定時間を過ぎても歸還せず撃沈されたと推定される旨十四日發表した

【リスボン廿日發】 ロンドン來電 英國海軍省は驅逐艦ジェーナス號(一、六九〇トン)が撃沈された旨廿日發表した

【リスボン廿九日發】 ロンドン來電 英國海軍省は廿四日英國驅逐艦ハーディ號が撃沈された旨發表した、同艦はナリヴィツク沖で沈没した驅逐艦の代艦として一九四三年十二月進水した許りである

【リスボン二十九日發】 ロンドン來電 英國海軍省は二十九日公報を以て巡洋艦スペルタン號を喪失した旨發表した

地中海 集結

【リスボン廿四日發】 反樞軸軍の艦船はジブラルタル港に出入、活潑な動きを示してゐるが三日同港には商船五十餘隻、油槽船八隻が入港してをり、さらに戦艦一隻、補助巡洋艦一隻、驅逐艦八隻および多数の小型快速艇が碇泊しると傳へられる

【リスボン九日發】 ラ・リニア來電 反樞軸貨物船十九隻、油槽船及び兵員を満載した輸送船三隻が八日ジブラルタル軍港に入港した

英空軍空院船官爆

【リスボン九日發】 英國空軍は十日エーゲ海のチノス島に於て病院船ウイリール號を攻撃、低空爆撃を加へて同船乗組員中に死者十五名、負傷者六十名を出さしめたと傳へられる

英驅逐艦砲撃

【ベルリン十三日發】 ドイツ軍當局は十二日午前英驅逐艦一隻がガエタ灣沖に現れドイツ軍陣地を砲撃したが、ドイツ軍沿岸砲隊は直ちにこれに應戦中彈數發を與へて撃退した旨十三日言明した

加、蒙華船の喪失を發表

【リスボン十九日發】 ヴァンクローア來電 イタリア海軍省は昨年三月イタリア潜水艦が西部アフリカ、フリタワン沖合で前太平洋航路のカナダ豪華船エムプレス・オヴ・カナダ號(二一、五一七噸)を撃沈した旨發表したが、十九日に至りカナダ當局は右發表を確認した

巡洋艦一隻轟沈

【ベルリン十九日發】 ドイツ軍當局はイタリア西岸ガエタ灣南方沖合で反樞軸軍巡洋艦一隻を轟沈せしめた旨十九日發表した

獨潜水艦活躍

【ベルリン廿一日發】 獨軍當局は廿一日ネットノ沖合に於ける獨潜水艦の活躍に關し次の如く言明した ネットノ橋頭堡に於ける戦團に於て獨軍は反樞軸陸軍を潰滅するための努力を増大してゐる、上陸軍の補給を遮断せんとして獨空軍は反樞軸軍

の上陸第一日目から反樞軸輸送艦船に對して爆撃を加へてゐるが、今や獨潜水艦隊は多数の反樞軸驅逐艦、巡洋艦、哨戒艇に依つて哨戒されてゐる同水域で活動を開始した、獨潜水艦が敵上陸用船舶三隻を撃沈したことは廿日の總統大本營公報で發表された通りである、獨潜水艦は以上三隻のほかこれと同時に驅逐艦二隻を撃破するといふ成果を収めたのである

大西 英機ドイツ水域に 水雷敷設

【ストツクホルム三日發】 ロンドン來電 英國空軍省は英空軍モスキート爆撃機隊が二日夜ドイツ西部を空襲ドイツ水域に水雷を敷設した旨三日發表した

獨潜水艦再び活躍

【リスボン三日發】 ワシントン來電 米國戰時海運局長官エモリー・ランドは去る廿七日獨潜水艦の最近の活躍につき次の通り述べた 昨年七月反樞軸商船は獨潜水艦から甚大な損害を受けたがそれ以後船舶の喪失は大いに減少して反樞軸側海運は著しく改善されてゐる所十二月に入ると再び事態は悪化した、その詳細は現在發表の限りでないが反樞軸船舶は地中海において特に甚大な損害を蒙つた、また米國大西洋沿岸及びカリブ海にも獨潜水艦が再び活動を始めた、獨潜水艦は従來の如く隊を組まず最近單獨で行動してゐる模様である、情報によればドイツの潜水艦建造高は毎月〇〇隻乃至〇〇隻に達してゐるといはれ七

月以降ドイツの潜水艦建造高はその損失を補ふに充分だつた模様であるかかる情勢に照らし反樞軸の一九四四一四五兩年の造船計畫は毎年二千萬噸以上でなければならぬ、造船高の新記録と潜水艦による損失の減少にも拘らず戦争は未だ頂點に達してゐないし反樞軸側はまだ船舶不足に悩んでゐる

佛沿岸で獨英海戦

【ベルリン五日發】 ドイツ軍當局は五日次の通り言明した 五日早朝英驅逐艦二隻とドイツ哨戒艇二隻がフランス西部沿岸ブレスト北方ラベルラク沖合で交戦した、英艦艇はその火力、速度ともに優勢であつたにも拘らず獨哨戒艇一隻は小火災が生じたのみで基地へ歸還した、一方英驅逐艦一隻は相當の損害を蒙つた模様である

ハンバー河口に進入

【ベルリン十三日發】 ドイツ軍當局は十二日夜ドイツ快速艇がインングラント東部のハンバー河口に進入海防艦一隻を撃沈した旨十三日發表した

ドイツ水雷艇隊の戦果

【ベルリン十五日發】 ドイツ軍當局はドーヴァー海峡その他に於る海戦に付き十五日次ぎの通り言明した 一、ドイツ水雷艇隊は十四日夜から十五日早曉にかけてドーヴァー海峡を航行する英國の護送船團に攻撃を加へた、水雷艇隊は英軍驅逐艦の反撃を受けたが何等損傷を蒙らなかつた

【ベルリン十五日發】 ドイツ軍當局はドーヴァー海峡その他に於る海戦に付き十五日次ぎの通り言明した 一、ドイツ水雷艇隊は十四日夜から十五日早曉にかけてドーヴァー海峡を航行する英國の護送船團に攻撃を加へた、水雷艇隊は英軍驅逐艦の反撃を受けたが何等損傷を蒙らなかつた

【ベルリン十五日發】 ドイツ軍當局はドーヴァー海峡その他に於る海戦に付き十五日次ぎの通り言明した 一、ドイツ水雷艇隊は十四日夜から十五日早曉にかけてドーヴァー海峡を航行する英國の護送船團に攻撃を加へた、水雷艇隊は英軍驅逐艦の反撃を受けたが何等損傷を蒙らなかつた

英船三隻撃沈破

【ベルリン廿五日發】 ドイツ軍當局はドイツ快速艇隊が廿四日夜グレート・ヤーマス沖合で英國護送船團を捕捉、内三隻に魚雷攻撃を加へ二千トン級船舶一隻を撃沈他二隻に損害を與へた旨廿五日發表した

ル・アーヴル沖の海戦

【ベルリン廿七日發】 ドイツ軍當局は廿七日次の通り發表した ドイツ海軍艦艇は廿七日午前二時船團を護送してル・アーヴル東南沖を航行中央國魚雷艇隊及び快速艇隊の攻撃を受けたが、ドイツ軍は快速艇隊二隻を炎上せしめ(内一隻は沈没の見込)ドイツ軍船團は何等の損害をも受けずに目的港に入港した

英の魚雷で諾威船

【ストツクホルム十四日發】 オスロ來電 ノルウェー西岸のアーレンスド港からクリスチヤンド港に向け航行中のノルウェー連絡船イルマ號(一、三九二トン)及びヘンリ一號(六三六トン)は十三日夜英軍魚雷艇の攻撃をうけ沈没したが、多数の乗客の内救助されたのは僅か十名残りの大部分は行衛不明である

二隻沈没

【ストツクホルム十四日發】 オスロ來電 ノルウェー西岸のアーレンスド港からクリスチヤンド港に向け航行中のノルウェー連絡船イルマ號(一、三九二トン)及びヘンリ一號(六三六トン)は十三日夜英軍魚雷艇の攻撃をうけ沈没したが、多数の乗客の内救助されたのは僅か十名残りの大部分は行衛不明である



# 國內要事

## 政治

### 國務統帥の緊密化達成

### 報 特

### 決戦非常措置要綱決定

### 統帥部首脳更新

參謀總長に東條大將  
軍令部總長に嶋田大將

【廿一日】政府は苛烈なる現戦局に鑑み統帥と國務との更に一段の緊密化を企圖し、東條陸軍大將の參謀總長、島田海軍大將の軍令部總長就任を決定御裁可を仰ぎ、廿一日午後二時三十分親任式をとり行はせられた。陸海軍よりそれぞれ左の如く發表された、即ち東條首相兼陸相は陸軍大將たる資格に於て、島田海相は

を透徹したものであり、擬帥と國務の混淆とは自から峻別せらるべきものであることは軍政、軍令機構が全く現状のままであり、參謀次長二人制によつて參謀本部強化が圖られたことによつても明らかである。

△陸軍省發表（二月廿一日十六時）  
一、今般左の通り親補せられたり  
陸軍大將 東條 英機  
補參謀總長  
陸軍大將 後宮 淳  
補軍事參議官兼參謀次長  
陸軍中將 飯田祥二郎  
補中部軍司令官  
二、右に併ひ左の通り發令せらるる  
參謀總長 杉山 元  
元帥陸軍大將  
△海軍省公表（二月廿一日十六時）  
一、今般左の通り親補せられたり  
海軍大將 嶋田繁太郎  
補軍令部總長  
二、右に併ひ左の通り發令せられたり  
軍令部總長 永野 修身  
元帥海軍大將  
後宮參謀次長略歴 後宮大將は京都府出身、東條首相と同期、陸士、陸大卒、第五師團參謀、關東軍司令部附、參謀本部部長を経て川島、寺内兩陸相のもとに陸軍省人事局長として約二年在任、二・二六事件後の肅軍人事の處理に參畫し昭和十二年三月軍務局長となり、支那事變の勃發に際會、のち部長として北支戦線に活躍、十五年十月南支軍最高指揮官に補せられ、北部佛印進駐後の南支軍を統率、十六年七月畑總軍司令官の下に總參謀長となり、十七年八月大將に昇進、同時に中部軍司令官に

親補せられ今日に至る。參謀次二人制を確立 廿一日東條大將の參謀總長就任に依り、新に中部軍司令官たりし後宮淳大將が軍事參議官兼參謀次長に就任し、參謀本部は現參謀次長秦彦三郎中將と共に次長二人を備へることになつた、東條大將の參謀總長就任に依つて人を中心とする軍令軍政の緊密化が實現された上に更に參謀本部自體の二次長制が確立されたわけで、皇軍の統帥陣容は一段と強化、敵撃滅に處する皇軍最高人事は磐石の重さを加へるに至つた。

### 首相重大發言

改造後初の内閣々議

【二十二日】東條首相は別項所報十九日の内閣改造に引續き廿一日統帥府との緊密化を敵前に達成、至妙なる人的配置により政戦兩略の完全なる一致の下雄渾なる戰爭指導を強力に推進する鐵錐の態勢を發揮して、心兩面の戦力を最高度に發揮して、一路敵米英撃滅に邁進するに至つたが、皇國空前の非常措置の講ぜられたるを機に廿二日の閣議席上重要な發言を行ひ

一、現戦局は寔に重大であり  
二、此の皇國隆替の岐路に當り統帥と國務とを更に一段緊密化し國家の總力を擧げて米英撃滅に凝集、以つて作戦上後顧の憂なからしむることこそ必勝の要訣であり  
三、勝たんが爲には一切を白紙に還へし毀譽褒貶を超越して大膽強力に所信に邁進し  
四、積極果斷な措置こそ御奉公の要諦であり指揮官たるものは宜しく牢固たる決意の下斷乎として所信を實行すべく

五、茲に一死報國の決意を新にして政戦兩略の一致を文字通り具現し積極果斷なる施策を實行、以つて聖戰目的を達成し聖靈を安んじ奉らんとの堅固不拔なる決意を披瀝した、東條首相の發言要旨左の通り

△東條首相發言要旨  
戦局は洵に重大である、敵は既にマニラ群島に兵を進め、其の後程なくしてトラックの空襲を行つたことは御承知の通りである、敵の反攻は素より豫期して居つた所であるが此の戦局の現段階は洵に深刻であつて決して樂觀を許さないものがある此の段階を乗り切つてこそ始めて必勝の途は拓かれるのである、今や正に帝國は文字通り隆替の岐路に立つて居る、此の秋に當り統帥と國務との更に一段の緊密化を圖り、作戦に於ては縱横の方略を果敢に遂行し、國務に於ては國家の有する物國民の持つ力を剩す所なく米英撃滅の一點に打ち込み、以つて作戦に於て何等後顧の憂なからしむることは正に大東亞戰爭必勝の要訣である、統帥部に於ては此の戦機を捕捉して更に一段の善謀勇戦を企圖し必勝を期して居る、政府亦今日を轉機として如何なる困難も障碍も之を突破し思ひ切つて作戰の要求に即應せんと決意したのである、正に今日は大東亞戰爭完了上畫期的の秋である、今や我々は此の決意を實行の上に見現するばかりである、各方面に於て今日迄何かに行き掛りもあつたことと存するものであるが、勝たんが爲には一切を白紙に還し、一切の毀譽褒貶を超越して大膽強力に最善と信ずる所に邁進するばかりである、皆様方に於かれ

ては所管の政務を遂行せらるる上に於て、従来の情性や経緯に捉はるることなく、思ひ切つた措置に出でたい、此の深刻なる戦局の現段階に於て聊かたりとも國力を戦争完遂に直接寄與せしめ得ず、之が爲に悔を千載に貽す様なことがあつては聖旨に應ふる所以でなく、又祖先に對し將又子孫に對し何とも申譯がない次第である、此の重大時局に應ずる方途に就ては私としては既に考ふる所あり、至急之が具體的方法に付研究されて居る次第であるが、皆様方於て於かれては徹底的に御協力を賜はらんことを希望するものである、申す迄もない所であるが、此の際我々と致しましては積極果斷と謂ふことが御幸公の要諦と存するのである、刻々變轉する戦局に對處して克く所期の目的を達成せんが爲、各方面の指揮官たる我々に課せられて居るものは積極果斷と云ふことに盡きると申しても敢て過言ではないと信ずる

### 爾今宮中に閣議を開催

【廿七日】 皇國有史以來の一大難局に臨み、東條首相は深刻なる戦局の現段階を乗り切つて窮極の勝利に邁進すべく、かつて見ざる重大決意を固め、廿二日內閣改造後の初閣議においてその抱懐する所信並に決意を大膽率直に披瀝し、全閣僚の積極果斷なる決戰施策の遂行を要請したが、此の際國策遂行の最高機關たる閣議の運営に就いては思ひ切つた刷新改

り第一回宮中閣議を開會、東條首相以下全閣僚及び星野、森山內閣兩長官並に今回特に陪席せしめらるることとなつた澤本海軍次官等出席、先づ荷役機械の動員實施要綱を決定した後、前回の閣議に於て行はれた東條首相の重大發言を具體化する決戰非常措置要綱を決定情報局より左の如く發表された

### 決戰非常措置要綱

△決戰非常措置要綱  
決戰の現段階に即應し精進刻苦其の覺悟に徹し戦力を増強の一歩に集中し當面の各緊要施策の急速徹底を圖るの外先づ左の非常措置を講ず

### 一、學徒動員體制の徹底

①原則として中等學校程度以上の學生生徒は總て今後一年、當時之を勤勞其の他非常任務に出動せしめ得る組織的體勢に實施す、②理科系は其の專門に應じ概ね之を軍關係工場、病院等の職場に配置し勤勞に従事せしむ、③學校々舎は必要に應じ之を軍需工場化し又は軍用、非常倉庫用非常病院用、避難宅用其の他緊要の用途に之を轉用す

### 二、國民勤勞體制の刷新

職業轉換並に勤勞管理特に學徒女子及應徵者等に關する受入體制の急速なる刷新強化を圖ると共に家庭の根軸たる者を除く女子の女子挺身隊強制加入の途を拓き且つ之に即應して官廳側の指導、幹旋、保護の充實に遺憾なからしむ、右に關聯し速に動員機構を整備し特に軍動員との關係の緊密化を圖る

### 三、防空體制の強化

①重要工場に付限りの防空施設を行ふと共に工場防空組織を完備する等工場防空

### 四、簡素生活徹底の覺悟と食糧配給の改善整備

①時局突破の爲には國民生活の徹底的に簡素化し第一線將兵の困苦缺乏を想ひ如何なる生活にも耐ふるの覺悟を固めしむ、②大都市に於ける當面食糧の配給の改善特に少年等に對するものに付格段の措置を講ず、③諸類の乾燥、魚類の鹽漬等食糧の加工貯藏を徹底す

### 五、空地利用の徹底

家庭、隣組、學校生徒、青少年團、壯年團、産業報國會其の他を動員し特に大都市に於ける公園、庭園、花卉園等は勿論

### 六、製造禁止品目の擴大と規格統一の徹底

製造禁止品の範圍を擴大すると共に規格の統一を徹底す

### 七、高級享樂の停止

高級料理店待合は之を休業せしめ、又高級興行歡樂等は一時之を閉鎖し其の施設は必要に應じ之を利用すると共に其の關係者は時局に即應して之が活用を

### 八、重點輸送の強化

旅行を徹底的に制限し、線路の轉用を強化し、以て戦力増強並に防空疎開に必要な輸送を強化す

### 九、海運力の刷新強化

海運行政の刷新強化を行ふと共に、船舶建造の急速増加と船舶運航効率の劃期的向上とを圖り以て海運力の徹底的増強を圖る

### 一〇、平時又は長期計畫的事務及事業の停止

官廳、公共團體其の他の標記事務及事業は差當り一年間は全部之を停止し又は保存に必要な最少限度の範圍に縮少し、其の職員は他の緊要事務に之を充當す、尙右に即應し原則として差當り一年間官廳新規營繕工事は之を休止し又諮問的委員會の停止等を行ふものとす

### 一一、中央監督事務の地方委任

中央各官廳の許認可等監督的事務は差當り一年間原則として總て之を夫々地方官廳又は官吏に委任し、要すれば豫め大綱を準則的に指示し又は事後報告を徴するものとす

### 一二、裁判檢察の迅速化

裁判檢察の迅速化を徹底し特に時局犯罪に對する迅速處理の方途を講ず

### 一三、保有物資の積極的活用

官公署、有社、家庭等に於ける保有物資の積極なる活用供出を圖る、(之が爲例へば各官公署、會社等に於ける物資の保存年限等を極度に短縮す)

### 一四、信賞必罰の徹底と査察の強化

官吏、公務員其の他時局産業關係者等に付信賞必罰を徹底徹底的に行ふと共に行政の全般に亘り強力なる査察を實施し

### 一五、官廳休日を縮減し常時執務の態勢を確立す

ては所管の政務を遂行せらるる上に於て、従来の情性や経緯に捉はるることなく、思ひ切つた措置に出でたい、此の深刻なる戦局の現段階に於て聊かたりとも國力を戦争完遂に直接寄與せしめ得ず、之が爲に悔を千載に貽す様なことがあつては聖旨に應ふる所以でなく、又祖先に對し將又子孫に對し何とも申譯がない次第である、此の重大時局に應ずる方途に就ては私としては既に考ふる所あり、至急之が具體的方法に付研究されて居る次第であるが、皆様方於て於かれては徹底的に御協力を賜はらんことを希望するものである、申す迄もない所であるが、此の際我々と致しましては積極果斷と謂ふことが御幸公の要諦と存するのである、刻々變轉する戦局に對處して克く所期の目的を達成せんが爲、各方面の指揮官たる我々に課せられて居るものは積極果斷と云ふことに盡きると申しても敢て過言ではないと信ずる

【廿五日】 政府は廿五日午前十時より第一回宮中閣議を開會、東條首相以下全閣僚及び星野、森山內閣兩長官並に今回特に陪席せしめらるることとなつた澤本海軍次官等出席、先づ荷役機械の動員實施要綱を決定した後、前回の閣議に於て行はれた東條首相の重大發言を具體化する決戰非常措置要綱を決定情報局より左の如く發表された

△決戰非常措置要綱  
決戰の現段階に即應し精進刻苦其の覺悟に徹し戦力を増強の一歩に集中し當面の各緊要施策の急速徹底を圖るの外先づ左の非常措置を講ず



# 政府

## 内閣改造斷行

【十九日】政府は刻下の政戰兩面に亘る重大局面に對處する爲内閣政治力の強化と決戦戦力の飛躍的増強を達成すべく内閣の改造を斷行するに決し、東條首相を中心に鋭意これが具體的措置に於いて擬議中であつたが、十九日東條首相は宮中に參内閣の改造につき上奏御裁下を仰ぎ同夜九時半 天皇陛下には新聞條の親任式を執り行はせられ同九時三十分情報局より左の如く發表された(情報局發表)

本十九日午後九時三十分親任式を行はせられ左の通り發令せらる

正三位勳二等 石渡莊太郎  
任大藏大臣  
宮城縣知事  
從三位勳二等 内田 信也  
任農商大臣  
正六位 五島 慶太  
任運輸通信大臣  
大藏大臣 賀屋 興宣  
農商大臣 山崎達之輔  
運輸通信大臣 八田 嘉明  
依願免本官(各通)

正三位勳一等 賀屋 興宣  
正三位勳一等 八田 嘉明  
正三位勳一等 山崎達之輔  
石渡莊太郎氏 東京都出身  
明治二十四年生、大正五年東大法科卒、直ちに大藏省に入り稅務監督局屬を振り

出しに大藏省各局課を歴任、昭和十二年第一次近衛内閣當時池田藏相の下に次官を務め、次いで十四年阿部内閣には内閣書記官長となり、翌十五年米内閣では大藏大臣として戰時財政を確立、十六年三月大政翼賛會の改組に當り事務總長を引受け國民組織に敏腕を揮ひ、十七年十月汪精衛氏に懇望されて新生中國の財政顧問として渡支、爾來中國の財政問題に多大の貢獻をなした

内田信也氏 茨城縣出身、本年六十五歳、明治廿八年東京高等商業卒業、大正十三年茨城縣第五區より選ばれ衆議院議員に當選、以來當選六回に及び、昭和二年田中内閣海軍政務次官、同六年大藏内閣逓信政務次官を歴任、同九年七月岡田内閣成立と共に鐵道大臣に親任された、爾來暫く野にあつたが、昭和十八年七月一日地方行政協議會設置に當り東北地方行政協議會會長兼宮城縣知事に任ぜられ、地方行政の刷新強化に盡力し特に耕地改良に獨特の手腕を發揮し戰時下の食糧増産に寄與した

五島慶太氏 明治十五年生、長野縣出身、明治四十四年東大法科を卒業農商務屬を振出し轉じて鐵道省に入り同省監督局總務課長に進んだが大正九年辭して實業界に入り目蒲電東横電鐵等の東京近郊の私鐵經營に任じ現に東京急行電鐵社長として私鐵界に君臨してゐた

内閣改造の意義 今次の改組は昨年四月二十日の第一次改造に次ぐ根本的改造であり現下各緊要部門たる財政、運輸、食糧の三部面に亘る陣容の更新を見たことは第一に内閣の政治力が茲に一段と強化され

一、高級料理店(料理店として許可せるもの及飲食店として許可せるもの)の實質が料理店として許可せるものに相當するものは之を休業せしむ

二、待合、藝妓置屋及藝妓は全部一應休業せしむ但し下級のものに付ては別途措置す

三、カフェー、バーの類は之を休業せしむるも高級ならざるものに付ては必要に應じ飲食店として營業を爲さしむ

四、大都市に於ける高級興行歡樂場(概ね税共五圓以上)の興行を抑止す

五、密集地區の劇場、映畫館等を整理し適正配置を爲すと共に上映番組の變更等により觀客の分布を調整す

六、營業休止は全國一齊に三月五日より之を爲すものとす

七、休業者に對する金融的措置として左の方法を講ずるものとす

(一)債務取立は實情に即し之を猶豫せしむる様適當なる措置を講ずること

(二)組合より必要に應じ生活援護金を給付せしむることとし之に必要なる資金は國民更生金庫より組合に融通せしむること

(註)前各號の外生活費資金の爲庶民金庫を利用する途あり

八、轉廢業者に對する經濟的援護措置として國民更生金庫に依る資金引受等從前の企業整備の場合に於ける轉廢業者に對するものと同様の措置を講ず

九、休業又は轉廢業者に對しては租稅の減免につき應急措置を講ず

十、休業又は轉廢業者の藝妓、女給等に對しては必要に應じ生活援護金支給の措置を講ず

十一、休業せる俳優、藝妓、女給等は適性を勘案し時局に必要な方面に就業せしむ

十二、休業せるものに對しては轉廢業を勸奨すると共に轉廢業者の物的施設に付ては、時局に相應する利用方法を講ずるものとす尙疎開に寄與せしむることを配慮す

△官廳の當時執務に關する件

一、大東亞戰爭中各官廳に於ては日曜日の休日を廢止し當時執務の實を擧げること

二、各官廳員に對しては二週間に一回日曜日に交代して休日を與ふることに止むること

一、本件は本年三月一日より之を實施すること

二、本件に關し必要ある場合には必要な法制上の措置を執ること

△官吏の出張の制限に關する件

此の際官吏、委員等の出張は眞に必要已むを得ざるもの外は之を取り止むること

外廓團體、統制會、統制會社等に關しては右と同様の措置を執らしむること

△官廳の文書物品等の整理並に其の積極的活用供出に關する件

決戦非常措置要綱に基き官廳は左記に依り文書及物品の整理並に其の積極的活用供出を行ふこと

一、官廳の保存文書に徹底的に再検討を加へ眞に必要なもの以外は總て之を廢棄すること

二、官廳の文書保存に關する規程等は必要に應じ速に改正すること

右に關しては内閣に於て調整を圖ること

廢棄文書は之を印刷局に廻付し再生紙の原料とすること

二、官廳の保管物品に徹底的に再検討を加へ眞に必要なもの以外は總て之を廢棄し廢棄物品は之を活用すること

官廳の物品保管に關する規程等は必要に應じ速に改正すること

特に官廳に於て使用する卓子掛、椅子覆等は總て撤去して之を軍用纖維資源の爲に提供すること

官廳の物品特に官廳自動車の如きは至急調査の上其の儘使用し得るものもの三種に區分し、修理の上使用し得るものは速に一元的に修理を行ひ以て戰爭遂行上緊要なる部面に之を活用し修理不能のものは之を回收し轉活用を圖ること

三、官廳の不要文書及物品の活用に關しては内閣及軍需省に於て速に具體的方法を定め官廳は之に基き實施すること

四、前各號の實施に依り不要となりたる倉庫車庫等脆弱なるものは之を除却すること

五、第一號及第二號は本年三月末日迄に之を實施すること

## 新大臣略歴

特別前官の禮遇を賜ふ

石渡莊太郎氏 東京都出身  
明治二十四年生、大正五年東大法科卒、直ちに大藏省に入り稅務監督局屬を振り

第二には戦力の飛躍的増強が達成せられるに至つたことを物語り戦時財政、運輸交通、食糧の緊急対策が盤石の堅きを加ふるに至つたことを闡明するものであつて、茲にわが決戦的政治の強力なる運籌が期待せられるに至つた、而して今次改造の中心となつた大藏大臣として石渡氏が簡拔せられたのは同氏が國民政府經濟最高顧問として日華財經兩面の聯絡並に中華民國の財政經濟の建設に多大の功績あり、且つ元藏相として卓抜な手腕を振つた點が買はれたものであつて、新農商相内田氏は時局下最も重要課題たる食糧政策の迅速果敢な實行措置が要望せられてゐたに鑑み、東北地方協議會長として發揮された同氏の實際的な手腕が買はれたもので、新農商相に對する期待は今次の改造において最も大きいものがある即ち東北行政協議會長時代の内田新農商相が食糧確保方面に對し發揮して來た獨創的の手腕の主なるものを拾つても

一、第二次食糧増産政策においてりあげられた暗渠排水、客土、小用排水等の土地改良事業に積極的熱意を示し、率先これが實施の陣頭指揮に當り東北は降雪地方である關係もあるがこの事業に對する出足は全國で最も早かつた、その結果本年一月末現在の進捗率では全國的に平均して計畫面積の四割であるに對し、東北地方は五割の進展を示し、そのうちの中核的の事業たる暗渠排水は全國の四割六分に對し、東北は七割一分となつてゐる

一、暗渠排水事業において最も問題となつてゐた努力と資材についても氏は一流の獨創力を發揮し、なにかんづ

大廣間において開會  
一、諮問第九十六號國民職業能力申告令改正に關する勅令案要綱  
一、諮問第九十七號農業生産調整令改正に關する勅令案要綱  
一、諮問第九十八號臨時農地等管理中改正に關する勅令案要綱  
一、諮問第九十九號會社經理統制令改正に關する勅令案要綱  
この四件を原案通り可決答申し同四時散會した

### 官吏功勞表彰令制定

【十四日】政府は去る一月公布された官吏戰時服務令と相俟つて決戦下の吏道昂揚より信賞必罰を徹底するため勅令「官吏功勞表彰令」及び「判任官俸給令ほか九勅令中改正の件」を制定十五日付の官報を以て公布した

官吏功勞表彰令 は民間の産業戰士及び一般の勤勞者に對する勤勞功績と並んで廣く一般官吏に官廳及びその部局等に就て功勞顯彰の途を開き官界士氣の一層の昂揚を期したものである、官吏の功勞顯彰については從來警察功勞勲章の授與等の如く一部の特定官吏を對象とする表彰方法があるだけであつたが、今回制定の表彰令によつて官吏の顯功方法もは廣く一般的に普通化され、特に個人顯彰と同時に官廳全體又はその部局等を集團的に顯彰する措置を講じ、局等は官界一體の協心戮力をより一層を點せられる日本の顯功制度の確立として極めて注目される、顯彰の方法は個人表彰(待遇官吏及び一般職員にも及ぼさる)の場合に所管大臣の申牒によつて拔群の功勞があつた者に内閣總理大臣から顯功章を授

與、式典の際等は勿論、平素も教えるべくその右胸に佩用せしめ以つて官吏の儀表たることを象徴し、一官廳又は部局等の顯彰にあつてはその官廳又は部局の職員一同が一致協力して君國のために拔群の功勞あつた場合閣議決定等の方法によつて表彰状を授與するものである、而してこの表彰状はあつても陸海軍の部隊感状と同しく、その功勞が特に顯著な場合には内閣總理大臣から之を上奏、上聞に達せられることとなつてゐる

判任官俸給令ほか九勅令中改正の件 は現行の官吏俸給制度に於ては高等文官に就ては勅令の上に於て昇給年限の定めがなく之が運用は内規を以つて定められた規程によつてゐるに對し、判任文官及び公立學校教職員等一部の待遇官吏に就ては昇給年限が定められ、如何に成績優秀な者と雖も一定の年限が來なければ昇給できず、信賞の徹底を期し得なかつた弊を除いたものである、即ち例へば從來判任五級俸年俸(一千二十圓月額八十五圓)の人は一年を経なければ絶對的に四級俸(一千四百四十圓)にまで昇ることができなかつたけれども、今回の改正によつて成績特に優秀なるものは所要年限に達しなくても昇給せしめ得るといふ途が開かれ、官廳人員の大多數を占める判任級官吏に對し顯功章による精神的褒賞と相並んで物的信賞の途を開いたものでその士氣昂揚は一段と期待される

### 海運行政機構一新

【十六日】運輸通信省では現下喫緊の要請たる海上輸送力の畫期的増強を圖る爲、今回海運總局の行政力を一段と強化すると共に船舶運輸能力の増進に資する目的を以て船舶運輸會と海運總局とを緊密一體化と海運總局海運局長とを兼任せしめ、また同時に乙造船計畫の強力なる促進を圖るため木船聯合會會長、木造船建造本部長及び海運總局船舶局長を兼務せしむることに決し、海運局長には

### 内務、農商兩省交流大異動

一宮城縣知事に丸山鶴吉氏  
【十五日】政府は決戦施策の積極果敢なる態勢の完璧を期するため、中

現運警總裁田島正雄氏、船舶局長には現木船船會長にして木造船建造本部長たる河合良成氏を起用することに決定、廿六日別記の通り發令した、尙ほ中央における右の措置と併して地方の海運行政機構の強化刷新をはかるため、海運局長を全部刷新して地方の海運行政に當らしめ、以つて各主要地区に於ける行政の綜合一體化を期した次第である、又之に伴つて從來の海運局長は其儘の官等俸給に於て海運局長として其の専門的知識により地方行政協議會長たる地方長官を補佐して専門的知識を活用することとなつた、右について五島運輸通信相は政府の根本方針を左の如く發表した

五島運輸相談 海上輸送力の劃期的増強を圖ることは緊迫せる戦局の現段階に於いて最も緊要なる事柄にして、船舶の重要性は決して飛行機の其れに優るとも劣ることはないとい信ずるので、今般運輸通信省の所管行政中海運總局の行政力を更に一段と強化するとともに、特に船舶運輸能率の増進を期する目的を以て船舶運輸の實體を把握し、之が運用に當つてゐる船舶運輸と監督官廳たる海運總局とを人的に緊密一體化せしむることとした、即ち船舶運輸會總裁田島正雄君をして海運總局海運局長に任じ、同時に運輸會總裁を兼任せしむるとともに、更に乙造船計畫に就ても之が強力なる促進を圖るためには作業現場の實體に即應した施策を急速的確に具現する必要があるの、全國木造船建造組合聯合會長にして海運總局木造船建造本部長たる河合良成君をして船舶局長に任じ、併て前述の木造船建造本部長及び聯合會長を兼ねしむることとした次第である、而して右の措置に併行して

此際地方海運行政機構の強化刷新を圖るため、地方の海運局長を全部地方行政協議會長たる都道府縣知事を以て、之を兼任せしめて海運局内に於ける職員全部を各協議會地區内都道府縣の官吏と相協力して地方海運行政に當らしめ、以つて各主要地区に於ける行政の綜合一體化を期した次第である、又之に伴つて從來の海運局長は其儘の官等俸給に於て海運局長として其の専門的知識により地方行政協議會長たる地方長官を補佐して専門的知識を活用することとなつた、右について五島運輸通信相は政府の根本方針を左の如く發表した

報の連絡を強化、以て運輸及通信に關する防衛の基礎を完璧ならしめんとするものである

外廊團體の整備狀況

【十七日】 村田情報局長は十七日定例次官會議に於て「情報局外廊團體の整備に關する件」につき詳細報告を行つたが現在までの整備狀況は次の如くである

- 一、九州國際文化協會及び九州日伊文化研究會は解散せしめた
- 二、南亞細亞研究所及び北亞細亞研究所は統合せしめ亞細亞研究所を設立せしめた
- 三、社團法人日本宣傳協會は社團法人帝都藥粧廣告聯盟社外七團體を統合すると共に機構を簡素化し職員を三割強減員した
- 四、社團法人日本放送協會は取料の隔月集金制度の實施により關係職員三百五十名を減員した(十八年四月)、(機體整備により部課の徹底的統合を實施し職員百五十名を減員した(十八年八月)、(昭和十七年以降現在迄に陸海軍軍屬として南方各地域に派遣せる職員二百五十餘名の後任補充を停止し事實上の減員を行つてゐる
- 五、財團法人寫眞協會は五部制を三部制に改め、大阪支局を廢止し人員を停止せしめた
- 六、社団法人日本移動演劇聯盟は從來の三部制を二部制に改め職員の一割餘を減員した
- 七、財團法人國際文化振興會は機構を簡素化し、職員においても昨年九月以降二割減員を行つた
- 八、財團法人日獨文化協會、日伊協

會、日洪文化協會、東洋美術國際研究會は昨年末職員を夫々三割乃至二割減員した

行政 査察

藤原査察使一行歸京 【六日】 甲造川の建造狀況につき一月廿日以來神奈川縣及び埼玉縣下の造船工場並に造船船塢の査察を實施中の第六回行政査察使藤原國務相以下隨員一行は査察結果打合せのめを三日以來横濱市ホテル・ニューグランドにおいて連日隨員總會を開催、査察結果報告の打合せを續行中であつたが、大體所期の目的を完了したので五日午後五時隨員總會を終了査察使以下全員歸京した

鈴木査察使石炭事情を査察 【十九日】 行政査察使鈴木貞一氏は舊臘十二月實施した石炭行政査察に關聯して石炭の輸送を中心とする諸事項を處理するため内閣、内務、軍需、運輸通信の各省並に關係統制團體の職員等關係者數名を帶同して十四日東京發十五日博多着、十六日若松、十七日十八兩日大阪にてそれぞれ査察を行ひ十九日歸京した

木造船査察隨員解任 【廿一日】 木造船の行政査察使として昨年十二月各地を巡察した内閣顧問五島慶太氏外二十四名の行政査察使隨員並に査察使附は何れも十九日附を以て被免された旨廿一日内閣より發令された

臨時司法長官會同 【廿八日】 臨時司法長官會同は二十日午前八時半から司法省大會議室で開催、霜山東京以下七控訴院長、秋山東京以下七檢察長、佐々木民事訴訟の遅延を來さしむるが如きことある島刑事各東京地方裁判所長、一木東

京倫事正以下全國地方裁判所長倫事正並に大審院から長島院長、松坂倫事總長、本省側から大森次官以下局課長列席、岩村法相訓示の後同九時半會同員一同宮中に參内、天皇陛下に拜謁仰付けられて退下、首相官邸に赴き東條首相の訓示をうけ、午後一時から佐藤陸軍軍務局長の軍事概況の説明、同四時からは重光外相の國際事情説明が行はれた

岩村法相訓示 聖戰の目的完遂の爲に司法部に課せられた使命は銃後に於ける法的秩序の維持に在る、職を司法に奉ずる者は全力を傾注して國內の治安の確保と國民の權義の保持に努め、假令如何なる事態發生の場合と雖も法的秩序の維持の完遂を期し、以て外前線の將兵をして後顧の憂なからしむると共に内國民をして安んじて戦力の増強に挺身せしむるの要がある、現下の熾烈なる決戦段階に於て愈々其の責任の重大なるを自覺し、適正果敢なる法の運用を期し苟も機宜を失せざることに付更に格別の配意を煩はし度い曩に民事、刑事の訴訟に付全面的に二審制を斷行した外戦時に對する特別の措置として裁判所構成法其の他に重大なる改正を加へたが、是固より時局下訴訟の終結の迅速を期せむとした外ならぬ、併し乍ら如何に法律を改正し制度を變更致し得るものも非ざるは瞭であり要は之が運用にある、職を司法に奉ずる者にして假令一人たりとも戰時意識に徹せず、徒に舊慣の陋を墨守し、法規の末に拘泥し、執務に生氣を失ひ、爲に訴訟の遅延を來さしむるが如きことあるば、邦家の爲に洵に深憂に堪へな

いのである、右の點に關し特に留意を煩はし度いのは行政監督權の強化の問題である、過去に於ける實情を顧るに、司法權の獨立を重視するの餘監督官として當然努むべき行政監督權の行使を遲疑逡巡し來りたるやの憾なしとしない、司法部に於ける行政監督權の範圍は裁判所構成法の明示する所であり、戰時下特に其の活用を必要とするは申す迄もない所である、各位は深く思を茲に致されると共に、過嚴御制定の戰時官吏服務令に昭示せられたる事項の實踐に努め、自肅自戒身を持する嚴に、常に旺盛なる責任觀念を以て率先垂範の實を擧げ、執務に當りては陣頭指揮の完璧を期し熱誠部下の監督に努め、常に適材を適所に配置すると共に、信賞必罰を旨とし、以て司法の威信の發揚に全力を傾注せられ

い、東條首相訓示(前略)先づ官吏の職務に關し特に留意を願ひ度いのは戰時官吏服務令の御制定を見た事で官吏が其の職責を遺憾なく遂行する上於てその基調を爲すものは官紀の振肅である、此の見地に於て所要の法規に改正を加へ萬全を期して参つたのであるが、此の上とも諸君の秋霜烈日機敏適切なる處斷に依て完璧を期し度い、以上のことは公吏並に官吏に準じ國家の重要な職責を荷ふ各種統制會の職員其他各界の指導の立場に居らるる要路の人々に付ても同様の趣旨に依て取扱はるべきは多言を要しない、次に國民の戰爭遂行時生活實踐の心構へに付てである、今や國民は幾多積り重なる不自由と困難の下に一路最後の勝利に向つて邁進致して居る、しかし中

には憎むべき惡質の犯罪を犯すものがあり、而かも生産増強、其他重要な任務に携はる者が私利私慾の爲に惡質なる統制違反、經濟犯罪を犯し、國家に對し非常なる損害を及ぼし、戰爭遂行に多大の障礙を來たして居る例も決して少くない、政府としては此等に對し斷乎たる態度を以て臨む覺悟である、此の點諸君の明敏なる洞察の下に果斷なる處置に出でられんことを強く要望するものである、次に國內結束を案すものに對する措置に付てである、申す迄もなく現下の難局を打開し勝利を獲得するの途は實に一億國民の鐵石不動の結束に其の基を置くもので、勝利への途を拓くものは何處迄も我々一億自身の力である、從つて一死報國を誓ふ一億國民の足並み一步も亂ることなきは必勝の要諦中の要諦である、從來政府としては一億國民の結束強化の爲には其の盛り上る忠誠心に期待し所謂道德的指導に重點を置いて参つたのである、戰ふ國民の主流に協調し得ざる一部の不心得者に對しては極力強權の發動に俟たず精神的善導に手段を盡して來たのである、然し乍ら戦局は今日迄の如き比較的悠長なる指導方法を許さなくなつた、戦局は萬般に亘り短兵急なる措置を必要として居る、今や苛烈なる戦局下切詰められたる戰時生活の要求に直面して、其處には不平も生れ、不満も生じ、批判も行はれることもあり得る、然し乍ら之を惡用して國論の分裂を策し、國民の結束を案するが如き一部の不心得者に對しては假借する所なく之を處斷し、簡明直截なる措置に依り一億國民の結束を確保強化せねばならぬ

政府は官民の盛り上る忠誠心は此の上共期待すると共に、今日に至るも猶ほ時局を辨へず、或は故意に或は不注意に結束を亂す者に對しては容赦なく處斷せんとするのである

### 全國内政部長會議

【廿八日】 決戰地地方行政の強力推進を期する全國内政部長會議は廿八日午前九時より内務省第一會議室に開催、内務省より安藤内相以下關係官地方、内務省より櫻井東下都民生局長、井田北海道内政部長以下各府縣内政部長、外地より鈴木臺灣總督府兵事課長等出席、劈頭安藤内相より決戰非常態勢に即應する地方行政の執行に關し別項の如き訓示があり終つて直ちに内務省關係事項の協議に入り

- 一、市町村における神社行政事務の指導監督
- 一、町内會部落會等の運営指導
- 一、改正地方制度の運用
- 一、戰時執務態勢の確立
- 一、市町村行政上重要事項の連絡通

- 一、昭和十九年度市町村財源の擴充とその財政運営
- 一、都市疎開
- 一、防空救護等

につき各關係課長より説明指示あつて正午休憩、午後一時再開、文部省所管事項の打合せに入り、學校整備その他決戰文教の施策につき各關係官の説明指示を中心に打合を遂げ、同三時半より内相官邸における内務省との懇談會を催し第一日の日程を終つた、なほ會議は三月一日まで續開三月二日は陸軍幼年學校を見學して全日程を終る筈

安藤内相訓示要旨 政府は決戰非常の措置要綱を決定して緊急戦力の増強に邁進することとなり、道府縣または行政協議會の行政的責任は加重しその範圍はますます多岐廣汎となりこれに執筆する官吏は一身一家の軌範を確立、實踐するの力が強く要求されるに至つた、非常措置要綱によつて中央各省は専ら企畫の性格に導くことを方針とし、また中央各官廳の監督的職務は原則として地方廳に委任する方針を決定せることは他面ききに戰時官吏服務令を御制定に相成り、特に戰時下實踐すべき要綱を指示せられたることと對照して官吏の行くべき途は自ら明らかなである、公吏については戰時公吏服務令が制定せられたが、公吏の指導訓練に對し責任ある各位の一層の積極的考慮と實踐を切に望む、神社行政の伸暢については今回地方神社機構を充實したのであるが、支那事變以來靖國神社に合祀された英靈は既に十六萬を算へ、更に將兵幾百萬は神州の安危を一身に擔ひ悉く神兵となつて戰つたあり、この秋之際國民の自に湧き出づる切なる心情を正しく助長育成し敬神崇祖の美風を振作せられたのである、次に地方行政機構の整備強化と綜合行政の積極果敢なる運営の緊要度はますます加つて來てゐるが、政府は各年度必運要綱決定の際にも將た又今年決戰非常措置要綱決定に當つても重要事項として取り上げた次第で、各本廳及び地方事務所その他中間行政機關の組織運用、特に事務處理方法等に充分檢討を加へ都道府縣市町村一貫せる簡素敏活なる決戰執務の體制を確立強化せられたい、町内會部落會など

の指導に當つてもその中樞に人を得ることは最も重要であつて、若しその人を得ざれば却つて隣保離反し傳統の美風變じて相剋對立の惡風を助長し決戰奉公の戰意を喪失せしめるものであるからその指導啓發には特に意を用ひられたい

【廿九日】 全國内政部長會議第二日は廿九日午前九時半より芝水交社に開催、海軍省より三戸人事局長以下關係官出席して海軍省所管事項の打合せに入り、栗原海軍報道部長より戰況説明あつてのち人事局および教育局より希望事項の説明あつて正午休憩、午後一時より會場を九段借行社に移し、陸軍省關係事項の打合せを遂げ同五時第二日の日程を終つた、なほこの日の會議には各都道府縣兵事事務主管課長も列席した

- ### 閣議決定主要事項
- 【一日】 一、昭和十八年度下期輕金屬特別價格報獎制度實施に關する件
  - 【四日】 一、電力制限強化措置に關する件
  - 一、重要織物非常増産特別推進期間に關する件
  - 一、教育に關する戰時非常措置方策に伴ふ學徒の軍事教育強化に關する件
  - 【八日】 一、運輸通信部内臨時職員設置制中改正の件
  - 一、燈臺局官制決定の件
  - 一、行政機構整備實施の爲にする東京帝國大學官制外五勅令中改正の件
  - 【十二日】 一、國產原料によるアルミナ價格に關する件
  - 一、航空燃料及び高軟潤滑油の緊急確保に關する件
  - 一、國民職業能力申告令中改正の件

確定に關する件

一、國民徵用令中改正の件  
 一、國民勞務手帳法施行令中改正の件  
 【十五日】 一、第三種需用電力等の制限強化に關する件  
 【十八日】 一、鐵鋼特別價格報獎制度要綱  
 一、電力節約運動實施要領  
 【廿五日】 一、決戦非常措置要綱  
 【廿九日】 一、官廳の常時執務に關する件

士 吏 人 事

一、船舶職員法中改正法律  
 一、簡易生命保險法中改正法律  
 △十四日  
 一、所得稅法外廿九法律中改正法律

内閣官房參事官室の事務囑託を命ず  
 内閣顧問 五島 慶太  
 内閣顧問被免  
 内務省  
 △二日  
 陸軍司政長官 武政 隆一  
 任内務省調査官(一)  
 △十九日  
 陸軍司政長官 藤澤喜久郎  
 任内務省調査官(二)  
 任内務省調査官(三)  
 大藏省  
 △廿三日  
 大藏省顧問 石渡莊太郎  
 大藏省顧問被免  
 文部省  
 △十日  
 金澤醫大教授 大里 俊吾  
 任東北帝大教授(一)  
 △十六日  
 東京帝大教授 鈴木 文助  
 文官分限令第十一條第一項第四號に  
 より休職被仰付  
 公立専門學校長に任ず  
 勅任官を以て待遇せらる  
 △十九日  
 帝國大學令第十三條に依り 勅旨を  
 以て東京帝國大學名譽教授の名稱を  
 授く

授く  
 中澤 良夫  
 小南又一郎  
 菊池 秋雄  
 川村多實二  
 喜多 源逸  
 帝國大學令第十三條に依り 勅旨を  
 以て京都帝國大學名譽教授の名稱を  
 授く  
 長谷部言人  
 鈴木 宗忠  
 帝國大學令第十三條に依り 勅旨を  
 以て東北帝國大學名譽教授の名稱を  
 授く  
 松本彦次郎  
 寺澤 殿男  
 官立文理科大學官制第十七條に依り  
 勅旨を以て東京文理科大學名譽教授  
 の名稱を授く  
 宮路 軍嗣  
 官立醫科大學官制第二十一條に依り  
 勅旨を以て新潟醫科大學名譽教授の  
 名稱を授く  
 △二十三日  
 (新任) 後藤 格次  
 任東京帝國大學教授(二) 農學部勸  
 務を命ず  
 (新任) 山口 新平  
 岐懸縣立女子醫學專門學校長に補す  
 (勅待)  
 司法省  
 △七日  
 豐岡區判事 近松萬太郎  
 補大阪控訴院部長  
 軍需省  
 △九日  
 海軍少將 多田 力三  
 任軍需省航空兵器總局第二局長(二)  
 △廿三日  
 福岡縣知事 吉田 茂

兼任鐵山監督局長軍需省軍需監理官  
 (一)  
 補福岡鐵山監督局長  
 非鐵金屬局鐵政課長 松田 太郎  
 任鐵山監督局書記官兼軍需省軍需監  
 理官(三)  
 福岡鐵山監督局總務部長を命ず  
 運通省  
 △九日  
 運輸通信省航空局乘員部長  
 服部 武  
 依願免本官  
 陸軍司政長官 高松 順茂  
 任運輸通信省調査官(二)  
 △十四日  
 鐵道官(鐵道總局總務局鍊成課長)  
 井上 萬壽藏  
 任鐵道監(二)  
 鐵道總局長官官房勸務を命ず  
 鐵道官 樋口 菊郎  
 鐵道總局總務局鍊成課長を命ず  
 遞信局技師(東京、工務無課長)  
 菊谷 秀雄  
 任通信院技師(二)  
 通信院工務局標準電波建設所長を命  
 ず  
 運輸通信技師  
 (海運總務局工務課長)  
 森田富士助  
 任燈臺局長(二)  
 通信院技師(工務、標準電波所長)  
 子爵 齋藤 齊  
 依願免本官  
 運輸通信省航空局監理部長  
 △廿四日  
 運輸通信省海運總局海運局長(二)  
 田島 正雄  
 任運輸通信省海運總局海運局長(二)  
 河合 良成  
 任運輸通信省海運總局船舶局長(二)  
 農商省  
 農商省總務局長 重政 誠之  
 任農商次官(一)  
 大臣官房秘書課長 楠見 義男  
 任總務局長(二)  
 富山縣知事 坂 信彌  
 任農政局長(二)  
 大臣官房會計課長 笹山茂太郎  
 任山林局長(二)  
 農林省蠶絲局長 寺田 省一  
 任水產局長(二)  
 群馬縣知事 篠山 千之  
 任纖維局長(二)  
 地方參事官(宮城) 曾我 梶松  
 任生活物資局長(一)  
 大臣官房統計課長(男) 平山洋三郎  
 任東京營林局長(二)  
 總力戰研究所長 山添 利作  
 任熊本營林局長(二)  
 總務局總務課長 石坂 弘  
 大臣官房秘書課長を命ず  
 總務局團體課長 藤田 巖  
 大臣官房文書課長兼統計課長を命ず  
 大臣官房文書課長 蓮池 公咲  
 大臣官房會計課長を命ず  
 食糧管理局業務第二課長  
 總務局總務課長を命ず  
 生活物資局工業食品課長  
 總務局防衛課長を命ず  
 總務局油脂課長 松任谷健太郎  
 總務局團體課長を命ず  
 總務局油脂課長 大野 數雄  
 總務局油脂課長を命ず  
 山林局企畫課長 平野 勝二

正の件  
 一、震災に因る鳥取縣災害土木費國庫補助規程及び風水害に因る愛媛縣及び島根縣災害土木費國庫補助規程中改正の件  
 一、企業整備資金措置法の一部を臺灣に施行するの件  
 一、臺灣臨時租稅措置令中改正の件(律令案)  
 一、兵役法施行令中改正の件

法律公布  
 △十日 左六件中海軍刑法改正法律は即日施行され簡易生命保險改正法律は四月一日より施行される  
 一、海軍刑法及海軍軍法會議法中改正法律  
 一、訴訟費用等臨時措置法  
 一、會社等臨時措置法  
 一、經濟關係罰則の整備に關する法律

授く  
 依願免本官  
 陸軍司政長官 高松 順茂  
 任運輸通信省調査官(二)  
 △十四日  
 鐵道官(鐵道總局總務局鍊成課長)  
 井上 萬壽藏  
 任鐵道監(二)  
 鐵道總局長官官房勸務を命ず  
 鐵道官 樋口 菊郎  
 鐵道總局總務局鍊成課長を命ず  
 遞信局技師(東京、工務無課長)  
 菊谷 秀雄  
 任通信院技師(二)  
 通信院工務局標準電波建設所長を命  
 ず  
 運輸通信技師  
 (海運總務局工務課長)  
 森田富士助  
 任燈臺局長(二)  
 通信院技師(工務、標準電波所長)  
 子爵 齋藤 齊  
 依願免本官  
 運輸通信省航空局監理部長  
 △廿四日  
 運輸通信省海運總局海運局長(二)  
 田島 正雄  
 任運輸通信省海運總局海運局長(二)  
 河合 良成  
 任運輸通信省海運總局船舶局長(二)  
 農商省  
 農商省總務局長 重政 誠之  
 任農商次官(一)  
 大臣官房秘書課長 楠見 義男  
 任總務局長(二)  
 富山縣知事 坂 信彌  
 任農政局長(二)  
 大臣官房會計課長 笹山茂太郎  
 任山林局長(二)  
 農林省蠶絲局長 寺田 省一  
 任水產局長(二)  
 群馬縣知事 篠山 千之  
 任纖維局長(二)  
 地方參事官(宮城) 曾我 梶松  
 任生活物資局長(一)  
 大臣官房統計課長(男) 平山洋三郎  
 任東京營林局長(二)  
 總力戰研究所長 山添 利作  
 任熊本營林局長(二)  
 總務局總務課長 石坂 弘  
 大臣官房秘書課長を命ず  
 總務局團體課長 藤田 巖  
 大臣官房文書課長兼統計課長を命ず  
 大臣官房文書課長 蓮池 公咲  
 大臣官房會計課長を命ず  
 食糧管理局業務第二課長  
 總務局總務課長を命ず  
 生活物資局工業食品課長  
 總務局防衛課長を命ず  
 總務局油脂課長 松任谷健太郎  
 總務局團體課長を命ず  
 總務局油脂課長 大野 數雄  
 總務局油脂課長を命ず  
 山林局企畫課長 平野 勝二

授く  
 依願免本官  
 陸軍司政長官 高松 順茂  
 任運輸通信省調査官(二)  
 △十四日  
 鐵道官(鐵道總局總務局鍊成課長)  
 井上 萬壽藏  
 任鐵道監(二)  
 鐵道總局長官官房勸務を命ず  
 鐵道官 樋口 菊郎  
 鐵道總局總務局鍊成課長を命ず  
 遞信局技師(東京、工務無課長)  
 菊谷 秀雄  
 任通信院技師(二)  
 通信院工務局標準電波建設所長を命  
 ず  
 運輸通信技師  
 (海運總務局工務課長)  
 森田富士助  
 任燈臺局長(二)  
 通信院技師(工務、標準電波所長)  
 子爵 齋藤 齊  
 依願免本官  
 運輸通信省航空局監理部長  
 △廿四日  
 運輸通信省海運總局海運局長(二)  
 田島 正雄  
 任運輸通信省海運總局海運局長(二)  
 河合 良成  
 任運輸通信省海運總局船舶局長(二)  
 農商省  
 農商省總務局長 重政 誠之  
 任農商次官(一)  
 大臣官房秘書課長 楠見 義男  
 任總務局長(二)  
 富山縣知事 坂 信彌  
 任農政局長(二)  
 大臣官房會計課長 笹山茂太郎  
 任山林局長(二)  
 農林省蠶絲局長 寺田 省一  
 任水產局長(二)  
 群馬縣知事 篠山 千之  
 任纖維局長(二)  
 地方參事官(宮城) 曾我 梶松  
 任生活物資局長(一)  
 大臣官房統計課長(男) 平山洋三郎  
 任東京營林局長(二)  
 總力戰研究所長 山添 利作  
 任熊本營林局長(二)  
 總務局總務課長 石坂 弘  
 大臣官房秘書課長を命ず  
 總務局團體課長 藤田 巖  
 大臣官房文書課長兼統計課長を命ず  
 大臣官房文書課長 蓮池 公咲  
 大臣官房會計課長を命ず  
 食糧管理局業務第二課長  
 總務局總務課長を命ず  
 生活物資局工業食品課長  
 總務局防衛課長を命ず  
 總務局油脂課長 松任谷健太郎  
 總務局團體課長を命ず  
 總務局油脂課長 大野 數雄  
 總務局油脂課長を命ず  
 山林局企畫課長 平野 勝二

授く  
 依願免本官  
 陸軍司政長官 高松 順茂  
 任運輸通信省調査官(二)  
 △十四日  
 鐵道官(鐵道總局總務局鍊成課長)  
 井上 萬壽藏  
 任鐵道監(二)  
 鐵道總局長官官房勸務を命ず  
 鐵道官 樋口 菊郎  
 鐵道總局總務局鍊成課長を命ず  
 遞信局技師(東京、工務無課長)  
 菊谷 秀雄  
 任通信院技師(二)  
 通信院工務局標準電波建設所長を命  
 ず  
 運輸通信技師  
 (海運總務局工務課長)  
 森田富士助  
 任燈臺局長(二)  
 通信院技師(工務、標準電波所長)  
 子爵 齋藤 齊  
 依願免本官  
 運輸通信省航空局監理部長  
 △廿四日  
 運輸通信省海運總局海運局長(二)  
 田島 正雄  
 任運輸通信省海運總局海運局長(二)  
 河合 良成  
 任運輸通信省海運總局船舶局長(二)  
 農商省  
 農商省總務局長 重政 誠之  
 任農商次官(一)  
 大臣官房秘書課長 楠見 義男  
 任總務局長(二)  
 富山縣知事 坂 信彌  
 任農政局長(二)  
 大臣官房會計課長 笹山茂太郎  
 任山林局長(二)  
 農林省蠶絲局長 寺田 省一  
 任水產局長(二)  
 群馬縣知事 篠山 千之  
 任纖維局長(二)  
 地方參事官(宮城) 曾我 梶松  
 任生活物資局長(一)  
 大臣官房統計課長(男) 平山洋三郎  
 任東京營林局長(二)  
 總力戰研究所長 山添 利作  
 任熊本營林局長(二)  
 總務局總務課長 石坂 弘  
 大臣官房秘書課長を命ず  
 總務局團體課長 藤田 巖  
 大臣官房文書課長兼統計課長を命ず  
 大臣官房文書課長 蓮池 公咲  
 大臣官房會計課長を命ず  
 食糧管理局業務第二課長  
 總務局總務課長を命ず  
 生活物資局工業食品課長  
 總務局防衛課長を命ず  
 總務局油脂課長 松任谷健太郎  
 總務局團體課長を命ず  
 總務局油脂課長 大野 數雄  
 總務局油脂課長を命ず  
 山林局企畫課長 平野 勝二



熊本營林局長 大田勇治郎

山林局作業課長(二)を命ず

熊本營林局事業部長 山内俊文夫

山林局企画課長を命ず

生活物資局長 曾我 梶松

生活物資局工業食品課長事務取扱を命ず

食糧管理局第一部長 片柳 貞吉

食糧管理局業務第二課長兼務を命ず

陸軍司政官 大坪 藤市

熊本營林局總務部長を命ず

農商次官 石黒 武重

農商省水産局長 井出 正孝

農商省織維局長 山口 喬

農商事務官 中村 直大

農商技師 卓尾 三磨

依願免本官(各通)

外 交

ア國の我利益代表國は  
スイス

【十二日】アルゼンチンの對日斷交に伴ひ、今般スイスがアルゼンチンにおける帝國の利益を代表し又アルゼンチンの帝國に於ける權益はスエーデンがこれを代表することとなり、これに關し十二日左の如き外務當局談が發表された

△外務當局談(十二日午後三時半) 今般帝國と亞爾然丁國との國交斷絶の結果亞國における帝國の利益は瑞西國政府之れを代表し、また帝國における亞國の利益は瑞興國政府之れを代表することに夫々決定せり

大東亞民族會議招集

【十四日】大東亞共同宣言の大原則

に則り緊迫せる戰局に即應すべき共榮國諸國家、諸民族の決戰施策と盛上る熱意を以て戰爭完遂に協力しつつある十億の逞しき戰爭意識は日ととも益々顯著となりつつある實情に鑑みこれら諸國家、諸民族の戰意を一段と昂揚し、盛上る戰爭協力の熱意に國民運動的な組織を興へ、以てこれを一大民族運動に發展せしめんとする要望は中央、現地を通じて次第に昂まりつつあり、第八十四議會において大東亞民族會議招集の論議が行はれたが、大政翼賛會東亞總本部ではこれが實現の第一歩として來る六月頃大東亞民族會議を開催、○民族運動展開、○各種増産運動促進、○戰時經濟生活の徹底化の各項目につき具體的意見の交換を行ふと共に引續き民族運動組織化に關する協議會を開き民族組織化の具體案、運動基本要綱等を決定、民族運動展開の基盤確立を圖るべく目下準備中である、なほ民族代表として本會議出席者は從來の名士主義を排し眞に民衆の信望あり本會議終了後は歸國の上民族運動展開に挺身し得る熱意ある人物數名宛を共榮國各地域より招請する豫定である

倭虜待遇逆宣傳の真相

【十六日】日本における敵國俘虜の待遇問題について米英宣傳機關は最近一齊に虚構誇大なデマ宣傳を行ひつつあるが、一月廿九日米大統領秘書アーリーは「日本政府は日本権内にある俘虜宛送付の救恤品の轉送を許可しない」と發表、同日ハル國務長官も「交換地グリツプスホルムス號で日本権内諸地域の俘虜に送つた

救恤品はどうなつたか知らぬ」と記者團に述べ、又ステチニア國務次官は「日本は米國政府に對して定期的に救恤品を俘虜に送ることを拒絶して來た」と聲明、彼等は故意に事實を歪曲して宛も我が俘虜待遇が不正なるもの如く逆宣傳にこれ努めてゐる、しかしながら事實は全く逆にして、ハル國務長官の言ふところは行方不明の救恤品なるものは既に第一回交換船によつて到着した分は悉く配給を終了、これに關する報告は國際赤十字委員會を通じて米國側に到着してをり、また第二回交換船によつて到着した分も既に國際赤十字委員會在日代表部の手に引渡済でその一部は配給を完了してゐる、更に米國側が我方に申入れてゐる俘虜に對する定期的救恤品輸送の間は我方も原則的に承認し、米國側が救恤品をソ聯船を利用して浦鹽宛輸送するか或はシベリア鐵道經由で輸送するならば帝國政府においても便宜供與に關し考慮を拂ふ旨通告してゐる、この問題については米國政府は重ねて浦鹽より日本領域への輸送に關し我方の對策を求めて來たほか、毎月千五百噸程度の食糧衣服及び藥品等を輸送したい希望ある旨を申入れて來た、我方は右米國側提案に對し好意的考慮を加へ具體案を作成中であつたが、偶々ツラ・レークにおける在米邦人虐待事件並に病院船ブエノスアイレス丸の撃沈事件が勃起したので、我方としてもこの暴舉に對する米國側の嚴正なる反省を要求當分の間定期輸送問題に關する問答を差控へざるを得なくなつたのみである、以上の交渉経緯を今回の敵側聲明と對比すれば、その曲直

直ちに分明するにも拘はず敵は惡辣なる作爲を加へ、一方において在米邦人の虐待並に病院船に對する攻撃を繰返し他方逆手をとつて我が回答制限を以て日本政府の便宜供與拒絶と宣傳し、國內における對日憎惡を世界にばらまいてゐるのである、しかしながら救恤品定期輸送の具體策に對する我方の回答が如何なる理由によつて遲疑してゐるかの事實が世界に分明した曉、毛を吹いて疵を求めた者はいふまでもなく米國務省自體でなければならぬ、**日赤に國際赤十字より感謝狀**【十九日】先般帝亞丸によつて轉送された敵國俘虜並に抑留者に對する救恤品に關してはハル國務長官を初めとして敵側は盛んに行方不明になつたとか、日本當局が配布をしなかつたとか、惡質の虚構宣傳を行つてゐたが、このほど二月十日附をもつてジュネーヴの國際赤十字委員會より日本赤十字社に對し左の如き感謝狀が到着敵側の作爲宣傳が國際的に暴露されるに至つた、國際赤十字委員會より日本赤十字社に宛てられた文書の内容は左の通り

國際赤十字社在日代表よりの報告によれば、日本赤十字社の盡力により帝亞丸に積込まれた大部分の救恤品がクリスマス前に各抑留所に配布されたが、これは全く日本赤十字社の盡力によるもので、感謝に堪へぬ次第である、殘部の救恤品の分配についても相變らず従前通りの御協力を希望する

△黃大臣聲明  
私が今回日本を訪問した目的は昨夏新京において開催された第二回日滿華亞圓體會合の決議に基き滿洲建國十二周年の建國節に當り興亞使節として滿洲帝國協和會を代表し、大東亞戰爭の必勝に邁進する日滿兩帝國々民の血盟を更に強化して興亞運動の強力なる展開を計ると俱に、また大東亞食糧基地たる滿洲國の使命に鑑み興亞農大臣として戰ふ日本の逞しい實相に接し、政界首腦の方々

黃興農部大臣聲明【廿六日】今般農政政策打合を兼ね興亞使節として來朝した興農部大臣黃富俊氏は二十六日帝國ホテルに記者團と會見、左の如き聲明の發表を行ふと共に、昨年度の好成績によつて増産に對する自信を體得し、高度國防國家意識が昂揚透せる農民層によつて、今年度も必ず良好なる成果の得られる確信のあふる旨を語つた

敬書  
長張過春、協和會中央本部參事藤田藤一、協和會青年代表魏鴻濤、同尹

滿洲國黃興農部大臣來朝

【廿五日】滿洲國興農部大臣黃富俊

と會見して平素の厚誼を謝し、種々懇談申上げたとい考へて參つた次第である、我が滿洲國においては夙より大亞細亞主義の理念を實踐し日滿一徳一心の建國精神を顯揚して興亞運動の先驅たる使命に精進すること、ここに滿十二年になるが、親邦

スターマー獨大使南方視察

【二十六日】駐日獨逸大使スターマー氏は去る一月廿八日以來一ヶ月にわたる南方各地視察旅行を終へ廿五日東京に歸着、大使官邸において外務記者團と會見、南方旅行の印象に關し左の如き一問一答を行つた、スターマー大使は第一に日本軍占領地の防衛が完璧の域に達したこと、第二に經濟並に工業再建工作が畫期的に進捗してゐること、第三に原住民の大東亞建設に對する熱意が極めて眞摯なることを強調、特にこれらを總括して帝國が三國同盟の精神に基き、大東亞共榮圏の理念を現實に實行しつゝある事實を確認、これに最大の讃辭を贈つたことは重視さるべき視察報告であつた

國內民食を確保するは勿論、諸産業興隆に大なる寄與をなさしめる外、對日對華北に相當量の増供をなし得る見透しを得たのは大東亞戰下我が滿洲國の使命の一端を果し得たと云ふべく誠に欣快に堪へない次第である

が急速に強化されて完璧の姿を呈してゐることに印象付けられた、また各地の日本將兵は確たる自信を以て敵側の反攻撃砕の意氣に燃え、現にこれを擊碎しつゝある有様を見た

答 この比較はなかなか難かしいが、日獨兩國工作の根本は種々の點で一致して居る、占領地域の防衛措置に關してもまた占領地區住民の對して出来るだけ自給自足を達成させる政策についても同じである

問 獨逸はバルカンやフランスに對して歐洲新秩序理念の徹底に努めてゐるが、この點でも日本の立場と一致してゐる、日本の南方經營に對する大使の卒直な批判を待たい

答 日本が三國同盟に基き、主張されてゐる大東亞共榮圏の理念を現實に移して實行しつゝあることを確實に自分は確かめたことを満足に思ふのみで何もいふことはない、現在は戰時であり戰時の政策は平時の政策とは自ら異なる、平時には又平時の政策が樹てられることであらう

バルガス比島大使着任

【廿九日】比島共和國初代駐日大使バルガス氏は廿九日午後二時宮中に參内恭々しく信任狀を捧呈したが、午後五時帝國ホテルにおいて記者團と會見、拜謁の榮に感激しつゝ左の如く謹話した後、別項の如き一問一答を行つた

問 比島國民の對日協力振りは如何

答 比島人の對日協力は日本の軍政に對する協力振りをみても分るが戰時中不可避的な物資の不足にも拘らず、國民は増産に挺身し日本が勝つまでこれを協力する熱意に燃えてゐる

大東亞宣言に對する貴國民の反應如何

答 その趣旨は官民ともに徹底し心から共鳴してゐる、他の如何なる宣言も大東亞宣言に優るものなしと思ふ

比島は最近非常時狀態を宣言した

答 これは比島憲法に基くもので

獨逸の占領地域と比較して忌憚らない意見を聞きたい

問 獨逸の占領地域と比較して忌憚らない意見を聞きたい

答 第一には日本軍占領地の防衛

問 南方各地の印象如何

答 第一には日本軍占領地の防衛

問 獨逸の占領地域と比較して忌憚らない意見を聞きたい

答 第一には日本軍占領地の防衛

問 獨逸の占領地域と比較して忌憚らない意見を聞きたい

答 第一には日本軍占領地の防衛

問 獨逸の占領地域と比較して忌憚らない意見を聞きたい

答 第一には日本軍占領地の防衛

大統領は國會の閉會中、即ち二月一日から十月廿日まで非常事態の發生した場合、自己の權限において非常立法に署名即時實施し得るこの措置は戰爭中續くものと考へてゐる、例へば最近發令された勤勞奉仕令がそれであるが、更に必要とあらば壯丁を直ちに兵役に服せしめることも大統領に與へられた非常時權限によつて出来ることだ

主 要 人 事

△三日

任總領事(三) 維納在勤を命ず  
△廿三日

外務省外交顧問 石渡莊太郎  
外務省外交顧問被免 總領事(哈爾濱) 塚本 毅  
西貢在勤被仰付(二)

軍 事

秋山輝男中將散華

【七日】 秋山輝男海軍中將は南方第一線において壯烈なる戦死を遂げた旨八日佐世保鎮守府より公表された、同中將は熊本市藥園町六六の出身である

音羽正彦侯クエゼリンに戦死

【廿五日】 畏くも朝香宮鳩彦王第二王子にまします音羽正彦侯は此二月六日クエゼリン島の激戦に於て御戦死の旨廿五日海軍省より左の如く發表された

海軍省公表(昭和十九年二月廿五日十六時)

一、海軍大尉侯爵音羽正彦は二月六日「クエゼリン島」の激戦に於て壯烈なる戦死を遂げたり  
二、二月六日附左の通進級せしめられたり  
海軍大尉 侯爵 音羽 正彦  
任海軍少佐

感 状 行 賞

☆ 感 状

△ナ守備部隊【十二日】 陸軍省發表(昭和十九年二月十二日十六時)

感 状

△ナ守備部隊 (山本大佐の指揮する監物部隊及神吉隊の一部を基幹とする部隊)  
右は昭和十七年十一月十八日より翌十八年一月二日に至る間山本大佐統率の下に△ナ地區の守備に任じ、同地海軍部隊と一致團結米濠軍の包圍攻撃に對抗し、屢々有力なる反撃を續け、日夜熾烈なる銃爆撃及砲撃に堪へ、又猛烈なる敵戦車の攻撃等に對し、全員極めて旺盛なる士氣を以て、長時日に亘り勇戦奮闘、其の大部死傷するに至る迄、能く其の任務を敢行し、軍の作戦に寄與せる所甚大にして其の堅忍不拔且積極果敢決死的戰鬥は皇軍の眞髓を發揮せるものにして全軍の模範たり

仍て茲に感狀を授與す  
昭和十八年二月十一日 軍司令官  
△ナ守備部隊【十二日】  
感 状  
△ナ守備部隊(山本部隊及同配屬部隊)

右は昭和十七年十一月十五日より十九日二日に至る間山本少佐指揮の下に、△ナア上陸點の確保に任ぜしめらるるや、優勢なる敵に對し病兵及軍夫等の集成部隊を以て屢々果敢なる反撃を行ひ、其の銳鋒を挫き取りしが、終に小地域に於て包圍攻撃を受け連日敵飛行機の熾烈なる銃爆撃及砲兵並迫撃砲の晝夜不斷の集中火を被り、死傷續出、陣地殆ど破壊せられ、悲慘限りなき状況に至れるも全員一致團結最後の一員に至る迄力戦奮闘、陣地の確保に努め二回に亘り増援部隊の上陸を掩護し、爾後の作戰を容易ならしめたり、斯くの如きは劣勢なる兵力を以て敵の優勢なる兵力及物質的威力に對し遺憾なく皇軍の本領を發揮せるものにして、全軍の模範たり

仍て茲に感狀を授與す  
昭和十八年二月十一日 軍司令官  
△山部隊【廿二日】 陸軍省發表(昭和十九年二月二十二日十六時)  
昭和十七年末より同十八年初頭に亘るスタンレイ山系よりの轉進作戰に際し防空及地上戰闘並に海上輸送作業に偉勳を樹てたる△山部隊及鷓鴣隊に對し、曩に軍司令官より感狀を授與せられしが、今般長くも 上聞に達せられたり

感 状

△山部隊

右は昭和十七年七月△ナ方面に上陸するや當時敵機の活動熾烈なる際敢然として防空の核心となり彈藥の補給意の如くならざりしに拘らず極力彈藥の節用に努めつつ同年十一月中旬に至る間南ギルワ附近に於て二十數機△ナ飛行場附近に於て四十機合計約七十機を撃墜し克く敵機の跳梁を制壓し集積基地及び飛行場掩護の

重責を完遂せり元來戰場一帯は瘴癘の地たるに時偶々雨季に際會し加ふるに補給意の如くならず時々數日の斷食を見る状況にして將兵の疲勞困憊極度に達せる折柄十一月中旬以來同方面の作戰急轉し戰況逐次逼迫し放列陣地は直接歩兵と同様となり砲は敵砲爆撃の爲破損し遂に對空射撃を實施し得ざるに至るや或は水平射撃に依り敵戦車を撲滅し或は銃を執りて地上第一線部隊として△ナ及南ギルワ戰線に活躍し特に南ギルワに於ては中地區次で前地區陣地の中核として克く全軍志氣の中心となりギルワ附近確守の主因を爲せり斯くの如きは隊長の的確鞏固なる統率並に戰闘指揮を核心とする擧隊鐵石の團結の下堅忍不拔旺盛なる攻撃精神と精到なる戦技とを遺憾なく發揮せるものにして全軍の模範たり

仍て茲に感狀を授與す  
昭和十八年二月十一日 軍司令官  
野崎部隊鷓鴣隊【廿二日】  
感 状 野崎部隊鷓鴣隊  
右は昭和十七年七月△ナ方面に上陸以來陸部隊に密接に協力しありしが十二月中旬以降長期連續使用に依る舟艇の衰損、修理部品の缺乏、舟艇數及燃料の不足りに執拗なる敵機の銃爆撃並敵快艇艇の妨害等幾多の障礙を排除し軍需品の揚陸及之が第一線に對する輸送及海上兵力機動等後方輸送の骨幹を成形し克く補給輸送の命脈を維持し其の作戰を容易ならしめたり、特に昭和十八年一月月上旬より△ナ方面部隊のギルワ轉進に至る間に於ては夜間輾轉する輸送に對し敵快速艇の妨害及舟艇進着點に當る砲爆撃愈々猛烈となりたるに拘

らず全員連夜疲勞困憊を意とせず、敵快速艇と戰闘を交へつつ困難なる患者後送を遂行し其の轉進を容易ならしめたり、斯くの如きは隊長の適切眞摯なる統率の下旺盛なる責任觀念たる闘志及精熟せる技能を以て克く部隊の任務完遂に邁進せるものにして△ナ方面部隊の作戰に寄與したるところ誠に大なるものと認む  
仍て茲に感狀を授與す  
昭和十八年二月十一日 軍司令官

☆ 論 功 行 賞

佐藤、安田兩大佐二階級進級【二十日】海軍省では今回畏くも柴崎惠次少將、佐藤康夫大佐、安田義達大佐に對し進級並に殊勳甲級勳の恩命あらせられたる旨十一月十五日賞勳局と同時にこれを公表した、今回中將に進級、功三旭二の恩命に浴した柴崎惠次少將は昨年十一月廿一日ギルバート諸島に敵有力部隊が大上陸するや敢然これを敵軍、敵に甚大な損害を與へ、その間有力な敵の支援部隊を吸引してギルバート諸島沖航空戦の因を作り、防守五日、遂に最後の兵に至るまで空襲を敢行、總員玉碎するに至つたもので、その偉勳は燦として不滅の光を放つものである  
また中將に二階級特進、功三旭二を賜つた佐藤康夫大佐は驅逐隊司令として開戰當初より戰闘に参加すること廿七回に達し、しかも常に先陣頭に立つて赫々たる戦果を挙げ、昭和十八年三月月上旬、ニューギニア方面海域において艦とともに壯絶なる戦死を遂げ、同じく中將に二階級特進功三旭二の御褒賞を拜した安田義達大佐は昭和十七年十一月中旬以降、

ニユーギニア島△ナにおいて敵の完

全包圍下敵機跳梁の中にあつて何等屈することもなく部下を奮勵、陸軍部隊と渾然一體となつて寡兵克く甚大な戦果を挙げ、遂に昭和十八年一月二日生き残りの手兵僅か十数名を率ひて敵陣に肉弾突入し、壯烈鬼神も哭く戦死を遂げたもので、安田部隊の隊長並に軍司令部總長より感激の激勵電報が與へられた、海軍部内における二階級特進はこれが六度目であり、佐官にして將官に進級した例は今回の佐藤、安田兩大佐をもつて嚆矢とする

△海軍省公表（昭和十九年二月十一日十五時）  
今般左記の者に對し頭書の通進級並に殊勳甲級賜の恩命に浴したり

任海軍中將 海軍少將 柴崎 惠次  
功三旭二 任海軍中將 海軍大佐 佐藤 康夫  
功三旭一 任海軍中將 海軍大佐 安田 義達

功五旭六 海軍飛行兵曹長 大森 卓二  
功六旭八 任海軍中尉 功五旭七 任海軍中尉  
功六旭八 任海軍中尉 功五旭六 任海軍中尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

任海軍中尉 任海軍中尉 任海軍中尉  
任海軍中尉 任海軍中尉 任海軍中尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

功五旭六 海軍一等飛行兵曹 菅野 彦治  
功五旭七 海軍一等飛行兵曹 水木 徳信  
功五青色桐葉章 海軍一等飛行兵曹 大森 茂高  
任海軍飛行特務少尉 任海軍飛行特務少尉

論功行賞の御沙汰あらせられた旨同  
日午後四時賞勳局から發表された  
海軍少佐勳一等功五級候爵 香羽 正彦  
欽功四級授金鶏勳章  
賜木杯一組

主 要 人 事

☆ 陸 軍

【五日】臺北帝大教授兼 富士 貞吉  
臺灣總督府技師 任陸軍軍政地教授(二)

【八日】陸軍少將 國方 慶三  
補臺灣軍兵務部長  
賀陽若宮殿下御轉補御歸還【十日】

長くも尊き御身を以て昭和十七年十  
二月以來南方第一線部隊附として御  
活躍遊ばされてゐた賀陽宮邦壽王殿  
下にはこの度戦地御服務を終へられ  
た旨十日陸軍省から左の如く發表さ  
れた

陸軍中尉 邦 壽 王  
補陸軍歩兵學校教導聯隊附

【十二日】陸軍少將 服部 武士  
補下志津陸軍飛行學校長  
陸軍少將 高野 直滿

補大阪師團兵務部長

☆ 海 軍

【一日】海軍少將 駒澤 克己  
補海軍艦政本部々長  
尙前任者海軍少將安場保雄は海軍技  
術研究所に轉出せり

海軍少將 田中 保郎

補海軍航空本部々長  
海軍大佐 柴田善治郎  
補高雄海軍人事部長  
海軍大佐 山口榮三郎

補鎮海海軍人事部長  
海軍中佐 江藤 敏行

補舞鶴鎮守府副官兼參謀  
なほ前任副官池田映中佐は海上某要  
職に轉じた

貴衆両院

議員異動

前田利定子議員辭職【二日】  
貴族院議員前田利定子(研  
交)は病氣のため議員辭職願を提出  
中のとこ、一月三十一日附をもつ  
て御允裁あらせられた旨二日宮内省  
より貴族院事務局に通告した

徳川慶光公(火曜)は今回名譽の應  
召を受け、来る十二日東部〇〇部隊  
に入隊することとなつた、これで貴  
族院議員の應召者は前の大山拍公  
(無所屬)とともに二名である

食糧問題調査成案

【七日】貴族院ではかねて配給調査  
會内に食糧委員會を特設各般の調査  
を行つてゐるが、七日の貴族院本會  
議において八條豫算委員長は、豫算  
議會席上政府に右調査の結果を提示  
し、政府より可能なものから漸次  
實行に移す旨の答辯があつたと報告

したが、同委員會の調査結果は次の  
四項目である  
①米、麥、諸類の供出制度を改善す  
ること、②諸類の買上價格を是正す  
ること、③都市における配給改善に  
一層力を致すこと、④農業指導の改  
善を圖ること

勸勞對策調査委員會設置

【廿三日】貴族院では二十三日正午  
より院內控室に調査會世話人理事の  
聯合會を開會、中川望氏(同和會)  
の提議に依り、この際戦力の飛躍的  
増強と不可分關係にある徴用並に勸  
勞を中心とする諸問題に關し各般の  
調査研究を遂げ、政府施策への協力  
寄與に資するため、二十七名より成  
る勸勞對策調査委員會を創設するこ  
とに決定、三月十日迄に各部に於て  
委員を人選の上理事長に提出するこ  
ととなつた

衆議院

【二日】衆議院の農付出身  
議員團約百五十名は三日院  
內控室に有志代議士會を開催、現下  
食糧問題の重要性に鑑み肥料増産確  
保對策に關し協議の結果、左の如き  
決議を行ひ安孫子孝次氏(北海道)  
外十五名の實行委員を挙げ首相を始  
め陸海、軍需、農商、大藏の各相に  
施策の徹底方を要望することとなつ  
た

肥料増産對策決議

△決議  
決戦下食糧自給確保を期する爲肥料  
の生産増強は絶対喫緊の急務なり、  
政府は肥料増産につき左の方途を講  
ずべし  
一、肥料の絶対必要量を確保するた  
め日滿一體立地條件を勘案し肥料増  
産の施策を講ずること  
一、化學肥料の増産上必要な補給  
資材はこれを確保し速かにこれが配  
給をなすこと  
一、現に新設増設中の肥料製造工場  
については急速完成のため資材の重  
點的配給をなすこと  
一、肥料の價格政策に再検討を加へ  
生産者の生産意欲を昂揚する如き適  
正なる價格に改むること  
一、自給肥料については絶対量を確  
保の爲積極的施策を講じ生産増強に  
遺憾なきを期すること

國民運動一元化運動

【三日】衆議院有志代議士は三日午  
後院內に參集、國民運動一元化に關  
する左の決議案を決定、實行委員を  
設けて輿論の擴大強化に努めること  
になつた  
△國民運動一元化に關す  
る決議案  
凄愴苛烈なる戦局の要請に即應して  
國民運動の現勢を一元的に改組更  
新してこれが決戦化を圖り戦力の根  
本たる國民政治力を最高度に發揚  
以て敵米英を愕伏せしめんことを期  
す

農政會を創立

【十日】農村議員同盟と農政研究会  
とを解體して新たに組織することに  
なつた「農政會」の創立總會は十日

出版部新刊

同盟通信社外經部編  
圖說 敵國現勢  
B5判 二五四頁  
賣價 四圓三六錢

圖解により米英はじめ敵國最近  
の態勢を的確、平易に解説した  
一億待望の書。同盟にして始め  
て入手し得る貴重な戦時資料を  
多角度から輯録。米英詳細地  
圖、敵國宣傳ポスター原色版折  
込四葉、敵國各方面最新統計六  
四頁、敵國政治經濟軍事社會經  
濟の重要事項日誌及び註釋七二  
頁、その他地圖・漫畫・縮寫並  
びに圖說米英全史等々々々、現  
下の重要資料を満載。(弘報二  
四號初一三二三)

企劃院研究會編  
國策會社の本質と機能  
B6判 二六六頁  
賣價 一圓四七錢

戦力増強といふ日本戦争經濟の  
重大要請に應じて生れ出た新企  
業形態の有力なる一つとして、  
現在精進的な役割を演じつつあ  
る國策會社(特殊會社)の全貌を  
生産力擴充・統制・拓植開發・交  
通・信・金融の五大方面に分類  
して具體的に解説せる經濟人並  
びに一般知識人への好參考書。  
(弘報二三號初一一一五)

丸の内中央農業會館に開催、會則、役員を決定するとともに農業生産責任體制確立の諸方策につき協議、近

△會長 高田松平 △常務委員 小笠原三九郎、小川權一、木暮武太夫、高橋守平、東郷實、三善信房、村上國吉、高橋熊次郎、越智太兵衛、松村謙三、池田秀雄 △會計監督 松村謙三、木暮武太夫 △政務部長 高橋守平 △調査部長 小笠原三九郎

### 翼賛政治會

#### 國民運動一元化折衝

【十六日】翼政會では衆議院有志代議士の國民運動一元化運動に對し、その趣旨は既に去る五日の衆議院本會議に於いて全會一致可決された必勝決議案に盛り込まれ、衆議院の總意は明白に表示されてゐるのみならず政府も亦過去の行きかゝりに提はれざる善處する旨を首相の答辯に依つて明かにしてゐるので、翼政會では右衆議院の總意を體しこの問題を政府との折衝に移し責任を以つて解決に當ることとなつたが、その方途としては次のやうな案が提唱されその歸結が注目されてゐる

もに、別に國民運動總本部を設置する案、翼政會、翼贊會を解消して、強力なる一元の機構を確立する案、翼政會總裁をして翼贊會總裁を兼任せしめ、翼壯を翼政會に統合する案

### 大政翼賛會

#### 後藤副總裁事務總長事務取扱

【十五日】大政翼賛會事務總長丸山鶴吉氏の宮城縣知事就任に伴ふ後任事務總長は當分後藤副總裁の事務取扱ひとなり十五日左の如く發令した

依願免職 副總裁 後藤 文夫  
事務總長事務取扱を命ず 翼壯副團長 丸山 鶴吉  
依願免職

### 外地地方

#### 東京外十都市の新建築を抑制

【十五日】都市疎開の促進に併行し疎開地域における建築物の新築規制については舊曆廿一日閣議決定の疎開に伴ふ措置案をもつぎ防空總本部において具體的成案を急いでゐるが、いよいよ防空法第五條の規定を發動し建築規制區域を指定することとなり、十五日内務省告示を

もつて次の疎開區域が同時に建築規制區域として指定された △建築規制區域 東京市、東京府、横濱市、川崎市、神奈川縣、名古屋市、大板府、大阪府、兵庫縣、神戸市、尼崎市、福岡縣、門司市、小倉市、戸畑市、八幡市、若松市

で今般東京において初の地方行政協議會を行ふこととなり、十六日午前十時から帝國ホテルに於いて開催した、中央側から推名軍需省總動員局長、原運通省企画局長、平山鐵道總局長、堀木同業務局長、三浦同施設局長、岡本海運總局總務局長、新谷同海運局長、嶋野同港灣局長、から前田會長以下辻山參事官、都山長野、坂富山、加藤福井の各縣知事馬場新潟、河合名古屋兩鐵道局長、宇川新潟海運局長等出席、先づ港灣の荷役増強に關し勞務隘路の打開、機械設備の重點配置等地方側の希望意見が開陳され、更に石炭輸送の緊急性に伴ひ實情に即した施設増強についての専門的討議が重ねられた、而してこれら諸問題の綜合的運籌解決のため中央側と地方との連絡を今後一層強化せしめるための諸方策についても種々懇談を遂げ、十二時半一旦休憩、午後は田中石川縣知事も參加して一時再開、企業整備に關する諸問題並に航空機増産等に關し夫々協議を續行、午後五時散會した

【廿一日】本年初の地方行政協議會長會議は廿一日午後一時より首相官邸に開催、東條首相はじめ各閣僚、星野書記官長、森山法制局長官、大達關東地方行政協議會會長以下各會長(東北地方會我參事官)出席、生産力擴充及び食糧問題を中心に各會長より夫々地方事情に應じて意見を開陳、特に米の供出、土地改良の狀況について詳細なる報告あり、その他勞務動員、蔬菜、薪炭等の生活必需品の生産並びに配給等の諸問題につき積極的に意見の交換が行はれ、多大の成果を収めて午後六時散會した

#### 地方行政協議會會長會議

【廿三日】政府は福岡鐵山監督局長兼任 福岡縣知事鎌山監督局長兼任 戦力増強地方行政に一大示唆

#### 五十四市長が登録事業を運用

【二十日】國民職業能力申告令に基き國民登録業務は従來總て國民職業指導所長によつて運用されてゐたが今回の勅令改正を機として東京都長官及び厚生大臣の指定する市町村長は登録票の管理、集計等、國民登録業務を直接運用し、この結果を國民職業指導所長に報告することとなつたので、来る二十二日人口調査と同時に實施される國民登録を前にして

#### 北陸地方行政協議會東京で開催

【十六日】北陸地方行政協議會では戦力増強に關する諸施策中、中央官廳と打合せ懇談すべき事項が多いの

坑木その他資材、勞務者用食糧、生活必需品、住宅の確保、輸送力の増強等活潑なる綜合行政の展開が要望されるので今回吉田氏をして福岡鐵山監督局長を兼任せしめ吉田氏による妙味ある綜合行政運営を期したのである、なほ五嶺山監督局長のうち札幌をすでに中村軍需監理部長が兼任してをり、今回と併せて二局長が兼任となつた

戦力増強地方行政に一大示唆 戦力の増強への強力推進に廣域行政の妙を發揮しつつある地方行政協議會は過去八ヶ月にわたる試練をもつて漸く軌道に乗り大いに効果をあげたが、同時に協議會制度の實績は統制經濟の強化、全體主義的中央集權の劃一傾向と地方行政の現實的執行性との間における隘路打開調整においても意想外の成果を収め來つた、而してかかる協議會の機能發揮は刻下の緊急要請たる軍需生産の急速増強に最も活潑に昂揚せらるべきであり、このため軍需監理と協議會の緊密なる連絡は一層重要性を加へ、軍需監理部長の任命とともに同部長の協議會委員として正式参加が當然豫想された、然るにそれには地方行政協議會令の改正を必要とするので陪席委員として参加協力せしめんとする意向でもあり、爾來これは懸案となつてゐたが、廿一日の地方行政協議會會長會議において檢討の結果、この際寧ろ積極的に協議會側より軍需監理部に對する連絡調査の系統を確立すべきであるとの見解に一致し、差當り重要産業として廣域行政運営上最も重要役割を擔ふ九州地方の石炭増産に重點を置くこととなり、ここに九州地方行政協議會會長たる福岡縣

知事吉田茂氏の福岡鐵山監督局長、軍需省軍需監理官兼任を決定、二十三日正式任命發令をみせののである、而してこのことは協議會會長に重點産業に對する權限を附與し、従來の指示權を飛躍的に擴大強化したことの意味し、一面には廣域行政の運営は中央と地方の隘路打開のためにはや決戦行政運営に絶對的要訣となつたことを示唆するもので、今回の措置を契機として今後地方行政協議會の機能強化はかゝる實質的部面から逐次全地域、全局的行政運営の方向に推進せしめんとする政府の意圖を明示したものととして重要意義をもつものである、なほ今回の措置は九州地方における石炭の増産に重點を置き、急速に斷行せられたものであるが、廿一日の定例地方行政協議會會長會議においては地方參事官の軍需官兼任問題も有力に唱へられた模様であるので、今後政府としては地方協議會に對する重點的實質的權限の擴充についても眞剣に檢討を試みるものとみられてゐる

主要人事

- 朝鮮總督府檢事(京城地方法院檢事正) 戸澤 重雄
補京城復審法院檢事長 地方
大阪警察局長特高課長 地方警視 細谷 喜一
任千葉縣官房長(四) 滿洲事務局長總務課 大東亞事務官 江森 武雄
任福島縣官房長(四)

農商省農政局長 石井英之助
任群馬縣知事(一) 九山 鶴吉
任宮城縣知事(一) 西村 彰一
特に親任官の待遇を賜ふ
農商省山林局長 西村 彰一
任富山縣知事(二)
企業院部長兼内務省調査官 堀田 健男

任地方參事官(二) 新潟縣勤務を命ず
農商省生活物資局長 難波 理平
任地方參事官(二) 宮城縣勤務を命ず
地方參事官(新潟) 辻山 治平
依願免本官
地方市長異動 内務省より左の通り發令された
△足利 眞鍋安次(現助役)廿二日
△岡崎 菅野伊三郎(再任)廿二日

政治短信

- 【八日】閣議、燈臺局復活を決定
【九日】農商省に防衛課を設置
【十日】滿洲國大使王允郷氏歸任
【十四日】東條首相參内一般政務を奏上
【十五日】首相官邸に内閣顧問會同、戦力増強を中心に種々懇談
【十八日】運通省會議室に第三回海運局長會議開催、十九日閉會
【廿一日】倉庫行政の綜合調整を圖るため運通省企畫局に第四課を新設
【廿四日】スターマー獨大使南方視察より歸着 △重光外相參内所管事務に付奏上 △阿部翼賛會總裁東條首相と要談
【廿五日】滿洲國黃興農部大臣來朝

第八十四議會

議審速快の有會未院兩

第八十四通常議會は去る一月廿一日再開以來、貴、衆兩院とも快速の裡に眞摯、積極的な態度をもつて議案の審議に當つたが、衆議院は五日の本會議をもつて政府提出法案並に豫算各案を悉く議了、最後に必勝決議を全会一致可決して六日より自然休會に入り、貴族院も七日一切の議事を完了、八日より自然休會に入つた、かくて敵米英必死の反攻を擊碎して必勝の基礎を確立すべき果斷なる施策を成つた十九年度豫算各案並に法律案は兩院の眞摯協力的審議を経て、議會開設以來の快速調をもつて何れも政府原案通り議決成立を告げ、協賛せるもの法律案廿二件、臨軍費關係二件、總豫算關係十件承諾を與へたるものの第一豫備金支出等六件をはじめ決議案貴族院一件、衆議院二件、建議案衆議院三件、請願採擷貴族院三件に及ぶ畫期的成果を収め、ここに實質的に議會を終了した院(送付)

貴族院

☆本會議

- 四日の貴族院本會議は午前十一時七分開會、先づ奉職三十年以上の議員西郷從德侯一、昭和三十八年度特別會計第二豫備金支出の件(同上)
一、昭和三十七年度特別會計第一豫備金支出の件(同上)
一、昭和三十七年度特別會計豫備費支出の件(同上)
一、昭和三十七年度第一豫備金支出の件(承諾を求むる件)(政府提出案議一、郵便法中改正法律案(同上))
一、昭和三十七年度第一豫備金支出の件(承諾を求むる件)(政府提出案議一、郵便法中改正法律案(同上))
一、昭和三十七年度特別會計豫備費支出の件(同上)
一、昭和三十七年度特別會計第一豫備金支出の件(同上)
一、昭和三十七年度特別會計第二豫備金支出の件(同上)
一、昭和三十八年度特別會計第二豫備金支出の件(同上)
一、昭和三十八年度特別會計第一豫備金支出の件(同上)
一、昭和三十八年度特別會計第二豫備金支出の件(同上)
一、昭和三十八年度特別會計第一豫備金支出の件(同上)
一、昭和三十八年度特別會計第二豫備金支出の件(同上)

【廿六日】スターマー獨大使重光外相を訪問、南方視察の結果に付意見を交換△黃滿洲國使節東條首相を訪問、來朝の挨拶を述ぶ
【廿八日】青木大東亞相、黃滿洲國停止具體案を指示
【廿九日】全國風俗警察主任課長會議開催、町村警保局長より高級享樂

を上程、久保田委員長報告通り可決成立、ついで

一、昭和十九年度一般會計歳出の財源に充つる等の爲の公債發行に關する法律案(政府提出、衆議院送附)

一、學校特別會計法案(同上)  
一、厚生保險特別會計法案(同上)  
一、農業者畜再保險特別會計法案(同上)

一、簡易生命保險及び郵便年金特別會計法案(同上)  
一、臺灣事業用品資金特別會計法案(同上)

一、作業會計法外十法律中改正法律案(同上)  
一、國有財産整理資金特別會計法外三法律の廢止に關する法律案(同上)

一、臨時資金調整法中改正法律案(同上)  
一、戰時喪失無記名國債證券臨時措置法案(同上)

一、煙草專賣法及び鹽專賣法中改正法律案(同上)  
一、十一法案を一括上程、東郷(公)委員長の報告通り可決成立、かくて政府提出衆議院送附法案十三件を原案通り可決成立せしめ同十一時三分散會

五日の貴族院本會議は午後一時三十分開會、故安場保健男に對する弔辭贈呈の件を決定のち議事に入り

一、昭和十七年度第一豫備金支出の件(承諾を求むる件)(衆議院送附)  
一、昭和十七年度特別會計第一豫備金支出の件(同上)

一、昭和十七年度特別會計豫備費支出の件(同上)  
一、昭和十八年度第二豫備金支出の件(同上)

一、昭和十八年度特別會計豫備金支出の件(同上)

一、昭和十八年度特別會計第二豫備金支出の件(同上)

一、昭和十八年度特別會計豫備金外豫算外支出の件(同上)

一、所得稅法外二十九法律中改正法律案(政府提出衆議院送附)

一、大日本育英會法案(政府提出、衆議院送附)

一、青年學校教育費國庫補助中法改正法律案(同上)

一、公立學校職員年功加俸國庫補助法中改正法律案(同上)

一、戰時特殊損害保險法案(政府提出、衆議院送附)

上程、東郷(安)委員長報告通り可決成立、こゝに貴族院は政府提出、衆議院送附法案十八件全部を原案通り成立せしめ同三時十八分散會

七日の貴族院本會議は午前十時八分開會、日程に入り高橋誦願委員長より誦願委員會の経過につき報告の後

一、昭和十九年度特別會計歳入歳出豫算案(政府提出衆議院送附)

一、昭和十八年度歳入歳出總豫算追加案(同上)

一、昭和十九年度特別會計歳入歳出豫算追加案(同上)

一、豫算外國庫の負擔となるべき契約を爲すを要する件(同上)

一、昭和十九年度歳入歳出總豫算追加案(同上)

一、昭和十九年度特別會計歳入歳出等豫算各案十件を一括上程、八條委員長より報告、質疑に入り

田中館愛橘氏(無所属)政府は科學振興について種々施策を用意してあるが、科學精神の確立について基礎的用途が出來てゐるや否や、大東亞の指導、世界の解放に當つて、我々科學思想においても世界の科學文化を指導せねばならぬ、かかる重大な科學精神の涵養について政府は如何なる用意と施策を講ぜられんとす

か、われ等は航空技術においても敵米英に決して劣るものではない、政府は信念の戰爭であるといふが、われ等は科學戰においても必ず勝つ

の信念を有してゐる

東條首相 近代戰の特質に鑑み、科學技術が如何に大きく戦局に影響する

かは特に最近の戰況の推移によつて明らかである、今や世界列國は勢ひて新兵器の發明に専念し、その擧

つて新兵器の發明に専念し、その擧げで端緒をあらざるものがある、帝

國は軍官民を擧げて科學技術の進歩發達に努めてゐる、而してわが國民は傳統的にも科學技術の上に偉大な

も貢獻したい

次いで討論に移り

下村宏氏(研究) 大東亞戰爭は大東亞十億民族が再興するや否やの戦ひであり、世界に眞の平和が招來されるや否やの戦ひである、敵米英は世界の陸地の三分の一を占め、世界人口の三分の一を支配し原住民を搾取

の壓迫し、それらの土地には大東亞民族の入植を排斥してゐる、ルーズヴ

エルト、チャーチルはカイロ會談で擴張過ぎた領土を抱へて流石に氣が

さしたのか、米英兩國は領土その他認めるとしたらこの上どこを取るつもりか、これを大東亞共同宣言と對

比すれば正に雲泥の差である、この時に當つて編成された十九年度豫算は準軍事豫算である、國民總力戦となつた今日最早前線統後の別はな

い、銃後もまた戰場である、しかし國民の負擔は決して輕しとしな

りわが國の興廢、大東亞隆替の岐る秋となつた、この際編成された豫

算案に對しては我々双手を擧げて賛成するのみである、問題は一にこの

豫算案を如何に効果的に機宜に處し運用し消化するかにある、我々

空襲のため基地を獲得し空襲をもつて戰意を喪失せしめ、又わが本土と大東亞領域との遮斷を企圖すること

が敵米の狙ひである、わが方としてはこの企圖を粉碎し大東亞國を飽くまで確保しなければならぬ、全戦局を通じて實に今日程大切な時期はな

い、今日の戦力増強如何こそ戦局の勝敗を決するものである、我々は今

こそ前線の勇士に最大の戦力を供給すべきである、今日程われわれ國民の責任の重大な時はない我々國民一

人一人が國家の柱であり、この難局を救ふ信念、命懸けの大努力こそ舉國團結の基調であり、又國難を救ふ原

動力である、官民一致敢闘精神を發揮してこの征戰を勝ち抜かねばならぬ、政府の不抜の決意に呼應し議會

また決戰の氣魄に徹し、本豫算に賛意を表するものである

かくて討論を終り採決の結果、總員起立拍手裡に全會一致これを可決成立、時に午後零時五十分、ついで

一、昭和十七年度歳入歳出總決算、昭和十七年度各特別會計歳入歳出決算報告

一、昭和十七年度國有財産増減總計算書報告

一、北越線鐵道敷設の請願  
一、廣尾線大樹、日高線浦河の兩驛間鐵道敷設の請願  
一、古事記正解の研究促進に關する請願

一、江若鐵道買収並小濱線三宅、江若鐵道今津の兩驛間鐵道敷設の請願

一、高橋委員報告通り採擇と決定し、全議案の審議を終了午後一時十三分



散會、ここに貴族院は議事一切を終了來月廿四日最終の本會議に入るまで自然休會に入つた

☆豫算總會

【一日】午前十時十分開會、質疑に入り下條康醫(農政)、三島通陽子(大東亞)、河瀬眞子(船舶)の質問、山崎農商、青木大東亞、島田海軍、八田運通各相の答辯があつて十一時五十分休會、この間島田海相は河瀬子の質問に對し本年度の甲造船建造は昨年年度の二倍以上確實との言明を與へた、午後一時六分再開、劈頭小原直氏(マシーナル諸島に關する緊急質問)を爲し、島田海相之に答へた後河瀬子午前引續き質問を續行、八田運通、島田海軍、岸國務、岡田文部各相よりそれぞれ應答、最後に左近司政三氏南方石油の軍直營を民間會社に移しては如何と質したるに對し、東條首相、事は作戦と密接の關係があり、未だその時期に非ずと答へ、かくて午後四時四十分散會

☆委員會

【一日】課税一般について増稅委員會【一日】課税一般について中山太一、松本蒸治兩氏の質疑があつた後、大河内輝耕氏所得稅改正に依る町内會長の課稅參與について質疑、賀屋藏相及び主稅局長より別記の答辯があつて散會【二日】大河内輝耕氏納稅施設組合の納稅資金亡失の場合の處置につき質問、次いで竹下豐次氏地方財政救護につき質問、松隈主稅局長及び新居地方局長より夫々別記の如く答辯、次いで小畑太郎、三浦新七等の質疑ありて散會【三日】黒田英雄、益田太郎、三浦新七諸氏と賀屋藏相等との問答があつて散會【四日】所得稅法の改正と町内會長の課稅參與について松本蒸治氏より重ねて當局に質す所あり之に對し賀屋藏相別記の如く答辯、次いで河田烈、黒田英雄兩氏の質疑があつて討論に入り、所得稅法外二條意見を述べて採決、所得稅法外二十九法律中改正案全部原案通り可決開會

赤字委員會

【二日】開會劈頭、昭和十九年度の内地及び朝鮮における買收鐵道につき運送省及び朝鮮總督府當局より夫々説明があつて質疑に入ること可決して直ちに貴族院に送附、次いで日程に入り、一、訴訟費等臨時措置法案(政府提出、貴族院送附) 一、會社等臨時措置法案(同上) 一、經濟關係罰則の整備に關する法律案(同上) 一、朝鮮に於ける裁判手續簡素化の爲の國防保安法及治安維持法の戰時特別に關する法律案(同上)

化を言明、また東條首相は石黒子の質問に答へて食糧増産と軍需生産との調整に付別項の如き答辯を行つた

衆議院

【三日】午前十時十分開會、直ちに秘密會に入り、同十一時廿一分秘密會を解き、菅澤重雄氏土地改良の成果をたづねて山崎農商相之に答へ午後零時十分休會、同一時十八分再開菅澤氏午前引續き文政及び雜穀の價格に付質問、岡田文相及び山崎農商相の應答があり、次いで堀切善次郎氏(都市防空)、大河内輝耕子(日蠶糸製造會社の統合問題)、内藤久寛氏(國內石油資源開發)等の質問に對し安藤内相、石黒農商次官、岸國務相より夫々答辯があつて午後四時四十分散會

衆議院

【三日】衆議院本會議は午後一時七分開會、日程を變更して 一、昭和十七年度第一豫備金支出の件 一、昭和十七年度特別會計第一豫備金支出の件 一、昭和十七年度特別會計豫備金支出の件 一、昭和十七年度特別會計第二豫備金支出の件 一、昭和十八年度第二豫備金支出の件 一、昭和十八年度特別會計豫備金外支出の件 一、昭和十八年度特別會計豫備金外支出の件 一、昭和外支出の件 一、昭和外支出の件 一、昭和外支出の件 一、昭和外支出の件

衆議院

【一日】山岡萬之助、田所美治、入江貫一諸氏の質問があつて散會【二日】松井茂、入江貫一兩氏の質問があり【三日】安井英二氏(政府提出、貴族院送附) 一、企業整備資金措置法中改正法律案(同上) 一、朝鮮私設鐵道補助法中改正法律案(政府提出、貴族院送附) 一、船舶職員中改正法律案(同上) 一、簡易生命保險法中改正法律案(同上) 一、一括上程、今井(健)委員長報告通り可決成立 一、北支那開發株式會社及中支那振興株式會社法中改正法律案(政府提出、貴族院送附) 一、海軍刑法及海軍軍法會議法中改正法律案(政府提出、貴族院送附) 一、緊急上程、中野委員長報告通り可決成立、かくて衆議院は貴族院より送附の十四法律案中十一件を成立せしめた、ついで 一、海外同胞保護資金制度設置に關する建議案(前田米藏氏外四名提出) 一、津崎尙武氏(鹿兒島)より提案理由説明の後採決、全會一致可決、之に對し青木大東亞相「大東亞建設の第一線に挺身活躍する同胞の國家的責務は寔に重大であり、この責務を充分に果たすためには一身一家を顧みずその使命を遂行する覺悟が肝要である、これに對し國家として後顧の憂ひ無からしむべく指導しなくてはならぬ、只今の建議に對しては政府も同感である、今後は關係方面と急速に協議の上適切妥當な

措置を講ずる考へである」ついで  
一、水産物増産確保に關する建議案  
(青山憲三氏外四十二名提出)  
を上げ、眞藤慎太郎氏(北海道)より  
提案理由を説明、全會一致可決、  
これに對し山崎農商相「政府は主要  
食糧の増産と並んで水産物増産につ  
いても只今の建議の趣旨に基き充分  
努力する」と言明、次に

一、砂防を中心とする治水利水國策  
の確立並其の行政の一元化に關する  
建議案(小泉又次郎氏外廿名提出)  
を上げ、紫安新九郎氏(大阪)提案  
理由説明のち全會一致可決、午後  
三時廿四分散會

五  
日  
今議會掉尾の衆議院本會議  
は五日午後一時七分開會、  
日程を變更して

一、必勝決議案(前田米藏  
氏外百四名提出)  
を上げ、清瀨一郎氏(兵庫)提案理  
由を説明、皇國陸軍の機微實にこ  
間に伏在すと烈々一億國民の總躍起  
を説く、マシーナル方面の重大戦局  
を反映して議場は異常の感激と緊張  
の裡に總員起立、満場の拍手裡に決  
議案を可決、これに對して東條首相  
は別項の如く所信を披瀝し、終つて  
日程に入り

一、労働者年金保險法中改正法律案  
(政府提出、貴族院送付)  
を上げ、山本委員長より委員會の經  
過並に結果を報告、討論に入り  
河野密氏(東京)  
戦力増強の根本は勤勞の問題であり  
勤勞の效率を高めることが戦力増強  
の鍵である、全國數百萬勤勞者の奮  
起、その全能力發揮を切望する  
と賛成演説あり採決に入り、委員長

報告通り可決成立、次いで  
一、農林中央金庫特別融通及損失補  
償法中改正法律案(政府提出、貴族  
院送付)  
一、赤價安定施設法廢止及蠶糸業統  
制法中改正法律案(同上)

一、一括上程、深澤(吉)委員長報告  
通り可決成立、かくて貴院より送付  
された法律案十四件全部を可決成立  
せしめ、全議案を議了、同二時十五  
分散會した

必勝決議案  
戦局今や重大、皇國の興廢斯の機に  
存す、我等一億奮然躍起、彌々國民  
の總力を必勝の一點に結集し、以て  
敵米英を撃碎すべし  
右決議す  
清瀨一郎氏必勝決議案提案理由  
辯明

一、「一月廿日朝來、有力なる敵部  
隊マシーナル群島に來襲し、同方面  
の帝國海陸軍部隊はこれを邀撃、撃  
戦中なり」と大本營より公表せられ  
たのは同月廿一日午後であつた、マ  
シーナル群島はいふまでもなく皇國  
の領域である、國民はこの攻防の經  
過を手に汗を握つて待つて居つた、  
今朝は右戦經過が發表された、從  
軍將士の忠魂義膽、唯々感謝感激の  
外はない、ラバウルその他ニューブ  
リテンの我基地においても、ニューギ  
ニヤの戦線においても日夜凄愴苛烈  
なる戦闘が繼續してゐる、ビルマそ  
の他の第一線において彼我的の激闘  
近くにある實に容易ならぬ様相であ  
る、戦機は今や熟して來た、皇國陸  
軍の機微、實にこの間に伏在してゐ  
る、斯る時代には、國民として局部  
的の成敗に一喜一憂することなく興  
奮焦躁の感情を抑へ、冷嚴なる態度

を持し、周密なる計畫を立て、時を  
喪はず機を失せず國家の總力を動員  
してこれに對處せねばならぬ  
二、東條首相は過日施政方針の演説  
において戦争遂行の要諦を吐露され  
た、焦慮反攻の敵を捕捉撃破する事  
が一つ、我戦力を飛躍的に強化しつ  
つ物心兩面に亘る長期戦の構へを固  
める事が二つ、斯くして更に攻勢に  
轉じもつて敵を屈服せしめる事がそ  
の三である、爾來半月間の出來事か  
ら見ても右舉示の適切なる事が認め  
られる、首相は右戦争遂行要諦を基  
礎として今後國內に施行すべき政策  
の重點をも明示せられた、航空機そ  
の他重要軍需物資の飛躍的増産、國  
民勤勞の強化、海陸運輸の確保向上  
食糧の確保、官吏服務の決戦化の五  
つである

も、他と結合することによりてその  
效力を倍加するものである、もし、  
これが全國的に結合するときは實に  
無限の威力を發揮するものである、  
軍國重大の國際國民の政治的意欲を拘  
束してはならぬ、大にこれを統合發  
動せしむべきである

四、我國今日の急務の第一は航空機  
の急速増産である、當局は本年度の計  
画を樹てられた、過日これを聽いて  
我々も意を安んじた、この計畫が實  
現するや否やは實に國家の興廢に關  
係する重大事である、これを實現す  
るの原動力如何、工具、從業員、生  
産管理者は申すに及ばず廣く一般國  
民の決勝の信念と結びついた旺盛な  
國策遂行の意欲である、斯の意欲  
を統合把握することにより躍進的の效  
果が期待せられ得る、これが本決議  
案にいふ國民總力の集結である、船  
舶の急速建造、運輸の増強、鐵鋼、  
石炭の増産亦同一の道理である、農  
産物の増産には責任生産制が最も適  
當である、農民の戦争完遂の意欲と  
結びついた責任制をもつてすればそ  
の生産は必ず倍徒するのである、國  
民戦時生活の規正にしたところで、  
防禦防空の事にしたところで、限あ  
る警察官吏の力でこれを完遂しよう  
としても到底完全にその目的を達す  
るものではない、これ等の事は、眞  
とに統一したる國民運動が存在するこ  
とによつて始めて十分その効果を期  
待し得るのである、戦意昂揚の如き  
特に然りである

三、吾々は首相の示された右戦争遂  
行要諦及び國內施策の重點には異存  
がない、獨り異存がないのみならず  
大にこれを支持したいと思ふ、しか  
し如何にしてこれを實現する乎、こ  
れが實現の方法如何、恐らくまづこ  
れを實施するの法律勅令が制定せら  
れるであらう、これに要する豫算を  
要求せられるであらう、その上これ  
を行政の手に移されるであらう、し  
かし、法令と豫算と行政とだけでは  
魂がない、行動力が缺けてゐる、法  
令、豫算、行政の三つだけでは平時  
においては兎も角戰時的の推進、躍  
動は期せられない、更にこれに國民  
各自の國策遂行意欲が加はつてこ  
に始めて右の要諦なり重點が活潑な  
る動きを始めるのである、而して、  
日本國民個々は國家奉仕の意欲に満  
ちてゐる、しかし、斯の意欲は個々  
の人の心の内に別々に内在するより

五、願みれば去る昭和十五年八月、  
我國に國內新體制運動が據頭した當  
時は支那事變發生以來滿三年、歐洲  
の状態よりして世界的大戦争は既に  
豫感された、そこで従前存在したる  
政黨は悉く解消し國民政治力を一元  
化せんと欲したのである、同年十月  
に大政翼賛會は成立して、茲に新體  
制運動は一段落を告げた、爾來數年  
間國民總力の結集については各方面  
において非常なる苦心を重ねた、數  
回の改革も試みられた、然るに今日  
の實際を觀るに國民總力の結集、運  
行等遺憾ながら未だ理想的なりとい  
ふことが出來ぬ、例へば行動意欲に  
燃えた多數の青壯年等があるが、こ  
れ等の者の行動が各方面に十分伸暢  
するの態勢とはなつてはをらぬ、こ  
の状態は速にこれを改革し、國民の  
總力を必勝の一點に結集して無礙絶  
大の威力を發揮し、もつてこの聖戰  
を完遂するの原動力となすべきであ  
る

六、現下戦局の様相は冒頭に述べ  
た通りである、敵も本年をもつて決  
戦の年といつてゐる、我亦本年をも  
つて決勝の年と考へる、第一線の砲  
聲や爆音は未だ轟々として日夜々々  
が中心の耳に轟々として日々夜々々  
響いて來る、敵の隠れたる戦争目的  
は領土の掠奪、東亞奴隸化である、  
敵の太平洋に對する野望は執拗惡辣  
である、如何に叩かれても、潰され  
ても、犠牲を顧みず壓倒的の物量を  
持つんで、押しつけて押し切らうと  
する、これに對處する策はいはずと  
も知れた事である、彼の押の力より  
も以上の力で押す事である、彼が三  
つて押し、彼五の力を出せば我十の  
力をもつてする事である、我將兵の  
士氣と戦技が彼に倍する事はいふを  
待たぬ、要は資材である、わけても  
航空機と船舶である、結局今日の急

五、願みれば去る昭和十五年八月、  
我國に國內新體制運動が據頭した當  
時は支那事變發生以來滿三年、歐洲  
の状態よりして世界的大戦争は既に  
豫感された、そこで従前存在したる  
政黨は悉く解消し國民政治力を一元  
化せんと欲したのである、同年十月  
に大政翼賛會は成立して、茲に新體  
制運動は一段落を告げた、爾來數年  
間國民總力の結集については各方面  
において非常なる苦心を重ねた、數  
回の改革も試みられた、然るに今日  
の實際を觀るに國民總力の結集、運  
行等遺憾ながら未だ理想的なりとい  
ふことが出來ぬ、例へば行動意欲に  
燃えた多數の青壯年等があるが、こ  
れ等の者の行動が各方面に十分伸暢  
するの態勢とはなつてはをらぬ、こ  
の状態は速にこれを改革し、國民の  
總力を必勝の一點に結集して無礙絶  
大の威力を發揮し、もつてこの聖戰  
を完遂するの原動力となすべきであ  
る

五、願みれば去る昭和十五年八月、  
我國に國內新體制運動が據頭した當  
時は支那事變發生以來滿三年、歐洲  
の状態よりして世界的大戦争は既に  
豫感された、そこで従前存在したる  
政黨は悉く解消し國民政治力を一元  
化せんと欲したのである、同年十月  
に大政翼賛會は成立して、茲に新體  
制運動は一段落を告げた、爾來數年  
間國民總力の結集については各方面  
において非常なる苦心を重ねた、數  
回の改革も試みられた、然るに今日  
の實際を觀るに國民總力の結集、運  
行等遺憾ながら未だ理想的なりとい  
ふことが出來ぬ、例へば行動意欲に  
燃えた多數の青壯年等があるが、こ  
れ等の者の行動が各方面に十分伸暢  
するの態勢とはなつてはをらぬ、こ  
の状態は速にこれを改革し、國民の  
總力を必勝の一點に結集して無礙絶  
大の威力を發揮し、もつてこの聖戰  
を完遂するの原動力となすべきであ  
る

五、願みれば去る昭和十五年八月、  
我國に國內新體制運動が據頭した當  
時は支那事變發生以來滿三年、歐洲  
の状態よりして世界的大戦争は既に  
豫感された、そこで従前存在したる  
政黨は悉く解消し國民政治力を一元  
化せんと欲したのである、同年十月  
に大政翼賛會は成立して、茲に新體  
制運動は一段落を告げた、爾來數年  
間國民總力の結集については各方面  
において非常なる苦心を重ねた、數  
回の改革も試みられた、然るに今日  
の實際を觀るに國民總力の結集、運  
行等遺憾ながら未だ理想的なりとい  
ふことが出來ぬ、例へば行動意欲に  
燃えた多數の青壯年等があるが、こ  
れ等の者の行動が各方面に十分伸暢  
するの態勢とはなつてはをらぬ、こ  
の状態は速にこれを改革し、國民の  
總力を必勝の一點に結集して無礙絶  
大の威力を發揮し、もつてこの聖戰  
を完遂するの原動力となすべきであ  
る

務は生産増強の外はない、今日では前線、銃後の別は無い、工場即ち戦場である、国内即第一線である、この時に當り我等、身を戦線に置く者も、筆を投じ簿冊を投じ、自ら一億政闘の陣頭に立ち率先射行、流汗皆働、一機の航空機、一塊の石炭、一粒の米麥の増強生産に挺身参加し、もつて頑敵米英を撃碎し道義に基く大東亞完成の聖旨に答へ奉らねばならぬ

首相所信を表明

東條首相(本社速記)

只今本院において全會一致をもつて必勝決議案を議決せられたことは誠に力強い限りである、今や戦局が御承知の如く激化の一途をたどり、日に日に酷烈を極め正に皇國の興廢、大東亞の隆替を決するの秋と相成つてゐるのである、この秋に當りあくまでも戦ひ抜き勝ち抜くのは一億國民擧げて正義の戦ひの勝利を確信し、強靱に總力を決勝の一點に結集し續けて行くばかりである、これがため政府と致してはこの上と一億國民の力を最も有効に戦力の増強に集中せしめるの方途を講じて参る所存である、しかしてこれが實行に當りては先般本議場において述べるところがあつたのであるが、政府と致しては從來の行きがかりに捉はれず採るべきは採り、改むべきは改め、もつて決戦下愈々盛り上る國民の忠誠心の發揚に萬全を期して参る所存である、この點において今後益々諸君のお力に俟つところ大なるものがあるのであつて、この上とも諸君の

積極的な御協力を切望する次第である、皇國危急の秋に方り、國民に代表する諸君の熱烈たる敢闘の決意に接し、政府としては無限の力強きを感ずる次第である、諸君、戦捷の決は懸つて一億國民の結束に存するのである、ここに重ねて官民一致協力、擧げてその總力を必勝の一點に凝集し、只管戦力を増強して速かに敵米英を撃碎しもつて聖慮を安じ奉らんことを固く期する次第である

☆ 委員 會

北支開發委員會

【一日】眞鍋儀十氏の大東亞宣言に基く世界被壓迫民族の結集方策に關する質疑に對し、青木大東亞省の應答があつて改正案の逐條審議に入る【二日】討論採決の結果原案通り可決閉會

鐵道敷設法委員會

【一日】川上胤三(海運)、川副隆(造船)、小林鐵太郎(大陸鐵道)諸氏と連通、大東亞兩省當局との間に問答を重ねた後秘密會に入る【二日】附託三案を一括議題として討論、小林鐵太郎氏より賛成意見の開陳があつて採決、原案通り可決閉會

石炭配給委員會

【一日】耐火煉瓦工業の整備、石炭の増産及び輸送対策に關し森谷新一外二三氏と政府委員との間に質疑應答を重ねた後散會【二日】石炭増産、勤勞管理等につき齋藤憲三外數氏の質問があり、岸國務相以下政府委員之に答へて質疑を終了、一旦休憩、委員の懇談會を開いた後再開、直ちに採決、付託二案とも原案通り可決閉會

豫備金委員會

【一日】佐久間道夫外數氏と大藏當局との間に質疑應答を重ねた後散會【二日】討論に入り川崎

巳之太郎氏より豫備金審議會設置に關し希望意見の開陳があつて採決、附託五案とも原案を可決閉會

農林中央金庫委員會

【一日】食糧問題其他に亘つて向ふ四日間多數委員と農商、軍需、内務各省當局との間に熱心活潑な質疑應答が行はれた、其の主なもの別項に採録【四日】採決、原案通り可決閉會

海軍刑法委員會

【二日】高橋壽太郎氏の質問に對し澤本海軍次官の答辭があつて散會【三日】一旦秘密會を開いた後討論を省略して採決、附託二案とも原案通り可決閉會

戰時保險委員會

【一日】主として勤勞問題をめぐつて本日より三日間に亘り連續質疑應答を續け【四日】逐條審議に入り、一旦休憩、懇談會を催した後再開、全會一致原案を可決して閉會

訴訟費委員會

【二日】訴訟費用等臨時措置法案外三案を一括上程、討論採決の結果、全會一致可決閉會

者に對し傷痍章附與に關する建議案、○帝國在郷軍人會に對する國庫補助金増額に關する建議案の六件を議了散會

請願委員會

【二日】劈頭委員長青木留三郎氏より請願の活用と民意上通につき後藤國務相に質す所あり、次いで請願案件の審議に入る【五日】内閣所管六件、海軍省所管三件、農商省所管三件、陸軍省所管二件、農商省所管七件、軍需省所管二件、文部省所管七件、厚生省所管二件、運通省所管二十二件を採擧、農商省所管一件を参考送付として散會

決算委員會

【一日】主として内務關係の質疑を以て終始【二日】軍需、運通、厚生各省關係の質疑を續行【三日】外務、運通兩省關係の質疑【四日】運通省關係其他の質疑、【五日】農商省關係の質疑を行ひ、其の間政府委員より別項の如き注目すべき答辭があり、かくて一般質疑を終り、最後に委員長より分科會の主旨を指名散會

戰 策 概 貌

八政 四府 會議 會明

外交方策

對支新政策滿次民衆に滲透(大東亞) 衆に説明する衆議院 決算委員會赤松寛七氏質問(昨年一月發足した日本の對支新政策の精神は知識階級等にはは知識階級等にはは今年は昨年と比較して相當多量輸入し得る計畫が樹てられてゐる、南方諸地域からの輸入についてはある程度は計畫をもつてゐるが、輸送の

で約束するばかりでなく、これを實行に移して行くといふ誠意が判るやうな情勢が一般的に擴まつて來てゐる、殊に昨年十月末日華同盟條約締結によつて日本の對華關係の根本的なことがはつきりとなり、引續き大東亞共同宣言によつて日本の眞意を大東亞の各國に對してのみでなく世界に開明した、このやうな關係があつて民間に對する影響は非常に急速に進行しつつある状況である、次に食糧問題から考へて一般民衆に及ぼしたる影響を考へてみると、民生の安定をはかり治安の維持をはかるため又は戦力増強のために資源の開發、對日寄與といふ點からみても重要である、殊に過去においては百五六十萬石の食糧を海外から輸入してゐたのが殆んど杜絶し更に生産も減退してをり、今日においては食糧問題をなんとかして圓滑にやつ行かなければ民心の把握は不可能であり現在食糧については出来るだけ自給自足といふ目標で種々増産計畫を實行に移してゐる、結局この問題については増産計畫、消費規正の徹底、寛荷の強化が根本であり、出來れば滿洲又は南方諸地域から食糧の輸入をはかることを目標に努力してゐる、日本側も那須博士等の専門家を派遣して協力してゐるやうな實例もあつて、目下治安の維持といふことと關聯して積極的に努力してゐる、滿洲方面からの食糧の輸入については今年は昨年と比較して相當多量輸入し得る計畫が樹てられてゐる、南方諸地域からの輸入についてはある程度は計畫をもつてゐるが、輸送の

關係で計畫通りには送れない、次に物價問題であるが之は矢張り戦争後物資の缺乏が著しくなり、また外面からの輸入が杜絶し著しく、生必需品も、これは事實で食糧、生必需品にしても十六年末に比較して昨年末の場合には北支においては二倍乃至三倍或は五倍程度の騰貴、中支は五倍から六倍ものによれば十倍位に騰貴してゐるところがあるので、これが民府においても全力を擧げて公正なる物價の維持に努力してゐる、生産増強については何といつても輕工業その他を出來るだけ支那側の創意によつてこれが發達計畫を進めてゐるが都會と地方との物資の交流を圓滑化するものが物價問題を解決するキーポイントである、次に日本の對華新政策が支那の日本在留民に及ぼした影響について申上げる、日本在留民は目下約六十五萬前後である、從來治外法權或は租界或は兵力かくの如きものを背景に根本計畫が進められてこれらのもので後援によつて發展する情況であつたが、治外法權の撤廢或は租界の還付が、外うなものは最初においては相當端的に申せば影響もあつた、さういふ點からして對支新政策そのものに對して色々な態度に出るものも皆無ではなかつた、しかしその後における日本の政策がこれら一般民に對しても徹底するに及んで今日においては涙ぐましい程の理解をもつて真に日華提携大東亞の興隆のために裸になつてさうして相手と提携して行く、從來の英米の如く相手國を桎梏の下に呻吟せしめてその上自國の利益をと

つて行くことではなく眞に同じ立場において相手を尊重し、自らも尊敬を受けるといふことによつて提携を強化し、更に進んで戦争に協力させるといふことが必要であり、且つそれが日華本然の姿であることを漸次認識し政府としても喜んでゐるやうな状態である  
在支抑留敵國人の處遇(大東亞次官答辯) 衆議院決算委員會田中藤作氏質問) 敵國人の待遇を決定するに當つては海外敵國にある同胞の待遇をよく考慮に入れ、而して日本は正義の國であるといふ觀念から種々方策を講じてゐる、敵國人にしてこちらにゐる者よりもわが同胞の敵國側にある者の方が非常に多く今尙五十幾萬の者が敵側の手にあるが、これに對して敵側が荷しきも日本側の待遇に比して苛酷なる扱ひをするといふことになれば、過去これら在外同胞に相濟まぬので、わが方としては極めて慎重なる態度をとつて臨んでゐる、御存知の如く支那にある敵國人に對しては最初集團生活をさせてゐなかつた、これを昨年一月になつて漸く集團生活をさせてゐる次第で、その取扱については只今申す如きことを基準としてゐる、私はいま敵國における待遇の具體的な取扱については調査をもつてをらないが、或る部面においては敵國側における取扱に比して優遇に過ぎはしないかといふ點もあるかと思ふ、しかし今日取扱つてゐるのは現下の時局をよくよく考へて、在外の同胞に影響を及ぼすことのないやうに同國正義日本が正義の國であるといふことを恥しめないやうに慎重考慮の上やつ

てゐる  
優秀教員を現地に派遣(大東亞相答辯) 貴族院豫算第二分科會大藏公望男質問) 興亞教育は緊要な要請である、大東亞省も充分責任を感ずる、出來るだけ現地に優秀な教員を派遣して二、三年で内地と交流させることは極めて望ましい  
家族の住所、氏名その他團體の役員が特に調査を遂げることなくして答申することを得べき範圍に限るも斷言する  
納稅資金亡失の場合(主稅局長答辯) 2 貴院増設委員會大河内輝耕子質問) 納稅施設組合員が組合に税金を納付しただけでは納稅事務を完了した事にはならない、國庫に納付したときに義務を果したことになる、納稅資金が戦時災害等によつて亡失した場合の減免については關係勅令の改正を考慮中である、取經會員の不正行為による亡失は團體が危険を負担することになるが、かかる場合團體員は組合に對して求償権がある差し迫つて納稅資金を亡失した場合には危険負擔が多少明確でない點がある、納稅義務者に無理を及ぼさないやう信用保險制度を活用し、市町村に對する國稅徵收納付金をその保險金に當てることにしたい、それ以上については成るべく早い期間に國家がこれを負擔することとするか、または市町村交付金増額の際に考慮することとしたい、これに關する保險制度も考慮中である、納稅組合に加入しても現金で渡さないで自ら郵便局に納稅してその領收書を組合に提示する方法についても研究中である

### 財務施策

所得稅法の改正と町内會長(主計局長答辯) 貴院増設委員會大河内輝耕子質問) 今回の所得稅法の改正により稅務署長またはその代理官は調査に必要あるときは納稅義務者の組織する團體又は町内會、部落會等に對し、その所屬員の所得につき質問をなすことが出來ることになつた、これは同業者の組織せる團を主眼としてゐる、大都會特に六大都市では町内會の發達がまだ充分でないため、所得自體に關する質問をなすことは弊害を及ぼす虞があるので町内會長に對しては納稅義務者の居住の有無扶養家族數轉廢業の有無等の事實についての質問はするかも知れぬが、從來から隣保組織が發達してゐる實際に對しては質問はしない、實に所得についての質問はなさない、實際に農村に活用し度い、なほ納稅施設法の實施に伴ひ町内會、部落會毎の納稅組合が出來てゐるが町内に大所得者があるため金銭上の取扱ひに間違ひを生ずる虞のある場合にはその者の加入は強制しない方針である(賀屋藏相答辯) 4 貴院増設委員會松本蒸治氏質問) 所得稅法第八十二條第二項の規定により同項所定の團體に對し質問する事項は團體員及びその

豫備金審査會設置せず(藏相書面回答) 衆議院豫備金委員會) 國庫豫備金の豫算額は相當多額とは成つてゐるがその支出に關しては戦時下緊急なる機動性を尊重し、實狀に即して臨機應變而も敏速に處理して參る必要がある、而して豫備金支出に當つてはその都度閣議において充分審議することとしてをのみでなく、重大なる事項については事前に各種委

員會等の審議會を經又は豫め專案に關して閣議においてその方針を充分慎重審議することにしてあるの、  
 「豫備金支出に關する審議會を設置すべし」とする件についてはこの際意見として拜承して置くことにした

經濟施策

特殊新製鐵法を輕視せず

【岸國務相言明】衆院石炭配給統制法委員會齋藤憲三氏質問】現在の熔鐵爐を出

來るだけ能率的に利用し併せて國內資源による新製鐵法その他凡ゆる方法を講ずべきは當然である、特に新製鐵法によるものが特殊鋼の原料として非常に優秀であることも承知してゐるし、特別な使命をもつてゐるものと思つてゐるが、熔鐵の急造開發についてこれが時間的に、技術的に非常に多量のものが出來るが如き感じを持たれてゐることは私は現状においては賛成しない、木炭でも出來、雜石炭でも出來るが、木炭、雜炭の量をも考へると支障もあらうし、また多くの資材を要するの勞力の配置などを考へると、熔鐵爐で作つてゐるやうな量を一時に多數に出すといふ事はさう簡單にゆかない

鐵鋼生産の確保に邁進【岸國務相答辯】衆院決算委員會泉國三郎氏質問】戰時生産の基礎をなす鐵鋼の重要性に鑑み從來とも鐵鋼増産に凡ゆる努力を集中してゐるが、本年度明年度を通じて國內資源開發非常増産方策にはとくに重點をおき、鐵鋼生産において戦局の要請に應じられぬことのないよう全力を傾注する、し

かも各種生産條件の變化に伴ひ鐵鋼計畫生産の確保は相當困難だが、他の産業方面に多少の困難、犠牲を來しても物的總力をこの一點に結集して生産確保に萬全を期する、一方國內資源開發については從來より爐依存のほか砂鐵については從來と異なる方法により特殊鋼に適する如き生産技術を研究、成果をあげつつあり、貧鋼處理もまた滿洲の昭和製鋼所、朝鮮清津等で成功してゐる、原料炭についても北海道、樺太、九州炭に置換へしかも製鐵量を低下せしめよう研究、實施してゐるが、十九年度は内地資源依存を更に強化し強力なる施策を進める方針である

【軍需省當局說】軍需省當局說 鑄物工業の整備方針【軍需省當局說】鑄物工業の確立については第二種工業企業整備において親工場を中心に中小業者を組織的に整備、集團とし機械業者と同列に置き有機的關係を持たせる、建設中の設備を放棄せず現存のものは、これが生産増強を齎らし且つ現在の設備と交換する限りにおいて建設を認める、少年工の補充については鑄物技術保持の見地から厚生省と打合せ確保する、尙ほ機械試験所に鑄物の指導員を置くが、この指導員に北方の経験者、技術者を囑託として加へることを考慮する

配炭機構の整備方針【燃料局長說明】衆院石炭配給統制法委員會川俣清一氏質問】日炭の賣戻し制限に伴ひ配炭は大口の物は日炭自身が行ふ、小口は地方配炭會社が行ふ、從來府縣石炭會社取扱の物は日炭より二圓位高直であつたが、日炭の改組を機とし日炭、地方配炭共直段を均一にするよう調査準備してゐる、採炭、選炭は炭礦業者の責任、一定以上の貯炭、積込、送炭は日炭が引受

る一定数の專業農家を維持するといふ根本方針には何等變りはない、然し今日の如く工業の農村進出が急激な場合は實際問題として兼業農家の増加することは已むを得ないことであり、政府としては差し當つて耕地の潰廢及び農民の農業離脱を出来るだけ最小限に止めるとともに、兼業農家の増加があつても農業生産を低下させぬよう考慮して行くつもりで當局は本問題について目下種々調査研究中である

自作農補助と適正規模【農政局長答辯】衆院農林中金委員會河野一郎氏質問】自作農創設に當つて最大の問題は土地價格であるが、これが解決のため、政府は田地に對し百五十圓(畑地九十圓)の補給金を與へることとした、しかし右金額は豫算上の單價であり、實行に際しては地方夫々の事情、農地の狀態等により相違があるわけである、右補給金算定については適當なる小作料を米價に還つては適當なる小作料を米價に還す、これを普通利廻りで逆算した所謂小作料還元價格と平均的な統制價格との差額をもつて、補給金を算定した、而して小作料還元價格の基礎とした「適當なる小作料」とは理論的に構成された所謂「適正小作料」ではない、これを一言で言へば「現状より遠觀して適當と考へられる小作料」である、具體的な個々の計算方法については農地審議會に諮つて決定して行きたい、創設自作農地の標準規模は、昨年自作農創設、維持方法を改正擴充した際に設けた「最高標準面積」が大體の目安となつてゐる、これは現在地方別に決定しつ

農村(モーター)轉用【軍需當局言明】衆院農林中金委員會高岡大輔氏質問】農村の電力化については灌漑耕作の全面に亘つて極力積極的な指導を行つてをり、之がため企業整備により供出された小型モーター等は廣く農村方面に轉用せしめるよう指導してゐる

燃料

整理炭礦の復活善處【岸國務相答辯】衆院石炭統制法委員會木下義介氏質問】炭礦の整理に當つては實情を調査して實行に移した、從つて整理案は最後まで持つて行くが、もし整理炭礦の中に比較的比率よく、増産の出來るものがあれば復活せし

整理炭礦の復活善處【岸國務相答辯】衆院石炭統制法委員會木下義介氏質問】炭礦の整理に當つては實情を調査して實行に移した、從つて整理案は最後まで持つて行くが、もし整理炭礦の中に比較的比率よく、増産の出來るものがあれば復活せし

農

農工調整慎重に研究【農商次官說明】衆議院農林中金庫委員會深木吉毅氏質問】皇國農村確立の觀點か

其

中小工場を強化活用【岸國務相言明】衆院決算委員會野口喜一氏質問】現在中小工場の經營實情において勞務、資材、親子關係等缺陷が多いが第二種工業部門整備の根柢は現在の亂雜且つ浮動性多い協力關係を專屬化するにある、即ち親工場と協力工場間に勞務、技術、經營上等的物的、心的兩面を通じて眞の親子關係を設定、強化することが中小工業活用の第一要件であり、また逆に資材、設備の融通技術指導も專屬親子關係の設定によつて始めて萬全を期し得ると信ずる、協力關係に關する現地調査は軍需整理部が中心になつて行ひ軍需監理が指導して血の通つた眞の親子關係を強化徹底せしむべく努力したい、また協力工場においても軍需會社指定を行ふこともあり得るわ

けで、他方必要に應じては軍需會社  
の規定に基づき協力關係を法的關係  
にまで高めることも考へてを、右  
の如き軍需會社法の適正なる運営に  
より協力關係、中小工業の狀況は相  
當面目を一新するものと見てをり、  
従つて目下のところ中小工業のみを  
對象とする特別の法制をたてる必要  
はないと思ふ、勞務の點は協力工場  
が軍需會社に指定されれば問題はな  
いが、然らざる場合には國民動員組  
織による國民動員、勞務配置の適正  
化を圖り、協力工場の勞務の根本的  
改善に努力する、現在でも軍需生産  
上緊要なる協力工場勞務者を徵用免  
除する措置をとつてゐるが、これを  
さらに勵行し、士氣昂揚と生産能率  
の發揮を期する方針である

大東亞の皮革工業事情【化學局長説  
明】從來は原皮も鞣劑も輸入して  
た、現在は大東亞共榮圏内の原皮と  
鞣劑に俟たねばならぬ、最近では民  
需に強力に消費を規正され大部分は軍  
需に向けられてゐる、内地、朝鮮、  
滿洲、支那の量は極く微々たるもの  
で比較的量の多いといはれる佛印、  
泰に今後は期待せねばならぬ、然し  
概括的には大東亞の皮革は量も少  
ければ質も悪い、政府は技術向上に努  
力する、また大東亞共榮圏内の皮革  
統制會を活用したい

國內地下資源開發強行【軍需省總動  
員局長答辯】大東亞資源の集中動員  
により戦力増強を圖るべき大理想に  
は何等變更はないが、これを如何な  
る手順、方法によつて資源化するか  
は、現實の狀況に即應する問題であ  
る、戦局の深刻化に伴ひ輸送力が逼

給配出供

農産物綜合供出制度を研究  
【農商次官説明】衆議農林  
中央金庫委員會赤城宗徳、  
山田太郎兩氏質問】食糧農  
産物の綜合供出制度についてはまだ  
農商省としてはその用意を持つてゐ  
ない、ただ部内ではこれについて  
研究中で、或は次の段階において綜  
合供出制度を考慮し段階にばならぬ  
ではないかと考へてゐる、現在滿  
洲國では大豆、糧穀三品の綜合供出  
制度をとつてゐるが、同國において  
はこれら農産物の收穫期が同一時期  
であるから、この制度は容易である  
しかし、わが國の如く各種農作物の  
收穫期がそれぞれ異つてゐる條件の  
下においては極めて困難であり、か  
かる特殊事情を考慮に入れ、何等か  
適當の方策が見出されればこの方法  
もまた採りあげらるべきであらう

現行供出制度を大體踏襲【農商相言  
明】衆議農林中央金庫委員會高岡  
大輔氏質問】食糧の供出については  
農民に對して無條件に供出を要す  
る責任供出量制當と、節食により自  
家保有米を割いて極力供出を要請す  
る任意供出制當の二本建を採る、現  
行割當制度は現實の農村事情に適合  
してゐると考へる、従つて今これを  
變更する考へは無い、本年も出来る  
だけの範圍において供出功勞者表彰  
の道を講じたい、部落を生産乃至供  
出の責任體とし、これを中心として  
増産と供出を推進せしめ度、これ  
に對しては國家として或る程度の御  
禮をする、作付前に供出量の割當を  
行ふことはその實效ありや否やに關  
し未だ確信を持つてゐない

食糧對策  
局長官言明2衆議農林中央金庫法委

空袋等の副収入がある、精米したこ  
の數量がどれだけになるかといふと  
歩留りが九十八パーセントで四百十  
七キロになる、従つて四十七圓二十  
錢に五圓二十五錢を加へた五十二圓  
四十五錢が精米百四十七キロ分の價  
格となる、食糧營團として販賣し得る價  
格とすると四百四十七キロ分は計  
算すると四百四十七キロが五十二圓四  
十五錢であるから四百四十七キロ當り價  
格は四十九圓九十八錢になる、營團  
としては政府から買取つて精白し消  
費者に渡すまでの計算關係は極めて  
明瞭である、寧ろ問題は利潤を加へ  
て玄米一石當り五圓二十五錢かかる  
といふことが多いか、少いかといふ  
問題になるがその點について最近に  
おける營團の仕事の關係をみるに、  
その實情は引取り經費、配給經費が  
相當昂騰してゐる状態である

買上米の格差に就て【食糧管理局長  
官言明】衆議農林中央金庫委員會  
吉植庄亮氏質問】政府は現在生産者  
から採る買上上げる場合一等より五等  
までの等級及び各都道府縣別の銘柄  
を附し格差を設けて買上げ、これを  
營團を通じて賣渡す場合にはブル  
計算價格制を採つてゐる、之に對し  
今日では買上米に格差を附する必要  
はない、よつて生産検査は格差なし  
の一本建としては如何とのことであ  
るが、漸次その傾向になつて來てお  
る、昨年の價格改訂に當つて等級、  
銘柄をも思ひ切つて減らし、關東、  
北陸の如きは殆んど一律の價格にな  
つてゐる、然し生産者に對しては出  
來るだけ良質の米を作つて戴き度  
といふ見地から現在なほ格差を設け  
てゐるのである

食糧營團の配給利潤【農商次官説明  
】衆議農林中央委員會平野力三氏質  
問】玄米の政府賣渡價值は玄米百三  
十キロ一石として四十七圓二十錢で  
ある、その内課は標準賣渡價格が四  
十六圓、それに加へるに運賃諸掛一  
圓二十錢となつてゐる、この値段で  
食糧營團は政府から米を玄米として  
買取り、これを例へば着驛より引取  
り携精をし、またその他各種の事務を  
行ふが、それにより大體拂下げ原價の  
五分相當の利潤を見込んでゐる、そ  
れらを全部一括すると丁度玄米百五  
十キロ當り五圓二十五錢になる、大  
體五圓二十五錢の中には廿五錢の利  
潤が含まれてゐることになる、さう  
すると五圓二十五錢に附加して、繩、

食糧對策

制統付作

不急農作物に禁止又は許可制【農商次官答辯】衆議院農林中央金庫委員會北勝太郎氏質問

不急農作物に禁止又は許可制【農商次官答辯】衆議院農林中央金庫委員會北勝太郎氏質問

食産水

水産物増産に積極施策【水産局長官明4衆議院農林中央金庫委員會岡田啓治氏質問】

水産物増産に積極施策【水産局長官明4衆議院農林中央金庫委員會岡田啓治氏質問】

食産水

食糧増産隊増員【農商次官答辯】衆議院農林中央金庫委員會北勝太郎氏質問

食糧増産隊増員【農商次官答辯】衆議院農林中央金庫委員會北勝太郎氏質問

食産水

食糧増産隊増員【農商次官答辯】衆議院農林中央金庫委員會北勝太郎氏質問

食糧増産隊増員【農商次官答辯】衆議院農林中央金庫委員會北勝太郎氏質問

食産水

食糧増産隊増員【農商次官答辯】衆議院農林中央金庫委員會北勝太郎氏質問

食糧増産隊増員【農商次官答辯】衆議院農林中央金庫委員會北勝太郎氏質問

本年度農園整理方針【織維局長答辯】衆議院農林中央金庫委員會加藤知正氏質問

本年度農園整理方針【織維局長答辯】衆議院農林中央金庫委員會加藤知正氏質問

本年度農園整理方針【織維局長答辯】衆議院農林中央金庫委員會加藤知正氏質問

本年度農園整理方針【織維局長答辯】衆議院農林中央金庫委員會加藤知正氏質問

本年度農園整理方針【織維局長答辯】衆議院農林中央金庫委員會加藤知正氏質問

本年度農園整理方針【織維局長答辯】衆議院農林中央金庫委員會加藤知正氏質問

本年度農園整理方針【織維局長答辯】衆議院農林中央金庫委員會加藤知正氏質問

本年度農園整理方針【織維局長答辯】衆議院農林中央金庫委員會加藤知正氏質問

本年度農園整理方針【織維局長答辯】衆議院農林中央金庫委員會加藤知正氏質問

本年度農園整理方針【織維局長答辯】衆議院農林中央金庫委員會加藤知正氏質問

本年度農園整理方針【織維局長答辯】衆議院農林中央金庫委員會加藤知正氏質問

本年度農園整理方針【織維局長答辯】衆議院農林中央金庫委員會加藤知正氏質問

本年度農園整理方針【織維局長答辯】衆議院農林中央金庫委員會加藤知正氏質問

本年度農園整理方針【織維局長答辯】衆議院農林中央金庫委員會加藤知正氏質問

本年度農園整理方針【織維局長答辯】衆議院農林中央金庫委員會加藤知正氏質問

### 運輸對策

が無い、そこで緑肥、堆肥の増産改善によつて肥料の補給策としこれによつて生ずる餘裕を飼料の方へ廻すやうにした。

經驗技術を遺憾なく發揮せしめて、國家目的を達成することが原則である、この原則の上に立つて國家の要請に應じて改善して行き度い。

#### 海運國有國營は考慮せず

【運通相談 明一衆院鐵道敷設法委員會川上胤三氏質問】大東亞戰爭開始以來海上輸送力の高度の機能發揮のためには政府も民間も色々考へられた結果、一昨年春海運管理令に依り全保有船舶を國家使用に屬せしめることとし、而して船舶運管會及び運航實務者といふ機構によつて一應國家的目的が達成されたと思ふ、尙ほその後内外の情勢に即應したる戰局の現状に鑑み、更に一段とこれを強化する必要がある。

これは自發的の出来てゐる、然し機帆船による中繼輸送の實績はなほ充分でなく、これを補強するため汽船によつて輸送して、昨年十一月までの中繼輸送実績は計畫より若干多い状況である、運通省としては最近の海上輸送情勢に鑑み今後可及的に機帆船を利用して、その運航能率の昂揚を圖る方針で、これがため南鮮諸港の荷役の増強及び關門地方における機帆船留施設の増強についても目下關係當局と協

に於ける我國の一般産業統制は大體に於て民有民營でこれに所謂産業統制を施してゐるが、船舶に關する限り、國家から幾多の財政的恩恵が與へられてゐるばかりでなく、運輸の強度の體制が整つてゐる、この既定方針によつて完璧を期してゆくことが第一に考へなければならぬ點である、即ち機構についてはこれで行かぬばならぬ、あとはその運管の問題に屬する、そして運管については昨年の緊急體制によつて今日まで來てをり、今後戰爭自體の状況によつて更にこれを強化し集約するといふことも當然起つて來ると思ふが、これを國有國營にするといふ様な考へはない、出來るだけ國家の能力を上げるために民間の知識を動員し専門的

なことを考へてゐる、現在主務局において立法技術を八割一分の走行距離比例とする非

考慮中で遠からず實現する方針である、

常措置をとつて轉化貨物輸送に萬全を期することとしてゐる、その他鮮路の全面的増強をはかつてゐる、以て、青森附近の輸送力増強のため採車場を作り、青函連絡路の第二航路を開いて小湊において連絡せしめる、○東京附近においては水戸、大宮の操車場設置に着手してゐるが地下資源開發關係では釜石線、尾本線に着手し、廿年度完了予定で、利用し得る處は本年度から利用する、○省營バス、トラツクについても相當の路線を選び陸奥半島南側、岩手縣久慈、沼久内を中心に路線を開く、その他土工工事のみ完成してゐるところも多數ある、○東武鐵道(東京一日光間)は從來の如く觀光線路に止まり得ない状態にある、館林を中心とする工場増加状況から見て産業界方面の輸送に専念せざるを得ない状態となつてをり、當局としてもこの方面の指導を強化しつとある、な

朝鮮陸運輸送好成績 【政務總監説明 衆院鐵道敷設法委員會小林鐵太郎氏質問】朝鮮に於る大陸中繼物資の陸運轉移は昭和十七年十二月から行

は延長することは困難であらうが東北本の何れかに連結し、本線の輸送負擔を軽減するとともに萬一の場合國鐵の迂迴線とする方法については單に東武に限らず、私鐵全般について考究を進めてゐる。

【運通省當局 東北方面の輸送力増強 運通省當局 答辯】衆院決算委員會牧原源一郎氏質問】東北地方は天然資源のみならず諸種の工業立地條件にも恵まれてゐるため開發を積極化する方針である、これに伴ふ釜石鐵礦の増産、青函貨車航路の増強に重點をおき運通省と連繫の下方輸送力増強施設を進め

る、○東北地方は從來輸送施設面において他地方に比し遅れてゐたが、現在においては資源開發の緊急性に對して、東北關係に寧ろ鐵道施設工事が固まりすぎてをり、所要資材確保の點のみでなく、工事力の集中に苦勞してゐる状態である、○若切(仙臺の北)から一ノ關までの區間的複

勤勞獎勵、服務規律に明確(厚生次官説明) 衆院戰時保險委員會山崎常吉氏質問】勤勞精神を明確化するための根本法の制定については事務當局としてはこれを荏苒放置することなく準備を進めて來た、しかし勤勞に關する現行の勅令及び法規は三

十八年度から着手し、廿年度十八、省令を加へて約八十あり、苛烈

勤勞施策

勤勞施策

勤勞施策

勤勞施策

勤勞施策

勤勞施策

勤勞施策

勤勞施策

勤勞施策

勤勞施策



な決戦下これ等の諸法規法令を一本に統一することはなかなか困難なことであり、それよりも國民勤勞協会の完璧を圖るといふことが事務當局の最も重要な仕事となつてゐる、さうした事情で根本法を急速に制定するに至らなかつたのである、しかしこれがため勤勞行政が支離滅裂だと考へてはゐない、勤勞觀を明文化したものとしては昨年應徵士服務規程を制定した、これは各方面の知識を集めた戦陣訓にも比すべきものであり、凡ゆる機會に徹底せしめたい社長徵用も昨年實施され、工業事業場とも上下一體となつて増産に敢闘することとなつたが、この應徵士服務規程を遵守してゆくならば、少くとも現在においては全勤勞者が一九二〇となつて生産戦に突進することが出来る」と考へてゐる

女子挺身隊令制定(厚生次官吉野) 乘院戦時保險委員會坂本勝氏質問 緊急國民勤勞員方策要綱に挺身隊令の運用に關し「要すれば法的措置を講ずる」と明記してあるが、女子勤勞報國隊は勤勞報國協力令によつて現在動員されてをり、今後ともはるところはない、女子勤勞挺身隊の運用については今まで何等の法的措置がなく主として勸奨によつて結成して動員して來たが、近く女子挺身隊令を制定してその出動、組織、處置等を明確に運営したい、しかし女子挺身隊令といつても決して男子に對する徵用の如きものではなく、結成は行つてもこれが配置は受入れ態勢、つまり勤勞管理の整備を俟つて隨時動員するもので、結成と配置の運用にたいして法的措置を講ずるといふ意味である、昭和十九年度

は相當多數の女子勤勞挺身隊が結成されると思ふから、隊員の兩親及び指導者は政府が受入態勢の整備を目下鋭意進めつつあるといふことを充分諒承して生産戦にはせ參するの決意を固めて欲しい

女子挺身隊にも年金保險(厚生當局) 說明1 乘院戦時保險委員會坂本勝氏質問 改正厚生年金保險の適用對象は健康保險の加入者であるから、事業主との雇關係が基礎となる譯である、女子勤勞報國隊は雇關係を結ばないから適用されず、女子勤勞挺身隊は一般に相當勤務期間が長くなるから適用を受けることとなる

岩坑(一村一名の挺身隊員(厚相答) 辯3 乘院戦時保險法委員會中谷武世氏質問 炭坑勞務者は仕事の性質上移動が激しくその補充に悩んでゐる然し徵用しないのは地下勞務であるといふ理由によるのでなく、山によつて厚生施設、勞務の難易等が千差萬別であり、その條件の統一が行はれぬ内に徵用することはどうかと思ふので差控へてゐる、この對策として賃銀給與の大幅値上を策する一方、軍需省で來年度三百萬圓の豫算を計上して待遇改善に充て、厚生施設擴充、食糧増配等により従業員の定着を圖り又一村から一名位づつ自發的挺身隊員を募集することなどを考へてゐる

協力工場の勤勞管理(總動員局長答) 辯3 乘院戦時保險委員會磯山政道氏質問 軍需省の勤勞管理が軍需省に移管される以上、協力工場の勤勞管理も軍需省が所管する

林業勞務者は航空増産に直接關係を持つものであるのみならず、特殊技術を要するので徵用對象外とすべく特別の考慮を拂つてゐる、今後徵用に當つては町村長の考へを容れるとともに夫々地方の實情に即した勞務動員計畫を樹てることになるから林業勞務者は實質上徵用適用外となるわけであり、又過去に被徵用も速かに徵用解除の地方勞務關係會議でもこの趣旨を徹底せしめて置いた

但し林業勞務者を徵用適用外とする通則を設けることは諸般の事情から難かしいので、その趣旨の徹底により効果を擧げて行く方針である、なほ薪炭勞務者についても薪炭増産の急務に鑑み同様の措置を講ずる考へ

半島人勞務者の定着措置(厚生次官吉野) 說明1 乘院戦時損害保險法委員會赤松寅七氏質問 炭坑勞務者が極めて移動率が高く、特に半島人について著しいことは事實である、半島から來た勞務者は二ヶ年の契約期間を定め入れてゐるが、熟練した頃に契約期間が切れ帰郷するのが實狀であるため、これが定着方法について家族を招致し、家族の生活を立て、面倒を見てやるやうな方策を立て、目下内務、厚生兩省間で協議を進めてをり略々成案を得てゐる

半島及華人勞務者對策(厚相吉野) 乘院決算委員會田中伊三次氏質問 半島及華人勞務者は現下極めて重労働なる勞務給與である、從來半島勞務者は主として礦工業部門に入つてゐるが、今後朝鮮、内地等を一體化するに當り、勤勞能率の最高度發揮を圖るため從來の經驗に鑑みて色々研究の結果、昨年既に成案を得たので、これに従つて移入後の訓練を行ひ各工場、事業場へ配置されてからは眞にその生産力を發揮するやうな措置を講じた、その結果訓練の徹底してゐるところでは今日實に立派な成績を擧げてゐる、例へば北海道の某炭坑における半島勞務者は九割二・三分以上の稼働率を示し定着成績も良好である、従來は内地へ來るにつれて自分の手廻きも持つて行かぬが、作業をするに着物も破損するが、衣料切符も持たない、また家族招致も思ふやうに行つてゐないといふことで色々不備が多かつたが、今日は既に徵兵制も布かれ全く皇民たる實が擧がるやうになり、家族招致なども簡易に出來得るやうな方策を施したので、從來は半島勞務者と内地勞務者の割合は七分三分でなければならぬと云はれてゐたが、今日では四分六が普通のこととされてゐるばかりで無く、金山擧げて半島勞務者のみでやうといふやうな計畫を立ててゐることもあり、半島勞務者に對する認識も大分變つて來た、然し北海道方面に比し九州方面はそれ程好成績を擧げてゐないが、或る鑛山の如きは半島人勞務者は茲一年半ばかりの間に九十八%の稼働率に向上し、而も殆んど定着してをり、僅か四%しか移動せぬといふ好成绩を擧げてゐるところもある、かくの如く半島勞務者は眞に皇民化され、更に一體の實は愈々擧つてゐるが、内中の適正なる處置と勞務管理の適きだといふことを具體的に明瞭ならしめることが必要である、會社によつては専務などを勞務部長、勤勞部長とし最高の責任をとらせることが

者を入れて見たが、成績が非常に良いので今後相當多量の華人勞務者を輸入すべく過剰來出先方面と折衝を進めてゐる、華人勞務者を輸入するについては特に爲替關係、物價關係を考慮して特別の措置を講ずべく既に關係當局との間に意見が纏つた

勤勞行政機構は當分現狀のまま(厚相說明) 2 乘院戦時保險委員會三木武夫氏質問 舊勸業軍需省が創設された時、國民勤勞管理に關する業務を擧げて軍需省に移管するといふことは勿論問題となり、各省とも胸襟を披いて論議した結果、軍需省が創設された、最も大きな生産責任の確立、發注の一元化といふ目的を達成するため、當分は仕事が一ぱいであらうといふので、指定軍需會社の勤勞管理だけ軍需省に移管し、國民勤勞管理に關する業務は厚生省に殘置したのである、その間業務の分割主義に據つて自己に有利なやうに意見を主張したことは絶対にない今後軍需省に全面的に移管するか、別個に内閣直屬のやうな動員局を設立することが必要なる状態の來るまでは現在そのままよくつりである

單位產報の改組活用(岸國務相答) 2 乘院石炭配給統制法委員會水谷長三郎氏質問 専務もしくは工場長の如き人を勤勞管理の責任者とし、工場各段階毎に勞務管理の適格者を配置し、一貫した勞務管理を行ふことは今日及び將來の形態として行ふに當り、組織を立てるを得、勞務者の一人に至るまで自分を何を爲すべしとすることを具體的に明瞭ならしめることが必要である、會社によつては専務などを勞務部長、勤勞部長とし最高の責任をとらせることが

必要である、單位産報の改組活用については豫てから産報の幹部と充分懇談してゐる、また従前の輕工業方面の勤勞の適格者を活用することが必要である

### 厚生施策

**船員保険法も改正**【厚相言明】1衆院戦時保険委員坂本勝氏質問 船員が戦時下の艱難なる輸送任務に挺身して重責を果してゐることに對しては感謝のほかなく、適當な優遇の講ぜらるべきは當然だと考へてゐる、これがため今議會に上提された勞働者年金保險法改正案中の戦時特例によつて炭礦坑夫の待遇が改善されることとなるに鑑み、船員保險法の改正も考慮したが、技術上の困難および資料調査を纏める必要があるため間に合はなかつた、目下成案の準備を進めつゝあり急速な實現を期したい

**厚生團幹部は近く更改**【厚生當局説】1衆院戦時保険委員坂本勝氏(兵庫)質問 厚生團の首腦機構が大部分厚生省の官吏によつて占められてゐるが、これは大體一ヶ年位を發足の準備期間とする意圖から出たもので、將來更改するつもりである、勤勞者に對する生活資金及び育英資金の貸出については目下事務局が諸般の準備中であり、明答は出来ないが、近き將來民間有識者或は専門家の参加を求めて大いに期待に副ふやうに善處する

**平均月收増額に近く勅令改正**【保險局長説明】2衆院戦時保険委員嶺山政道氏質問 勞働者年金保險法の改正で給付金額決定の基礎となる

勞働者の平均月收額は百五十圓となつてゐるが、これは養老年金、廢疾年金とも獨逸の老廢保險同廢疾に對する給付の基礎を生理的狀態に置いたので、恩給法、生濟組合制度とも給付の基礎を生理的狀態に置き、今同厚生年金保險に吸収した工場法も生理的狀態に基礎があるため、どうして既存法に制約される、平均月收額は勅令に定められてゐる關係上そのまゝ用ひたのであつて、近く引上げるべく準備中である

**炭礦勞働者の年金受取時期考慮**【軍需省當局答辯】2衆院石炭配給統制法委員會水谷長三郎氏質問 炭礦勞働者の年金受取年限時期五十歳をもう十年引下げてはどうかとのことであるが、一般勞働者に比し炭礦勞働者には五年の差がついてゐる、急を要する問題故今回は右の如く決定されたが、軍需省としては年金受取の時期にはもう少し考慮する必要があると思ふ、充分實際に即して研究し厚生省と協議する

**厚生年金の積立と國庫負擔**【厚生省の積立と國庫負擔當局説明】4衆院戦時保険委員河野密氏質問 厚生年金法の實施によつて被保險者は七十萬三萬人となるが、この被保險者の數が増減せず、また収入額が高しれないことを基礎條件として計算すれば、その年金積立額は改正法實施までの積立金を合算して初年度十三億五千七百九十二萬圓、十年目八十二億七千七百萬圓、廿年目二百七十二億九千九百四十三萬圓、四十年目三百卅五億七千八百七十九萬圓、五十年目三百六十三億七千四百七十六萬圓となる、また國庫負擔額は初年度二

百廿二萬圓、十年目二千九百六十九萬圓、廿年目六千三百六十九萬圓、卅年目一億二千二百五十萬圓、四十年目一億八千八百九十三萬圓、五十年目二億二千二百七十七萬圓である、これを給付に對する被保險者の負擔の點から見れば一般勤勞者十分の一の點から十分の二の割合となる、なほ事務費及び戦争が五ヶ年繼續するものとしての所要額約二億の戦時加算額は別途國庫負擔として支出される

**積立利子は擧げて福利施設**【厚生當局答辯】4衆院戦時保険委員嶺山政道氏質問 厚生年金の積立金全額は預金部資金に繰入れて國債或は社債を手持とし、それによる利廻三分七厘五毛と一般利廻三分五厘との利子差額金を厚生施設の建設資金に充當することになつてゐるが、この利子差額は十年後七千五百萬圓二十年後四億六百萬圓、三十年後十一億八千萬圓となる豫定であるから、擧げて福利施設のために活用するつもりである、條文中には明確な規定がないが、關係各省との間にも保證の如きけ努力したい

**通信從業員給料手當増額**【運輸當局言明】4衆院決算委員池田正之輔氏質問 來年度の通信從業員の待遇改善費として今回の通信料金値上げによる増収分他に通信收入全體から廻すものを合計した三千四百五十萬圓を豫定してゐる、これは現在通信關係の人員費が總體で二億四、五千萬圓に上つてゐる點から考へて細目を決定する方針であるが、大體給料において一割見當、手當において六割程度増額したい

### 其他

**地方廳に勤員部創設**【厚相答辯】2衆院戦時保険委員三木武夫氏質問 國民職業指導所は地方長官に監督の權限を委譲されたが、現在の地方廳の職業課だけではあまりに弱體なので、勤員部の如き強力な指導機構を設置すべく目下内務當局と協議中であり、近く實施することとなると思ふ

**地方經濟部擴充強化**【地方局長答辯】1衆院決算委員池田正之輔氏質問 府縣廳經濟部の重要性は戦時下ますます加重となつて來た、内務省としてもこれが擴充強化について考へてゐるが、如何に強化するかといへば、現在の經濟部を仕事の内容によつて第一部、第二部とするか、或は農産部、鑛工部といったものとするか、目下内部に於いてもこれらがあるか意見となつてゐる、しかし一方府縣廳が何故相當の成績を擧げ得るかといへば綜合官廳であるからで、單に經濟部のみでなく府縣廳の機構全部が總てをあげてこれにあたりといふことも考へられ、すでに生産増強本部といった組織を設けて成績をあげてゐるところもある、いづれが能力をあげるところか今後の研究問題としてゐる、よいか今後の經濟部の強化については少くとも六大都市および重要府縣において何等かの形で考へねばならぬ

**地方事務所の強化と人望家任用**【地方局長答辯】1衆院決算委員池田正之輔氏質問 地方事務所は創設以來一年有半に過ぎないが、時局下極めて適切な機能を發揮してをり、これが強化については全く同感である、現在のところ官廳でないからこれを官廳として權限を持たすことも一つの課題と思ふ、また事務所長の待遇問題についても十分考慮して地方の人望家をどうも任用して行きたい警察官の寄附金募集取締【警保局長言明】1衆院決算委員田中藤作氏質問 地方によつては警察授護會が出来てをり、これに對し篤志家が相當寄附されてゐることは承知してゐる、もとより警察官の待遇はかかる授護會によつて不足を補つて行く筋合のものではなく、あくまで國費、地方費の力で待遇の問題を考へて行くつもりである、警察授護會は單に警察官の待遇改善を目的とするものばかりでないと思ふ、しかし警察官が自ら寄附金募集の陣頭に立つことは禮當でないので絶対に取締つて行きたい

**都市計畫も國防國家確立目標**【内務當局説明】1衆院決算委員金光邦三氏質問 日本の大都市は如何なる姿にあるべきか、大東亞の根據地としての姿が如何にあるべきかといふことは検討を要する、ドイツの如く當初から計畫的に軍需工業力の増強をはかるといふことであれば別であるが、わが國の如く自由で發達した大都市を一舉に如何なる状態に改善するかといふことは相當期間の調査を要する大問題であつて、ひとり防空の點からのみ判断すべき事柄ではない、もちろん政府としては急速にかゝる方面に研究を進め、速かに成果を得べきであらうと思ふ、しかしそれを待つてゐるはをられぬ、當面せる防空の見地から昨年來工場統制學校規則を設け、また空地を設定し

て都市の膨脹を抑へて来たが、更に時局の急に應ずべく今回疎開が採り上げられたのである、而して今後の都市計畫は高度國防國家確立の線に沿ふて都市の姿が改組されるべきである

**工場疎開近く具體化**【防空總本部 總務局長吉野明一衆議院決算委員會山忠則氏質問】工場計畫分散疎開については今日まで工場の新設、擴張の規模により専ら工場の新設、擴張の規模といふ消滅的處置に止まつてゐたが、改正防空法では積極的に現存の工場を地方に分散することになつた、しかし戦力増強の見地からすれば現在ある工場、或は便利な所に工場を設けることが、焦眉の急務である、二つの相矛盾する國家要請の調整に苦心を重ねて来たが、今後は軍需省その他關係省においても迅速的確な處理を行ふ熱意を有してゐるので、近く部分的にも解決して行くことと思ふ、たゞ工場はいろいろの立地條件に左右され、一概に疎開といつてもこれがため生産を減退することとは國家目的に合致しないので、これらの事情を睨み合せて處理して行きたい

**言論指導の方向**【情報局長長答辭】衆議院決算委員會田中伊三氏質問】民意昂揚のため、日本の強みを情報指導に織入れることは必要である、今までの言論指導は精神方面に重きを置いてゐたが、これからは日本的物的強みをどしどし言論面に加味して行きたい、例へば食糧勞務の如きはその一例に過ぎないが、孰れも世界に比を見ないわが國の強みである、この物的強みを言論の上に生か

して行く、又昨今わが國の新聞雜誌に現はれた言論の實際は敵の戦力を過大評價する傾向になつてゐる、敵の戦力の過小評價は慎しむべきであるが、日本の戦力の太く強い現實を新聞雜誌の上に表現するよう言論指導に一段の努力を拂ふつもりである

**法文系卒業生も技術員に重用**【厚朴答辭】衆議院臨時保險委員會三木武夫氏質問】技術院總裁は關係各省と緊密に連絡して鋭意技術員の養成を促進する一方各工場、事業場において必要技術者の交換、融通を行はしめてゐるが、今後は理科系統の學校卒業生を技術者として適宜配置するばかりでなく、法文科系統の學校卒業生も工場、事業場の特定の部署における技術者として重用すべく、蓋し技術指導班の成果【技術院總裁答辭】衆議院臨時保險委員會三木武夫氏質問】政府は「科學技術員綜合方策確立に關するの件」に基いて科學技術指導班を編成、切場、事業場に派遣して鑄物、潤滑、接合等の各種目について技術指導を行はせたりが、鑄物については燒玉機關の不合格品を約二十％減少、潤滑については潤滑油の消費量を約三十％節減、切銷についてはバイト製作用の特殊鋼を節約、銲接については能率が向上する等非常な好成績を収めた

**國民創意の吸收活用**【技術院總裁答辭】衆議院臨時保險委員會三木武夫氏質問】廣く一般の創意發明の昂揚を圖つてこれを活用し戦力増強に寄與することは現下の戦局において最も緊要である、この主旨において昨年十一月一日技術院に創意課を新設、幸ひにし

て國民各層より熱意をもつて迎へられ次々と創意の申出に接した、昨年未頃には既に一千六百七十七件の申出あり、この内直ちに活用し得ると考へられるものが四十五件約四七％、参考に資せらるべきもの五百六十三件約三三％に及んでゐる、本年十一月から更に陸續と申出があつて一月末においては總計二千三百十二件に達してゐる、創意の活用、吸收に對しては、或は報賞制度或は昂揚運動の展開等あらゆる方法を講ずる必要があると考へる、十九年度豫算としては二百萬圓を計上してゐる、尙創意昂揚運動に對しては帝國發明協會等の發明、振興團體のみならず創意技術關係の諸學會及び諸協會、産業報國會等をも動員して一般國民の創意や、科學技術者の専門的分野における斬新なる創意或は産業戰士の眞に生産現場に即した創意着想をも併せて昂揚吸收せんと務めてゐる、創意は専門からは難しいと強く感ずるのである、戦力増強といふやうな軍人の専門に屬するやうなものには、寧ろ全く違つた部分から出て来るのではないかといふ感じを強くする、従つて一般の創意を漏れなく吸收するやうな方法を講ずることは最も必要であると考へる、尙明年度の豫算として一千二百萬圓といふ金額を研究費として計上してゐる、これも創意の昂揚に差向けるとのことの出来る金であるが、實際に使用し得る使途がきらかになつたならば政府は更に豫備金をもつてこれを支出することが出来る

一 般

會社經理統制令改正

政府は大東亞戰爭勃發後の於ける國內戰時經濟體の於ける國內戰時經濟體の適正の整備に即應して會社經理の適正國民所得配分の合理化を圖り、生産増強、貯蓄強化に資すると共に併せて許可認可事務の簡素化の徹底を期するため、今回會社經理統制令の劃期的改正を行ふことになり、十日開催の總動員審議會に改正勅令案要綱を附議決定を見た、よつて政府は右決定に基き本月下旬頃開かれる閣議に改正勅令案ならびに勅令改正に伴ふ同令施行規則（閣令改正案）を附議正式決定の上、大體三月一日より施行することになつた

**勅令案要綱**  
一、主務大臣が會社に對し將來の配當率の指定を行ひ得る場合を擴張し國民經濟の運営上必要ありと認むる場合とすること  
二、主務大臣が會社に對し法定準備金の外特別の積立金の積立を命じ又は當該積立金の運用方法を付必要とする命令を爲し得る場合を擴張し國民經濟の運営上必要ありと認むる場合とすること  
三、閣令を以て定むる支給方法に依らずして役員賞與を支給せんとするときは主務大臣の許可を受くべきもとのすること  
四、閣令を以て定むる場合には役員及社員の臨時の給與の支給に付主務大臣の許可を受くるを要せざるものとする  
五、社員昇給を定期昇給及臨時昇給に分ち定期昇給は毎年一回一定の時期に之を行ひ臨時昇給は閣令の定むる所に依り定期昇給以外の時期に之を行ひ得るものとする  
六、二回之を行ひ得るものとする  
七、閣令を以て定むる場合には會社經理統制令第二十条各號に掲ぐる社員手當は同條に掲ぐる準則に依らずして之を支給し得るものとする  
八、機密費等に関する規定を左の趣旨に改むること  
九、廣告宣傳費等機密費等より分離する事  
十、拂込資本金にて得たる金額（會社が主務大臣の承認を受け定めたる金額又は主務大臣が定めたる金額あるときは其の金額）を超えて機密費等及廣告宣傳費等を支出せんとするときは主務大臣の許可を受くべきものとする  
十一、寄附金等に関する規定を改め國防献金及恤兵金以外の寄附金等を閣令の定むる限度を超えて支出せんとするときは主務大臣の許可を受くべきものとする  
十二、機密費等、廣告宣傳費等及寄附金等に関する規定は特別の法令に依り設立せられたる會社及資本金二十萬圓以上百萬圓未滿の會社にも之を



適用するものとする  
十、主務大臣が會社に對し餘裕資金の運用に關し制限を爲し得る場合を擴張し國民經濟の運営上必要ありと認むる場合とする  
十一、主務大臣が制限の解除又は義務の免除を爲し得る場合を擴張し一般的に會社又は事項を定めて爲し得るものとする  
十二、本改正に伴ひ必要な規定の整理を爲すこと  
十三、本改正は前各號に準じ朝鮮、臺灣、樺太及南洋群島に於ても之を實施すること

經理統制令改正内容 今回決定を見た會社經理統制令並に同令施行規則改正の主なる内容は左の如くである  
○配當率を指定しうる範圍の擴張  
配當率を指定しうる場合は現行令第四條によれば會社の利益の實狀により配當金が過大なりと認めらるる場合及び配當率が過大なりとも、その會社の資金需給の状態に照し自己資本を蓄積してゆることが必要なりと認めらるる場合に限り認めらるるが、今回の改正により主務大臣は一般的に國民經濟の運営上必要ありと認むるときは即ち會社の經理内容から言へば配當率を下げる必要がない場合でも社會的に見て引下げる必要あるときにも配當率の指定を行はるる法令的根據をおいた、傳家の寶刀として活用されるものである

○積立金の積立及運用方法を命じうる場合の擴張  
令第六條により主務大臣は相當利益の多い會社に對し社員の福利施設の積立金等、特別の積立金の積立を命じ得、又その運用方法に付ても主務大臣は右の積立金を

以て國定資産の償却公債の保有を命ずることが出来ることになつてゐるが、今回その範圍を擴張して國民經濟の運営上必要あるとき例へば多額の建設資金を要する會社に對し積立及運用方法に付き命令をなしうることとした  
○役員賞與の支給方法に新規制  
重役の賞與については法定賞與額を基準してゐるが今回の改正により令第十三條の役員賞與支給方法に新たな規制を行ひ、法定賞與額の七割迄は現金支給を認めるが、七割を越ゆる部分については現金支給を認めず、國債などによる支給を行はせ貯蓄強國債に資せしめることとした、右は現在社員賞與について現金支給額がその賞與期間中の基本給料總額の四分の三(即ち一年につき基本給料の九ヶ月分)を限度としこれを越ゆる部分を貯蓄の方法に依らしむるものと均衡をとつたものである  
○臨時給與支給規制に特例  
令第十條及び令第二十三條によれば臨時給與を支給する場合は主務大臣の許可を要するのであるが、今回の改正により會社が價格報奨制度により特別報奨を受けた場合に其の報奨金中より役員社員に臨時の給與を支給せんとするときは許可を要せざるものとした

○社員昇給規制に新方式  
社員昇給の限度は令第十九條により昇給該當者の基本給料月額總額の年七分の範圍内となつてゐたが今回の改正により定期昇給は原則として年一回とし各昇給期における社員昇給限度は従來通り當該昇給期の昇給金額の總額に於て規制するも昇給該當者の年七分といふ規制を廢し昇給金額の總額

是當該昇給期に於ける在職員全員に付基本給料百五十圓以下のものを基本給料の合計額に平均昇給率一割、基本給料百五十圓を越ゆるものも基本給料の合計額に平均昇給率七分を乗じて得たる金額の合計額とし其範圍内に於ては主務大臣の許可を要せざるものとした  
○社員の特束手當の簡素化  
令第二條によれば在勤手當、危険手當、居残り手當、宿直手當、家族手當等の特殊手當に付ては準則主義により主務大臣の許可した準則の範圍内を支給してゐるが、今回の改正により①居残り、宿直等の追加勤務手當、家族手當、食事手當に付ては現在運用方針により實際に許可を與へる程度の支給條件を、即ち家族手當一月五圓、食事手當一日五十錢を法定し、此の範圍内で支給するときは許可を要しないものとす  
②都市に於る住宅拂底等の事情に鑑み轉勤者等に對し新に都市住宅手當を認めることとし  
③新に生産増強手當を認め生産効果の著しい向上を見た如き際に支給し得るものとした

○機密費等の規制方式の改正  
機密費、交際費、接待費、廣告宣傳費、その他之と同様の性質を有する支出は令第十九條により毎事業年度の支出總額を主務大臣に報告するその豫定額を超えては許可されないが、今回の改正により①機密費等の規制を強化するため機密費等の内容から廣告宣傳費を分離し②機密費等並に廣告宣傳費に付ては夫々拂込資本金に對する一定比率による法定不要許可限度を定め均衡と抑制を計ることとした

○寄附金等の規制方式を改正  
寄附金その他之と同様の性質を有する支出は令第十九條の二により事業年度の始めに報告し其の金額を超えて支出する場合に許可を要するが現在は規制してゐないと同じ實狀であり豫定額を多額に出しておけばよかつたが今回の改正により①國防献金及び恤兵金は主務大臣の許可を要しない  
②其他の寄附金については、左の如き一定の不要許可限度を定めることとした、閣令の定める不要許可限度は直前の事業年度の利益金の百分の二・五に相當する金額と左記の率を拂込資本金に乘じて算出したる金額との合計額の二分の一である  
同 百分の三・五  
同 百分の三・〇  
同 百分の二・五  
同 百分の二・五

○機密費等、廣告宣傳費等、寄附金等の規制除外令の廢止  
令第二九條の二により資本金百萬元未満の會社及特別の法令に依り設立せられた會社に對しても本規制を適用することとした  
○餘裕資金の運用に關する制限の擴張  
令第三十四條により主務大臣は會社の經理を適正ならしめるため必要ありと認めるときは會社に對し餘裕資金の運用に關し必要な制限をなす得るが今回の改正により經理適正のみならず國民經濟の運営上必要あるときにも制限をなしうることとした

報告義務等を免除し得る場合は令第二十八條の三に依り會社、事項及び期間の三つを定めて個別的に各會社等に行つてゐるが、今回の改正により空襲等の場合を豫想し主務大臣は一般的に會社または事項を定めて包括的に制限解除または義務免除を爲し得ることとした  
○勸令改正に伴ふ閣令の改正  
①社員初任基本給料に關する閣令別表に付改正を行ひ學校卒業後一年以上經過後採用する者の初任基本給料については卒業後の經過年數に依る加算金額を運用方針に依り認めてゐる程度まで引上げる  
②轉勤者の初任基本給料は閣令第十五條により前職の基本給料の百分の百十を限度とするを廢止し左の三つの規制を行ひ何れか多い金額を限度とすることとし  
③初任基本給料別表の金額  
④前職の基本給料  
⑤當該會社の社員中學歴年齢に於て當該前職者と同等の者の基本給料相當額

# 財政金融

## 十七年度國有財産廿一億圓増加

【二日】政府は一日貴衆兩院に昭和十七年度國有財産増減總計算書及び昭和十七年度國有財産増減總計算書検査報告を提出したが、右によれば昭和十七年度國有財産差引純増は廿一億一千八百三十三圓である、内譯左の如し(單位千圓)

報告義務等を免除し得る場合は令第二十八條の三に依り會社、事項及び期間の三つを定めて個別的に各會社等に行つてゐるが、今回の改正により空襲等の場合を豫想し主務大臣は一般的に會社または事項を定めて包括的に制限解除または義務免除を爲し得ることとした  
○勸令改正に伴ふ閣令の改正  
①社員初任基本給料に關する閣令別表に付改正を行ひ學校卒業後一年以上經過後採用する者の初任基本給料については卒業後の經過年數に依る加算金額を運用方針に依り認めてゐる程度まで引上げる  
②轉勤者の初任基本給料は閣令第十五條により前職の基本給料の百分の百十を限度とするを廢止し左の三つの規制を行ひ何れか多い金額を限度とすることとし  
③初任基本給料別表の金額  
④前職の基本給料  
⑤當該會社の社員中學歴年齢に於て當該前職者と同等の者の基本給料相當額

公用財産

一、五二〇、二四三

計 雑種財産

計 立木竹

建物

工作物

器具機械

船舶

船業權

株式及持分

計

なほ昭和十六年度末

百八十六億九千七

増額二十一億一千

なほ昭和十七年度

額は二百八億二千

の種類別

△種類別

公用財産

營林財産

雑種財産

計

一四、八二二、二七二

三、四九二、九七〇

二、四八五、〇四六

二〇、八〇〇、二九〇

地方財政運営に弾力性

【廿八日】 決戦態勢強化に即應する地方財政の急激な膨脹に伴ひ、これが財源の擴充強化については今議會において地租、家屋、營業の三收益の増税、地方分與税配付額の増額および青年學校關係經費の負擔區分改正の三方途を決定新年度から實施されることとなつたが、この結果

一、地方獨立財源たる三收益税は、本税において十九年度分より地租は賃賃價格の百分の一、家屋税は同百

分の〇・七五、營業税は純益の百分の〇・五の税率を引上げ、且つ營業税額より地租額および家屋税額の控除廢止その他若干の改正をなし、附加税の標準率および都市計畫税の制限率は現行のままこれを據置く

二、調整財源たる配付税の増額分與については十九年度における配付税収入見込總額六億六千八百六十七萬三千餘圓の全額を分與するもので、これを法定分與額に比すれば一億五千二百五十二萬二千餘圓、これを前年度分與額に比すれば九千六百四十三萬六千餘圓の増額分與となる

三、青年學校關係經費の負擔區分の改正は十九年度より青年學校教員養成所を國に移管するとともに、市町町立青年學校職員の俸給賞與、死亡賜金、旅費、臨時家族手当、臨時手当および戰時勤動手當を都道府縣の負擔とし、從來から都道府縣の負擔であつた年功加俸ならびに俸給、賞與、死亡賜金および赴任旅費のうち義務教育職員分はその經費の二分の一を國庫より補助し、その他の職員分の經費は全額地方費をもつて負擔することとなる、なほ臨時手当は全額を、臨時家族手当および戰時勤動手當は二分の一を國庫より補助することとす

これは従來通りであるが、一般旅費は全額地方費をもつて負擔する

政は異常の活況を豫想されるので、營に於てはこれら決戦地方財政の運内務省では從來の緊縮一點張りの方針を戦力増強、軍需生産、食糧増産、防空施設の擴充等に重點的に協力せしむる積極的方針に轉換、同時に財源の急激膨脹に際し餘裕を生じた場合には負債の整理積立金の

増加等に振り當て財政運営に弾力性を有せしめる等の指導を講ぜしめることとなり廿八日の内政部長會議に決戦下の地方財政運営方針を指示するとともに同日全國地方廳に對し次の如く通牒を發した

△地方財源の擴充強化に伴ふ財政上の措置  
一、三收益税の増税に伴ひ附功税の標準率超過課税等に付左の措置を講ずること

①三收益税附加税の標準率超過課税は一應之を引下げ標準率に止むること、但し災害其他に因る臨時支出の爲必要あるもの等特殊の事由存し且つ今回擴充されたる諸財源の餘裕を可及的に充當するも尚標準率に止むること困難なる都道府縣又は市町村は此の限にあらざる

②三收益税の増税に伴ひ都市計畫税の賦課率を現在の儘據置くに於ては該税の増収を招來するも之を以て濫りに不要不急の事業を計畫するが如きことな賦課率の引下げを圖ること

③元來市町村税を以て充當すべき筋金の經費に付其の財源を住民に割當つるが如き寄附金の類は之を廢止せしむること

④法定外獨立税にして諸般の事情變化に鑑み不當と認めらるるもの又は高率に失するものは之を廢止又は輕減せしむること

二、前項實施に依る増収又は餘裕財源は前號の措置を講ずる外左の用途に充當すること  
①新に都道府縣費の負擔となりたる青年學校職員に諸給與並に教育職員待遇改善等に要する經費に充當すること、但し其の經費計上の程度は財政の狀況と睨合せ別に通達する範圍に止むること

滞金あるものに付ては其の補填又は償還に充當すること

③防空、食糧確保、生産増強、銃後施設等戦時下重要にして緊急差し措き難き追加經費の財源に充當すること

④起借借入額の減少舊債の繰上償還又は積立金の造成等年度間の財政調整の資に充當すること

三、前項及前各號實施に伴ふ豫算の追加又は更正等は左の通處理すること  
①配付税分與額の通達後速かに追加更正を行ふこと

②増税に依る増収見込が中法人營業税の初年度分の増収見込に付ては既往に於ける本税決定並に分割等の實績を稽查し見積過大とならざる様留意すること

③四月又は五月に賦課する國稅附加税に付ては標準率を基礎として課徴すること  
但し該計理金の存する限り豫算の追加更正を俟つて課徴すること

△地方税の納期改正  
一、徵收事務の簡素化を圖る爲昭和十九年より地租及家屋税の納期を集約し田租は一月、其の他の地租は十月、家屋税は七月に改められたること  
二、三收益税附加税其他の地方税に於ても成るべく納期を集約して徵收事務の簡素化を圖ること、但し同期若は併記徵收額の多寡又は負擔上及び影響等に付充分考究の上善處すること

租

物品、遊興、飲食、入場及特別行為の四稅施行

稅

【十六日】 政府は臨時軍事實費財源に充つるため今議會の協賛を経た畫期的な増税を

物品稅

本表中の有無等は省略す、稅點の有無等は既に免稅點の撤廢されたるものは免稅

第一種

〔甲類〕(稅率價格の百分の百廿)  
(一)貴石若は半貴石又は之を用ひたる製品、但し理化學用のものを除く

④貴石、半貴石、ダイヤモンド、ルビー、サファイヤ、アレキサン德拉イト、クリソベリール、トパーズ、スピネル、エメラルド、アクアマリオン、ベリール、トルマリン、ジルコン、クリソライト、ガーネット、オパール、翡翠、水晶、瑪瑙、猫眼石、虎眼石、孔雀石、土耳其玉、月長石、青金石、クンツァイト、ブラツドストーン及びヘマタイト

⑤貴石又は半貴石を用ひたる製品(二)眞珠又は眞珠を用ひたる製品(三)貴金屬製品又は金若は白金を用ひたる製品但し理化學用のものは除く

⑥金銀製品(四)金銀製品但し金銀を除く

⑦金銀製品又は白金製品(五)金銀製品但し金銀を除く

鏡し又は張りたるものを除く(四)甃ぎんけい、はくかん、ほろほろてう、きりかんてう、あうむ、ようむ、い、甲製品(五)珊瑚製品、琥珀製品、象牙製品及び七寶製品(六)珊瑚製品(七)琥珀製品但し電氣絶縁用のものを除く(八)象牙製品但し骨牌税を課せらるる骨牌を除く(九)七寶製品(一〇)毛皮又は毛皮製品但し第八號に掲ぐるものを除く(一一)羽毛、羽毛製品又は羽毛を用ひたる製品(一二)羽毛(一三)毛製品(一四)羽毛(一五)蒲團及び座蒲團但し大蔵大臣の指定するもの及び鶏のみの羽毛を用ひたるものを除く(一六)クツション、枕及び被服類

〔乙類〕(税率價格の百分の六十)  
 (一)大毛皮、兎毛皮及び同製品(舊第一種甲)  
 (二)書畫及び骨董(十)室内裝飾品、置物臺花器、花器臺、香器、香器臺、風鎖、額縁及び柱掛其の他の壁面裝飾用品(十一)圍碁及び將棋用具、碁盤、碁石、碁筒、將棋盤、將棋駒、駒箱、駒臺及び盤覆(十二)貴金屬を鍍し又は張りたる製品にして別號に掲げざるもの(十三)皮革製品にして別號に掲げざるもの(十四)盆裁、鉢石及び鉢植類盆栽用、盆養、盆石、鉢植及之に類するもの(十五)愛玩用動物及び同用品(一)愛玩動物(二)犬、猫及び猿(三)金魚、熱帯魚、觀賞用鯉及び河鹿(四)みかどすずめ、べにすずめ、ひのまるてう、さくらすずめ、かのこすずめ、こもんでう、こんてう、きんばら、じうしまつ、ぶんてう、きんらんてう、ほうきんせいてう、きんらんてう、ほうこうてう、かへてう、そうしてう、こうくわんでう、かなりや、いかる、ひわ、のじこ、あをじ、ほぼじろ、しまごま、かやくぐり、きんけい、

ぎんけい、はくかん、ほろほろてう、きりかんてう、あうむ、ようむ、い、その他及び孔雀鳩並に狩獵法施行規則第十一條の二に掲ぐる鳥(一)愛玩用動物用品、犬舎、鳥籠、金魚又は熱帯魚の容器及び之に類する愛玩用動物用品、頸輪鎖並に紐類(十六)庭木並に庭園用の石材及び石工品(十七)提灯、釣燈籠及び提灯類、釣燈籠、提灯(油引のもの及び白張提灯を除く)及び行燈類(十八)鐵瓶並に茶道、香道及び華道用具(十九)花、花輪及び花束類生花の切花及び枝物類、造花、花輪、桶玉、並に花束類(二十)釣用具類但し漁業用のものを除く釣用具及び釣用具入(二十一)銘竹木

〔丙類〕(税率價格の百分の四十、舊第一種乙)  
 (一)帽子、杖、鞭及び傘(國民學校兒童用學帽一個三圓)其の他の帽子但し鑛山作業帽子を除く、一個二圓(二)杖及び鞭(三)洋傘(ビーチパラソルを含む)一個五圓(四)其の他の傘、一個二圓(五)履物一足二圓(六)家具(一)幅又は高さ九十五釐以上の箆筒、一個又は一組三十圓(二)以上の箆筒、一個十圓(三)掲ぐるもの以外の箆筒、棚類、箱類、盆類、衣裳籠、脇息、寢臺、鏡及び鏡臺類、椅子及び腰掛類(座椅子を含む)、火鉢、臺類、屏風、衝立、几帳、衣桁、帽子掛、傘立、仕立板、張板、流し、蠟帳、浴槽、浴槽用釜、炬燵機、手拭掛、茶櫃、炭取並に靴洗滌器一個又は一組三圓(二十五)織物、メリヤス、レース、フェルト及び同製品並に組物(織物但し帶地及び敷物地を除く)着尺地、羽尺地、裏地、襦袢地、袴地及び衣具地類一反十二圓(二)座蒲團地五帖分十圓(三)羽裏地和服用

コート裏地、裾廻地及び袖地羽裏地及び和服用コート裏地一枚七圓、其の他一枚又は一組五圓(四)其の他幅四十六釐未満のもの一米一圓二角、幅四十六釐以上百三十釐未満のもの一米二圓五十釐、幅百三十釐以上のもの一米六圓(メリヤス、レース及びフェルトにして布帛状のもの但し敷物地を除く)一平方米二圓(織物のメリヤス、レース及びフェルトの製品に類するもの單衣一個十四圓、其の他一個二十圓)袴一個十四圓(三)帶(帶地を含む)一個十二圓(四)洋服及び國民服男子用のもの一組のもの(三ツツ揃のもの但し國民服に付ては上衣及び袴より成るもの)一組五十圓、上衣一個廿五圓、チョッキ及び國民服の中衣一個八圓、ズボン及び國民服の袴一個十七圓、女子用のもの一組のもの又は上下連続したるもの一組又は一個廿七圓、上衣一個十五圓、スカート(ズボンを含む)一個十二圓(五)外套、和服用コート、トンビ、ケップ及び之に類するもの男子用のもの、國民外套一個五十圓、其の他一個四十圓、女子用のもの一個二十五圓(六)其の他の被服類、文化コート及びジャンパー(ジャンパーバスカートを除く)一個十五圓、袖無、羽織下及び之に類するもの一個八圓、シャツ、ズボン下、スウェーター、運動用の上衣又はパンツ、ホレロ、バジヤ、ローブ、ガウン、下着、肌着、裾除及び之に類するもの一個五圓(七)服飾用品、襟巻一個三圓、帶揚、服帶、伊達巻、伊達締、帶締及び腰紐一個一圓半、襟一個一圓、手柄、ネクタイ、手袋一對一圓、婦人用長靴下一足二圓、其の他の靴下、足袋

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

〔甲類〕(税率價格の百分の二十)  
 (一)寫眞機、寫眞引伸機、映寫機、同部分品及び付屬品並に現像機付用器具(寫眞機但し航空機用のもの及び顯微鏡用のものを除く)寫眞引伸機(二)映寫機(寫眞機部分品及び付屬品(シヤッター付のものを含む)、暗函(蛇腹の有無を別たず)、アタツチメント、シヤッター、フィルムバックホルダー、マガジン、取枠、フラインダー、三脚臺、フィルム、露出計、レリーズ、距離計、自動焦點裝置、雲臺、閃光器、閃光電球、反射器及び寫眞機用又は三脚臺用ケース、寫眞引伸機部分品、暗函、コンデンサー、レンズ及び支持臺(三)映寫機部分品及び付屬品、コンデンサー、レンズ、フィルムリール、ランプハウス、映寫機用ランプ、ヘッドマシン、映寫機用モーター、發聲裝置、フィルム巻取機、カメラ、スクリーン及び映寫機用ケース(四)現像機付用器具、現像タンク、現像バット、修整臺、燒付器、顯出器及び暗室ランプ(五)寫眞用の乾板、フィルム及び感光紙(六)寫眞用乾板、但し航空機用のもの及びエツクス線用のものを除く(七)寫眞用フィルム但し航空機用のもの及びエツクス線用のものを除く(八)寫眞用感光紙但しエルクス線用のものを除く(九)寫眞器及び同部分品(十)蓄音器(ラヂオ聴取裝置を付したるものを含む)蓄音器部分品、

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

〔甲類〕(税率價格の百分の二十)  
 (一)寫眞機、寫眞引伸機、映寫機、同部分品及び付屬品並に現像機付用器具(寫眞機但し航空機用のもの及び顯微鏡用のものを除く)寫眞引伸機(二)映寫機(寫眞機部分品及び付屬品(シヤッター付のものを含む)、暗函(蛇腹の有無を別たず)、アタツチメント、シヤッター、フィルムバックホルダー、マガジン、取枠、フラインダー、三脚臺、フィルム、露出計、レリーズ、距離計、自動焦點裝置、雲臺、閃光器、閃光電球、反射器及び寫眞機用又は三脚臺用ケース、寫眞引伸機部分品、暗函、コンデンサー、レンズ及び支持臺(三)映寫機部分品及び付屬品、コンデンサー、レンズ、フィルムリール、ランプハウス、映寫機用ランプ、ヘッドマシン、映寫機用モーター、發聲裝置、フィルム巻取機、カメラ、スクリーン及び映寫機用ケース(四)現像機付用器具、現像タンク、現像バット、修整臺、燒付器、顯出器及び暗室ランプ(五)寫眞用の乾板、フィルム及び感光紙(六)寫眞用乾板、但し航空機用のもの及びエツクス線用のものを除く(七)寫眞用フィルム但し航空機用のもの及びエツクス線用のものを除く(八)寫眞用感光紙但しエルクス線用のものを除く(九)寫眞器及び同部分品(十)蓄音器(ラヂオ聴取裝置を付したるものを含む)蓄音器部分品、

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

ひざる容器を除く)に入れたる食糧品但し蔬菜類、果物類、肉類又は魚介類の漬物、煉製物、乾燥物、燻製物、焼物又は煮物に限る、容器一個一圓

蓄音器匣、サウンドボックス、移動  
腕金、ビックアップ、蓄音器用モ  
ーター、同轉盤、動力用ゼンマイ及び  
蓄音器用針(四)蓄音器用レコード但  
し六吋以下の紙製のものを除く(五)  
樂器、同部分品及び付属品④撥樂器、  
ピアノ、オルガン、アコーディオン、  
バンドニオン、ハーモニカ、ヴァイ  
オリン、ヴィオラ、セロ、コントラ  
バス、マンドリン、マンダラ、マン  
ドリラ、マンドセロ、マンドローネ、  
ギター、ギタローネ、バラライカ、  
ウクレレ、バンジョー、フリユート、  
ピッコロ、クラリネット、オーボ、  
バスーン、コルネット、トランペツ  
ト、トロンボーン、アルト、バリト  
ン、チェンバ、サクソフオン、ス  
ザフオン、ホルン、バイアラフオ  
ーン、喇叭(信號喇叭を除く)、木琴、  
鐵琴、ハーブ、リラ、箏、三絃、琵琶、  
明笛、尺八、鼓、ドラム類、タ  
ンポリン及びシンバル⑤樂器部分品  
及び付属品絃樂器用の絃、弓又は撥  
及び樂器用ケース(六)雙眼鏡雙眼鏡  
及び同ケース(七)銃及び同部分品④  
銃、獵銃、銃拳及び空氣銃⑤銃部分  
品銃身及び銃床(八)藥莢(裝藥した  
るものを含む)及び彈丸但し獵銃、  
拳銃又は空氣銃用のものに限る(九)  
ゴルフ用具同部分品及び付属品④  
ゴルフクラブ及びゴルフボール⑤ゴ  
ルフクラブのヘッド及びシャフト⑥  
ゴルフクラブ用バッグ、クラブケース  
及びヘッドカバー(十)娛樂用のモ  
ーターボート、スカール及びヨット(十一)  
一) 撞球用具撞球臺、キュー、球及  
びチョーク(十二)ネオン管及び同變  
壓器(十三)喫煙用ライター及び電氣  
マツチ(十四)乗用自動車但し普通乘  
用自動車にして輪距二百八十九糎を

超ゆるものに限る(十五)化粧品香  
水、香袋、白粉、紅、化粧墨、クリ  
ム、化粧下、化粧水、化粧粉、頭  
髮用の香水、油及び煉油、整髮料、  
染料、養毛料、美爪料、脱毛料並  
に脂取料  
〔七類〕(稅率價格の百分の六十)  
⑩扇風機及び同部分品④扇風機  
モーター(十七)暖房用の電氣、瓦斯  
又は礦油ストーブ(十八)冷蔵庫及び  
同部分品④冷蔵庫⑤冷蔵庫部分品冷  
藏器用冷凍機(十九)金屬及び鋼鐵製  
家具④金庫(手提金庫を含む)⑤鋼鐵  
製家具箆筒、棚類、箱類、寢臺、机  
及び卓子類並に椅子及び腰掛類(二  
十)時計及び同部分品舊(第一種乙)  
④懐中時計、腕時計、置時計、掛時  
計、電氣時計、ストップウォッチ及び  
ウォッチマンスクロック⑤時計側、  
ムーヴメント、文字板、時計用硝子  
及び同代用物並に指針(二十一)照明  
器具(舊第一種乙)、スタンド、シヤ  
ンデルヤ、ペンダント、ブラケット、  
バルベット、ベンダント、アラケツト、  
ターラット、グロップ、シエード  
及び之に類するもの(二十二)電氣器  
具及び瓦斯器具(舊第一種乙)、湯沸  
器(珈琲沸器及び牛乳沸器を含む)、  
タール蒸器、調理用具(七輪、竈及  
び炊飯器を除く)、アイロン、鑊半  
田鑊を除く)、鑊燒器、毛髮乾燥器、  
炬燵、行火、火鉢(電氣炭を含む)、  
足温器及び蒲團類、パイマネットウ  
エーヴ機及び同付屬品、ローヤター、洗  
濯機、掃除機、暖房用ラヂエーター、  
溜機、掃除機、温水槽並に調理臺、  
ルームクーラー、温水槽並に調理臺、  
用石材及び之を原料とする擬石並に  
陶磁器製タイル④大理石及び之に類

する裝飾用石材但し建築用のものに  
限る⑥大理石及び之に類するものを  
原料とする擬石⑦硬質陶器製タイル、  
磁器製タイル及びモザイクタ  
イル、⑧ハに掲ぐるもの以外の施袖  
TAIL(廿四)文房具(舊第一種乙)萬  
年筆、萬年筆用ペン先、萬年筆軸、  
硯箱、手箱、文箱、料紙箱、書類箱、  
硯箱籠、色紙箱、短冊箱、スケツチ  
箱、書架、シヤ箱、ペンシル、シヤ  
ープペンシル替芯、インキ入(イン  
キスタンドを含む)、硯、パレット、  
パレットナイフ、ペーパーナイフ、  
筆立、矢立、硯用蓋、墓置臺、肉池、  
水入、ペン立、ペン皿、文鏡、色紙、  
短冊アルバム、人名簿、集印帖、畫  
帖、芳名録及び本立(ブックエンド  
を含む)(二十五)身邊用細貨類及び  
化粧用具(舊第一種乙)④指環、腕環、  
耳飾、頸飾、ペンダント、櫛櫛入、  
簪、頭髮用ピン、ハットピン、  
イヤネット、結びリボン、飾花、  
ネクタイピン、ネクタイ止、襟止、  
帶止、帶當、帶揚枕、帶揚止、バツ  
クル、鎖、カフス釦、カラボ止、根  
付、腰提、メダル、メダルバンド、  
腕時計用バンド、時計下げ紐、靴下  
留、靴籠、バンド、ズボン吊、コル  
セット、乳バンド、羽織紐、眼鏡線、  
眼鏡入、鏡入、拂帶用揚枝入、鍵入、  
珠數入、萬年筆入、印章入、御守入、  
御守袋、小道具入、印籠、懐中藥入、  
ハンドブック、撥入、手提券入、  
懐中用書袋入、名刺入、定期券入、  
管迫、シース及び衣服用刷子④化粧  
用刷子(頭髮用のものを含む)、コン  
パクト、パフ、香水噴、剃刀、毛拔、  
爪切、頭髮用鏡、懐中鏡、手鏡、立  
鏡、掛鏡、姫鏡、鬘、髻、石鹼入、  
白粉入其の他の化粧品の容器、化粧

具匣(折疊式のものを含む)及び其の  
他の化粧用具セット(二十六)喫煙用  
具(舊第一種乙)、煙管、パイプ類及び  
同ケース、煙草入、灰皿、煙草セツ  
ト、煙草盆並に燐寸ケース(二十七)  
扇子及び團扇但し流團扇を除く(第  
一種乙)、(二十八)靴及びトラソク類  
並に行袋(第一種乙)④靴、トラソ  
ク、信衣袋、リソックサツク及びバ  
スケツト類但し價格一個に付二圓に  
満たざるものを除く⑤行李但し價格  
一個に付四圓に満たざるものを除く  
(二十九)飾物、玩具、遊戲具、搖籃  
及び乳母車類(第一種乙)、人形、人  
形の飾物、玩具(國民學校教材及び  
航空青少年隊用の模型航空機材を除  
く)、遊戲具、搖籃及び乳母車類(三  
十)運道具(舊第一種乙)④野球、庭  
球、卓球其の他の球技、陸上競技、  
スキー、スケート、登山、水泳、拳  
闘及びフエンシング用具但し第一種  
第二十五號及び第二種第二十八號に  
掲ぐるものを除く(三十一)漆器、陶  
磁器及び硝子製器に於て第一種又は  
第二種の各號に掲げざるもの但し理  
化學用のもの醫療用のもの電氣絶緣  
用のもの、土木建築用のもの、農業  
用のもの、漁業用のもの及び神佛具  
を除く④茶器、酒器、菓子器、食器  
其の他の食卓用品但し價格一個に付  
五十錢(漆器に付ては一個に付六十  
錢)に満たざるものを除く⑤其の他  
のもの但し七圓、五十錢及び炊飯器並  
に價格一個に付一圓、五十錢に満た  
ざるものを除く(三十二)煙火類(三十  
三)燻物及び練香類但し價格四匁に付  
五錢のものを除く(三十四)シ  
ヤンプー及び洗粉(三十五)紅茶、烏  
龍茶、包種茶、珈琲、ココア及び其

の代用物、玉露並に碾茶、紅茶、烏  
龍茶、包種茶、マーテ、珈琲、チエ  
リー、ココア及び其の代用物、玉露  
並に碾茶(三十六)嗜好飲料但し酒類  
及び清凉飲料を除く④牛乳又は乳製  
品を原料とする酸性飲料⑤果實汁、  
果實蜜、珈琲シロツツ、紅茶シロツ  
ツ、紅茶シロツツ及び之に類するもの  
⑥甘酒及び之に類するもの(三十  
七)菓子(舊第一種乙)④和洋生菓  
子、干菓子及びチョコレット但し價  
格十圓に付四十圓に満たざるものを  
除く⑤箱、罐、罎、籠其の他類似の  
容器に入れたるもの(通常小賣に用  
ひざる容器に入れたるものを除く)  
但し容器入、一個に付價格一圓に満  
たざるものを除く(三十八)グルタミ  
ン酸ソーダを主成分とする調味料  
(丙類)(稅率價格の百分の四十)  
(三十九)ラジオ聴取機及び同部分品  
(舊第二種乙)④ラジオ聴取機但し眞  
空管を使用せざるもの及び大藏大臣  
の指定するものを除く⑤ラジオ聴取  
機部分品ラジオ聴取機匣、トランス  
フォーマー、チョークコイル、コン  
デンサー、抵抗器、ダイヤル及びシ  
ヤンシー(四十)受信用真空管、マイク  
ロホン、擴聲用増幅器及び擴聲器(舊  
第二種乙)、(四十一)電球類及び電  
氣配線用品④電球類但し漁業用、鑛  
山安全燈用、色燈信號用、測定用器  
通信用、測定用、抵抗用、耐爆安全  
用、電話用、航空機用、保健用及び  
燈火管制用電球並びに豆電球以外の  
電光型線電球を除く⑤電氣配線用  
品但し鑛山用、通信用、航空機用、點  
船舶用及び農業用のものを除く、點  
滅器、接續器、ハトメ、シエードホ  
ルダー、プレート及びコード(四十  
二)携行用の電燈、同ケース及び電

池(四十三)魔法瓶、水筒類及び同部  
分品の(魔法瓶(ケース)を付したるものを含む)及び水筒類(魔法瓶ケ  
ー(四十四)計算機(四十五)タイブラ  
イター、同部分品及び付屬品④タイ  
ブライター但し電信用のものを除く  
⑤タイブライター部分品及び付屬品  
原稿臺、臺机、カベ、リボン、ペ  
ッド、活字、活字貯藏箱及び複式金  
額タイブライター用印書動輪(四十  
六)階寫器付屬品、カベ、スクリ  
ンキ布、ローラー、ローラー把手、  
インキ煉盤、爐及び爐枠(四十七)金  
錢登錄機(四十八)タイムスタンプ、  
タイムレコーダ及び同付屬品④タイ  
ムスタンプ及びタイムレコーダ⑤タ  
イムスタンプ、マスターロック、繼電器、  
付屬品、マスターロック、繼電器、  
カード格納箱、カベ及びリボン(四  
十九)ミシン及び同部分品並びにミ  
シン用針④ミシン⑤ミシン部分品、  
頭部、脚部及び臺⑥ミシン用針(五  
十)幻燈機、實物投影機及び同ケ  
ー(五十一)安全剃刀(五十二)カレン  
ダー、繪葉書並に觀實用の寫眞及び  
印刷物類④カレンダー(臺を含む)  
⑤葉書、繪カード及び枝折類⑥プ  
ライド其の他觀實用の寫眞⑦印刷  
用印刷物、畫臺、法帳其の他の觀實  
用印刷物、但し板畫及び拭本を除く  
(五十三)齒磨但し粉齒磨を除く(五  
十四)バター、チーズ、クリーム及  
び其の代用物並びにジャム(五十五)  
綠茶但し焙茶、番茶及び價格一貫に  
付七圓に滿たざるものを除く(五十  
六)酒類但し清酒及び味淋の粕に  
限る(舊第二種一圓)、(五十七)食品  
加工料、丙果實、エッセンス、食紅、  
フクラシ粉及び之に類するもの(五

十八)ハム、ベーコン、ソーセージ、  
紙用のもの及び政府に於て製造し政  
府の用に供するもの並びに煙草用巻  
紙を除く④紙但し價格手漉のものに  
付ては一封度四十錢(應紙に付ては  
一封度四十錢)に滿たざるものを除  
く⑤セロファン(六十五)靴塗料類、  
靴クリーム、光澤劑其の他の靴塗料  
類(六十六)折箱、割箸、祝箸及び爪  
楊枝類④折箱但し汽車辨當用のもの  
を除く⑤割箸、祝箸及び爪楊枝類(六  
十七)滋養強壯劑及び口中劑但し六  
ら醫師の使用するものを除く④ビタ  
ミン劑、ホルモン劑、人糞製劑其の  
他類似の滋養強壯劑④口中劑(六十  
八)防虫劑、殺虫劑及び防臭劑但し  
農業藥劑及び馬を消毒の用に供する  
ものを除く(六十九)調味料、精製ナ  
ンザール製劑、除虫菊製劑(蚊取  
線香を含む)其の他類似の防虫劑、  
殺虫劑、防臭劑④魚介藻類又は植物  
類の煮出液を主原料とする液體調味  
料④カレー粉、胡椒粉、辛子粉、山  
葵粉、山椒粉、唐辛子粉、其の他之  
に類するもの④即席カレー、其の他  
之に類するもの④ケチャップ及びソ  
ース類(マヨネーズを含む)⑥  
經節(七十)罐、壺其の他類似の  
容器(通常小賣に用ひざる容器を除  
く)に入れたる食品品但し酒類、清  
涼飲料、砂糖、糖水、味噌、醬油、  
酢、油脂、鹽、牛乳、乳製品、卵製  
品乳兒用品及び第二種又は第三種  
の各號に掲ぐるものを除く(七十二)海  
苔、乾海苔、燒海苔(味付燒海苔を  
含む)及び青海苔(アラサを含む)  
第三種

特別行爲稅

一、寫眞の撮影、  
現像、燒付及び複  
寫等百分の五十  
二、調髪及び整容百分の五十  
三、織物被服類の染色及び刺繡百分  
の四十  
四、被服類等の仕立百分の四十  
五、書畫の裝裱百分の五十  
六、印刷及び裝本百分の三十  
七、寫眞機、蓄音器、樂器等の修繕  
百分の四十新設

朝鮮も四稅増徴實施

【十六日】朝鮮物品稅令、朝鮮遊興  
飲食稅令、朝鮮特別行爲稅令の改正  
による間接四稅の引上げは内地に  
準じて十六日實施されたが、朝鮮にお  
ける増徴稅額は十九年度二千三百三  
十八萬圓、平年度二千三百三十二萬圓  
である、なほ今回の増徴は大體内地  
と同様標準に基いて行はれたが、物  
價高その他半島の特事情を考慮し  
て免稅點を内地より引上げた點が朝  
鮮における増徴の特徴をなしてゐる

貯蓄 十九年度貯蓄目  
標三百六十億

著

【十二日】賀屋藏相は一  
月廿五日の衆議院豫算全  
席上十九年度國家資金計

斤に付十二圓)、(三)サッカー(稅  
率一延に付五十圓)、(四)蜂蜜(稅率、  
百斤に付十二圓)  
特別行爲稅  
一、寫眞の撮影、  
現像、燒付及び複  
寫等百分の五十  
二、調髪及び整容百分の五十  
三、織物被服類の染色及び刺繡百分  
の四十  
四、被服類等の仕立百分の四十  
五、書畫の裝裱百分の五十  
六、印刷及び裝本百分の三十  
七、寫眞機、蓄音器、樂器等の修繕  
百分の四十新設  
八、金融機關の保護預り(有價證券  
の披封預りを除く)百分の五十新設  
因に第八號金融機關の保護預り及び  
これに類するもの課稅除外物件は  
出資證券、基金證券、保險證券、預  
金通帖、積金通帖、領金證券、貯金  
證書、積金證券、信託證券、無盡契  
約證書、國債の登錄濟通知書及び社  
債等登録法施行令第卅一條第一項に  
規定する登録濟證の披封預りである  
なほ洋服および和服の仕立代に關す  
る免稅點は男子洋服一組廿五圓が廿  
圓に(但し國民服の仕立は据置き)  
洋服上衣(女子の上衣を含む)一個  
十二圓が十圓に、チヨッキは五圓か  
ら三圓に、ズボンは八圓から七圓に  
女子用洋服および女子用外套、コ  
ーは十八圓から十五圓に、スカート  
は六圓から五圓に、また男子用外套、  
トンは廿二圓が十八圓に夫々引下  
げられ、和服類の仕立三圓の免稅點  
のみ据置かれた又特別行爲稅は七號  
は新稅法施行の十六日より各小賣業  
者において販賣價格に新稅率による  
稅額を加算して販賣するが第二種お

よび第三種物品についても、既に製  
造場より移出されてゐる物品につい  
ては小賣卸賣業者の手持品に對し、  
施行當日の現在高により課稅するこ  
とになる  
朝鮮も四稅増徴實施  
【十六日】朝鮮物品稅令、朝鮮遊興  
飲食稅令、朝鮮特別行爲稅令の改正  
による間接四稅の引上げは内地に  
準じて十六日實施されたが、朝鮮にお  
ける増徴稅額は十九年度二千三百三  
十八萬圓、平年度二千三百三十二萬圓  
である、なほ今回の増徴は大體内地  
と同様標準に基いて行はれたが、物  
價高その他半島の特事情を考慮し  
て免稅點を内地より引上げた點が朝  
鮮における増徴の特徴をなしてゐる

券、郵便切手、郵便葉書又は收入印  
加工程、丙果實、エッセンス、食紅、  
フクラシ粉及び之に類するもの(五  
限る(舊第二種一圓)、(五十七)食品  
加工料、丙果實、エッセンス、食紅、  
フクラシ粉及び之に類するもの(五



昭和十九年度國民貯蓄增加目標額は國債消化資金約二百八十五億圓生產擴充資金約六十億圓の外若干の企業整備に伴ふ浮動資金吸收の適當とするに三百五十億圓と爲すの適當とするが如きも近時一般手持資金増大の傾向にありと認められるを以て之が吸收をも圖る爲國民貯蓄増加目標額は之を三百六十億圓と定むるものとす、前記目標額は前年度に比し一躍九十億圓を増加し全國民所得の六割を占むる巨額なるのみならず國民生活の現状と租税負擔の増進とを併せ考慮するときは其の達成に容易ならず官民一致の總努力に依るにあらざれば至難なるを以て特に政府各省各方面の緊密なる連絡協調の下に之が必成を期するものとす

蔵相談 〇今期議會に於て成立した臨時軍事費特別會計及一般會計等の豫算財源として昭和十九年度中に發行豫定の國債總額は約二百八十五億圓であり又十九年の生産擴充資金は約六十億圓の見込である、故に兩者合計三百四十五億圓は十九年度の國民所得の中からは非貯蓄せられなければならぬ金額である、ところが十九年度には企業整備の關係で所謂生産の裏付けの多い放出資金が十八年度に引續き相當多額に上る豫定である、其の中特殊決濟に依つて大部分は封鎖せらるるのであるが、尙相當の金額は現金で決濟せられ浮動購買力となる虞がある、仍て之をも吸收する必要があるのである、其の金額は一應七億圓と推定せられる、これを前記の三百四十五億圓に加へて端数を整理し大體三百五十億圓が一應昭和十九年度の貯蓄目標額と考へられるのである(昭和十八年度に於

ては企業整備關係資金の浮動化防止要吸收額は該計畫が年度の途中から進行した關係上昭和十八年度當初の貯蓄増加目標二百七十億圓中に加算せられて居る、從つて裏面に発表した通り十八年度は企業整備關係浮動購買力の吸收は特別計畫を以て行はれて居るのである、併し昭和十九年度は豫め分明して居るから初これを加算した次第である)

以上の如く昭和十九年度貯蓄増加目標額は一應三百五十億となるべきものと考へられるのであるがそれが何故三百六十億圓と増加したのか、其の理由は所謂一般の手持資金、即ち各自の手許に置かれて居る現金の吸收を目的として増加せられたのである、〇以上説明した通り本年度貯蓄増加目標の内容は國民所得の中から蓄積すべきものが三百四十五億圓、國民所得外に於て企業整備關係現金決濟に依るもの浮動化防止及び手持資金吸收所要額併せて十五億圓である、從つて政府が曩に議會で発表した國家資金計畫の大綱には少しも變りはないのである、即ち國民所得六百億圓は

財政資金として 四百二十五億圓  
 國債 二百四十億圓  
 内 租稅 二百八十五億圓  
 生産擴充資金 六十億圓  
 國民生活消費資金百十五億圓  
 の配分となり國民所得中より貯蓄せられて賄ふべきものは國債及び生産擴充資金の合計額三百四十五億圓である、企業整備關係資金の吸收は過去の蓄積たる産業設備等の現金化したるものと金銭貯蓄の形態に移す止まるものであり、手持資金の吸收は過去の所得から生じた手持留保を

金融機關に集中せんとするものであつて十九年度の國民所得中から蓄積せられる性質のものではない、〇扱て今年度の貯蓄目標額は右の如く三百六十億圓である、これを前年度に比較しても九十億圓の増加であつ平時から見れば驚異的の數字である、支那事變勃發後最初の目標額即ち昭和十三年度の夫れに比れば正に四倍半となる、實に非常なる増額である、容易な努力では達成出来ない事である、而してこれを達成する一つの重要な前提は國民所得が昭和十九年度は昭和十八年度の五百億圓は比較して百億圓を増加し六百億圓となる譯にある、この百億圓の増加は何に依つて得られるか、云ふまでもなく國民の勤勞の躍進的增加に依つて初めて可能となるのである、即ち明年度は劃期的の航空機の増産をやらなければならぬ、決戦の年、敵米英の戦力粉碎の爲に大増産をやらなければならぬ、これは今更云ふ迄もない事である、それに加へて艦船の製造増加や、他の兵器彈藥の製造増加を圖らなければならぬ、人口は急激には増えない、殊に勞務給源は前線に働く勇士を送り出せば減るとも増すまい、其の状況の下にあつて生産の大躍進を成就しなければならぬ、青年や壯年は固より老人も子供も婦女子も根限り働かなければならぬ、飛行機や船舶や兵器彈藥の生産に従事する者は勿論のこと凡ゆる職域に於て根限り働かねばならない、軍需品生産以外の職域に於ける勤勞能率の増加は軍需品生産に要する勞務給源の増加となる事を銘記しなければならぬ、斯く働き抜けば生産が増加する、從つて國民の所得は殖える、其の根源は昭和十九年度五百億圓の豫算の中に用意されて居るのである、〇更に國民は極力其の生活を切詰めなければならぬ、昭和十八年度に於ては國民生活消費資金は百三十億圓であつた、これが十九年度は百十五億圓と一割二分を切るに切詰めの餘地の殆どない人も多數にある、從つて少しでも餘裕のある生活を爲す者は極力生活費を節約しなければならぬ、百億の生産所得増加があつても更に十五億の消費の切詰めがなければ國家資金計畫は實現出来ないのである、即ち敵撃滅の軍費は不足するのである、兵器彈藥の生産力は減少するのである、酒、煙草も、電燈も、燃料も、凡ゆるものが節約されなければならぬ、其の節約は皆戰爭生産力を増加し財政資金を増加することとなる、自ら餘裕のある生活をして居ると思ふ者は少いであらうが、併し諺に「下を見れば限りがない」と云ふ凡ゆる生活の切詰めが戦力増強の根源となる關係を知り、而して十九年度が決戦の年なることを知るならば多くの人は其處に必ずや消費切詰の方途を發見せられるであらう、〇昭和十九年度には貯蓄増加目標額の大増加に加へて劃期的の増税がある、昭和十八年度は國民の租稅負擔と貯蓄増加所要額とを加へて三百七十億圓であつた、本年度は五百億圓に達する、國民所得中四百八十五億圓は租稅として納め、又は貯蓄しなければならぬ、國民所得八割以上となる、勤勞の増加も消費の節約も並々の決心で

戰的生產の増加、決戦的消費の節約決戦的貯蓄である、即ち決戦財政である、政府も貯蓄目標達成の爲めに立法に、行政に凡ゆる施策と努力とを以て貯蓄し易く便宜を圖り又推進をするのである、併し之を實行する國民その者である、一に一億國民諸君の努力と實踐とを切望する大藏省では六大都市所在都府縣別割當決定に引續き貯金保險局、銀行、信託等の貯蓄取扱機關別配分を決定するため廿二日本省委員室に於て貯蓄取扱機關別資金吸收目標額協議會を開催協議の結果十九年度の貯蓄取扱機關別資金吸收目標額を左の如く決七割九分強に當る二百八十六億圓を各貯蓄取扱機關に於いて資金を吸收することになつた、尙今同決定した各貯蓄取扱機關別資金吸收目標額の前年度に對する増加割合は左表の如く市街地信用組合八割七分五厘を筆頭に郵便貯金七割三分八厘、組合金融六割九厘、信託五割七分一厘と大目増加を示してゐるが貯蓄銀行のみは普通銀行との合併に依り銀行數が減つたため七分六厘の減少となつてゐる

昭和十九年度國民貯蓄取扱機關別資金吸收目標額

機關	昭和十九年度(單位百萬元)	前年度(單位百萬元)	增加割合(%)
貯金保險局	8,000	7,000	14.3
①郵便貯金	4,000	3,500	14.3
②簡易生命保險	1,000	1,000	0
③郵便年金	3,000	2,500	20.0
普通銀行統制會	1,000	1,000	0
地方銀行	4,000	3,500	14.3
同	4,000	3,500	14.3

貯蓄銀行	同	二、四〇〇	△	〇、〇〇〇
信託	同	一、一〇〇	〇、〇〇〇	〇、七〇〇
生命保險會社	同	一、七〇〇	〇、〇〇〇	〇、二〇〇
無盡	同	三、五〇〇	〇、〇〇〇	〇、二〇〇
組合金融	同	三、七〇〇	〇、〇〇〇	〇、六〇〇
市街地信用組合	同	三、五〇〇	〇、〇〇〇	〇、八〇〇
總計		二九、六〇〇	〇、〇〇〇	〇、九〇〇

(備考) 括弧内は當座預金を含みたる金額とす

### 地方別貯蓄増加目標額

六大都府縣【廿一日】昭和十九年度國民貯蓄増加目標額三百六十億圓のうち先づ六大都市、同所在都府縣別貯蓄増加目標額の配分を決定するため大藏省では廿一日本省會議室に六大都府縣内政部長會議を開催左の如く配分協定を決定、引續き貯蓄増強方策に付き意見を交換した、右によれば六大都市貯蓄増加目標額合計は百六十五億二千萬圓、同所在都府縣合計額は百九十九億圓に上り、國民貯蓄増加目標額三百六十億圓の五割五分強を占めてゐる

△六大都市	年度	十九十八	年度	十八十九
東京	九五、八五〇	京	都	三、七〇〇
横濱	六〇、五〇〇	大	阪	三、〇〇〇
名古屋	三〇、三〇〇	神	戸	三、〇〇〇
其他府縣【廿三、廿六日】	廿三日決定をみた關東地方及廿六日決定の北海道、樺太、東北各縣の貯蓄目標額の通り(單位千萬圓)			
年度	十八十九	年度	十八十九	

### 預金部資金運用計

【廿四日】大藏省では二十四日本年度最終の預金部資金運用委員會を開催、國債の引受十億圓などの運用額の追加を決定した、この結果、本年度の預金部資金運用計畫總額は既に決定した總額八十二億九千七百七十一萬八千圓となつた、新規追加運用額並に運用累計額の内譯は次の如くである、(單位百萬圓△印變更減)

國債引受資金	△ 1,000
特別會計貸付金	△ 100
社債、債券等の引受又は買入資金	五、八〇〇
特殊銀行會社等貸付金	三、七〇〇
國外關係債の引受又は買入資金	八七〇〇
及國外關係特殊銀行會社等貸付金	三〇〇
内譯	三五〇
滿洲關係債の引受又は買入資金	八
支防關係債の引受又は買入資金	一八九

### 普通銀行店舗を整理

【廿九日】現存の銀行店舗については時局の緊迫化に伴ひその配置の合理化を行ひ、最少の人員および物資をもつて最高の能率發揮を期することが緊要であり、また一面空襲対策の見地からその疎開を圖る必要がある、大藏省當局ではかねて全國金融統制會などの協力の下に、銀行店舗全般につきその廢合整理を研究中であつたが、今回先づ普通銀行につき成案を得るに至つたので、廿九日山際銀行保險局長名をもつて各銀行に通達、大體來る四月一杯迄には實施完了を見ることになつた、而して今回の普通銀行店舗の整理については近接店舗の整理を中心とし、同一系統に屬する店舗のみならず、他店舗の配置をも考慮して全國に亘つて實施するもので、その總數は四百三十四が計畫されてゐる、即ち今回の整理によつて、昨年九月末現在に於ける普通銀行統制會加盟銀行總店舖數一千二百九十九が百五十九店舗(一割二分二厘)また地方銀行總店舖數三千六百九十五の内二百七十五店舗(七分四厘)程度が夫々廢止される筈である、なほ貯蓄増強などの見地より、銀行店舗の新設を必要とする方面については今後引續き積極的に必要な施設を講ずる方針である

### 株式配當金支拂の簡素化

【廿五日】全國金融統制會では豫て株式配當金の支拂方法の改善につき考究中であつたが、この程配當金振込制度による改善方法の成案を得たので、來る四月一日以降の會社銀行等の配當金支拂につき實施すること決定した、即ち現行の配當金支拂方法は配當證が會社、株主、銀行の三者間に循環し且つその照會手續を経なければ支拂を完了し得ず、その支拂手續は煩瑣を極めたものであつたが、今回これを改善し、會社に於て配當金を株主の取引を有する金融機關の預貯金口座又は振替貯金口座に振替支拂ふことを建前とし、株主がこれらの便宜を持たぬ場合を慮つて振替貯金現金拂による支拂をも認めるとなつた、従つて今後株主は右の内何れか一つの方法により配當金支拂を指定すれば、毎期自動的に而も正確迅速に配當金の振替支拂を受け得ることになつた

### 支那、泰、佛印在留邦人にも戰爭保險實施

【廿四日】陸上財産に對する戰爭保險は昭和十七年一月戰爭保險臨時措置法に基き本邦内所在物件を對象として來たが、最近の情勢に鑑み大藏省では今回戰爭保險物件所在地の範圍を擴張し、國內所在地邦人所有物件について、右に伴ひ戰爭保險適用することになり、右に伴ひ戰爭保險臨時措置法施行規則を改正二十四日付を以て公布、來月一日より施行する、今回本制度を實施する地域は差當り支那、泰、佛印であるが將來準備の出來次第ビルマ、比島などの南方諸地域にも適用する豫定である、なほ今議會の協賛を経て既に公布された戰時特殊損害保險法は遅くも來る五月一日までに實施される筈であるが同法の實施に伴ひ戰時保險臨時措置法は廢止されるので、その後は新法の適用に依り引續き實施される、今回戰爭保險物件所在地の範圍擴張の概要は次の通り、(一)地域、支那、泰、佛印、(二)保險の目的、原則として邦人所有物件に限るが、邦人に準ずるものと認められる者の所有する物件も認められる、(三)指定に依り保險の目的となるものが出来る、但し何れも原則として同一物件に付普通保險契約の存在することを條件とする、運送品に付ても大體右に準ずる、(四)保險金額、保險價額の七割を限度とする、(五)保險期間、原則として六月とする、(六)保險料、①運送品以外の物件(保險期間六月又は他の未滿に付)第一地區(蒙疆、北支及中支、漢口地區を除く)、②保險金額の千分の五、第二地區(第一地區以外の地域)同千分の十、③運送品、内地より外國向又は外國より日本向同千分の二、第一地區内相互間同千分の三、第二地區

内相互間同千分の五

# 工・礦業

## 航空燃料緊急確保策成る

### 一般

【十二日】政府は航空機等の畫期的増産に即應し

航空燃料及び高級潤滑油の質的量的確保を期するため航空燃料及び高級潤滑油製造關係産業を五重點産業並みに取扱ふこととなり、十二日の閣下閣議に「航空燃料及高級潤滑油の緊急確保に關する件」を附議、正式決するとともに同日情報局よりその内容を發表した

今回の緊急措置の對象となる事業は左の如くで、五重點産業並みの取扱ひをうける産業は農機具、肥料、工作機械、車輛、鍛壓機械および今回の石油を合して六事業となつたわけである

○國內資源の畫期的開發 國產原油は量的には少ないが、極めて良質で高級潤滑油製造或ひは調合劑として多大の期待をかけられてゐる、従つてその探査、開發を積極的推進し、坑道掘りの如きも一層積極化する方針である

○精製能力の擴充 航空機の發達に伴ひ、交戦各國の使用量の航空燃料は何れもオクタン價一〇〇前後と、高級化の一途を辿つてをり内外地に亘る石油精製設備、能力の急造擴充を進める

○人造石油事業の育成 人造石油事業は最近漸く軌道

化し、内外地、滿洲を通じ三十工場中十九工場の操業を見てゐるが、これを一層強力に促進するとともに、動植物油脂を原料とする合成潤滑油の製造等にも重點をおく

△情報局發表(十二日午後三時) 航空戦力の畫期的増強に即應し航空燃料及高級潤滑油の供給を確保する爲速かに左記方策を實施するものとす

一、航空燃料及高級潤滑油關係産業を五重點産業に準じ取扱ふこと

二、前項鐵工業に對しては要員の充足、資材、電力の取得及設備用機械の製作等に付最優先的取扱を爲すものとす

三、右に伴ひ化學肥料部門との競合を來し食糧増産に悪影響を及ぼすことなきやう調整を圖ること

四、本件實施に當りては能率の向上、既設工場施設の充實、既定擴充計畫の急造完成等を第一義的に考慮するものとす

緊急増産が要求する優良鍛造品の増産を期するためには、鍛造技術の改善と現有施設の全幅活用を計ること

△精密鍛造技術の確立を圖るため官民鍛造關係の權威者を擧用して技術指導機關を設け組織的に優秀技術の普及交流を圖る

△現有鍛造施設の全幅的综合活用による鍛造品の急造増産を圖る

△二直制を廢して三直制又は二直二組制を實施する

△個數價格制の採用による鍛造精密化の促進を圖り粗製品の製造防止を行ふ等の諸點である

金屬壓延能率向上答申【十八日】科學技術審議會では内閣總理大臣諮問「金屬加工に對する技術向上及生産路打開方策」に對し昨年六月「輕合金板壓延加工技術の向上及生産路打開方策」を答申したが、その後同會材料部會で引續きこれが具體化の促進に付研究を進めた結果、建議案「輕合金板壓延標準技術方式確立に關する件」及び「合成樹脂軸承の適用普及に依る金屬壓延能率向上の件」を決定十五日内閣總理大臣、陸軍大臣、海軍大臣並軍需大臣に對し夫々建議上申を行つた

延四段に對應すべき高級四段帶板熱延壓延の採用並に之を伴ふ鑄塊の大型化及分塊技術の完成に存するが、同會機械部會で試験技術の進捗の結果まづ大型鑄塊の製造技術推進の結果、次で熱延分塊作業についても

○鋼塊の製造に對しては完全なる帶板、○鋼塊の熱延製造に凱歌を奏し、現有高級熱延設備の轉用による大量増産の實現に確證を與ふるに至り、ここに本邦における輕合金板材大量壓延の抜本的打開を期しうるに至つたのである

○鋼塊の熱延製造に凱歌を奏し、現有高級熱延設備の轉用による大量増産の實現に確證を與ふるに至り、ここに本邦における輕合金板材大量壓延の抜本的打開を期しうるに至つたのである

○鋼塊の熱延製造に凱歌を奏し、現有高級熱延設備の轉用による大量増産の實現に確證を與ふるに至り、ここに本邦における輕合金板材大量壓延の抜本的打開を期しうるに至つたのである

○鋼塊の熱延製造に凱歌を奏し、現有高級熱延設備の轉用による大量増産の實現に確證を與ふるに至り、ここに本邦における輕合金板材大量壓延の抜本的打開を期しうるに至つたのである

○鋼塊の熱延製造に凱歌を奏し、現有高級熱延設備の轉用による大量増産の實現に確證を與ふるに至り、ここに本邦における輕合金板材大量壓延の抜本的打開を期しうるに至つたのである

# 機械

## 機械工業等整備實施要綱決定

【十五日】軍需省では一月十八日閣議決定せる第二種工業部門企業整備實施要綱に基き機械工業等整備實施要綱を決定、十五日同省より左の如くこれを發表した

△機械工業整備實施要綱 機械工業(機械加工、鍛造、鑄造、鋸金等)の整備に關しては第二種工業部門企業整備實施要綱に依るの外本實施方策に依る

○發註工場の各省別利用分野、利用率及主たる發註所管省は各省中央官廳關係官會同協議(以下中央協議會と稱す)の上之を決定すること

○利用分野の査定に當りては當該生産品の需給状況の外工場の設備、生産技術、過去の實績等を考慮の上決定すること

○生産分野の畫定にして各省に關係あるものは中央協議會に於て決定すること

○生産分野の畫定に當りては工場の設備、生産技術及當該生産品の需給状況等を考慮の上強力専門化する如く生産分野の畫定に伴ひ生産能率の増進技術の向上を圖る爲工場設備の整備を爲さしむること

## 科學技術審議會答申

製造品増産策【十七日】航空機の

向上および生産打開の根本對策は冷

意義なる處置と認め、これが具體方

◎生産分野の畫定は發受註の統制に依り其の實施を確保すること

第二、企業系列の整備

一、企業系列を整備すべき發註工場の範圍

◎企業系列を整備すべき發註工場は陸海軍作業廠及發註工場にして所管官廳の指定したるもの(以下指定發註工場と稱す)

◎所管官廳は中央協議會に於て審議の上發註工場を指定するものとし、指定は航空機、艦船、兵器、重要機械(工作機械、鍛壓機械、燃料機械、輕金屬用機械等)、車輛其の他急速に生産力を増強すべき業種の重要な工場より實施し逐次其の範圍を擴張すること

◎所管官廳發註工場を指定したるときは地方行政協議會長、都道府縣長官、關係地方官廳及當該指定發註工場に通知すること

二、企業系列に編入すべき協力工場の範圍

◎企業系列に編入すべき協力工場は原則として工作機械等主たる設備機械十臺程度以上を有し且相當程度の技術を有するものとする

但し地方的事情に依り又は協力工場の技術的程度、作業の種類等に依り特に必要ある場合においては右に依らざることを得ること

◎企業系列に編入すべき協力工場は左の區分に依り之を專屬協力工場又は共同協力工場とする

①專屬協力工場として其の生産能力の八割以上を以て一の陸海軍作業廠又は指定發註工場に對し定常的に協力するものとする

但し②但書に依り其の與に依り指導育成すること

陸海軍作業廠又は指定發註工場の協力工場として指定せられたるものは之を共同協力工場とする

◎共同協力工場として指定すべきものは一の陸海軍作業廠又は指定發註工場に對し原則として其の工場の生産能力の三割以上を以て定常的に協力するものとする

但し特に必要ある場合にしては右に依らざることを得ること

共同協力工場を指定するときは利用限度又は利用率を定むるものとす

共同協力工場は其の範圍に於て企業系列に編入するものとする

陸海軍作業廠又は指定發註工場の協力工場として指定せられたるものは之を共同協力工場とする

◎共同協力工場として指定すべきものは一の陸海軍作業廠又は指定發註工場に對し原則として其の工場の生産能力の三割以上を以て定常的に協力するものとする

但し特に必要ある場合にしては右に依らざることを得ること

共同協力工場を指定するときは利用限度又は利用率を定むるものとす

共同協力工場は其の範圍に於て企業系列に編入するものとする

◎第二次以下の協力工場は前各號に準ずる原則として其の工場の生産能力の八割以上を以て一の上位指定協力工場に對し定常的に協力するものとする

但し特に必要ある場合にしては右に依らざることを得ること

◎協力工場の指定に際しては極力專屬協力工場たらしめ、共同協力工場として指定する場合に於ては一の發註工場の利用限度又は利用率を大ならしめ、第二次以下の協力工場は其の段階を減少せしむる如く指導すること

三、指定發註工場の指定協力工場に對する責任

◎指定發註工場は指定協力工場に對し左の責任を負ふこと

①專屬協力工場に對しては工場運営上の所要發註量を確保し共同協力工場に對しては利用限度又は利用率に應ずる發註量を確保すること

②發註に基き必要なる原材料、勞力、動力等を確保する爲之を支給し又は取得の斡旋を爲すこと

③經營改善、技術向上に關する指導、金融の援助、機械工員の貸與に依り指導育成すること

④品種及加工作業の種類を可及的に一定せしめ設備の整備を爲さしむること

◎以上の指定發註工場の共同協力工場に對しては指定發註工場相互協議の上關係地方官廳の承認を受け責任發註工場を定め之が指導育成に當ること

◎上位の指定協力工場が下位の指定協力工場に對しては①及②に準ずること

四、指定協力工場の指定發註工場に對する義務

◎指定協力工場は指定發註工場に對し左の義務を負ふこと

①專屬協力工場は指定發註工場よりの受註品の製作又は加工を爲す場合に於ては指定發註工場の承認を受けべきこと

共同協力工場は其の範圍に於て企業系列に編入するものとする

◎第二次以下の協力工場は前各號に準ずる原則として其の工場の生産能力の八割以上を以て一の上位指定協力工場に對し定常的に協力するものとする

但し特に必要ある場合にしては右に依らざることを得ること

共同協力工場を指定するときは利用限度又は利用率を定むるものとす

共同協力工場は其の範圍に於て企業系列に編入するものとする

◎第二次以下の協力工場は前各號に準ずる原則として其の工場の生産能力の八割以上を以て一の上位指定協力工場に對し定常的に協力するものとする

但し特に必要ある場合にしては右に依らざることを得ること

◎協力工場の指定に際しては極力專屬協力工場たらしめ、共同協力工場として指定する場合に於ては一の發註工場の利用限度又は利用率を大ならしめ、第二次以下の協力工場は其の段階を減少せしむる如く指導すること

三、指定發註工場の指定協力工場に對する責任

◎指定發註工場は指定協力工場に對し左の責任を負ふこと

①專屬協力工場に對しては工場運営上の所要發註量を確保し共同協力工場に對しては利用限度又は利用率に應ずる發註量を確保すること

②發註に基き必要なる原材料、勞力、動力等を確保する爲之を支給し又は取得の斡旋を爲すこと

③經營改善、技術向上に關する指導、金融の援助、機械工員の貸與に依り指導育成すること

④品種及加工作業の種類を可及的に一定せしめ設備の整備を爲さしむること

◎以上の指定發註工場の共同協力工場に對しては指定發註工場相互協議の上關係地方官廳の承認を受け責任發註工場を定め之が指導育成に當ること

◎上位の指定協力工場が下位の指定協力工場に對しては①及②に準ずること

四、指定協力工場の指定發註工場に對する義務

◎指定協力工場は指定發註工場に對し左の義務を負ふこと

①專屬協力工場は指定發註工場よりの受註品の製作又は加工を爲す場合に於ては指定發註工場の承認を受けべきこと

共同協力工場は其の範圍に於て企業系列に編入するものとする

◎第二次以下の協力工場は前各號に準ずる原則として其の工場の生産能力の八割以上を以て一の上位指定協力工場に對し定常的に協力するものとする

但し特に必要ある場合にしては右に依らざることを得ること

共同協力工場を指定するときは利用限度又は利用率を定むるものとす

共同協力工場は其の範圍に於て企業系列に編入するものとする

◎第二次以下の協力工場は前各號に準ずる原則として其の工場の生産能力の八割以上を以て一の上位指定協力工場に對し定常的に協力するものとする

但し特に必要ある場合にしては右に依らざることを得ること

◎協力工場の指定に際しては極力專屬協力工場たらしめ、共同協力工場として指定する場合に於ては一の發註工場の利用限度又は利用率を大ならしめ、第二次以下の協力工場は其の段階を減少せしむる如く指導すること

三、指定發註工場の指定協力工場に對する責任

◎指定發註工場は指定協力工場に對し左の責任を負ふこと

①專屬協力工場に對しては工場運営上の所要發註量を確保し共同協力工場に對しては利用限度又は利用率に應ずる發註量を確保すること

②發註に基き必要なる原材料、勞力、動力等を確保する爲之を支給し又は取得の斡旋を爲すこと

③經營改善、技術向上に關する指導、金融の援助、機械工員の貸與に依り指導育成すること

④品種及加工作業の種類を可及的に一定せしめ設備の整備を爲さしむること

◎以上の指定發註工場の共同協力工場に對しては指定發註工場相互協議の上關係地方官廳の承認を受け責任發註工場を定め之が指導育成に當ること

◎上位の指定協力工場が下位の指定協力工場に對しては①及②に準ずること

四、指定協力工場の指定發註工場に對する義務

◎指定協力工場は指定發註工場に對し左の義務を負ふこと

①專屬協力工場は指定發註工場よりの受註品の製作又は加工を爲す場合に於ては指定發註工場の承認を受けべきこと

共同協力工場は其の範圍に於て企業系列に編入するものとする

◎第二次以下の協力工場は前各號に準ずる原則として其の工場の生産能力の八割以上を以て一の上位指定協力工場に對し定常的に協力するものとする

但し特に必要ある場合にしては右に依らざることを得ること

共同協力工場を指定するときは利用限度又は利用率を定むるものとす

共同協力工場は其の範圍に於て企業系列に編入するものとする

◎第二次以下の協力工場は前各號に準ずる原則として其の工場の生産能力の八割以上を以て一の上位指定協力工場に對し定常的に協力するものとする

但し特に必要ある場合にしては右に依らざることを得ること

◎協力工場の指定に際しては極力專屬協力工場たらしめ、共同協力工場として指定する場合に於ては一の發註工場の利用限度又は利用率を大ならしめ、第二次以下の協力工場は其の段階を減少せしむる如く指導すること

三、指定發註工場の指定協力工場に對する責任

◎指定發註工場は指定協力工場に對し左の責任を負ふこと

①專屬協力工場に對しては工場運営上の所要發註量を確保し共同協力工場に對しては利用限度又は利用率に應ずる發註量を確保すること

②發註に基き必要なる原材料、勞力、動力等を確保する爲之を支給し又は取得の斡旋を爲すこと

③經營改善、技術向上に關する指導、金融の援助、機械工員の貸與に依り指導育成すること

④品種及加工作業の種類を可及的に一定せしめ設備の整備を爲さしむること

◎以上の指定發註工場の共同協力工場に對しては指定發註工場相互協議の上關係地方官廳の承認を受け責任發註工場を定め之が指導育成に當ること

◎上位の指定協力工場が下位の指定協力工場に對しては①及②に準ずること

四、指定協力工場の指定發註工場に對する義務

◎指定協力工場は指定發註工場に對し左の義務を負ふこと

①專屬協力工場は指定發註工場よりの受註品の製作又は加工を爲す場合に於ては指定發註工場の承認を受けべきこと

官廳に提出し地方官廳適當と認むるときは指定取消を爲し當該地方又は都道府縣協議會長及當該協力工場所在地の都道府縣長官に之を通知すること

⑨第二次以下の協力工場の指定取消に付ても前各號の手續に準ずること

九、企業系列の確保  
①指定發注工場及指定協力工場は②の場合を除くの外所管地方官廳の承認を受け三、④及四、⑤に掲ぐる事項を内容として合めたる協力契約を締結し協力工場の指定取消なき限り之を履行すること、整備したる企業系列を確保する爲指定發注工場の所管官廳、都道府縣、關係地方官廳、關係統制團體は常時緊密なる連絡の下に指導監督すると共に指定發注工場と其の指定協力工場との間に協議調はざる事項に付調停斡旋すること前項の調停斡旋に付必要ある場合に於ては地方協議會又は都道府縣協議會に於て審議決定すること

③指定發注工場の屬する企業が軍需會社法の軍需會社なるときは必要に應じ同法の運用に依り企業系列整備の實效を確保すること

第三 修理工場及國民生活用機器工場の整備  
一、重用産業に對する修理能力の確保  
①修理を確保すべき修理需要者の範圍

①特定の需要者に對し修理を確保する要ある場合は修理需要者の所管官廳の申入により中央協議會に於て審議の上修理需要者を指定し軍需省は關係地方行政協議會長及都道府縣長官並に全日本機械器具統制組合(以下全日本機器統制と稱す)に通知す

ることに、陸海軍補給機關は前項の指定修理需要者と看做すこと、②個々修理需要者を指定すること困難なる場合は特定地區内の特定産業の工場事業場を一括して指定し前號に準じ措置することを得ること

②修理能力を確保すべき修理工場の範圍  
①修理能力を確保すべき修理工場は原則として都道府縣工業組合聯合會(以下都道府縣工業統制と稱す)傘下の機械工場にして修理工場として適當と認めらるるものに付都道府縣長官之を指定すること

②當時その全能力を擧げて指定修理需要者よりの修理に當る修理工場は之を專屬修理工場と爲すことを得ること

③修理工場指定及指定取消手續  
①修理工場の指定に付ては指定修理需要者(修理需要者が一括指定せられたる場合に於ては其の代表者)及び指定を受けんとする修理工場連名に指定申請書を當該修理工場の所屬都道府縣工業統制經由都道府縣長官提出し、都道府縣長官は地方協議會の審議決定に基き指定を爲すこと前項の場合に於て都道府縣協議會ありときは地方行政協議會長は都道府縣協議會に於て審議決定を爲すこと

②修理工場指定を以て都道府縣工業統制に依り受注の幹旋修理の確保其他指定修理工場に對する指導育成を爲すこと、③指注工場の指定協力工場となる様様として適當ならざる工場に對しては技術的培養、設備、經營の改善又は企業との合同等の措置を講じ指定協力工場となる様様指導すること

④統制制令  
統制組合組合員たる工場を指定修理工場たらしむる如く決定せんとするときは地方協議會長又は都道府縣協議會長は豫め當該統制制令又は統制組合の所管官廳に協議すること、③修理工場の指定取消に付ては指定修理需要者(修理需要者が一括指定せられたる場合に於ては其の代表者)又

は指定修理工場は指定取消申請書を指定修理工場の所屬する都道府縣工業統制經由指定を爲したる都道府縣長官に提出し都道府縣長官適當と認むるときは指定取消を爲し當該地方協議會長に通知すること

⑤指定修理工場の義務  
①指定修理工場は指定修理需要者よりの修理を優先受注實施すること、②專屬修理工場は指定修理需要者よりの修理に専念し指定修理需要者よりの修理以外の製作又は加工を爲す場合に於ては指定修理需要者の承認を受くべきこと

③指定修理工場の指導及育成  
①指定修理需要者は修理の受注を極力指定修理工場に集中すること、指定修理需要者は專屬修理工場に對し發注量の保證を爲す外資材、勞力、動力等を確保する爲之を支給し又は取得の幹旋を爲すと共に經營の改善金廠の援助等專屬修理工場全般に關し指導育成すること、②必要ある場合に於ては指定修理工場を以て都道府縣工業統制傘下工業組合に修理部を設置し集團受注等の方法に依り受注の幹旋修理の確保其他指定修理工場に對する指導育成を爲すこと、③指注工場の指定協力工場となる様様として適當ならざる工場に對しては技術的培養、設備、經營の改善又は企業との合同等の措置を講じ指定協力工場となる様様指導すること

③前號に依り指定せられたる修理工場に對しては勞力、資材、動力等を確保すると共に必要なる修理を爲さしむる如く統制を實施すること  
二、軍事上緊急修理能力の確保  
軍事上一時多量の修理を要する場合の修理能力の確保に關しては都道府縣長官は陸海軍動員管理官等と協議の上機動性ある保有の措置を講ずること  
四、國民生活用機器工場の確保  
①戰時國民生活の確保に必要な國民生活用機器に付ては都道府縣長官は當該機器の所管官廳の指示に従ひ必要なる生産能力の確保を圖ること  
②前號に依り指定せられたる國民生活用機器工場に對しては勞力、資材、動力等を確保すると共に生産及配給の統制を實施し必要なる國民生活用機器の生産及供給を確保すること  
第四 企業系列外工場の整備  
一、協力關係の設定  
都道府縣廳は管下の企業系列外工場中適當と認むるものに對しては指定發注工場の指定協力工場となる様様として適當ならざる工場に對しては技術的培養、設備、經營の改善又は企業との合同等の措置を講じ指定協力工場となる様様指導すること

③前號以外の企業系列外工場は之を地域別又は業種別に組織化して其の業態及生産能力を把握し其の活用を圖ると共に不要なる工場及設備は速かに之を整理すること  
④都道府縣廳及全日本機器統制は緊密なる連絡協力の下に企業系列外工場の活用を圖ること  
三、地方統制工業の整備  
地方統制工業に付ては左の事項を除き昭和十八年十月商工省企業局長、機械局長池田「地方統制機構整備要綱」に依ること  
①陸軍及海軍の外軍需省越空兵器總局を加ふること  
②軍需省航空兵器總局に於て直接利用する集團利用工場(地方統制工業)は必要なる場合に於ては陸軍及海軍と別に地域別に商工組合法に基く統制組合を組織すること  
③集團利用工場に屬すべき利用工場の指定に付ては當該利用工場所在地の地方協議會又は都道府縣協議會の審議決定に基き之を爲すこと  
「備考」發注工場の製品が部分品なる場合に於ては當該發注工場に對する生産及配給の統制に依り所要の生産及需要者に對する供給を確保すること、發注工場の加工の委託、發注工場の爲す機械の修理に付ても發注工場に對する統制に依り其の確保を圖ること

△第二種工業部門企業整備  
協議會設置要綱  
一、中央協議會  
①第二種工業部門企業整備に關し各省中央關係事項を連絡協議する爲中央協議會を軍需總動員局に置くこと  
②中央協議會は軍需省總動員局長を主催し關係各廳高等官及特に指定したる關係統制團體役員又は學識經驗者を以て組織すること

中央協議會は左の事項に付連絡協  
議すること

①發注工場の各別利用分野、利用  
比率主たる發注所管省の決定②各省  
に關係ある生産分野の劃定③企業系  
列を整備すべき發注工場の劃定④修  
理を確保すべき修理需要者の決定⑤  
地方第二種工業部門企業整備協議會  
相互間の連絡調整に關する事項⑥其  
の他第二種工業部門企業整備に關し  
必要な事項

二、地方第二種工業部門企業整備協  
議會⑦第二種工業部門企業整備に關  
し各地方關聯事項を連絡協議する  
爲、各地方第二種工業部門企業整備協  
議會(以下地方協議會と稱す)を地  
方行政協議會の附置せられたる都道  
府縣に置くこと

⑧地方協議會は地方行政協議會長之  
を主催し當該地區内都道府縣關係官  
陸海軍地方官廳關係官、陸海軍監督  
官、軍需監督官、車輛管理官その他  
關係地方官廳關係官及特に指定した  
る關係統制團體職員又は學識經驗者  
を以て組織すること

⑨地方協議會は左の事項を調査審議  
すること

①協力工場の指定②修理工場の指定  
③受注團體の結成④其の他第二種工  
業部門企業整備實施に關し必要な  
事項

三、都道府縣第二種工業部門企業整  
備協議會

⑩第二種工業部門企業整備に關し各  
省地方關聯事項を連絡協議する爲特  
に必要ある場合に於ては地方行政協  
議會長の承認を受け都道府縣に都道  
府縣第二種工業部門企業整備協議會  
(以下都道府縣協議會と稱す)を置  
くことを得ること

會に準ずること  
⑪都道府縣協議會に於て調査審議す  
る事項は地方協議會に準ずること

### 特別價格報獎製造適用擴充

輕金屬【一】軍需省ではききに決  
定を見た「價格報獎制度要綱」に基  
き十八年十月一日からアルミナ、ア  
ルミニウム、マグネシウム、水晶石及  
び弗化アルミニウムにつき特別價格  
報獎制度を實施することに決定、一  
日の閣議に岸國務相より説明、諒解  
を求めたうへ軍需省より發表した、  
輕金屬關係原材料は今次の特別價格  
報獎と、裏に決定を見てゐる原單位  
切下報獎制と併行して實施されるわ  
けで、未だ他の物資にこのやうな例  
を見ない、このことは政府がいかに  
輕金屬増産に努力を傾注してゐるか  
を裏書きするものである

【軍需省發表】航空決戦に必勝を期す  
の爲今日航空機を一機にても多く製  
造することは現下緊急の問題であ  
り、從つて輕金屬を一種にても多く  
生産することは刻下の急務である、  
茲に生産実績の優秀なる會社に對し  
先般閣議決定を見た「價格報獎制  
度要綱」に基きアルミナ、アルミニ  
ウム、マグネシウム、水晶石及び弗  
化アルミニウムに付特別價格報獎制  
度を實施することに決定せられたの  
である、右報獎制度は昭和十八年度  
下期より實施することとし物資動員  
計畫等を基礎として工場別に一定の  
基準生産量を設定し、右生産量を超  
過した場合にその超過分を二段階に  
分けこれに對し累増的に特別價格報  
獎金を交付し、以つて生産者の増産

の熱意を振起し生産の飛躍的成果を  
期待するものである(下略)

鐵鋼【十八日】政府は重要戰力物資  
の増産を刺戟するため昨年三月廿日  
閣議決定の「價格報獎制度要綱」に  
基き、すでに銅、石炭、鉛、亜鉛、  
鐵礦石、砂鐵(十八年度上期より)  
および輕金屬(十八年度下期より)  
につき特別價格報獎制を實施してゐるが  
鐵鋼生産確保の緊要性に鑑み十八年  
度下期より内地および外地に於いて  
對し同制度を適用することとなり、  
十八日の閣議に岸國務相より「鐵鋼  
特別價格報獎制度實施に關する件」  
を報告、同日午後軍需省よりその要  
旨を發表した、尙ほ右より決定せ  
られた報獎金は内地生産の鐵鋼につ  
いては鐵鋼原料統制會社、その他の  
鐵鋼については鐵鋼販賣統制會社を  
通じて交付し、朝鮮生産の鐵、鋼に  
對しては直接工場に交付するが、さ  
らに小型熔鑄鐵鋼に對しても別に  
要領を定め、十九年度より特別價格  
報獎を實施する豫定である、適用の  
對象となるものは、生産命令又は生  
産指示に依り當該工場の生産する普  
通鐵並に普通鋼に對し差當り左の品  
種毎に之を適用するものとす①鐵鐵  
②壓延用鋼塊③厚板④筒管⑤其の他  
の鋼材

### ボーキサイト法アルミナ 買上價格引上

【十二月】航空機〇倍増産に即應し  
國產原料によるアルミナの増産が喫  
緊の要事とされてゐるが、政府はこ  
の情勢に對應し、國產原料アルミナ  
の價格改訂を斷行することとなり十  
二日の繰下げ閣議において岸國務相  
より報告、諒解を求めるとともに同  
日午後三時軍需省より左の如く發表  
した、國產原料によるアルミナ生産  
は昭和電工、日室、朝鮮理研等によ  
り明礬石、礬土頁岩、磷酸礬石、岩  
手粘土等を原料として實施されてゐ  
るが技術的に不利な鑛石を處理する  
こと、新製法による新規企業である  
點等ボーキサイト法に比し生産費の  
昂騰を免れないため、その價格をボ  
ーキサイト法によるアルミナの買上  
價格に比し數倍に引上げるとともに  
今後はこれを帝國輕金屬統制會社を  
して一手に買上げしめ、同時に帝國  
輕金屬の販賣價格についても品質等  
を考慮し、ボーキサイト法によるア  
ルミナ販賣價格尙當り四百四十圓と  
の間に適當なる價格差を設定するこ  
となつた

### 鍛壓機緊急増産措置進捗

槌機、機械プレス、鍛造用水壓プレ  
スに標準容量設定【一日】航空機〇  
倍増産の先行條件たる鍛壓機械の増  
産を期するため、政府は舊臘三日  
「航空機等増産確保のため必要な  
鍛壓機の緊急措置の件」を閣議決定  
し、爾來軍需省機械局において右閣  
議決定の各項につき具體的實施準備  
を進めて來たが、まづ鍛壓機械のう  
ち槌機の機械型式別容量の整理統一  
を實施し、多量生産の素地を確保す  
ることとなり、一日附需要所管廳お  
よび需要統制團體宛て實施要領を通  
牒した。今回の措置は右三種につ  
き戰時中製作すべき標準容量を決定  
したもので、工作機械の戰時型決定  
に比すべき劃期的措置である、なほ

### 機種型式容量の整理統一に當つては 電動氣槌の如きは從來の容量十四種 が八種に、パワープレスは廿二種が 六種に整理されるなど、全般的に見 て大體半分以上に整理されることと なつた、而して右要綱は即日實施さ れたが、切替による生産減退を防止 するため、仕掛品等については十分 考慮し來る六月末日までの猶豫期間 を設定、標準容量以外のものでもす でに資材割當があり、製作段取を進 めてゐるものについては例外的に製 作を容認する措置をとることとなり 十九年度第二四半期(七月以降)より 標準容量物に製作を限定する

### 鍛壓機械の計畫生産實施【廿八日】

航空機等の増産確保の前提要件たる  
鍛壓機械の緊急増産を圖るため政府  
は昨年十二月三日の閣議において右  
に關する「緊急措置の件」を決定、  
爾來各實施項目につき軍需省にお  
いて具體的措置を講じて來たが、今同  
その最大眼目たる鍛壓機械の計畫生  
産並びに發註調整に關する實施要綱  
を決定、廿八日關係各方面に通牒す  
るとともに軍需省より實施要綱を發  
表した、今回決定を見た要綱の要點  
は左の如くであるが、右實施に當つ  
ては去る一月十一日閣議決定の發註  
調整實施要綱の趣旨に則り、發註調  
整上必要な事項はすべて發註調整協  
議會機械部會(軍需、陸、海軍、美  
他關係各廳代表等)によつて構成、美  
濃部軍需省機械局長が部會長となる  
豫定)に附議、決定する豫定で鍛壓  
機械の殆んど全分野に亘り縣案の計  
畫生産が實現するものと注目される  
△計畫生産實施要綱の要點  
一、鍛壓機械は閣議決定にもある通  
り昭和十九年度からは物動上工作機

械と同様特掲せられて軍需省機械局が一本で握る事になつた爲陸軍、海軍、航空民需を通じて機械局に於て各需要部門の要求並に生産能力を綜合勘案して生産計畫を樹立し其の生産の確保に付ては機械局が全責任を負ふこと

二、機械の需要者が個々に機械製造業者に對し發注することを禁止し機械局を通じて發注すること  
三、三四年先迄の受注は認めず概ね註文は二ヶ年先のもの迄に限定し且豫め其の製造順位を決定して配列を行ひ機械製造業者に於て計畫的な生産を爲し爲る様考慮したこと  
四、機械を特定機械(註文生産的のもの)と然らざるもの(見込生産的のもの)に區分し特定機械に付ては原則として製造に着手するときより製品納入先等を決定せしむるも然らざるもの(見込生産的のもの)に付ては製品完成期の概ね一四半期前に於て初めて製品の納入先を確定せしめそれ迄は需要者と個々の機械との關聯を確保せしめず需要者が個々に機械業者と直接交渉する餘地を少からしめ成るべく流れ作業的に能率的生産せしめて完全な製品物動に移り得る様考慮した事、資材割當は特定機械に付ては個々の割當を爲すも然らざるものに付ては工場別生産計畫に基き生産割當をする様考慮した事

軍需省より發表された鍛壓機械計畫生産要綱による鍛壓機械の範圍は左の如くで、各種槌機、機械プレス、水壓プレス及び同附屬品、剪斷機、その他板金機械、矯正機械、特定機械、壓延機及部分品特定機械、ダイカスト等殆んど鍛壓機械の全分野を包含する

一、槌機(電動氣槌)蒸氣槌(片フレーム、兩フレーム)落槌(五用、板金用)板板機(電動に依るものに限る)相打槌(特定機械)バネ槌(絞槌)(レデューシングマシン)特定機械  
二、機械プレス(パワープレス)エンジンプレス(ストレートサイドツトップレス)(クランク、クランクレス)トックル、リソク式プレス(七五〇)以上特定機械(ダブルクランク)プレス(五〇〇)以上特定機械(擦プレス七五〇)以上特定機械(擦型クランクプレス)鍛造ロール機(特定機械)アーバープレス(ネジプレス)

三、水壓プレス及同附屬品(油壓式のものを含む)鍛造用水壓プレス(一、〇〇〇)以上特定機械(成型折曲用水壓プレス)一、〇〇〇以上特定機械(水壓プレス)附屬品、水壓プレス用ポンプ、蓄勢機(空氣及水瓶)、蓄力槽(重錘式)  
四、剪斷機(手動式及足踏式のものを含む)スケヤシヤ(ギヤツプシヤ)ロータリーシヤ(サイキユラシヤ)パイプシヤ(ニプリンクシヤ)パイプシヤ(ルーターマシン)打帶條剪斷機(ガンダスリツタ)貫及剪斷機  
五、其の他の板金機械(手動式及足踏式のものを含む)プレキプレ(折曲機)曲ロール(製鐵機)矯正機特定機械(管材矯正ロール)棒、線材矯正ロール機(線材矯正ロール)板材矯正ロール機(引張矯正機)振り矯正機  
七、壓延機及同部分品(分塊壓延機(鋼材、輕合金用))

③帶材壓延機(鋼材、輕合金用)④線材壓延機(管材壓延機)(穿孔機)壓延機、押拔機、熔接機、磨(線材)線材壓延機(外輪壓延機)壓延機部分品 銀鋼製ロール(齒車減速裝置カムワルツ、ロールガング、チルチングテーブル、マニプレタ、ホットソ(フリクシヨンを含む)フライングシヤ帶狀線機、電氣洗滌機、卷取機(巻戻機を含む)八、ダイカスト機(手動式及足踏式のものを含む)水壓式特定機械(手動及足踏式)

重要礦物非常増産推進期間重點實施  
【四月】航空戦力の増強を中心に重要金の需要が飛躍的に増大してゐる爲で十九年度において鐵礦石で十八年度より六割方、銅礦で三割方の増産確保を必要とするが、これに對し政府は國內各鑛山の選鑛、製鍊設備の大擴張、坑道掘進などの採掘準備を着々進めるとともに今回、現地の實情に鑑み特に緊急に坑道掘進建設企業の促進などを必要とする鑛山四十ヶ所を重點的に選抜し増産二月十一日を期して重要礦物非常増産特別推進期間を實施し、十九年度の増産完遂の強力な推進力たらしめることとなり三日次官會議で實施要領を決定、四日の閣議に岸國務相から報告同日その内容を軍需省から發表した選抜鑛山に對しては本期間中、他鑛今回の措置による法的規制は三割で取付燈數十燈の從量需用家を例にとり従來一ヶ月廿キロワット時迄使へたものが十四キロワット時しか使へなくなり、また取付燈数が幾ら多數の需用家でも一ヶ月廿五キロワ

の強化、整備金山からの轉用機械類の輸送促進などを圖り、また地方方面解決推進班が巡回し關係官廳から局課長が團體から係官が現地に挺身して各方面の隘路を突破し現地解決の實情に則した適切な措置を講ずる推進期間は二回に分れ、第一回は四月十一日から三月末日まで、第二回は四月一日から五月末日まで實施され、本期間中特に優良な成績を収めた特別應援隊、ならびに勤勞報國隊などに對しては軍需大臣からの感状授與その他の表彰措置がとられる

【十三日】最湯水期を乗切するための軍需省は去る五日萬一の場合に備へて工場用電力の第六段制限に關する告示を公布したが六段制限の實施は生産に及ぼす影響が少くないので凡ゆる措置を講じてこれが繰延べを策するとともに、一殺國民に對しても積極的協力を求めため現在電力需給狀況が最も逼迫してゐる本州地方に對し、生産に直接關係のない家庭や一般營業用電燈及び動力の消費規正を現行の消費限度より更に三割強化することとなり十五日の定例閣議に岸國務相より報告、「第三種需用電力等の制限強化」に關する告示を制定來る十八日から一ヶ月強力實施することになつた、今回の措置による法的規制は三割で取付燈數十燈の從量需用家を例にとり従來一ヶ月廿キロワット時迄使へたものが十四キロワット時しか使へなくなり、また取付燈数が幾ら多數の需用家でも一ヶ月廿五キロワ

【二日】農商省では戦力増強企業整備要綱第一種工業部門に關する製紙業および製紙バルブ製造業の整備要領の決定を見たので一附を以て地方長官宛農商次官通牒を發し、これに基いて可及的速かに操業、轉用並に廢業工場を中央において決定、具體的促進は地方廳において行ふこととなつた

【十八日】軍需省ではゼラチン製造業の企業整備を實施するため十八日次官名を以て關係都道府縣に對し通牒するとともに軍需省よりその要領を發表した、今回の整備は主として燃料事情に基くもので來る三月末までに整備完了の豫定であるが、整備後においては北海道、東北地方の小規模工場は著しく擴充、強化せられまた製品の優先化を圖つて従來主として米、獨の輸入に依存した寫眞用フィルム被膜の供給を確保することとなつた

# 農 業

米穀買上高三千六百萬石  
【十八日】山時農商相は十八日の定例閣議の席上、米の政府買上高に關

二月十五日現在の買上高は三千六百萬四千石でこれは前年同期に比較して六百二十九萬八千七百八十六石の増加に當つてをり、又米の供出を完了せる府縣は二十府縣の多き上つてゐる

旨報告して食糧事情が強靱なることを明かにした、なほ各都道府縣別にみると前年度供出成績の概して低調だつた地方において本年度の供出進度は極めて見るべきものがある、殊に昨年振はなかつた東北六縣をはじめ神奈川、山梨、高知などの諸縣は本年度顯著な名譽挽回を示し、何れも既に割當量を突破乃至完遂に近づきつつある、農商相報告の如く割當量供出完遂を見た二十府縣以外の地方においても供出率は大體八〇%から九九%程度の間にありなほ續々供出中であるが、九州地方は甘藷の供出其他の關係から若干遅れてゐるやうである、かくて全國的に見れば三月末頃までには一〇〇%達成が可能視されてゐる

### 戰時農業要員指定、農地實買認可制實施

— 國家總動員審議會決定

【十日】政府は舊曆二十八日の閣議において食糧自給趨勢強化對策要綱を決定したが、これにもとづく農業生産統制令改正勅令案要綱及臨時農地等管理令改正勅令案要綱は十日の國家總動員審議會に附議、政府原案通り可決答申され愈々近く公布實施の運びとなつた、この措置により從來兎角問題となつてゐた農業基幹労働力の恣意的な工業労働力への流出が阻止され又恣意的な農地賣買を或

程度抑制し農地の生産性低下が極力防止されることとなつた、要綱次の如し  
(情報局發表)  
△農業生産統制令中改正に關する勅令案要綱

第一 行政廳食糧産物の生産を確保する爲めに必要ありと認むるときは一定範圍の農業者を戰時農業要員として指定することを得るものとする

第二 戰時農業要員は食糧増産の國家要請に應へ全力を發揮して食糧農産物の生産に當るべきものとする

第三 戰時農業要員農業に従事することを罷めんとする場合に於ては行政廳の承認を申請すべきものとする

第四 戰時農業要員疾病、婚姻其他の事由に因り農業に従事すること能はざるに至りたる場合等に於ては戰時農業要員の指定を解除し得るものとする

戰時農業要員左の各號の一に該當するに至りたるときは其の指定を解除せられたるものとする

一 陸海軍に徵集若は召集せられ又は志願に依り陸海軍の現役に服せしめられたる場合

二 陸海軍學生生徒(海軍豫備練習生及海軍豫備補習生を含む)に採用せられたる場合

第五 第一乃至第四は食糧増産指導上缺くべからざる任務を擔當する者に付之を準用すること

第六 農業會の行ふ離農統制に關する現行規定は之を削除すること

第七 本改正に伴ひ必要なる規定の整理を爲すこと

△臨時農地等管理令中改正に關する勅令案要綱

第一 農地の所有權若は賃借權の讓渡契約を締結せんとする當事者又は新に農地に付貸借契約を締結せんとする當事者は命令の定めむる所に依り行政廳の承認を受くべきものとする

前項の承認は當事者の一方が國又は都道府縣なる場合其他一定の場合には之を受くることを要せざるものとする

第二 本改正に伴ひ必要なる規定の整備を爲すこと

### 休閒地、低位收穫農地を強制耕作

— 農地管理令を發動

【二日】現下喫緊の食糧増産の見地から所謂職工農家飯米等の農家等の所有する低位收穫農地、或は空地のまま放置されてゐる工場敷地等はこれらまで種々問題となつて來たが、農商省では今回臨時農地管理令第八條を發動し、これらの土地を強制的に完全耕地として有効適切に活用せしむることとなり、二日附農商省次官通牒を以て地方長官宛指示した、従來本都道府縣又は市町村農地委員會が勸告し市町村、農會、産業組合、農業實行組合、青年團、學校又は空地利用團體等の諸團體に耕作を行はしめる途を拓いて來たが今回さらにそれを積極的に既耕地乃至工場敷地その他の休閒地にまで發展せしめるものと、従来の右各種團體のみならず適當と認められる一般農家をしてこれれを耕作せしむる方法を講ずるに至つたものである、すなはちこれによ

り耕作を廢止してある休閒地の所有者或は生産力を完全に發揮してゐない耕地を所有する低位收穫農家に對し、市町村農地委員會が團體又は農家を指定してこれに耕作せしむるやう勸告する途が拓かれた

### 空閑地を利用雜穀を増産

【十四日】中央農業會では大政翼賛會、翼賛青年團、農業報國聯盟、雜穀獎勵會との共催で近く空閑地を利用する雜穀増産運動を展開することとなり十四日中央農業會館に右五團體の聯合協議會を開催、運動方針を協議した結果、左の要領に基き諸般の準備を進めることになつた

### 雜穀増産運動要領

△増産作物 大豆、蕎麥、稗、胡麻、玉蜀黍、粟、南瓜

△作付地 山地、道路、堤防、田地畦畔、河川敷、庭園、競馬場、ゴルフ場、果樹園、桑園等の空閑地約十二萬五千町歩

△動員努力 學生、食糧増産隊、翼賛青年團、大日本婦人會、商報勤奉隊、産報勤勞隊 都府縣協議會設置

各地方毎に協議會を設け、地方實情に即せる具體的措置を講ずる 收穫物處理 原則として耕作團體の自由處理とす

なほ政府は空閑地の開墾に際し、若干の助成金を交付することとなつてゐる

### 産鹼五千三百萬貫の實現に邁進

【廿一日】農商省では本年初來數次に亘り鹼確保に關して地方蠶糸主任官會議を開催の結果、この程大要

左の如き決議を行ひ積極的増産に邁進することとなつた

△緊迫せる時局に鑑み纖維不足の補給を圖るため昭和十九年鹼生産計畫數量五千三百萬貫の確保實現を期すること

△桑園の改植を行ひ戰時食糧増産に協力しつつ桑園の面積を確保し且つその能率を向上せしめ以て産鹼の増産確保を圖るため桑園の整理を實施したるものは一面これに相當する桑園を開墾地等に於て確保すること

△現下の纖維事情に鑑み桑皮の生産増強を圖るため適切なる諸方策を講ずること

### 十九年度州萬町歩造林計畫

【十六日】木材、薪炭の急速なる増産並にこれに伴ふ大造林計畫等現下の山林政策は極めて重要なものあるに鑑み、農商省では今回全國を二分し東京(二月十八、十九日)大阪(二月廿四、廿五日)兩地において地方林務主任官會議を開催し十九年度萬町歩に上る舉國大造林計畫實施に關する件 十八年度大山の木材増産促進、航空機用原木確保、單板生産増強方策並に十九年度木材緊急増産およびこれが輸送強化等に關する件 十九年度薪炭需給計畫にもとづく都道府縣別生産制當並にこれが確保策に關する件等の協議事項を中心と打合せを行ふが、そのうち十九年度の舉國造林計畫は從來の森林治水費による公有林の造林補助施設を廢しその國庫補助率を一括補助の對象としその國庫補助率を從來の二割から四割へ倍増したもので、今後の山林政策にとつて極めて重要性をもつものである



### 薪炭確保対策要綱發表

補給金額、價格攻訂實施

【十六日】農商省では家庭必需燃料たる薪炭の生産確保につき過般來各關係當局間において研究を重ねた結果、去る一月七日の閣議において薪炭確保対策要綱の決定を行ひ、十六日午前十一時情報局より右要綱の發表を見た今回決定された対策要綱の要點は價格の調整勞務並に輸送力の確保、政府買上操作の強化等現在の薪炭生産隘路と目される全部面に對し根本的打開の方途を講じたものである、因に今冬の緊急措置として國有林における薪炭非常増産に付ては既に實行に着手し、本年三月末迄に薪五百四十萬束、木炭百三十萬貫を京濱、名古屋、京阪神間に出荷する計畫で着々進んで居り、又豆炭、煉炭の原料は昨今船腹の關係もあり其の確保は相當困難を伴つて居るが、其の確保如何は燃料需給上重大なる影響があるので關係各方面と協力して最善を期する方針である

### 冬山木材増産運動要綱決定

【三日】戦局の様相は造船船並に航空機用木材の緊急増産を必須ならしめてゐるが、農商省ではこの情勢に對應し今回内務、厚生兩省の協力を待て冬山の木材増産運動を実施することとなり、三日の定例次官會議において石黒農商次官よりこれが増産運動實施要領を説明正式決定を見た右實施要領の狙ひは翼賛會、中央林業協力會、全國森林組合聯合會等の關係團體を中心として二月始めより三月末までの冬山における木材の非常増伐並に政府割當量の供出完遂

運動を積極的に展開せんとするもので、このため勞力、食糧、資材、輸送等の各方面に亘り優先的に確保し月産二、三割程度の増産を圖らんとするものである、なほ昨年四月以降十二月末までの最近における木材生産量は豫定の大體七割を確保し、本年三月末までには今回の非常増伐運動により本年度生産計畫數量を突破すべく意氣込んでゐる

### 漁業用資材の配給一元化

【一日】漁業用資材たる漁網、綱、テグス類等の配給については從來漁業用品商業組合と漁業組合による二元配給となつてゐたが、今回水産業團體法の實施により漁業團體の整備が行はれた機會にこれを水産業會系統へ一元化することとなり、農商省決定、關係官民をもつて整備委員會を組織し具體案を審議した結果一日開催した委員會において轉廢業すべき千七百名の商業者に對する共助金額並にその支給基準方法その他を決定した、共助金總額は總額百四十三萬圓で全額を中央水産業會並に帝國水産統制會社において負擔支出する

### 農機具第一種工場指定の

【廿一日】農商省では去る一月二十四日閣議決定を見た農機具製造工場整備強化対策要綱にもとづく第一種指定工場の選定を急いでゐたが、二十一日農商相官邸に指定工場代表の參集を求め、これが示達式を行った第一種指定の示達を受けたものは全農機具業者三百五十のうち主要農機具二十二種類を生産する東北振興農機具會社以下の七十一工場で、引續き

第二種工場の指定は三月中に行はれる筈である

## 勞務

### 職業能力申告令改正

【十日】昔烈なる決戦段階の展開に即應し畫期的軍需生産の増強を推進すべく國民勤勞力の動員並に配置に對する施策の計画的且つ組織的な浸透を圖るに當り現行の國民登錄は二元的な技能者登録と青壯年登録に分立し弾力性ある勤勞動員の實施運用上不完全な點が多く、今八十四決戦會議において、これが一元化が言明されてゐるが、十日の國家總動員會議はいよいよ國民職業能力申告令の畫期的改正を決定、改正勅令案を本報の情報局より左の如く發表された

本改正の結果、現役陸海軍人、應召者、陸海軍學生生徒、陸海軍軍屬、特種申告令の適用を受ける醫療關係者(醫師、齒科醫師、藥劑師、看護婦) 獸醫師、船員並に國民學校在學者、配偶者ある女子、禁治產者、など命令をもつて定められた適用除外者以外の總ての該當者即ち要申告者は毎年定期に市町村長又は國民職業指導所長に對して必要事項を申告しなければならない (情報局發表)

國民職業能力申告令中改正に關する勅令案要綱

第一 職業能力に關する被申告者の範圍を左の如く擴張すること

一、年齢十二年以上六十未滿の男子及年齢十二年以上四十未滿の女子(第二號に掲ぐる者を除く以下國民登錄者と稱す)

二、厚生大臣の指定する學校に於て厚生大臣の指定する科學技術に關する學科を修め其の學校を卒業したる者及厚生大臣の指定する之と同等以上の學力ある者(以下科學技術者と稱す)

命令を以て定むる者は前項の範圍より之を除くこと

第二 従前の技能者登録と青壯年國民登錄とを統合し國民登錄者に付命令の定むる所に依り毎年定期に市町村長又は國民職業指導所長に對し左に掲ぐる事項を申告せしむるものとす

①氏名②出生の年月日③男女の別④本籍⑤居住の場所⑥學歷⑦職業に關する事項⑧世帯に關する事項⑨其の他命令を以て定むる事項

前項の外臨時申告を爲さしむること

第三 科學技術者に付科學技術者と爲りたる時命令の定むる所に依り厚生大臣に對し左に掲ぐる事項を申告せしむるものとす

①第二、第一號乃至第七號に掲ぐる事項②科學技術に關する經歷③其の他命令を以て定むる事項

前項の外臨時申告を爲さしむること

第四 國民登錄者の申告に付ては國民登錄者を申告義務者とし科學技術者の申告に付ては科學技術者を使用する者(臨時に使用する者にして命令を以て定むるものを除く、以下使用者と稱す)あるときは科學技術者及使用者を、使用者なきときは科學技術者を申告義務者とするものとす

【廿二日】重大な戦局に對處し軍需生産の飛躍的増強を圖るため軍需工場の勤勞管理は生産即勞務の立場において特に現有勞務の最高能率發揮が國民動員と關聯して現在の最大問題たる點に鑑み軍需省では各軍需監理部及び礦山監督局をして所屬工場事業場の勤勞査察を實施せしめるととなり、廿二日付次官通牒するとともに、實施要領を發表したが、要領左の通り

① 査察員の編成 査察は各地軍需監理部に於て之を實施するものとし軍需監理部長に當り概ね左の範圍を以て隨員とする② 監理部長は時宜に部下に代行せしむることを得

本省派遣官、軍需監理部監理官(技師)、民間有識適任者

陸海軍及地方廳其の他關係官廳の參加を求むることを得

③ 査察項目 工場に於ける勤勞管理事務の運営に關し反省及改善の指標を與へ飛躍的生產の昂揚を期する爲の事項に付査察を實施するものとす

④ 經營官腦者の部下勤勞者統率の情況⑤ 工場規律、勤怠及勤勞能率⑥ 勤

勞管理機構及其の運管の情況④勤勞組織及勤勞配置の情況⑤給與⑥教養訓練⑦生活管理⑧其の他必要なる事項

③其の他 ①査察に當り關係書類の整備狀況の審査、閱覽の請求等を爲すことあるも特別の資料の作成要求は努めて之を行はざること②事後の指導を徹底勵行し所要の措置を實施に遺憾なきを期せしむること必要に應じ改善事項は一定の期間を附して之が實施を勵行せしむること③査察の成績優良なるものに關しては其の経緯並に成果の顯彰に努むると共に狀況に應じ表彰の措置を講ずること

### 學校卒業生使用制限令施行規則等改正

【廿三日】工業學校卒業生の職場配置は從來學校卒業生使用制限令及び學務調整令の二本建をもつて運用されてゐたが、厚生省では現下における工業關係技術者の需給狀態に鑑み工業學校卒業生に對する、一般的な配置統制を圖ることとなり、廿三日學校卒業生使用制限令施行規則並に關係告示の改正を公布した、改正要點は

- ①甲種工業學校以上にたいする指定學校の範圍を乙種工業學校にまで擴大するとともに、各種學校について夜間授業のものを除きこれに準じて指定することとし、實業學校についてのみ紡織科及び木村工業科を新たに指定學科に加へ、實業學校の指定學科名を實業學校規程による工業學校の學科名と一致せしめたこと
- ②申請書様式の改正を行ひ、機械科に造兵科を含め、從來機械科に入つてゐた化學機械、鑛山機械、紡績機

## 配給

### 衣料切符決戰的に改正

— 明年度纖維製品確保要綱 —

【七月】政府は戰局の推移に伴ふ軍需並に最近における纖維事情に鑑みかねて昭和十九年度における纖維製品の供給確保措置に關し(軍需その他戦力増強に必要な需要の充足)國民衣生活の徹底的簡素化と手持衣料品の活用(國民必需衣料品の確保を三大方針として)銳意立案を急いでゐたが、この程愈よ正式決定を見るに至つたので七月午後三時情報局より左の「昭和十九年度における纖維製品の供給確保に關する措置要綱」を發表した、この結果衣料切符は從來の都市百點、地方八十點の區別を廢止し、新たに年齢別により三十歳未満五十點、三十歳以上四十點に改正されることとなつた

今度昭和十九年度に於ける纖維製品の供給確保に關する措置要綱左の通り定められたり

#### 第一、方針

維事情に鑑み昭和十九年度に於ける纖維製品の供給に付ては軍需其の他戦力増強に必要な需要の充足を圖り戰爭の遂行に遺憾なからしめ國民衣料に付ては衣料の新調を極力抑制し補修等に依る手持衣料品の高度活用及衣生活の徹底的簡素化を促進すると共に決戰下國民必需衣料品の供給の確保を圖るものとす

#### 第二、要領

- 一、昭和十九年度に於て生産すべき纖維製品は軍需品及重要生産資材重要輸送資材等戦力の増強に寄與すべきものの外、國民生活用品に付ては概ね左の製品に限定し、之が全面的計畫生産を爲すこととし特に勞務者用品及衣料補修用品に付ては其の用途に鑑み之が需要の充足に努むること
- ①勞務者用品 ②衣料補修用品 ③妊婦及嬰兒用品 ④其他保健衛生用品 ⑤特
- 二、昭和十九年度に於ける纖維製品の計畫生産を確保する爲所要原料、資材、事務及電力の供給、輸送上の取扱等に關し特段の考慮を爲すこと
- 三、昭和十九年度に於ける國民必需衣料品供給量の著減に對應し之が配給の圓滑、適正を期し且公定價格の維持を圖る爲要すれば未端配給機構の整備配符適當措置すること
- 四、昭和十九年度衣料切符は左の要領に依り之を交付すること
- ①衣料切符一枚の點數は都市農村の區別を廢し左の通とすること
- ②普通衣料切符
- ③數へ年三〇歳以上の者に交付するもの 四〇點
- ④數へ年三〇歳未満の者に交付するもの 五〇點

②特別衣料切符 五〇點  
③制限小切符  
昭和十九年度における供給可能量に鑑み左の品種數量を限度とする制限小切符を附する外從來進品品種數量を定めざる制限小切符を附すること  
①タオル又は手拭 一本、一枚  
②足袋又は靴下 一足、二枚  
③縫糸 五匁 二枚  
二匁 一枚  
一匁 三枚

- ④昭和十九年度四月一日より有效とし有効期間は從來向二ヶ年とすること
- ⑤小切符の有効始期の區分を爲さざること
- ⑥交付時期  
昭和十九年四月とすること
- ⑦特別調整用衣料切符の交付  
昭和十九年度交付點數の削減に伴ひ交付せられたる衣料切符を以てしては眞に必要なる衣料品の調整を賄ひ得ざる特別の事情ある場合に於て之が調整を必要とするときは衣生活の實情に即應し一定限度の特別衣料切符を交付するものとす
- ⑧調整用布の購入を容易にする爲織物類の切賣の場合一定限度以下のもに付ては現行の點數を相當引下ぐること
- 農商當局 農商省では右に關して左の當局を發表した
- 「本日發表の昭和十九年度纖維製品供給確保に關する措置要綱は決戰下の纖維製品の生産配給並に消費の行

- ①ネ ル 一・三碼 一枚
- ②晒 一〇尺 一枚
- ③有效期間
- ④昭和十九年四月一日より有效とし有効期間は從來向二ヶ年とすること
- ⑤小切符の有効始期の區分を爲さざること
- ⑥交付時期  
昭和十九年四月とすること
- ⑦特別調整用衣料切符の交付  
昭和十九年度交付點數の削減に伴ひ交付せられたる衣料切符を以てしては眞に必要なる衣料品の調整を賄ひ得ざる特別の事情ある場合に於て之が調整を必要とするときは衣生活の實情に即應し一定限度の特別衣料切符を交付するものとす
- ⑧調整用布の購入を容易にする爲織物類の切賣の場合一定限度以下のもに付ては現行の點數を相當引下ぐること
- 農商當局 農商省では右に關して左の當局を發表した
- 「本日發表の昭和十九年度纖維製品供給確保に關する措置要綱は決戰下の纖維製品の生産配給並に消費の行

き方を明かにしたものである、即ち生産に於ては増大する軍需、生産資材等の需要の充足を圖るは勿論國民生活用品に付ては勞務者用品、補修用品、幼少年用品等必需衣料品の確保を圖ることとし、之が爲め所要原料、資材、勞務及電力の供給、輸送上の取扱等に關し特段の考慮を爲すこととし、又一般消費部面に於ては衣料切符制度も決戰下の衣生活に適はしく是非共必要と認めらるる程度に於て之を繼續し且十分實情に即して運用することとしたが、何と申しても今日の衣生活の根本は努めて手持衣料の活用によるべきであつても補修用品の供給に付て特に考慮を拂つたのも其の故である、國民各位も之を諒とせられ衣料の新調は徹底的に之を見合はせ此の際手持品の補修活用に一段と工夫し一層簡素實質なる衣生活を實行して頂き度い又纖維製品の生産及配給に携はるる者も其の使命を一層自覺せられ之が遂行に更に一段の工夫と精進とを期せられたい」

### 價格形成中央委員會二十二部會指定

【十四日】農商省移管後改組による簡素強力化を實施した價格形成中央委員會では、十四日農商相官邸において改組後初の總會を開儀し、山崎農商相挨拶、經過報告の後議事に入り、山崎農商相及びその所掌事項を指定次いで改組後の議事規則及び決定事項を審議決定した

機構より二十二部會委員臨時委員計六十七名の簡素な機構となり價格形成及び操作の上に一段と實情即應の機動性及び弾力性を備へるに至つた、新部會左の通り

△一般部會(物價一般に關する事項及價格形成中委員會各部會相互間の連絡及其の他の共通事項を掌る) △食糧部會(食用農林畜水産物—精米、精麥、小麥粉其の他の穀粉、澱粉、麵類、蒟蒻を含む—に關する事項を掌る) △食品部會(食糧部の主掌に關するものを除く飲食料品) △農林畜水産物部會(食糧部及食品部の主掌に關するものを除く) △農林水産物專用物品部會(農林畜水産物及飲食料品の生産に必要な專用物品に關する事項を掌る) △纖維部會(纖維原料—農林畜水産物の主掌に關するものを除く—第一次纖維製及織物に關する事項を掌る) △織維部會(莫大小製品、布帛製品其の他織維製品に關する事項を掌る) △日用品部會(紙及紙製品、ゴム製品、皮革製品、油脂製品、合成樹脂製品たる日用品に關する事項を掌る) △日用品部會(陶磁器、漆器、硝子製品、木竹製品、籐製品、金屬製品其の他日用品第一部の主掌に屬せざる日用品に關する事項を掌る) △車輛部會 △工作機械工具部會 △一般機械部會(工作機械及工具以外の機械) △鑄物部會 △鐵鋼部會(耐火煉瓦及マグネシア等を含む) △鑛山部會(非鐵金屬及非鐵金屬製品並に非鐵金屬鑛物非鐵金屬及鐵屬鑛物に關する事項を掌る) △輕金屬部會(炭素製品を含む) △無機化學品部會(炭素製品を含む) △有機化學品部會(ゴム及皮革を含む) △合成化

學品部會(石炭乾溜品—ガス及コークスを除く—コークス、分溜品及其の誘導品に關する事項を掌る) △燃料部會(家庭用燃料を除く) △醫藥品部會 △料金部會(修繕料其の他各種の料金に關する事項を掌る)

### 物價協力會議、明年度物價決定

【九日】中央物價統制協力會議は昨年十二月社團法人に改組するとも現下の經濟事情の簡素強力化をはかり(十九年一月—二十年三月)事業計畫を立案中であつたが今回(現下の情勢に即應する物價の基本方針を樹立)生活必需物資の價格及び供給確保に關する方針を樹立するとともにこれが圓滑なる運用に協力し、もつて國民決戦生活の確保を圖り(物價統制の周知浸透に努め國民をしてこれが維持勵行に積極的の協力せしむる如く指導すること、の三點を事業運營の基本方針として左の如く事業要目を決定した

一、軍需生産の急速増強を目的とする緊要物資に關する價格統制方針の樹立  
二、決戦生活確保の爲に採らるべき方策の樹立  
三、物價統制の面よりする財政、金融、勞務運輸に關する方策の樹立  
四、餘剩購買力吸收の強化徹底方策  
五、賃料に未組織勞働部門に於ける勞賃等、に諸料金統制の強化方策  
六、運賃の適正化方策  
七、戰時經濟犯罪の防止方策の樹立

並にその實施に對する協力  
五、物價に關する調査  
六、緊要物資の價格並に生産配給事情調査  
七、主要生活物資の價格並に生産配給事情調査  
八、生活必需物資配給實態調査  
九、その他物價に關する諸調査  
六、物價統制の趣旨徹底  
七、物價統制の趣旨徹底  
八、物價統制の趣旨徹底  
九、物價統制の趣旨徹底

【十二日】農商省に新設された物價協議會の初會合は十二日農商相官邸に開催、會長石農農商次官以下各官廳關係委員および幹事等約五十名參集、會長の挨拶に次いで今後の協議會運營方針につき意見の交換を行つた結果次の諸事項を申合せた

一、物價協議會に於て關係各廳が付議連絡すべき事項は物價協議會の設置せられた趣旨及過般の閣議決定「行政機構の改革に伴ふ物價政策の運營に關する件」

### 地方纖維製品配給機構整備方針

【廿五日】 纖維製品配給機構の整備については既に昨年十月八日の閣議決定にもつき中央配給統制機關の整備が行はれたが、農商省ではさらに引續き地方機關の整備を行ふこととなり、今回その整備方針を決定、廿五日附で各地方長官宛通牒した、これにより可及的速かに既存の都道府縣纖維製品小賣商組合聯合會は地方纖維製品配給會社へ吸収統合されと共に、地方纖維製品配給會社は近く統制會社令による統制會社に改組される、要旨次の如し

○織商聯は之を解散せしめ其の機能は之を地配會社をして承繼せしむること

○前統制會社の場合轉廢業者共助金は地配會社に肩代りを爲さしむると共に職員等に付ても之を整理し要すれば之が適當數を地配會社に引繼がしむること

○地配會社は之を統制會社令に依る統制會社と爲すこと

## 運輸交通

### 三、四月を海上輸送力非常動員期間に決定

【廿九日】 苛烈なる決戦下海上輸送の完遂は戦力増強の死命を制する重大問題なるに鑑み、政府は今回海上輸送力の非常動員を行ふこととなり、二十九日の閣議に五島運通相より、海上輸送力非常動員措置實施方針に關する件を提案決定したので三月一

日より直に實施することとなつた、今回の措置は國家總力の諸元をあげて海上輸送力の強化を實現せんとするものでこれがため三月及び四月の兩月を海上輸送力非常動員期間としこの期間に官民一致の強力なる現場奮勵によつて現行輸送量の二割方増送を極力實現することを目的とするものである、これがため運通省海軍總局では次の如き具體的の方策を決定して實施する

○航海日數の短縮

○荷役力の非常強化

○主要港灣における勞務者の絶對的確保

○荷役の効率増加

○各船の荷役責任者決定

○總揚制を擴充、以上の荷役力非常強化によつて主要港の港灣荷役力を現状よりも更に平均五割方引上げる方針である

○船員及び荷役勞務者の士氣昂揚

### 荷役機械動員實施要綱

【廿五日】 運輸通信省では戦局の苛烈化に伴ひ陸運轉輸物資の激増と配船の變更により中繼諸港の性格が著しく變化し、特に石炭輸送關係諸港の荷役能力を急速に増強することが緊要となつたのに鑑み、これが対策として荷役設備に機動性を發揮せしめ、ため荷役機械動員實施要綱を決定、廿五日の閣議に附議決定したので、廿五日の閣議に附議決定したので一部調査済みのものについては直に實施するとともにその他に關しては四月中旬中に調査を了し、三月下旬中に實施計畫を樹立することとなつた

官民所有の遊休又は緊要度低き荷役機械を緊急所要の港灣に重點的に再配置し荷役の機械化による中繼能力の飛躍的増強をはかることとしたもので、動員の對象となるべき荷役機

械は港灣、鐵道及倉庫其の他の附屬施設並に土木建築用機械にして官民所有の遊休又は比較的緊要度低きものとして主として捲上能力一噸以上又は動力十馬力以上の荷役機械を對象とし、製作中の荷役機械は前項に應じて取扱ふ

### 運送増産協力會設置

【三日】 決戦輸送完遂のためには輸送擔當者側の努力とともに廣く各方面部外者の協力が絶對必要なので運輸通信省では官民一體の輸送協力態勢を確立するため今回増送増産協力會を設置することに決定、三日附でもつて大政翼賛會各鐵道局長及び各地方長官その他關係方面に鐵道總局長官通牒を發した、各鐵道總局長官は遅くも本月中旬迄に増送増産協力會設立に關する諸般の準備を完了し、三月一日より活動を開始することとなつた、この協力會は運輸省鐵道總局業務局輸送課に總本部を、各鐵道局業務局總務課に本部を、各管理課輸送課及び運輸部營業課に支部を置き、第一線機構としては全國主要地區に約六百の増送増産地區協力會を設ける強力な統制組織でこれが通動によつて從來の小運送協力會に包括せしめられる筈である、なほ同會總本部長は鐵道總局長官、本部長は各鐵道局長、支部長は各管理部長が夫々就任する豫定である

### 大陸鐵道技術會議報告會

【九日】 運輸通信省では九日本省會議室において昨年十月十八日より五日に亘つて上海に開催された第四回大陸鐵道技術會議の報告會を開催し

たが、同會議は戦時下資材と要員の不足を技術的對策によつて克服することを目標に開催されたもので協議事項は日滿支鐵道關係戦時規格の統一の件をはじめ決戦下鐵道技術の向上、各鐵道の有機的連繫に資することの少なからず、今後具體的決定を俟つて逐次實施に移すこととなつてゐる、主なる報告事項左の如し

- 一、日滿支鐵道關係戦時規格の統一に關する件
- 一、大東亞鐵道連絡通信電線綜合計畫並に建設基準設定に關する件
- 一、鐵道技術要員の整備に關する件
- 一、土木工事の機械化促進に關する件
- 一、貨車増積の車輛及線路に及ぼす影響並にこれが對策に關する件
- 一、鐵道建築物の防空施設設計統一に關する件

## 會社團體

### 下期銀行會社の業績上昇

【八月】 昨年下期における主要銀行の業績は決戦下における企業經營の實態を示すものとして注目されるが、興銀では八月、昭和十八年下期本邦主要銀行會社業績調査(資本金百萬圓以上、年二回決算會社九百八十四

社に付調査)の中間報告を發表した右によれば昨年下期における會社業績は戦力増強企業整備の定施その他物産、勞務等の惡條件にも拘はらず五大重點産業を中心とする増産政策の強化、緊急物價對策の實施等により昭和十七年下期以來の沈滞傾向を脱却して顯著な業績上昇を示してゐる、まが注目される、すなはち

- 一、まが注目される、すなはち
- 一、九百八十四社の純益總額は八億四千五百餘萬圓對拂込資本利益率は一・五九%を示し、純益金は前年同期比六千九百萬圓、前期比五千百萬圓の増加に當る
- 一、しかし對拂込資本利益率は前期比〇・一二%の上昇に當り前年同期比においては〇・一二%の低落となつてゐるが、右は専ら拂込資本金の著増に基くものと見られる
- 一、収益率を部門別に検討すれば金融業の一・七八%、商業の一・七・六四%が依然最上位にあるが、これにおいて製造工業の一・二三%、運輸交通及び通信業の一・二四%、統制會社の一・〇四%、鑛業の九・三六%等何れも好調にあり、農林及び小産業の四・二五%が最下位にある、これを前期に比較すれば運輸交通及び通信業の一・一二%を始め鑛業、製造工業(特に重、化學工業)統制會社は顯著な上昇を示し、他方商業は〇・六七%の大幅低落となつてゐるが、金融業は金利の低下に拘らず金融機關の資金吸收及び運用總量の著増により引續き好成績持續し
- 一、次に下期の平均配當率は七・二三%で、前年同期比〇・一三%、前期比〇・〇四%を漸落、又平均内社

留保率は三三・二%と前年同期比〇・二%、前期比一・〇%の上昇であるが、これは政府の當統制並に固定資産銷却規則に基く利益金留保を示すものである(單位)金額百萬圓、率%、△印落)

昭十八 昭十七 昭十七  
△利益狀況 年下期 年上期 年下期  
拂込資本金 一四、九八〇 二、八九一 一三、四七  
純益金 八四五 七九七 七七六  
利益率 二・九 二・四 二・七

△配當狀況  
配當額 五七 五〇  
配當率 七三 七三  
△社内留保狀況  
社内留保額 三六〇 三六〇  
留保率 三三 三三  
△部門別今期利益率  
今期 前期比 前年同 期比

鑄業 九・五 〇・九 △一・三  
製造工業 三・三 〇・〇 △〇・七  
重、化學工業 三・三 〇・〇 △〇・七  
紡績工業 二・七 〇・〇 △一・五  
食料加工工業 一・五 〇・六 △一・三  
雜工業 一・五 〇・六 △一・三  
電氣及瓦斯業 六・八 〇・七 △〇・七  
運輸交通及 二・四 一・三 一・五  
通信業 一・二 〇・〇 〇・二  
農林及小産業 四・三 一・四 △一・〇  
金融業 一・七 〇・三 〇・三  
雜業 一・七 〇・三 〇・三  
商業 八・五 〇・〇 〇・〇  
統制會社 一・〇 〇・四 〇・〇

【十日】 昨年七月より實施された職力増強企業整備が如何なる形において企業合同を促進せしめてゐるかは企業整備の規模乃至速度を示唆するものとして注目されてゐたが、興銀

調査による昨年中における株式會社合併狀況によれば合併件數五百七十件、合併資本金合計七十八億七百萬圓に上り、前年比百六十件、二十九億三千萬圓を夫々著し戦力増強企業整備による會社合併形態の企業合同が促進されたことを反映して更に昨年中の會社合併狀況を月別に見れば七月以降において特に合併規模の増大を示し、この傾向を明確ならしめてゐる、しかしこれを業態別に見ると統制會社、金融業、主として銀行(保險)運輸交通業、化學工業、機械器具工業の各部門においての合併が殊に目立ち、戦力増強を目的とする決戦企業の再編成が急速調をもつて、進展したことを示してゐる、過去における會社合併は主として資本、資材、勢力等の側面より大社會による中小會社の吸收合併が行はれ、それによつて産業の合理化、弱小會社の整理を圖るところに重點があり、例へば昭和十六年における會社合併の最も大きな特徴は大資本の中小資本併合であり、十七年においては中小商工業の整理統合に特徴を見たが、戦力増強、企業整備の實施を見た十八年においては大企業たる中小企業たるを問はず、合併の重點が企業の徹底的戦力化に置かれた關係からこの意味の企業集中が大規模且つ急速に實施されたところに最大特徴を見出すことが出来る、昨年中における株式會社合併狀況左の通り(單位百萬圓、△印減、括弧内は一社當り資本金)

合併會社資本金 五、六六六 (一、九三〇)  
被合併會社社數 (二、五五〇) (三、〇〇〇)  
被合併會社資本金 二、二〇〇 一、〇七五  
合併被合併會社社數 一、四四五 三三  
合併被合併會社資本金合計 七、八七〇 三、九三二  
合併後資本金 七、五三三 二、八八六  
合併による資本減少 三三三 五五

昭和十 前年 比較  
八年 五七〇 一六〇  
合併會社社數 四三三 一三三

任友鑛山業を一元化

【廿二日】 住友財閥では地下資源の積極的開發を圖るべく傘下鑛山業の合理化を目指し左の通り經營の一元化を斷行することとなつた  
一、從來住友本社直轄の左記十一鑛業及び國富、元山の兩精鍊所を住友伊奈牛(銅、大藏(銅)、高原(珪酸鑛)、端川(砲化鑛)、永中(銅、珪酸鑛)、物關(螢石)、八十士(水銀)、安部城(銅)、大宮(銅)及び砥澤(銅、珪酸鑛)  
一、從來住友本社の子會社であつた左記四社を住友鑛業の子會社とする  
大日本鑛業、土肥鑛業、熱河螢石鑛業及び北支那産金  
一、右はいづれも二月一日より實施する、尙住友鑛業で右は一元化と共に機構強化を圖るべく人事異動を行つた

三井財閥重工業轉換態勢

【廿五日】 三井財閥では重工業への轉換態勢を整備するため豫てより三井物産の改組を主體とする同財閥中樞部の再編成を急いでゐたが、この程に至り諸般の準備を了し現物産の交易及び木材兩部門を切離して新設される新三井物産並に三井木材兩社に對する設立内認を得るに至つた  
○廿五日三井本館において三井物産の臨時總會を開催○同社を三井本館と名義變更すると共に新事業目的として三井關係會社の統理指導並に關係事業の整備助長を圖るため必要な定款變更の件を附議可決○交易及木材兩部門の讓渡に關する件を承認更に取締役及監査役の選舉を行つた結果左の諸氏が當選就任したが、こ

十九年度滿鐵豫算認可

【廿二日】 十九年度滿鐵豫算は大東亞省の審査を終了二十二日認可されたが、事業計畫及事業費豫算は陸運轉嫁物資増送の要請に應へ大陸鐵道強化を主眼とし一般鐵道輸送力の増強、採炭、製油施設の増強整備等生産力擴充のための諸施設に重點を置いたものであり、その大要は社内事業費四四〇、六三六千圓、社外事業費四四〇、六三六千圓、計六八四、九八六千圓と前年比一三六、四一八千圓の増加となつてゐる、右事業投資に要する資金は、政府拂込額一、二〇〇千圓、新規社債募集額四一〇、〇〇〇千圓、新外部資金の調達に依るの外社内保留金を以て支辨するものである、次に營業收支豫算は總收入一、四一八、五九五千圓、總支出一、三三六、二七八千圓、差引利益金一〇二、三一七千圓の見込であるが、業務量増加其他に依り收支共相當の膨脹を豫想せられてゐる、なほ今同資本金十四億圓は全額拂込済みとなり、來年度の資金計畫は、近く決定をみる筈である

三井本社の内容

△社名 株式會社三井本社(資本金三億四千四百九十五萬圓、内拂込二億四千七百三十六萬七千二百七十五圓)  
○事業 關係會社の統轄並に事業の整備育成を圖るため  
①三井關係會社の統理指導、監督、連絡  
②諸事業の整備育成  
③諸事業の調査、研究並に企劃  
④三井關係會社の人事の総合的調整等を行ふと共に有價證券其他財産の取得管理を目的とする  
○本店 三井本館内の舊三井物産本店をそのまま充てる、役員陣容 社長三井高公、常務理事小池正彪(舊三井物産會長)、同川嶋三郎(三井鐵山會長)、理事松本李三志(舊三井物産常務)、成瀨雄吾(三井鐵道方理事付)、參與理事住井辰男(前交易營業總裁、渡邊省二(三井生命會長、莊原和作(三井化學工業會長)、監事永島雄治(三井同族會理事)、取締役十郎以上代表取締役、住井辰男、渡邊省二、莊原和作、佐々木四郎、佐々木周一、塙勇太郎、松本李三志、成瀨雄吾、監査役二名、永島雄治、

島田盛雄(三井信託會長)

△新三井物産の内容 取締役會長には住井辰男氏(前交易警備副總裁、元三井物産常務取締役)に決定、來る三月一日より新發足することになった、資本金一億圓(全額拂込)その事業は舊物産より交易商事部門をそのまま繼承し、内外地の支店出張所網も舊物産の時代と全く同様である、而して新物産の株式は全額三井本社出資であるが、その内半数百萬株(五十圓)は本年三月廿一日現在の三井本社(舊物産)株主に對し舊株には一對一、第一新株には二對一の割合で一株に付五十圓(全額拂込)で分讓される、但し三井一家の株主については割當分讓を行はない

△重役陣は、取締會會長、代表取締役住井辰男、代表取締役宮崎清、同小室健夫、同山下樵會、同土岐正直、常任監査役高橋仰之

△三井木材の内容 三井財閥の機構改革に伴ひ物産より分離獨立する三井木材工業(資本金三千萬圓、全額拂込済)の創立總會は二十六日三井本館に開催、役員を次の如く選任した(括弧内舊職) △社長沼田考造(物産監督役)、△常務吉田源三(物産大坂支店次長)、鈴木佐平(燃料部長)、△取締役藤田一郎、宮島正泰、荷見晋、土居禎夫、鳥谷郡信夫、渡部鐵次、北本佐一郎、土岐正直、△監査役佐々木四郎、高橋清樞、山本憲介、高柳武勇

として三井鐵山、三井精機、三井化學、三井造船等の重化學工業部門の積極的擴充を圖る一方關係重工業部門との接觸を一層緊密化し更に必要に應じ戦力増強企業への積極的進出を圖る

緊急、南海合併

【廿六日】運輸通信省では陸運の強化を圖るためかねて私鐵統合を斡旋しつゝあつたが今回更に關西急行の兩社を來る六月一日を期して合併せしめることとなつた、合併條件は一對一で兩社とも解散して新會社を設立するが、新會社は資本金二億二千六百四十七萬圓、その經營する鐵道、軌道延長杆數は約七百杆に達し、名實ともに本邦第一の電鐵會社となるわけである、なほ新會社の商號、職制、定款等は兩會社の協議に依つて定める

工業社長)、篠山平馬(保土ヶ谷化學那山工場長) △札幌協力會 前川清(日本製鋼所蘭製所所長)、松岡源之助(松岡木材社長) △新潟協力會 入内愛七(新潟鐵工所社長)、橋浦彈三(不二越鋼材常務) △社長協力會 松田重次郎(東洋工業社長)、金行悦三(中國塗料事務) △松山協力會 小關良平(住友機械工業社長)、武藤幸治(丸善石油松山製油所長)

輕金屬優良工場表彰式

【十九日】輕金屬統制會では輕金屬の増産をはかるためマグネシウムについては昨年九月より十一月迄、弗化物及びピッチコークスについては同十月より十二月迄夫々三ヶ月間の増産強調期間を設定、業者を督勵しつゝあつたが、この程右成績を集計したところ多大の成果を収めたことが判明したので十九日九の内大東亞會館で同期間の優良工場並に個人の表彰式を舉行した、而して該表彰者の選定は物動計畫と増産期間実績、生産協定量と増産期間実績、機動率、歩當り及び一人當り生産高等に基いて決定されたもので該表彰者は個人八十七名、關東彈力以下四マダグネ工場、帝國火工以下十弗化物工場、海第一以下十一ピッチコークス工場である

航空工業會の地方組織整備

【九日】航空機の飛躍的増産を目ざして去る一月十六日發足した航空工業會では協力工場的重要性にかんがみ、全國九軍需監理部の區域毎に全協力工場を網羅した協力會を組織することとし、設立當時、未結成の仙臺、札幌、新潟、廣島、松山の五協力會の發會式を九日午後二時より新宿伊勢丹の同工業會本部において舉行、遠藤總裁事務取扱(航空兵器總局長官)の挨拶について片桐副總裁より役員を指名、懇談をかきながら同四時散會した、五協力會の會長、副會長は左の通り

土地改良功勞者表彰 【十九日】第二次緊急食糧増産對策の根幹をなす土地改良事業は目下官民協力の下に著しき進捗を示し目標完遂は略々確實視されるに至つたが中央農業會並に帝國新地協會では農

民の士氣昂揚をはかり本事業の完遂促進に資するため今回土地改良事業に關する功勞者の表彰を行ふこととなり、慎重審査中であつたが、この程個人八十三名、新地整理組合二、農事實行組合三、町村農會二、町村二、合計九十二點の被表彰者を決定、十九日中央農業會九の内別館に右傳達式を舉行した

十五日 科學動員協會にコバルト製錬協議會設置、技術院より發表さる、十六日 東京都商工經濟會、會社等臨時措置法施行に會社運営手續簡便化を建議、十七日 商工組合中央會戰時配給對策委員會を設置、十八日 中央農業會通常總會皇國農村確立と綜合生産計畫樹立を建議、廿一日 中央農業會廿三日より廿縣に食糧増産督勵班を派遣(日本中央蠶糸會蠶繭指導の責任制確立等二建議案可決)

經濟短信

一日 日本釣漁具統制組合創立理事長は小林絹治氏任命さる、三日 日興證券、川島屋證券合併内認可、七日 東京火災海上、帝國海上火災、第一機庫の三損保合併、安田火災海上設立認可、八日 帝國産金興業航空部門に進出したところ帝産航空工業と改稱、九日 山口縣水産業會設立、會長は尾形六郎兵衛氏任命(水産皮革統制會社改組認可(南日本漁業統制會社臺北に創立、社長有馬賴幸伯)、十日 吳羽航空工業株式會社(資本金二千萬圓、内拂込一千二百萬圓)創立、社長に伊藤忠兵衛氏決定(倉製鋼、淺野重工業を吸収合併)△日本鋼管機庫改革、十二日 中央農學會食糧増産供出本部食糧増産督勵運動決定、十四日 第一回中小工業戰力増強委員會開催、千葉、茨城、福島、鹽揚線網三縣協力會並に全縣の出荷、配給加工業者をもつて組織した鰯増産對策協議會では昭和十九年度鰯四億萬貫生産計畫達成のため資材増配並に勞務確保に關し貴衆兩院議長に要望

經濟指標

Table with economic indicators: 一月末乃至二月中 (前月比), 預金 (五、七〇〇, 五、一五〇), 貸出 (三、八、三五二, 四、三三二), etc.

公社債發行高 口收 三、〇〇七、七〇六、七九安

長期上場株時	四、三〇六	△三、六四五
價額(日圓)		
株指數	二〇八	一・七
數量指數	二九〇	七・六
流通代金指數	二七・九	九・四
株式	五・六	△0・11
國債	三、七六	△0・001
地方債	四、三三	△0・001
社債	四、三三	△0・01
勸業債券	四、三三	同
銀行債券	四、三三	同
東京御賣	三、六八	一・三
東京小賣	三、九	0・1
發行銀行券	九、六五	二九、六五
政府預金	三、三	九、九三
其他預金	三、三	三、三
政府貸上金	三、三	三、三
其他貸上金	三、三	三、三
現金及地金	三、三	三、三
國債及債券	三、三	三、三

金銀信託	三、三	三、三
國庫	三、三	三、三
信託	三、三	三、三
定期	三、三	三、三
活期	三、三	三、三
貯蓄	三、三	三、三
銀行	三、三	三、三
地方	三、三	三、三
地債	三、三	三、三
預金	三、三	三、三
貸付	三、三	三、三
金銀	三、三	三、三
定期	三、三	三、三
活期	三、三	三、三
銀行	三、三	三、三
地方	三、三	三、三
地債	三、三	三、三
預金	三、三	三、三
貸付	三、三	三、三

全國手形交換高	一、五五・九	△五、五
金銀	一、五五・九	△五、五
定期	一、五五・九	△五、五
活期	一、五五・九	△五、五
銀行	一、五五・九	△五、五
地方	一、五五・九	△五、五
地債	一、五五・九	△五、五
預金	一、五五・九	△五、五
貸付	一、五五・九	△五、五
金銀	一、五五・九	△五、五
定期	一、五五・九	△五、五
活期	一、五五・九	△五、五
銀行	一、五五・九	△五、五
地方	一、五五・九	△五、五
地債	一、五五・九	△五、五
預金	一、五五・九	△五、五
貸付	一、五五・九	△五、五

定期	一、五五・九	△五、五
活期	一、五五・九	△五、五
銀行	一、五五・九	△五、五
地方	一、五五・九	△五、五
地債	一、五五・九	△五、五
預金	一、五五・九	△五、五
貸付	一、五五・九	△五、五
金銀	一、五五・九	△五、五
定期	一、五五・九	△五、五
活期	一、五五・九	△五、五
銀行	一、五五・九	△五、五
地方	一、五五・九	△五、五
地債	一、五五・九	△五、五
預金	一、五五・九	△五、五
貸付	一、五五・九	△五、五

定期	一、五五・九	△五、五
活期	一、五五・九	△五、五
銀行	一、五五・九	△五、五
地方	一、五五・九	△五、五
地債	一、五五・九	△五、五
預金	一、五五・九	△五、五
貸付	一、五五・九	△五、五
金銀	一、五五・九	△五、五
定期	一、五五・九	△五、五
活期	一、五五・九	△五、五
銀行	一、五五・九	△五、五
地方	一、五五・九	△五、五
地債	一、五五・九	△五、五
預金	一、五五・九	△五、五
貸付	一、五五・九	△五、五

# 文化

## 長慶天皇御陵御治定

【二月十一日】長慶天皇御陵並に皇子承朝王の御墓は左の如く御治定、十一日紀元の佳節を卜し宮内省から發表された

宮内省發表(二月十一日)  
長慶天皇の陵左の通定めらる  
長慶天皇陵  
京都府京都市右京區嵯峨天龍寺角倉町

長慶天皇の陵名左の通定めらる  
嵯峨東陵  
宮内省發表(二月十一日)  
承朝王の墓左の通定めらる  
承朝王墓  
京都府京都市右京區嵯峨天龍寺角倉町

【五日】△日本海員救済援護會に御下賜金△三笠宮殿下神宮御參拜△朝香宮誠彥王殿下初御參内

【八日】ブルガリア國公使ヤン・ベネフ氏歸國につき賜謁  
【十日】賀陽宮邦壽王殿下南方第一線より御歸還  
【十一日】紀元節祭御親祭△社會事業九百團體へ御下賜金  
【十四日】皇后陛下大宮御所行啓  
【十六日】長慶天皇御陵に勅使御差遣△日赤社特志看護婦人會總裁梨本宮妃殿下並に各宮妃殿下新防空戰開展

## 宮廷

## 錄事

## 一般

【十七日】宮中新年祭  
【廿日】三笠宮殿下戰艦獻納帝國藝術院會員特別展覽會御成り  
【廿一日】仁孝天皇御例祭  
【廿二日】皇太后陛下宮城行啓  
【廿三日】長慶天皇嵯峨東陵御決定奉告儀(同御陵に於て)  
【廿四日】河瀬四郎、下村勝美兩海軍中將以下歸還六提督に賜謁△大久保利隆公使に賜謁  
【廿六日】香羽侯爵邸へ勅使御使御差遣△第六垂水丸遭難者に御救恤金下賜  
【廿八日】黃興農部大臣に賜謁△岩村法相以下司法長官會議參集百二十七名に賜謁  
【廿九日】比律賓國特命全權大使ホルヘ・ビ・ヴアルカス氏信任狀捧呈の爲參内

【十六日】畏き邊りでは十六日陸軍中將佐伯文郎氏以下陸海五將星に對し左の如く定期敍勳の御沙汰あらせられた

陸軍中將勳二等 佐伯 文郎  
同 西山福太郎  
同 田 結 稜  
陸軍中將 同 佐藤 幸徳  
海軍中將 同 西村 祥治

【十日】書籍出版部部門の企業整備は十日情報局で開かれた日本出版會の資格審議會の結果愈々大詰めの段階に入った、即ち企業整備の對象たる一千七百七十七名の日本出版會々員中統合資格者として指定された者九百六十六名(百五十五名の世話人を含む)を中心に概ね二百を超えない新事業體の結成を目指し、去月廿五日締切つたところ正式に統合申告の届出をしたものが、百四十四でその内申告内容の不十分なものが廿四であった、これは昨年十月以降十二月までの用紙使用量六千ポンド以上たことおよび新事業體結成に最低四社以上たこととの要件を缺くもので、日本出版會ではこれに對し、來る廿日まで要件を完全し新事業體を結成しないものには指令を發して整理を行ふ旨態度を明確にした、なほ十日現在ではこの不完全申告三十四のうち十五が略々新事業體が確實である、また一元的統合によつて残つてゐる教科書、兵書、講義録關係ならびに地方的考慮によつて殘されてゐる地方出版社は現在八十四社あるが、これが整理に關しても追つて近日發表の豫定である

【十日】昭和十八年度「情報局國民演劇選奨」に散在してゐる國寶の半数以上を管内に擁する京都府ではこれら多數の作品を上演したが、この情報局總賞は文學座の「加賀見山簫繪」からその具體的方針を決定、近く次(十二月新橋演舞場)に、情報局賞は

出版整備大詰へ  
【十日】書籍出版部部門の企業整備は十日情報局で開かれた日本出版會の資格審議會の結果愈々大詰めの段階に入った、即ち企業整備の對象たる一千七百七十七名の日本出版會々員中統合資格者として指定された者九百六十六名(百五十五名の世話人を含む)を中心に概ね二百を超えない新事業體の結成を目指し、去月廿五日締切つたところ正式に統合申告の届出をしたものが、百四十四でその内申告内容の不十分なものが廿四であった、これは昨年十月以降十二月までの用紙使用量六千ポンド以上たことおよび新事業體結成に最低四社以上たこととの要件を缺くもので、日本出版會ではこれに對し、來る廿日まで要件を完全し新事業體を結成しないものには指令を發して整理を行ふ旨態度を明確にした、なほ十日現在ではこの不完全申告三十四のうち十五が略々新事業體が確實である、また一元的統合によつて残つてゐる教科書、兵書、講義録關係ならびに地方的考慮によつて殘されてゐる地方出版社は現在八十四社あるが、これが整理に關しても追つて近日發表の豫定である

井上演劇道場の「太平洋の風」(九月明治座上演)、文學座の「田園」(十月國民新劇場上演)、前進座の「沈黙艦沈」(十二月東京劇場上演)が決定十日情報局から發表された

國民映畫六作品決る  
【十四日】情報局では松竹、東寶、大映の三劇映畫製作會社の作品に就いて優秀作品の審査を行つてゐたが十八年度分には總裁實に該當するものなく、左の三作品に情報局賞を授與することとなり、近く授與式を行ふ、なほ十八年度分として審査された總数は三十八本でその中、完成上映されたもの二十二本、未完成のものから左の六作品が國民映畫として選定された

△情報局賞(二千圓)  
「海軍」演出田坂具隆、松竹作品  
「決戦の大空へ」演出渡邊邦男、東寶作品  
「愛機南へ飛ぶ」演出佐々木康、松竹作品  
△國民映畫選定作品  
△愛機南へ飛ぶ(松竹)  
△決戦の大空(東寶)  
△秘めたる覺悟(東寶)  
△熱風(東寶)  
△海軍(松竹)  
△出征前十二時間(大映)

情報局國民演劇選奨決る  
【十五日】敵の盲爆に備へ全国各地に散在してゐる國寶の半数以上を管内に擁する京都府ではこれら多數の作品を急速に分散疎開せしめる必要からその具體的方針を決定、近く次(十二月新橋演舞場)に、情報局賞は

【十日】昭和十八年度「情報局國民演劇選奨」に散在してゐる國寶の半数以上を管内に擁する京都府ではこれら多數の作品を上演したが、この情報局總賞は文學座の「加賀見山簫繪」からその具體的方針を決定、近く次(十二月新橋演舞場)に、情報局賞は

た、即ち疎開の對象となる國寶は繪畫六百三十九點、彫刻七十七點、文書四百八十一點、工藝四十七點、計一、二四四點であるが、本年度分としてはその内五三九點で三月末まで洛南某寺に疎開させるが盜難火災其の他種々の災害防止のため監守を常駐せしめる等保全に萬全を期することになつてゐる、なほ府ではこれと同時に管内史蹟、名勝、庭園等が爆撃により損傷を受けた場合直ちに應急修理を施せるやう詳細な實地測量を行ふこととなり本年度は金開寺、大徳寺等市内七ヶ寺の庭園に實施する運びである

全國て十九劇場閉鎖

【廿九日】内務省では廿九日の閣議で決つた決戦非常措置の具體策として高級享樂停止第四項の大都市における高級興行歡樂場を一時停止することに、高額の金(税共五圓以上)の興行を抑制する方針に従ひ大日本興行協會と打合せた結果、東京の帝劇、歌舞伎座、大阪の中座、京都の南座をはじめ少女歌劇の殿堂寶塚劇場等全國を通じ左の十九劇場が戦力増強に強ひられて一時自發的に閉鎖する、また入場料五圓(税共)以上の劇場は休業するか或は三月五日から料金を五圓未満に引下げなければならぬことになつた

学術

初の恩賜發明獎勵賞決る

【九日】帝國發明協會では去る昭和十一年の明治節を期して恩賜發明獎勵金に依る「合成ゴム發明懸賞募集」を實施、審査中のところ、京都帝國大學助教(同帝大化學研究所員)古川淳二氏を初め増尾富士雄、塚本正、隅谷威雄、三宅毅、川田茂藤原好次七氏を初の恩賜發明獎勵賞及び恩賜發明獎勵金授賞者と決定來る三月中旬榮ある賞牌並びに賞金(一萬圓)をそれぞれ授賞することになつた

に則り第一次審査の結果四十七件を撰び、さらにわが國技術最高審議機關たる科學技術審議會に委嘱、科學動員協會理事多田禮吉氏を委員長とする三十名の權威者を網羅した「臨時科學技術者表彰調査委員會」慎重な審査が行はれたのである、なほ今回の表彰には既にこれまで敍勅された他官民表彰を受けたものは除外せられ、眞に埋れた科學功績者が主眼とされた、榮ある受賞者は左の如くである

- 一、量的天氣豫報の研究 中央氣象臺 高橋浩一郎
- 二、附具工製製作法の研究 財團法人東邦産業研究所 田中 武次
- 三、潤滑技術の普及向上 財團法人潤滑技術研究所 殿村 秀雄
- 四、生ゴムよりの潤滑油製造の研究 及工業化 東亞燃料工業株式會社 降旗三七男 古賀 雄造
- 五、轉寫式チツソライト(登録商標)の考案 川西航空株式會社 山路規矩夫
- 六、特殊大型プローチの發明製造 不二越鋼材工業株式會社 岩森作藏、同鹽谷一馬、同澁谷健二、同奥田清久、同石坂榮輔、同藤野勇吉
- 七、引拔鉗給機式の製作 立川飛行機株式會社 安田 治馬
- 八、發動機製造用各種専用工作機械の設計及戰時型工作機械の立案 三菱重工業株式會社 〇航空機製作所 佐藤 仙一
- 九、造船材料としての木合板及積層

初の技術院賞授賞者発表

【十一日】技術院ではかねて、研究室たると生産現場を問はず科學技術動員に挺身、戦力増強に赫々たる業績を挙げつつある科學技術者に對し國家的感謝を表明し、さらに一層の奮闘鞭撻をはかるため、昨秋技術院賞を設置、關係各省、外郎團體から優秀科學技術者の推薦を求め慎重審査の結果、榮譽ある第一回技術院賞表彰者二十名を決定、紀元節の十一日午前十一時から華族會館で晴れの式を執り、技術院賞表彰式を舉行、井上技術院總裁から賞状及び副賞一萬圓をそれぞれ被表彰者に授與した、今回の審査は推薦件數七百十三件の多數ののぼり何れも大東亞戰爭に直接戦力増強に寄與するものであつたが、技術院では特に慎重嚴正な審査方針

- 一、量的天氣豫報の研究 中央氣象臺 高橋浩一郎
- 二、附具工製製作法の研究 財團法人東邦産業研究所 田中 武次
- 三、潤滑技術の普及向上 財團法人潤滑技術研究所 殿村 秀雄
- 四、生ゴムよりの潤滑油製造の研究 及工業化 東亞燃料工業株式會社 降旗三七男 古賀 雄造
- 五、轉寫式チツソライト(登録商標)の考案 川西航空株式會社 山路規矩夫
- 六、特殊大型プローチの發明製造 不二越鋼材工業株式會社 岩森作藏、同鹽谷一馬、同澁谷健二、同奥田清久、同石坂榮輔、同藤野勇吉
- 七、引拔鉗給機式の製作 立川飛行機株式會社 安田 治馬
- 八、發動機製造用各種専用工作機械の設計及戰時型工作機械の立案 三菱重工業株式會社 〇航空機製作所 佐藤 仙一
- 九、造船材料としての木合板及積層

疎開標語決る

【廿九日】都防衛局では一刻を争ふ帝都疎開を推進する疎開標語を募集中であつたが、全國から集つた三萬二千五百八十八通中全通を豫選、内務省警視廳都防衛局の關係官廳で審査した結果一等一點、二等三點、三等十點佳作三十五點を決定した、一等當選左の如し

「待たない空襲待てない疎開」

雜誌整備進捗

綜合雜誌六誌の進路決定【十八日】出版界の企業整備は目下日本出版會を中心に着々すすめられ雜誌部門の綜合雜誌はすでに現存六誌を中央公論、現代、公論の三誌残存に整備を決定、いよいよ四月號から新發定する、また整備された改造、文藝春秋、日本評論はそれぞれ時局、經濟、文藝専門雜誌に轉身、ひきつづき編輯陣を強化して思想戦線に進發する

十九年度第二回國寶指定

【廿九日】文部省では十九年度第二回國寶指定、同維持修理補助などを諮問、審議の結果、東京都藤山愛一邸即表門、香川縣高松城、同覺院、福智院、奈良市法隆寺中院、同市福智院、同法隆寺南門、和歌山縣八幡神社境内天神社本殿拜殿樓門、同縣法藏寺鐘樓、の八建造物を新たに國寶に指定、また水戸、久能山の兩東照宮社殿には追加國寶指定を、長野縣淨光寺藥師堂ほか五件の

【廿八日】日本出版會の資格審査會では引き続き各部門別に存續誌の資格審査を進めてゐたが、このほど「時局雜誌」「畫報寫眞報道雜誌」「國民大眾雜誌」「少國民雜誌」「娛樂雜誌」の五部門に於ける殘存誌を次のやうに決定二十八日發表した

「尙婦人雜誌」の整備に就いては數日中決定をみる豫定であるが、このほか「職能雜誌」及び、「特殊雜誌」も既に八分通りの決定を見てゐるの

國寶維持修理建造物指定をそれぞれ決定、二十九日發表した

(品川區) 山口秀夫作



材の應用

株式會社千葉工作所 千葉 四郎

一〇、電氣演算に關する發明 伊藤 努

一一、鹽酸ゴム及びニールプブラー  
ルレンに關する研究 植田 辰男

一二、研削砥石に關する研究 岡井 弘

日本陶器株式會社 同 杉田 辰男

一三、鐵觸媒による人造石油の半工  
業的製造試驗 北海道人造石油株式會社

江口孝、同常岡俊三、同永  
津勝夫

京都帝國大學化學研究所 兒玉信治郎、同田原秀一

一四、サントニンの研究及製造 日本新藥株式會社 市野瀨 港

一五、マグネシウムの研究及事業化 朝日輕金屬株式會社 浦野 三朗

一六、アルミナ生産上の各種改良 昭和電工株式會社〇〇工 場岡澤鶴治外從業員一同

一七、軸承球用鋼材製造に關する研  
究 日本製鐵株式會社〇〇製鐵所 森寺 一雄

一八、輕合金板冷延技術の完成 東洋鋼板株式會社下松工 場中山克己外從業員一同

一九、稗利用に關する研究並指導 財團法人東亞農業研究所 小原哲二郎

二〇、X線間接攝影法の研究 東北帝國大學 古賀 良彦

恩賜賞、學士院賞授賞者決定

【十七日】 學界最高の榮譽たる恩賜

賞ならびに帝國學士院賞の本年度授  
賞者は昨秋來帝國學士院銓衡委員會  
で慎重審議中であつたが、このほど  
決定、東京帝大名譽教授緒方知三郎

博士に、帝國學士院賞は農事試驗場  
長寺尾博、大阪帝大教授佐々木申二、東京帝大  
教授落合英二、中央氣象臺技師畠山  
久尙の五博士にそれぞれ授與される  
ことになつた

△恩賜賞 「唾液腺の内分泌に關する研究」  
東京帝國大學名譽教授 醫博 緒方知三郎

△帝國學士院賞 一、「水稻冷害の生理學的研究」  
農事試驗場技師場長 農博 寺尾 博

二、「毒毒の化學的研究」 大阪帝大教授 理博 小竹無二雄

三、「化學反應の微細機構に關する  
研究」 京都帝國大學教授 理博 佐々木申二

四、「芳香族複素環鹽基に關する研  
究」 東京帝國大學教授 藥博 落合 英二

五、「地磁氣渦型變化の研究」 中央氣象臺氣象技師 理博 畠山 久尙

要申告科學技術者範圍等  
指定

【十九日】 國民職業能力申告令の劃  
期的改正により、科學技術者の申告  
は一般國民登錄とは別個に近く實施

されるが、來る二十二日實施される  
改正後初の國民登錄にはとくに科學  
技術者の登録を包含せしめることと  
なつたので、厚生省では十九日改正  
國民職業能力申告令第二條第二號に  
基く(一)學校、(二)科學技術に關する學  
科、(三)指定學校において厚生大臣の  
指定する科學技術に關する學科を修  
め、その學校を卒業したる者と同等  
以上の學力ある者を左の如く指定、  
要申告者たる科學技術者の範圍を明  
らかにした

△厚生大臣の指定する學校  
大學—(一)大學の工學部、理工學部、  
理學部、農學部、文學部及法文學部  
(二)文理科學部、(三)京城帝國大學理工  
學部、農學部及文政學部、(四)旅順工  
科大學  
高等師範學校—(一)高等師範學校、(二)  
女子高等師範學校  
專門學校—(一)工業に關する專門學校  
①理學に關する專門學校、②東京女  
子大學、③農業及水産業に關する專  
門學校、④朝鮮及臺灣の工業、農業  
及水産業に關する專門學校、⑤南滿  
洲工業專門學校、⑥旅順工科學堂、  
⑦旅順工科大學附屬工學專門部  
⑧厚生大臣の指定する科學技術に關  
する學科

大學—(學士の稱號を得たる者に限  
る) (一)機械工學科(機械學科を含む)  
(二)船舶工學科(造船學科を含む) (三)  
航空學科(航空工學科及航空機工學  
科を含む) (四)造兵學科(精密工學科  
及火兵科を含む) (五)電氣工學科(電  
氣學科及通信工學科を含む) (六)應用  
化學學科(電氣化學科、化學工學科  
及工業化學科を含む) (七)採礦冶金  
學科及染料化學科を含む) (八)土木工學科(土

木科及農業土木工學科を含む) (九)建  
築學科(建築學科、金屬學科、金屬  
工學科を含む) (一〇)窯業科、(一一)紡  
織科(機織科を含む) (一二)纖維工業  
科(人造纖維科) (一三)醸造學科、(一  
四)木材工學科、(一五)印刷工學科、(一  
六)印刷工藝部を含む) (一七)工業經  
營科、(一八)數學科、(一九)物理學科、  
(二〇)化學科、(二一)寫真理學科、(二二)  
農學科(農業殖殖學科を含む) (二三)  
林學科、(二四)農藝化學科(二五)農業工  
學科(農業土木學科を含む) (二六)織  
維學科(纖維化學科を含む) (二七)魚  
撈學科、(二八)製造學科(二九)養殖學科  
△厚生大臣の指定する學校に於て厚  
生大臣の指定する科學技術に關する  
學科を修め其の學校を卒業したる者  
と同等以上の學力ある者、(一)農商省  
水産講習所卒業者、(二)中央氣象臺附  
屬氣象技術官養成所卒業者(元測候  
所技術官養成所卒業者を含む) (三)各  
種學校卒業者(四)東京高等工業學校  
卒業者(昭和十四年以後の畫間部第  
一部卒業者に限る) (五)名古屋高等  
工科學校卒業者(昭和十四年以後の  
畫間部高等科卒業者に限る) (六)武藏  
高等工科學校(昭和十四年以後の本  
科卒業者に限る)

文部辭令

【四月】 信夫 淳平  
帝國學士院規定第二條に依り  
を以て帝國學士院會員被仰付  
勅旨



文士は工場寄宿舎の舎監に

【廿八日】日本文學報國會では産報中央本部と圓り廿八日午後零時三十分から東京日比谷松本樓で文士轉進懇談會を開催、産報小畑理事長はじつ情報局井上文藝課長、翼贊會福田文化部副部長、文報久米事務局長、中村常務理事その他會員文士廿三氏が懇談の結果、いよいよ第一回「轉進先遣部隊」が關東一圓の重要工場寄宿舎舎監として送り出されることに決つた

教育

學徒軍事教育強化要綱發表

【四日】文部省では昨年十月閣議で決定した「教育に關する戰時非常措置方策」に伴ひ且學徒の出陣、徴兵適齡引下等現下の實情に即應するため學校における軍事教育の強化整備を圖るべく昨年末陸海軍當局と緊密な連絡の下に研究中のところ、成案を得たので四日の閣議に岡部文相よりこれを説明決定したので午後三時文部省から「學徒の軍事教育強化要綱」として次の如く發表した、今回決定した學徒軍事教育強化要綱の狙ひは、従來學校で實施し來つた軍事教育の内容を一層刷新整備し全般的に益々基礎訓練の徹底を圖るとともに特に大學、高等專門學校等においては初級士官として必要な指揮能力を向上せしめる一方特定の一般教育に對し航空訓練、機甲訓練等の特別訓練の強化を圖つて學徒即強兵と

して明日の出陣を待機しつつある決戦下學徒の訓練に遺憾なからしめ、戰爭遂行力の増強を期せんとするものであり、更に新に軍事教育の時間を設け初級戰術、戰史等の軍事學、銃砲、彈藥、化學兵器、自動車、戰車、軍用通信器、飛行機、電波兵器の構造、機能手入、取扱及調整等を習得せしめんとする兵器等、又醫科の學徒には衛生勤務、防空救護、健兵對策、航空醫學等を内容とする軍陣醫學等を課することとし、これに伴ひ教練時數も理工科系の學校では五割以上、法文科系では十割以上の増加となつてゐる、右は大正十四年に學校教練の制度が實施され、昨年九月その内容を一部改正して以來の劃期の改革であつて軍國非常の秋その成果は當面の戦力にも直接至大な影響を齎すものとして多大の期待がかけられてゐる、今回決定された軍事教育強化要綱は來る四月から實施することを目的としてゐるが、四月を待たず實施可能なものは直ちに着々實施し、また今後の情勢に應じて必要あらば更に一層の強化擴充が行はれることになつてゐる

に賜りたる勸諭を始め軍人たるに必要なる精神的要素の取入を一層増強し教練特別訓練勤勞員等と相俟つて軍事能力の強化向上を期す

2. 教練強化の内容

國民學校より大學を一貫する教練内容を検討し其の教育體系を整備擴充す、之が教練に充當する時間は中等學校に在りては現在程度とし大學高等專門學校中理工科系に在りては現在の五割程度以上を増加し同法文科系に在りては十割以上を増加す(別表)

但し軍事講習、聯合演習は現在の通りとす

國民學校の教練は之を強化し初歩の軍事的基礎訓練の徹底を期す

新に初歩の通信基礎教育(手旗及モールス信號等)を加ふ

青年學校の教練は愈よ之が充實強化を圖り實戰即應の基礎訓練を徹底せしむ

新に通信基礎教育を加ふ

中等學校の教練に於ては一層實戰即應の基礎訓練を徹底せしむ

高等專門學校の教練は更に基礎訓練の徹底を期し且指揮能力の向上を圖り特定の一般學生を歩兵重火器、通信の教練を課す

大學の教練は指揮能力を一層向上せしめ特定の一般學生に火砲の教練を課す

大學高等專門學校に於ては概ね毎週一回半日若くは終日連續教練を課す

前掲の特業的教練を課すべき人員は總員の一割を目途とし其の訓練に充當する時間は一般教練時數の三分の一程度を原則とす

特別訓練を左の如く實施す

航空訓練を重點的に強化し其の達成目標を左の如くす

中等學校 滑空訓練初級

高等專門學校大學 滑空訓練中、上級部操縱訓練

訓練人員は航空勤務適格者中軍の必要を基礎として決定す

本訓練の爲左の如く教練時數を充當す

中等學校 第三學年以上毎學年三十時

高等專門學校 教練時數の二分の一

大學 教練の全時數

指導者及資材に關しては其の強化整備を圖るものとす、本訓練の外國國民學校以上各學校各教科を包轄一貫せし航空教育體系を樹立し綜合的に航空教育を強化す

機甲訓練は更に強化を圖り大學高等專門學校に在りては特定の一般學徒に對し教練時數の二分の一を充當す

軍事教育を左の如く實施す

軍事學

大學高等專門學校に於ては初級士官たるに必要な初級戰術、戰史其他所要の軍事學の概念を課し充當すべき時間は在學中を通じ概ね五十時間とす

兵器學

大學高等專門學校中理工科系に於ては技術將校たるに必要な兵器學高等專門學校中法文科系に於ては初級士官たるに必要な兵器學を課し充當すべき教育時間は在學中を通じ大學、高等專門學校中理工科系は六十時間、高等專門學校中法文科系は三十時間とす

化學兵器、自動車、戰車、軍用通信器、飛行機、電波兵器の構造、機能、手入、取扱及調整等を課するの外、兵器關係工場の講習を課するものとす

但し兵器關係工場實習に要する時數は前項の時間外とす

軍陣醫學

醫科系學校に之を課し其の内容は軍陣醫學、衛生勤務、防空救護、健兵講座、航空醫學講座とす

教育時數に關しては別途研究す

獸醫系の學徒に對しては右に準じ之を課す

二、教授力の擴充

①教授力の擴充強化の爲教練教師の配置を適正ならしめ其の充實を期す

②優良なる教練教師を補充する爲其の任用の制度を改善すると共に待遇の向上を期す

③教練教師の資質向上の爲適切な再教育を實施す

三、學徒の體力向上

軍事上の要求に鑑み學徒の體力向上一段の刷新をなし特に保健施策を一層強化刷新す

一、實施時期は昭和十九年四月を目途とするも實施可能なものに在りては可及的速かに之が實施を圖るものとす

(備考)

①、海軍關係の軍事教育に關しては海軍軍事教育令に基き大學高等專門學校の最高學年の學徒に對し軍事講義(航空術、航海術、運用術、砲術、水雷術、通信術科學技術と新式兵器海軍組織軍艦の重要性)年三十時間を課す

②、諸般の情勢に應じ將來教練時數を更に増加することあるべし

第一方針

現戰局に對處し徴兵適齡低下に即應せしむる爲學校に於て軍事教育を強化し一層基礎訓練の徹底を圖り特に大學高等專門學校に在りては更に指揮能力を向上せしむると共に特別訓練の強化を圖り以て當面の戰爭遂行力の増強を期す

第一方針

現戰局に對處し徴兵適齡低下に即應せしむる爲學校に於て軍事教育を強化し一層基礎訓練の徹底を圖り特に大學高等專門學校に在りては更に指揮能力を向上せしむると共に特別訓練の強化を圖り以て當面の戰爭遂行力の増強を期す

第一方針

現戰局に對處し徴兵適齡低下に即應せしむる爲學校に於て軍事教育を強化し一層基礎訓練の徹底を圖り特に大學高等專門學校に在りては更に指揮能力を向上せしむると共に特別訓練の強化を圖り以て當面の戰爭遂行力の増強を期す

第一方針

現戰局に對處し徴兵適齡低下に即應せしむる爲學校に於て軍事教育を強化し一層基礎訓練の徹底を圖り特に大學高等專門學校に在りては更に指揮能力を向上せしむると共に特別訓練の強化を圖り以て當面の戰爭遂行力の増強を期す

(別表) 軍事教育強化に伴ふ教授(授業)時數

學校種類	初等科	高等科	青年學校	中等學校尋常科	師範學校	青年養成所	專門學校	實業養成所	臨時教員養成所	高等師範學校	育科
國民學校	初等科	高等科	青年學校	中等學校尋常科	師範學校	青年養成所	專門學校	實業養成所	臨時教員養成所	高等師範學校	育科
學科	初等科	高等科	理科	理科	理科	理科	理科	理科	理科	理科	理科
時數	三三	三三	五	四	四	四	四	四	四	四	四
一年	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇	九〇
在學期間	一八〇	一八〇	四一〇	四一〇	四一〇	四一〇	四一〇	四一〇	四一〇	四一〇	四一〇
軍事學											
兵器學											
軍陣醫學											
獸醫學											

軍事科學通信訓練  
五、六年に於て通信訓練を課することを得  
各學校に於て所要の通信訓練を課す

21右に同じ  
十時(毎週二時相當程度軍事科學を課す)

獸醫科には別に定むる所に依り軍陣獸醫學を課す  
別に定むる所に依り軍陣醫學を課す

學科	法文科	理科	農工	醫科
法文科	三三六	二二二	二二二	二二二
理科	二二二	二二二	二二二	二二二
農工	二二二	二二二	二二二	二二二
醫科	二二二	二二二	二二二	二二二
計	(一週二〇)	(一週二〇)	(一週二〇)	(一週二〇)

「備考」○本表中在校時間數は實施すべき最小限を示すものとす、事情に依り在校時間數を減少せざる範圍に於て一年時數、毎週時數を變更することを得○本表の毎週時數は其の學校に於ける一單限を以て一時間と看做す○本表の外野外演習、聯合演習、軍事講習及師範學校に於ける教習は從來の通り實施し、大學、高等專門學校に於ては必要に依り現地教育、幹部實設演習等を課することを得○軍事學及兵器學は在校間に實施すべき標準を示したるものとす○學校種別に記載せざる學校に在りては其の程度に依り之に相當せるものに準じて實施するものとす、夜間に於て授業を行ふものは中等學校に在りては土地の事情に依り努めて晝間三時の教練を課し專門學校に在りては概ね從來の時數に依るものとす、女子の學生に對しては國防訓練の充實を圖るものとす○法文農系學生にして身體の故障の爲徵兵を猶豫せられたるものに對しては本時數の一部を保健的體育に充つことを得○本表中在校間時數計劃の括弧は現行の時間數を示す

大學、高等專門學校に海軍武官の派遣を得て最終學年學校に對し卅時間の海軍軍事教育を課することとなり、右に伴ふ海軍軍事教育令施行規則、海軍軍事教育實施要領を左の如く發表した、即ち文部省では昭和十四年以來海軍省と協力し師範學校高等師範學校文理科大學等に對し海軍將校の派遣を受けて海軍に關する軍事講義を課し、更に昨年以來師範學校については最終學年に約十時間の軍事講義のほか海軍鎮守府、警備府等と連絡し男子生徒は五日間、女子生徒は三日間海軍生活の體驗見學を實施するなど海軍に關する知識涵養と訓練に方めて來たのであるが十一月十三日海軍軍事教育の勅令が公布され之に伴ひ今回文部省、海軍省令による海軍軍事教育令細則が制定されるに及んで大學、高等專門學校の最終學生に對しても海軍軍事教育が課せられ航空術、航海術、運用術、砲術、水雷術、通信術その他海軍軍事問題に對する基礎的教育を實施し國軍の急に赴く兵學一如の態勢を確立した猶中等學校については修練の時間中に第一、二學年は五日間上級學年は一週間の海軍軍事講習を行ひ青年學校についても目下研究中であるが、學生に對する海洋教育訓練に

【五日】 文部省では今春四月新學期

大學、高等專門學校に海軍軍事教育實施

ついではこの外文部省及び海軍省指導の下に組織された大日本海軍海軍教練振興會の機關により海軍鎮守府警備府航空隊等の協力を得て毎年定期若くは臨時の各種訓練を實施し、着々海に對する學徒の熱意を昂揚せしめてある、斯くして學徒に對する軍事教育は四日發表された學徒軍事教育強化方策と相俟つて陸に海に空に益々強化充實される譯である

官立專門學校志願者増加

【八日】十九年度官立專門學校入學志願者は去る一月三十一日に締切られ、來る三月十七、十八兩日一齊に入學試験を施行するが、今年の志願者は全般的に昨年より増加、七人に一人(昨年は五人に一人)となつた、醫學は募集人員を増加したにも拘はらず九・五人に一人といふ最高競争率で高工(一部)は七・三倍、農林蠶糸六・八倍、藥專五・六倍となつてゐるが外語は東京六・二倍、大阪五・四倍、美術音樂五・六倍と下位である

△科學技術と新式兵器△海軍組織△軍艦外務令△海軍戰略戰術の概要△東亞戰爭に於ける帝國海軍特に海軍航空の重要性

△私立專門學校たる普成、延禧、東化、明倫の四校は共に新學年の生徒募集を停止し新たに京城拓殖經濟專門學校(假稱、生徒募集定員二百名)、京城工業專門學校(假稱、生徒募集定員五百五十名)の二校を新設する

△朝鮮總督府發表 子の左の如くである

△官立專門學校たる京城法學專門、高商の二校は何れも新學年の生徒募集を停止し新たに京城醫學專門學校(假稱、生徒募集定員二百名)を新設する

△私立專門學校たる普成、延禧、東化、明倫の四校は共に新學年の生徒募集を停止し新たに京城拓殖經濟專門學校(假稱、生徒募集定員二百名)、京城工業專門學校(假稱、生徒募集定員五百五十名)の二校を新設する

△女子中等學校については穀倉半島の使命達成並に女子の商業部門進出を圖る爲女子農業學校三、商業學校二を新設する、なほ法文科系專門學校の入學定員を内地において概ね三分の一乃至二分の一に縮減された事、對し朝鮮では特殊事情を考慮し、約四分の三に縮減するに止めた、また停止することになつた專門學校に在籍中のもので入管または入關する學徒は除き歸還と同時に希望により新設校へ復學を許されることになつてゐる、なほ中等工業學校においては軍需生産上半島へつき使命を發揮せしめるため學校所在地の事情を勘案して造船、航空機、金屬工業等の諸學科を設ける方針である

學校名	校名	文	理	科
山口	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
松本	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
新高	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
八高	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
六高	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
五高	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
四高	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
三高	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
二高	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
一高	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
浦和	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
福岡	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
靜岡	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
高知	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
姫路	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
鳥島	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
富山	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
廣山	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
昭和一八年度	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
東京	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
大阪	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
松山	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
水戸	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
山形	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
佐賀	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
松江	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
前橋	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
弘前	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
大津	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
浦和	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
福岡	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
靜岡	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
高知	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
姫路	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
鳥島	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
富山	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
廣山	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)
昭和一八年度	(一〇)	(一〇)	(一〇)	(一〇)

△朝鮮諸學校の戦時非常體制 中等校生に軍教勤務

△中等學校教育内容に劃期的刷新を行ふ戦時非常措置は昨春四月から一部に實施して來たが、この新制度を全中等校全學年に擴充するとともに更に精神訓練の徹底、國防訓練の強化、生産の増強、職業指導の徹底を期すほか女子中等學校における國民保健、特に救急看護の訓練強化を圖ることにされ、九日文部省から其内容が發表された、今回の非常措置により男子中等學校は勤勞青年道場に、女學校は國防看護婦育成場に發刺たる進軍をするわけだが中でも男子中等學校は高學年において航空、艦船、通信、機甲、氣象などの軍事科學を修得、藝能科の科目「工作」は必修となつた、實業學校は重要産業課目を指定履修に改新、女子は男子就禁令による女子職業戰線進出に即應すべく高等女學校の實業科を正課に改め、珠算簿記など經營事務を主要教授科目とするなど、いづれも男女學園を勤勞基地たらしめることに重點がおかれてゐる、また教授日數も第一學年及び第二學年は従來通り三十四週二百四時間、第三學年及び第四學年は従來より二週減の三十週百八十時間を限度とし、事實上各學校では夏休み、冬休みなどの休暇を返上、決戦下青少年學園の使命完遂に突進する

△航空機種類性能、航空戰術 艦位測定及推定、陣形運動 天術豫察法、海洋一般、海上衝突防禦法

△砲術 艦船の種類、任務、性能 砲術の種類、性能、砲術概要

△水雷術 水雷兵器の種類、性能、魚雷戰術概要

△通信術 無線通信一般

△科目 海軍軍教育事實施要領

△原 則 本令は公布の日より之を施行す

△科目 項目 航空機種類性能、航空戰術 艦位測定及推定、陣形運動 天術豫察法、海洋一般、海上衝突防禦法

△砲術 艦船の種類、任務、性能 砲術の種類、性能、砲術概要

△水雷術 水雷兵器の種類、性能、魚雷戰術概要

△通信術 無線通信一般

△科目 海軍軍教育事實施要領

△原 則 本令は公布の日より之を施行す

ともなつて教授力の充實を圖るため教師の再教育を實施する

△實業學校 時局重要主義にもとづいて染織、紡績、織維、美術工藝、木工等に當ててゐる時間を航空機、艦船、機關などの時間に振り向ける

△商業學校 男子商業の教育内容を刷新、工業の經營管理に關する内容を擴充強化を圖り、卒業後技能者として直ちに役立つ

△工業學校 實習と生産勤務の一體化を圖り學徒勤務員による作業を實習時數に織り込む

△女子中等學校 全般的に國防訓練を重視しとくに高學年は修練の時間を増加、戰時救急看護並に保育訓練の時間に充當、擔架運搬、綱帶法など防空看護婦心得を修得せしめ、女子防空の活動に萬全が期せられるが一部指定校では一定時數の訓練を経たるものには看護婦の免狀も與へられる、また保育訓練を實施、空襲時に乳幼児の集團保育に役立たせるほか高等女學校では實業科は正課必修となり商業又は農業が課せられる、この結果實業科で外國語を選択したものは大部分家政その他に轉換する商業はその内容を珠算簿記等經營實務を主とし近く經營實務科科目を發行、またその教科書の刊行も考へられてゐる、なほ文部省では中等學校教育内容戰時非常措置により、教科書は一應從來のものを使用せしめ

が同時に新しい教科書の準備に着手、新教科書目を作製するとともに教師の再教育などにより萬全を期する

**東京、神戸兩高等商船校を清水に統合**

【十五日】 運輸通信省海運總局では高級船員の量的質的増強に資するため今同東京、神戸、清水三高等商船學校を統合し教育の一元化と海員思想の統一強化をはかることとなり、四月一日新入學生入校を期して實施することとなつた、即ち高等商船は現在東京、神戸、清水の三校であるが、教育課程に差等があるばかりでなく、施設上の問題もあるこのため教育的環境及び收容力から見て最適當の清水に統合することとなり、差當り三校の本年四月入校生徒全部を收容すると共に施設を急ぎ東京、神戸兩校在學生徒を可及的速かに同校に收容せしめる方針である、而して東京、神戸兩校は差當り餘裕を生じた部分は短期高等海員養成機關として用ひられるが、將來は高等船員の再教育機關として一層重要な教育を擔當せしめられる筈である

【十五日】 文部省では昨年十月十二日閣議決定を見た「教育に關する戰時非常措置方策」に基き國民學校教育の決戰態勢を確立することとなりこれが法制化を準備中とするところを一月樞密院の御諮詢を経たので「國民學校令等戰時特例」及び大臣談話を十五日午後三時左の通り發表した本發令の狙ひとするところは學徒の徴兵猶豫停止、徴兵年齢の引下げ、勤勞動員の強化等一連の戰時非常措置に對處し國民學校教育をして眞に時局に即應した行學一體の本義に徹せしめることを目的としたもので、

本勅令の公布により國民學校教育は今や名實ともに戰勝完遂の基盤を確立するに至つた、而して本勅令は十

**國民學校令等戰時特例公布**

六日公布されるが、第一條及び第八條の規定並に第七條の規定は公布の日より、その他の規定は昭和十九年四月一日より施行することとなつてゐる

第一條 本令は大東亞戰爭に際し學校教育に付時局に即應する措置を講ずるを以て目的とする

第二條 國民學校に兒童を就學せしむべき期間の終は國民學校令第八條の規定に拘らず當該兒童の滿十二歳に達したる日の屬する學年の終とする

但し滿十二歳に達したる日の屬する學年の終に至るも國民學校初等科の課程を修了したるときは其の修了したる日とし滿十四歳に達するもその課程を修了せざるときは其の達したる日とする

第三條 昭和十六年勅令第五百十五號中昭和十九年四月一日以後に於て施行せらるべき部分は之が施行を延期す

第四條 昭和十九年度に於て中等學校令第二十條の規定に依る中等學校の第三學年及第四學年に在學する生徒（文部大臣の定むる者を除く）に於ては其の修業年限は同條の規定に拘らず同令第七條又は第九條の規定に依る

昭和十九年度に於て師範教育令附則第九項の規定に依る高等師範學校附屬中學校は女子高等師範學校附屬高等女學校の第三學年及第四學年に在學する生徒に於ては其の修業年限は同項の規定に拘らず同令第十九條第七條の規定に依る

第五條 師範教育令附則第四項の規定は昭和十九年度に於て師範學校女子部本科に在學する生徒（文部大臣の定むる者を除く）に於てのみ之を適用す

師範教育令附則第六項の規定は昭和十九年度に於て師範學校豫科第三學年在學する生徒（文部大臣の定むる者を除く）に於てのみ之を適用す

第六條 修業年限五年の中學校若しくは高等女學校の第四學年を修了したる者又は文部大臣の定むる所に依りて同等以上の學力ありと認められたる者は師範教育令第五條若しくは第五條又は專門學校令第五條第一項本文の規定に拘らず師範學校本科、高等專門學校若しくは女子高等師範學校又は專門學校に入學することを得

第七條 監督官廳特に必要ありと認むるときは公立又は私立の學校に於て左に掲ぐる事項に關し必要なる命令を爲すことを得

○學校の整理及統合 ○學部、學科又は課程の設置及廢止 ○學生生徒の定員變更募集停止 ○授業の委託及受託 ○校地及校舍の變更

前項第一號又は第二號の規定に依り公立又は私立の大學又は其の學部の設置又は廢止に係る命令を爲さんとすときは別に定むる公私立大學戰時措置委員會の諮問を経べし

前項の規定に依る命令を爲さんとすときは文部大臣に於て勅裁を請ふべし、第二項の規定に依る命令を爲したる場合に於ては大學令第八條の規定に之を適用せず、第一項の規定に依る命令を爲したる場合に於て必要ありと認むるときは政府は豫算の範圍内に於て補助金を交付することを得、第一項及前項規定の施行に關し必要な事項は文部大臣之を定む

第八條 本令（高等師範及女子高等師範學校に關する部分を除く）中國國民學校令とあるは朝鮮に在りては朝鮮教育令に於て依ることを定めたる國民學校令、臺灣に在りては臺灣教育令に於て依ることを定めたる國民學校令、臺灣に在りては臺灣教育令に於て依ることを定めたる中等學校令第二十條、臺灣に在りては臺灣教育令に於て依ることを定めたる中等學校令第二十條、關東州及滿洲國に在りては關東州及滿洲國帝國臣民教育令第十一條とし文部大臣とあるは朝鮮に在りては朝鮮總督、臺灣に在りては臺灣總督、關東州及滿洲國に在りては滿洲國駐劄特命全權大使とし同令第七條又は第九條とあるは關東州及滿洲國に在りては關東州及滿洲國帝國臣民教育令に於て依ることを定めたる師範教育令、臺灣に在りては臺灣教育令に於て依ることを定めたる師範教育令、關東州及滿洲國に在りては關東州及滿洲國帝國臣民教育令に於て依ることを定めたる師範教育令とし專門學校令とあるは朝鮮に在りては朝鮮教育令に於て依ることを定めたる專門學校令とし、大學令とあるは朝鮮に在りては朝鮮教育令に於て依ることを定めたる大學令、臺灣に在りては臺灣教育令に於て依ることを

定めたる大學令、關東州及滿洲國に在りては在關東州及滿洲國帝國臣民教育令に於て依ることを定めたる大學令とす

附 則

本令中第一條及第八條の規定(第七條の規定に關聯する部分に限る)並に第七條の規定は公布の日より其の他の規定は昭和十九年四月一日より之を施行す

昭和十六年勅令第九百二十四號中左の通告正す

附則第二項中「昭和二十一年」を「昭和十九年」に改む

國民學校令等戰時特例施行規則公布

【十七日】政府は國民學校令等戰時特例を公布教育に關する戰時非常措置を確立したが、公私立學校の整備に關する分を除き來る新營年度から實施することとなり、これが施行規則を十八日附官報を以て公布した、その骨子は次の通りである

(一)中等學校の修業年限は昭和十九年度において中等學校の第三學年及び第四學年在學者を一年繰上げられるが、これは次のものには適用されない(第一條)

①修業年限四年の男子實業學校(入學資格國民學校初等科修了程度)の第四學年在學者

②修業年限三年の女子實業學校(入學資格國民學校高等科修了程度)の第三學年在學者

(二)上級學校への入學資格は修業年限三年の中學校、又は高等女學校の第四學年修了者及びこれと同等以上の學力ありと認められた者であるが(第二條)、同等以上の學力ありと認められたものとは次の各項に該當するものである

④專檢指定學校(實業學校を含む)の中左の一に當る者  
①國民學校初修を入學資格とする修業年限五年又はこれと同等以上の學校の第四學年修了者  
②國民學校高修を入學資格とする修業年限四年又は之と同等以上の學校の第三學年修了者  
③中學校(夜間を除く)第二學年修了程度を入學資格とする修業年限三年の學校の第二學年修了者  
④國民學校高修を入學資格とする修業年限三年又は之と同等以上の女子學校(夜間を除く)の第二學年修了者  
⑤國民學校高修を入學資格とする修業年限三年の高等女學校の第二學年修了者  
⑥高等學校尋常科修了者、高等學校高等科入學資格試験合格者又は文部大臣において高等學校高等科の入學に關し指定した者  
(三)國民學校初修を入學資格とする修業年限五年又はこれと同等以上の學校の第四學年修了の男子は高等學校高等科の入學に關し、中學校第四學年修了者と同等以上の學力ありと認めることとした(第三條)

は工藝技術講習所に入所することを得る(第五條)  
(六)修業年限五年の中學校又は高等女學校の第四學年修了者又は(一)に掲げられた者は、國民學校の訓導及び訓導の無試験檢定、專門學校卒業程度檢定、中等學校教員檢定の受験資格を認められ、右の中看護婦免状を有する女子は國民學校養護訓導の試験檢定をも受け得ることとなつた(第七條乃至第九條)  
(七)師範學校本科第一學年の入學志願者に付いて行ふ學力試験又は臨時教員養成所の入學試験は中學校又は高等女學校第四學年修了程度に依つて行はれる(第五條)  
(八)公私立の學校に對し監督官廳が必要なる命令を發動し、これに基いて補助金の交付をする場合等の手續その他に關する規定を設けた(第十四條乃至第十四條)

育英會法等三法律三勅令公布

【十六日】苛烈なる戦局に對處し文部省では皇國文教體制の急速なる刷新整備を斷行してゐるが、今議會において協賛を経た大日本育英會法等三法律、師範教育令の改正等三勅令の改正についてこの程上奏御裁可を経たので十七日公布四月一日より實施することになつた、今改正の内容はつた三勅令は師範教育令中改正の件國民學校教職員俸給及び旅費の負擔に關する件中改正の件及び樺太に於ける國民學校教職員俸給等の負擔に關する件中改正の件で三法律は、大日本育英會法、青年學校教育費國庫補助法中改正及び公立學校教職員年功加俸國庫補助法中改正である、而

して師範教育令並に公立學校教職員年功加俸國庫補助法中改正の件は青年師範學校の官立移管に伴ふ改正であり、國民學校教職員俸給及び旅費の負擔に關する件その他の勅令並に法律の改正は青年學校教職員待遇改善を實現するためであり、また大日本育英會法は優秀な學徒にして經濟的理由により修學困難なる者に對し學費の貸與その他これが育英上必要な事業を行ひ國家有用の人材を育成するため法律を以て育英制度を確立したことにある  
【廿三日】大日本育英會は四月から特殊法人として發足するがこれに先づ現在の財團法人組織のもとに行つた十八年度獎學生に關し次の如く發表された  
獎學生の銜衡は昨年十二月十七日第一回、本年一月廿二日に第二回の銜衡をし本月廿二日に第三回の都度獎資金を各校長を通じて支給したがこの十八年度分は昨年十月から募集を開始して銜衡期間が短かつた爲か獎學生の總數は一七七三名で豫定の三六二〇名に達しなかつた、十九年度の採用は今春上級學校に進學するものは二月二十日まで本人の申出を、三月五日までに各學校の推薦を締切り(大學高専は二月末日)在學生は三月十五日に締切の豫定で各學校長との懇談會、ホスターその他の方法で育英會の趣旨徹底を圖る昭和十八年度獎學生採用者一覽

Table with columns for gender (男子, 女子), grade (專門, 中, 女子中等), and count (一三, 六, 三三, etc.).

公立大學戰時措置委員會設置要領

【十五日】文部省では公立及び私立大學の整理統合に關し極めて慎重な態度を保持し十六日公布される「國民學校令等戰時特例」中第七條において「公立大學戰時措置委員會の設置を經るべし」の一項を規定右委員會の設置要領を十五日左の通り發表  
公立大學戰時措置委員會設置要領  
一、公立及び私立大學の學部の設置及び廢止に關する必要事項に就き諮問す  
二、委員は關係官廳の高等官及びこれと同等の學識經驗者を以て組織す  
三、委員の員數は未定  
四、委員會は文部省内に置く  
尙ほ同委員會は三月中に設置の豫定

留日學生綜合入學試驗要項

【十八日】大東亞各地から我が國に留學する外國人留學生の指導方針は昨年九月十日閣議で決定、新學期からは官立高専、大學豫科、高師などに入學を志望する者に對しては文部省で綜合入試を施行、それぞれ留學生の志望に應じて志望學校に配分入學せしむることになつたが、文部省では十八日外國人留日學生入學試驗要項を左の如く發表した  
願書提出は三月五日到着で締切られ三月十六日、日本語、日本史、數學

の筆答試問(但し外語、美術、音楽、給何づれの部門たるを問はず同じく學校志望者は東京各校に於て右の他決戦戦列にある戦士として廣く表彰に外國語又は實技の試験を受ける)、十七、十八兩日口頭試問をそれぞれ勤勞章被授與者中から嚴選に嚴選を重ねて個人二百三十六名、團體五十名、入學者の決定には入學試験銓衡委員會を設置、關係各廳關係官、高專教授らを委員に委嘱、萬全を期す、なほ公立高等學校も同様趣旨で綜合入試を行ふ筈で出願書類その他實疑は文部省專門教育局大學教育課、又は大東亞省輔導室に問合せればよ、收容豫定数は各大學高專の特設豫科、文科、理科等を通じて五百九十名で、中滿洲國二百二十名、中華民國二百七十八名、南方百十名になつてゐるが、南方留學生收容校は廣島高師特別學校二十五名熊本醫大醫專二十五名、久留米高工三十名、宮崎高農特別學校三十名で、他に奈良女高師若干名も豫定されてゐる

# 厚生

## 第二回勤勞顯功章授與者發表

【九日】第二回勤勞顯功章被表彰者及び團體が九日厚生省から發表されこの榮えある授與式が来る十一日の紀元の佳節午前十一時三十分から、總理大臣官邸で盛大に舉行される、この表彰は昨年の紀元節に第一回が行はれたが、同年六月の勅令改正に基き最初の工礦業従事者の他に今回は農林、畜水産(以上農商省關係)、交通、通信、土木建築、商業(以上厚生省關係)も加へて食糧、輸送、配

給何づれの部門たるを問はず同じく決戦戦列にある戦士として廣く表彰することに於て、全國二千三十九勤勞章被授與者中から嚴選に嚴選を重ねて個人二百三十六名、團體五十名、入學者の決定には入學試験銓衡委員會を設置、關係各廳關係官、高專教授らを委員に委嘱、萬全を期す、なほ公立高等學校も同様趣旨で綜合入試を行ふ筈で出願書類その他實疑は文部省專門教育局大學教育課、又は大東亞省輔導室に問合せればよ、收容豫定数は各大學高專の特設豫科、文科、理科等を通じて五百九十名で、中滿洲國二百二十名、中華民國二百七十八名、南方百十名になつてゐるが、南方留學生收容校は廣島高師特別學校二十五名熊本醫大醫專二十五名、久留米高工三十名、宮崎高農特別學校三十名で、他に奈良女高師若干名も豫定されてゐる

# 体育

## 明治神宮冬期大會

【廿七日】第十四回明治神宮國民民成大會冬期大會は廿七日北海道を初め全國積雪地帯の地域、職域ごとに一齊に訓練の演技を行ひ何れも盛況を極めたが中央會場たる長岡市悠久山公園に於ては、廿七日午前九時開演、宮城遙拜、國歌奉唱の後、厚村代理小林健民局長の激勵の辭についで北邊將兵を偲はせる數々の演練に移り午後一時半全競技を終り、同日の演員式場に整列、明治神宮に敢闘時全練奉納の旨を奉告、松田長岡市

船員以外の海運關係者に對する初の適用である  
【廿七日】厚生、陸海三省では今回應徴士の中で成績優秀なものや功績の卓越した者を顯彰する「白紙の金鷄」ともいふべき應徴有功章と賞状及び應徴章を授與することになつたこれは東條總理が強調する信賞必罰の精神を具體化したもので、從來の勤勞顯功章が多年に亘る精勵恪勤を條件としてゐるため勤續期間の比較的短い應徴士は授けられる機会が少かつたが、今回この制定により應徴士だけが、今回この制定により應徴されたわけである、なほこれと同時に必罰方針も細かく定められたが、應徴士のみならず事業主、上長等も監督不行届の場合罰せられる點が注目される

# 文化短信

【廿七日】第十四回明治神宮國民民成大會冬期大會は廿七日北海道を初め全國積雪地帯の地域、職域ごとに一齊に訓練の演技を行ひ何れも盛況を極めたが中央會場たる長岡市悠久山公園に於ては、廿七日午前九時開演、宮城遙拜、國歌奉唱の後、厚村代理小林健民局長の激勵の辭についで北邊將兵を偲はせる數々の演練に移り午後一時半全競技を終り、同日の演員式場に整列、明治神宮に敢闘時全練奉納の旨を奉告、松田長岡市長の挨拶、敷田内政部長の發聲慶祝を萬奉唱し同二時廿分閉幕した  
【十三日】早慶百キロ驛傳(甲州街道)、慶大優勝五時三十四分、五秒△全關東大學高專射擊訓練  
【二十日】關東大學O・B鬪球第一日(神宮)早大、明大優勝△全關東大學高專學徒行軍力涵養基礎訓練大會(代々木)一位初級山梨師範、中級東京一師、上級日本大學  
【二十七日】關東大學O・B鬪球第二日(神宮)立大、明大優勝  
▲木佐木幸輔氏(退役海軍中將) 八十五歳 十二日  
▲山本信博氏(舊都新聞社主幹) 六十八歳 十三日  
▲安川雄之助氏(元東拓總裁、三井物産常務取締役) 七十五歳 十三日  
▲河合榮治郎氏(休職東大教授) 五十四歳 十五日  
▲山川建氏(男爵、貴族院議員) 五十三歳 廿二日  
▲高安月郊(三郎)氏(文藝評論、劇作家) 七十六歳 廿六日  
▲印東昌綱氏(書家、歌人) 六十八歳 廿六日  
▲金子直吉氏(太陽産業相談役、元鈴木商店専務) 七十九歳 廿七日  
一日 埼玉縣小鹿野町大火、燒失五百戶  
四日 伊公館で赤穂義士記念祭  
五日 愛國イロハカルタ發賣  
八日 東京勞報一周年に結成式  
十一日 佳節に方り模範囚二百廿六名釋放△都下節婦孝子功勞者等表彰  
十二日 神有電鐵事故、即死二十一名、重傷六十名  
十三日 都下中學校の必勝祈願行軍  
十四日 日本醫師會第三回定時總會  
十五日 官立高校入試期日發表  
十六日 女子皆働態勢昂揚大會  
十七日 全日本辯論士報國會結成式  
廿二日 熊本籠城記念會  
廿四日 ガンヂー夫人追悼會  
廿五日 日本新聞會新理事に、森田久、塚村敏夫兩氏任命  
廿六日 敵國必滅祈願大會  
廿七日 大東亞少國民結合大會  
廿八日 黃使節招待晚餐會

# 鍊成日誌

# 訃

# 大東亞

## 國民政府

### 政治・軍事

#### 外交・治政

##### 舊敵產移管式

【南京一日發】從來軍管理下にあつた舊敵產たる官、公、民有土地建物のうち南京地區關係の返還移管式は一日午後二時から南京中日文化協會において中國側緒外交部長、梅内政部長、周南京市長、日本側阪田參事官、石黒書記官、稻垣部隊長、富田連絡部長その他關係者列席の下に舉行、日本側より移管建築物九百五十五件の目錄が手交され緒外交部長これに對し深甚なる謝意を表明した、右に關し一日帝國大使館は左の當局談を發表した

△大使館當局談(要旨) 軍管理工場たる敵產各種企業工場については昨年七月全部を原所有者に返還その他の措置を完了した、一方舊重慶系財產(舊敵產)たる官公民有土地建物については軍において現に使用中のもの若干を除き、この際殘餘の三千九百餘件を一括國民政府に移管することとし、このうち中國人及び第三國人使用の分並に民用のものは無條件移管とし、又日本人使用の分は現狀に急激な變化を與へざるやう所定の條件を附して移管する方針のもとに日華双方關係當局において準備を重ね來つたのであるが、最近に至り双方の移管並に接收に關する諸般の準備が完了したので南京地區に存するものより逐次移管を實施し、二、三月中に蘇浙皖三省内全部の移管を完了することになつた、しかして第一

一次として南京地區所在九百五十五件の移管式は本日南京において日華關係官列席の下に舉行された

【蘇州十日發】江蘇省管内舊重慶系財產土地建物、物五百六十件の返還式は九日蘇州清鄉紀念會館において舉行、日本側岡本憲兵隊長より陳江蘇省長に移管する舊重慶系財產五百六十件の目錄を手交した

【杭州廿五日發】今回更に浙江省地區内の軍管理建物土地三百七件を返還することとなり、その移管式が廿五日杭州市内興亞クラブにおいて舉行された、今回返還された物件の中には奉化縣溪口鎮にある蔣介石の生家等も含まれてゐる

【蚌埠十五日發】帝國政府は十四日蚌埠において安徽省舊重慶系の土地建物の移管式を舉行三十六件の移管手續を完了した

##### 國府行政院會議

【南京一日發】國民政府は一日第九十四次行政院會議を開催、汪委員長より二月一日より實施を見た財政部提案にかかる海關金單位制度改正の件その他につき報告あつたのち討議に入り、△中央警官學校調訓班増設に關する件△社會福利部人口署暫行組織條例△米糧統制委員會組織規定に關する件△實業部委員會三十二年度下半年棉作增產收支概算に關する件その他七件を審議可決し、淮海省及び軍事委員會人事異動二十九件の追認があつた

##### 清鄉工作全體會議開催

【南京十日發】國民政府行政院清鄉事務局では大東亞戰下の新情勢に對處するため今日の清鄉工作陣營に再

檢討を加へ、決戰の年における清鄉諸施策を強化推進せしめるため十日午後三時三十分から國民政府大禮堂において清鄉工作全體會議を開催、汪雲雲清鄉事務局局長、軍事委員會委員長、鮑文樾總參謀長、地方側より陳羣江蘇、傅式說浙江、羅君強安徽、楊一湖北、陳耀祖廣東、各省長、陳公博上海特別市長並に各省市清鄉事務局首腦及び我が陸海軍各關係官出席、まづ汪主席の訓示、我が關係官の時局演説があつた後會議に入り、決戰の年における清鄉工作の重點並に清鄉工作と併進して行はれる諸施策の協議に入つた

汪主席訓示 【南京十日發】要旨次の如し今次清鄉會議の開催は大東亞戰下の新事態に即應する清鄉工作を確立するため、從來の各種工作に再檢討を加へ、戰時即應の具體策を協

議するにあら、清鄉工作は國民政府の七年七月國民政府が主體となり盟邦軍官民の協力を得て開始され、最初における目的は全面和平の推進を期して行はれたのである、然し乍ら國府の參戰以來清鄉工作は參戰した國府の義務として展開されて來たのである、何となれば中國は大東亞戰爭の強なる兵站基地でありその第一線となるからである、従つて清鄉工作の最大目標は和平地區の治安を確保し米英の蠢動暴舉を完封するとともに大東亞戰爭完遂するにあるのである、この意味において清鄉工作は實に且つ重大なる意義を有するので、この點が清鄉工作の第一要義である我々は今年を増産運動の年として官民一體となり、總力を結集して増産を圖り、民生を安定するとともに大

東亞戰爭の完遂に貢獻しなければならぬ、この増産運動こそ重慶並に中共を覆滅する國力を培養することであり、さらに貧官汚吏を肅清し中國國民の總力を戰爭完遂に結集する所以である、この點が清鄉工作の第一要義なのである、余は清鄉工作の發足に當つて清鄉は先づ心を清めることが必要であると説いた、清鄉工作の根本はこの點にあるのである、加して治安の確保と建設が行はれるのである、吾々は決戰必勝の信念を以て中國復興のため政府領導の下に軍官民一體となつて奮起その使命達成に邁進しなければならぬ、この點今後清鄉工作を推し進めて行く第一要義である、以上三點が清鄉工作推進の原則であるが、本會議においては工作の具體方を詳細に互つて檢討を行ひ、清鄉地區への政治力の滲透、地方政治の革新、新國民運動の推進、青年訓練並に民衆組織などにつき現地事情を參酌し實行方策を決定し直に實行に移すべきである

##### 清鄉全體會議成果

【南京十一日發】清鄉全體會議第二日の十一日は午前九時各省市代表懇談會に續き午後は第一次會議を開催各省、市の工作報告地方側提案の審議を重ね、政治工作團強化案、軍事行動の統一計畫案、清鄉地區内の増産督勵案、新國民運動との合作案清鄉工作を國策とする案など重要案件廿七件を可決、割期的重要案件はそれぞれ關係各機關に回附され近く實施をみることなつて、今次會議において決定をみた重要施策はそれぞれ關係各機關に回附され近く實施をみることなつて、今次會議の成果としては次の





方策を發表即日實施した、備備券流通擴充に關する淮海省政府布告要旨左の通り

備備券と聯銀券とを本省區域内において併用する件については既に昨年十二月一日よりこれが實施を開始せられたのであるがその後現在に至る迄の省内各地の情況を見るに、右備備券流通以來産業は益々繁榮に起き金融方面も愈々活潑となり備備券の所要數量も日増しに増加しつつある有様である、茲に於て本省政府は從來の兩通貨交換及當地區對華中並に對華北間の送金に關する制限辦法を撤廢すると共に備備券流通に關する既定方針を更に推進し以て庶民の福利と産業の振興を圖らんとするものである、即ち(一)本省區域内に於ける諸金融機關に就いては備備券と聯銀券は百元對十八圓の既定比率をもつて相互に自由、無制限且無條件に交換せられるべきこと(二)備備券による當地區對華中向けの送金は自由無制限なること、對華北向送金は事實上無制限たること及び備備券による華中よりの當地向け送金は制限を緩和することを即日實施し、本省政府は所屬關係機關にそれぞれ指示すると共にここにこれを發表す

備備券一本建を採用 【南京十九日發】國民政府財政部は舊臘十二月一日より備備券聯銀券の併用を實施し銀行徐州支店の開行をみることになつたのでこれに伴ひ來たる三月一日より同省においては聯銀券の新規發行を停止し、既契約済みのものを除き省金庫の支出及び銀行預金、借款爲替支拂などを備備券一本建にすることとなつた、右に關し周財政部長

は左記談話を十九日發表した 蘇淮特別區は淮海省となり、既に二月一日を以て改組が成立したが、同省の通貨は民國三十三年十二月一日より中央備備銀行券と中國聯合準備券の併用行使を決定し、その成績により聯銀券の現地新發行を停止することとし、左記の調整辦法を決定した

○民國三十三年三月一日より聯銀券は淮海省においては新規發行を停止する、但し市場では收受を許す(三)民國三十三年三月一日より淮海省内全金融機關は聯銀券の支拂を停止し同銀行券を以て契約締結の單位とすることを得ず但し既に契約したものは引き続き交易を許す(四)爾後淮海省金庫の支出及び銀行預金、借款、爲替等の支拂に聯銀券を使用せず一切備備券とす(五)華北と華中の通貨制度は本辦法によつて根本的に變化せず以上の辦法に基き聯銀券の同省における新規發行は停止せられ、備備券の行使は益々擴大せられることとなつた

農業増産促進委員會設置 【南京八日發】國民政府は本年度施策の重點を増産に指向し戦力増強、民生安定に資すべく關係各部において各種増産計畫を考究中であるが、糧食部、實業部では増産施策の大綱たる農業増産に關する綜合的推進機關の設立並に同運籌要綱につき、檢討立案を急ぎ八日の第九十五次行政院會議に農業増産促進委員會組織規程を上程、審議の結果原案通り可決通過した、かくて農業増産計畫を一元的に促進せしむべき中核機關の出現により、國府の増産運動は劃期的な進展が期待されることとなつた

農業増産策成る 【南京十一日發】戰中中國の總力をあげて増産へ總進軍を展開すべく九日より南京に開催された全國農業増産會議は國府行政院糧食、建設、實業の三部を始め關係各部、地方省府並に民間農業關係者百餘名が出席(一)農業行政(二)米麥雜糧(三)棉麻、蠶桑(四)水利、林墾(五)漁牧の五部六十二日間に亘り眞摯熱烈な審議を行ひ十日午後五時閉會したが、今次會議に於て中國農業史上正に劃期的なる農業増産策進要綱の重要案件を可決したことは同會議の特筆すべき成果であつた、即ち農業増産策進要綱は決戦下中國農業増産の大綱として始めて確立をみたものであり、この策進要綱に從つて今後その活動は活潑に展開されるが、その主なるものを舉げれば本月中旬農業増産關係法令公布並びに豫算決定、各省市農業增産計畫協議機關の設立準備、合作社農業技術員の養成開始、三月上旬各省市農業計畫の決定、糧食部農業增産機關の技術員訓練、各地方增産會議の招集、同月中旬黄河深渡工事開始、各縣增産會議の開催、同月中旬中堅農民の訓練修了、鄉鎮農業共進會の設立、四月上旬各種苗床、播種の指導、立、開始、同旬各種苗床、播種の指導、同旬麥作指導、同旬除草運動開始、七月青島臨臨除開始、その他百件に上る本年度増産計畫が各地域において一ヶ年に亘り強力に實施されることとなつた、わが方も軍並びに大東亞省現地當局では全面的な支持をなすこととなり、それぞれ當局談の發表、日華合作の道義精神を高調し

觀念を積極的に啓發す(四)農業技術員を充實し鄉鎮農業改進機關及び鄉村互助者の組織を調整して増産工作の指導推進を期す(五)東太湖一帶湖沼地區的開發を實施しその他各地域の耕地改良、拓殖に協力す(六)都市住民は未耕地並に空闲地を利用しまた各會社團體なども増産に努力し食糧その他物の自給を圖るべし、これら生産物の統制は特別に考慮す(七)全國民は節約を勵行し有するところの資金物資を増産に集中すべし、投機を操縱し或は囤積居奇を圖るものあらば關係各方面と協力してこれを取締る

本年度水利開發事業決定 【南京十三日發】今次南京において開催された全國農業増産會議に國府建設部は本年度増産計畫要領を報告した、これによれば國府は水利方面では江北新運河の開發、江蘇東太湖の浚鑿等の大工事を遂行し、農具製造の方面においては無錫の中央農具製造廠を更に擴大強化することとなりてあるが水利開發事業の概要は左の通りである

△江北新運河 建設部では水利事業の重要性に鑑み水利增産設計委員會を特設して江北新運河の開發、江蘇東太湖の浚鑿を實施中である

△東太湖 東太湖の浚鑿計畫は本年六月迄にはその第一期工作が終了すれば現有耕地一萬八千畝に新耕地一萬二千畝を加へ毎年平均米四萬八千石の増産が可能であり、更に相當量の小麦の増産も期待し得る、第一期工作後引き続き第二、第三期工作に邁進し、三年以内に全工事を完了

△浙江 寧波、嘉興、海鹽、嘉善の豫定である、この第一期工作が完了すれば現有耕地一萬八千畝に新耕地一萬二千畝を加へ毎年平均米四萬八千石の増産が可能であり、更に相當量の小麦の増産も期待し得る、第一期工作後引き続き第二、第三期工作に邁進し、三年以内に全工事を完了

する豫定である、特に新耕地二十萬畝を開墾する豫定であるが、この東太湖工事は浚渫と開墾をも同時に實施するものであるから太湖の治水につき特別の工事を施す必要があり當面の工事費のみでも約一億元を要する

△平山湖 東太湖附近に平山湖があり、その面積は約一萬畝で水深は頗る淺いためこれを浚渫すれば米二萬石を増産することが出来る、その工事費は約五千萬元で本年六月に完成を見る豫定である

大運河改修着手 【南京廿九日發】中國經濟文化の大動脈として數千年に亘り支那南北を貫流偉大なる役割を果した大運河も相次ぐ中國の内亂などのためその形骸のみをとどめて来たが、今回政府の手によつてこれが一大改修工事に着手することとなり、國民政府は去る一月六日運河改修籌備處を設置、その主任に殷汝耕氏を起用、この程いよいよその實施に着手した殷汝耕氏は廿八日就任以來初の南京入りをなし記者團と會見現在豫定地域を調査中であるが大體三月末までには調査を完了する豫定である旨語つた

經濟案件可決 【南京十五日發】行政院物資統制審議會第十一次委員會は十五日午後三時より南京に開催△綿糸布配給標準價格改訂に關する件△蘇浙皖物資配給標準價格に關する件△各地米穀收買數量、金錢並に交換物資の基準率に關する件△油種穀物の價格公定に關する件などを審議可決した

中支の米穀收買對策協議會

【上海十五日發】米糧統制委員會は昨秋成立以來日華の下部收買機構を通じて米穀の一元化的收買に當つてあるが最近米穀相場の高騰、輸送の圓滑、一部收買業者の囤積、横流しなどによつて同會の米穀收買も停滞傾向をみつつある現狀に鑑み同委員會では下部機構たる同業公會委員中不正業者の整理、運輸の改善、米糧の抑制等の諸對策を決定するため十五日より三日間に亘り協議會を開催することになつた第一日の十五日は日華當局關係官米統會各地代表者出席、日華當局者側より戰時會における米穀確保の緊要性を説き會員一同の一層の努力を要望するところあり午後五時散會した、第二日目より當面の諸問題につき本格的審議を行ふが問題別に左の如き専門委員會を設けて討議することとなつた△同業公會組織小委員會△運輸機構改善小委員會△糯米華北向輸送小委員會△非常米穀配給小委員會△精米統制小委員會△收買資金調整小委員會△米價抑制小委員會

物價連絡會議開催 【上海廿二日發】國府實業部では廿二日午前十時から上海メトロポールホテルに蘇浙皖三省及び湖北省、淮海省並びに湖南、南京兩特別市、五省二市各經濟局長、上海警察局長、商統會代表、主要商品同業聯合會、公會理事長等の參集を求め、物價連絡會議を開催、當局及び經濟團體より物價管理の經過及び現狀につき説明し、公定價格の實施方法、原價計算の算定法などを中心と眞剣な論議が行はれ午後八時過ぎ散會した、同會議において決定實行されることとなつた方策は次の通り

○日用必需品は戰時物價管理條例に基き價格を評定し嚴重にこれを實行する、價格評定に當つては本年一月一日現在の價格を以て最高標準とする

○公定價格の實施について、經濟行政當局、警察行政當局、各種商團體及び一般民衆が一致協力して實行することが必要である、關係者はこの方向に向つて努力する

○直ちに物價管理機構を強化しその統一を圖る

○物價吊上げを策し或ひは囤積をなし不當の利益を圖らんとする者は國橫治罪條例及び戰時特別刑罰法を適用し嚴罰に處する

○同業公會は其の會員中より物價引上げをなす者なきやう監督を強化する、公會にしてこの責任を盡さぬ場合は經濟行政機關はこれを處罰する

○各地の配給物資については交流を活潑化し配給數量の増加を圖る

戰時物價管理實施辦法制定 【南京廿七日發】國民政府實業部では去る一月十三日戰時物價管理暫行條例を制定公布し、劃期的な物價管理を斷行したが、更に今回これが合理的且つ強力な遂行を期するため「戰時物價管理暫行條例實施辦法」を制定近く行政院に回附審議決定の上、各地方關係官署に通牒し實施に移すこととなつた、同辦法は物價評議委員會の組織、物價評議工作の推進、罰則の執行に詳細な規定を與へたものでその要點は左の如くである

△二月末迄に各省市に物價評議委員會を設置する

△委員は主管官署及び關係機關の重要職員並に専門家をもつて構成する

△評議委員會は月一回開會し中央との連絡を密にして物價

の變動に對處する

△物價評議工作として評價は公定、協定の二審とし

△協定價額は物價評議委員會、協定價額は當該同業公會がそれぞれ定め各地經濟局の認可を得て實施する

△物價の評價は最近の仕入價額を根據とし、公定價格は卸賣、小賣費用を加算し、各地區における物價の高低に平均を保つよう中央の物價管理總局が指導する

△罰則の執行については各同業公會の責任において公定、協定價格を遵守せしめることとし違反者は規定に基き嚴罰を以つて臨む、同時に各地經濟局は係員を派遣、監督調査に當る、その他青少年團を動員して民衆の物價遵守に協力せしめる

買上げ綿糸布配給 【上海廿二日發】中支における物價問題の根本源流的解決策として國府では昨秋上海における綿糸布在荷の強制買上げを斷行、これが配給は多大の注目を惹いてゐたが配給辦法は上海における衣料品最近の値上り顯著なるに鑑み近く買上げ綿布の公定價格による第一回配給が實施されることとなつた、尤も今回の配給は臨時應急的なもので商統會では各綿布商同業公會の責任において綿布の配給を行ふために各綿布商を甲、乙、丙丁の四階級に分つて配給し、甲、乙、丙は一人當り配給券一枚(一枚分一丈五尺)を交付し切符配給を行ふこととなつた、しかし配給總額は上海人口を三百十萬人と見積つて合計六十二萬反と豫定綿布七百軒を通じて三月より配給を開始するが配給價格は商統會の買上げ價格の倍額に、卸賣商の手數料一割、小賣商の手數

料二割を加算したものを小賣價格とすることに決定した、なほ配給綿糸布の取扱機關としては綿商合作營業處の方法にならひ綿布卸賣商をして綿布卸賣商聯合會を組織せしめることとなり目下準備中である

公路建設々計委員會設置 【南京二十三日發】國民政府建設部では建設三ヶ年計畫の重要な一部として公路建設を積極的に推進してゐるが、建設豫算、器材等の綜合的な企業運営を行ふため官民の技術專家家を以つて近く公路建設々計委員會を設置する事になつた、本委員會の設置によつて國府増産、産業建設の基礎となるべき公路建設業は一段と進展するものと期待される

中支支間の携帶通貨交換 制改正 【上海廿五日發】從來中支支間の旅客携帶通貨の交換限度は兩地間物價差を利用する悪質旅行者を取締つたため昨年九月廿日以來中支より北支向旅客は陸海路とも備備券一千元まで、北支より中支間旅客は旅行地、距離その他の條件により各種の制限が設けられてゐたが、最近淮海省に於ける備備券の進出二月一日を期し發行停止された各觀狀勢は相當の變化をみたので日華兩當局では右の旅客携帶通貨交換制限の改正方を準備中であつたが、愈々来る三月一日より左の通り改訂實施することとなつた

△陸路(鐵道旅客) ①北支より淮海地區及び浦口まで ②一等六百元、二等三百元、③北支より南京以南まで ④二等千元、三等五百元、⑤

南支より北支間 ⑥一等六百元、二等三百元、⑦北支より南京以南まで ⑧二等千元、三等五百元、⑨

社會・文化

禁烟運動開始

南京以南より北支まで、二等千元、三等五百元、准海海地及及び蚪阜、浦口間より北支まで、一等六百元、二等三百元、△海路一、二等千元、三等五百元、△空路一千元

【南京十五日發】國民政府は十五日第一九六次行政院會議を開催、○禁烟辦法大綱案（内政部提案）禁烟禁毒計畫案（新國民運動促進委員會提案）○麻醉藥品管理修正法案（衛生者提案）○各省市農業增進委員會組織通則案 等を決議通過した、右のうち禁烟辦法大綱は最高國防會議の審議を経て公布、施行するが阿片を禁絶せんとするこの禁烟運動は昨年より新國民運動促進委員會が三毒清掃運動の一つとして採り上げ青少年層に呼びかけて活潑な運動を展開中のものであり、これを重視した國民政府が今回英斷的にこれが根本的禁絶を目標に禁烟辦法を發動するに至つたものである、即ち同辦法は三ヶ年計畫により來る三月三十日の還都記念日より三年後の同日迄に和平地區内の阿片吸飲の宿痼を完全に掃滅せんとするもので法規並に罰則規程等にかつて重慶政權が採用した禁烟實施辦法、五ヶ年計畫をそのまゝ踏襲するほか和平地區内の阿片栽培を禁止中央地方に禁烟總局を設置して禁烟計畫に基き三ヶ年間の阿片統制にして禁絶計畫に基き三ヶ年間の阿片統制に任じ、又各地に戒煙

醫院その他の施設を設け、毒性中毒者の強制收容を行ひ、これ等施設の經費は阿片税及び附加税の徴收によつて賄ひ、なほ阿片類似の毒物についても一切製造を禁止するものである、かくて三年後には和平地區から完全に阿片患者の跡を絶たんとするもので、中國百年の患を免除せんとする同辦法の發動は國府發展の一指標として各方面に多大の期待がかけられてゐる、梅子平内政部長は禁烟辦法實施の眼目について次の如く説明した

「事變前中國は禁烟政策五ヶ年計畫を實施して約二ヶ年の間に多大の成果を収めたのであるが、事變の勃發とともにこれは中絶するの已むなきに至つたのである、國府は今回從前の禁烟政策を繼續して和平地區内に實施し、煙毒の害を根本的に禁絶することになり、禁烟政策の責任機關として内政部に禁烟總局を設置すると共に大要次の如き禁烟辦法大綱を制定、禁烟政策を勵行し惡習の根絶を期することとなつた、○汪主席の行政院在任當時政府は民國二十五年四月禁烟實施辦法を制定公布したのであるが、これは同二十六年事變により中絶されるに至つたので、今回從前の政策を繼續實施し、來る三月三十日以後民國三十六年三月二十九日に至る三ヶ年間に阿片を禁絶する、○禁烟の勵行は禁烟の栽培嚴禁を前提とする且つ罌粟栽培は煙毒の根源たるのみならず正當なる農産物として阻害するものであり、和平地區においては嚴に阿片の栽培を禁絶する要がある、○阿片吸飲者はこ

日本研究員と派遣

【南京九日發】中日文化協會では日華文化交流の一翼として從來幾多の中國學生を留日學生として送つてゐたが、日本の學校その他學術施設の決戦化に即應して新たに日本研究員を派遣規定を設け、戦つた日本研究員専門的に研究させることとなつた、同規定に依れば派遣員の資格は日本語に通ずる國立大學教授または講師で、理工醫その他理科系統を専攻するが、まづ近く第一回派遣員十名が選ばれ期間は一ヶ年で其間二回の研究報告が行はれることとなつてゐる

中國文學協會を設立

【北京十六日發】全中國の文學者を糾合する中國文學協會の設立については昨年八月第二回大東亞文學者大會議に出席した中國代表の間から先づ風俗地誌の權威として讀者間に知られてゐるが、盟邦日本の眞摯なる大

へて中支に起き全中國文學者の大同團結を呼び掛けたが、中支でも柳雨生、龔持平、陶元德などに諸氏が中心となつて在中支の文學者の善意をとり纏めた結果、成案を得たので柳雨生、龔持平、草野心平及び日本文學報國會派遣の小林秀雄の四氏が十日夜北京に到着、華北側と重格的に結成中へ第一歩を踏み出すことになつた、新しい中國文學協會は全中國の作家を會員として新中國文學建設を旨として文藝活動の指導、少壯作家の養成、東亞各國文學者との連絡等を行ふものであるが、會長、副會長の下に理事會及び事務局を置いて會の運営に當り、事務局は南京に置き北京、上海には分會が設置される筈で、五月の第三回大東亞文學者大會までには正式設立をみる豫定である、なほ會長には中國文壇の長老周作人氏が擬せられてゐる

△柳雨生、龔持平兩氏談 華北における文學活動は昨年以來目覺しいものがあるが、中支でも最近益々活潑となり「文潮」「新流」「一般」等の純文藝雜誌が續々發刊されてゐる、この中國文藝復興の氣運に乗じて北中南支の全文學者が一丸となつてを東亞文學界の大理想實現の一翼中擔ふといふのが今回の中國文學協會の設立となつたのであるが、この新中國文學建設の躍進は重慶側に残つた作家達にも大きな衝動を與へるものと信じてゐる

【廣東廿八日發】在廣東イタリヤ總領事ゲエツセ・ロス氏は西南支那の風俗地誌の權威として讀者間に知られてゐるが、盟邦日本の眞摯なる大

陸經營に感激、同總領事が四十年の長きに亘つて全支から募集する文獻資料土俗品及び美術工藝品の讓渡を決意し廿八日午前十一時より同總領事官邸において土井臺灣總督府首席書記官出席のもとに正式調印が行はれ金五十萬圓をもつて臺北の南方資料館に讓渡されることとなつた、今回の讓渡品はロス總領事が漢口、北京、南京、上海、廣東等の各地において苦心蒐集せる逸品揃ひであり、漢籍五萬卷、洋書二千部美術工藝品數千點に及び特に海南島に關する研究資料は世界一のものとされ、その他世界に僅かに三卷しかないと言はれてをり、この目錄を完全に整理する

には今後二ヶ年の年月を要するといふ膨大なものである、臺灣總督府は今回のロス總領事の措置に感激、臺北より學術員を派遣して目下着々その整理を進めてゐる

【香港十九日發】香港占領地總督部では重要物資の管區外との密輸を防止する建前から昭和十八年總督令第十七號をもつて「重要物資授受制限規則」を公布、銅、鐵、鋼材、電動機、原皮、カーボイト、船底塗料、電機許可を要することとしてゐるが、現在では管區内の秩序は整備し密輸の取締りにはかかる特別の規則を必要としなくなつたので二月廿日より右規則を廢止することとなつた、去る八日には織維製品の移動取締規則が

【重要物資授受制限規則撤廢】

【重要物資授受制限規則撤廢】

【重要物資授受制限規則撤廢】

廢止され麻袋、アンペラ、綿糸などの重要纖維製品の管区内移動は自由となり、今回更に前記重要物資の賣買授受の制限が撤廢され今後管区内における商取引は頗る圓滑化が豫想せられる

### 澳門ドル紙幣發行權總督に附與

【香港二十日發】澳門における澳門ドル紙幣の發行權は從來ポルトガル本國政府に屬しリスボン・マナシヨナル・ウルトラマリノ銀行發行の紙幣を輸送してゐたが大東亞戰後本國との交通杜絶し現送不可能に立ち至つたので本國政府は澳門ドルの發行權限を澳門政府に附與するに決し澳門政府はこの程公報を以つて二月七日附本國政府より紙幣發行の權限を附與された旨發表した、公報によれば紙幣發行權限の内容次の通り

○ナシヨナル・ウルトラマリノ銀行をして一千萬ドルまで新紙幣を發行せしむる權限を澳門總督に附與す  
○増發新紙幣の額面は總督これを決定す  
○新紙幣は澳門財政局長及びナシヨナル・ウルトラマリノ銀行澳門支店長より署名されるものとす、なほ同新紙幣は本國と同地間の交通が正常化した際には本國發行の紙幣を以つて回収されることになつてゐる

廳長王驥氏が任命された  
**邦人人口調査**

### 邦人人口調査

【北京十三日發】北京日本大使館事務所では内地の人口調査に呼應して二月二十二日午前零時現在を期し管内在住邦人の人口、營業その他に關する調査を実施することになつた、今回の調査は華北在留邦人の生活實態を明確にし併せて戰時緊急諸施策遂行上の基礎資料を整備せんとするもので、調査完成の曉には華北當面の緊要事たる企業家の調整、轉廢業等の諸問題を容易ならしめるものと期待されてゐる。

### 日華文化會議開催提唱

### 【北京三日發】

大東亞文藝復興の熱情に燃えて日華の文化人が一堂に會する日華文化會議を陽春三、四月頃北京に開く計畫が進められてゐる、二日夜北京で開かれた中國文化團體聯合會準備委員會の席上、中國新文化建設協會常務理事范宗澤氏から、「大東亞宣言發表により大東亞文化昂揚の氣運が共榮圏各地に溢れてゐる際、華北でも全文化人が會堂して互つて新中國文化の建設と日華文化交流方途を検討すべきだ」との提案を行ひ劉士元華化政務委員會教育總署文化局長以下滿場一致の賛成を得、政府側機關にも呼びかけ陽春三四月の候を期してその實現に邁進することを申し合せた、この會議は在華北日本側文化團體の参加を求めるほか、日本から一流の文化人の出席を乞ふ豫定である。

### 軍 吳化文上將岡村最高指揮官を訪問

### 【北京七日發】

國府第三方面軍總司令吳化文上將は齊春霖副司令郭受天參謀長等を帶同六日午後八時二十分着列車で入京したが、七日午前十一時北支軍に岡村最高指揮官を訪問、和平陣營參加一周年の挨拶を述べると共にこの間における皇軍の支援に對して心からの謝意を表明し今後の治安建設に處する烈々たる決意を表明した

### 山西省で共產黨員處斷

【太原十二日發】現地軍當局では、山西省急進建設團中に潜入して山西建設を阻害しつつあつた、中國共產黨首謀者五名に對して、この程嚴重な處斷を行つた、今同處斷された共產黨員は李樹森、杏吉善、閻橋、王周瑛、桐玉徳の五名で、彼等はいつれも山西急進建設團太原支隊に偽裝入團し、幹部の地位を別用して團員の俸給を着服、また惡辣なるデマ宣傳を行つて同團の内部崩壊を圖つたものである

### 經 華北日滿間送金取扱方法修正

### 【北京廿九日發】

華北に課せられた戦力資源の開發増産の重要使命達成に要する多額の資金は從來その大部分を内地に仰いできたが、決戦經濟の様相深刻化とともに現地の所要資金は現地で賄ふの必軍を生ずるに至つたので在北京日本大使館當局では右要請に基き華北と日滿間送金取扱方法に一部左の如き修正を加へ三月一日から實施することとなつた

### 政 山西省長更迭

【太原六日發】山西省長馮司直氏は今回病氣のため辭任代理省長として同省教育

ドス平原、外蒙新疆などを通つてチベット高原に出でアフガニスタンイラン、イラクなどから歐洲に迂り込む線を考へてゐる、大東亞總實鐵道が資源的に産業的に大東亞の寶庫とも稱すべき南部アジアを縦走し、マライの錫、鐵、ゴムのほか南方諸地域の豊富なる農産資源を輸送する點において絕對不可缺であるが、北東アジアを走る横斷鐵道は未開の秘境を行く謎の線だけに、凡ゆる意味で希望と期待がかけられてゐる、また南廻りの縱貫鐵道は廣東、南寧、鎮南關、更にサイゴンとフロンペン間の鐵路敷設を完成すれば昭南まで一先づ片付くし、それから先はインドテヘラン間があるだけで建設工事も山岳と急流を征服するといつた具合が西北線たる横斷鐵道は砂漠と濕地帯といふ大きな難關が横たはつてをり、おまけに機關車の給水も鹽分が非常に強いのでポイラー用水として不適當な惡條件があつて長時間の給水に耐へる機關車が絕對必要である、しかし現在四千キロの自給力を持つ特殊な機關車の製が可能とされてゐるからこの點は征服出來よう、次に一度強風が吹きまくれば驢馬も人も埋め盡す砂漠横斷の間題だが、これもエヂプト砂漠地帯に叢生するスタグラスなどの草の移植やその他の方法をもつて充分解決出來る、殘る濕地帯の克服も専門家の研究によつて立派に乗りこえるところまで進んでゐるのに、北東横斷線中最も至難な西北邊疆地方突破はもはや建設面では絕對に大丈夫といふ太鼓判がおせよう

### 亞歐橫斷鐵道調查進捗

### 【北京七日發】

大東亞縱貫鐵道敷設計畫が話題を賑はしてゐる折から、今度は東京とベルリンを結ぶ亞歐橫斷鐵道が滿鐵、華北、華中の各鐵道關係者の手によつて着々基礎的調査が進められ、第二次世界大戰終了の曉にはシベリア鐵道に比す中央アジア横斷鐵道が世界平和建設の大動脈となつて出現しようとしてゐる、これにつき華北交通工務局主任佐藤周一郎氏はパミール高原を突破して亞歐を結ぶ夢物語りも最早現實の問題だと前提して次の如く語つた

アジアとヨーロッパを結ぶ中央アジア横斷鐵道は北京、張家口からオル

### 華北勞力供出計畫數突破

【太原六日發】山西省長馮司直氏は今回病氣のため辭任代理省長として同省教育

【北京十一日發】華北は大陸國內における唯一の努力給源地として大戦下生産力増強の要望に應へその役割は益々重要化してゐるが華北勞工協會調査による昨十八年度中の華北から滿洲、蒙疆、華中向勞工供出数は累計百七十三万五千人に達し、一昨年末の滿華勞務連絡會議において決定せられた昨年度計畫數八十二萬人を遙かに突破する盛況を示した、尤もこれを十七年度の百八萬六千三百三十四人に比すれば七萬七千五百九十九人の減少であるが、これは滿洲向供出が昨秋華北のコレラ流行で約二ヶ月間に亘り中絶されたこと、及び滿洲國內の勞務體制確立によつて華北勞工に對する需要が低下した結果で、反面蒙疆、華中向け重要産業方面の勞務需要旺盛化により急増をみてゐることは注目される

# 蒙疆

## 緊急増産實施要綱決定

【張家口一日發】蒙古政府では時局の要請に對應し本年度は農産物の大々的増産を圖ることとなり、この程昨年十月策定の約約七三九年農産増産方策要綱を根本的に修正し、新たに成約七三九年度緊急増産實施要綱を決定した、しかして政府では今回策定の緊急増産實施策の徹底を期するため一日省、盟實業副署長會議を開催したが地方省、盟においては二月中に緊急増産實施要綱に基くあらゆる増産準備を完了、三月早々實施に着手する豫定である

## 蒙銀の對滿信用供與限度引上げ

【張家口十七日發】昨年三月の滿蒙經濟連絡會議の結果滿蒙間交易物資の價格調整のため蒙疆銀行は滿洲中央銀行に對し六百萬圓を限度とする信用を供與現在に至つたが、その後蒙疆よりの對滿輸出物資中價格騰貴せるものが生じたので滿蒙兩當局者間に折衝中のところ今右限度六百萬圓を九百萬圓に増額することに協定成立した、よつて近く蒙銀、中銀間に右に關する契約が調印される筈である

## 地下資源を調査

【張家口廿三日發】蒙古政府では地下資源の賦存状態調査のため日本より地質専門家を多數を招聘、現地軍、大使館、北支那開發など關係機關の積極的協力を得て疆内全地域に亘り大々的調査を實施することとなり、産業部を中心に準備を進めいよいよ近日中に調査に着手することとなつた

## 中國短信

(△國民政府▲華北)

- 【四日】 △谷大使汪主席と懇談 ▲華北宣傳會議開催
- 【七日】 △物資審議委員會廣東分會發會式
- 【十日】 △軍機保護法公布
- 【十一日】 △駐華帝國大使館日華親善功績者を表彰
- 【十六日】 △谷駐華大使十四日以来漢口方面視察中であつたが、南京に歸着

【十七日】 △香港損害保協會創立 ▲華北電線株式會社(資本金三千萬圓本社天津)創立總會、同社はアルミ及び同電線の現地自給自足を目的に北支那開發、古河電氣工業、住友電氣工業、藤倉電線の共同出資により成立したもので、取締役會長松本新太氏(藤倉社長)

【廿一日】 △本間中將岡村最高指揮官を訪問▲北京烈士顯彰會沖、横川兩烈士らの追憶法要

【廿三日】 △織統制總會長に徐良氏就任

【廿四日】 △國府中政會議禁烟三ヶ年計畫に伴ふ禁烟總局並に地方禁烟局組織暫行條例草案及び全國衛生行政組織系統大綱草案等を審議可決、衛生行政の一元化を成る

【廿日】 △上海で故柴崎中將慰靈祭 ▲香港總督部創立二周年記念式△儲備銀行徐州支行開所



## 宮廷錄事

皇帝陛下賀詞受 ドイツ、ルーマニア、タイの各國元けさせらる【新 首よりの祝電にも御謝電を發せられ京六日發】御目した  
出たく御三十八回の御誕辰を迎へさせられた滿 皇帝陛下建國神廟御拜【南京十一日發】紀元節の佳節に當り滿洲國皇帝陛下には午前十時三十分、西便殿にて梅津關東軍司令官兼大使と御會見賀詞を受けさせられ、次いで觀見賀詞を賜ひ更に東便殿にて資格者に觀見を賜ひ更に東便殿にて日本側文武官に接見を賜ひそれぞれ朝賀の儀を擧げさせられた、なほ午後二時より觀見殿にて外國使臣等に接見を賜つた

## 政治・軍事

紀元二千六百年記念章を賜はる【新 京十一日發】異き邊りでは、この程滿洲國內滿系要人に對し紀元二千六百年記念章を贈與又は下賜の御沙汰のあらせられたので駐滿大使館に於ては左の如くこの旨を發表すると共に近く傳達式を行ふこととなつた  
△駐滿大使館發表

長き邊りにおかれられては先に紀元二千六百年に際し御訪日隨員として渡日したる、照官内府大臣外二十六名、並に滿洲國內にありし日本帝國紀元二千六百年慶祝業務に直接參畫せる張國務總理大臣外滿洲國要人四十名に對し、紀元二千六百年記念章贈與又は下賜の御沙汰あらせられた、駐滿日本大使館では今般現品到着せるを以て近く傳達式を行ふこととなりたり

## 全滿省次長會議

【新京一日發】全滿省長會議は一日午前九時から國務院講堂に開催、張總理、武部總務長官より率先垂範陣頭指揮を要望、地方民心の安定を圖り北邊鎮護と共に生産増強に邁進せられたいと訓示を行ひ、終つて十一時十分各省次長打揃つて帝宮に參拜、建國神廟に參拜の後、皇帝陛下に接見仰せつけられた、午後は一時開會、總務廳關係並に同外局關係事項の指示に次いで、軍事、民生、外交、司法、興農、興業、經濟、交通各部所管事項の指示があり、質疑應答は第二日に行ふこととし午後六時第一日の日程を終了した

## 協和會全滿省本部副長會議

【新京四日發】滿洲國協和會では全滿省次長會議に引續き四日午前十時中央本部に本年度初の全滿省本部副長會議を開催、△輸送量態勢の強化△戰時經濟態勢の強化△國民動員態勢の強化等に關する昨年度現地運動の報告、舉國戦力化を目指す國民戰時態勢確立の具體的方途につき意見交換、中央地方を渾然一體とする強

力なる運動の展開を申合せた

### 經濟、交通兩部機構改革

【新京廿六日發】滿洲國政府は戦力増強の手段に對處し、行政機構においても決戦増産に即應する態勢を速かに確立すべし、經濟交通兩部機構の刷新強化を圖ることとなり、既に本年預算にその經費を計上すると共にこれを準備を進め、右に關する官制改正案は參議府の諮詢を経たのである三月一日より實施することになつた、今次改正の重點は經濟部に於いては鐵道、石炭、非鐵金屬、液體燃料などの畫期的増産に基く、礦山司關係事務の増加に鑑み、同司を廢止しこれを金屬及び燃料の二司に分割その擴充を行ふと共に、工務司においては輕金屬、並に軍需工業關係、金融司においては儲蓄關係機構の強化を圖つたこと、また交通部においては戰力増強の基礎として運輸、航空、通信並に土木建設など所管業務の重要性が加重されるに至つたので、これに即應して機構の全面的再編成を斷行し、同時に本部の徹底的簡易化と第一線機關の強化を圖つたこととで、これにより交通部は官房及び鐵路、道路、航空、水路、都邑計畫の五司であつたのを、官房及び運輸、航空、電政、建成、利水の四司に改め、更に各種建設の機動性を發揮するため直轄建設業務を一括擔當する外局として土木總局を新設する、又地方直轄官廳を省公署に統合して一般行政とを綜合一體化を圖り、更に交通部、土木總局及び各省を通ずる臨時定員制を設けて有事即應の方途を講じたことは注目される

### 「滿洲假名」決定

【新京十七日發】滿洲國文教當局は從來の漢字の注音文字にとつて代るべき音標文字について過去七年間熱心な研究を續けて來たが、その研究の結果がこのほど「滿洲假名」の標音假名として完成したので、十五日公表した、この滿洲假名は中國の注音字母と同様、漢字を習得する足場となるべきものであるだけに、難解な符號を極力避けるといふ見地から、現在すでに國內に普及してゐる日本語の片假名のみを用ゐてあらゆ漢字の發音を示し得るやうにしたところに大きな意義がある、清濁、半濁音のすべてを含めて七十文字を覺へればあとは支那語特有の發音を表すための十二の約束を設けるだけで、すべの漢字の音が片假名で自由に表現されるわけで、その狙ひは一般滿系大衆の啓蒙に重點をおいて、文盲乃至それに近い者をして文字を讀み假名まじりの文を綴れるやうに指導してゆくといふところにあり、その普及の曉には滿系全國民の文化向上に寄與するところ絶大なものと大いに期待されてゐる

### 興亞使節團訪日

【新京十二日發】滿洲國建國十年の輝く成長の跡を傳へると共に相互に提携協力して征戰完遂に進進する決意を誓ひ合はせる興亞使節團一行（日本）隨員協和青少年團代表藤田藤一（新京）協和會中央本部青少年部尹敬章（濱江省）、魏鴻壽（吉林省）の三君は使節黃興農部大臣に先立つて廿二日午後四時新京發列車で日本に向つた

### 【新京廿三日發】滿洲國派遣興亞使節

【新京廿五日發】滿洲國建國十二周年記念訪日興亞使節黃興農部大臣新京發空路東上した

### 人事

【新京廿三日發】滿洲國派遣興亞使節華中班安聚雲氏（總務廳監察部長）以下隨員莊秀川（協和會中央本部）一行は廿三日午後六時新京發列車で南京へ向つた、一行は二十七日頃南京着滿洲國建國記念日の三月一日を中支各都市を巡歴交驛する

命滿洲棉花株式會社社長 牧野 克  
命滿洲棉花株式會社理事 皆川 豊治  
命滿洲棉花株式會社理事 牧野 克  
命滿洲棉花株式會社理事 皆川 豊治  
命滿洲棉花株式會社理事 牧野 克  
命滿洲棉花株式會社理事 皆川 豊治

警護隊總監部は鐵路警護軍司令部にまた鐵路警護隊本部は鐵路警護隊司令部、鐵路警護隊は鐵路警護隊司令部、鐵路警護隊は鐵路警護隊司令部、鐵路警護隊は鐵路警護隊司令部

### 軍事

【新京二日發】滿洲國康徳十一年度國軍參謀長會同は二、三の兩日にわたつて開催されるが、第一日の二日は會議に先だち各軍關係參謀長は午前十時十分帝宮に參進記帳のうへ建國神廟に參拜次いで關東軍司令部において梅津司令官より挨拶あり、午後一時から軍司令部會議室に參集會議に入り各軍管區の狀況報告を行つた

### 國軍參謀長會議

【新京二日發】滿洲國康徳十一年度國軍參謀長會同は二、三の兩日にわたつて開催されるが、第一日の二日は會議に先だち各軍關係參謀長は午前十時十分帝宮に參進記帳のうへ建國神廟に參拜次いで關東軍司令部において梅津司令官より挨拶あり、午後一時から軍司令部會議室に參集會議に入り各軍管區の狀況報告を行つた

### 財政・經濟

【新京二十九日發】滿洲國政府では現行通行税を改正することになり、諸般の準備を進めて來る四月一日より實施の豫定である、今次改正の要點は現在普通旅客に對する課税制度は十一段階に分けた料別の定額課税であつたが、これを料當り定額による距離比例課税に改正するもので、課税額は一軒又はその端數毎に二等八厘、二等四厘、三等二厘となる、また急行券、寢臺

【新京廿七日發】滿洲國政府は時局下鐵道警護の重要性に鑑み現在の鐵道警護總隊についてその内面整備と指揮系統の統一を圖るべく、これを鐵路警護軍に改編し、國軍の一部として軍事部に統合、以て防衛力の一元的運営を圖ることとなり、廿三日參議府會議の諮詢を経たので、來る三月一日を期し實施することとなつた、今回の軍編成に伴ひ從來の鐵道

券に對する通行税の税率は現行では料金の百分の十であつたが今後は百分の二十と倍加される

### 興銀の下期業績

【新京十一日發】滿洲興銀の康徳十年度下半年決算は十日の通常總會において報告されたが、同期業績をみると戦時緊急産業方面の資金需要増、金融機關に對しては相當額の公債を保有せしめたことによる

### 滿洲國價格等臨時措置法を擴大

【新京二十八日發】滿洲國政府では「價格等臨時措置法」を改正し、従来の統制対象たる物品の價格、運送費、保管料、賃賃料、加工賃の五種類を擴大、更に修理用手間賃、請負料、洗濯料等の如き人的物的給付に對する報酬等にまで及ぼすこととなり、爾來新たに適用をうけるべき右修理料等の範圍を検討中であつたが、この程決定したので二十五日經濟部布告をもつて一定期日において停止すべき修理料などの範圍及び年月日を指定し當該料金の具體的統制を實施することとなつた、今次の指定は差當り停止を必要とするものに限られており、自動車の修理料ほか八種類の修理料等を指定したのであるが、これらのものは指定期日たる今年二月十五日における額を一齊に停止された、新たに指定せられた種類次の通り

【新京廿日發】滿洲國における國民貯蓄運動の進展に伴ひ近時滿洲國公債の消化成績は著しく好轉を見つてあるが、康徳十年度(自一月至十二月)は發行額四億六百萬圓に對し消化額は四億三千八百萬圓で、消化率は百パーセントを突破するといふ好成绩を示して、即ち十年度公債發行額は公募公債六千五百萬圓、滿洲中銀引受公債三億四千五百萬圓、合計四億六百萬圓に達したが、消化額は

儲蓄部一億九千萬圓、金融機關一億六千三百萬圓、その他八千五百萬圓、合計四億三千八百萬圓となり、從つて毎年累増し來つてゐる滿洲中銀保有額は年末に十億五千萬圓と前年末に比し七千萬圓の減少となつた、右好成績の主因としては普通銀行に對しては預金殘高の二割を、その他の金融機關に對しては相當額の公債を保有せしめたことによる

### 滿鐵運賃値上げ

【新京廿九日發】滿鐵では四月一日から現行旅客運賃の改正を斷行することとなり廿九日發表した、今回の改正は一般大衆のもつ負擔力の實體に鑑み浮動購買力を吸収して決戦陸運の強化を圖るを眼目とし、昨年一月一日の改正以來九一年振りに行はれるもので、新運賃は一軒當り三等現行二錢六厘を三錢に、二等四錢五厘を五錢に、一等六錢五厘を七錢となつた

【新京廿九日發】滿鐵では四月一日から現行旅客運賃の改正を斷行することとなり廿九日發表した、今回の改正は一般大衆のもつ負擔力の實體に鑑み浮動購買力を吸収して決戦陸運の強化を圖るを眼目とし、昨年一月一日の改正以來九一年振りに行はれるもので、新運賃は一軒當り三等現行二錢六厘を三錢に、二等四錢五厘を五錢に、一等六錢五厘を七錢となつた

### 昭和製鋼に久保田賞設定

【鞍山六日發】鐵鋼の父と仰がれ六十四年間の生涯を日滿製鐵業に捧げて逝いた前昭和製鋼所理事長久保田省三氏の遺徳を永く記念するため同製鋼所ではこの程久保田家より贈られた寄附金五萬圓を基金に久保田賞を設定、今後毎年全社員中より發明及び功勞により社業に多大の功績を齎した者を選びこれを顯彰することとなつた

【新京廿九日發】滿鐵では四月一日から現行旅客運賃の改正を斷行することとなり廿九日發表した、今回の改正は一般大衆のもつ負擔力の實體に鑑み浮動購買力を吸収して決戦陸運の強化を圖るを眼目とし、昨年一月一日の改正以來九一年振りに行はれるもので、新運賃は一軒當り三等現行二錢六厘を三錢に、二等四錢五厘を五錢に、一等六錢五厘を七錢となつた

### 製鐵三社合同

【新京十八日發】滿洲國政府は鐵鋼増産の綜合能力發揮によつて戦力増強に遺憾なきを期すべくさきの電力事業統合に引續き國內三製鐵事業の製鐵合同に關する要綱の策定を急いでたが十七日參議府會議を通じて、この十八日その内容を發表した、これによれば昭和製鋼(資本金四億圓)、本溪湖製鐵公司(同二億圓)、東邊道開發(同二億四千萬圓)の三製鐵會社を統合し新たに滿洲製鐵株式會社(資本金七億四千萬圓、拂込六億四千萬圓)を設立し、新發足を遂げる

【新京二十六、二十八日發】鐵鋼緊急増産の綜合能力發揮のためさきに決定された昭和製鋼、本溪湖製鐵、東邊道開發の三大製鐵會社を統合して設立される滿洲製鐵會社(資本金七億四千萬圓、拂込六億四千萬圓)については四月一日新發足を目標に同會社法の制定を急いでたが同法は二十五日の參議府會議を通じて、二十九日付をもつて公布即日施行同時に一切の設立事務に當るべき設立委員を政府より任命した、同會社法によれば同社は本店を鞍山市におく滿洲國特殊法人とし事業目的としては鐵鋼及びその副産物の製造及び販賣、石炭その他製鐵事業に必要な礦物の採掘及び販賣に關する業務を營むこととなつてゐる、新會社は理事長一名のほか理事五名以上、監事三名以上をおき株主總會において選任するが差當り舊三社の理事は大部分新會社の理事に就任するものとみられる、合同による株主の割當は、三社の株式一株に對し等價拂込みの新會社株式一株とし、社債は拂込株金額の三倍まで發行し得ることになつてゐる、しかして政府の監督に對しては

### 滿鐵職制改革

【新京三日發】滿鐵では昨年五月本部機構の刷新を断行したが、今回新會社の整備を断行して全重役を刷新し、本部機構として全重役をはかることとなり、從來奉天に存置されてゐた總務、總理、施設及び工作の四局の中樞を新會社に移駐し、同時に企畫局を廢止して總裁の社業統轄に關する事務的輔佐機關として總裁直屬の企畫室を設置することとなり、三日右に伴ふ職制改革並に人事異動を發表した、新機構は二月一日に廻り實施される

### 滿洲製鐵會社法實施

【新京二十六、二十八日發】鐵鋼緊急増産の綜合能力發揮のためさきに決定された昭和製鋼、本溪湖製鐵、東邊道開發の三大製鐵會社を統合して設立される滿洲製鐵會社(資本金七億四千萬圓、拂込六億四千萬圓)については四月一日新發足を目標に同會社法の制定を急いでたが同法は二十五日の參議府會議を通じて、二十九日付をもつて公布即日施行同時に一切の設立事務に當るべき設立委員を政府より任命した、同會社法によれば同社は本店を鞍山市におく滿洲國特殊法人とし事業目的としては鐵鋼及びその副産物の製造及び販賣、石炭その他製鐵事業に必要な礦物の採掘及び販賣に關する業務を營むこととなつてゐる、新會社は理事長一名のほか理事五名以上、監事三名以上をおき株主總會において選任するが差當り舊三社の理事は大部分新會社の理事に就任するものとみられる、合同による株主の割當は、三社の株式一株に對し等價拂込みの新會社株式一株とし、社債は拂込株金額の三倍まで發行し得ることになつてゐる、しかして政府の監督に對しては

【新京廿日發】滿洲國における國民貯蓄運動の進展に伴ひ近時滿洲國公債の消化成績は著しく好轉を見つてあるが、康徳十年度(自一月至十二月)は發行額四億六百萬圓に對し消化額は四億三千八百萬圓で、消化率は百パーセントを突破するといふ好成绩を示して、即ち十年度公債發行額は公募公債六千五百萬圓、滿洲中銀引受公債三億四千五百萬圓、合計四億六百萬圓に達したが、消化額は

【新京廿九日發】滿鐵では四月一日から現行旅客運賃の改正を斷行することとなり廿九日發表した、今回の改正は一般大衆のもつ負擔力の實體に鑑み浮動購買力を吸収して決戦陸運の強化を圖るを眼目とし、昨年一月一日の改正以來九一年振りに行はれるもので、新運賃は一軒當り三等現行二錢六厘を三錢に、二等四錢五厘を五錢に、一等六錢五厘を七錢となつた

【新京十八日發】滿洲國政府は鐵鋼増産の綜合能力發揮によつて戦力増強に遺憾なきを期すべくさきの電力事業統合に引續き國內三製鐵事業の製鐵合同に關する要綱の策定を急いでたが十七日參議府會議を通じて、この十八日その内容を發表した、これによれば昭和製鋼(資本金四億圓)、本溪湖製鐵公司(同二億圓)、東邊道開發(同二億四千萬圓)の三製鐵會社を統合し新たに滿洲製鐵株式會社(資本金七億四千萬圓、拂込六億四千萬圓)を設立し、新發足を遂げる

【新京二十六、二十八日發】鐵鋼緊急増産の綜合能力發揮のためさきに決定された昭和製鋼、本溪湖製鐵、東邊道開發の三大製鐵會社を統合して設立される滿洲製鐵會社(資本金七億四千萬圓、拂込六億四千萬圓)については四月一日新發足を目標に同會社法の制定を急いでたが同法は二十五日の參議府會議を通じて、二十九日付をもつて公布即日施行同時に一切の設立事務に當るべき設立委員を政府より任命した、同會社法によれば同社は本店を鞍山市におく滿洲國特殊法人とし事業目的としては鐵鋼及びその副産物の製造及び販賣、石炭その他製鐵事業に必要な礦物の採掘及び販賣に關する業務を營むこととなつてゐる、新會社は理事長一名のほか理事五名以上、監事三名以上をおき株主總會において選任するが差當り舊三社の理事は大部分新會社の理事に就任するものとみられる、合同による株主の割當は、三社の株式一株に對し等價拂込みの新會社株式一株とし、社債は拂込株金額の三倍まで發行し得ることになつてゐる、しかして政府の監督に對しては

【新京二十六、二十八日發】鐵鋼緊急増産の綜合能力發揮のためさきに決定された昭和製鋼、本溪湖製鐵、東邊道開發の三大製鐵會社を統合して設立される滿洲製鐵會社(資本金七億四千萬圓、拂込六億四千萬圓)については四月一日新發足を目標に同會社法の制定を急いでたが同法は二十五日の參議府會議を通じて、二十九日付をもつて公布即日施行同時に一切の設立事務に當るべき設立委員を政府より任命した、同會社法によれば同社は本店を鞍山市におく滿洲國特殊法人とし事業目的としては鐵鋼及びその副産物の製造及び販賣、石炭その他製鐵事業に必要な礦物の採掘及び販賣に關する業務を營むこととなつてゐる、新會社は理事長一名のほか理事五名以上、監事三名以上をおき株主總會において選任するが差當り舊三社の理事は大部分新會社の理事に就任するものとみられる、合同による株主の割當は、三社の株式一株に對し等價拂込みの新會社株式一株とし、社債は拂込株金額の三倍まで發行し得ることになつてゐる、しかして政府の監督に對しては



部大臣に提出し經濟部大臣は會社の業務に對し必要の命令を發し得ることとする、しかし會社に對する配當保證の如きは定めないのでその點については價格政策その他によつて必要に應じ適當なる措置が講ぜられる管である、なほ合同要綱に示された方針並びに事業目的からみれば本溪湖並びに奉天遼寧兩社の有する石炭事業も新會社に引継がれるが他の製鐵原料炭についても直營とするかどうかは今後に殘された問題である

### 北滿開發株式會社を設立

【新京廿七日發】東洋拓殖では滿洲國黑龍江省內小興安嶺山麓の原始林と黑龍江上流沿岸大興安嶺の無盡藏の森林資源及び嫩江、黑龍江支流の豊富な水産資源を利用、自給農場を有する牧場經營を中心に農、畜、林、水産業とその加工を行ふ北滿開發株式會社(假稱)(資本金一千萬圓、全領事拓出資)を設立することとなり準備中のところ、三月中に設立手續きその他が完了するので來る四月から本格的に事業に着手する豫定である、右事業計畫內容は小興安嶺地區内の國有原始林約十萬町歩の拂下げを受け、大規模の牧場と従業員食糧並に畜産用飼料を自給する約三萬町歩の自給農場を經營して五年後には食肉〇千トンを生産するほか畜産物の加工、製粉事業を行ひ、又黑龍江支流において一大淡水漁業を行つて北滿地方の需要を充たさうといふもので資本も將來は二千萬圓に増加することとなつてゐる

### 銅鐵回收強化

【新京三日發】金屬回收は最も手近な鑛工業増産である、と滿洲國政府では昨年八月來金屬回收により新京以下十都市で銅及び銅合金製品の回收を行つたが今年は更に回收の徹底を期して指定施設の範圍を全面的に擴大すると共に從來の指定銅製品五十品目に新たに四十五品目と鐵製品十五品目を追加し來る四月一日から回收運動を一層積極的に展開する

### 勤勞動員態勢強化

【新京五日發】滿洲國々民勤勞奉公局ではこの程本年度運營要領を確定國民鍊成を通じて戦力増強、北邊鎮護の重要な任務を擔ふ勤勞第二年度の巨歩を踏出すこととなつた、本年度運營要領の主たるもの次の通り、一、機構の整備擴充 中央に整備處及び徵募課を新設、地方に動員課を新設するほか各級司令本部機構を強化し現地即應の總力態勢をとる、二、動員の完遂 動員地域區分を廢止するとともに移動整備及び點呼を明確に實施、惡質服務者に對する罰則の適用、志願隊運營の適正化等に重點を置く

### 緊急農地造成計畫通り進捗

【新京五日發】滿洲國の緊急農地造成計畫は諸般の準備も進捗したので、緊急増産推進本部では五日午後一時半から迎賓館において第二回參與會を開催、各擔當部門別にその進捗状況を報告今後進捗策につき種々協議した、また本年度は更に工場

特技隊を強化擴充、工場、醫療兩特技隊のほか建築、造船、橋梁、潛函、伐採測量、炭燒運搬等各種特技隊の機構を擴充し、また地方幹部鍊成所を新設、保健管理の徹底精神讀本の確立、保衛實施の努め精神讀本、隊服務要領等各種指導書を編纂するとともに作業能率に適應する事業隊技術指導員の積極的協力態勢を確立する、一、協力事業の選定、國防建設事業農地造成事業、工場運輸事業、主要生産事業等その重點を戦力増強面へ指向する

### 農地開發公社設立

【新京廿一日發】滿洲國政府では滿洲農地開發公社設立要綱に基く同公社設立委員長に黃興農部大臣を、委員長に稻垣興野部次長以下十名をそれぞれ任命、廿一日附發令した

### 國民手帳實施

【新京十八日發】滿洲國の國民手帳實施初年度たる本年度は三月卅一日までに申請を完了、四月一日を期して一齊に實施されることになつてゐるが、滿洲國指紋管理局では遅くとも四月末日までには第一回發給對照者全部に手帳が行き渡る如く萬全の準備を進めてゐる、この制度は何等分世界的にも初めての試みであり、また第一回分として約六百萬といふ尠大な國民手帳の發給を豫定してゐるので、當局では發給機關職員の指導訓練を行ふとともに手帳資材等にも萬般の準備を行ひ、早くも新京をはじめとして牡丹江地、吉林省の一部において發給事務を開始し、その他の地域においても事業體、隣組を通じての申請を待つて逐次發給することになつてゐる、なほ國民手帳は國內全地域の國民に對して實施することになつてゐるが、今回は特定の者または特定の地域に居住する者を除き次の諸項に該當する者に發給する、一、數十年十五歳以上の男子で國務總理大臣の指定する地域に居住する者、二、壯丁適齡者および徵集決定の處分を受け未だ入營しない者、三、國民勤勞服務義務者、および志望によつて勤勞に服務する者、四、職能登録令による要登録者、五、國務總理大臣の指定する事業に雇傭される勞働者、六、右の他國務總理大臣の定める者

### 電力二元運營

【新京廿一日發】滿洲國政府は生産力擴充に對する電力事業の使命遂行を期し、(經濟部外局)電力運營に關する滿洲電業株式會社の機構を再檢討を加へることとなり、電力建設並に運營機構再編成要綱の策定を急いでゐるが、十日參議府會議の御諮詢を経て、四月一日を目標に水力電氣建設局を廢止し、これと電業會社を合同して新會社として發給せしめ電力の建設運營を一元的に新會社に掌握せしめることとなり、十一日この内容を發表した、滿洲國における電力企業形態は康徳三年十二月水力電氣建設局官制と康徳七年十二月滿洲電業會社法が公布され、水力電氣建設に關しては建設局、火力發電並に送配電は滿電業と業務分野が一一應明確にされてゐたが、運營の上から一元機構の確立が問題となり、特に鏡泊湖發電所、大豐滿發電所の發電開始、これに即應する火力發電

所の統合、超高壓送電網の施設等が完成の域に達するに及んで一元機構の必要が一層痛切に感ずるに至つたのである、新會社設立の趣旨に至つたのがある、層痛切に感ずるに至つたのである、層痛切に感ずるに至つたのである...

開拓 第二回滿洲開拓全體會議

【新京十七日發】第二回滿洲開拓全體會議は十七日午前十時から國務院講堂に開催、武部總務局長の訓示(代讀)、次いで五十子開拓局長より、昨年度開拓増産實績、本年開拓政策につき説明、滿鮮農林部員を含む開拓増産綜合動員計畫の全貌を明かにし、午後は開拓関係事項の説明の後、昨年度増産蒐荷の成績を収めた開拓團の表彰式を行つた。

實行せんとするものである。昨年度開拓政策の實績【新京十七日發】五十子滿洲國開拓總局長は十七日の第二回開拓全體會議の席上昨年度における開拓政策の實績を報告した、これによれば青年義勇隊滿員數八千人で、昨年未だの總計は内地人開拓民約八百團約七萬五千戸約十八萬五千人、青年義勇隊約七萬五千人、勤勞奉仕隊約四萬五千人、朝鮮開拓民約二萬戸、滿系開拓民約四萬二千戸に上つてゐる、また作付面積については、内地人關係は年度當初豫定の約八割五分で、收穫面積は約七割、即ち二十萬町歩程度であつたが、一町歩當收穫は從來に比して相當多量に上り、供出量は前年度の二倍以上の實績を収めて開拓民七割増産目標を遙かに突破した、なほ朝鮮人開拓民收穫面積は當初豫定面積の八割五分の約四萬三千町歩、滿系開拓民收穫面積は當初豫定面積の九割約十三萬五千町歩及び、町歩當收穫量は從來に比し多量であつた。

【廣東六日發】重慶の西漸は最近頓に活潑化しつづつあるが、重慶中央社電によれば、重慶郵政總局では今回西藏の郵政處を接收することになり同地區郵政局主任に彭敬森を任命したといはれる、右は過般の西藏僧侶の重慶入り引續いて重慶都へ移轉する計畫のもとに同市の建設工事を行ふことになつたといはれる。今後の成行が注目される。

【新京十八日發】第二回滿洲開拓全體會議第二日は十八日午前十時開會、先づ中村開拓研究所長の挨拶の後、朝鮮總督府農田農產局長(代理)西藏僧侶の重慶入り引續いて重慶都へ移轉する計畫のもとに同市の建設工事を行ふことになつたといはれる。今後の成行が注目される。

重慶の外國人 【リスボン七日發】重慶來電●重慶新聞紙の發表した統計によると現在重慶市に在留する外國人は一千四百五十四名で、その内譯は米國人四百六十一名、外譯陣營の強化を圖ることに決した旨十一日外交部より發表し、右は一等書記官四名、二等書記官二百七十八名の順序となつてを、職業別では外交官、軍事代表、商業團體關係者、宣教師等が大部分を占めてゐる、また重慶では東部戦線におけるソ聯軍の戦果によつてソ聯研究熱が昂まり最近支那語に翻譯されたトルストイの「戦争と平和」空前的賣行をみせており、その他ドモリーエルの「レベツカ」、マーツガレット・ミルツェルの「風と共に去り」等の洋書も翻譯されて書店を賑はしてゐる。

總局、交通部道路司及び勤報局關係事項の本年度方針に關する説明に次いで決戦開拓増産挺身の宣誓を行ひ最後に質疑懇談を遂げて午後五時散會した。

八日 王駐日大使歸任の途につく  
九日 滿洲國留日學生團姜希錚以下二十九名新京發  
廿一日 小日山滿鐵總裁東上  
廿四日 哈爾濱船員養成所胡廣島に移轉擴充強化さる。  
廿五日 滿洲證券取引所増資決定

重慶政權

政治・軍事

西藏郵政處を接收 【廣東六日發】重慶の西漸は最近頓に活潑化しつづつあるが、重慶中央社電によれば、重慶郵政總局では今回西藏の郵政處を接收することになり同地區郵政局主任に彭敬森を任命したといはれる、右は過般の西藏僧侶の重慶入り引續いて重慶都へ移轉する計畫のもとに同市の建設工事を行ふことになつたといはれる。今後の成行が注目される。

重慶政權、成都へ移轉計畫 【廣東十二日發】重慶放送によれば重慶政權當局では同政權所在地を成都へ移轉する計畫のもとに同市の建設工事を行ふことになつたといはれる。今後の成行が注目される。

重慶外交陣を強化 【廣東十二日發】重慶放送によれば今同廿八日外交部を反樞軸諸國に派遣、外交陣營の強化を圖ることに決した旨十一日外交部より發表し、右は一等書記官四名、二等書記官二百七十八名の順序となつてを、職業別では外交官、軍事代表、商業別では外交官、軍事代表、

副領事三名その他在外武官及び外交官等であるが、この外交陣の増強は孤立重慶の運命が窮迫の一途を辿る折柄反極軸各國との外交關係強化を意圖したものと見られる

抗日紙盆世報停刊

【廣東十六日發】最近の重慶言論界は四圍の情勢を如實に反映して愈々論調も低調に墮してあるが○永年に亘る民衆欺騙の宣傳が既に民心を離反せしめてあること○當局の言論壓迫は愈々加重し更に經濟的にも新聞自體の經營が困難となつたこと等の諸條件により言論界は從來に見ざる危機に陥つてをり、事變前天津において抗日の毒筆を振つたかつての有力紙盆世報も重慶に逃避して以來經營困難となり遂にこの一月以來停刊するに至つてゐる、また大公報、掃蕩報の如き一流紙ですら發行部數は僅かに二萬そこそこで、重慶政權は既に宣傳紙においてもいよいよ窮乏の一途を辿つてゐる

班禪喇嘛即位

【リスボン十七日發】重慶からリスボンに達した電報によればさる二月八日當年七歳の第十世班禪喇嘛が重慶政權代表の同喇嘛の下に四歳で即位したといはれる喇嘛は一九三七年第九世班禪喇嘛が死去した後一九三八年青海省で轉生したもので爾後重慶政權の保護の下に養育されてゐたものである

黨宣傳副部長更迭

【廣東廿三日發】重慶放送によれば重慶政權は廿二日の國民黨中央執行委員會議で宣傳部副部長程滄波の辭職を認め後任に中央設計局委員で國民參政會委員たる許孝炎を任命した

陝西省首腦異動

【廣東廿三日發】重慶中央電報によれば陝西省政府首腦人事の全面更迭を斷行、省主席熊斌は罷免され後任には祝紹周が任命された、右人事の大がかりな刷新には複雑な對

操も十六日に至り外人記者團との會見で次ぎの通り言明したと傳へらるる共産第十八集團軍は支那事變の當初より正規な國民軍の一部と看做され居たが共産黨が重慶政權の政令に服せず共産黨政權が自身の責任に於て租税を徵收し出して以來重慶政權は第十八路軍に對する軍費の支給を停止するに至つた、共産黨が態度を改めて従前の立場に復歸することを希望する、重慶軍が共産黨地區を封鎖して居るなどと言ふことはない、重慶政權としては飽く迄國民共の關係を國內問題と看做して居る

蔣、社會道德の低下を嘆く

【南京廿四日發】敗戦につぐ敗戦の結果重慶政權治下の社會道德は低下の一途を辿つてゐる、蔣介石は去る十九日の新生活運動十周年記念日に「同胞に告ぐ」と題して放送を行ひ「民衆よ、過去の熱情を取り戻せ」を抗戦の苦惱を遺憾なく露呈せる叫びを擧げ抗戰意識の昂揚を要求してゐる、蔣介石の放送要旨左の通り新生活運動提唱後三年の間は多大の成果を收め國家觀念及び社會道德が如何に向上してゐるかを證明したが民國廿六年の全面抗戰發動以後は戰時の困難のため社會道德は悪影響を被つた、然も民國廿五年に至つて國民は戦前の二倍に昂騰、茲に於て物價は戦前の漸く低下しまさに物價の昂騰と反比例したものである、即ち物價が一倍騰貴すれば國民道德は反對に一倍低下して來てゐる、これは國民の一大恥辱であると共に抗戰史上の汚點である、このまま推移するならば抗戰建國の成功は絶望と云はねばならぬ、今日民衆は共同して物價を抑制し戰時經濟を安定して物價生活及び精神生活の改革刷新を行ひ抗戦力の増大を圖らねばならぬこのためには政府は徹底的に物價を統制するが民衆もこれを克服し、自發的に政府の物價抑制に協力されん事を望む又新國民運動の最も主要な點は國民各自がよく戰時に於ける義務を盡すにある、即ち其の一つは勤勞節約である本年の主要任務は生産増加及び消費節約であり國民の基本的義務であると信ずる、生産増加による國民所得の増大もこれを往々に消費して社會經濟を破壊することなく、自發的に國家の抗戰費として賦納すべきである、節約貯蓄の徹底的實施に關しは毎月毎月百元或は収入増額の三割以上を節約することを要する、次に義務労働の徹底的であるが、元來中國は資力の代りに豊富な人力を有してゐる、これはわが國の主要な資本である、我々ももつ努力を以て資本を生むならば地方經濟の向上を圖り地方自治の職能を強化し國家の實力を涵養することが出来る、昨年の十二月發布された義務労働法で國民の義務労働は毎月十日間と定められてゐるが、既に決戦段階に入つてゐる今日においては、國民はいよいよ義務労働を徹底し戦後建設工作、三民主義國家の建設に最大の力を發揮しなければならぬ

對英反感露骨化

【廣東二十五日發】重慶側最近の論説は英國に對する反感を露骨化しその對インド政策や東亞戰局に對する不平、或は重慶に對する認識不足等の事實を採り上げて眞向から非難攻撃の聲をあげてゐる、これは英國のたといふこと、しかも辭去しようとする際チャーチルは極めて不眞面目な態度で支那の鞠躬の禮を眞似たといふ、國際儀禮を盡して應待した使節團がこれを見て果してどんな思ひがしたであらうか、共同の敵打倒のために相互に信頼し眞剣に提携して行くべきときに當りこんな話を聞くことは不愉快至極である

駐米大使更迭か

【廣東廿五日發】當地に達した情報によれば重慶政權駐米大使魏道明は

得の増大もこれを往々に消費して社會經濟を破壊することなく、自發的に國家の抗戰費として賦納すべきである、節約貯蓄の徹底的實施に關しは毎月毎月百元或は収入増額の三割以上を節約することを要する、次に義務労働の徹底的であるが、元來中國は資力の代りに豊富な人力を有してゐる、これはわが國の主要な資本である、我々ももつ努力を以て資本を生むならば地方經濟の向上を圖り地方自治の職能を強化し國家の實力を涵養することが出来る、昨年の十二月發布された義務労働法で國民の義務労働は毎月十日間と定められてゐるが、既に決戦段階に入つてゐる今日においては、國民はいよいよ義務労働を徹底し戦後建設工作、三民主義國家の建設に最大の力を發揮しなければならぬ

【廣東廿五日發】當地に達した情報によれば重慶政權駐米大使魏道明は

得の増大もこれを往々に消費して社會經濟を破壊することなく、自發的に國家の抗戰費として賦納すべきである、節約貯蓄の徹底的實施に關しは毎月毎月百元或は収入増額の三割以上を節約することを要する、次に義務労働の徹底的であるが、元來中國は資力の代りに豊富な人力を有してゐる、これはわが國の主要な資本である、我々ももつ努力を以て資本を生むならば地方經濟の向上を圖り地方自治の職能を強化し國家の實力を涵養することが出来る、昨年の十二月發布された義務労働法で國民の義務労働は毎月十日間と定められてゐるが、既に決戦段階に入つてゐる今日においては、國民はいよいよ義務労働を徹底し戦後建設工作、三民主義國家の建設に最大の力を發揮しなければならぬ

蔣介石の召還命令により去る一月廿六日重慶に歸還したが、世界戦局の進展に伴ひ重慶としては對米依存政策を更に強化する必要があるから今回駐米大使を更迭することに決定し目下後任の銜銜を急いでゐると云はれる、

### 駐印重慶軍の公路工事停頓

【廣東九日發】重慶軍事委員會機關紙掃蕩報の報ずるところによればピルマ北部の山岳地帯に蠢動しつつある駐印重慶軍の任務はインド・アツサム州より雲南に透する公路開設にあり、同公路はアツサム鐵道の某地點を起點とし、ヒーナガ及びパトカイ兩山系を縫つて現在ピルマ北部フーコン溪谷まで工事を進めつつあるが、同方面のジャングルと日本軍の攻撃によつて工事は目下停頓状態に陥つてゐる、而して重慶軍に對する補給は米空軍の飛行機によつて投下されてゐるが、これとても到底充分ではなく、又食糧の現地徵集も住民の反感のため思ふにまかせず、兵隊は過激な勞働と營養不足の結果極度に憔悴してゐると云はれる、なほ同方面重慶軍指揮官は少將孫立人である

### 重慶軍の作戦撓らず

【廣東十九日發】重慶放送に依れば重慶軍事委員會代辯者は十八日新聞記者會見において北部緬印國境フーコン溪谷地帯における重慶軍の指揮をとりつつある米軍司令官スチルウェルから蔣介石に對し同方面の戦況報告があつたが、作戦はジャングル地帯であるだけに極めて困難である

### 軍事機構大改革

【廣東十八日發】當地に達した確實なる情報によれば抗戰重慶は國內戦線統一の最後策として軍事機構の畫期的改革を斷行することに決定し、下着々準備中といはれる、右改革案の要點左の通り

一、蔣介石の主席就任に伴ひ重慶政權の最高機關たる國防最高委員會を國防會議に、また軍事委員會を元帥府に改編、蔣介石の下に九名の元帥を置く

### 宋美齡西南前線旅行

【廣東廿八日發】重慶放送によれば宋美齡はこの程昆明の在支空軍及び重慶軍第一線將兵慰問と稱して西南支那方面を旅行廿七日重慶に歸還した、宋今回の旅行目的は最近特に顯著となつた、同方面に對する米軍の出の結果重慶軍との間に軋轢を生じ、殊に陳誠の西南方面軍總司令官辭任以來不穩の形勢が濃化したためこれが實情を調査するにあつたといはれる

二、中央設計局、黨政工作考察委員會、國家總動員會議の二機關を整理統合す

三、軍事委員會委員長行營を廢止し左の四統帥部を配置し各地方における一切の軍權を掌握せしむ(一)天水統帥部(長官何應欽もしくは顧祝同)中央軍の彈壓を目的とし(二)成都統帥部(長官李宗仁)長江一帯における對日抗戰を目的とし(三)昆明統帥部(長官陳誠)ビルマ反攻の主力となす(四)桂林統帥部(長官張發奎)

四、各戰區を統合し、三軍管區、一遠征軍に區劃す(一)西北軍管區(司令官關錫山)山東、山西、河北、陝西、綏遠(二)中央軍管區(司令官李宗仁)江西、安徽、浙江、湖北、河南(三)西南軍管區(司令官張發奎)廣東、湖南、貴州、廣西(四)ビルマ遠征軍(司令官代理衛立煌)

【廣東廿八日發】重慶放送によれば昨年十月重慶に歸還以來約四ヶ月にわたつて西南支那各地を視察、獨特の重慶批判論を行つて種々問題を起こした評論家林語堂は空路米國に向け出發した

### スチルウェル重慶軍の統帥權蹂躪

【廣東十六日發】重慶放送によれば在東亞米軍司令官スチルウェルは去る十三日の記者會見において、重慶軍事系統統帥權を蹂躪する左の如き發表を行ひ重慶側の猛烈な非難を激發した「インド、ビルマ、支那を連結し、輸送力を強化するための新ルート開設を急ぐ必要があり、この方面の日本軍の進出を除去するため決定した」而して右發表にある重慶軍の増派に關しては事前に重慶軍に

【廣東十八日發】當地に達した確實なる情報によれば抗戰重慶は國內戦線統一の最後策として軍事機構の畫期的改革を斷行することに決定し、下着々準備中といはれる、右改革案の要點左の通り

唯一の恃みに目的なき抗戰を續ける重慶軍最近の窮迫はまさに斷末魔の形相を思はせるものがあるが、A・P重慶特派員オウサリヴァンは慘澹たる重慶軍の内情を曝露し次の通り報道してゐる

【廣東廿八日發】重慶放送によれば昨年十月重慶に歸還以來約四ヶ月にわたつて西南支那各地を視察、獨特の重慶批判論を行つて種々問題を起こした評論家林語堂は空路米國に向け出發した

### 雲南遠征軍司令官代理に衛立煌

【廣東廿八日發】重慶大公报の報ずるところによれば、さきに英印軍の誠意なき態度に憤慨し、病氣を口實にして重慶雲南遠征軍司令官を職を辭した陳誠の後任には衛立煌

【リスボン廿八日發】米英の救援を補給の窮屈なために幾多の困難に直

【リスボン廿八日發】米英の救援を補給の窮屈なために幾多の困難に直

【廣東廿八日發】重慶放送によれば昨年十月重慶に歸還以來約四ヶ月にわたつて西南支那各地を視察、獨特の重慶批判論を行つて種々問題を起こした評論家林語堂は空路米國に向け出發した

### 重慶軍の内情

【リスボン廿八日發】米英の救援を補給の窮屈なために幾多の困難に直

【リスボン廿八日發】米英の救援を補給の窮屈なために幾多の困難に直

【リスボン廿八日發】米英の救援を補給の窮屈なために幾多の困難に直

面してある

### 在印重慶軍米英軍と感情疎隔

【上海廿一日發】インド内の重慶軍は謂はれなき人種の優越感に耽る米英軍將兵のもとに彼等の手先として追ひ使はれてゐるが、米英側の暴行が募るにつれて重慶軍部内のこれに對する反感も次第に激化し、最近では重慶政權もこの問題に頗る苦慮してゐる模様である、情報によれば最近重慶政權では熊式輝、張治中、徐永昌の三名を印緬國境方面に派遣し右問題の實情を調査せしめ打開策に乗出したが、右三名は過般重慶に歸來し、調査の結果報告として

○英軍並びに重慶軍の中級幹部の間に連絡が全くなく、相互に意思の疎通を缺いてゐる ○飛行機の不足により地上、空中の協力作戦行動が出来ず重慶軍に對する空軍援助が行はれない ○重慶軍と住民との感情悪く、住民が重慶軍から離反してゐる、インド軍との感情もまた面白くないの三點を挙げ率直に兩者の疎隔を報告する一方、インド軍の疑返りの恐れ多分にある事實等を報告したといはれる

### 重慶地區の民衆疎散

【廣東廿四日發】重慶放送によれば重慶地區では濃霧時期が過ぎて日本爆撃機の襲來近くに備へ當局では一般民衆特に婦女子の至急疎散を嚴命した

### 重慶治下の法幣下落

【廣東廿三日發】重慶地區に於ける物價昂騰はその統制施策の失敗以後上昇の一途を辿り昨年未以來漸くその頂點に達した感があるが、重慶側報道も最近自暴自棄的な態度を以てその經濟上の破綻を暴露する傾向を示してゐる、即ち二日の重慶外電は重慶軍將校の給料と物價とを對照して左の如く報じてゐる

少佐の日給は米貨に換算して廿二ドル、少尉は十五ドル、兵は四十セント乃至七十五セントで重慶以外の地區においては更にこれより安い、然るに前線地區の物價は米貨に換算すると豚肉一ポンド一ドル乃至一ドル八十五セント、煙草二十本一ドル半乃至二ドル、革靴一足二十セント、即ち少尉の給料も得ては二ドルの煙草七個を求め得るに過ぎないかかる物價の騰勢は複雑な問題を含んでゐる點で、又重慶で發行してゐる正氣日報はかゝる重慶の物價高の爲めに重慶在住の外國機關は爲替換算率改訂に苦心してゐる旨左の如き重要通信を掲載してゐる

重慶駐劄の外國機關は重慶の物價高がその生活に影響を及ぼすためそれぞれ自國の貨幣を使用することになったが、米國側機關は既に昨年十二月よりこれを實施してゐるその換算率は左の三種の區別を定めてゐる

○米國軍人は米貨一ドルにつき法幣四十元 ○米國領事館員その他の機關職員は米貨一ドルにつき三十元 ○普通爲替の換算率は米貨一ドルにつき二十元、然るに重慶における相場場

## 財政・經濟

は米貨一ドルが既に法幣九十元に達してをり、昆明においては更にこれ

以上の高値を呼んでゐるといはれる又最近自費留學生の希望者が多いが地主や國難或金遣はれの法幣の國內と國外における購買力の差額を計算に入れてゐるのだ、國外で樂しい生活をして將來にこたえ儲けた金を持つて老後を樂しむために金のある連中は争つて國內での苦惱を避けて海を渡らうとしてゐるのである

### 重慶中國銀行増資

【廣東廿七日發】重慶放送によれば中國銀行では五日重慶において株主總會を開催、董事長、董事(理事)の改選並に二千萬元の増資を可決し董事長には引續き外交部長孔祥熙を、董事には宋漢章始め李銘(ニューヨーク駐在)等十二名が選任された

### 重慶兩汽船航

【廣東廿二日發】重慶大公報の報ずるところによれば昨年来國が重慶政權に貸與した自由型船中山號及び中第一回の航程を終つて米國東岸のバルチモア港に歸港したが、大公報は右について「重慶の對外貿易の再開と戦後の米支間貿易の繁榮を意味するものである」と鬼の首でもとつたやうに宣傳してゐる

### 交通全く動脈硬化

【上海十四日發】重慶駐在タイムス紙記者ホワイトは最近重慶の交通問題はインフレ對策、中共對策として早急解決を要すべき問題であるとして次ぎの如き報道を行つたといは

れる インフレ對策、對中共工作も重慶に

とつて重大かも知れないが、四圍を封鎖された重慶にとつて交通問題の解決はなんとしても早急解決を要する重大問題だ、これが解決されれば奥地開發も、また河南省、廣東省の飢饉も、抗戰の繼續も何も所期を目的は達せられない、ビルマルートが殘されてゐる頃には重慶には一萬五千臺のトラックが物資を動かして居たが同ルート喪失後はガソリンは入らず従つて物は動かす部分品もいらない結果、今日では五千臺の自動車しかない、物價の調制も軍隊の動員輸送も思ふやうに行かず抗戰力に及ぼす影響も少くない、この交通の動脈硬化の結果、全く交通運營は封建時代に還つたと同じことで、今日では自動車不足も部分品の輸入だけでは治まらず車體を始め總べてのものを輸入せねば救済されないといふ全く未開地の状態にまで追ひこま

### 米ドルの流入に悲鳴

【廣東十五日發】重慶政權下の物價高に呻吟する在支米軍並に在留米人のために米國政府は曩に米ドルを送金することに決定したが、これはさきだに金その他に對する狂氣染みきたり、武力をもつて威嚇したりして物價を暴騰せしめ重慶經濟界に甚大な影響を與へてゐる、右に關し重慶電の報ずるところによれば十三日附の大公報は過去廿日間における法幣對米ドル相場の亂調振りを指摘して次のごとく述べてゐる

「法幣と米ドルの公定比率は廿元對一ドルであるが米ドルに對する法幣の相場は近々廿日間に八十元から百八十元に暴落、金の現場は一オンス二萬三千元に撥ね上つた、これは一に米國政府當局が中國にある職員のため米ドルをどしどし送り込んだためである、この結果は法幣の信用を續けてゐる、我々はこの由々しい事態に鑑み米國政府が今後米ドルの中國流入を中止するやう政府當局に提言する、又同時に米國軍人及び在留米人は米ドルの對法幣公定比率をあくまで守るべきである」

### 磅借款

【上海十六日發】大使館上海事務所松平情報部長は十五日中國人記者團との會見で英國の對重慶五千萬磅借款等の老翁なやり口並びに重慶の反感等について次の如き談話を發表した

「英國の重慶に對するやり口は近來益々欺瞞的となつてきた、これは重慶内部に逐次起りつゝある軍民の反感感情を緩和せんがための奸策に外ならない、中國民衆の反感感情は實は阿片戰爭以來の歴史のもの、この間頻々反英運動が起つたこともあつたが、英國は巧みにこれに對しては巧言をもつて上層の者を籠絡したり、武力をもつて威嚇したりしてその鋭鋒を避けてきた、大東亞戰爭が起るや、香港、昭南の華僑に對する英國の冷淡さ或はビルマの重慶軍を殺したなどの事などは英國一流の利己的態度を暴露したもので、またガンジーその他の人々を投獄虐待してゐること等も決して重慶に良い

### 實質伴はぬ英の對蔣五千萬

感じを與へてはゐない、そこで彼等は早くもこれを知つて二年も前の約束である五千萬ポンド貸與の話を蒸し返して重慶の機嫌をとらうとしてゐるが、これもまた例の所謂口頭春風のもので實質の伴はないことは言ふまでもなく、またこの五千萬ポンドの借款にも種々の條件のついであるために中々成立しないので、最近重慶には米英の商社、代理店が無数に設立され既に五百以上も進出してきてゐるといふが、他民族を利用して利益を得ようといふ米英のやり口を遺憾なく發揮してゐるものだ」

新年度豫算二百億元

【廣東十七日發】重慶放送によれば重慶財政部は十六日の會議において民國三十三年度豫算を二百億元と決定したといはれる、前年度の百八十五億元に比し二十億元の増加である

石炭不足に悩む

【ハノイ十八日發】當地に達した情報によれば重慶當局が最も期待をかけてゐる湖南省の石炭生産量は七年來の激減を示し最近一ヶ月の生産量は僅か六百五十噸に低下したといはれ、これがため各地各省と食糧の豊庫湖南を結び各鐵道は運轉不能に陥つたのをはげめ、衡陽を中心とする各地の發電所も送電中止の已むなきに至つた、この結果軍需物資の補給輸送並に軍民需物資の生産に大恐慌を來たし物價の昂騰を拍車づけ收拾すべからざる状態を呈してゐる、これに狼狽した重慶當局は急遽交通部長を桂林に急派して軍需品輸送打開策につき躍起の工作を續けてをり、また湖南當局も各區を督勵して増産

獎勵に狂奔してゐる

西北開發の鍵は民族問題

【廣東十九日發】重慶の西北開發は依然遅々として進まず、數次にわたる派遣された調査團の報告も悲觀的なものが多く重慶當局を益々焦慮せしめてゐるが、最近の重慶紙掃蕩報の稿たる邊疆民族が今後西北移民との間に重大な摩擦をひき起すであらうと次の如く述べてゐる

南方諸國

軍政諸地域

南方山林施策決定

【昭南二十六日發】去る廿一日より三日間軍政總監部に於て開催された「南方山林主任者會同」に於て決定を見た十九年度軍政諸地域に於ける山林施策は主要次の如くである、現在南方木材の主力はチンガイ、ペティス、ラワン、チーク、クルイン、カポチウの硬軟材であるが、十八年度約〇〇千萬石の伐採目標は既に殆んど完遂され、十九年度は前年比四割増と目標が決定、この新目標の具體化方策が勞務の維持運營、資材の割當、輸送力の計畫運轉により實現

「我々が西北を觀察する場合先づ同地の民族が我々漢民族と相容れない民族であることを忘れてはならぬ、彼等が如何に中國統一を阻害して來たかは既に明瞭であり、しかも今日に至るまでこれは未解決なのである、われわれは西北開發を叫ぶこと久し、だがこの邊疆の各民族が果して漢民族の大量移民を歓迎しこれと握手するかどうか疑問である、こゝにも西北開發の重大なる鍵があることを銘記すべきだ」

されることになつた、なほ新計畫は食糧増産などを勘案して治水に考慮を拂ひ、伐木の強力集中主義を採り製材所増設も考慮されてゐる

マライ

郵貯三百萬ドル突破

【昭南十日發】新生二周年記念日を前にマライ郵便貯金も七日遂に三百萬ドル突破の素晴らしい戦果を挙げマライ軍政監部郵政局から右の旨八日發表された

有獎定期預金實施

【昭南六日發】マライ銀行協議會貯蓄推進班では購買力吸收の一方策として今回「有獎定期預金制」を創設、來る十五日から三月十五日まで取扱ふことになつた、この新預金は正金

一等品 二〇 一六  
二等品 一八 一三  
三等品 一六 一〇  
四等品 一四 〇九  
五等品 一四 〇九  
六等品 一四 〇九  
七等品 一四 〇九  
八等品 一四 〇九  
九等品 一四 〇九

昭南にマライ工業會

【昭南九日發】マライに於ける邦人重要企業會社相互の連絡を益々緊密ならしめ、軍政當局の指令の徹底、折衝の簡素化を圖るべく今回これら企業會社三十五社を一九とするマライ工業會社が設立され七日發會式を舉行した、役員左の如し  
△理事長 日本發送電△常務理事 横濱ゴム、同芝浦電氣△理事 日本窒素、磐城セメント、坂口定吉商店

ゴムシート買上値引上げ

【昭南四日發】マライ軍政監部では現地人ゴム園の生産増強を圖るため二月一日を期し特に現地人の重要生産品たるゴムシート下級品の買上げ並びに販賣價格を左の通り改訂した  
△買上價格(蒐荷擔當業者の倉庫渡一ポンド)  
等級 改訂價格 舊價格  
一等品 二〇セント 二〇セント  
二等品 一九 一九  
三等品 一八 一四  
四等品 一六 一一  
五等品 一四 〇八  
六等品 一四 〇七  
七等品 一四 〇七

昭南にタイヤ工場落成

【昭南廿六日發】マライをはじめ全南方圏の自動車用タイヤ及びチューブの自給を目指し大量生産に乗り出さんとする〇〇ゴム會社では工場建設資材の整備に大童の活動を續けてきたが、このほど昭南に敷地〇〇坪の工場が完成したので廿六日正午から同所で關係者約四百名が出席落成式を舉行した、從來家内工業的ゴム加工場しか持たなかつたマライのゴム工業はこれにより近代の整備を誇る大工場を擁することとなつた

「マライ新聞」發刊

【昭南廿八日】昭南新聞會では來る三月一日から北部マライの中心であるタイピンにマライ新聞(邦字)を發行することとなつた、即ち北部マライの中心タイピンにおいてクアラリンの中心タイピンを擔當する邦字紙「マライ新聞」を三月一日から發刊これにより昭南新聞は専らクアラリン・ブル以南の地域を対象とする、なほ右により既存の日曜特報版は廿八日附を最後として當分休刊する

マライ短信

十一日 マライ義勇軍將校任官式舉行  
十五日 シンガポール陥落二周年記念式舉行

# スマトラ

## 西海岸州参議會 開催

【〇〇十日發】 昨年末スマトラ原住民の政治參與實施とともに設立された西海岸州新議會は舊曆第一回の招集に次いで第二回参議會が八、九の兩日招集され、州長官の諮問事項たる雜貨及び物價諸對策を中心に審議を遂げ次の如き答申案を可決提出した

一、銀行並に郵便貯金を強化すべき宣傳を強化すること。一、戦時生活を認識せしめ消費規正強化の宣傳を行ふこと。一、食糧、衣料等は勿論民需不足品物資の代用品を研究これが普及に努め戦時必需物資獲には出来るだけ民間を動員する方策を樹立すること。一、購買組合の發展を圖り組織的且つ計画的に配給を行ひ消費規正の促進を圖ること。一、民間融資團體を組織せしめこれをして増産建設面に役立たしめること

## 鐵道運賃を改正

【〇〇廿一日發】 スマトラ軍政監部交通總局では今回スマトラ鐵道運賃料金及び旅客、貨物運送規則改正要綱を制定、來る三月一日より島内各鐵道一齊に實施する、改正要點は左の如し

一、旅客運賃については從來の不當運賃を是正するに止め、定期券、回数券(新設)運賃を可及的低廉ならしめる。一、貨物輸送賃率において五等級制度を設け米、雜穀、砂糖、鹽等の生活必需物資の輸送に對しては大幅値下げを行ふ外、農産業保護獎勵の見地より肥料、種子、農機具

棉花等についてもかなりの割引を實施する

## メダンの人口調査

【メダン二十六日發】メダン市では計畫經濟の正確なる運営を期するたためかねてわが軍政施行第二回人口調査を行つてゐるが、その結果がどの程判明した、これによると今年一月三十日現在のメダン市原住民人口は總計十三萬四千八百四人で、その内譯は次のごとくである

- インドネシヤ人 六、五八
- 支 那人 一、六六六
- 印 度 人 五、六七
- 亞 歐 人 一、〇〇元
- アラブ人 七、七〇
- 樞軸及び第三國人 二、二

## スマトラ農林會設立

【二十六日發】 スマトラ軍政監部では去る一月十二日産業團體令を公布各種産業團體設立の法的根據及び取締規定を設けたが、今回スマトラ農林關係指定業者は右の産業團體令に基き關係業者を打つて一九とするスマトラ農林會を設立することとなり豫てより設立準備を進めてゐたが二十七日メダンにおいて創立總會を開催することとなつた、同會はスマトラにおける農林關係指定業者の連絡統制に當るとともに同會内部に食糧統制、水産、畜産、纖維、油脂の六部を設け調査、研究、資金の斡旋、技術員養成等の事業をも行ふもので同會の設立によりスマトラ農林産業の飛躍的發展が期待される

## 臨時食糧班と造船部新設

【〇〇三月一日發】 スマトラ軍政監部では現下の緊急要請たる島内食糧の自給自足達成と木造船建造の飛躍的増強を圖るため、今回軍政監部産業部内に臨時食糧班、同交通總局内に造船部を新設することとなり軍政監部令を公布二十八日これを發表した、これと同時に軍政監部は十九年度における食糧増産及び海上輸送力増強の劃期的根本對策を決定各州に通牒すると共に、強力迅速なる實現を要望した

## 爲替管理規則一部改正

【〇〇二十六日發】 さきにスマトラ軍政監部はスマトラと南方陸軍々政地域間における南方郵便爲替の取扱を決定、來る三月一日より實施することとなつたが、右の郵便爲替實施に伴ひ現行爲替管理規則の一部改正が必要となつたので二十四日軍政令をもつてこれが改正を發表した、これによると從來の爲替管理規則中における爲替の種類及び爲替取扱書の中に新たに郵便爲替及び郵便規則の名稱がそれぞれ挿入され、また從來送金の高に拘らず軍政監部の許可が必要としたのに對し一ヶ月を通じ三十圓以内の送金には許可を要しないことになつた

## 正金近く三出張所新設

【〇〇九日發】 スマトラにおける唯一の邦人銀行たる横濱正金銀行は現在スマトラの各主要都市に四支店と六出張所を設けてゐるが、最近輿地經濟活動の活潑化に伴ひ支店網の擴充を要望されるに至つたので近くレンカウト(リオウ州)、ローセマウエ(アナエ州)及びシヤンタル(東海岸州)の三ヶ所に出張所を開設する

## 第二回中央参議院閉會



【ジャカルタ三日發】 中央参議院最終日の三日は午前十時開會、報の供出並に米穀配給に關する議案を可決本會を閉會し、同十一時四十分閉會式を舉行したがこれにより一月卅日より五日間に亘つて開かれた第二回中央参議院は滞りなく終了した

## 新任民奉仕組織決定

【ジャカルタ八日發】 三月一日から新發足する新任民奉仕組織に關する準備委員會並びに幹事會は一月十二日以来數回に亘つて開會、名稱及びその基幹となるべき規約、規則、事務機關、職制等につき慎重審議を重ねた結果、次の如く決定七日發表された、骨子次の通り

- △第一條 本會はジャワ奉公會と稱す
- △第二條 本會は大東亞征戰の目的達成を期し、全住民親和の裡に軍政施策を實踐推薦し以て大東亞一環としてのジャワ住民の使命たる征戰完遂に挺身するを目的とす△第三條 本會は前條の目的を達成するたため次の事業を行ふ、(一)軍政方針の率先實踐(二)官民眞剣なる軍政奉仕の指導(三)防護強化(四)戦時生活達成強化(五)住民救護指導△第四條 本會は滿十四歳以上にして奉公精神を以て挺身實踐推進に當るものを會員とす、會員は日本人及び原住民を主體としこれに華僑、混血住民等を含む△第五條 本會に左の役員を置く總裁一名顧問若干名(内若干名を常任とす)總裁は軍政監これに當る△第六、第

## 各州長官異動

【ジャカルタ八日發】 マドラ州長官中屋重治氏の〇〇轉出に伴ひ五日附左の如く州長官の更迭が發令されたマドラ州長官陸軍司政長官 中屋 重治

プリアンガン州長官陸軍司政長官 小見山恭造

免プリアンガン州長官 一番ヶ瀬佳雄

命プリアンガン州長官陸軍司政長官 西村 琢磨

命マドラ州長官 藤村 寛太

命チレボ州長官 川添 修平

陸軍司政長官 陸軍司政長官 陸軍司政長官

七、八、九條略、第十條 本會は中央本部をジャカルタに置く△第十一條 中央本部の事務を處理するため事務局に中央本部事務および次長各一名を置く、各局に局長を置く△第十二條 略△第十三條 州に州奉公會、縣に縣奉公會、村に村奉公會、區に區奉公會を置く、特別市および侯地は州に、市は縣に、支區は村に準ず、以下同じ△第十四條 州奉公會に左の役員を置く、會長一名、副會長一名、(但し侯地は二名) 州長顧問若干名、州廳長これに當る△第十五條 縣内支區奉公會に左の役員を置き州奉公會長にこれを委嘱す、縣奉公會に會長一名、副會長一名、參與若干名、郡、村及び區奉公會に會員△第十六條 第十七 第十八條 略△第十九條 本會に婦人會を設け婦人の實踐推進體たらしむ 第二十條 本會に授産會を置き、現地住民産業の輔導育成機關たらしむ△第二十一條 本會に啓民文化指導所を置き、東洋文化の昂揚、住民娛樂の指導機關たらしむ△第二十二條 防衛後援會は本會の外廓團體として防衛會の目的に關する業務につき、中央本部は總裁、地方本部には州奉公會長の區處を受けその業務の實施に當るものとす△第二十三、二十四條 略

現地民官吏資格試験制度

【ジャカルタ廿五日發】 軍政監部では有能なる原住民官吏を登用すると共に決戦更道の確立を期し今回現地民官吏資格試験制度を實施することとなり、廿四日付告示を以てこれに關する規定を公布した、新制度は舊蘭印時代の學歷偏重の弊を去り、眞に人物本位の試験により人材の登用を圖らんとするもので、第一回資格試験は本年八、九月頃行はれる筈である

【ジャカルタ廿三日發】 ジャワ島内敵性銀行の清算については、昨年十一月ジャワ銀行をはじめ敵性五大銀行の清算拂が行はれたが、軍政監部では更に一般庶民貯蓄銀行、一般庶民中央銀行、パタビヤ貯蓄銀行、パンドン貯蓄銀行、ストラバヤ市貯蓄銀行、スマラン貯蓄銀行、ジャワ抵當銀行、及び蘭印抵當銀行の八行を解散せしめ、三月一日より清算を開始する旨廿三日發表した

郵便爲替取扱範圍擴大

【ジャカルタ廿九日發】 原住民の生活費送金を便ならしめるため昨年一月ジャワと南ボルネオ、セレベス、小スンダ群島などの間に郵便爲替の取扱が開始されたが今回更にその取扱範圍を擴大しマライ、スマトラ北ボルネオとの間にも郵便爲替の取扱を開始することとなり三月一日から實施される、これに關連して南方占領地爲替管理法が改正され従來は金額の如何に拘らず軍政監の許可を要したのを今後は一人一ヶ月三十ギルダ以内の送金については許可を要しないことになり、また三十ギルダ以上の送金については郵便爲替は通信總局、銀行爲替は南方開發金庫を經由して軍政監宛許可申請手續をきをとつた上郵便局又は爲替銀行に爲替の振出を請求することに改正された

海軍地域の本邦向送金許可

【マカッサル十八日發】 海軍軍政當局は管下全域における一般建設事業の進展に伴ひ南方事業に屬する本邦拂ひ費用並に南方事業より生じた利益金の内地向送金を許可することとなり、この程管下各民政部迄通牒し、即ち従來當地域よりの内地向送金はさきより施行された「送金爲替取締令」により個人送金以外は原則として認められなかつたが、今回この制限を緩和し、民政部長官、州知事又は海軍省南方政務部長の許可又は證明により送金し得る途を開いたもので、これにより特に内地に本店を有する主たる事業を南方地域において行ふ企業擔當者は開發資材の入手その他經營上極めて大きな利便を受けることとなる

海軍地區に庶民銀行令

【マカッサル二十三日發】 海軍軍政當局は左の通り 庶民銀行は本店を各民政部所在地におきその管轄區域を以て一營業區域とする 資本金は十萬ギルダ以上とし差當り各民政部より全額出資の方法による小口貸付、原住民信用機關に對する小口貸付、資金の融通預金の受入れ、爲替、他人の委託による債權の取立て等を行ふ 剩餘金は民政部總監の指定する有價證券の取得、南發金庫又は民政部總監の指定する銀行への預金又は貸付及び郵便貯金以外に運用することを得ず

初の縣監理官會議

【メナド一日發】 現地當局では三十一日から三日間北セレベス初の縣監理官會議を開催、原住民の政治參與を中心とする民政運籌の方針並びに事務處理の注意など五十項目に亘つて協議した

南ボルネオの米穀自由販賣復活

【バンジュールマシン九日發】 南ボルネオにおける米穀の自由販賣は昨年八月以降禁止されてきたが、現地當局は最近の米穀事情に鑑み

貯蓄目標額突破

【ジャカルタ九日發】 新ジャワ建設はまづ貯蓄からと、軍政監部貯金局が五百萬ギルダ貯蓄運動に乗り出してから僅かに數ヶ月、二月八日遂にその目標額を突破して五百六萬二千四百九十ギルダに達した

中小敵性銀行を清算

【ジャカルタ十日發】 東條首相の來島を記念し昨年九月全島各州に設立された東條授産會は現在ではジャワの自給自足に大きな役割を果し、織

【ジャカルタ廿九日】

【ジャカルタ廿九日發】

【マカッサル二十三日發】

【バンジュールマシン九日發】



【バンジュールマシン九日發】 南ボルネオにおける米穀の自由販賣は昨年八月以降禁止されてきたが、現地當局は最近の米穀事情に鑑み

セルベス短信 九日 マカッサル進駐二周年記念式 十一日 セレベス體育振興會發會 同 原住民優良勞務者表彰



また豫定數量の貯藏も終つたので去  
る五日より自由販賣を開始した、從  
つて今後は販賣購入が自由になるが  
公定價格違反及び横流れなどは嚴重  
取締の方針である

### 小ダンス

#### 庶民銀行統合

【シンガラジャ十二日發】  
小スダ各島の庶民銀行  
は戦前ジャワの本店に依  
存してゐたが、皇軍進駐  
以來各島とも獨立して活動を續け最  
近産業開發の急速進展につれこれが  
整備強化の必要に鑑み物地當局は今  
回各島の庶民銀行四行を統合して新  
たにバリ島シンガラジャに「小ス  
ダ庶民銀行本店」を設置、デンパ  
サル、ロンボック島、スンパワ島に  
それぞれ支店をおく準備を進めてゐ  
る

【シンガラジャ一日發】 現地當局は  
バリ、ロンボック島民の通貨たる錫  
錢の確保と物價昂騰の抑制を期し、  
二月一日錫錢取締令並びに錫錢交換  
業取締令を公布即日實施した

#### 綿令

【サイゴン三日發】佛印當局は昨年一  
月工業に必要な金屬及び化學製品の  
貯藏及び販賣につき強力な統制を實  
施したが、今回これら以外の物資に  
ついても工業に必要なものは政廳にて  
檢討の上使用制限を斷行、工業資材  
の確保を圖ることとなつた、右物資  
名は逐次發表されるが當該物資所有  
者は所要數量を當局に届け出づる義  
務を有する外、これら物資は政廳指  
定の用途にのみ使用を許され、工業  
以外への使用は極度に制限せられる

#### 小スダ短信

三日 バリ島原住民警防團結成式  
十九日 バリ島進駐二周年記念日

## 佛印

#### 本年度中央豫算案可決

【サイゴン六日發】 佛印政廳では昨

年末開催された聯邦會議及び一月初  
旬の政府會議に本年度中央豫算案を  
提出、原案通り可決をみたのでこの  
ほど官報をもつてこの旨發表した、  
それによれば本年度中央一般會計豫  
算は歳入歳出とも各々二億一千九百  
十三萬六千五百五十五ピアートルで、昨  
年度に比し約五千五百ピアートルの増  
加となつてゐる、増加の原因は主と  
して物價状況にあるとみられるが、  
本年度も依然數百萬ピアートル以上  
の佛本國分擔金を負擔し、赤字公債  
發行の必要なしといふ健全財政を維  
持してゐる

#### 日佛印合辦てカーバイト會社設立

【ハノイ十七日發】 石炭と石灰の豊  
かな産出に恵まれる北部佛印でカー  
バイトの生産が近く日佛印合辦の企  
業により開始される事となつた、今  
回設立される日佛印カーバイト製造  
會社は日佛印共同出資によるもので  
既に會社登録も完了したので設備完  
了次第年産〇〇噸を目標に大々的に  
生産に取り掛けることとなつてゐる

#### 工業資材使用制限

【サイゴン三日發】佛印當局は昨年一  
月工業に必要な金屬及び化學製品の  
貯藏及び販賣につき強力な統制を實  
施したが、今回これら以外の物資に  
ついても工業に必要なものは政廳にて  
檢討の上使用制限を斷行、工業資材  
の確保を圖ることとなつた、右物資  
名は逐次發表されるが當該物資所有  
者は所要數量を當局に届け出づる義  
務を有する外、これら物資は政廳指  
定の用途にのみ使用を許され、工業  
以外への使用は極度に制限せられる

#### 煙草消費税を大中引上

【サイゴン四日發】 本年初頭大規模  
な税制改革を實施した佛印政廳では  
このほど煙草消費税の大中引上を行  
ひ煙草小賣價の改正を發表した、  
改正されたのは高級巻煙草が主であ  
るが、最高のコタバ(二十本入)  
の如きは四十セントから一舉六十セ  
ントに引上げられ、この引上高は殆  
んど全部税収入となつてゐる

#### 佛印米の現地卸、小賣値決る

【サイゴン三日發】 過般の交趾支那  
並びにカンボヂヤにおける米の買上  
げ値に伴つて、現地における白  
米の小賣價格も變動を豫想されてゐ  
たが、交趾支那政廳では今般サイゴ  
ン、シヨロン地區における白米の卸  
小賣價格を次の如く決定發表した  
卸(百キロ) 小賣(キロ)  
白米(等米)九形三十パーセント碎き  
十八ピアートル五四二〇セント  
白米(等米)長形三十パーセント碎き  
一八ピアートル三三二〇セント  
白米(等米)二五パーセント碎き  
一七ピアートル二四一九セント  
(二等米以下略)

#### 鑛工勞務者に傷害補償制度

【サイゴン十日發】 佛印政廳は今般  
生産増強の基礎をなす勞働力の育成  
保護に積極的の乗り出し、鑛工業に  
従事する各種勞働者に對し傷害補償  
制度を實施することとなり總督令を  
もつてこの旨發表した

#### 交趾支那織維製品統制強化

【サイゴン三日發】 二千五百萬印度  
支那住民の衣料たる各種織維製品の

確保をはかるため、交趾支那政廳で  
は今般同知事令を公布、交趾支那に  
おける各種織維製品の統制強化を行  
ふ旨發表した

## タイ

#### 政府中樞機關を山中に設置

【バンコック十六日發】 タイ國政府  
は苛烈なる決戦下の現段階に對處す  
るために政府機關分散方針の一つと  
してプラチンブリー縣とビアンソン  
ラム縣の縣境附近のパノムドンク  
ラツク山脈中の一地點に新に政府の  
中樞機關を設けることになり、ビ  
ア首相の代理としてアドン警察大將  
にその建設の衝に當らしめる旨十五  
日夜のラジオをもつて公表した

#### 内閣秘書官長更迭

【バンコック二日發】 無任所相(外  
相事務補佐)チャイ・プラチパセン  
少將は現在まで内閣官房秘書官長の  
要職をも兼任してゐたが、タイ國政  
府は一日付もつてエス・ラタナ・ピ  
アン大佐を内閣官房秘書官長に任命  
した旨發表した

#### ワニット大藏副大臣辭職

【バンコック四日發】 タイ國政府は  
一日付官報をもつて左の如くワニツ  
ト副大臣の辭職を發表した  
ワニット・パナノン大藏前大臣は一  
日攝政府に對して辭表を提出、攝政  
府はこれを受理した

#### 地方駐在副總理設置

【バンコック八日發】 敵空軍のバン

コック官場に對處してタイ國政府は  
さきに政府各機關を各地に疎散する  
ことになつたが、更にこれら各機關  
を各地區別に統轄する副總理數名を  
置くこととなつた、まづその第一着  
手として衛生大臣ルアン・チャヂヤ  
ーン駐在の副總理として任命した  
旨七日夜タイ國政府は公表した

#### 軍事訓練局新設

【バンコック九日發】 八日タイ國政  
府は國防省内に新たに軍事訓練局を  
新設、その局長として現交相でユ  
ワヨン團長たるプライユーン陸軍少  
將の兼任を發令した、更に交通省運  
輸局長チエン・ブンドウ・キヤルン  
大佐は國防跡參謀本部附に、また砲  
兵團長タイ・ウオン・プイラデイ大  
佐を運輸局長代理に任命した

#### バンコック市政改革

【バンコック十二日發】 タイ國政府  
は一月二十六日付官報を以てバンコ  
ック市の行政組織を改正し對岸のト  
ンプリ市を合併し、以後「バンコッ  
ク及トンプリ特別行政区」と稱し各  
縣の行政長官と同格の特別行政長官  
を置くことに決定したが、六日付を  
以て警察副代理局長トドラアン・チ  
ユライヤノン・ラムイन्द्रラ警察少  
將を初代特別區行政長官代理に任命  
した旨十一日發表した

#### タイ短信

二二日 ポリパッド・ナコン・サワ  
ン殿下ジャワで薨去

# ビルマ

## 國立銀行順調に發展

【ラングーン一日發】ビルマ國立銀行はビルマ國庫業務の取扱ひと國民貯蓄の結集を眼目に去月十五日開行したが、兩業務ともその後順調な發展を辿り、開業後日なほ淺い一月末現在において貸出額は三千九百萬ルビー、預金額は早くも五百五十萬ルビーに達した、しかも右の預金額は預け入れ利子が當座預金五厘、貯蓄預金二分の低率にも拘らずこの好成绩を見たもので、遊資回収の成果は目覺ましいものあり、今後この方面における同行の活動が期待される。

## 戰争協力委員會發足

【ラングーン四日發】ビルマ政府は昨年未戰争協力委員會の新設を決定したがこの程左に關する人事を決定し正式の活動を開始することとなつた、しかして本委員會の第一委員會は政治と治安を、第二委員會は經濟事項を管掌、各委員會の下にそれぞれ常設事務局を設置し、更にこれが運営に當つて日緬双方より委員長二名、委員若干名及び事務局長二名を專任合議せしめる、なほ本委員會の成立により昨年九月設置以來活動を續けてきた日緬物資調整委員會は右の第二委員會に合流し發展的解消を遂げた、ビルマ側の主なる人事左の通り

△第一委員會委員長 ウ・トン・アウ  
△協力相 △第二委員會委員長 ウ・ミヤ  
△商工相 △第一委員會事務局局長 兼第二委員會事務局長 ウ・ジイ協力官 次官

## 産米維持計畫發表

【ラングーン五日發】ビルマ政府はこれまでビルマ米の輸出杜絶による過剩状態に對し一部過剩米の政府買上げを行ふ傍らこれが自然的減産の傾向を放任して來たが、一定數量の産米確保は食糧自活、軍需充足、共榮園交流のため絶対必要とされるので新たに一九年度より適正産米目標額を米四百萬ト(二千六百四十萬石)と決定、これが大規模なる産米維持計畫を設定、五日その全貌を發表した

米買上價格を引上げ【ラングーン廿三日發】ビルマ政府は農民の明年度産米増産努力を激勵するため本年度産米の政府買上公定價を概百籠、農家庭先渡二百ルビー、同港渡二百五十ルビーに引上げることに決定、廿三日發した、新價格は從來の十五割増に當るが政府は今回の公定價格引上を機會に米穀斤量の全國的統一を行ふこととなり、概一籠をすべて四十六ポンド入と決定した、從來ビルマの斤量で一籠は輸出港で四十六ポンド入、地方では五十ポンド入となつてゐた

## 十九年度棉増産計畫決定

【ラングーン廿三日發】日本棉花栽培協會ビルマ支部はこの程十九年度棉増産計畫を(○増産目標、○萬ビクルとし、棉花増産五ヶ年計畫による當初の目標を修正、○増産用種子の確保及びその效率的播種を實行することに決定これが實現のためビルマ政府による栽培目標面積の計畫的割當、棉作農家への必需品の配、前年度種子の利用本年度種子の買上及び轉用禁止を行ひ且つ單位面積當りの増收を期することとなつた

## 物動計畫擴充

【ラングーン廿九日發】ビルマ國の物動計畫は從來對日交易物資と對南方園交流物資を中心に編成されてゐたが、關係當局は十九年度より右交用物資(○官吏ボイナス支給法案(二)強制貯蓄令改正法案(三)灌漑設備建設のため二百萬ペソ支出法案(三)地方分與稅制當體更法案(四)不動産稅支拂延期法案(五)漁獲稅改正法案(六)育兒院増設に關する法案(七)特許局設立法案(八)特殊目的のための森林組合に關する法律改正法案

## 國會閉會

【マニラ二日發】昨年十一月廿五日召集された第一回比島國民議會通常議會は、二日最後に殘された中央銀行法案ほか十法案を通過せしめたのち、午後十二時半閉會した、最終日に可決通過した十法案中主なるもの左の如し

○比島中央銀行設立法案、○非常時宣言を行ふとともに民生確保のため大統領に特權を賦與するの法案、○五千萬ペソの短期公債發行法案、○海陸交通會社設立法案、○治安工作に必要な武器器購入法案、○刑法改正法案、○地方公共事業費八百萬ペソ支出法案

なほ今會期中可決された法律案は合計六十件である

## 全比島に防護團結成

【マニラ十五日發】ラウレ大統領は十四日行政命令を以て比島民防護團の全國的結成を命じ、その構成と組織を發表した國民防護團組織は大統領の權限に基き組織するもので、大統領の任命による防護團長官の統率の下に急救隊、療班、防空班の二部を置きマニラを中心とする中央部と、各州、各市町村を單位とする地方支部に分け地方諸支部は各州知事、市長が夫々地方防護委員會の委員長に任命され警察

【ラングーン一日發】大東亞戰勃發以來閉鎖されてゐたビルマの最高學府たるラングーン大學は新生ビルマ國の輝しき躍進を象徴して二月一日再開された、同大學の教育方針は大東亞理念に置き、學科はビルマ語科をはじめとして言語學(日本語、パルリ語等)、數學、物理、化學、工業、歴史、哲學、心理學、論理學、經濟學、法律及び生理學の十二科を設け學長にはウベ・モン、ティン氏が任

命され、その下に教授關係者九名よりなる理事會をおき、學校行政の運営を行ふことになつてゐる、修學年限は豫科二年本科二年の四年制で、初の入學者男子百八十七名女子三十名は一日開校と共に入學した

【ラングーン廿三日發】日本棉花栽培協會ビルマ支部はこの程十九年度棉増産計畫を(○増産目標、○萬ビクルとし、棉花増産五ヶ年計畫による當初の目標を修正、○増産用種子の確保及びその效率的播種を實行することに決定これが實現のためビルマ政府による栽培目標面積の計畫的割當、棉作農家への必需品の配、前年度種子の利用本年度種子の買上及び轉用禁止を行ひ且つ單位面積當りの増收を期することとなつた

【マニラ一日發】比島國會は一日左の十八法案の最後の表決を行ひこれを通過可決した、可決された十八法案左の如し

○官吏生命保險法案(一)家畜登録稅引上法案(二)鐵道權登錄費の納入法改正法案(三)鑛山法改正法案(四)水産學校設立法案(五)發明局設置法案(六)保甲制度法改正法案(七)宗教團體免稅法案(八)經濟犯および清職官吏に對する滯刑適用法案(九)官吏ボイナス支給法案(二)

## 比島

## 國會十八法案可決

【マニラ一日發】比島國會は一日左の十八法案の最後の表決を行ひこれを通過可決した、可決された十八法案左の如し

○官吏生命保險法案(一)家畜登録稅引上法案(二)鐵道權登錄費の納入法改正法案(三)鑛山法改正法案(四)水産學校設立法案(五)發明局設置法案(六)保甲制度法改正法案(七)宗教團體免稅法案(八)經濟犯および清職官吏に對する滯刑適用法案(九)官吏ボイナス支給法案(二)

隊、保甲、諸學校がその傘下に入る  
ことになつてゐる  
首腦部任命【マニラ十九日發】ラウ  
レル大統領はさきに行政命令をもつ  
て比島民防團の結成を命じたが、  
今回防團長官以下首腦部に左の諸  
氏を任命、この旨十八日夜情報局か  
ら發表した  
内閣參議 ホセ・パエス  
厚生労働省衛生局長  
ユニセビオ・アギラール

任防空班長  
土木交通省土木局技師  
アルレット・ユーヘニオ  
任防空班長  
なほパエス參議は前マニラ鐵道會社  
支配人、現在は參議のほか比島赤十  
字社支配人を兼ねてゐる

教育參議會新設

【マニラ十八日發】ラウレル大統領  
は十七日午後四時五十分よりマニラ  
放送局を通じてリサル精神の昂揚  
並に比島教育新體制につき放送を行  
つたが、この放送において教育新體  
制確立のため新に教育參議會と行政  
公表に關する四部を新設することが  
決定された、即ち教育參議會は文部  
大臣、同次官、教育審議會委員、文  
部省各局長並に局長級の地位にある  
學校長及び各種委員會委員長をもつ  
て構成され、教育國策に關する最後  
的決定をなす機關である、また行政  
技術に關する四部は  
一、行政部。二、課程並に教科書部  
三、教員教育部。四、企畫調査褒賞  
部の四部で大臣及び同次官の直屬とさ  
れ、それぞれ専門的具體的方策を具

申する諮問機關となつてゐる、以上  
の教育新體制に關する方策は文部省  
内外における教育に關する各種意見  
の統一を、公私立學校の統一的  
指揮統制を目指し、更に教員の再訓  
練に重點を置き、教員教育部を新設し  
たことなど教育機構の内容充實を圖  
り比島教育新體制の確立を期さんと  
する點に意義は重大である

大統領比島非常狀態宣言

【マニラ廿三日發】比島政府では昨  
二十日ラウレル大統領の名をもつ  
て現在比島が非常時狀態にある旨を  
宣言した、これは過般議會を通過せ  
る非常時宣言法案を二十二日ラウレ  
ル大統領が正式署名した結果右法案  
は法律となり大統領はこの法律によ  
り與へられた権限に基づき今回の宣  
言を行つたものである

農業資源省市外疎開

【マニラ廿三日發】フリービン共和  
國農業資源省ではマニラ市の食糧事  
情並に防空措置の上から他省に率先  
して近く市外に移轉することになり  
さしあたり水産、林産、殖産、畜産  
の四局の地方疎散を決定した、移轉  
先は未定であるが、これら四局の轉  
出によつて吏員並に家族約一萬三千  
名が疎散することになり、その成果  
が期待されてゐる

強制農耕令公布

【マニラ廿五日發】廿二日大統領の  
署名により成立した「比島非常時宣  
言法」により緊急諸法令公布の權限  
を附與されたラウレル大統領は廿四  
日早くも同法に基づく行政命令第卅七  
號を以て「強制農耕令」を公布、食

糧自給達成のため大增産運動に乗り  
出すことになつた、同法令の要旨は  
①食糧増産のため比島内在住一般人  
は男女を問はず十六歳以上六十歳迄  
の身體強健なものは食糧の確保及び  
生産のため勤勞奉仕をなすこと、右  
奉仕は毎週十七八時間以上とす、農  
耕地は各州知事、市長もしくは町  
長が指定する、②固定収入職業に従  
事しをらざる者は長期服務に徵用さ  
るべし、③事情やむを得ざる者はそ  
の代理者を差出すか政府に五ペソを  
支拂ふべし、といふにあり、さきの  
「耕地動員令」により先づ農耕地の  
動員を行つた政府は更に國內遊休勞  
力の動員のために大號令を發した譯  
である

外人關係二法案成立

【マニラ廿六日發】比島内の外國人  
に關する左の法律案は廿五日に大統  
領の署名を終り成立した  
①大統領の許可なき限り外國人の土  
地家屋の賣買、租借を禁止する法案  
②外國人にして比島の利益を阻害す  
る者を收容し大統領の指定する事業  
を行はしむる法案  
なほ同日署名成立したその他の法令  
は左の通り  
①公證人的改正案、②行政法改正案  
③特別目的のため森林組合租借に關  
する件、④國內灌漑施設のため二百  
萬ペソを計上する件、⑤養魚場建築  
維持運営に關する行政命令改正案、  
⑥辯護士試験のため二萬ペソを計上  
するの件

海陸交通會社法成立

【マニラ廿八日發】ラウレル大統領  
は國會より回附された海陸交通會社

法案に廿八日署名し同法は即日效力  
を發生した、海陸交通會社は資本  
金一千万ペソをもつて比島内の海上  
及び陸上交通を圓滑ならしめるため  
輸送會社を設立せんとするもので資  
本金の半額以上を政府が出資するこ  
とになつてをり、會社はバス、トラ  
ク、馬車などの陸上交通並に汽船  
その他の海上交通の運営及び建造を  
行ひ同社の理事長及び理事は大統  
領が任命する、なほラウレル大統  
領は二十八日同時に左の三法案にも署名  
しそれぞれ效力を發生した  
一、經濟省に特許事務所を設立する  
件、礦區稅改正に關する件  
一、官吏保險法改正に關する件

比島産木造船就航

【マニラ廿九日發】船體、機關とも  
比島産の標準型木造船が愈々就航す  
る、マニラの軍管理〇〇造船工場で  
建造した世紀丸姉妹船〇〇隻の公式試  
運轉が廿八日黒田比島方面最高指揮  
官初め關係者が便乗して行はれ、約  
一時間マニラ灣内を廻漕し好成績で  
試運轉を終つたが、同工場では次ぎ  
次ぎに機關、船體とも現地産の小型  
船が竣工することになつてゐる

國債發行總額一億五千萬ペソ

【マニラ二日發】比島國會  
は最終日の二日五千萬ペソ  
の短期公債發行に關する法案を通過  
せしめたが、同法案は「非常時宣言  
法案」の政策實行に必要な資金獲  
得のため政府が發行するもので總額  
五千萬ペソ、償還期限最長五ヶ年利  
率三分である、これぞ今年中に政府

は前の一億ペソの長期公債(期限最  
長三十年、利率四分)と合せて合計  
一億五千萬ペソの國債を發行するこ  
とになるわけである

ラ大統領増稅法案等に署名

【マニラ廿二日發】ラウレル大統  
領は今回去る二日開會の議會を通過せ  
る左の諸增稅法案及び官吏賞與支給  
法案に署名、それぞれ法律として効  
力を發することになつた  
①學校資金に充てるための居住者稅  
引上法案②機寸及びカルタ稅引上法  
案③相續稅引上法案④事業特許稅引  
上法案⑤飲食遊興稅改正法案⑥林産  
物買上稅引上法案⑦不動産登録印紙  
稅引上法案⑧官吏賞與支給法案

銀行關係二法案にも署名

【マニラ廿二日發】ラウレル大統  
領は過般の國會において可決された銀  
行關係法案の中左の二法案に廿二日  
署名を了した  
一、大統領に對し、戰爭繼續中比島  
經濟の利益のために金融機關に對し  
適宜統制規則を公布し得る權限を與  
へる法案  
二、比島國立銀行並に農工銀行は、  
國立會社の事業を援助促進するため  
既存制限額たる拂込資本金の十五%  
を超過して融資し得る法案

大統領府に經濟委員會新設

【マニラ四日發】ラウレル大統領は  
今回大統領府内に經濟事情委員會を  
新設、委員に政府所有會社法律相談  
役ラファエル・ディングラサン氏そ  
の他を任命した、同委員會は今後大  
統領の諮問機關として國內經濟諸問  
題を調査し政府の國策遂行に資する

こととなつた

衣料買上權生必組合に賦與

【マニラ十四日發】比島政府では去月末より綿及び人絹製品の市中在荷數量の登錄調査を行つてゐたが今回プリムコ(生必組合)をしてこれら在庫品の買上を行はしめることに依り行政命令指定販賣制度に關する條項を發動、プリムコに對し衣料品強買上權を賦與した

比島第二年度棉は前年の三倍

【マニラ廿二日發】比島棉花栽培協會ではこのほど一月十日現在の第二年度棉收穫豫想の集録を終つた、これによれば植付完了面積は二萬五千七百五十ヘクタール、收穫可能面積は二萬三千ヘクタールで、實棉收穫高五百五十萬キログラム、繰綿に換算して三萬ピクルは確實と豫想され實に前年度の實收高の三倍に當る成績振りである

昨年の新設再開工場數

【マニラ廿一日發】比島内における工場の新設及び再開には經濟省商工局の許可を要することとなつてゐるが比島政府の發表によると昨年中にこの登録を行つた工場數は一千六百十三工場に達し、一昨年の新規登録工場數一千二百七十七工場に對し三百九十六工場の増加を示し比島における工業再建の息吹きが強く感ぜられる

比島短信

一日、黒田最高指揮官アキノ議長と

懇談

二三日 在比島外交關係者會同

印度假政府

國民士氣昂揚議案決定

【〇〇基地二日發】自由インド假政府は先般來の閣議で國家統一と國民の士氣昂揚に關する各種の議案を審議中のところのほど正式決定したので左の如き新方針を發表した

○ヒンドスター語をインドの國語とする ○インド人間の挨拶には「ジャイ・ヒンド」(インドの勝利のため)を使ふこと ○今日の三色旗をインドの正式の國旗とし「スド・スタ・チャイン」(自由なる幸福と恵み)なる言葉を以て始まる現在の歌を國歌とする、「マドラ」をインド國家の表徴とし「チャロ・デリー」(進めデリー)を革命成功までの戰爭に邁進する國民の合言葉とする ○食事、衣服等あらゆる生活刷新計畫は政府で慎重に案畫し臨時決定實行に移しまづ東亞在住インド國民からこれを實踐せしめる

ア、二兩島高等辨務官赴任

【昭南廿一日發】自由インド假政府領土たるべきアンダマン、ニコバル兩諸島の高等辨務官に任命されたロカナダマン中佐は廿一日空路昭南發、アンダマン島ブレア港に赴任した

國民軍進撃に印度

國境騷擾勃發

【ビルマ〇〇基地二十二日發】イン

ド國民軍の最高司令部は二十一日アラカン作戦開始以來の沈黙を破りインド國民軍前線部隊が日本軍との密接なる協力の下に赫々たる戰果を収めてゐる事實を發表したが、この快報は國民軍の活躍を期待しその成功を祈念してゐた在比島インド人を熱狂させ、祖國解放戦に總てを捧げんとする熱情を燃え上らせてゐる、しかも傳へられるアラカンの現實はインド民衆の國民軍に對する關心を益々濃化させてをり、他方、在印英人は戰況の進展と共にインドにおける英國の立場に不安を抱き益々その對インド投資の回収に焦慮し英資本家達は早くも家族も共インドから引揚げ準備にとりかかつてゐる、殊に國境近いベンガル、アッサム兩州ではインド民衆の間に反英騷擾勃發の徴候が見られ、目下英印政廳は兩州政府と英人引揚げ問題について鳩首協議、對策を考究してゐる様子である、又兩州のある地區では民政が中止され英米軍當局の完全なる統制下に置かれるに至つてゐるとも傳



印度

【リスボン一月卅一日發】カルカッタ市民食糧割當制

【リスボン三日發】ニューデリー來電によれば印度駐屯米陸軍鐵道技術部隊は米國代將ウィルソンの指揮下に軍需物資輸送を促進する爲三月一日以降ベンゴール、アッサム間七百哩の鐵道を管理することになつたと云はれる

印度軍需輸送改善

【リスボン廿二日發】ボンベイ來電によれば印度駐屯米陸軍鐵道技術部隊は米國代將ウィルソンの指揮下に軍需物資輸送を促進する爲三月一日以降ベンゴール、アッサム間七百哩の鐵道を管理することになつたと云はれる

ガンジー夫人逝去

【リスボン廿二日發】ボンベイ來電によれば印度駐屯米陸軍鐵道技術部隊は米國代將ウィルソンの指揮下に軍需物資輸送を促進する爲三月一日以降ベンゴール、アッサム間七百哩の鐵道を管理することになつたと云はれる

國家哀悼日決定

【昭南二十五日發】ガンヂー夫人の逝去に對し自由インド假政府では三月一日を「國家哀悼日」と決定、七月十四日に亘る女史の生涯を永久に記念することになつた

昭南初の假政府記念日

【昭南廿一日發】東亞獨立聯盟昭南

支隊では設定初の假政府記念日たる廿一日午後六時から國民軍並に婦人部隊及び一般民衆による街頭行進を行ひ終つてプラス・パス小學校で民衆大會を開いた

會議派議員立法會議出席拒否【廣東二十四日發】二十三日のインド放送によれば會議派議員は立法會議がガンヂー夫人の獄死狀況の發表を拒絶し更に一部議員の同夫人追悼のため會議の一日休會を提議したにもかかはらず議長はこれを拒絶し、僅かに半時間の休會を宣告したのに對し議員は極度に憤激、一齊に席を蹴立てて退場、今後の會議に出席を拒否する旨申合せたといはれる

英當局が狼狽ガ翁らを診察【廣東廿四日發】廿三日のインド國內放送によればアーナに監禁されてゐる會議派黨員中ガンヂー、ネール黨首四名の健康状態がはかばかしくないため、インド政廳では醫師を送り善處してゐる旨發表したといはれるが、右はガンヂー夫人の逝去に關聯して政廳の收容者待遇問題が俄然非難の聲を高めたため英當局では今更の如く狼狽して民心慰撫の手段を講じたものとみられる

米國の差別待遇にインド議員不滿

【廣東廿五日發】インド放送によれば廿四日の中央立法會議では議員側より過般の米國議會において中國人の移民禁止法を廢止しながらインド人に關しては何ら考慮されるところがなかつたのと對米不滿の聲が起つたが政廳側はこの問題に對し紛糾を虞れ成行きを注視してゐる



濠洲

キャンベラ協定發效

【リスボン二日發】 ヤンペラ來電  
▲濠洲外相ハーバード・エヴァアット  
は去る廿一日成立を見た濠洲、ニュ  
ージーランド兩國間の協定は、一日  
ニューージーランド政府がこれを正式  
に批准したため即日發效すること  
なつた旨一日言明した

隨時納稅計畫採用

【リスボン廿二日發】 キャンペラ來  
電▲濠洲政府は廿二日の閣議におい  
て隨時納稅法案を承認したといはれ  
るが内容次の通り  
一、隨時納稅法は次期合計年度開始  
時期たる七月一日から實施される  
一、納稅者は今期の納稅義務者の二  
十五%を四月二日から六月卅日迄の  
間に隨時週給から差引いて徴收され  
るだけで残りの七十五%は免除され  
る

統一濠洲黨内訌

【リスボン二十三日發】 キャンペラ  
來電▲統一濠洲黨は過般輸送兼外領  
相エドワード・ウオードの罷免を要  
求したが、首相カーチンがこれを拒  
絶したためこれに憤慨した統一濠洲  
黨は黨を代表して戰時會議委員會  
たる元首相メンデス、元海相ヒュー  
ズ、元陸相スペンダーの三者に委員  
を辭職するやう指令した、而してメ  
ンデス、ヒューズの兩名は右指令に  
基き十八日正式脱退したがスペンダ  
ーのみは之に應じなかつたため二  
十三日遂に黨から除名された

ニューブリテンを米國に讓  
らす

【リスボン廿五日】 米國は太平洋  
における反樞軸諸國領の島嶼を捲き  
上げて自國の軍事基地に化する計畫  
を進めてゐるがカンペラ來電によ  
れば濠洲外相エグワットは廿五日下院  
において「濠洲政府は戦後ニューブリ  
テン島を米國に讓渡す意志は絶対に  
ない」と言明し早くも架空の事實を  
繞つて反樞軸陣營内部に相剋が激化  
し始めた事を暴露してゐる

炭坑罷業擴大

【リスボン廿二日發】 シドニーから  
のロイター電報によれば昨週初頭濠  
洲南部炭坑地帯に勃發した罷業はそ  
の後益々擴大し廿一日には炭坑十七  
箇所が操業を停止するに至り罷業炭  
坑夫總數は四千名餘に達したとい  
へる

罷業坑夫を軍隊に召集

【リスボン廿八日發】 シドニー來電  
▲去る十四日以来濠洲南岸ニュー  
サウス・ウェールズ州地方の炭坑夫  
が罷業を繼續してをり政府當局は速  
かに就業する様再度要求したにも拘  
らずこれに應じないため政府は遂に  
年齢十八歳より廿五歳までの坑夫五  
百名を廿八日軍隊に召集するに至つ  
た

ウイクトリア州に大野火

【リスボン十四日發】 メルボルン來  
電▲によれば十四日濠洲ウイクトリ  
ア州東南のギツアスランド地方に大  
野火が發生し現在盛んに延焼中で、  
既に同地方の炭坑都市ウオングキに  
及び家屋多數が焼失し、坑夫が出動  
して消火に努めてゐるが、更に火は  
同地方南方のアイリツア島に燃え移  
り、濠洲特産の「なまけもの」の棲  
息地が危殆に瀕してゐるといはれる  
野火被害甚大 ▲リスボン十五日發  
メルボルン來電▲ウイクトリア州ギ  
ツアスランドの野火の被害は豫想外  
に大きく、消防手一千名並びに軍隊  
の一部が動員され、現在までに判明  
した損害は△死者十二名、△燒失家  
屋二百戸以上、△家畜の喪失千頭  
△牧場燒失百哩である、なほ昨夏以  
來頻發したウイクトリア地方の野火  
による死者は全部で五十二名である

對英食糧輸出半減

【リスボン廿四日發】 シドニー來電  
▲濠洲農商相サウリーは廿三日一九  
四三年度に於ける濠洲の英國向け食  
糧輸出が開戦第一年度の五〇%に過  
ぎなかつたと言明した  
右減少の理由として①輸送の困難②  
太平洋戰線に於ける需要の増大、の  
二項が挙げられてゐるが、主たる理  
由は駐屯米軍部隊の尠大なる需要で  
あるといはれる

人的資源不足深刻

【リスボン二十六日發】 濠洲の國內  
諸問題は戰爭の長期化とともに次第  
に深刻化してゐるが就中人的資源は  
現在全く底をついた觀があり、社會  
相ローウエーは二十五日議會にお  
いて次の通り述べた  
濠洲は目下更に多くの勞働者並に兵  
員を必要としてゐるにも拘らず利用  
出来る人間がすべて動員されてゐる  
結果これ以上補給の方途がない、即  
ち現在十四歳以上の男子總人口は二  
百八十三萬人であるがこの中二百五  
十三萬人が軍務か軍需工場か何れか  
に服務してをり残り三十萬人は學童  
か老弱者で實際の役に立たない

肉食割當制近く實施

【リスボン十三日發】 ロイター通信  
の報道によればニュージランドに  
おいてもいよいよちかかく肉食の割當  
制が實施されることとなつたといは  
れる

兩國合計

一九四二—四三年  
オーストラリア 一、三〇、七四一  
ニュージランド 三三、一九九  
兩國合計 一、四三、九四〇  
一九四一—四二年 一、〇八、〇八一  
オーストラリア 一、〇八、〇八一  
ニュージランド 三三、一八一

食肉割當制近く實施

【リスボン十三日發】 ロイター通信  
の報道によればニュージランドに  
おいてもいよいよちかかく肉食の割當  
制が實施されることとなつたといは  
れる

ニューギニア方面司令官  
退役

【リスボン十日發】 キャンペラ來電  
▲濠洲陸相フォードはニューギニア  
方面濠洲軍司令官中將エドモンド・  
ヘリングが軍務を退き、ウイクトリ  
ア州大審院長に任命された旨十日發  
表した

メンデス等戰時會議委員  
辭職

【リスボン十八日發】 カンペラ來電  
▲濠洲首相カーチンは元首相メンデ

# 世界情勢

## 歐洲

### ドイツ

#### 滿洲國皇帝に祝電

【ベルリン二十九日發】 總統大本營發表「ヒトラー總統は三月一日滿洲國建國祭に當り滿洲國皇帝に對し祝電を發した

#### 千萬人を容るる新首都建設計畫

【ベルリン十四日發】 宣傳相ゲグペルス博士は過般シュペヤー軍需相と共に「ベルリンの綜合的新建設」

至二百キロの高速度を有する新式鐵軌の地下鐵網が敷かれる、此の地下鐵本線の停留場の数は極めて少く、而して此の少數の停留場からは更に支線によつて各驛と連絡される、地上交通動脈としては三條の十五メートル幅の自動車道路が建設される

一、ベルリン市の中心地はゲッペルス博士の計畫に依る文化中心地となる豫定で廣大な園地の中に劇場街大學、美術館及び「技術の街」が配置される、建設を豫定される南北樞軸街は世界第一の繁華商店街となる豫定である

#### 空襲時の退避路選定

【ベルリン二十九日發】 昨年後半期に於ける米英機のドイツ諸都市爆撃の際ハンブルグでもカッセルでも猛火にまつまれて逃げ道を失ひ煙にまかれて惨死をよげたものの数が非常に多く爾來空襲時に於ける安全地帯への退避の方法についてはドイツでも種々研究してゐたが、この程その

一、五十軒の半径を有する新都市に公園や河水施設を配置した庭園都市の性格が與へられる、例へばベルリンを貫流するシュプレー河の河幅は三倍に擴張されることになつてゐる

一、新都市では交通問題の斬新にして大規模な解決が圖られる、ベルリン市の地下には縱横に百三十キロ乃至二百キロの高速度を有する新式鐵軌の地下鐵網が敷かれる、此の地下鐵本線の停留場の数は極めて少く、而して此の少數の停留場からは更に支線によつて各驛と連絡される、地上交通動脈としては三條の十五メートル幅の自動車道路が建設される

【ベルリン十七日發】 ローマ電「イタリヤ方面ドイツ軍總司令官ケツセルリング元帥は十七日反樞軸空軍のベネディクチーネ僧院爆撃に關し次の聲明文を發表した

#### ケ元帥米英軍の破産恥を糺彈

一、反樞軸空軍は二月十五日午前九時三十分より十時までの間モンテ・カッセル山頂の僧院に爆撃を加へ、僧院を全壊せしめたほか、住民多數を殺傷した、同僧院は既に一月十五日反樞軸軍の砲撃によつて大損害を蒙つた

二、反樞軸軍司令部は僧院内のドイツ軍兵力及び施設を殲滅するために攻撃を實施したと主張してゐるが、余はこれを斷乎否定する、法王廳は數箇月前ドイツ大使館を介してカッセルに余に要請した、余はこれに従つて直ちに必要な處置を講じ、ドイツ兵の僧院立入りは一切嚴禁すると共に命令徹底を計るため僧院に通ずる全道路に憲兵を配置して警戒に當らせ

た、ドイツ軍は重傷者を收容するのにさへも僧院を利用しなかつた、爆撃當時僧院の嚴正中立性を信頼した避難民所百名が僧院内に避難してゐた、僧院内の貴重文獻類は萬一を慮つて法王廳に移管されてゐた

三、ドイツ軍が同僧院を要塞化し強力な砲臺として使用してゐたといふ敵側の主張は爲にする所のある欺瞞宣傳である

四、また僧院及びその周縁地域が機銃特火點、砲兵觀測所として使用されたと稱する主張も全くの虚偽である

ドイツ兵はその附近に一名も居らず十五日に砲爆撃で負傷、死亡したのは修道僧、イタリヤ人民ばかりであつた

五、僧院内に一人のドイツ兵も一個の軍事施設も存在しなかつたことは僧院長グレゴリオ・デアナレリ司教が署名した宣言によつて證明されてゐる

六、僧院が破壊された後ドイツ軍がこれをドイツ軍防衛線に取入れたことは軍事上當然の處置である

七、反樞軸軍は法王離宮カステル・ガンドルフオをも爆撃、尼僧十六名を含むイタリヤ人民五百名の生命を奪つたが、同所もドイツ軍は一度も立入つたことはなく、ドイツ軍はその治外法權を嚴守してゐる

八、イタリヤ方面ドイツ軍總司令官として余は茲に米軍の蠻行を糺彈する

これ等の暴舉は米英並びにソ聯の戰爭目的が歐洲の文化的記念物破壊以外の何ものでもないといふ新たな證據である

余は米英戰爭指導部が僧院破壊の責

任を余並びにドイツ軍に轉嫁せんとする破廉恥に對し、極度の嫉忌の感を禁じ得ない

(署名) 元帥ケツセルリング

トード發明賞を授與

【ベルリン八日發】 ヒトラー總統はケルン市のカール・デーヴス博士他七名に對し「武器彈藥その他軍需品に關する發明特功フリッツ・トード博士賞」を授與した

特功賞は三題に別れ、第一等は金章と五萬マルクの賞金、第二等は銀章と一萬マルクの賞金、第三等は鐵章と二千マルクの賞金である

脱出三將官に勳章授與

【ベルリン二十一日發】 ヒットラー總統は二十一日チエルクアツスイ西方の脱出作戰に成功したる武勳を樹てたレキシスト運動の首領でベルギー義勇軍總司令官のレオン・デグレル大尉及びヘルベルト・ギレ、テオバルト・リープ兩中將を總統大本營に招致、デグレル大尉には騎士鐵十字章、リープ中將には柏葉騎士鐵十字章ギレ中將には劍柏葉十字章を授與した

パルチザン掃蕩功勞章制定

【ベルリン二十五日發】 ヒットラー總統は各地における遊撃隊、共匪掃蕩戰で勳功を樹てたドイツ軍將兵に對し功勞章を授與するもので、二十日間は青銅、五十日は銀、百日は金の功勞章が授與されることになつてゐる

ルツツ將軍逝く

【ベルリン一日發】 ドイツ機甲部隊

の建設に重要貢獻をなしたオスワルト・ルトツツ將は去る廿六日ミュンヘンで逝去、廿九日同地に於いて葬儀が執行され、ゲデアアン上級大將はヒットラー總統及び獨機甲部隊を代表して花環を捧げた

對伊支拂協定調印

【ベルリン一日發】 ローマ來電「ドイツおよびイタリア兩國の支拂協定は三十一日イタリア駐劄ドイツ大使ラーン氏、イタリヤ政府側代表マツリーニ伯との間に調印された

債券株式公告方法變更

【ベルリン二日發】 ドイツ司法省は今回債券の抽籤償還および株式配當の公告に關する法令を公布した、右法令は一月一日より實施されるが、その内容は從來民間企業が共同して行つてゐた抽籤償還發表の方法を變へ、ライヒスバンクをして公告せしめることになつた、現在株主總會の開催は一應停止されたことになつており、したがつて配當の決定はライヒスバンクの債券抽籤發表と同時に公告することとなつた

冬期救濟資金募集成績良好

【ベルリン十九日發】 今年度一月の冬期救濟資金街頭募集の成績は良好で總計八千百萬ライヒスマルクとなつて昨年同期の總計と比較すれば二四・二パーセントの増加であつた

國各地額占

ラトヴィア將兵の騷起を要望

【ベルリン五日發】 リガ來電「ラトヴィア國防軍當局は四日國境警備を強化するため更に各年度の壯丁を召集するに決したが、ラトヴィア内務長官ダンケルク將軍は右に關し五日次の通り述べた

今やラトヴィア國民の歴史において最も決定的な時期が到來した、ラトヴィア將兵は再び起つて祖國並びに國民の生命と自由を擁護しなければならぬ、ソヴェト政府はラトヴィア國が會て自由と獨立を棄て自ら進んでソ聯の傘下に入ったと全世界に對し日々虚偽の宣傳を行つたがラトヴィア國民は未だ自國をソ聯の一部と認めたことはない、ソ聯の斯る行爲は各國民の根本的義の冒瀆であり諸々の公約乃至條約に對する最も惡質な違反であり史上最大の恫喝である

エストニア首都に戒嚴狀態

【ストックホルム五日發】 レヴェル來電「赤軍が國境に接近してゐる現状に鑑み、エストニア政府は五日首都レヴェルを一時戒嚴狀態におく旨決定、同時に市民に對し即刻同市を撤退するやう勸告したといはれる

ナチス團體入黨緩和

【ベルリン十七日發】 アムステルダム來電「十七日附のオランダ國家社會主義黨機關紙「フォルクエン・フアダーラント」の報道によれば同黨首領ツツセルト氏は一九四一年黨結成以

來の規則を改正し從來の新規黨員の入黨禁止を撤廢する旨次の通り發表したといはれる

オランダ國家社會主義運動の内部勢力は過去數ヶ年、幾多の試練と、數千に及ぶ黨員の活躍とによつて極めて強力となつた、一九四三年六月二十日以來右運動に参加希望の者は所謂「シンス團體」に加はることが出たに過ぎなかつたのが今回の入黨禁止撤廢措置により直接黨員となることが許され、従つて同團體は解散されることとなつた

佛人に對し刑の執行を猶豫

【ベルリン三日發】 パリ來電「フランス駐屯軍當局は一日、各種犯罪行為のために有罪と決定されたフランス人九百十六名に對する刑の執行を猶豫することに決定、その旨パリ駐劄政府代表ド・プリノン大使に通告した

佛、伊南岸に軍政

【ウイシー十五日發】 フランス政府はイタリア國境からスペイン國境に至る地中海沿岸七縣を十五日以後軍政下に置くに決定十五日情報省から左の通り發表した

フランス國內のテロリスト處刑

【ベルリン廿日發】 パリ來電「ドイツ軍當局はフランス占領地區に於けるテロリスト處分に關し廿日次の通り發表した

駐佛獨司令官布告

【ウイシー廿六日發】 パリ來電「西歐占領地區獨軍總司令官フオン・ルンドシュテット元帥は廿六日國民に對し次の布告を發した

一、フランス國內に投下した反樞軸落下傘部隊員と交渉を持つことを禁ず  
一、不時着又は落下傘でフランス國內に降下した反樞軸軍飛行士を保護することを禁ず  
一、反樞軸軍の投下する武器その他の拾得並びに擊墜された敵飛行機に觸れることを禁ず  
一、右に従はざる者は嚴罰に處す



叛逆高官處刑

ガリバルチ將軍處刑【ベルリン三日

【ローマ來電】前アフリカ駐屯軍司令官イタロ・ガリバルディ將軍は叛逆罪の罪に處されたといはれる

政府軍需省を廢止

【ベルリン廿一日發】ミラノ來電 政府は廿一日軍需省の廢止を布告した

共和フアシスト黨總務局を設置

【ベルリン廿三日發】ローマ來電

【ベルリン廿三日發】ミラノ來電 共和フアシスト黨書記官長アレツサンドロ・バヴォリーニ氏の提案に基き同黨内に總務局を設置した

利領土の爆撃による僱傭者の犠牲は一九四三年十一月までに死者一千三百四十七名に上り、その中には二名の司教が含まれてゐるといはれる

大公使を一齊罷免【ローマ三日發】外務省はバドリオ傀儡政権に加擔した大公使、參事官等を免職、當該使臣名表を三日發表したが、内にはデロツノ・アルフイェリ、グエツチ、パオロツチ、デ・カルボリ、パスチアーニ等の各大使、公使ベトルツチ參事官タリアーニ、コロナ公、スコツパ等が擧げられてゐる

企業社會化法制定

【ベルリン十三日發】ミラノ來電 政府は十二日ムツツリニ統帥、國會の下に閣議を開催、企業社會化法案を可決した

△統帥黨幹部會召集

【ベルリン廿五日發】ローマ來電

【ベルリン廿五日發】ミラノ來電 共和フアシスト黨大會を開催するに當り、廿四日黨幹部會を召集した

【ベルリン廿五日發】ミラノ來電 共和フアシスト黨大會を開催するに當り、廿四日黨幹部會を召集した

伊軍高官逮捕さる【リスボン五日發】ミラノ來電 共和イタリア政府は五日タルマツウ・スクエロの兩將軍並にマトウチ提督の三名を逮捕した

新に壯丁を召集

【ベルリン十五日發】ミラノ來電

【ベルリン十五日發】ミラノ來電 國府相グラチアーニ元帥は新に一九四二年三月並びに一九四二年の一月から三月までの間に出生した壯丁を召集する旨十五日發表した

【リスボン十二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【リスボン十二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

前國王等を缺席裁判【チユリツヒ十五日發】パリツラ・ナハリヒテ紙の特電によればイタリア政府は近く特別法廷を開催前國王エマヌエレ三世、皇太子フンベルト元帥バドリオその他を缺席裁判に附するに決定した

各國資金を凍結

【ベルリン二十日發】ミラノ來電

【ベルリン二十日發】ミラノ來電 政府はつぎの諸國の銀行預金を凍結した旨十八日發表した

【リスボン十二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【リスボン十二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

大藏省ローマを立退く【ベルリン四日發】ローマ來電

海軍次官更迭

【ベルリン十五日發】ローマ來電

【ベルリン十五日發】ローマ來電 政府は海軍次官ベルジョ・フェルリニ氏が辭職し、海軍參謀長ジュセツペ・スバルツァーニ少將が兼任を命ぜられた旨十四日發表した

【リスボン十二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【リスボン十二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【ベルリン四日發】ローマ來電

爆死、僧侶一千三百餘

【ベルリン七日發】ローマ來電

【ベルリン七日發】ローマ來電 トリツク系新聞の報道によれば伊太

【リスボン十二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【リスボン十二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【リスボン十二日發】ローマ來電

米英の言爆に抗議

【リスボン十二日發】ローマ來電

【リスボン十二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【リスボン十二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【リスボン十二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【リスボン十二日發】ローマ來電

法王廳重大聲明

【リスボン十七日發】

【リスボン十七日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【リスボン十七日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【リスボン十七日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【リスボン十八日發】

英政府に通告

【リスボン十八日發】

【リスボン十八日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【リスボン十八日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【リスボン十八日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【リスボン十八日發】

法王の神聖を説く

【ベルリン廿二日發】

【ベルリン廿二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【ベルリン廿二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【ベルリン廿二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【ベルリン廿二日發】

法王の神聖を説く

【ベルリン廿二日發】

【ベルリン廿二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【ベルリン廿二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【ベルリン廿二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【ベルリン廿二日發】

法王の神聖を説く

【ベルリン廿二日發】

【ベルリン廿二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【ベルリン廿二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【ベルリン廿二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【ベルリン廿二日發】

法王の神聖を説く

【ベルリン廿二日發】

【ベルリン廿二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【ベルリン廿二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる

【ベルリン廿二日發】ローマ來電によればヴァチカン法王廳は反樞軸空軍の法王離宮カステロ・ガンドルフオに對する三度目の爆撃の後十二日米英兩國に對し法王領の中立侵害につき嚴重抗議したといはれる



# フランス

## 閣議決定事項

【ベルリン廿日發】 ヴイシー來電  
政府は十九日ベタン主席司會の下に閣議を開催、次の諸項目を附議決定した

- 一、フランス地中海沿岸を占領地區に編入する件
- 一、右新編入地區に於ける新聞の取締に關する件
- 一、罷業その他の勞働拒否について損失の補償及び罰則に關する件
- 一、空襲による被害者の補償に關する件

## 首相獨佛協調を力説

【ヴィシー二十一日發】 首相ラヴァル氏は二十一日ヴィシーに於ける地方長官會議の席上フランスの直面する危険を指摘してドイツとの協力強化の必要を力説して要旨次の如き演説を行った

フランス共和國の憲法には議會の承認を得ずして宣戰を布告することが出来ぬといふ極めて重要且つ根本的な規定がある、しかるに當時のフランス政府首腦部は議會を無視して戰爭を開始した、以上の憲法侵犯こそリオン最高法院が採り上げべき最も重要な點である、ベタン元帥はフランス人としての義務と軍人としての知識から出發して、フランスは最早戰爭を繼續することが出来ぬことを

ならう

語り、休戰を求めたのである、當時のフランス人は悉くベタン元帥の見解を支持した、休戰條約の締結は悲しむべきだが必要な行爲と観做され、今やフランスは反樞軸軍の侵襲の前夜に直面してある、反樞軸軍は軍事上の必要よりは寧ろ政治上の必要から第二戰線の結成に迫られてゐる、ソ聯は獨力で對獨戰の重荷を負ひ込むことは出来ぬであらうし、反樞軸軍のイタリヤ作戦だけでは不十分と考へてゐるのだ、そのためスターリン議長は米英兩國に對し西歐を攻撃せよと要求してゐるのだが萬一スターリン議長長の要求が實現するならば、反樞軸軍の上陸に先立つてフランスは猛爆を蒙るであらう、数千の反樞軸飛行機はフランスの諸都市を破壊し、住宅、鐵道、橋梁を爆破し、フランス全土に苦難と死を齎すであらう

もしも諸氏が以上の事態を豫想してみさへすれば、かかる災害をフランスに齎すアルジェエのフランス人達にフランスの政治を行ふ資格がないと主張する、余が全く正しいことが判るであらう、最後に獨佛關係について一言すれば、フランスは常にドイツの隣邦としての地位を堅持するであらう、フランス國內における平和を望む者は隣國と戰つてはならない、フランスはドイツとの間の意見の相違を解決しなければならぬ、さもないとフランスは將來血腥い紛争に苦惱しなければならぬのだ、余の政策は歐洲を眼目とするものだが、そのためには獨佛兩國の協調以外に

## 各都市強制疎開

【リスボン廿二日發】 フランス政府は廿二日シェルブル地区の住民に對し特別の事情がない限り即時立ち退く様指令した

## 赤十字書信取扱激増

【チューリッヒ十八日發】 ジュネーヴ來電 萬國赤十字社當局は十七日次の通り發表した

## 赤十字書信取扱激増

【リスボン二十八日發】 ヴイシー放送によれば、フランス政府はフランス西岸の要港アレストの市民に對し二十八日強制疎開を命じたといはれる

## 新駐佛勃公使着任

【ヴィシー一日發】 新任フランス駐割アルガリア公使サヴァ・キロフ氏は一日ベタン主席に對し信任狀を捧呈した

## ユダヤ人長官更迭

【ヴィシー廿七日發】 フランス政府は廿七日附官報をもつてユダヤ人間題長官ダキエール・ド・ペレボワー

【ヴィシー一日發】 政府は一日、十ズ氏が辭職し、後任にシャルル・ド・ユ・パティ氏が任命された旨發表した

## 政府國債を發行

【ヴィシー廿一日發】 政府は廿一日總額百億フラン、償還期限卅年、利率三分五厘の新國債を發行した

## 赤十字委員、日米に派遣

【チューリッヒ十日發】 ジュネーヴの萬國赤十字社は日本軍の俘虜待遇問題に關聯して日米兩國に特別委員を同時に派遣する旨三十日發表した

## 赤十字委員、日米に派遣

【チューリッヒ十八日發】 ジュネーヴ來電 萬國赤十字社當局は十七日次の通り發表した

## 赤十字書信取扱激増

【チューリッヒ十八日發】 ジュネーヴ來電 萬國赤十字社當局は十七日次の通り發表した

## 赤十字書信取扱激増

【チューリッヒ十八日發】 ジュネーヴ來電 萬國赤十字社當局は十七日次の通り發表した

## 赤十字書信取扱激増

【チューリッヒ十八日發】 ジュネーヴ來電 萬國赤十字社當局は十七日次の通り發表した

# スイス

ならう

## 割公使に對し

英國政府に抗議し、かかる事件の再發防止方を申し入れるやう訓令を發した

## 昨年中の貿易額

【チューリッヒ十日發】 一九四三年中のスイス對外貿易額つぎの通り

輸出	一、四三三、〇〇〇	一九四二年	一、三三三、〇〇〇
輸入	一、七五七、〇〇〇	一九四二年	一、七〇九、〇〇〇
差引入超	九、三〇〇	一九四二年	四七、〇〇〇

一方十二月中の貿易額はつぎの通り  
(單位千スイス・フラン)

輸出	三二、〇〇〇	前月	一四、〇〇〇
輸入	三三、〇〇〇	前月	三三、五〇〇

## 對ロスヴァキア貿易協定

【ベルリン十三日發】 プレスブルグ來電 〓スイス・スロヴァキア間の物資交換協定締結に關する交渉が當地においてすでに開始されてをり兩國側とも目下價格の問題につき妥協點を見出さんと努力してゐる、從來スイス・スロヴァキア間の貿易尻は大體三千萬對四千萬クラーウンで、スロヴァキア側の輸出超過となつてゐる

## 對ソ貿易組合設立

【チューリッヒ二十九日發】 今回ベルンに對ソ貿易を目的とせる協同組合の設置をみた、組合の機能は純粹に商業上の分野にかぎられてゐると發表されてゐるが、スイスでは一般にその背後に政治的な動きがあるのではないかと取沙汰されてゐる

## 領空侵犯につき英國政府に抗議

【チューリッヒ二十九日發】 二十五日夜の英國空軍のスイス領空侵犯に對しスイス政府は廿九日ロンドン駐

割公使に對し英國政府に抗議し、かかる事件の再發防止方を申し入れるやう訓令を發した

昨年中の貿易額

【チューリッヒ十日發】 一九四三年中のスイス對外貿易額つぎの通り

輸出	一、四三三、〇〇〇	一九四二年	一、三三三、〇〇〇
輸入	一、七五七、〇〇〇	一九四二年	一、七〇九、〇〇〇
差引入超	九、三〇〇	一九四二年	四七、〇〇〇

一方十二月中の貿易額はつぎの通り  
(單位千スイス・フラン)

輸出	三二、〇〇〇	前月	一四、〇〇〇
輸入	三三、〇〇〇	前月	三三、五〇〇

對ロスヴァキア貿易協定

【ベルリン十三日發】 プレスブルグ來電 〓スイス・スロヴァキア間の物資交換協定締結に關する交渉が當地においてすでに開始されてをり兩國側とも目下價格の問題につき妥協點を見出さんと努力してゐる、從來スイス・スロヴァキア間の貿易尻は大體三千萬對四千萬クラーウンで、スロヴァキア側の輸出超過となつてゐる

對ソ貿易組合設立

【チューリッヒ二十九日發】 今回ベルンに對ソ貿易を目的とせる協同組合の設置をみた、組合の機能は純粹に商業上の分野にかぎられてゐると發表されてゐるが、スイスでは一般にその背後に政治的な動きがあるのではないかと取沙汰されてゐる

## 徵用令公布

【ヴィシー廿七日發】 フランス政府は廿七日附官報をもつてユダヤ人間題長官ダキエール・ド・ペレボワー

# スペイン

## 中立放棄強要は絶対拒否

政府公報發表

【リスボン四日發】マドリッド來電

米國大使カールトン・ヘイスは三日スペイン外相ホルダナ伯を訪問、重要會談をした右の會談後スペイン統領フランコ將軍は緊急閣議を開催し、國際情勢に關し重要閣議を遂げた結果、スペイン政府においては飽くまで中立を堅持するに決定し、四日次の公報が發表された

スペイン政府は三日夜閣議を開催し自國の關聯する現下の國際情勢について外相ホルダナ伯の報告に検討を加へた、政府は來從自國が嚴正中立の態度を堅持して來たことを確認し更に自國民並びに國內における外國人に對し中立政策によつてスペイン政府に課される義務を果すやう特に嚴重要請する

同時にスペイン政府は中立の放棄を強要する一切の壓迫を絶対に拒否する方針である、スペイン政府の中立は絶対であり、且つ主義に基くところて凡ての國家がこれを尊重しなければならぬ、スペイン政府は今回の閣議において自國の中立尊重を神保するに必要な一切の豫防政策について協議を遂げたスペイン政府は終始一貫世界戦争の擴大を阻止するために善意を實證したが以上の善意に徴すればスペイン政府が自國の頭上に持ち込まれるであらう一切の諸困難に對し飽くまで冷靜に且愛國心を以つて對處することが保障されてゐるといへよう、スペイン政府は各國が自國の獨立を充分尊重することを期待するスペイン國民一致の希望を代表してゐるが故に全國國民の全革的信頼を保持してゐるのである

## 政府石油節約令

【リスボン一日發】マドリッド來電

政府は一日全國に對し石油節約令を公布したが燃料委員會は同時に次の通り發表した

政府は今回國內における石油の消費を切り詰めるため自動車の利用のみならず、公共輸送に關しても石油の消費を出来るだけ制限し、官用自動車となつても石油を嚴重制限することとなつた、然し乍ら石油の制限によつて商工業、農業、發電、並びに生産品の運搬に支障を來さない様對策を講じてゐる

## パロセロナ港閉鎖

【リスボン十二日發】バルセロナの新聞ラ・フレンサ紙十二日の報道によれば

スペイン政府は海軍當局の勸告に基き、バルセロナ港における「不慮の椿事」を避けるため一般人の埠頭地區への立入りを禁止したといはれる、今後日没後バルセロナ港と外部との連絡は一切遮斷され、港灣警察の發行する證明書を持つ者に限り出入が許可されるが同港出入の船舶に對しても同様の規定が適用される

## 新アルミ貨發行

【リスボン二十二日發】マドリッド來電

大藏大臣は今回二ペセタ半、一ペセタおよび五〇センチモの三種の新貨發行の権限を與へられることとなつた、なほ新規發行豫定の三億ペセタの鑄貨はアルミで鑄造される

## 新軍令部長任命

【リスボン廿六日發】マドリッド來電

海軍當局は廿六日バスクアル・セルヴェラ大佐を軍令部長に任命した旨發表した

## 女子勞働動員強化

【リスボン二十七日發】マドリッド來電

政府は勞働力確保のため今回女子勞働動員強化に關する法例を公布した、從來スペインでは一九三七年十月公布の法例にもとづき一部の婦人の年六ヶ月勤務制度を實施してゐるが、今回右適用範圍を擴大、十七歳以上三十五歳未満の女子はすべて六ヶ月勤務の義務があることになつた

## 丁芬兩國間の通商協定

【ストックホルム十八日發】コペンハーゲン來電

過般來デンマーク及びフィンランド兩國代表はヘルシンキにおいて通商條約締結に關し協議を重ねてゐたが、豚肉、チーズ、乳製品、林檎マツシユ、染料等約三千六百萬クローネの商品相互交換に對する三年間の暫定の取極が十八日調印されたといはれる

## 昨年中の輸入貿易 狀況

【ストックホルム一日發】

スウェーデンの主なる輸入品は石炭であるが平年の輸入高約六百五十萬トンに比し、去年は辛じて二百七十萬トンを維持したに過ぎなかつた、なほ一九四三年の石炭輸入高は大體三百五十萬程度と見積られてゐる、このほか重要な輸入品は穀類、鉄、鐵鋼、金屬類、棉花、羊毛、皮革、苛性加里、硝石、鹽、ソーダー、コーヒー、植物油、油粕、亞麻仁、コブラ、大豆、落花生、小麥、玉蜀黍、米、煙草などである

## ソ聯機首都を爆撃

【ストックホルム廿三日發】ソ聯空軍は廿二日夜ストックホルム市及び同市南方のストララングナエ市に對して爆彈を投下したが、ソ聯機は救助信號を發したためにスウェーデン高射砲陣は對空射撃を加へなかつたものと傳へられる、ストックホルム市で二名、ストララングナエ市で二名合計四名の負傷者を出した、一方ストックホルム西南二十哩のソエデルタルクエその他二都市にも爆彈が投下されたといはれる

## 獨瑞間航空連絡杜絶

【ストックホルム一日發】スウェーデン航空會社は、獨瑞兩國間定期航空を停止した旨一日聲明した

## 三國の利益代表受諾

【ストックホルム十二日發】政府はアルゼンチン政府の要請に基き、ブルガリア、ルーマニア及びハンガリー各國におけるアルゼンチン國の利益を代表、同時にアルゼンチン國にお

けるハンガリー、ルーマニア兩國の利益を代表する旨十二日發表した

## 瑞英空路再開

【ストックホルム十八日發】スウェーデン及び英國は過般來航空便の再開に關し折衝を續けてゐるが、スウェーデン政府は來る二十日よりスウェーデン機によつて兩國間の航空便を再開する旨十八日發表した

## ソ聯に抗議

【ストックホルム十七日發】スウェーデン外務省は十六日次の通り發表した

モスクワ駐劄スウェーデン大使館は十五日政府の訓令に基きソ聯空軍が去る十二日スウェーデンとフィンランド國境を流れるトルネ・オールヴ河地區のスウェーデン領に爆彈を投下したことに對しソ聯政府に嚴重抗議した

## 北政諸國

### クーマンデ

## 對ベルギー通商協定 延長

【ベルリン十三日發】當地に達した情報によれば昨年十二月三十一日満期のベルギー・デンマーク兩國間通商協定は本年三月末まで延長されることとなつたといはれる、なほ兩國間貿易額は今後五〇%方増加されるはずであるが、新協定の交渉も三月早々コペンハーゲンで開始されることになつてゐると

いと述べてあるが、スエーデン政府當局に於ては廿三日次の通り言明した

外國飛行機がストックホルムの東南十八哩の地點に爆弾を投下した、ストックホルムに於ては焼夷弾二個、不能爆彈三個が発見された右爆彈の破片にはロシア文字が記されてゐた

ソヴェト政府に抗議を提出【ストックホルム廿七日發】スエーデン政府は廿六日次の通り發表した  
モスコウ駐劄スエーデン公使館は廿二日ソヴェト空軍のスエーデン上空侵犯にストックホルム市及附近に對する爆彈投下につき廿五日ソヴェト政府に對し抗議を提出した

### ドンライフ

國會正副議長再選  
【ストックホルム一日發】ヘルシンキ來電 國會議長V・ハツキアラ氏は一日の選挙で百九十四票の内百四十七票の絶対多數で議長に再選され副議長E・M・タルツカネン氏も亦百七十九票を以て再選された

### 國家の運命は國民の責任

大統領演説  
【ベルリン二日發】ヘルシンキ來電 大統領リヒト・リヒ氏は二日フィンランド國會の開院式に臨み、歐洲戰局の現段階について次の通り述べた

世男大戰は今や第五年に入つて一層凄愴苛烈の度を加へるに至つた、巨大且破壊的な決戦が今や最高潮に近づいてゐるが、今回の戦争においてフィンランド國民は武器をとつて祖國を防衛し一度は單獨媾和の體験をした

味はつた、戰局の各段階においてフィンランド國民は盟邦から幾多の援助を受けたが只今迄の所一切の困難を切り抜けて來た、フィンランド國民は今後と雖も自國の事柄は自分で決定するであらう、フィンランド領土はも早戰場となつて居らず、フィンランド軍は依然として國內の治安と國境線の防衛に當つてゐる  
然し乍ら現下の戰局は極めて重大であり、全國民が飽くまで冷靜に然も斷乎たる決意をもつて勇氣を振り出すことが必要である、フィンランド國民が從來と同様祖國の自由と獨立を保全し確保する目的のために戰つてゐるのだが以上の目的を達成する道は遠くして且困難である、然し乍らフィンランド國民は凡ゆる困苦缺乏に耐へてこれ等の諸困難を克服しなければならぬ、勿論諸大國間の抗争が歐洲並びに世界の全局に決定的影響を與へるであらうが、各國民の運命を決定するのは主として各國の責任である、従つてフィンランド國民が所期の目標を達成出来るかは専らフィンランド國民が堅忍持久祖國を防衛し礦國の將來のために一大犠牲を拂ふかどうかによつて決るであらう、フィンランド國民は最後の勝利を確信してゐるが故に飽くまで冷靜、飽くまで信念を持して渝らぬ

### 首都の灰燼に歸するも降服せず

【リスボン七日發】ワシントン來電 米國務長官は八日米國政府がフィンランドに對して戦線離脱を強要した外交壓迫を加へてゐることを發表したが、右言正に對してワシントン

のフィンランド公使館當局は同國に戦線離脱の意志なきことを明らかに傳へられた  
フィンランドの地位には何等の變化もない、たとへ首都ヘルシンキが灰燼に歸さうともフィンランドは決して降伏しないであらう  
政府議會に報告提出  
【ストックホルム十九日發】ヘルシンキ來電 フィンランド政府は十九日議會に對して過去一箇年間の政治外交問題に關する報告書を提出した同報告書の大部分はフィンランドの困難な外交關係に關する説明を以つて占められてゐるといはれる

### 國會重要協議

【ベルリン廿九日發】ヘルシンキ來電 フィンランド國會は廿九日午前十一時開會午前十一時半から秘密會に入つた、リソコミニス首相は現下の情勢に關するフィンランド政府の報告を朗讀、朗讀は三十分亘つたが次で各派の代表が所見を開陳し、午後零時半一旦休會に入つた、更に夜に入つて國會は再開され一時間に亘つて討議を重ねたが終つてその公報が發表された

### 燈管を全國に擴大

【ストックホルム廿四日發】ヘルシンキ來電 軍最高司令官マンネルヘイム元帥は廿三日、フィンランド全國に對して燈火管制を命令した、これまで同國南部地區及び海岸地帯では燈火管制が行はれてゐたが、同國の大半殊に内地地帯では未だ實施されてゐなかつたものである

### 警察長官任命

【チューリッヒ十二日發】ヘルシンキ來電 政府はカスター博士をフィンランド國家警察長官に任命した旨十二日發表した

### 労働會議に不参加

【ストックホルム十七日發】ヘルシンキ來電 政府は十七日次の通り發表した  
來る四月フィラデルフィアにおいて開催される國際労働會議にはフィンランド政府は現下の國際情勢に鑑み代表を派遣しないことに決定した

芬蘭建國の父逝く  
【ストックホルム二十九日發】ヘルシンキ來電 フィンランド元大統領ベール・スヴィンフーヴ氏は二十九日逝去した、享年八十二歳、同氏はフィンランド獨立及び建國事業の最大功勞者の一人で、全國民敬愛的であつた、同氏は元辯護士であつたが獨立運動のため一九一四年―一九一七年まで帝政ロシア政府のためシベリアに流刑 處されてゐたが、ロシア革命と共に歸國、爾來終生を新生フィンランドの育成に捧げて來た、一九三一年―一九三七年の間大統領の地位にあつたが、その後も元老として國事に參畫してゐた

### 細菌學の權威ストラチ氏逝去

【ストックホルム廿四日發】ヘルシンキ來電 ヘルシンキ大學教授ヒュンゴ・ストラチ氏は二十四日心臓病のため逝去した、同氏は世界的細菌學の權威として知られてゐる

### 獨芬新通商協定成立

【ベルリン廿八日發】ヘルシンキ來電 ドイツ、フィンランド兩國代表は去る十八日から二十六日迄ヘルシンキにおいて一九四四年度獨芬通商協定に關し交渉を進めてゐたが、フィンランド政府は二十八日交渉が圓滿に妥結した旨發表した、新協定は兩國の物資供給高を一九四三年度と

# ソ 聯 邦

## 聯邦各國に國防外 交權限賦與を提案

—セロトフ演説要旨—

### 政 治

【ストツクホルム二日發】

モスクワ來電。一日の最高會議におけるモロトフ外務

人民委員の演説要旨の通り  
△現在の赤軍はソ聯全體の軍隊であり、各共和國の個々の軍隊によつて編成されてゐるものではない、ソ聯政府は茲に赤軍を構成する各共和國の創設、聯邦加盟共和國に國防人民委員部を新設することを提案する、現在赤軍にはリトワニア人、ラトヴィア人、エストニア人、ゲルジア人、アルメニア人等の民族部隊が編成されてゐるが爾今ソ聯各民族は一人残らず赤軍に入隊することにたう、勿論ソ聯は法律に基いて如何なる民族にも徴集の例外を認めてゐないが、ソ聯各地の國民が赤軍に召集される迄には尙相當の時日を要する

同額に定めてゐる

も語つてゐる、今回の憲法改正に盛られたソ聯國民間の紐帶強化は歐洲諸國民に對するソ聯邦の威信を愈々強化することとならう  
△ソ聯の外交は今日迄聯邦人民委員部が掌管してきたが、ソヴェト政府は各共和國に外國と直接外交關係を樹立し、條約を締結する權限を附與することを提案する  
以上は各共和國に外務人民委員部を創設、單一人民委員部を複合人民委員部に轉化することを意味する、今日迄ソ聯は全ソ外交政策を基調として外國と折衝して來たが、今日ソ聯各共和國の問題はソヴェト政權が樹立された二十數年前と全く相違する、今日では諸外國がソ聯を無視することは全く許されなくなり、多くの國がソ聯と外交關係を樹立し強化しやうと望んでゐるのである、ソ聯は歐洲諸國と友好關係を維持してゐるばかりでなく、米國との關係も極めて良好であるソ聯とチエツコとの間に締結された條約は、戦後歐洲諸國とソ聯との協力關係を確保するために据ゑられた一礎石と言へやう、自の經濟、文化上の要求を持つてゐる以上は外國におけるソ聯全體の代表をもつては到底満足され得ない、各共和國のかかる民族的要求は各共和國が直接外國と外交關係樹立することによつて最もよく満足せしめられると同時に戦時は勿論戦後においてもソ聯と諸外國との協力關係を一層強化するであらう

## 最高會議モロトフ案承認

【ストツクホルム二日發】モスクワ

來電。モロトフ外務人民委員は第十回ソ聯最高會議に對し各共和國に國防、外交の權限を賦與する案を上程したが、ソ聯最高會議は一日四時間に亘る討論の後モロトフ外務人民委員の提案を承認した  
**ユーゴの提案一蹴**  
【ストツクホルム四日發】四日のモスクワ放送によれば、ユーゴ亡命政府は昨年十一月中旬ソヴェト政府に對し相互援助、戦後協力條約の締結を提案したが、ソヴェト政府はユーゴの情勢が明確を缺くことを理由に一蹴したといはれる、因にソ聯は一九四二年春ユーゴに相互援助條約の締結を提案したが、ユーゴによつて拒否されてゐる  
**ソ波問題につき對英回答**  
【ストツクホルム十一日發】ロンドン來電。スターリン議長はモスクワ駐劄英國大使カーを通じてスターリン議長に手交されたソ波紛争に關するチャーチルの覺書に對し、十一日回答を行つたといはれるが、内容は一切判明しない  
**波愛國者聯盟國民會議創設**  
【ストツクホルム十二日發】十二日のモスクワ放送によればワグダ・ワシレフスカヤ女史を盟主とするモスクワのポーランド愛國者聯盟はポーランド解放を目指して國民會議を創設する旨發表したといはれる、同會議の構成は未だ判然としなはれないが、ポーランド農民黨ポーランド労働黨の他の「民主主義團體」の代表者よりなるものと傳へられる

## タス、ソ勃通商協定説を否定

【モスクワ十三日發】ソヴェト政府は去る十日ブルガリアに對する軍事使節團派遣説を否定したが、十三日タス通信社を通じて

スウェーデン紙はソ聯、ブルガリア兩國間に通商協定が成立したと報じてゐるが、全然事實無根である  
【モスクワ十三日發】ソヴェト政府は去る十日ブルガリアに對する軍事使節團派遣説を否定したが、十三日タス通信社を通じて

## ソヴェト政府の外交進出

【チューリッツ十八日發】アルジュエ一來電によればソ聯は新たにオランダ領事館を開設メントフ領事の下にイスライカルと稱する新聞を發行、同教徒に呼び掛けてゐると傳へられる、更にロイター電報によればレバノン地方においてアンカラ駐劄ソヴェト大使館の指導の下に共產主義宣傳に躍起となつてゐるといはれる  
**エチオピア公使着任**  
【モスクワ五日發】新任モスクワ駐劄エチオピア公使は二日カリニン議長に對して信任狀を捧呈した  
**瑞典爆撃を否定**  
【モスクワ廿三日發】ソ聯情報局は廿三日公報を以てソ聯機はモスクワホルム爆撃を次の通り正式に否定した

抗議を蹴る 【ストツクホルム三日發】スウェーデン政府はソ聯空軍のストツクホルム爆撃に關しソ聯政府に抗議したが、ソ聯政府は當時ソ聯機がスウェーデン上空にゐなかつた旨を主張し抗議を一蹴したと

## 伊軍捕虜釋放を一蹴

【ベルリン廿七日發】ローマ來電。南イタリアからの情報によれば、パドリオ政權はソヴェト政府に對し東部戰線におけるイタリア兵捕虜の釋放を要請したが、ソ聯は一蹴したといはれる、即ちパドリオ政權は反樞軸陣營の一員としての建前から米國を通じて捕虜の釋放を要請、反樞軸イタリア管理委員會のソ聯代表グイシンスキー氏が過般モスクワに歸還した際、パドリオ政權の要請を本國政府に傳達したが、スターリン議長はパドリオ政權の鵠の性格を指摘し峻拒したと傳へられる

## 米に小麦供給増加を要請

【リスボン十五日發】ワシントン來電。アメリカ上院委員會における一證言によればソ聯はアメリカに對し本年の小麥供給量を昨年の二倍に増加する様要請してゐると傳へられる  
**人 事**  
【モスクワ二日發】ソ聯邦労働組合中央評議會書記兼民族會議議長ニコラエ・シユヴェル氏を最高會議幹部會議議長第一代理並に聯邦人民委員會議副議長に任命した最高會議幹部會議議長は從來各共

同額に定めてゐる  
も語つてゐる、今回の憲法改正に盛られたソ聯國民間の紐帶強化は歐洲諸國民に對するソ聯邦の威信を愈々強化することとならう  
△ソ聯の外交は今日迄聯邦人民委員部が掌管してきたが、ソヴェト政府は各共和國に外國と直接外交關係を樹立し、條約を締結する權限を附與することを提案する  
以上は各共和國に外務人民委員部を創設、單一人民委員部を複合人民委員部に轉化することを意味する、今日迄ソ聯は全ソ外交政策を基調として外國と折衝して來たが、今日ソ聯各共和國の問題はソヴェト政權が樹立された二十數年前と全く相違する、今日では諸外國がソ聯を無視することは全く許されなくなり、多くの國がソ聯と外交關係を樹立し強化しやうと望んでゐるのである、ソ聯は歐洲諸國と友好關係を維持してゐるばかりでなく、米國との關係も極めて良好であるソ聯とチエツコとの間に締結された條約は、戦後歐洲諸國とソ聯との協力關係を確保するために据ゑられた一礎石と言へやう、自の經濟、文化上の要求を持つてゐる以上は外國におけるソ聯全體の代表をもつては到底満足され得ない、各共和國のかかる民族的要求は各共和國が直接外國と外交關係樹立することによつて最もよく満足せしめられると同時に戦時は勿論戦後においてもソ聯と諸外國との協力關係を一層強化するであらう  
**最高會議モロトフ案承認**  
【ストツクホルム二日發】モスクワ

和國最高會議々々によつて構成されてゐたものである

### コルネチユーク氏辭職

【ストクホルム三日發】モスクワ來電に依ればソ聯人民委員會議は二日外務人民委員部次長コルネチユーク氏の辭職を承認したといれる、辭職の理由に就ては明らかにされてゐない

### ウクライナ共和國初代人民委員任命

【モスクワ六日發】ウクライナ共和國最高會議幹部會及び人民委員會議は同共和國の首都をハリコフからキエフに遷すに決定した、また同幹部會は五日聯邦共産黨中央委員會政治局員兼ウクライナ共和國黨中央委員會第一書記アルシチヨフ氏を同共和國人民委員會議副議長に任命し、前人民委員會議々々長コルニエフ氏を人民委員會議々々長代理に任命した、また同幹部會は同日幹部會令を以て外務人民委員部を創設し外部人民委員にコルネチユーク氏を任命した

### 白露人委會議々々長新任

【ストクホルム八日發】モスクワ來電によれば、ウクライナ共和國首腦部の人事移動に次いで白ロシア共産黨中央委員會書記長ボノムレフ氏が任命されたといはれるが、外務人民委員は未だ決定をみてゐない

### 赤軍將官大量昇進

【モスクワ廿二日發】ソ聯最高會議幹部會は廿一日上級元帥の新階級を制定し赤軍最高將官の昇進と授勳を次の通り一括發表した

### 軍 事

#### ジュニコフ最高司令官代理に任命

【ストクホルム十八日發】スウェーデン紙アフトンブラデツト

- 任上級元帥 フョードレンコ 戦車兵軍大將
- 任戰車兵元帥 ロートミストロフ 戦車兵軍大將
- 任通信兵元帥 ベレスイブキン 通信人民委員
- 任通信兵元帥 ヴオロヴイェフ 工兵軍大將

の報道によれば、ソ聯情報局はジュニコフ元帥が赤軍最高司令官代理に任命され、直接スターリン元帥を補佐することとなつた旨十八日發表したといはれる

### 英蔣に勳章贈與

【ストクホルム廿日發】モスクワ來電にソヴェト政府は十七日歐洲遠征反極軸軍最高司令官アイゼンハワーに對しスヴォオロフ一級勳章を贈與したが、更に英國空軍爆撃機隊司令官大將ハリス及び英國海軍本國艦隊司令長官フレージャーに對しても同勳章を贈與した旨廿日發表した

### 赤軍記念日にスローガン發表

【モスクワ二十一日發】ソ聯共産黨中央委員會は来る二十三日の赤軍創設二十六年記念を前にして二十一日恒例の四十七項目に亘るスローガンを發表したが、特に歐洲諸小國人民に呼び掛けナト一麾下ユーゴ・遊撃隊を鼓舞激勵した

### ユダヤ人財産沒收

【ベルリン三日發】ブカレスト來電に政府は三日ルーマニア國內におけるユダヤ人の財産沒收に關する新法令を布告したが、その要旨次の通りユダヤ人の財産沒收に關するルーマニアと相互條約を締結してゐる國の國籍を有するユダヤ人財産は沒收されない、即ちルーマニア國內在住の外國籍ユダヤ人はこの原則より財産沒收除外を申請し得る、但しユダヤ人令により影響されない

### アニマール

【ベルリン廿九日發】アグラム來電に日本クロアチア兩國間の親善關係を促進するため廿八日アグラム市に日本クロアチア協會が創設された

### アリガルブ

【ベルリン二十日發】ソフイア來電にブルガリア労働團體指導者ボボフ氏は十二日布告を發しブルガリアの労働者に對し祖國防衛のため躍起せよと次の如く言明した我等同志の多くは既にユダヤ的資本主義の暴風の前に斃れたが、この打撃こそ我等國民の團結、自由、國民獨立への努力を破壊せんとして行は

### 英蔣總長に勳章授與

【ストクホルム廿七日發】ソ聯は最近反極軸軍首腦に盛んに勳章を授與してゐるが、廿七日のモスクワ放送によればソヴェト政府は英國軍參謀總長元帥サー・アラン・ブルツクに對してスヴォオロフ一級勳章を授與したといはれる

### 海軍黑海から引揚げ

【ベルリン二十日發】ドイツ軍當局の言明によればこれ迄黑海においてドイツ軍に協力作戦中であつたクロアチア海軍部隊は今同本國引揚げることとなり、今度はクロアチア海軍の中心として同國海岸の警備に任ずる豫定といはれる

### 日本クロアチア協會創設

【ベルリン廿九日發】アグラム來電に日本クロアチア兩國間の親善關係を促進するため廿八日アグラム市に日本クロアチア協會が創設された

### アリガルブ

【ベルリン二十日發】ソフイア來電にブルガリア労働團體指導者ボボフ氏は十二日布告を發しブルガリアの労働者に對し祖國防衛のため躍起せよと次の如く言明した我等同志の多くは既にユダヤ的資本主義の暴風の前に斃れたが、この打撃こそ我等國民の團結、自由、國民獨立への努力を破壊せんとして行は

れたものである、然しながらブルガリアの敵が若しも我々の精神と團結とを、破壊行為とか典惡な爆撃とかで粉砕出来ると信するならば、とんでもない間違ひだといふ他はない、闘争と獻身的行動とを學んだブルガリア人は我が國民團結を擁護するであらう、今日諸君は誰が殺人犯人であるかを極めて明瞭に知り得た、それ故にこそ諸君は一層の力を以て奮起し、祖國の自由と名譽を守つてゐるのだ、然し今後一層大きな試煉が加はるであらう、それに對し十分の準備をしなければならぬ

### ソフイア市近く人口調査

【リスボン十八日發】ソフイア來電に反極軸空軍に依るソフイア爆撃に伴ひ、同市から退去疎開する市民の数は増加してゐるが、ブルガリア政府は近くソフイア市の人口調査を行ふ事になり十八日、市民全部に對し警察當局に登録する様命令を發

### アナトリヤ震災の被害

【リスボン三日發】イスタンブール來電に去る一日夜アナトリヤ地方の地震について三日トリコ政府は次の通り發表したアナトリヤ地方の地震に依りゲレド市の被害は倒壊家屋千三百戸、人口二萬五千の内死者九百九十五名、負傷者九百八十四名を出した【ベルリン八日發】



イスタンブール來電によれば内相ワ  
ラール博士は八日アナトリア地方西  
部の震災地救済状況の視察を行った  
といはれる、現在迄に判明した所  
では四千七百の死體が掘り出されたと  
云はれる

### イスタンブールに外人立入 禁止

【ベルリン四日發】イスタンブール  
來電 政府はイスタンブール市に對  
する外人の立入りを禁止するに決定  
しトルコ外務省に四日各國大使館  
に對し次の通り通達した  
一、イスタンブール市内の人口が急  
激に増加した結果トルコ政府は外人  
がイスタンブール市内に新たに入つ  
て来るのを禁止するに決定した  
一、特別の事情によりイスタンブール  
市内に居住することを希望する外人  
は特に政府の許可を必要とする

### 重慶使節團首相と會見

【リスボン二十三日發】アンカラ來  
電 重慶政權使節團一行は十八日ア  
ンカラに到着したが、二十一日首相  
カラジヨグル氏に面會、正午重慶駐  
割大使トカイ氏の招宴に臨んだ後夕  
刻アンカラを出發した

### 新會計年度歳出豫算

【リスボン二十七日發】イスタンブ  
ール來電 本年七月一日に始まる新  
會計年度のトルコ通常歳出豫算は五  
億五千萬トルコ磅と發表された、な  
ほ右のほか新會計年度には約五億五  
千萬トルコ磅の臨時軍事費が計上さ  
れてをり、合計十一億トルコ磅の支  
出が見込まれる、因に本會計年度の  
通常歳出豫算は四億八千六百萬トル  
コ磅であるが、新會計年度の支出増  
加分は主として所得税の増徴によつ  
て賄はれる筈である

### シリヤ政廳の豫算案

【リスボン十五日發】ダマ  
スカス來電 シリヤ政廳は  
一九四四年度新豫算案を十五日發表  
したが、それに依れば新豫算は總額  
四億八千二百萬ポンド(シリヤ)に  
達し、昨年度に比して千二百萬ポ  
ンド増加であるが、不足額千萬ポ  
ンドは四千五百萬ポンドと査定され  
る収入により補填することになつて  
ゐる

### 二閣僚サ・ア國訪問

【リスボン廿五日發】ダマスカス來  
電 シリア外相ヤミル・マルダン並  
に經濟相カレド・アデムはサウディ  
・アラビア國王イブン・サウドの招  
請に應じ、汎アラブ聯盟問題に關し  
協議を遂げるため廿五日サウディ  
アラビアの首都エル・リアドに向  
け出發した

### 國民黨要人釋放

【リスボン廿六日發】ダマスカス來  
電によれば今次大戦勃發以來監禁さ  
れてゐたシリア國民黨要人數名はシ  
リア、レバノン兩國政府の決定によ  
り釋放せられたが、更に監禁中の七  
十二名も近く釋放される豫定と傳  
へられる

### イラク首相訪問

【リスボン五日發】ダマスカス來  
電 首相ヌリ  
・サイドはシリア政府の招待に應じ  
五日ダマスカスに到着した、ヌリ

サイドはダマスカスへの途次ベイル  
ートでレバノン共和国大統領同及び同  
國首相とも會談した

### ソ聯、政府に金塊 を送る

【リスボン廿七日發】テヘ  
ラ來電 ソ聯國立銀行からイラン政  
府に對する第一回分の金塊が七日テ  
ヘラに到着したが、今回の金の輸  
送は一九四三年三月十七日締結され  
たソヴエト、イラン通商協定に基  
くものである、而してイラン政府は英  
國とも同様の協定を締結してをり、  
これにより英ソ兩國は夫々イランに  
駐屯する自國軍隊の維持費並にその  
他の費用に對するイラン政府の立替  
金を總額の六十%は金により四十%  
は磅貨及び弗貨を以つて返済するこ  
となつてゐる、因みにイラン政府  
は現在迄に英國からの返済分として  
南阿から數回の金の輸送を受けてゐ  
る

### 印度へ文化使節

【リスボン十七日發】テヘラ來電  
によれば印度政廳の招聘によりイラ  
ン政府は文化使節を近く印度に派遣  
するに決定したと言はれる、同使節  
は約一ヶ月に亘りラホール、アムシ  
ール、アラハバード、ボンベイ、ヒ  
デラナード、バンガロール、マドラ  
ス、デリ等の各大學を訪問、兩國  
間の文化開設促進に資する計畫であ  
る

### モスクワに總領事 館設置

【リスボン九日發】カイロ  
來電 政府は七日新たにモスクワに  
總領事館を設置するに決定して、一  
方カイロ駐劄ソヴエト公使館では新  
たに館内に情報部を創設する計畫を  
なしたといはれる

### 西亞通貨會議開催

【リスボン二十日發】カイロ來電  
 英國西亞常駐相モインは来る四月  
二十四日カイロに通貨會議を開催す  
る旨二十六日發表、西亞各國政廳に  
招待状を送り、参加を要請した、會  
議は西亞各國の貨幣價値の低下しつ  
つある現状に鑑み通貨安定問題を討  
議する豫定といはれる

### アラビヤ人の釋放を要求

【リスボン廿九日發】エジプト政府  
はアラブ會議を提唱してゐるのに對  
しパレスチナ地方のアラビヤ人代表  
は現在英國官憲のために指導者達が  
逮捕されてゐるため代表を派遣出來  
ない旨通告したが、カイロ來電によ  
ればエジプト政府においては英國政  
府に對しこれ等指導者達の釋放を要  
求することに決定したと言はれる

### 南阿 ケープタウン燈火 管制中止

【リスボン十一日發】ケ  
ープタウン來電 南阿聯邦政廳はケ  
ープタウンにおける燈火管制を来る二  
十一日から中止することに決定した

## 反軸國聯合

### 米英對潜水艦 戰共同聲明

【リスボン十日發】米  
國戰時情報局は十日  
反軸國軍の對潜水艦  
戰に關する米國大統  
領ルーズヴェルト、  
英國首相チャーチル

の共同聲明を發表した、聲明はドイ  
ツ潜水艦隊が最近頗る巧妙且用心深  
い戰略をとるに至つた爲、潜水艦戰  
が極めて困難となつて來たことを強  
調したが、その一方一月中に撃沈し  
た潜水艦の數は昨年十二月より増加  
し、又一月中の潜水艦による反軸國  
船舶の撃沈數は開戰以來の最低數を  
示したと宣傳した

### バドリオ政權に占領地返還

【リスボン十日發】反軸國軍占領下  
のイタリヤ南部は從來反軸國軍軍政  
下におかれバドリオ政權は報前だけ  
の政權で行政權なく、アムゴットの  
一機關にすぎなかつたが、アルジェ  
一來電によれば地中海方面反軸國軍  
司令官大將メートランド・ウィルソ  
ンはイタリヤ南部の大部分シチリア  
島及びサルジニヤ島の支配權を十一  
日から傀儡政權に移讓する旨十日言  
明したといはれる

### 反軸國救濟復興局の人事發 表

【リスボン廿日發】ワシントン來電  
 反軸國救濟復興局長官ハーバート  
・リーマンは廿日ソ聯代表ニコライ  
・イヴァノヴィチ・フェノフをロンド  
ンに本據をおく同局所屬歐洲地區物



資補給事務局の代理長官に任命した旨發表した、なほこれに先立つてレマンの財政顧問としてポーランド代表ソコロフスキーが任命された前カナダ商業銀行外國部長ヴァン・ゲルターが反樞軸復興局の財政經理問題に關する代理長官に任命された旨發表されてゐる

### 米英武器貸與更改

【リスボン二十四日電】ニューヨーク來電 米英兩國政府は戰局の推移並びに兩國軍需生産情況の變化に伴ひ過般來武器貸與協定の變更につき交渉を進めてゐたが、右交渉に基づき最近發表された對英武器貸與物資の内容には著しい變更が加へられてゐる、例へば貸與物資中生産資材の輸出が著しく減少し、工作機械類は殆ど皆無に近く特に戰後の目的に使用される物資は全然含まれてゐない

### 米英兩國の流行性感冒

【リスボン廿日電】ロンドン來電 ニュース・クロニクル紙は米英兩國内の流行性感冒について次の通り報道してゐる  
去る十一月から一月までの流行性感冒で英國内に一千八十萬人の患者を出し、内約二百萬人は肺炎を併發した、右數字はギャラツプの調査に基いてゐるが、英國内の各方面に亘つて調べたところでは全國民の中二割七分が流行性感冒に罹り患者五人の

中一人は餘病を併發してゐる、當局の發表によれば十一月中旬から十月末迄にロンドン其他英國内百二十六の大都市で感冒による死者五千三百名を出したことになるが、特別に十二月の第二週並に第三週は一番悪く、一週間内に死者千名以上を出した、一月に入つて一週間の死者が減少し一月廿二日迄の一週間に死者百四十三人、一月二十九日迄の一週間に百四名を出した、患者数は収入の少い階級よりも上流乃至中流階級に比較的多かつた、米國內でも同様の調査が行はれたが一月月上旬迄に全人口の一割三分約一千七百萬人が流行性感冒に罹つてゐる

## 亡命政權

### スラフ

佛領アフリカ移住民制限  
【リスボン三日電】ブラザアヴェル來電によれば目下同地で開催されてゐるド・ゴール派のフランス帝國會議は二日アフリカのフランス植民帝國に對する移住制限案を滿場一致採擇したといはれる、同案は大體米國、カナダ、南米、濠洲等において採用されてゐる移住制限を規範としたのだが、アフリカ土着住民は農業にだけ従事することを條件として移住を許され一方歐洲人は商工業に従事の特権を有するものといはれる

### 將校、官公吏を肅清

【リスボン六日電】アルジェニ來電によればフランス解放委員會委員長ド・ゴールは同委員會の肅清工作を行ひその結果官公吏三百名、將校十二名、司法官三十四名が反ユダヤ活動を行つたとの廉で罷免された

### 女子を徵募

【リスボン九日電】アルジェニ來電によればフランス解放委員會は九日婦人兵士を徵募することに決定、第一回募集人員は六千名で扶養すべき子供のない離婚者、寡婦を徵集し海軍航空隊地上勤務補助に當てる豫定といはれる

### 在巴藝術家に死刑宣告

【ベルリン十二日電】パリ來電 最近ドゴール一派のフランス傀儡政權は、親獨派とみなされる在パリフランス人藝術家、俳優達二百六十一名に對し死刑の宣告を下す旨發表した、その中には有名な文藝評論家ポール・ヴァレリ、俳優モーリス・シュヴァリエ、ロラン・テシエ等も入つてゐるが、パリにゐるこれ等の藝術家や俳優達は、「夢みたいな馬鹿々々しい宣告だ」とまるで相手にしてゐない

### アリタイ

【リスボン十一日電】パリ來電 地中海方面反樞軸軍司令官ウイロンはイタリヤ南部の諸占領地をバドリオ傀儡政權に返還する旨十日發表したが、バドリオはこれに關し十一日次の如き聲明を行つた

### バドリオ聲明發表

反樞軸軍は戰爭を有効に遂行するため必要な條件の下で南部イタリヤ若干地域の主權を本政權へ返還することに同意した、本政權は從來公布された反樞軸國の法を合法的に繼續する旨の誓約を行つた

### バドリオ新内閣成る

【リスボン十七日電】パリ來電によればバドリオは十七日新傀儡内閣の顔觸れを次の通り發表、同日第一回閣議を開催したと云はれる  
△法相 エドモント・カサツチ △農相 ルチアノ △書記官長 デイノ・フィリッポ (以上新任) △内相 ウイツ・レアリ △陸軍大將 タデオ・オルラン  
△文相 ジョヴァンニ・キネオモ △工業労働相 エピカルモ・コルビノ 教授 △公共事業相 ラファエレ・カ

### ミハイロウイチ獨軍に協力

【リスボン十七日電】ロンドン來電によれば舊ユーゴスラヴイア領内の共産チト政権は十七日ラゴア放逐で次の如く發表したといはれる  
一、ドイツ軍は十七日ミハイロウイチ派チエトニク部隊五百名と協力タニンより進發して附近の三地點を占領した  
一、ボスニア東部地區ロガチカ(サラエボ東方)及びクロアチア東北部のユプリヴニカ附近では夫々激戦が行はれた

### 共産分子暗躍に抗議

【リスボン二十九日電】ソヴエト政府が過般ポーランド領内で作戦するポーランド軍の總司令官にローラ將軍を一方的に任命したことは、ロンドンの亡命ポーランド政權と連絡を採るポランド領内の各地下組織の強硬な反撥を受けてゐるが、ロンドン來電によれば亡命ポーランド政權等ポーランドにおける共産主義分子の活動及びモスクワの尻押しするポーランド國民會議の任命した一謎の總司令

「ロード」紙は十九日の紙上に次の如く報道してゐる  
ミハイロウイチ將軍一派は去る十二日より十六日迄五日間に亘りザグレブ市附近の山中で、作家ドラギツシヤ・ヴァシツチ司會の下に國民會議を開催した、會議には英國將校が一名の代表も出席しなかつた、ミハイロウイチはチト一派のバルチザン部隊を鋭く攻撃した外メツエーデをルーヅヴェルト並にチヤーチルに送り、ユーゴ領内の共産黨匪と戦ふミハイロウイチ一派に對する偏見を指摘、最後にカイロの國王ベタール二世に挨拶の電報を送つた

### ノールウエー船舶數

【ストックホルム二十六日電】在ロンドン・ノールウエー亡命政權は現在反樞軸國によつて運航されてゐるノールウエー商船は、アメリカおよびイギリスより貸與されたものをのぞき、合計五百隻・三百六十萬LWトンに達する旨發表した

### ドンラーボ

【リスボン二十九日電】ソヴエト政府が過般ポーランド領内で作戦するポーランド軍の總司令官にローラ將軍を一方的に任命したことは、ロンドンの亡命ポーランド政權と連絡を採るポランド領内の各地下組織の強硬な反撥を受けてゐるが、ロンドン來電によれば亡命ポーランド政權等ポーランドにおける共産主義分子の活動及びモスクワの尻押しするポーランド國民會議の任命した一謎の總司令

### ミハイロウイチ派會議

【ベルリン十九日電】ザグレブ來電 クロアチアの「フルウアツキ・チ

官」ローラ將軍に對するポーランド地下組織の抗議文を二十九日發表したといはれる、抗議文の内容次の通り  
ポーランド労働黨の名の下にポーランド領内で暗躍する外國共產主義團體はポーランドの革命的利益を侵害するものと見做し、我々はポーランド労働黨の活動を祖國ポーランドに對する裏切行爲として斷乎抗議する  
ポーランド共和國政黨とポーランドにおけるその代表及び正統のポーランド軍司令官のみがドイツに對する戰爭に當つて命令を發する権限があるだけである

# イギリス

## 首相下院で戰況報告

【リスボン二十一日發】

ロンドン來電 首相チャーチルは廿二日下院において世界戰爭の現段階について報告したが劈頭通りに戦局樂觀論を戒め次の通り述べた  
戦局の現段階において英國民が或は悲しみ或は喜び感情に負けるのは禁物で準備と努力と決意とが必要なる時期である予は戰爭が終局に近づいてゐるとかドイツ國內における國家社會主義が崩壊に瀕してゐるとかいふやうな考を抱いた事はない、反對に國家社會主義とドイツ軍統帥部との關係は極めて圓滑で攻勢の戰においても守勢の戰においてもドイツ軍の戦力と戰爭指導とは極めて優れてゐることをここに強調したい、ドイツ軍統帥部は前線における兵力の運用に當つても一地點から他の地點に兵力を移動するに際しより卓越した手腕を發揮してゐる、イタリヤ戦線におけるドイツ軍最近の戰勝ぶりに徴すれば以上の諸點については何ら疑問の餘地がない  
ついでチャーチルは反極軸空軍が今後ドイツ本國並に占領地帯に對し猛烈な爆撃を加へる方針なる旨を述べ更に歐洲上陸作戰に際し米軍と英軍の兵力比が七割七分對二割三分だと米國內における報道を否定し次の通り言明した  
上陸作戰に先立ち反極軸空軍は歐洲大陸に猛烈な爆撃を加へるであらう現にイタリヤ作戰並に上陸作戰に對する用意の爲にドイツ軍の大部隊は西歐洲に釘付けされて居り、ドイツ軍戰闘機は飛行士並に爆撃機の約五分の四は米軍並に英軍の戦線に牽制されてゐる實狀である、一度反極軸軍が西歐洲に對して上陸作戰を開始する場合には反極軸軍の兵力は英軍並に米軍の略同數を以て構成されるであらう、米國內における非公式な言明によれば米軍の兵力量が非常な多量に達するといはれるが右觀測は事實に相違である、兩軍の兵力比は反極軸軍の上陸作戰後歐洲の戰爭が何時まで續くかによつて決るので、もし戰爭が長期に亘れば米國內における戦力準備が英國のそれよりもずつと大きいから當然米軍の兵力量が増大することとならう、自分は今回の戰爭において英軍の果した役割について自慢する考はないが、英國の盟邦各國並に各自領土が今回の戰爭における英國人の分擔を充分承知して

くることが反極軸各國相互の利益だと思ふ、一九三三年一月一日以降現在迄に英國海軍は七千六百七十七名の將兵を喪失、商船隊は四千二百名の乗組員を喪失してゐる、開戦前の數字を挙げれば英國海軍將兵の死者は四萬一千に達し開戦前の兵力の約三割であり商船隊も亦、開戦前の人員の五分の一を喪失してゐる、一九四三年一月以降撃沈又は大破して一ヶ月以上上戦間に参加出来ない軍艦の總數は九十五隻に達したが、同一期間内に英國空軍の將兵三萬八千三百人が戦死、一萬四百人が行方不明である

チャーチルは更に今後の作戰に關聯し次の通り述べた  
歐洲に對する爆撃は逐次激化し從來何人も豫想出来なかつた規模に達するであらう、英空軍並に米軍航空隊はイタリヤ並に英本國の基地から夜となく晝となくドイツ本土を爆撃するであらう、現在英本國に駐屯する米軍の重爆撃機隊の兵力は略々英空軍のそれと同じだが米軍の航空兵力は今後も引續き増強されるであらうドイツ軍は現在英本國に對する新たな攻撃を意用してゐるが、或は操縱者なしの飛行機により或はフランス北岸からロケット砲をもつて英本土を攻撃する意圖であらう、反極軸空軍は以上ドイツ軍の意圖を察知しフランス北岸に對して組織的に爆撃を加へてゐる、アンチオ橋頭堡においてはドイツ軍と反極軸軍との兵力は互に匹敵してゐる、反極軸軍の進撃は遅々として捗らないが戦局について悲觀する必要はない

【リスボン四日發】 ロンドン來電 英國國民に對して最良の醫藥と施設とを無料で公開し以つて國民全體の健康を増進せんとするものといはれるが細目に就いては國民の希望を充分に研究して決定されることになる模様である、同案の概要次の如くである  
一、新に國民保健を掌る中央機關を設置してその機構の制度化を急速に實現する  
一、英國内に居住する醫師並に現任軍隊で服務してゐる醫師は凡て政府の提案に對して賛否の回答をなし得る、これに對する質問票の送付は英國醫師協會が行ふ  
一、白書は此の制度に於ける「三つの自由」として次の事項を上げてゐる  
一、醫療は如何なる處置を加へても凡て無料である  
一、患者は醫師を選択する自由を有する  
一、醫師はその治療法に就ては自己の見解を以つてこれを行ひ、他から拘束を受けない  
一、醫師は適正でなる収入が保障される  
一、英國内の各地域に完全な設備を有する病院を設置し且つ中央から夫々各科適當の専門家を派遣してその施設を觀察し常に最新の醫學と接觸を保たしめる  
一、將來は各個人毎にその健康について忠告を與へ國民全般の健康を向上せしめる  
一、同案實施に要する費用として約一億四千八百萬磅の巨額が見積られるが、その財源は租税と寄附に依ることとする  
大體以上の如きものであるが白書は

【リスボン十五日發】 ロンドン來電 報道によれば元ルーマニア駐劄公使レヂノールド・ホア及び元アルバニア公使ロバート・ホツヂソンが今回檢閲官として英國情報省入りをしたといはれる、兩名は専ら英國にある外國新聞記者の報道檢閲にあたるといはれるがその對象は主として米英新聞記者にある

【リスボン十五日發】 ロンドン來電 英國政府は十七日白書を以つて英國内の醫師、看護婦、藥劑師、病院施設等の國家徵用を目的とする劃期的な「國民保健制度」の概要を發表、國民は同案を自由に討論して同案の急速なる具體化に協力するやう要望した、この「國民保健制度案」の意圖するところは全

【リスボン四日發】 ロンドン來電 英國國民に對して最良の醫藥と施設とを無料で公開し以つて國民全體の健康を増進せんとするものといはれるが細目に就いては國民の希望を充分に研究して決定されることになる模様である、同案の概要次の如くである  
一、新に國民保健を掌る中央機關を設置してその機構の制度化を急速に實現する  
一、英國内に居住する醫師並に現任軍隊で服務してゐる醫師は凡て政府の提案に對して賛否の回答をなし得る、これに對する質問票の送付は英國醫師協會が行ふ  
一、白書は此の制度に於ける「三つの自由」として次の事項を上げてゐる  
一、醫療は如何なる處置を加へても凡て無料である  
一、患者は醫師を選択する自由を有する  
一、醫師はその治療法に就ては自己の見解を以つてこれを行ひ、他から拘束を受けない  
一、醫師は適正でなる収入が保障される  
一、英國内の各地域に完全な設備を有する病院を設置し且つ中央から夫々各科適當の専門家を派遣してその施設を觀察し常に最新の醫學と接觸を保たしめる  
一、將來は各個人毎にその健康について忠告を與へ國民全般の健康を向上せしめる  
一、同案實施に要する費用として約一億四千八百萬磅の巨額が見積られるが、その財源は租税と寄附に依ることとする  
大體以上の如きものであるが白書は

## 檢閱陣強化

【リスボン十五日發】 ロンドン來電 英國政府は十七日白書を以つて英國内の醫師、看護婦、藥劑師、病院施設等の國家徵用を目的とする劃期的な「國民保健制度」の概要を發表、國民は同案を自由に討論して同案の急速なる具體化に協力するやう要望した、この「國民保健制度案」の意圖するところは全

【リスボン四日發】 ロンドン來電 英國國民に對して最良の醫藥と施設とを無料で公開し以つて國民全體の健康を増進せんとするものといはれるが細目に就いては國民の希望を充分に研究して決定されることになる模様である、同案の概要次の如くである  
一、新に國民保健を掌る中央機關を設置してその機構の制度化を急速に實現する  
一、英國内に居住する醫師並に現任軍隊で服務してゐる醫師は凡て政府の提案に對して賛否の回答をなし得る、これに對する質問票の送付は英國醫師協會が行ふ  
一、白書は此の制度に於ける「三つの自由」として次の事項を上げてゐる  
一、醫療は如何なる處置を加へても凡て無料である  
一、患者は醫師を選択する自由を有する  
一、醫師はその治療法に就ては自己の見解を以つてこれを行ひ、他から拘束を受けない  
一、醫師は適正でなる収入が保障される  
一、英國内の各地域に完全な設備を有する病院を設置し且つ中央から夫々各科適當の専門家を派遣してその施設を觀察し常に最新の醫學と接觸を保たしめる  
一、將來は各個人毎にその健康について忠告を與へ國民全般の健康を向上せしめる  
一、同案實施に要する費用として約一億四千八百萬磅の巨額が見積られるが、その財源は租税と寄附に依ることとする  
大體以上の如きものであるが白書は

## 金城湯池で保守黨不和

【リスボン四日發】 ロンドン來電 英國國民に對して最良の醫藥と施設とを無料で公開し以つて國民全體の健康を増進せんとするものといはれるが細目に就いては國民の希望を充分に研究して決定されることになる模様である、同案の概要次の如くである  
一、新に國民保健を掌る中央機關を設置してその機構の制度化を急速に實現する  
一、英國内に居住する醫師並に現任軍隊で服務してゐる醫師は凡て政府の提案に對して賛否の回答をなし得る、これに對する質問票の送付は英國醫師協會が行ふ  
一、白書は此の制度に於ける「三つの自由」として次の事項を上げてゐる  
一、醫療は如何なる處置を加へても凡て無料である  
一、患者は醫師を選択する自由を有する  
一、醫師はその治療法に就ては自己の見解を以つてこれを行ひ、他から拘束を受けない  
一、醫師は適正でなる収入が保障される  
一、英國内の各地域に完全な設備を有する病院を設置し且つ中央から夫々各科適當の専門家を派遣してその施設を觀察し常に最新の醫學と接觸を保たしめる  
一、將來は各個人毎にその健康について忠告を與へ國民全般の健康を向上せしめる  
一、同案實施に要する費用として約一億四千八百萬磅の巨額が見積られるが、その財源は租税と寄附に依ることとする  
大體以上の如きものであるが白書は



更に國民保健の問題は單に醫療制度  
のびでなく住宅衛生、學校、工場施  
設、食糧問題等をも包含するもので  
あると述べてゐる

### 流感の重患二百萬

【リスボン十九日發】 ロンドン來電  
「英紙「ニューズ・クロニクル」は  
十九日附の紙上において英國内の流  
行性感冒罹患者数を次の通り發表し  
てゐる

### モスクワ、ロンドン間國際 電話

一九四三年十一月から一九四四年一  
月までの三ヶ月間における流行性感  
冒の患者は全部で八百萬に達したが  
内二百萬は肺炎、氣管支炎等を併發  
した重患である、以上の數は英國人  
四人につき一人が罹患したことにな  
る

### 瑞政府に陳謝

【ストックホルム二日發】  
ロンドン來電「英軍爆撃機  
隊は去る一月六日スウェーデン南部の  
領空侵犯したがスウェーデン政府の抗  
議に對し、二日英國政府は陳謝した

### ペ劑をソ聯に紹介

【ストックホルム二日發】 一月十九  
日附ロンドン・タイムズ紙は次の通  
り報じてゐる  
ペニシリン劑の完成者として著名な  
フローリー教授はその藥劑の用法を  
ソ聯醫學界に紹介するためモスクワ  
に向け出發した、フローリー教授は  
最近中東方面に出張し戦傷患者にペ  
ニシリンを使用した場合の效能を陸  
軍省に報告した

### 佛傀儡政権との協定成立

【リスボン八日發】 ロンドン來電

藏相サー・ジョン・アンダーソンは  
八日下院で英國政府とフランス解放  
委員会との間に次の取極めが成立し  
た旨發表した  
一、爲替相場を英貨一磅に對しフラ  
ンス貨二〇〇法と定め、フランス解  
放委員会治下の全地域に於て直ちに  
實施する、兩國は共同戦争遂行の爲  
め互に無償で器材を供給し合ふ

### 新型ハリファツクス重爆

【リスボン廿二日發】 ロンドン來電  
「英紙タイムズは十七日の紙上で次  
の如く報道してゐる  
ハンドレイ・ペーデ・ハリファツク  
ス重爆撃機の改良新三型が現在ドイ  
ツに對する夜間爆撃に参加してゐる  
舊型の翼幅九十九呎に比し新型は百  
四呎になつてをり、此のために上昇  
限界が高くなつた、發動機も舊型よ  
り強力となり、プリストル・ハーキ  
ューズ星型發動機四基で各計約七千  
馬力の出力を有する、従つて離陸、  
上昇能力及び限界、巡航速度等が改  
善されてゐる、ハリファツクス三型  
の垂直安定板、方向舵も改造され武  
装は〇三・〇三吋機關銃が機首に一  
挺、上部砲塔に四挺、後尾に四挺裝  
備されてゐる

陸軍省は十四日附を以つて左の人  
事異動を發令した  
ロンドン地區防衛司令官  
陸軍中將 アーサー・スミス  
任イラン及びイラク駐屯第十軍司令  
官

第一軍司令官  
陸軍中將 ケネス・アンダーソン  
任東部軍司令官  
陸軍中將 ウイリアム・モルガン  
任南部軍司令官  
南部軍司令官  
陸軍中將 ヘンリー・ロイド  
任ロンドン地區防衛司令官

### 英國々債額

【リスボン二日發】 ロンド  
ン來電「ファイナンシャル  
・タイムズ紙によれば藏相  
サージョン・アンダーソンは去る一  
月十九日下院に對し英國の國債總額  
を報告したが、それによると一九三  
八年度には八十億二千六百萬磅であ  
つたが、一九四三年十二月三十一  
日には約百九十二億三千七百萬磅  
増加、そのうち四十九億四千七百萬  
磅は破期債である

### 貨物積換航海の海保料率 引下げ

【ストックホルム七日發】 ロンドン  
來電「ロンドン海上保險業者協會は  
今回無制限貨物積換へおよび郵便物  
郵送にたいして從來の海保料率を  
半減することになつた、今回の措置  
は二月七戦より發効するが、その内  
容はつぎの通りである(括弧内は舊  
料率)  
一、西半球水域内における無制限貨  
物積換をおこなふ場合の航海には海  
保料率を四分一(半%)、その他水  
域においては半(一%)  
一、西半球水域内における普通郵便物  
にたいしては四分一(半%)、その  
他水域では半(一%)  
一、晝留・保證郵便物にたいしては  
西半球水域内で八分一(四分一%)  
その他水域では四分一(半%)

### カナダ産ペーコン輸入削減

【リスボン二十日發】 ロンドン來電  
「エコノミスト誌所報によればカナ  
ダの對英ペーコン輸出割當量はこの  
程從來の三分の二に削減され、この

【ストックホルム十日發】 ロンドン  
來電「政府はイラン、ペルー、メキ  
シコの各公使館を大使館に昇格する  
ことに決定、イラン大使としてブラ  
イドを新任すると共に現メキシコ駐  
劄公使ベートマン及び現ペルー駐劄  
公使フオプスに對し夫々大使の地位  
を與へた

### 三公使館を昇格

### マクノートン中將 辭任歸國

【リスボン三日發】 ロンド  
ン來電「陸軍省當局は前カナダ軍司  
令官陸軍中將アレクサ・マクノ  
ートンが健康勝れず辭任した上、最  
近本國に歸還した旨發表した

### イラン、イラク駐屯軍司令 任命

【リスボン六日發】 ロンドン來電に  
よれば英國首相チャーチルの息子大佐  
ランドルフ・チャーチルは舊ユーゴ  
イスラヴイヤ領内で蠢動を續けてお  
るバルチザン部隊チトー軍司令官部附  
を命ぜられ、一月月上旬落下傘で舊ユ  
ーゴ領に到着したと云はれる

### 陸軍人事異動

【リスボン十五日發】 ロン  
ドン來電「英國海軍省は十五日スペ  
イン、フランス兩國海岸一帯七千萬  
哩に亘つて機雷を敷設したと發表し  
た

### 西、佛海岸に機雷を 敷設

【リスボン十五日發】 ロン  
ドン來電「英國海軍省は十五日スペ  
イン、フランス兩國海岸一帯七千萬  
哩に亘つて機雷を敷設したと發表し  
た

### 陸軍人事異動

【リスボン十八日發】 ロンドン來電

結果イギリスではベーコン配給割當量を引下げるの餘儀なきにいたつたといはれる

### コークスに配給制實施

【リスボン二十七日發】 ロンドン來電 燃料日は来る三月一日からコークスの配給制を實施併、せて石炭の配給も相當程度減少する旨二十七日發表した、コークスの配給制は今回初めてで英國國民に異常な不安を與へてゐる

### 炭坑罷業

【ストツクホルム廿六日發】 英國内には過般來炭坑罷業が續發してゐるがロンドン來電によればデューナム東部の三炭坑で炭坑夫五千名が賃銀の引上げを要求して罷業を開始したといはれる

### 勞働罷業近況

【リスボン三日發】 ロンドン來電 事業省の最近の報告によれば昨年十二月中英國で勃發した勞働争議は、前月十一月中の二百一件に比較し百二十八件に減少したが罷業参加人員數は二萬一千人、これにより十三萬一千日に達する勞働日が失はれたと推定される

### 工業生産局新設

【リスボン二日發】 オツワ來電 政府は今回戦時下における勞働争議を防止し軍需生産の支障なき進行を期するため「工業生産局」を新設した新局は政府の生産關係各機關代表をもつて構成され更にその諮問機關として勞資代表からなる委員が附屬してゐるが、同局は直接の目的として各軍需工業に勞資委員會の結成を奨励する筈である、因みにカナダの勞働組合は開戦以來著しくその勢力を増大しつつあり、今年末までには組合加盟勞働者數は七十萬に達することが豫想されてゐる



【リスボン二日發】 近着のロンドン・タイムズ紙オツワ特電によればカナダ政府は最近アラスカ公路並びにカナダ西北地區における防備開發状況に關する廣汎な報告を發表した

【リスボン二日發】 オツワ來電 政府は今回戦時下における勞働争議を防止し軍需生産の支障なき進行を期するため「工業生産局」を新設した新局は政府の生産關係各機關代表をもつて構成され更にその諮問機關として勞資代表からなる委員が附屬してゐるが、同局は直接の目的として各軍需工業に勞資委員會の結成を奨励する筈である、因みにカナダの勞働組合は開戦以來著しくその勢力を増大しつつあり、今年末までには組合加盟勞働者數は七十萬に達することが豫想されてゐる

【リスボン九日發】 オツワ來電 モントルール在住の辯護士で前自由黨員マクシム・レイモンドの提唱で今回「プロツク・ホビレール」と稱する野黨が組織されたが、新黨は反共産主義を黨是としてレイモンドは黨の組織に當り次の如く述べてゐるカナダが受け持つ戰時財政の負擔は今やカナダの國力にとつて過重となつた、カナダは速に戰爭の渦中から脱退すべきである

### 新野黨結成

### 米墨開發協定締結

【リスボン四日發】 ワシントン來電 米國、メキシコ兩國政府は四日メキシコのリオ・グランデ州に工場、貯藏設備、排水、灌漑設備等を建設する協定を締結した、協定は更に同地帯に水力發電設備の建設を調査するため兩國代表委員會の組織をも規定してゐるが、協定は兩國の批准を待つて發効することとなつた

一九四五年六月末迄である

### 米キューバと酒精供給協定締結

【リスボン二十二日發】 ワシントン來電 米國、キューバとの間に今回アメリカの工業用アルコール不足を緩和するためアメリカ供給に關する協定が成立したといはれる、右協定にもとづいてキューバは本年におけるラムおよびジンアメリカ向輸出量を昨年と同様一千四百三十萬ブール・ギャロン（一ブール・ギャロンは約半量が酒精である）と定められてゐる、もつとも實際問題として現在の對米供給は増大の傾向にあり、これが本年末期においても續くものとすれば本年中の輸出量は右標準輸出量を突破するものとみ

### 西北開發に大章

【リスボン四日發】 近着のロンドン・タイムズ紙オツワ特電によればカナダ政府は最近アラスカ公路並びにカナダ西北地區における防備開發状況に關する廣汎な報告を發表した

【リスボン四日發】 近着のロンドン・タイムズ紙オツワ特電によればカナダ政府は最近アラスカ公路並びにカナダ西北地區における防備開發状況に關する廣汎な報告を發表した

【リスボン四日發】 近着のロンドン・タイムズ紙オツワ特電によればカナダ政府は最近アラスカ公路並びにカナダ西北地區における防備開發状況に關する廣汎な報告を發表した

【リスボン九日發】 オツワ來電 モントルール在住の辯護士で前自由黨員マクシム・レイモンドの提唱で今回「プロツク・ホビレール」と稱する野黨が組織されたが、新黨は反共産主義を黨是としてレイモンドは黨の組織に當り次の如く述べてゐるカナダが受け持つ戰時財政の負擔は今やカナダの國力にとつて過重となつた、カナダは速に戰爭の渦中から脱退すべきである

### 加、濠兩國間の軍事委員會

【リスボン十八日發】 ワシントン來電 米國並びにドミニカ共和國政府はドミニカ政府が同國の重要食糧品數種の全餘剩生産額を米國に輸出する通商協定を締結した旨十七日共同發表を行つた、同協定の有効期間は

【リスボン十八日發】 ワシントン來電 米國並びにドミニカ共和國政府はドミニカ政府が同國の重要食糧品數種の全餘剩生産額を米國に輸出する通商協定を締結した旨十七日共同發表を行つた、同協定の有効期間は

【リスボン十八日發】 ワシントン來電 米國並びにドミニカ共和國政府はドミニカ政府が同國の重要食糧品數種の全餘剩生産額を米國に輸出する通商協定を締結した旨十七日共同發表を行つた、同協定の有効期間は

【リスボン十八日發】 ワシントン來電 米國並びにドミニカ共和國政府はドミニカ政府が同國の重要食糧品數種の全餘剩生産額を米國に輸出する通商協定を締結した旨十七日共同發表を行つた、同協定の有効期間は

【リスボン廿二日發】 オツワ來電 國防省は廿二日濠洲軍司令部との間に太平洋戰線に軍事委員會を派遣するための協定が成立した旨同日發表したが、右委員會は多數の陸海軍

將校及び軍事専門家より成り太平洋  
における日本軍との戦闘につき各種  
戦法を研究する豫定である。

### 重慶駐加公使昇格

【リスボン十日發】重慶來電 重慶  
政權はカナダ駐劄重慶公使鄧師舜を  
今回カナダ駐劄初代重慶大使に任命  
した旨十日發表した

### 英多量の船舶を要求

【リスボン廿三日發】 オツタワ來電  
軍需供給相クレアレンス・ハウは  
廿三日下院に於て來るべき三、四ヶ  
月の間に大作戦を敢行するため、英  
本國から多量の船舶を急速に供給す  
る様要請して來たのに鑑み、カナダ  
政廳は過去三週間に四千七百トンの  
船舶を英本國に引渡した旨報告した



## 政 治

### 議 會

#### 將兵投票案成立

下院では否決【リスボン四  
日發】ワシントン來電 問  
題の米國將兵投票案をめぐる議會  
對政府の抗争は大統領ルーズヴェル  
トが過般議會に對して強硬な特別教  
書を送つて以來一段と激化してゐた  
が下院は四日に至り三百二十八票對  
六十九票の壓倒的多數をもつて政府  
の提案を全面的に否決直ちにこれを

上院に回附した、當日の下院には政  
府と議會との最後の妥協を策するた  
め民主黨議員ウオレイから下院案と  
政府案とを折衷した提案が行はれた  
が下院は先づこれを百五十三票對百  
二十六票をもつて否決、續いて下院  
案の本採決に入るやルーズヴェルト  
がさきの特別教書で「政府案に反對  
する如き議員はその名前を一般に明  
らかにすべきである」と述べたこと  
に對して明らかに挑戰的態度を示し  
採決には特に指名投票がとられるな  
ど下院の空氣はルーズヴェルトに對  
する極度の敵意で支配される有様だ  
つた

上院對政府辛勝【リスボン八日發】  
ワシントン來電 米國將兵投票法案  
をめぐる政府討論會の抗争は下院に  
おいて政府案が全面的に敗れた結果  
上院の態度が注目されてゐたが、上  
院は八日の本會議で政府案を若干改  
變した修正案を四十六票對四十票の  
きわどい所で可決、上院では政府側  
が辛勝した、但し下院は政府案には  
全面的に反對なので上下兩院協議會  
は相當の紛糾される

#### 妥協案成立

【リスボン廿九日發】ワ  
シントン來電 出征將兵投票法案を  
めぐつては下院が政府案を全面的に  
否決したのに對し、上院が政府の要  
求を織りこんだ妥協案を可決したた  
め過去二週間以上にわたり、兩院協  
議會で交渉が續けられてゐたが、廿  
九日に至り兩院の妥協案が成立した  
その内容次の通り

一、各州知事が州の法律に基き聯邦  
政府の選舉介入を認めた場合に限り政  
府は將兵に對し全國一律の不在投票  
規定を適用し得る  
一將兵有権者は出身州の投票規定に

基く投票權の行使が不可能な場合に  
限り聯邦政府の投票規定による投票  
をなし得る  
即ち文字通り州權と聯邦權との妥協  
案だが南部民主黨院團を主流とす  
る州權主張派はこの妥協案にすら反  
對を表明「鬭争はまだ始まつたばか  
りだ」と飽くまで政府に桶つぐ氣勢  
を示してゐる

### 將兵手當法案成立

【リスボン四日發】ワシントン來電  
「歸還將兵に對する手當支給法案は  
過般上、下兩院を通過してホワイト  
ハウスに回附されてゐたが大統領ル  
ーズヴェルトは四日同法案に署名を  
了した、ルーズヴェルトは法案署名  
に當り要旨左の聲明を發して將兵の  
御機嫌とりに行つた

出征將兵勞苦に報ゆる本法案の成立  
は勿論嬉ばしきことであるが、われ  
われはこれだけで満足すべきでない  
即ち歸還將兵が軍隊生活から再び普  
通の生活に移る期間における彼等に  
對する保護措置、將兵が平和職業に  
つく場合の職業斡旋或ひは失業手當  
等の諸措置をも今から準備しておく  
必要があらう

### 元帥設置法案

【リスボン四日發】ワシントン來電  
上下兩院陸海軍委員は四日議會に  
陸海軍元帥任命法案を提出したは元  
帥の階級があるのに對し米國の最高  
階級は大將であるため從來米英合同  
軍事會議の際などにその席順で問題  
を起したとあり、これを除去せん  
とするにあるが、法案は陸軍では參  
謀總長マーシャル、航空本部長アー

ノルド、海軍では作戰部長兼聯合艦  
隊司令長官キング、大統領附參謀  
長リーの四名を戰爭中元帥に任命  
することを現定してゐる

### 重慶に申譯ばかりの移民割

【リスボン八日發】ワシントン來電  
によれば大統領ルーズヴェルトは八  
日布告をもつて今後の支那移民の入  
國割當を發表した、右によれば初年  
度たる本年六月廿日をもつて終る一  
九四四年度の入國許可數は百五名更  
にその後も年々百五名づつ入國を  
認めんとするもので、實質的には殆  
ど影響なき空手形法案の正體を暴露  
してゐる

### 食糧助成金案成立

上院タフト案を否決【リスボン十日  
發】食糧助成金問題は目下米國上院  
において大問題と化し、民主黨議員  
バンクヘッド等は政府の食糧助成金  
支出を禁止する法案を提出右修正案  
として民主黨議員フランシス・マロ  
ニーによつて提出された法案も九日  
否決されたつたへられる折柄、ワ  
シントン來電によれば共和黨議員ロ  
バート・タフトは新に一九四四年度  
の政府食糧助成金總額を九億五千萬  
弗に制限しやうとする法案を提出し  
たが、上院は十日タフト案をも否決  
したといはれる

上院助成禁止法案可決【リスボン十  
日發】ワシントン來電 食糧助成  
金問題を繞る米國議會と政府との對  
立は、今期議會における最大の政治  
問題として注目されてゐたが、上院  
は十一日に至り政府再三の要求を無  
視して四十三票對二十八票をもつて

政府の助成金支出を一切禁止する法  
案を可決した  
大統領署名【リスボン廿九日發】ワ  
シントン來電 大統領ルーズヴェル  
トは廿九日に上下兩院を通過して白  
聖館に廻附された問題の食糧助成金  
法案に署名同法はここに成立した、  
助成金法案はさきに議會が可決した  
助成金使用を禁止した法案にあひ議會  
が大統領の拒否權發動にあひ議會  
はこれを乗り切るこが出来ず、遂  
に政府の要求通りの法案が成立した  
もので、その内容は食糧助成金政策  
の實行機關たる商品金融會社の營業  
期限を一九四五年六月廿日まで延長  
し、その間政府は從來通りの助成金  
政策を續行し得ることを認めてゐる

### 上院太平洋岸施設設置費追加 豫算可決

【リスボン十五日發】ワシントン來  
電 上院は十五日總額一億三千萬弗  
の海軍追加豫算案を可決した、右は  
主として太平洋岸における海軍諸施  
設改善費である

### 下院委員會國務省豫算削減

【リスボン十六日發】ワシントン來  
電 下院歳出委員會は十六日、明年  
度の國務、司法、商務三省豫算案總  
額二億三千三百三十萬四千弗を可決し  
た右は大統領豫算案の要求額より  
五百九十八萬七千七百少費が、最大  
の削減を受けたのは國務省豫算で、  
これは三百三十一萬八千弗の削減を  
受け、總額四千四百二十三萬四千弗  
となつた

### 上院救濟復興支出案可決

【リスボン十七日發】ワシントン來

【リスボン十七日發】ワシントン來

電 上院は十七日反樞軸戦後救済復興委員會對する十三億五千萬弗の支出案を可決、下院に回附した、上院は右案につき前後二日に亘つて討議を続け、一九四六年六月三十日を以て支出完了期限とする旨の條件を附した上、四十七票對十四票を以て同案を採擇した

### 増稅案拒否教書要旨

【リスボン廿二日發】ワシントン來電 大統領ルーズヴェルトは廿二日増稅法案に拒否権を發動、拒否の理由を説明した教書と共にこれを議會に再廻附したが、右教書の要旨左の通り

余はこの増稅案に承認を與へずしてこれを議會に返還する、余は戦争の最中においてたとへ公益のためといへかかる措置に出なければならぬことを遺憾とする、遙か以前、余は國家の財政状態を仔細に検討した後議會に對して百五億弗の稅收増加を目標とする法律の制定を要請した、其後財政専門家の内にはこの百五億弗増稅案さへ國家の現状に照し少額に過ぎるとの意見を吐く者さへあつた位である、然るに今回余の下に廻付された増稅案は廿億弗程度の稅收増加を企圖してゐるに過ぎない、否現實にはこの増稅案によつて財務省が確保し得る歳入額は十億にも達しないだらう、即ち増稅法案は廿一億弗の稅收増加を規定してゐるがその半面では社會保險稅の自動的増加額十一億弗を取去らんとしてゐる、これに加へて増稅案は現行稅制に改訂を加へると一億五千萬弗の減稅をかかると見地からする時はこの法案は

増稅案ではなく減稅案とも稱し得るだらう、しかもこの減稅は現實に減稅を必要とする階級には與へられず私利私慾にふける者に減稅の特典が惠まれないとしてゐる、更に今回の増稅案の内には特權階級に特別の恩惠を與へる多くの規定並に將來に對して危険な前例を残す數々の規定を含んでゐる、議會は現在迄既に増稅案の審議に多大の日數を要した、余は議會が稅法の簡易化を計ると共に増稅の目的に叶ふ如き新増稅案を大至急制定せんことを要望する、議會の責任は政府に對して戰時に必要な歳入を確保し經濟安定工作に財政的支持を與へ特權階級の活動を抑へ同時に數百萬に達する少額納稅者に對し眞に簡易な稅法を制定するにあけ早く勝利の日を迎へんが爲に議會が最近の機會に適當な措置を講ずる様を要望する

### 兩院大統領拒否乗切り

【リスボン廿四日發】ワシントン來電 下院は廿四日二百九十九票對九十五票をもつて増稅法案に對する大統領ルーズヴェルトの拒否を乗切つた

【リスボン廿五日發】ワシントン來電 上院は廿五日七十二票對十四票の壓倒的多數をもつて増稅案に對する大統領の拒否を乗切つた、下院は既に廿四日拒否乗切りの表決を行つてをり、これによりルーズヴェルトの強硬な反對にも拘らず二十三億一千五百万弗の増稅法案は正式に成立した

### 新増稅案の内容

【リスボン二十六日發】アメリカ上院は二十五日二十三億一千五百万弗の増稅案に對する大統領の拒否を乗り切り、新増稅案はここに成立をみることになつたが、その主要内容はつぎの通りである

- 一、一九四四年度の、個人所得稅増徴、賃金・俸給所得に對する特別控除および消費稅支拂額の控除廢止を中心とする
- 二、超過利潤稅の増徴に重きをおいた會社稅の増徴
- 三、入場料・鐵道切符・キャバレーの遊興費、飲酒など享樂贅澤項目に對する消費稅率引上げ
- 四、郵便料金の引上げ、内國郵稅は一オンスまで二仙から三仙へ、航空郵便料金は同じく六仙から八仙に引上げられた
- 五、社會保障稅は一九四四年末までこの内一番最初に實施されるのは郵便料金の引上げで、これは法案成立三十日後から實施される、消費稅率の引上げは四月一日から實施されるが、これにより酒類の稅率は一ガロン六弗から九弗にはね上り、他の商品・サービスについても廣汎な消費稅率の引上げが行はれる、なほ個人所得稅増徴にあつては三月十五日までに申告を要する一九四三年度所得は何等關係がなく、一九四四年度所得について六億六千四百九十萬弗の増收を企圖してゐる、個人所得稅率は全般的に引上げられず新規増徴は賃金俸給所得特別控除、および消費稅支拂額の控除廢止によるものである、會社超利潤稅は九〇%から九五%に引上げられ、郵便料金は市内の宛名の手紙が三仙となつた、もつとも市外のものについては三仙に据置きである

### 下院市民權放棄法案可決

【リスボン廿三日發】ワシントン來電 下院は廿三日「米國に生れた米國市民にして米國國籍を離脱せんと欲するものは戰時中に限り檢事總長の承認を経て市民權を正式に放棄し得る」との法案を可決した、法案には特別に日系市民なる言葉は使用されておないが法案の目標が日系第二世におかれゐることは明らかとされ即ちこの法案に依つて米國は正式に米國市民權を有する日本人から形式的には飽く迄自發的との建前で事實上は強制的に市民權を剝奪せんとする日本人虐待法案と見られる

### 民主黨上院々内總務辭職

【リスボン廿三日發】ワシントン來電 上院民主黨院內總務アルペン・パークレーは廿三日院內總務の職を廿四日限りをもつて辭職する旨發表した、辭職の理由は大統領ルーズヴェルトが議會を通過した増稅案を拒否した爲であるが、パークレーはルーズヴェルトが大統領就任以來民主黨のうちでも特に親しき有力者として大統領に犬馬の勞を盡して來ただけに今回の辭職は米國政界に重大な反響をひき起してゐる

### 上院商品金融會社延長法案可決

【リスボン廿三日發】ワシントン來電 食糧助成金禁止法案はルーズヴェルトの拒否權發動により消滅したが上院本會議は二十三日助成金禁止法案の重大項目をなしてゐた商品金融會社の營業期限を一九四五年六月三十日迄延長することしこれを下院に廻附した

### パークレー再選さる

【リスボン廿四日發】ワシントン來電 上院民主黨院內總務パークレーは大統領ルーズヴェルトの増稅法案拒否に憤慨して廿四日開催された民主黨上院議員委員會に正式に辭表を提出したが、委員會は辭表を一旦受理した後改めてパークレーを院內總務に再選、パークレーもこれを受諾した

### 大統領善隣政策の擴張を要請

【リスボン廿九日發】ワシントン來電 大統領ルーズヴェルトは廿九日議會に對して教書四通を送り國務省關係三法案、徴兵検査關係一法案の内容を要求したが、うち二法案の内容左の通り

一、善隣政策擴張法案 米國議會は一九三九年八月米洲諸國に對する所謂「大統領選」

【リスボン六日發】 ニューヨーク來電 インター・ナショナル通信社の報道によれば、元陸軍長官パーリー・ウドリ

### 四選反對委員會結成

ングを委員長、元國務長官ロバート・ブライアンを幹事長とするルーズヴェルトの四選反對委員會が組織されたと傳へられる

大統領四選反對運動

〔リスボン廿四日發〕 ニューヨーク來電 大統領ルーズヴェルトの下に會て陸軍長官をつとめたハリ・ウッドリングは今では民主黨内における完全なルーズヴェルトの反對派となつてゐるが、ルーズヴェルトの四期出馬を阻止するため全米にわたり猛烈な運動を展開することとなり、廿四日その計畫を次の如く發表した我々の仲間はルーズヴェルトの四選を妨害するため全米の各州に運動團體を組織する計畫であり、これが運動資金として百五十萬弗を持つてゐる、民主黨がルーズヴェルトを次期大統領候補に指名し、又共和黨も我々の支持し得ない候補に指名するならば我々のとるべき策は第三黨の組織より他なからう、我々は共和黨を支持するものではないが、最大の目的とするルーズヴェルトの四選阻止を實現するためには共和黨との妥協もやむを得ない

マツカーサー推薦さる

〔リスボン八日發〕 ワシントン來電

西南太平洋反艦艇司令官マツカーサーの名前は本年秋の米國大統領選挙に對し屢々共和黨候補としてあげられてゐるがイリノイ州の共和黨豫備選挙にはじめて候補者の一人としてその名前が掲げられた、但しマツカーサーがこれに同意を與へてゐるかは未だに不明である

對關外 西亞油田支配へ第一歩

〔リスボン六日發〕 ワシントン來電 米國內務長官兼石油貯藏會社總裁イッキキスは六日米政府と在アラビア米系二石油會社との間にアラビア石油開發に關する協定を締結した旨發表した、右協定の趣旨は一、資金一億三千萬ドルで、アラビア油田地帯より地中海沿岸にいたるパイプ・ラインの建設  
二、米國陸海軍用に恒久的に百萬バレルの石油貯藏をはかること  
等であるが、右協定はサウジ・アラビア國王およびその他關係國當局の認可をまつて發効することになつてゐる

對重慶救済を宣傳

〔リスボン八日發〕 ニューヨーク來電によれば、重慶救済會會長ジェームス・マツコノイは八日一九四三年中に米國は重慶に對し總額八百六十萬二千弗の救恤品を送つた旨發表し、これは一九四二年に比し三百五十萬弗、一九四一年に比すれば五百萬弗も増加したといかにも米國の重慶救済工作が進展してゐるかに宣傳した

芬に戦線離脱を要求

〔リスボン八日發〕 ワシントン來電

によれば國務長官ハルは八日の新聞記者會見で次の如く言明した  
米國政府は最近その外交代表を通じフィンランドに對し直ちに戦線を離脱するやう要求した、米國政府はフィンランドが米國の同盟國たるソ聯及び英國等と交戦状態にあることを指摘し、同國が米國の要請を容れず依然ドイツ側に立つて抗戦を繼續する場合樞軸側は容赦なく外交的には勿論軍事的壓迫をも加ふべく、その責任はフィンランドが負ふべきであるとの警告を發した

イランに大使館設置

〔リスボン十日發〕 ワシントン來電によれば國務省は十日「米國、イラン兩國の關係緊密化に伴ひ」テヘランの米國公使館を昇格して大使館とする旨發表した、イラン政府も同様駐米公使館を大使館に昇格する筈である、開戦以來米國の西亞方面に對する關心は著しく増大、米帝國主義の魔手は西亞各國に急速にその勢力を張りめぐらしてゐるか、今回の大使館設置もこの工作の一翼と見られる、その他米國は送油管建設に伴ひ、サウヂ・アラビアに對しては活潑な勢力扶植工作を展開し、米國系石油會社は同國內に學校、病院を建設、更に灌漑事業にも着手する計畫といはれる

スターリンに戦時債券贈與

〔リスボン九日發〕 ニューヨーク(マサチューセツツ州)來電 米國政府は目下第四回目の戦債賣出のを行つてゐるが、ニュート市は九日スターリン議長に對し總額一千六百七

ド・ゴール派に驅逐艦護渡

〔リスボン十二日發〕 ワシントン來電 政府はド・ゴール政権に對し十二日護送用驅逐艦セネガリイブを護渡したから護渡式に當り大統領ルーズヴェルトはワシントンから演説を行ひ、フランス傀儡政權の對獨交戦をおだて上げ米國は今後も傀儡政權に對し武器貸與援助を積極化するであらうと述べた

對日通牒内容發表

〔リスボン十一日發〕 ワシントン來電によれば米國務省は十一日停滯待選問題に關する二通の對日通牒内容を發表したといはれる、通牒はいづれも去る一月二十七日附で日本における米國の利益代表國たるスイス政府を通じて日本に發送されたものだ、その内容は過般の米國政府のデマ發表と同様、日本軍の停滯並に米國民收容者に對する「不法待遇」なる虚構の事實を並べて、日本政府に對してその待遇改善を要求してゐる

對西石油禁輸延期

〔ストツクホルム十七日發〕 スウェーデンスカダグブラド紙の報道によれば米國政府はスペイン向け石油の輸出禁止を更に一ヶ月延期したと傳へられる

駐米、亞大使着任

〔リスボン十五日發〕 ワシントン來電 米國駐劄新アルゼンチン大使アドリアン・ニコバルは十五日大

統領ルーズヴェルトに對して信任狀を提出した

萬國赤十字社に病院船

〔リスボン十九日發〕 ワシントン來電 米國赤十字協會は十九日さきに買収したデンマーク貨物船一隻を萬國赤十字社に引渡したが、同船はスイス國旗を掲揚し世界各國の救済事業に當る豫定といはれる

スターリン議長大統領に親書

〔リスボン廿二日發〕 ワシントン來電 大統領ルーズヴェルトは廿二日の新聞記者會見で最近スターリン議長から親書を接受したと發表した、但しその内容については言明の限りでないといはれる

エチフト公使抗議を提出

〔リスボン廿九日發〕 ワシントン來電 エチフト公使モハメット・ハサンは廿九日國務省を訪問しパンスタナ地方にユダヤ政府を建設しようとする上院議員エマヌエルの法案にエチフト政府としては絶対反對なる旨の抗議を提出した、右抗議に對しハルは回答を以て發解したいと傳へられるが、解解の内容は未だ發表されるに至らず今後更に交渉が繼續される見込である

人事

農務次官任命 〔リスボン三日發〕 ワシントン來電 大統領ルーズヴェルトは三日農務次官ポール・アツブルビーを白聖館豫算局長に任命、後任にクローウア・ヒルを再度任命した  
國務省次官補増員 〔リスボン九日發〕 ワシントン來電 國務長官ハルは九

日の新聞記者團會見で、國務省最近の事務繁忙に鑑み、國務次官補を二乃至三名増員することとなつたと發表した、新次官補の名前は所要手續が完了してから發表される筈である。

### 反樞軸國向食糧供給高

【リスボン三日發】ワシントン來電 昨年十一月間にアメリカが武器貸與計畫に基き反樞軸國に供給した食糧は累計五百二十萬トンに達した、なほ十一月中のこの種供給高は五十萬トンであつた。

### ソ聯への武器貸與狀況

【リスボン廿七日發】ワシントン來電 外國經濟院レオ・クロリーは廿六日最近の對ソ援助狀況につき報告を行つたが、その要旨はつぎの通りである。

### 昨年中の武器貸與食糧輸出

【リスボン廿七日發】ワシントン來電 戰時食糧貸與表によれば一九四三年中の武器貸與輸出は合計百四十萬噸、陸軍航空本部長アーノルド、大統領令をもつて「餘剩軍需工場處分局」を新設、戰時動員局長官パーインズを任命し、バーインズは更に歸還將兵局長官フランク・ハインズを職業紹介、復興關係事業擔當者に任命したがハインズの擔當すべき正式の機關も近く大統領令によつて設置される筈である、今回の措置は過渡來政府の命を受けて調査、研究に當つてゐる政府經濟最高顧問バーナー・ド・バルーチが廿日發表した廣汎な報告に基づいたものと云はれる。

### 對英食糧援助狀況

【リスボン廿九日發】ワシントン來電 外國經濟院長レオ・クロリーは廿九日米國の對英食糧補給狀況につき次の通り發表した。

### 共和黨有力議員死去

【リスボン廿五日發】ワシントン來電 共和黨上院院內總務チャールズ・マクナリーは廿五日午後フロリダ州の療養先で死去した、マクナリーは共和黨の有力上院議員として長年にわたり院內總務たり、一九四〇年の大統領選舉にはウイスキーの下に副大統領候補と

以上で前年の二倍に當つてゐる、その他米國は一九四四年一月一日までに次の如き各種兵器を供給してゐる。

### 戰時情報局内紛

【リスボン八日發】ワシントン來電 米國政府のお家たる「殿中復動」は未だあとを絶たず、今回又復動時情報局の内紛で對外宣傳部の大西洋地域部長ジョセフ・バーンズ、心理戰争部長ジェームス・スウォバグ、對外宣傳編輯委員長エド・ジョンソンなどが情報局の内紛は一時局長エルマー・デーヴイスの辭職にまで發展するのではなしかと見られてゐた。

### 大統領軍首脳と會談

【リスボン十一日發】ワシントン來電 大統領ルーズヴェルトは十一日ホワイト・ハウスに參謀總長マリーシヤル、陸軍航空本部長アーノルド、大統領領付總參謀長リイ、海軍作戰部長兼聯合艦隊司令長官キングの四名を招致會談した。

### 最大の病院船完成

【リスボン十六日發】ワシントン來電 海軍省は遊覧船「アレジデント・マデソン」號を海軍に編入、患者のこの出来る米海軍最大の病院船にする改装工事がメリーランド乾、渠會社で殆ど完成した旨十五日發表した、同船は一九二一年建造、一萬四千八百八十七噸の優秀船であつた。

### 抑留者收容所を内務省に移管

【リスボン十六日發】ワシントン來電 大統領ルーズヴェルトは十七日抑留者收容所の監督權を陸軍省から内務省に移管した、従つてツラ・レイク其他の日本人收容所も今後は内務省の管轄下に入ることとなつたわけである。

### 人口四百萬減少

【リスボン十七日發】ワシントン來電 米國における過去四年間の人口動態に關し次の通り發表された。

### 共和黨陣容整備

【リスボン廿四日發】ワシントン來電 共和黨は廿四日上院における陣容の整備を行ひ院內總務にチャール

ス・マクナリー、總務代理にウオレ  
ス・ホワイト、共和民主兩黨交渉委  
員會共和黨主席代表にアーサー・ヴ  
アンデン・パーク、同委員會書記にハ  
ランド・バートンを夫々選任した、  
同時に黨政策委員會の九名の委員  
も選出したが、かかる大々的な黨内  
陣容の刷新は一九三六年以來のこと  
であり、ヴァンデン・パークの如きは  
「明年の議會では共和黨は必ず政府  
黨となるべく今回の陣容整備はこれ  
を豫想しての準備である」と述べて  
る。

「自由民主黨」結成

【リスボン廿五日發】 ニューヨーク  
來電 大統領ルーズヴェルトの下に  
一九四〇年まで陸軍長官だった民主  
黨の有力者ハリ・ウッドリングは  
既にルーズヴェルトの四期出馬に對  
して猛烈な反對運動を展開してゐる  
が、廿五日民主黨内の反ルーズヴェ  
ルト派を糾合して、ニューヨークに  
「自由民主黨なる團體を組織した、  
同團體にはこれ亦會てルーズヴェル  
トの盟友で後、政見を異にして袂を  
別つた民主黨前全國幹事長反ジ・ム  
・アーレーの参加も期待され、これ  
がルーズヴェルト對派の加入によつ  
て有力化する時は民主黨事實上の分  
裂さへ豫想される。

日系米人、召集を拒否

【リスボン廿五日發】 ワシントン來  
電によればアイダホ州のミソカ抑  
留所に徴兵拒否の廉で最近收容され  
た三十名の日系米國民民として召集  
が彼等を「米國民民」として召集す  
ようとしたりに憤慨し即時日本に送  
還して貰ひたいと要求したといはれ

經濟

る、右に關し同抑留所宣傳係主任ジ  
ヨン・ビゲロウは次の通り述べたと  
いはれる。  
問題の日系米國人は大部分米國で生  
れ、日本で教育を受けた者達で米國  
の競争力を拒否したため抑留所に  
送られた、勿論、彼等は陸、海軍乃  
至航空隊の軍人となることは出來な  
い、之等の者は近くワシントンの軍  
務局に報告され何等かの處分が行は  
れよう

生産 合金鋼生産情況

【リスボン二日發】 ワシ  
ントン來電 戰時生産局鋼鐵  
部長ジョン・ウイシングは最近米  
の合金鋼生産額の増加を誇つて次の  
如く發表した。  
一九四二年初頭米國は極度の合金鋼  
不足に悩んだが、この不足は今や全  
く解消した、即ち米國は「合金鋼の  
戰」に勝利を収めたのであり、將來  
あらゆる需要に對して潤澤なる合金  
鋼の供給が確保されよう、現在の合  
金鋼の生産額は二年前では全く想像  
も出來なかつた程の水準にまで到達  
したが、かかる生産の増加は樞軸國  
治下以外の世界各域における生産増  
加並びに合金鋼の規格變更が大規模  
に行はれた結果である  
かくて軍需生産のみならずあらゆる  
物資の生産において合金鋼の潤澤な  
の割當が可能となつた  
米國における合金鋼の供給が相當潤  
澤になつたことは各種合金鋼の生産  
變更にも既に現はれヴァナデウム、

金屬需給情況

【リスボン十一日發】 ワシントン來  
電 戰時生産局は最近の金屬需給情  
況につき十一日次の如く言明した。  
米國は從來鋼鐵、アルミニウム、銅  
の三金屬が最大の不足物資とされて  
ゐたが、一九四四年には開戦以來始  
めて軍需を充分に賄ひ得るだけな  
く民需に對しても充分なる供給を確  
保し得る段階に達した、従つて乳母  
車等の如き民需品も過去二ヶ年代用  
品たる木材が用ひられてゐたものも  
本年は鋼鐵の使用が許されることと  
ならう、但し金屬類の需給状態は大  
に改善されたが、これに代り本年  
は木材、皮革、各種纖維類の深刻な  
不足が豫想されてゐる

一月中鉛需給統計

【リスボン廿一日發】 ニューヨーク  
來電 銅生産協會發表、本年一月  
中の銅需給情勢左の通り(單位トン)  
△生産 九六、〇〇四  
△國內引渡高 九二、七八一  
△月末精銅在荷 一〇一、五八六  
△國內引渡高 四一、九三三  
△月末精銅在荷 四一、九三三

昨年の瀝青炭生産高新記録

【リスボン廿一日發】 ニューヨーク  
來電 瀝青炭協會發表  
によれば昨年中のアメリカ瀝青炭生  
産高は五億八千三百萬トンの新記録  
を樹し、本年の生産高はさらにこ  
れを二千萬トン上方廻るものとみら  
れる、なほ昨年中における炭坑罷業  
による瀝青炭採掘損失高は推定四千  
萬トン、また坑夫缺勤による喪失高  
は二千五百萬トンといはれる

アルミ、ゴム生産狀況

【リスボン廿六日發】 ワシントン來  
電 商務長官ジョーンズは最近アメ  
リカのアルミニウム及び人造ゴム生  
産狀況につき次の如く發表した。  
一、アメリカのアルミニウム生産能  
力は現在約二千二十億封度に達し  
た、これに加へアメリカはカナダか  
ら十三億封度のアルミニウム購入契  
約を結んでをり、このうち六億封度  
は昨年十一月までに引渡しが完了さ  
れ、殘額は月四千萬封度の割合で引  
渡されることとなつてゐるので、一  
九四五年前半には全契約が完了され  
たり、この引渡價格は一封度十五仙

一日に八千七百機生産

【リスボン三日發】 ワシントン來電  
飛行機製作委員會は三日、一月  
中の飛行機生産高を八千七百八十九機  
と發表した、十二月の八千八百二機  
に比し稍減少だが委員會はこの理由  
として一月中の飛行機生産が四發重  
爆撃機並びに長距離戦闘機に集中さ  
れた結果と稱してゐる、飛行機生産  
の内譯は第一線機が全生産額の八十  
二%、又第一線機中の八十九%が戦  
闘用飛行機である

一月中の銅需給狀況

【リスボン廿一日發】 ニューヨーク  
來電 銅生産協會發表、本年一月  
中の銅需給情勢左の通り(單位トン)  
△生産 九六、〇〇四  
△國內引渡高 九二、七八一  
△月末精銅在荷 一〇一、五八六  
△國內引渡高 四一、九三三  
△月末精銅在荷 四一、九三三

一月中軍需生産高

【リスボン廿三日發】 ワシントン來

戦時生産局長ドナルド・ネルソンは廿三日本年一月における軍需生産状況に關し次の通り發表した一九四四年一月中の軍需生産量は全般からみて一九五三年十二月に比し二%方下廻つたが、これは本年中に於ける米國軍需生産の轉換を指示してゐる、即ち昨年度の軍需生産計畫は専ら量的増大の一點張り、多量生産が第一の目的だつたが、現在では右計畫がほぼ所期の目標に達したため、最近は最も必要とされる特殊軍需品を重點的に生産するやうになつてゐる、従つて目下米軍當局が力

痛を入れてゐる上陸用舟艇の如き實に廿%の増加となつた。重貨物自動車は十二月より少い、其他の貨物自動車は十六%方増加した、其他で十二月よりも増加した軍需品の中、輕戦車は一九四三年八月以來の最高記録を示したが一方一月中に減少したものは爆彈戰闘用車輛、中戦車等がある

一月中人造ゴム生産高

【リスボン十一日發】英國紙デリー・メル七日のワシントン電によれば、米國ゴム統制局長官ブラッドリー・デューイーは、一月中に於ける米國人造ゴム生産高は約五萬噸に達したが、本年下半期には月額七萬五千噸に達することが期待される旨言明したといはれる

開戦以來の造船高

【リスボン八日發】ワシントン來電 海軍委員會發表によれば開戦以來の同國造船高はつぎの通り

【リスボン十三日發】ワシントン來電 政府發表によれば一九四一年九月廿七日以來一九四四年二月一日までの期間における米國船舶喪失数は合計六千五百一名でその内訳は次の通り

種類	噸數	隻數	重量トン數
開戦以來累計	二七五	二六	三三三
本年一月	一三	一	一〇七
計	二八八	二七	四四〇

一月中の造船内譯

【リスボン十日發】ワシントン來電 海軍委員會發表によれば一月中の造船高は一二四隻(一、二〇四、七三〇重量トン)であるが、その内譯つぎの通り

軍用特殊船舶	二三隻
自由型貨物船	七二隻
標準C一型油槽船	一一隻
戰時油槽船	三隻
沿岸油槽船	二隻
沿岸リフト曳船	四隻
合計	一二四隻

船舶喪失數

【リスボン十三日發】ワシントン來電 政府發表によれば一九四一年九月廿七日以來一九四四年二月一日までの期間における米國船舶喪失数は合計六千五百一名でその内訳は次の通り

死者	六八四
行方不明	二五二
俘虜	五六五
計	一五〇一

貨物船十隻進水

【リスボン十九日發】ワシントン來電によれば各造船所において十八、十九の兩日を通じて貨物船十隻が進水したが、その中七隻は一萬五百噸級のリパテイ型であるといはれる

新民間海運團體設立

【リスボン廿日發】ロンドン・タイムズ紙によれば最近ワシントンにおいて全米海運聯盟なる新海運業者團體が設立され、今後米國海運業者の利益を代表して活動せしめることになつたといはれる、新團體は將來米國の海運政策に關し海軍委員會、戰時海運局および其他關係政府機關の援助をうけ、企畫立案を行ふことになつてゐる、新任新團體理事長にアルモン・ローズが就任した

自由型船舶の造船費

【ストックホルム廿六日發】ニューヨーク來電 海軍委員會は最近ニューヨークのデルタ造船會社にたいし一億六千五百萬弗をもつて自由型船九十二隻の建造を發注したが右は一隻あたり約百八十萬弗、一D Wトンあたり百六十萬弗餘となることとせられる

工業事故激増

【ストックホルム三日發】ワシントン來電 三日發表された米國工業事故統計によると一九四三年中の米國における工業事故死傷者数は死亡者七萬四千名(内四萬一千五百名は就業者中即死)、負傷者九百七十萬名といふ驚くべき數字を示した、かかる夥しい事故数は主として不熟練労働者の激増及び労働強化による労働者の過勞によるものとされてゐる

軍需労働者住宅建設數

【リスボン八日發】ワシントン來電 全國住宅局長官ジョン・ブランドフォードは、戦争以來軍需工業労働者のため新設乃至建替へした住宅總數が約百五十萬戸に達した旨發表した、目下の計畫ではさらに三十萬戸の建設豫定であると附言しさらにつぎのごとく述べた

戦争以來軍需工業への勞務移動集中はきほめて甚大な數にのぼり、アメリカ史上最大の規模を持つてゐる、しかしながら全國住宅局の住宅建設はこの點に關する十二分の考慮をもつて臨んでをり、激増する労働者への住宅供給にはさらに一段の注を注ぐつもりである

グリーン徵用法に反対

【リスボン十六日發】ワシントン來電 勞働階級は大統領ルーズヴェルトの提案した國民徵用法案に猛烈な反對運動を展開してゐるが、勞働總同盟會長ウィリアム・グリーンは十六日上院陸軍委員會に臨み重ねて反對意見を開陳次の如く述べた

労働者の強制徵用を含んだ國民徵用法案の如きが成立するならば米國の作業は能率を増進するどころか却つて混亂状態に直面しよう、労働者の徵用によつて増産を期待する如きはとんでもない間違ひでたとへ徵用法が實現しようとも飛行機一臺、船舶一隻はおろか釘一本の増産さへ期待出来ない、英國は既に徵用法を實施してゐるかも知れないが、労働罷業の件數は米國より英國の方が相對的に多い事實を見逃してはならぬ

罷業工場接收

【リスボン八日發】ワシントン來電 マサチューセッツ州フォールリヴァ所在の織維工場七工場の産業別組織會議系労働者は過般來會社當局との労働契約改訂問題で罷業を行つてゐたが大統領ルーズヴェルトは七日陸軍をして罷業工場を接收せしめた、陸軍は直ちに工場の經營にあたり、共に罷業労働者との間に操業再開につき交渉を開始した

一九四三年は罷業の高記録

【リスボン九日發】ワシントン來電 勞働長官パーキンスは一九四三年中の罷業件數につき九日次の通り發表した

一九四三年における罷業件數は三百七十五件に上り千三百五十萬勞働日數の損失を生ぜしめた一九四三年の罷業件數は一九四二年よりも七百八十二件増加してをり過去を通じて第五位の高記録を示してゐる

大統領羅府罷業を彈壓

【リスボン廿三日發】ロサンゼルス來電 米國大統領ルーズヴェルト



は廿三日遂に陸軍長官スチムソンに  
命じてロサンゼルス市電氣、水道  
施設の接收を断行したが、これによ  
り市の經營にかかる浄水場、水道施  
備、發電所、配電設備その他一切の  
關係市機關及び設備が陸軍の管理下  
に入ることとなつた、同市の水道、  
電氣關係従業員は既に十日前  
から開始されてゐたもので、この間  
罷業は漸次擴大全従業員五千七百名  
のうち廿三日までには二千五百名が  
罷業に参加、これにより電力の供給  
が絶たれた軍需工場は百六十、更に  
電燈のつかなくなつた一般民家は十  
二萬五千戸の多數に達した

### 昨年度貿易輸出先は英、ソの順

【リスボン九日發】ワシントン來電  
商務省は九日一九四三年中の輸出入  
貿易額を發表したが右によれば輸出  
は百二十七億一千六百九十萬二千弗  
で前年に比し五十八%、一九二九年  
に比すれば百四十三名増、過去米國  
の輸出額が最高記録を示した一九二  
〇年に比しては五十四%増となつて  
ゐる、輸入は三十三億六千四百八十  
萬九千弗で一九二九年以來の最高記  
録を示した、かくて米國昨年の出超  
額は百億弗近い數字となつたが、輸  
出の大部分は武器貨與法による輸出  
であるため現貨の受取りとはなつて  
ゐない、相手國別貿易額は示されな  
かつたが最大の輸出國は英國、第二  
位はソ聯と推定される

### 十二月中の對外貿易

【リスボン十二日發】ワシントン來  
電 商務省發表、昨年十二月中の對  
外貿易額の通り(單位百萬弗)  
△輸出總額(再輸出を含む) 一、四九  
一、三六六  
△輸入總額 二、七三  
一、三〇三  
△國內消費費用 三、三三  
二、二二二  
なほ昨年中の對外貿易比較左の  
通り(單位百萬ドル)  
△輸出(含再輸出) 一九四二年 一、九四二、  
一、三二七、八〇五、五、四四  
△輸入 一九四二年 一、九四二、  
一、三二七、八〇五、五、四四  
△輸入總額 一九四二年 三、三三  
二、二二二、三、三三三  
△國內消費費用 一九四二年 三、三三  
二、二二二、三、三三三  
右輸出高中には武器貨與輸出を  
含んでゐるが各年におけるその實数は左  
の通りである  
△武器貨 一九四二年 一、〇〇  
〇、四八五、七四  
△再輸出 一九四二年 一、〇〇  
〇、四八五、七四

### 米重慶商工評議會

【リスボン一日發】ニュー  
ヨーク來電 米國及び重慶  
政權商工業代表者から成る「米、重  
慶商工評議會」が一日ニューヨーク  
で結成された、評議會長には米國代  
表トーマス、ワトソンが選出された  
が本部をニューヨークにおき、支  
部をワシントン、重慶、シヤトル、サ  
ンフランシスコ、等に設置する管  
がある

### 肩こみ買上を中止

【リスボン廿日發】最近當地に達し  
た昨年十二月二十二日附ワオール  
トリート・ジャーナル紙によればア  
メリカ政府は十二月三十一日限り  
して肩こみ買上を中止することに  
したといはれる、なほ當時これに關  
し商務長官ジェシー・ジョーンズは  
三十五萬トンの在荷ゴムを放出する  
豫定で、これが放出にあつては民  
間の肩こみ回收および販賣等を出  
るだけ阻害しないよう心掛ける旨の  
べたといはれる

### 國稅收高昨年の二倍

【リスボン八日發】ワシントン來電  
財務省當局は八日一九四三年の稅  
收高を發表したがこれによれば全聯  
邦稅收入高は三百十九億二千四百五

### 民需向けバター割當減少

【リスボン一日發】ワシントン來電  
戰時食糧局推計の本年度アメリカ  
向バター生産高によると民需向け  
一月一人當り一ポンドと少し、軍需  
向け一週一兵員當り半ポンドの供給  
が可能であるといはれる、右民需向  
供給は昨年度に比し一人當り約五  
オンスの減少となつてゐるが、これ  
は昨年下半年期におけるバター減  
産のためである、戦時食糧局は發表  
してゐる、なほ右バター減産は牛乳  
がバター以外の酪農品製造に多く振  
向けられた結果であるといはれる

### 主要銀行預金總額

【リスボン二十一日發】近着の英紙  
所報によればアメリカ有力銀行チ  
ェーズ・ナショナル銀行の昨年九月  
三十日現在における預金總額は四  
十億ドルを突破、過去一年間の増加  
額は約八億ドル餘であつた、なほ  
ギャラント・トラストの預金總額は  
現在二十九億七千二百萬ドルで六  
月前に比し三億二千五百八十一萬  
六千ドルの増加であつた

### 米軍内の黒人數

【ストックホルム十七日發】ニヤ  
ダグリグト・アレハンダのワシント  
ン特電によれば米國陸軍並に海軍  
省は米軍門内に黒人五十七萬七千  
九百三十二名を使用して居る旨發  
表した  
内陸軍 四九二、三〇四名  
歩兵隊 五七、三二三名  
沿岸砲隊並びに野砲隊 五八、三二八名  
工兵隊 九、七五〇名  
その他 三六六、九〇三名  
△海軍 八五、六二八名  
直接海軍に勤務する人員 七四、〇一三名  
沿岸防備隊 三、一一五名  
海兵隊 八、五〇〇名  
海外に派遣された黒人の陸海軍人  
並びに看護婦は十五萬三千名であ  
る

### 反樞軸飛行船會社設立

【リスボン廿三日發】ワシントン來  
電 今同テラウエア市に「反樞軸  
飛行船株式會社」が設立されたが、  
同社は米國とグラスゴー(スコット  
ランド)モスクワ、ブエノスアイ  
レス、ケイプタウン(南ア)タガール  
ス、カルカッタ、フリスベーン(濠洲)  
及びホルノールの各地を結ぶ飛  
行船航路を開設せんとするもので、  
既に關係各國政府の認可を得るた  
め各國の航空關係機關と交渉を開  
始したといはれる

## 軍事

### 陸海軍共同發表

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸海軍両省は比島の日本軍  
俘虜收容所から一年目に脱走した  
と稱する米國軍將校三名の供述に基  
き所謂日本軍の俘虜虐待に關する共  
同發表を廿七日夜行つたが、右發  
表は米國民の安憤な敵愾心を刺戟す  
るためおそを考へつく限りの慘虐行  
爲を並べ立ててゐるといはれる

### 父親召集開始

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 徴兵局長官陸軍少將ルイス・ハ  
ーシェイは十七日「去る一月中に一  
萬五千乃至一萬七千名の父親が米

に召集された」旨發表した

### 一月中の戦費

【リスボン十七日發】ワシントン來電「戰時生産局は本年一月中の戦費が七十四億一千六百萬弗に達し、十二月に比し四億六千五百萬弗増加した旨十七日發表した、これに依り米國政府は一九四〇年一月一日より本年一月三十一日迄に戦費として一千六百八億弗を支出したと認めた

### 兵役免除者百二十二萬

【リスボン廿三日發】ワシントン來電「戰時動員局長官バーンズは開戦以來米陸兵の兵役免除に關し廿三日次の如く發表した

### 米軍の新鋭機

【リスボン一日發】近着の米誌は米國戰時情報局が十月廿三日米軍が次八千三十六名は健康上の理由で五萬二千五百四名は不具となつた爲である

### 免除者を召集

【リスボン廿四日發】ワシントン來電「徵兵局長官ルイス・ハインシェーは去る十八日米軍が六月一日まで召集する百三十萬人の必要人員数を補ふため目下兵役免除となつてゐる百七十萬人の農業従事者に對し直ちに召集を開始しなければならぬ旨言明した

### 動員計畫遲滞

【リスボン廿六日發】ワシントン來電「大統領ルーズヴェルトは廿六日人的資源委員長ポール・マクナット並に徵兵局長官ルイス・ハインシェーに覺書を送り、米國兵力動員が豫定計畫通り進んでないことを明らかにし、同時に職業による兵役免除規

定に再檢討を加へるやう要求した、覺書要旨次の通り

徵兵局の動員計畫が豫定通り進行しないため一九四三年九月に現れ始め

陸海軍兵力不足は同十二月に至つて十萬に達した、現に陸軍にあつて

は本年一月の動員計畫は四月以降にならなければ實現されないといふやうな憂ふべき状態におかれてゐる、

政府は從來農業その他戰時緊急の職業に従事してゐる者に對して寛大な召集延期の特典を與へて來たが、

かかる動員計畫の遲滞並に本年豫想される重大な作戦に鑑みてもかかる召集延期制度には再檢討が加へらるべき時期に立至つたと考へる

△「ニューパー・フォートレス」現在の生産計畫によれば一九四四年春には戦線に委を現すこととなつてゐる

△「ミツチエル」爆撃機 これも新型が現れ武装、速度、航続距離離れも著しく改善されてゐる

△「ハヴオック」爆撃機 従来のノース・アメリカン、インフューター型の特長は全部残しその上防禦、火力が大いに強化されてゐる

△「新式輕爆」右のほかに全然新式の輕爆撃機が設計を完了し生産を開始するばかりの段階にある、この爆撃機は「ハヴオック」等に比し便に三、四年は進歩してゐるといはれ、凡ゆる目的に使用出来る萬能機で強力な加農砲を裝備するほか使用目的

に從つて機首を自由自在に交換出来るやうになつてゐる

△「ヴェガ・ウエッチュラ」攻撃機 これは海軍が潜水艦攻撃機として完成したもので、航続距離が長くなる

と同時に火力も増してゐる

△「カーチス・ヘルダイヴァー」急降下機として大いに活躍を刮目されてを「ドントレス」に比し航続距離、速度爆彈搭載能力孰れも秀れてゐる

△「チューリツヒ」廿三日發 米軍は空の戦艦と誇稱するボーイングB二九型爆撃機を愈々今春から對日戦線に

出動させると教團いてゐるが、スイスの航空専門家に達した確實な情報

を綜合すれば、同爆撃機の性能は概ね次の様なものと見られる

B二九の爆彈搭載量は約十噸と宣傳されてゐるが、實際はこれよりも少

飛行距離千哩—三千哩に對しては八・二五噸—三・二五噸位で、三噸

以上の飛行距離に對しては約三噸しか投載出来ない、外觀は一空の要塞

B一七〇型に類似してゐるが、三番目の降着車輪は機首についてゐる、全備重量は使用目的に從つて四

十五噸から六十噸の間を前後するものと見られる、發動機は新型ライト

サイクロン十八氣筒二重星型機四基が取付けられてゐる

機首、胴體上部、下部及び尾部には動力驅動的な砲塔があり、詳細は不明だが大口徑砲を裝備してゐる、此

のほかに胴體側面には動力驅動遠方操作式の機關銃座がある、翼長百四

十一呎、機長は九十九呎、翼面積千七百三十平方呎である、巡航速度は

高度二萬五千呎に於て時速二百五十哩である、翼荷量は一平方當り五十七

七・六十九ポンドで、出力一馬力當りの重量は十二・五—十五ポンドである、縦横比(アスペクトレシオ)は一

對十一・五でコンソリデーデッドと同じであるのに後者の翼荷重は一平方

呎當り五十ポンドで一馬力當り重量は十八ポンドである

發動機の出力増大装置

【リスボン十五日發】近着の米國「ウォーストリー・ジャーナル」紙

は空軍のフラット・アンド・ホイットニー航空用發動機の性能が特殊の注水装置によつて改善された旨次の通り報じてゐる

一、ブラット・アンド・ホイットニー二千馬力二重ワズプ型發動機には操縦士がスイッチを押すだけで操作出来る特殊注水装置が取付けられ、そのお蔭で必要に応じて發動機出力を相當増大することが出来る様になつた、此の装置の詳細は秘密となつてゐるが直接水を氣筒内に注入することに

よつて次の三點の利益があるといはれる

一、氣筒内で水が蒸することによつて氣筒が有効に冷却される

二、水分を添加することによつて、發動機の出力を著しく制限する異常爆發や激発の發生率を低下させる

米陸軍は新夜間戦闘機ダグラスP70を使用し始めたが、同機は通稱「ミッドナイト・モラー」(暗夜の強者と呼ばれ、機首に二十ミリ砲四門を備へてゐる、また新築のプラスチック木材製貨物船通稱「ウッドベカリーズ・エイウニ」(啄木鳥の安息所)も既に就役してゐるが、これは積荷のため船首が開くやうになつてゐる

### 改造型P38戦闘機

【ストツクホルム廿八日發】ワシントン來電「陸軍省はローキードP38ライトニングの改良型長距離戦闘機がすでに戦線に出動すでに戦闘に參加してゐる旨廿八日發表したが、同戦闘機の主なる改良點は次の諸點である

一、爆撃機を護衛せしむるため、航続距離が著しく増大されたこと

一、發動機の馬力が三十%増大したこと

一、三萬呎以上の高空に於ける上昇能力が高まつたこと

一、高空に於ける水平飛行速度が増大したこと

一、上昇限度が四萬呎を可成り超過したこと

一、片發による飛行時速が約三百哩となつたこと

一、發動機調節装置が改造され自動的温度調節機が取付けられたため操縦者の操作が單純化されたこと

此の様に性能が向上されたのは主として各種部品品の能率が改善され、裝備されたアリソン直列式發動機の出力が一基千五百馬力以上に引上げられたからである、舊型の空中戦用フラツプのほかに補助昇壓機を備へ

陸

新夜間戦闘機

【リスボン三日發】ニュー

ス・クロニクル紙のワシ

ントン特派員は廿二日の紙上に次の通

報じてゐる

高度二萬五千呎に於て時速二百五十

哩である、翼荷量は一平方當り五十

七・六十九ポンドで、出力一馬力當

りの重量は十二・五—十五ポンドで

ある、縦横比(アスペクトレシオ)

は一對十一・五でコンソリデーデッド

と同じであるのに後者の翼荷重は一

平方呎當り五十ポンドで一馬力當り

つけたため此の改造型 P38 は他の多  
くの単機戦闘機に劣らない空中戦闘  
能力を備へるに至つた、但し外部的  
建造には何らの變化がない

### 練習機の製造中止

【リスボン二十八日發】ワシントン  
來電 陸軍省は二十八日陸軍は民間  
各社の練習機製造契約を取消す旨  
發表した、右は練習機が既に陸軍の  
必要を充分満足し得るまでに生産さ  
れた結果で、陸軍は従來練習機製  
造に當つてゐた労働者は今後戦闘用  
飛行機の製造に振りむけられること  
とならうと言明した

### 陸軍の航空技術研究所

【リスボン七日發】ニューヨーク・  
タイムズ紙の軍事記者ハンソン・ポ  
ールドウインは十一月四日附同紙上  
に、オハイオ州デイトンのライオン飛  
行機にある米陸軍航空技術研究所の  
活動状況に關し、次の通り報じてゐ  
る  
此の航空技術研究所は航空理論のあ  
らゆる面に渡つて研究を進めてを  
り、一九四三年にはそのために約一  
億弗の豫算が計上された、ライオン飛  
行場には此の研究所のために風洞、  
實驗室その他の科學施設價格合計約  
一億五千萬哩のものが建てられてあ  
る、此の研究所の風洞は時速四百哩  
の氣流を起し高々度に於ける状況を  
再現し、落差六十度まで氣流を下げ  
ることも可能といはれる  
また落下傘或は維採状態の飛行機の  
性能を試験するための垂直風洞もあ  
る、新設された航空醫學研究所もあ  
つて、各種高度における異つた氣壓  
を作り出し得る壓力試驗室等を使用

して研究が行はれてゐる、構造試験  
室においては飛行機各分品の動力學  
的、靜力學的試験が行はれる、ここ  
にある最新式トルク動力計は現存のあ  
らゆる發動機よりも強力な發動機の  
試験が可能である、また此處には各  
種ドイツ軍用機を置いてあつて比較  
研究が進められてゐる、此のほか重  
要な研究を行つてゐるものに裝具、  
實驗室がある、同實驗室では航空醫學  
研究室と密接な連絡の下に研究、試  
験が續けられて居る、研究内容は  
部分秘秘とされてゐるが、此處で完  
成されたものに水分をはなかへず性  
質の外張りを持つたアルパカ製飛行  
服等がある、歐洲派遣第八航空部隊  
兵員の制式裝具となつてゐる飛行用  
鎧式胴着、飛行帽の上に被つて面、  
後頭部、首等を守る飛行兜等もこ  
で考案されたものである、航空醫學  
研究室は軍醫中佐ウイリヤム・フジ  
レマが主宰して居り、現在高々度  
飛行用酸素吸入裝置の完成が重ねら  
れてゐる、フヴレリス中佐自身數箇  
月前四萬呎の高々度から落下傘降下を  
行つて高々度降下の心理的影響を體  
験して見た、この研究所における研  
究の影響もあり、最近では航空部隊  
全搭員の對して全國四十三箇所の壓  
力試驗室で三萬八千呎一四萬呎の高  
度に相當する低氣壓耐久試験が施さ  
れてゐる、また同研究所は最近三萬  
五千呎の高々度において血漿輸血に成  
功し、何等の悪い副作用を伴はなかつたといはれる

四三年中に十六萬五千名の新航空乗  
員を出した旨發表した  
【ストックホルム廿八日發】米國週  
間雜誌タイムの二月七日號は米陸軍  
航空部隊の訓練状況を次の通り報じ  
てゐる  
米陸軍航空部隊の總兵力は現在世界  
最大の空軍と稱し得るだらう、この  
大空軍を建設するには大掛りな教育  
組織が必要であつた、一九三八年に  
米陸軍航空部隊訓練所は一年に僅  
か五百名の飛行士しか養成してゐな  
かつたが、その後急擴張を行ひ一九  
四三年十一月廿日までに訓練した航  
空隊兵員の内譯は次の通りとなつた  
操縱士 一〇〇、七九九名  
爆撃士 一〇、〇八六名  
航空士 一八、八〇五名  
射撃士 一〇七、二一九名  
地上、空中、戦闘技術者 五五五、八九一名

### 陸軍航空隊兵力

【リスボン十五日發】ワシントン來  
電 陸軍省は航空部隊訓練所が一九

【リスボン十七日發】米國陸軍省は  
【リスボン十七日發】米國陸軍省は  
過般昨年度における陸軍の動員數は  
豫定計畫を二十萬人にも下廻る旨發  
表したがロンドン來電に依れば米陸  
軍省は十九日その不足を補ふため四  
月一日を期して米國の各大學、専門  
學校に在學中の學生十萬人を徵集す  
る準備を開始した旨發表したといは  
れる

### 米國陸軍兵力

【リスボン廿八日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

### 陸軍の擴充計畫完了

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

### 陸軍の擴充計畫完了

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

### 陸軍の擴充計畫完了

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

### 陸軍の擴充計畫完了

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

### 陸軍の擴充計畫完了

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

### 陸軍の擴充計畫完了

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

### 陸軍の擴充計畫完了

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

### 陸軍の擴充計畫完了

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

### 陸軍の擴充計畫完了

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

### 陸軍の擴充計畫完了

【リスボン十七日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

軍支出案を要請したが、一九四五會  
計年度における陸軍の豫算額も百八  
十億四千五百萬九千八百四十九  
豫定といはれる、海軍の支出が一九  
四三年以來上昇してゐるのに反し陸  
軍の支出は一九四四年度の五百九十  
億三千六百二十九萬七千五百七十  
一弗に比し著しい低減を示してゐる  
のが注目される、但し右に支出額の  
ほか既に陸軍關係で議會を通過して  
ゐるものに約三十四億三千萬弗の支  
出案がある

### 海軍 太平洋沿岸に施設増設

【リスボン一日發】ワシントン來電  
海軍省は太平洋沿岸に船舶修理施設建設のため一億三  
千萬弗の豫算案を一日議會に提出し  
た、右豫算案には工費各四百萬弗  
に及ぶ浮乾船渠四基建設費も含まれ  
てゐるが、海軍省當局はこれに關  
聯し大西洋及びメキシコ灣岸には既  
に充分な施設を有してゐる旨言明し  
た

### 海軍 太平洋沿岸に施設増設

【リスボン十六日發】ワシントン來  
電 大統領ルーズヴェルトは十六日  
一九四四一四五年度の海軍豫算案を  
議會に案出した新豫算總額は三百七  
億八千九百八十一萬九千九百七十  
九弗の巨額を示し本年度の豫算に比  
し更に五億五千五百四十九萬九千  
九百九十弗の増加となつてゐる、その主要内譯は艦  
艇建造補給費八十億八千四百萬弗航  
空關係費四十億二千三百萬弗等であ  
る

### 海軍將校養成學校

【リスボン廿八日發】ワシントン來  
電 陸軍省は陸軍動員計畫の遲滞に  
關聯してその兵力を次の如く發表し

電 海軍省は廿八日新海軍將校養成 學校三校が近く開校されることとならうと發表した三校の收容人員は約六千名で主として大學、專門學校學生並びに一般海兵中から選抜された者を收容する筈である

進 水

【リスボン一日發】ワシントン來電 海軍省は大型航空母艦一隻が来る八日東海岸の某造船所において進水する旨一日發表した、これにより過去二年間に建造された同型空母は合計七隻となる

【リスボン七日發】ワシントン來電 海軍省は巡洋艦「アトランタ」號及び新型驅逐艦「ロウリー」號が六日進水、更に七日エセック級航空母艦「テイコンテロカ」號が進水した旨七日發表した

【リスボン九日發】ニューヨーク來電 ニュージャーシー州カーニの某造船所で九日新大型驅逐艦クーパー一號が進水した、新艦の性能詳細は判明しないが現在の如何なる驅逐艦よりも長大な航続力を有し速力も早く、又戦闘力も強大な全く新しい型の驅逐艦と宣傳してゐる

【リスボン十日發】ワシントン來電 海軍省は九日新護衛驅逐艦ミッチェル號が同日進水した旨發表した

【リスボン十二日發】ワシントン來電 海軍省は十二日大西洋岸における左記各造船所で驅逐艦一隻、護送用驅逐艦五隻が進水した旨發表した

△ウイルミントン 護送用驅逐艦三隻東部海岸某造船所で進水した旨發表した

【リスボン十四日發】ワシントン來電によれば米國內の造船所で十三の兩日に驅逐艦一隻及び護送用驅逐艦九隻計十隻が進水したといはれる

【リスボン十六日發】ワシントン來電 十六日米國政府は十一隻の艦船が進水した旨發表した、内譯次の通り

【リスボン十七日發】ワシントン來電 海軍省は十七日大型巡洋艦「ビツワバーク」が来る二十二日マサチューセツ州クインシーのバツレヘム「スチール」會社造船所で進水する旨發表した

【リスボン二十日發】ワシントン來電 海軍省は二十日東部海岸の造船所で輕巡洋艦「オクラホマ」號が同日進水した旨發表した

【リスボン廿二日發】ワシントン來電 海軍省は、十九日小型航空母艦「シイトコロ」及び護送驅逐艦「エドワーズ」がバンクーパーの「ヘンリー・カイザー」造船所で進水した旨

【リスボン廿三日發】ワシントン來電 海軍省は驅逐艦「ムリア」號が二十三日三番目のものである

【リスボン廿六日發】ニューヨーク來電 米海軍新航空母艦ベニントン號(二萬七千噸)は二十六日ニューヨーク海軍造船所で進水した

【リスボン廿八日發】サンフランシスコ來電 海軍當局の發表によれば米國海軍新潜水艦母艦「ルクス」號(一五、〇〇〇噸)は既に試験運轉を終了し近く就役することとなつたと

【リスボン廿九日發】ワシントン來電 海軍省は、省長官の發表によれば過般退役した西部海軍防衛司令官中將ジョン・グリーンタールのレベルが今回現役に復し

【リスボン三十一日發】ワシントン來電 海軍省は日本軍の眞珠灣攻撃によつて顛覆した戦艦「オクラホマ」等が乾渠で修理を施されて再び浮揚したと發表した、同艦は排水量二萬九千噸で艦齡三十年に達する

【リスボン一日發】ワシントン來電 海省は第十二海軍司令官中將ジョン・グリーンタールが退任年齢に達し、一日降をもちて退役となつた旨同日發表した、同中將は當年六十四歳で四十三年間海軍に服務したが、後任には少將デーヴィッド・バグレイが任命された

人 事

【リスボン十一日發】ワシントン來電 海軍省は、省長官の發表によれば過般退役した西部海軍防衛司令官中將ジョン・グリーンタールのレベルが今回現役に復し

【リスボン十二日發】ワシントン來電 海軍省は、省長官の發表によれば過般退役した西部海軍防衛司令官中將ジョン・グリーンタールのレベルが今回現役に復し

【リスボン十三日發】ワシントン來電 海軍省は、省長官の發表によれば過般退役した西部海軍防衛司令官中將ジョン・グリーンタールのレベルが今回現役に復し

【リスボン十四日發】ワシントン來電 海軍省は、省長官の發表によれば過般退役した西部海軍防衛司令官中將ジョン・グリーンタールのレベルが今回現役に復し

【リスボン十五日發】ワシントン來電 海軍省は、省長官の發表によれば過般退役した西部海軍防衛司令官中將ジョン・グリーンタールのレベルが今回現役に復し

【リスボン十六日發】ワシントン來電 海軍省は、省長官の發表によれば過般退役した西部海軍防衛司令官中將ジョン・グリーンタールのレベルが今回現役に復し

【リスボン十七日發】ワシントン來電 海軍省は、省長官の發表によれば過般退役した西部海軍防衛司令官中將ジョン・グリーンタールのレベルが今回現役に復し

【リスボン十八日發】ワシントン來電 海軍省は、省長官の發表によれば過般退役した西部海軍防衛司令官中將ジョン・グリーンタールのレベルが今回現役に復し

【リスボン十九日發】ワシントン來電 海軍省は、省長官の發表によれば過般退役した西部海軍防衛司令官中將ジョン・グリーンタールのレベルが今回現役に復し

【リスボン二十日發】ワシントン來電 海軍省は、省長官の發表によれば過般退役した西部海軍防衛司令官中將ジョン・グリーンタールのレベルが今回現役に復し

【リスボン廿一日發】ワシントン來電 海軍省は、省長官の發表によれば過般退役した西部海軍防衛司令官中將ジョン・グリーンタールのレベルが今回現役に復し

大南洋諸島の全貌 キーピング著 日本外政協會 太平洋問題調査部 人類學者として著名な著者が、廣汎な太平洋諸島の政治經濟文化軍事上の諸問題と、廿餘年間の現地調査によつて綜合的に論究した權威書 A5判七〇〇頁 定價七・七五

# 中南米諸國

## コシキメ

### 昨年中輸出額

【リスボン廿六日發】メキシコ中央銀行發表によれば一九四三年中のメキシコ輸出状況つぎの通り(單位千米ドル)

一九四三年	一九四二年
三三,九〇〇	二六,一〇〇
穀物	一六,〇〇〇
工業製品	一〇,〇〇〇

## ルドアヴルサ

### 樞軸財産沒收

【リスボン十六日發】サルヴァドル來電「サルヴァドル國民議會は樞軸國市民の財産沒收に關する法令を六日可決した」

### 新大統領決定

【リスボン十四日發】メキシコ市來電「十三日コスタ・リカで大統領選挙が行れたがその結果自由黨のテオドレ・ピカドが大統領に選任された」

## アピンロコ

### 英、コ兩公使館昇格

【リスボン十三日發】ボゴタ來電「英國、コロンビア兩國政府は兩國の關係緊密化に伴ひ、兩國駐割の公使館を夫々大使館に昇格するに決した」

## ールペ

### 小麦に國家管理斷行

【リスボン三日發】リマ來電「ペルーでは最近小麦不足により多數の製粉所が操業不能に陥つてゐるが、政府は今回これが對策として小麦を荷配給の國家管理を斷行した、なほ政府ではアメリカよりの食糧供給が今後促進される筈だと稱してゐる」

### 昨年貿易額

【リスボン二十六日】ペルー税關發表によれば昨年中の同國對外貿易額左の通り(單位千ペソ)

一九四三年	前年
四〇,三二八	四四,九三三
輸出	三六,六三三
輸入	三六,六三三

## ルジラブ

### 昨年のゴム生産高

【リスボン二日發】當地に到着した一月廿日附フアイナンシャル・ニューズ紙によればブラジル政府は一九四三年中のゴム生産状況につき次の通り發表したといはれる

一九四三年のブラジルのゴム生産高は三萬五千噸で一九四二年つ生産高の約二倍であるが、その中二萬五千噸が國外に輸出され残りの一萬噸が國內で消費された

同紙は更に一九四三年のブラジルに於ける軍需重要鐵產物生産高に關するロンドン・アンド・サウスアメリカ銀行の發表を提次次の如く報じてゐる

ブラジルの鐵物並に大屬の年産高は

## アイヴリボ

### 内閣改造成る

【リスボン十二日發】ラバース來電「ボリヴィア政府の閣僚三名は十一日辭職し同政府は後任を次の通り決定した

△内相陸軍大佐アルフレド・パチエ  
△農相ラファエル・オタツム△内閣書記官長ウオルテル・グエヴァラ

オタツオとダニヴァラは革新國家主義黨員である」

### 樞軸商社を接收

【リスボン十二日發】米國政府のボリヴィア政府壓迫は依然續けられてゐる様子でこれに對するボリヴィア政府の態度が注目されてゐるが、ラバース來電によれば同國政府はボリヴィア國內の樞軸商社を悉く接收する旨十二日發表したといはれる

## イアグラバ

### 大罷業勃發

【リスボン一日發】モンテヴィデオ來電に依ればパラグアイに於て大罷業が勃發し、グアイに於て罷業は同國労働者聯盟が大統領モリニゴの辭職を要求したといはれる、罷業は同國労働者聯盟が大統領モリニゴの辭職を要求したために労働指導者五百名が逮捕された後に行はれたものだが、既に同國最大の橋梁を含む四鐵道橋梁は暴徒に依つて爆破されたと傳へられ、アスンシオン市は警官と軍隊に

依つて嚴重警戒されてゐるが、市内の交通は殆ど麻痺状態に入り新聞も發行を停止したといはれる

## ンチンゼルア

### 大使更迭

【リスボン十二日發】ブエノスアイレス來電「政府は今同國內居住の外人に對し無線電信局の所有使用並に無線電信會社の株券所有を禁止する旨の法令を發した」

右法令は六十日後に發効するが反樞軸系二大無線電信所にも當然適用される筈で、アルゼンチン在住の米國人が特定の事業から完全に閉め出されるのは今回が最初である

### 斷交四國代表に旅券交付

【リスボン五日發】ブエノスアイレス來電「政府は四日フランス、ハンガリー、ルーマニア、ブルガリアの四國とも斷交したが、外相ルベルトは五日以上の四國外交代表を招致、斷交理由を通告すると共に旅券を交付した」

### 對日獨連絡停止措置

【リスボン七日發】ブエノスアイレス來電「政府は日獨兩國との國交斷絶後アルゼンチンと兩國間の電信、電話連絡の遮斷を行つたが六日に至り更にアルゼンチン在留の日獨兩國人の故國向けその他一切の連絡を六日夜半から停止する旨發表した」

### 新日刊新聞發行

【リスボン九日發】ブエノスアイレス來電「エル・フェデラール」と名づく新日刊新聞の第一號が八日ブ

### 新法令公布

【リスボン十二日發】ブエノスアイレス來電「政府は今同國內居住の外人に對し無線電信局の所有使用並に無線電信會社の株券所有を禁止する旨の法令を發した」

右法令は六十日後に發効するが反樞軸系二大無線電信所にも當然適用される筈で、アルゼンチン在住の米國人が特定の事業から完全に閉め出されるのは今回が最初である

### 閣僚辭職

【リスボン十五日發】モンテビデオからのロイター電報によればアルゼンチン外相ヒルベルト、内相ペルリンヘル、法相ザビエル、公共事業相ビスタリーには十五日辭表を提出したと傳へられる、大統領ラミレスは未だこれを受理してゐないが、右辭表提出はアルゼンチン政府が近く外交政策を變更するに決定した事に對する不滿に基くとみられる

### 外相法文相後任決定

【リスボン十七日發】ブエノスアイレス來電「アルゼンチン政府は十六日夜、外相ヒルベルトの辭職に伴ひ海相スエイコが暫定的に外相を兼任することになつた旨發表した一方ヒルベルトと共に辭職した法相兼文相ザアヴィリアの後任にはブエノスアイレス大學の哲學教授シルフェラ博士が任命された」

### 將校團事實上のクーデターを斷行

【リスボン十七日發】陸軍次官ペロンド大佐を首班とするアルゼンチン青

### 大統領辭職

年將校團の蹶起については米國通信社の報道以外確報はないが、事實上のクーデターによつてアルゼンチン政府の對樞軸宣戦の措置が未然に阻止されたことだけは間違ひない。モンテヴィデオからのU・P電報によれば自國船がトリニダッド島沖で撃沈されたとの報道を接受すると同時に、閣僚の一部は米國政府の先手となつて樞軸に對する宣戦布告を主張、同時にラミレス大統領が内閣の改造を企圖したと傳へられる、事前に情勢を察知したペロン大佐と革新將校團は約六百名の青年將校を便衣で市内に潜伏させ、先づ一舉にクーデターを斷行するに決定した様子だしかるに警視總監エミリオ・ラミレス大佐は右計畫を探知し、約一千名の私服刑事を市内に配置したため革新將校團の企圖は畫餅に歸し、次いで十四日ペロン大佐は陸軍次官邸に同志四十名を招致、對策を協議した右事件と相前後してヒルベルト外相は樞軸との宣戦案を閣議に提出するに決定し、宣戦布告案の起草を了したといはれる、ここにおいて革新將校團は、一萬以上のアルゼンチン軍をブエノスアイレス市の近郊に配置、將校團は外務省を乗取つてヒルベルト外相を追出し、ここに事實上のクーデターを遂行するに至つた、ヒルベルト外相は已むなく辭表を提出したがラミレス大統領は十六日に至り外相法相並びに書記官長ゴンザレス大佐の辭表を受け、同時に大統領官邸からトリニダッド島沖合でアルゼンチン汽船が撃沈されたとの報道については何んな確報がない旨發表した。

#### 【リスボン十九日發】

ブエノスアイレス來電に依ればアルゼンチンのラミレス大統領は辭職し後任には大森院長ニコラ・レベトが就任したといはれる。

#### 【リスボン廿五日發】

U・Pブエノスアイレス特派員ウィルソンは廿五日アルゼンチン大統領ラミレスは桂冠の經緯に關し二十五日次の通り報じてゐる。

#### 【リスボン廿五日發】

アルゼンチン國家主義系新聞エル・カピルドは初めてペドロ・ラミレス大統領が「病氣のため辭職した」旨報じたが、大統領側近から得た情報によると眞相は次の通りである、二十四日午後八時頃アルゼンチン軍中堅將校の一團が大統領官邸を襲ひ、ラミレスに辭職を迫つた、ラミレスは要請に應じて辭職聲明を書いたが、辭職理由たる「情勢に迫られて」といふ言葉が將校團の忌諱に觸れ、書更へを迫られた結果「病氣のため」といふことにした。

#### 【リスボン廿五日發】

數夜中頃軍隊及び警官隊の分乗する取巻いたが、ここでラミレスが逮捕されたことになる譯だ、二十五日午前一時四十分陸軍相フアレル内相ベルリンヘルその他全閣僚が官邸に駆けつけ、大統領の護衛を通じてラミレスに聲明を行ふ意思があるかどうか訊ねたといふことである。

#### 【リスボン廿五日發】

モンテヴィデオ來電によればアルゼンチン海相ベニト・スニエロは大統領の辭任が相次いで辭職したと傳へられ

#### フアレル將軍國務代行

【リスボン廿五日發】アルゼンチン國內の情勢については當局が外國向電報に對し嚴重な檢閲を加へてゐるため大統領ラミレス將軍が廿二日夜放送に桂冠し副大統領フアレル將軍が差し當り國務を代行するに至つたといふ以外に確報がないが、モンテヴィデオからのU・P電報によれば内相ヘルリン將軍がカンボ・デ・マニ防衛司令官エタアルド・アボアルスと協力し米國系の政權を叩き潰したと傳へられる、ラミレス將軍はヒルベルト外相の辭任に鑑み、内閣の改造を決定し廿四日夜陸軍省においてヒルベルト前外相、ゴンザレス前書記官長等を交へ、アルゼンチン軍部の代表と協義、自由主義内閣を組織する豫定であつたが、右情勢を探知したヘルリン内相は、先づカンボデ・マヨの防衛司令部の兵力をブエノスアイレス市の周邊の配置し、午後八時頃革新將校團と共に陸軍省に乘込んだ、ヘルリンヘル將軍は大統領に會見を申込み、ビストルを突きつけて辭職を勧告、ラミレス將軍は問もせず同意し「情勢に迫られ」辭職する旨の聲明を書いたが、將校團は右字句の修正を迫り結局健康すぐれず辭任する旨聲明するに至つた、一説によれば廿四日夜半過ぎ軍隊及び警察隊の分乗する軍用トラック數臺が大統領官邸を取巻き廿五日午前一時四十分閣僚連が駆けつけた時に既に萬事休してゐたと傳へらる、廿五日午前二時に至りエル・カビルド紙は大統領の桂冠を報告し大統領はアルゼンチン國民に對する

#### 【リスボン廿五日發】

マッセージに於て「國務多端のため疲勞甚しく近來特に健康にすぐれず即時辭任するの止むなきに至つたので副大統領に任務を委任した」と述べてゐる旨報じてゐる。

#### 【リスボン廿五日發】

副大統領フアレル將軍と内相を中心とする今回のクーデターとの間に如何なる關係があるかは判明しないが、同將軍が事前に兼任の陸相を辭任した點から考へて亦善打合せ上での豫定の行動ではなかつたがとの觀測が有力である、更にヒルベルト前外相を退出した革新將校團、殊に陸軍次官ペロン大佐と今回のクーデターとの關係も未だ判明しないが副大統領には所謂米洲連帶主義に絶對反對の立場を堅持してゐるスカツン提督が就任するだらうと傳へられる位で新政府が前内閣の反樞軸政策がある程度修正することは略々確實と解される。

#### 【リスボン廿五日發】

新閣僚を任命  
外相、海相代理 【リスボン廿六日發】ブエノスアイレス來電アルゼンチン臨時大統領フアレルはベニト・スニエロ中將の海相辭職に伴ひホアン・ピスタリネ・サリニ將軍を海相代理に任命、問題の外相にはデイエゴ・ムノン・マシオン將軍を任命した旨廿六日發表した。

#### 【リスボン廿六日發】

ペロン大佐陸相代理に就任 【リスボン廿八日發】ブエノスアイレス來電によれば前勞働相ペロン大佐は廿八日アルゼンチン政府の閣僚並にブエノスアイレス市の大司教立會の下に正式に陸相代理に任命されたといはれる、大佐は所謂「大佐團」の頭領で、アルゼンチン政界の蔭の實權者として知られるが、前後數回にわ

#### 【リスボン廿九日發】

アルゼンチン海相決定す 【リスボン廿九日發】ブエノスアイレス來電によればアルゼンチン大統領代理フアレル將軍は廿九日アルベルト・テリシス提督を海相に任命したと傳へられる。

#### 【リスボン二日發】

ブエノスアイレス來電一九四三年中のアルゼンチン輸出入高はつぎの通り(單位千ペソ)。

#### 【リスボン十三日發】

ブエノスアイレス來電アルゼンチン大藏省の發表によれば同國本年一月中の輸出額は一億九千八百六十五萬五千ペソと前年一月の一億五千六百三十四萬ペソにくらべて著増した。

#### 【リスボン四日發】

駐重慶公使任命  
【リスボン四日發】ワシントン來電チリーの前上海領事ホアン・マリニは目下ワシントンにあるが今回重慶駐劄代理公使に任命された。

#### 【リスボン廿四日發】

サンチャゴ來電チリー政府當局は廿三日一箇年間に亘る檢察の結果ベルナルド・チンメルマンなる人物を首魁とする四名のスパイ團が最近逮捕した旨發表した。

#### 【リスボン廿四日發】

サンチャゴ來電チリー政府當局は廿三日一箇年間に亘る檢察の結果ベルナルド・チンメルマンなる人物を首魁とする四名のスパイ團が最近逮捕した旨發表した。

#### 【リスボン廿四日發】

サンチャゴ來電チリー政府當局は廿三日一箇年間に亘る檢察の結果ベルナルド・チンメルマンなる人物を首魁とする四名のスパイ團が最近逮捕した旨發表した。

#### 【リスボン廿四日發】

サンチャゴ來電チリー政府當局は廿三日一箇年間に亘る檢察の結果ベルナルド・チンメルマンなる人物を首魁とする四名のスパイ團が最近逮捕した旨發表した。

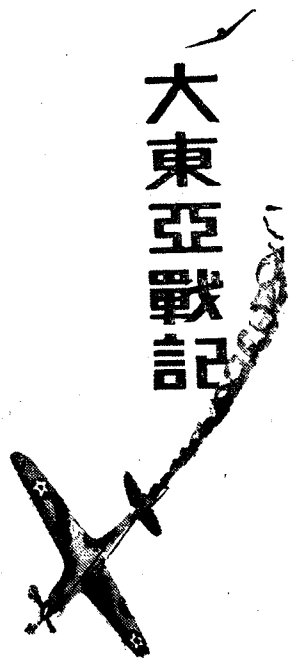
#### 【リスボン廿四日發】

サンチャゴ來電チリー政府當局は廿三日一箇年間に亘る檢察の結果ベルナルド・チンメルマンなる人物を首魁とする四名のスパイ團が最近逮捕した旨發表した。

#### 【リスボン廿四日發】

サンチャゴ來電チリー政府當局は廿三日一箇年間に亘る檢察の結果ベルナルド・チンメルマンなる人物を首魁とする四名のスパイ團が最近逮捕した旨發表した。

# 大東亞戰記



## トロキナ警備隊血戦記

ブーゲンビル島前線〇〇にて  
鹽川陸軍報道班員

### トロキナ警備隊

晴れてはるすが月のない暗い夜空に一發、二發——突如、赤い色が燃え上つた。敵發見の信號彈は高々と打揚げられた。ラルコ河口の信號彈に引續いてトロキナ岬の突端を扼するブルアタ島沖にも時を同じくして信號彈は打揚げられた。終日寄せ返し、打返してゐたジャバの熱瀟も靜寂に返つた十月卅一日午後十時ごろである。今や敵アメリカが呼號する對日反攻の魔手は、ブーゲンビル島西海岸のトロキナ岬に伸びたのだ。しかし何の躊躇やあるべき、かねては堀内中尉の率ゐるトロキナ警備隊の〇〇名の精銳だつた「敵を水際に斷乎撃滅せよ」堀内隊長の命令は深沈たる夜氣をつん裂いて烈しく下つた。眈を決して我が精銳は急進を開始した。だがこの地區は名に負ふ濕地帯、膝を没してゐた泥濘は一步

を進めるとに愈々深く腹まで浸して來るのである、が意氣まき天を衝いて恐ろしいやうな必殺の氣を孕んだ肅々たる進軍は續けられる。尖兵隊長は上井見習士官、すでに水際に配置を終つたわが精銳は腫をジャバの暗い沖に凝らして敵を待つた。午前三時三十分、水平線の彼方東の海が白々と明けてきた。そのときである、思はずうめきに似た叫びが上井見習士官の唇から迸つた。コロモキ河の方向に黒々と姿を浮べてゐるのは敵海上機動部隊ではないか、一隻は確かに航空母艦である。そして、二つ、三つ、四つ……巡洋艦もしくは驅逐艦と認められる四隻が朝霧の中に迫つてくる、傳令は逸早く堀内隊長に飛んだ。五隻の敵機動部隊の全砲門はトロキナ岬の我が陣地をひどく凝してゐる。だが友軍の決意に何の微動のある筈もなく、烈々たる意氣は火と燃え盛るのであ

る。海上に瞬間ではあつたが無数の赤い火が閃いた「艦砲射撃開始」敵は地上戦闘ではムンダ、コロンパンガラの戦闘に痛烈果敢なる我が地上部隊の攻撃に抗し難いかを知り盡してゐる。敵は常套手段ともいふべき艦砲射撃にトロキナ攻撃の火蓋を切つたのだ。「一兵と刺違へずば」全將兵の胸に一つに通ふものはこれだ。わが精銳は畜生、また例のヤンキー戦法だ、と無念の齒噛みをしつつも壕の中に、ジャングルの大木に身を潜めなければならぬ。艦砲射撃開始後約三十分、白々とあけ放たれた空には敵空母から飛立つた約四十の敵機が轟々と頭上に迫つてきた。翼に滿された星のマークも色あざやかに識別できる低空爆撃なのだ「ああこれが日の丸を浮出した友軍機であつたら、友軍には飛行機はないのか」ヂツと白兵戦の一瞬を待たびて壕にひそむ、彼等の兩眼には血に似た熱い涙がたまつてくるのだ。口惜しい口惜しい涙なのだ。間斷なく艦砲の炸裂、爆撃の大音響のなかにトロキナ岬は刻々に變貌していつた。岬を包むものは白く漂ひ流れる砲煙、椰子林はみるも無残な焦土と化してゆく、約二時間やうやくにして艦砲射撃はやんだ。敵爆撃機群も姿をひそめた午前六時三十分、敵は叩いて始まけたコロモキ河口に上陸を開始して来た。このときと倒木の陸に潜んで待たびてゐたは中武軍曹以下〇〇名の〇〇隊砲の精銳だつた。約四百を數へる敵舟艇群は機關銃を亂射しつづ、コロモキ河口にフルスピードで迫つてくる。〇隊長殿……部下達は何度中武軍曹の命令を待たびて顔色を伺つたことであらう。だが

ムンズと結んだ軍曹は石のやうに押し黙つて壕のやうに群り集ふ敵舟艇群を腫の中に灼きつけてゐるのみだ。〇隊砲の照準は定められてゐる、零距離射撃である。拉繩を一度引けば熱火と怒る一彈は敵中に炸裂するのだ。斯くするうちに敵舟艇の一部は早くコロモキ河口に到着した、ああその瞬間こそ、中武軍曹が待たびた一瞬なのだ。突如、破れ鏡にも似た號令は飛んだのである「射て」間髪をいれず、第一彈は敵中に

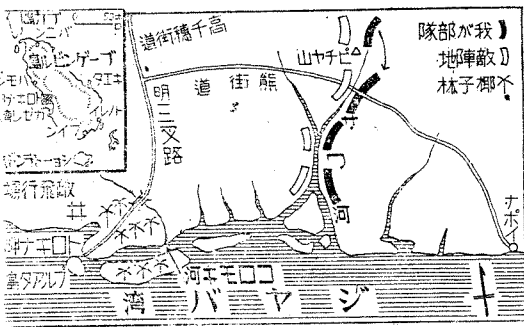
を進めるとに愈々深く腹まで浸して來るのである、が意氣まき天を衝いて恐ろしいやうな必殺の氣を孕んだ肅々たる進軍は續けられる。尖兵隊長は上井見習士官、すでに水際に配置を終つたわが精銳は腫をジャバの暗い沖に凝らして敵を待つた。午前三時三十分、水平線の彼方東の海が白々と明けてきた。そのときである、思はずうめきに似た叫びが上井見習士官の唇から迸つた。コロモキ河の方向に黒々と姿を浮べてゐるのは敵海上機動部隊ではないか、一隻は確かに航空母艦である。そして、二つ、三つ、四つ……巡洋艦もしくは驅逐艦と認められる四隻が朝霧の中に迫つてくる、傳令は逸早く堀内隊長に飛んだ。五隻の敵機動部隊の全砲門はトロキナ岬の我が陣地をひどく凝してゐる。だが友軍の決意に何の微動のある筈もなく、烈々たる意氣は火と燃え盛るのであ

る。海上に瞬間ではあつたが無数の赤い火が閃いた「艦砲射撃開始」敵は地上戦闘ではムンダ、コロンパンガラの戦闘に痛烈果敢なる我が地上部隊の攻撃に抗し難いかを知り盡してゐる。敵は常套手段ともいふべき艦砲射撃にトロキナ攻撃の火蓋を切つたのだ。「一兵と刺違へずば」全將兵の胸に一つに通ふものはこれだ。わが精銳は畜生、また例のヤンキー戦法だ、と無念の齒噛みをしつつも壕の中に、ジャングルの大木に身を潜めなければならぬ。艦砲射撃開始後約三十分、白々とあけ放たれた空には敵空母から飛立つた約四十の敵機が轟々と頭上に迫つてきた。翼に滿された星のマークも色あざやかに識別できる低空爆撃なのだ「ああこれが日の丸を浮出した友軍機であつたら、友軍には飛行機はないのか」ヂツと白兵戦の一瞬を待たびて壕にひそむ、彼等の兩眼には血に似た熱い涙がたまつてくるのだ。口惜しい口惜しい涙なのだ。間斷なく艦砲の炸裂、爆撃の大音響のなかにトロキナ岬は刻々に變貌していつた。岬を包むものは白く漂ひ流れる砲煙、椰子林はみるも無残な焦土と化してゆく、約二時間やうやくにして艦砲射撃はやんだ。敵爆撃機群も姿をひそめた午前六時三十分、敵は叩いて始まけたコロモキ河口に上陸を開始して来た。このときと倒木の陸に潜んで待たびてゐたは中武軍曹以下〇〇名の〇〇隊砲の精銳だつた。約四百を數へる敵舟艇群は機關銃を亂射しつづ、コロモキ河口にフルスピードで迫つてくる。〇隊長殿……部下達は何度中武軍曹の命令を待たびて顔色を伺つたことであらう。だが

ムンズと結んだ軍曹は石のやうに押し黙つて壕のやうに群り集ふ敵舟艇群を腫の中に灼きつけてゐるのみだ。〇隊砲の照準は定められてゐる、零距離射撃である。拉繩を一度引けば熱火と怒る一彈は敵中に炸裂するのだ。斯くするうちに敵舟艇の一部は早くコロモキ河口に到着した、ああその瞬間こそ、中武軍曹が待たびた一瞬なのだ。突如、破れ鏡にも似た號令は飛んだのである「射て」間髪をいれず、第一彈は敵中に

壕上に躍り出て指揮を取る堀内隊長、ヒュール、ヒュールと不氣味な彈道を曳いた迫撃砲の炸裂に忽ち兩脚を奪はれたのだ。鮮血淋漓、馳け寄る部下が「隊長殿しつかり」と抱き掛けるのを「心配するな、まだ兩方の手が残つてゐる」ああ死相を深くしてゆく隊長の表情であつた。續いて〇隊長として奮戦を續けてゐた岩狭少尉も敵直撃彈を浴びて壯烈な戦死を遂げた。藤原軍曹以下〇〇名の我が機關銃隊の必死の奮戦も敵迫撃砲の集中火には敵し難く、頼む陣地はすつかり丸裸になつてしまつた。午前十時、敵は我が陣地後方に進入するころには上井隊長の率ゐる一團の精銳も轟々と敵重圍の中に陥つていつた。あまりにも大きく開いた兵力差、特に敵砲火の間斷ない落下が友軍を窮地に追詰めてゆく、取つて返して爆彈を滿載した敵機群は再び頭上に迫つてきた。ああ、しかし我が友軍機は一機だにこの戦線に馳せ参じては來ないのだ。飛行機が足りない、敵アメリカが動員する飛行機の十分の一だに飛行機を動員できぬ友軍の現状はみすみす敵機群の跳梁を拱手傍觀する以外に手段はないのだ。

一方鍋谷軍曹以下の無電班は必死と叩くキーに〇〇にある本隊を呼び續けた、艦砲射撃の熾烈なる炸裂に連絡を妨げられつつも、その朝六時までは逐一狀況報告を續けてゐたが遂に敵砲の炸裂は送信所を中天に吹き上げた、最後の電文「テキハコクコクニマンテウグンクセン」朱に染つた軍曹は轟とキーに絶つたまま息絶えた。鮮血に染めたキーに叩き



壕上に躍り出て指揮を取る堀内隊長、ヒュール、ヒュールと不氣味な彈道を曳いた迫撃砲の炸裂に忽ち兩脚を奪はれたのだ。鮮血淋漓、馳け寄る部下が「隊長殿しつかり」と抱き掛けるのを「心配するな、まだ兩方の手が残つてゐる」ああ死相を深くしてゆく隊長の表情であつた。續いて〇隊長として奮戦を續けてゐた岩狭少尉も敵直撃彈を浴びて壯烈な戦死を遂げた。藤原軍曹以下〇〇名の我が機關銃隊の必死の奮戦も敵迫撃砲の集中火には敵し難く、頼む陣地はすつかり丸裸になつてしまつた。午前十時、敵は我が陣地後方に進入するころには上井隊長の率ゐる一團の精銳も轟々と敵重圍の中に陥つていつた。あまりにも大きく開いた兵力差、特に敵砲火の間斷ない落下が友軍を窮地に追詰めてゆく、取つて返して爆彈を滿載した敵機群は再び頭上に迫つてきた。ああ、しかし我が友軍機は一機だにこの戦線に馳せ参じては來ないのだ。飛行機が足りない、敵アメリカが動員する飛行機の十分の一だに飛行機を動員できぬ友軍の現状はみすみす敵機群の跳梁を拱手傍觀する以外に手段はないのだ。

一方鍋谷軍曹以下の無電班は必死と叩くキーに〇〇にある本隊を呼び續けた、艦砲射撃の熾烈なる炸裂に連絡を妨げられつつも、その朝六時までは逐一狀況報告を續けてゐたが遂に敵砲の炸裂は送信所を中天に吹き上げた、最後の電文「テキハコクコクニマンテウグンクセン」朱に染つた軍曹は轟とキーに絶つたまま息絶えた。鮮血に染めたキーに叩き

出されたトロキナ警備隊の危機は果せるかな、〇〇にある本隊を色めかせた。しかし友軍が世界に冠絶する旺盛なる機動力も如何せん、腹を胸をひたす大濕地帯が急速な前進を阻んで遠くトロキナに續いてゐる。本隊には、恐らくペーコーサワ河口の守備に任じて堀内隊の川満見習士官以下〇〇名の方が精銳であつたであらう。遙かトロキナ岬方向に木靈する股々たる砲聲は稲妻の素速さで、川満隊長の胸に敵來襲を告げた同時に堀内隊の兵力を知り抜いてゐる川満隊長の脳裡に描かれるものは、數を恃んで押寄せたアメリカ軍の怒濤のやうな大軍だつた。ああ一刻も早く友軍救援に赴くべきか、そのとき川満隊長以下の精銳の心は身を斬られる辛さの中に千々に亂れた。やがて川満隊長は「戦友達よ許してこれ」と呟くやうにいふと、部下に進撃の命令を下達した、しかしそれはトロキナ警備隊救援ではなかつた。サワ河上流、熊街道の交叉する地點に陣地を布いてサワ河よりする敵を一つは明三叉路から熊街道に進出せんとする敵アメリカを邀撃する態勢を整へるのだつた。年若い隊長の最善と信じた方法はそれだつた。

警備本隊

ずらゐることも忘れ果ててゐた、ただ爛々と光る眼の色には悽愴な戦意が漲りあふれてゐる——それは敵軍圍の中に血路を開いた上井隊の精銳十七名だつた。隊長堀内中尉をはじめ戦友の復讐は、よし友軍機の來援がなくても必ず我が手で果さうと誓ふ決死十七勇士だつたのである。

警備本隊

りからトロキナ岬が一望のうちに眺められた。水平線を截つて長く突出した奇もない森林に覆はれた岬であらう。然し頭を回らせばブーゲンビル島の背接たるエンペラー山脈が見え、一萬百七十呎の高峰バルビ火山が天空に噴煙を棚刈せる雄姿も眺められるのであつた。

警備本隊

内中尉に對する福田部隊長の追憶は深まつてゆくのである。トロキナ警備隊長として壯烈なる武人の最期を飾つた堀内中尉、彼こそは福田部隊長が最も信頼せる部下の一人であつた。〇〇警備隊長から轉じてトロキナ岬に赴くとき、當時〇〇にあつた福田部隊長を訪ねたのは堀内中尉であつた。その〇〇の一夜、談たまたま忠節に及んだとき、青年將校らしい肩を張つて「一死以て重任完遂おるばかりです」と答へる堀内中尉に「玉碎のみを急ぐな、要は最大限の御奉公を勵むことだ」と諭した部隊長であつたが……晝の灼くやうな暑さに引きかへて夜間はグンと温度の落ちるのがこの地方特有の氣候だつた。まして汗に濡れ、ときどき油然と襲ふスコールに揮までグシヨ濡れにされてしまふ進軍は夜間になると腹の底まで込み込む冷たさになつてくるが、それも將兵にとつて最大の悩みではなかつた。最大の悩み……それは暗いことだ。最大の悩み……路を辿る困難さである。敵の思はずの出撃に備へて一列側面縱隊の隊列は蜿蜒として續いた。かくて高千穂街道と熊街道の交叉する明三叉路に出たが未だ敵影を見ず、午後二時バ部落着を通過したとき初めて敵兵と熾烈なる遭遇戦を演じた。

警備本隊

氣負ふ我が精銳のヒタ押しを阻むに餘りに無力だつた。と突如、頭上に轟々たる爆音が降つてきた。無念敵機群の來襲である。さかんに煙彈を投下して敵迫撃砲の射撃観測を行ふ。これに對して友軍は三城中尉の率ゐる機關銃隊がすでに明川の線に進入して敵陣に確實なる猛射を浴せてゐる「突撃ッ」すでに隨所に號令は下つた「前へ」劍の林は一せいに起上つた。明川をへだてて五十米敵陣に必殺の嵐も雪崩れ込む、これを支へんとして敵陣の全火器は前にも増して猛射の火を吐いた。自ら陣頭に指揮をとる福田部隊長も遂に負傷する一大激戦となつた。敵の放つた自動短銃の一弾に同部隊長は左大腿部に首管銃創を蒙つたが何のこれしきにと、強氣な隊長は流れる血潮を拭ひもあへず、攻撃前進を命令してゐる。見兼ねた西保少尉が「部隊長殿傷のお手當を必死に抱い後方にお退り下さい」と必死に抱き留めようとするが隊長は聲も荒らさず「副官弱音を吐くぢやない戦死は覺悟の前だ」と叱咤した。そして少尉の肩を借りて隊長必死の陣頭指揮は續けられたが、少尉もすでに迫撃砲陣の炸裂に背部と左大腿部に負傷の身に部隊長を擔うて悽愴なる進撃を續けた。

かくて股々たる砲聲と銃爆聲、屍山血河の血風にあつた十一月一日は不氣味な黄昏を迎へてゐた、ジャングルの落日は早い、その落日を踏んで川満隊長に續ぐ一團のつばはものたち、あるものは頭に巻いた繻帯に鮮血を滲ませ、あるものは手に足に同じく負傷してゐた。彼等はしかしその痛みも忘れてゐるやうである。ましてすでに丸一日咽喉に一物も通さ

折から滿潮時を迎へたジャバ河はギラついた急流を上から下へ押し流してゐる。銃を高くと頭の上に捧げ進むつばはものたちの激流と戦ふ姿、水量を増したジャバ河は膝から腹へ、腹から胸へ、容赦なく這ひ上つてくるのを辛うじて首の邊りまで水は止つた。そのとき、奇妙な運傳が前から後へ次々と傳へられて行く「鰐に氣をつける」「鰐に足をとられるな」ジャバ河は著名な鰐の棲息地帯なのである。今や激流だけが前進を阻む敵ではなかつた、思はざる見るもばきみな鰐が我がヒタ押しと前進を阻まうとしてゐる。このあつ

がジャンジャン飛出して来る日もあらうぢやないか」部下將兵が如何ばかり強い熱望で友軍機の飛來を待たびてゐることか、それを最もよく知り抜いてゐるのは福田部隊長であつたであらう。静かな微笑にそれを聞くと福田部隊長の心事は恐らく銃後一機でも多く前線に飛行機を送れ！との熱烈な願望であつたであらう。

左に大場部隊が攻撃展開した、火蓋は敵迫撃砲の發射に切つて落された。我が面も振らず斬つて入る白兵戦法に恐れをなす敵アメリカ軍は飽くまでも優勢な火力に物をいはずうといふのだ。低く垂れ込めた灰色の曇り空に俯する迫撃砲の凄じい唸り、だがそれとしても米軍殲滅に

かくて午後二時火蓋を切つた遭遇戦は時を逐うて愈々熾烈を極め六時卅分には敵重砲の参加に加へて艦砲射撃の集中火は一せいに友軍に降り注いだ。三機編隊の計十五機、敵艦爆も我れに襲ひ掛つてきた。地上に於ては水陸兩用戦車二輛も我が陣地を一舉に粉碎の勢ひで迫つてくる。急遽参加した清原少尉の率ゐる〇隊

前進を阻まうとしてゐる。このあつ

前進を阻まうとしてゐる。このあつ

前進を阻まうとしてゐる。このあつ

前進を阻まうとしてゐる。このあつ

前進を阻まうとしてゐる。このあつ

前進を阻まうとしてゐる。このあつ

前進を阻まうとしてゐる。このあつ

前進を阻まうとしてゐる。このあつ

前進を阻まうとしてゐる。このあつ

前進を阻まうとしてゐる。このあつ



砲が零距離射撃の威力に敵戦車を撃退したとはいへ、施すに術なき敵重火器部隊の猛攻であり、飛行機の跳梁である。ああ、されどもよ、神明の加護常に我にあり、雨を孕んで空に蟠つてゐた暗雲が次第に姿を大きくしてゆくといふや、ポツンと落ちた雨滴はやがて沛然たる豪雨を誘ひだした。吹き募る風、横なぐりに叩きつけてくる大豪雨に、さしもの敵重火器陣は急速に威力を失つた。刻々に水量を増す明川に全身ズブ濡れの身をひそめて機を避けてゐた我精銳は、この好機をガツシリ掴んだ。ウオツ、ウオツ、ウオツ、矢聲三度手榴弾の一大炸裂は敵陣をして大混亂に叩き込んだ。豪雨は依然として勢ひ衰へず降り續いてゐる。明三又路にヒタ押しに迫らんとしたアメリカ軍の企圖を徹頭徹尾に砕いて明川の線に後退せしめた將兵の意氣はまさに軒昂たるものがあつた。

### ブルアタ警備支隊

トロキナ岬が刻々に焦土と化しつつある十月一日未明、トロキナ岬より僅かに千二百米のブルアタ島も血風すさぶ一大修羅場と化してゐた。敵は同島に逸早く迫撃砲陣地を推進して對岸のわが水際陣地に猛砲火を浴せた。同島の守備に任じたのは堀内隊甲斐曹長以下〇〇名のわが精銳である。ジャバ灣を壓して迫る敵影にスハとばかり勢ひ立つた精銳は對岸にある本隊に信號弾を打揚げて敵を知らせると同時に陣地に就いた間髪を容れず敵中に放れた我が第一弾の物凄さ、我が先制攻撃に戦闘の火蓋は切つて落された。果せるかな、敵は狼狽した。あくまでも數を

持つ敵は艦砲射撃と空よりする爆撃の掩護下ににじり寄りやうに刻々に近づいてくる。死なば共にと誓ふ鐵石の團結と敵殲滅に凝つた旺盛なる戦意は敵が近づけば近づくと程昂揚してくる、射つた射つた銃身の赤くただれるまでに射捲つた。灼くやうに暑い太陽が頭上に迫るころ既に敵の一部はブルアタ島に上陸を始めた。馬鈴薯を浮べたやうなブルアタ島、防備正面はあまりに廣かつた。すでに敵は自動小銃を亂射しつづ十五米に迫つた、得たり手榴弾を以て酬ゆるのみ、接敵十五米矢繼早な手榴弾の雨は果して敵の戦意を挫いた。その間隙を衝いて必殺の白兵戦法は白刃をかざして敵中に躍り込んだ。嬰兒のやうな啼聲を擧げて逃げ惑ふ敵アメリカ兵の笑止せよ、かうして第一回は敵を見事却けた。だが、なほ寸刻の休憩も許されぬ、敵陣に碎かれた陣地の再構築、まだ傷つたにみえる者は僅かに〇〇名、點呼をしてみる。一ツ、二ツ、三ツ……そこにはブルアタ島守備の大任に任ずるにはあまりに少い兵力が残されたのである。「おい、ブルアタ島がわれわれの死處になつた、光榮の至りだ考へてみる、ブルアタ島こそ日米死闘のソロモン戦線中の第一線だぞ」甲斐曹長の言葉に「さうださうだ、男と生れた甲斐があつたぞ、ソロモン戦線とは悪くない死場所だ」怒濤のやうなひびきが反響して

く、敵の反撃は再び開始された、前にも押しきれぬ攻撃が押し返す彼我の攻防はかくて時を逐うて白熱化した、かくすること六回、太陽はつた、あまりにも凄じい艦砲射撃と

すでに西に廻つて海面にはほのかに暗いペールが覆ひかかつてきた。そのときだ、異様な響きわが精銳の耳を激しく打つのである。攻めあぐんだ敵はつひにわが少數の守備隊に對して水陸兩用戦車を第一線に繰出してきた。それも一輛ならず二輛また、わが陣地に向けて戦車砲を亂射しつづ慕進してくる、がこの戦法もわが捨身の手榴弾を浴びて意の如き前進を阻んだ。しかしこの戦車の突進はさすがにわが守備隊を傷つた。ここかしこに擧る「天皇陛下萬歳」の壯烈なる叫び、驍の御楯は戦つて戦ひ抜いた最後の一瞬を莞爾と笑つてソロモン戦線に散つて行つた。かうして深い闇が落ちた、對峙十二時間辛うじて陣地を死守したが、そこにはあまりに少い人数が残された、彼我の砲火は夜に入つて熄んだ。甲斐曹長は喘ぐやうな苦しい呼吸で部下に番號を命じた、暗い深い闇のなか、低く落した聲が「一から四までの番號を傳へた」「それだけか」といふ聲と一緒に曹長はガツクリと腰を落した。その日未明に始つた激闘十二時間の疲労も手榴弾に葬つた際に受けた左上臍部の負傷もあつたであらう、がそれにも増して曹長の心身の支へを奪つたものは多數の部下を失つた責任感だつた。ああ死に遅れた……その痛恨が甲斐曹長の胸を

はげしく噛むだ「財部軍曹に吉原、染谷、津久田これツきりか」甲斐曹長を加へて最後の五人が敵重砲のなかに明日からの戦闘を考へ練らなければならぬのだ。對岸にある本隊からの救援の如きは思ひも寄らなかつた、あまりにも凄じい艦砲射撃と

反復爆撃が友軍陣地に加へられたのを指揮の間に見た五人だつた。この重砲のなかに残された道は……たつた二つ、斬死か、脱出か、が曹長の決心はすでに定つてゐた……斬死のみ、曹長は静かにそれを傳へ、息詰るやうな沈黙の静寂が流れる、突として口を開いたのは財部軍曹だつた。

「曹長殿脱出せませう、五人が協力してゆけばなアにこの位の海は對岸に渡れる、さうしなければせつたか」戦死者たちの働きは埋れてしまひます、救命胴衣を探して來ますから暫らく待つてゐて下さい」その聲と同時に軍曹の姿は深い闇の中に吸ひ込まれていつた。見るべし〇〇健兒の剛膽ぶり、軍曹は單身敵中に五個の救命胴衣を求めて出發した、身を護る武器としては腰に佩いた軍刀と一發の手榴弾のみといふ輕装だ「危ない危ないもう少しで發見されるところだつた」冗談笑ひに、やがて歸つてきた、軍曹は敵中から見事六個の救命胴衣を奪つてきた「まだ島は吾々の手に残されてゐるのだ」たつた一本残された名もなない樹木の梢に静かに白いものが上つてゆく、血に染んだ日章旗が吉原伍長の手に繰られて梢高く上つていつた「國旗に對し奉り、頭中ツ」ああ日章旗よ、喰入るやうな五つの視線が稍高い日章旗を見詰めて敬虔なる一ときは流れた。

脱出準備は成つた。ブルアタ島を包圍する敵輸送船團を尻目に財部軍曹、吉原伍長の順序で海面に躍り込んだ。黒い海流がグツと滾ぶやうに二人のつはもの姿を呑んだ、甲斐曹長は負傷のためにすでに泳ぐ力を失つてゐる、早速の機轉は染谷上等兵と津久田一等兵が巻脚絆を甲斐曹長に縛りつけた、巻脚絆を口に啣してジャバ灣の狂濤二百米を泳ぎ切らうといふのだ。僅かな星明りを残して月のないのが儼然だつた、大きく抜手を切るのとグイと波濤は後ろに蹴られた、わが航空部隊の來襲にそなへてであらうか、完全な燈火管制に敵輸送船團に遮つてゐるの影で巖のやうに前方に遮つてゐるのみである……何時間か経つた、相前後してジャバ灣に投じに五名だつたが、海流の悪戯はたちまちに引離して財部軍曹、吉原伍長は對岸のブルアタ

兵陣地に巧みに突破して川滿〇率に收容された」戦友愛の強い絆に率に海上を漂ふ甲斐曹長、染谷上等兵、津久田一等兵の三組三人は何うなつたらう、めざすトロキナ岬の友軍陣地附近に辿り着いたものの、そこに既に敵アメリカ兵の充満する敵中に上陸した三人だつたのである。ただ四邊を領したる深い闇がこの三人にとつての隠れ蓑だつた、それと不幸なことに其の時曹長は死の一手前を彷徨してゐることだつた「おい、染谷、津久田……」ソツとするやうな冷たい聲が掛つた。見るとベツタリと地面に坐り込んでゐる甲斐曹長だつた、前のつもりだつたらう、曹長の膝の前には鐵帽が据つてのやうに正しく置かれてゐる、畫問あるその鐵帽が……「もう歩けない、二人にこれ以上迷惑を掛けたくないのだ、俺は自決す

「曹長殿、馬鹿なことをいつて……もう少しの頑張りだ」

その染谷上等兵、津久田一等兵にきびしい聲で「染谷上等兵！甲斐は笑つて死んだと傳へてくれ」と制するやうにいふが早いか曹長はカチリと鐵帽の頂きに手榴彈の信管を打ち

當てたのである。危い、思はずさけんだ瞬間手榴彈は轟然炸裂した。「天皇陛下萬歳」三聲にやらざりまで甲斐曹長は奉唱したのだ、手榴彈の煙のうせた時には既にさつきの面影もない曹長がそこに横つてゐた

曹長のせめても心遣りは最後の瞬間まで染谷、津久田の兵が傍らにあつたことであらう。曹長と染谷上等兵は奇しくも同郷同村、幼い日の同じ學舎に先輩と呼ばれ後輩と呼ばれ

さればこそ日米死闘のソロモン戦線に強い強い戦友愛に結ばれた二人だつた。ああ鬼神も哭くべし、甲斐曹長の壯絶なる最後よ、爆撃前手の手榴彈を靜かに胸に押當てたのである

染谷上等兵の手で遺髪遺爪は取られたが、友軍まではまだ遠い道だつた悲歎と飢と疲勞の身を敵中に潜伏してジャバにあつた赤井隊に收容されたのはそれから五日後のことだつた

### 決戦の空ルウバラ

きはまる航空決戦の連続である。私はいま〇〇航空基地にあつてこの懐

愴なる決戦を身近に體驗し、海鷲たの活躍を目のあたりに見てゐる。以下は〇〇航空基地における戦闘機部隊の座談會で、とつとつと語る勇士らの固い決意である。

問 敵は執拗な航空反攻をつづけてゐるが、その企圖は、司令〇〇中佐 敵は先づわがラバウルの航空基地を攻撃して、その兵力を消耗させ、ひいては同方面へのわが補給路を遮断し、自己に有利な態勢を整へようとして焦つてゐることは明白だね、この反撃の時機が永びく

ほど彼等は不利な態勢になるものだから、この際なんとかしてと思つて非常にあせつてゐる様だ。問 内地ではこの方面の情勢をとて

司令 心配してゐる。難い、だが我が航空部隊が途在な眼力大丈夫だ。それに基地としての構へも鐵壁であり、さう簡単に敵の思ふやうには參らぬさ。今年こそ敵の反攻を打碎く撃碎の年だよ、ここで

〇〇司令は、撃碎の年を迎へた新春の感想だと日記帳を開きつづつ、成つてはゐないが十七文字で表せば次の通り、と一笑した。

大群の征きて明けゆく初日哉  
みんなみの空撃碎の誂いたる  
大空や獅子奮迅の春迎ふ  
私は常に部下に次の如くいづてゐる  
私には無念無想、これは戦闘機搭乗員として最も必要なことはいふまでもない。その二は「人の和」搭乗員と地上勤務の協同空戦の際における列機間水も洩らさぬ連繫、最近の空戦は大編隊群同士の戦であり、一騎討ちといふやうなことは昔のことだ。その故にこの協力一致は非常に

大切だ。その三は「空の健康部隊」これもいふまでもなからう。以上三項を當隊のモットーとしてやつてゐる。部下はみんなこの意を體して實によくやつてくれる。

問 飛行長、敵の機種、戦闘方法などについて、飛行長〇〇少佐 戦闘機ではロツキードP38、グオート・シロルスキーF4U、グラマンF6F、ベルP39艦爆雷撃機中機機ではノースアメリカンB25、マシーンB26、襲撃機はグラスA20A、大型機はコンソリデーテッドB24、大體こんなものだねB17は最近來ないやうだ、濠洲方面へ行つてゐるらしい。

飛行長 カーチスP36は高々度で來てその下にシロルスキー、グラマンベルなどの戦闘機群が低高度あるひには中高度の中機機を護つてゐる、大型機は高々度から直撃していきやうだ、そのいづれも少數の爆撃機に戦闘機を多数配して、大掛りな集團戦法を試みて來る。

司令 敵はあの手、この手といろいろ變へてやつて來るね、毎回少しづつ變つた戦法を採つてゐる。飛行長 奴等は味方が絶対に有利な態勢でなければかかつて來ない、一寸不利だと思つたらすぐ引返していく、それに戦闘機と爆撃機の調和もとれてゐないやうだ、指揮官機あたりも高い所を飛び廻つて自らはかかつて來ない。

司令 天候が悪いから侵入するのを止めようとか、雲が多いから今日は爆撃を止めるとか、なんとか理由をつけてラバウル上空へ入るのをしづめてゐるやうに見受けられるね

問 敵の士氣、技倆など如何ですか

司令 やはり以前に較べると搭乗員個々の技倆は劣つてゐる様だし、士氣も大分おとろへてゐるね、それを量的に補給でもつて補ひ、叩いても叩いても反撃の手を休めないことは注目すべきだ。

飛行長 連續的にやつて來るところを見るとその戦意もなかなかあなどり難いものがある。然し現在の状態では氣の毒ながら敵の企圖する、わが航空兵力撃滅は非撃滅戦となつて水泡に歸しつたつある。

司令 さうだ、銃後では心配してゐるさうだが、決して悲觀視する必要はない。ただ申したいことは航空部隊はいま全員必死の覺悟で奮闘して、非常な差でもつて戦に勝つてゐる。然し敵の航空機と人の数が我方に比較して相當開きがある。この差

が大きいほど戦は苦しい、少くもなればわが方が絶対有利になつて來るのだ。前線のわれわれは來る敵は必ずやつつける、銃後ではその補給に萬全の策を講じていただきたいと思ふ。

司令、飛行長 敵も補給にはやはり相當悩んでゐるらしい、その一例として不時着收容部隊といふのを編成して、空襲のあつたあたりしばらくすると必ず飛行艇に戦闘機をつけて附近海上へ拾ひに來る。こちらがそれを追つていくと、不時着者を放つとを逃げていく。來襲する毎に大量に墜されるので、その補給もなかなか苦しいらしい、だから戦は頑張りだした戦には頑張りつづけた方が勝つ補給ではひとつ實戦談を聞かして下さい。

〇〇飛行長 十一月二日トロキナ岬攻撃の時、自分たちは味方の水雷

戦隊が敵と夜戦をやつた歸りを迎へに行つた。敵の上空に達すると碇泊中の船や上陸中の船などうぢやうぢやうあつたので、いきなり低空に下つて銃撃を加へたら、敵は慌てふためて、大錢など片舷へ集るものだから、その重みでひっくり返つた舟が何隻かゐる面白かつた。

〇〇飛行長 同日日敵は二百数十機の大編隊でラバウルに來襲した。この時自分はP38一機、ダグラス二機、B25一機と計四機墜したが實に痛快だつた。

問 あのだ二百機撃墜の大戦果をあげた日ですな。

〇〇一飛曹 さうです。全くあの空戦は愉快だつた。自分は、P38三機B25二機の五機墜したが夢中で戦つた後、はつと氣がつくとタンクと方向機をやられ、火を喰ひてゐる、被弾も相當にあつたので海上へ不時着しようと思つて港の上空から海面へ下つた、碇泊中のわが驅逐艦からはカッターまで下して救助に出て呉れる模様だ。思ひきつて着水しようとした時、發動機の調子が少しも狂つてゐないのに氣がつき、これを捨ててしまつては勿體ないと思つたのでもつてきた。

〇〇飛曹長 マーカス岬攻撃の時〇〇機を直掩して行つた敵陣には輸送船八隻、大發十二隻が海岸寄りになつて少し離れて巡洋艦もた。敵機はP38十機、P39が八機ほど上空哨戒してゐたので、こいつやつつけてやらうと思つたが、それでは〇〇機直掩の任が果せないの目もくれず〇〇機と共に敵船團へ突込んだ。この時の戦果は確か巡洋艦一隻、輸送船三隻、その他トラ、大發多數撃沈

### 勝利の鍵は

#### 増産補給戦

現地海鷲部隊座談會

南太平洋〇〇基地

眞下海軍報道班員

ラバウルの空は血なまぐさく、けふも空戦、あすも空戦、夜を日についでの壯絶きはまる航空決戦の連続である。私はいま〇〇航空基地にあつてこの懐

大群の征きて明けゆく初日哉  
みんなみの空撃碎の誂いたる  
大空や獅子奮迅の春迎ふ  
私は常に部下に次の如くいづてゐる  
私には無念無想、これは戦闘機搭乗員として最も必要なことはいふまでもない。その二は「人の和」搭乗員と地上勤務の協同空戦の際における列機間水も洩らさぬ連繫、最近の空戦は大編隊群同士の戦であり、一騎討ちといふやうなことは昔のことだ。その故にこの協力一致は非常に

大切だ。その三は「空の健康部隊」これもいふまでもなからう。以上三項を當隊のモットーとしてやつてゐる。部下はみんなこの意を體して實によくやつてくれる。

問 飛行長、敵の機種、戦闘方法などについて、飛行長〇〇少佐 戦闘機ではロツキードP38、グオート・シロルスキーF4U、グラマンF6F、ベルP39艦爆雷撃機中機機ではノースアメリカンB25、マシーンB26、襲撃機はグラスA20A、大型機はコンソリデーテッドB24、大體こんなものだねB17は最近來ないやうだ、濠洲方面へ行つてゐるらしい。

飛行長 カーチスP36は高々度で來てその下にシロルスキー、グラマンベルなどの戦闘機群が低高度あるひには中高度の中機機を護つてゐる、大型機は高々度から直撃していきやうだ、そのいづれも少數の爆撃機に戦闘機を多数配して、大掛りな集團戦法を試みて來る。

したやうに思ふ。
〇〇飛曹長 おい、ツルブ攻撃の時
の不時着二人男、あの時の話をしろ

〇〇飛行兵長 あの時敵甲巡、大
烈輸送船が相富るといふ情報で、
〇〇機の直掩隊として出かけた、行
つてみると輸送船十二隻の外に、巡
洋艦と驅逐艦がその周囲をぐるぐる
廻つてゐた。敵はP38、P39など約
六十機が七千五百米から八千八千
から四千五百米、二千米から三千米
と三段構へになつて警戒してゐた。
爆撃開始前に空戦に入り、自分はP
39を一機撃墜した時、發動機をやら
れて附近の密林に不時着した。それ
から密林を歩き湿地帯を渡り、陸軍
部隊にたどりついた。十七日目
に基地へたどりついた。

〇〇一飛曹 もうお前は歸つて來な
いものと思つてゐたよ。
〇〇飛行兵長 自分もこの時やられ
たので海へ下りた。陸岸まで泳ぎつ
いた時はもう暗くなつたので、その
日はそのまま木蔭に寝た。翌朝海岸
の砂濱に足跡を發見したので、その
足跡をたどつて、歩きつづけてゐる
と、途中で陸軍の兵隊に逢つた。そ
の日も野宿、次の日ある河を泳ぎ渡
らうとしてゐると、目の前に大きな
鰐が一匹ぬつと出て來た、これはい
かんと慌てて向を變へて泳ぐと、そ
の鰐の奴、ゴミの下をくぐりながら
ついて來る、こいつはますすいけ
ないと思ひ直して今度は海へ出て、
この時は流石にひやつとしたね、鰐な
どに食はれて死んで申譯ないと思
つた。

〇〇飛曹長 一月十七日の遠撃戦も
長かつたね、この時は情報も早く入
り敵が來るまでに約二百機來たの
を遠撃優勢を盡へ、約二百機完全
に來る奴を倒し、片端しから叩き墜し
た。この時の戦果は地上、海上部隊
など全部で百二機撃墜、航空隊のみ
で八十七機撃墜した。然も我方未歸
還なしの一方の大戦果だつた。

〇〇一飛曹 一月一日の朝B24二十
一機と戦闘機の約百機がカビエン方
面からラパウルを爆撃して歸りケン
たの捕へて攻撃にうつつた、直衛
の戦闘機と爆撃機の間を抜けて、B24
に突きかかつた。火を吐いて墜ちて
いく、不時着したら銃撃してやらう
と思つてゐると間もなくガゼレ岬の
方向で眞赤な火をはき眞二つになつ
たと思ふと中から落下傘で三名飛び
降りた。それをわが驅逐艦から拾ひ
に行つたのだが、あとで聞けた、こ
のうちの一人がガゼル岬島にゐ
る敵の空軍司令だつたといふ。

〇〇一飛曹 一月三日だつたがガラ
マン機が低高度でやつて來た。追
ひかけて射ちまくつたが、なかなか
墜ちない。燃料を吐いてゐるがまだ
墜ちないので頭の方から一撃すると
やがて火を吐き海上二百米の所で落
下傘で降りた。こいつ生捕りして置
やれと思つて銃撃せずにその位置を
味方の船に知らして引上げた。これ
はその日の敵戦闘機隊長だつた。

〇〇飛曹長 一月十七日の遠撃戦も
長かつたね、この時は情報も早く入
り敵が來るまでに約二百機來たの
を遠撃優勢を盡へ、約二百機完全
に來る奴を倒し、片端しから叩き墜し
た。この時の戦果は地上、海上部隊
など全部で百二機撃墜、航空隊のみ
で八十七機撃墜した。然も我方未歸
還なしの一方の大戦果だつた。

〇〇一飛曹 一月一日の朝B24二十
一機と戦闘機の約百機がカビエン方
面からラパウルを爆撃して歸りケン
たの捕へて攻撃にうつつた、直衛
の戦闘機と爆撃機の間を抜けて、B24
に突きかかつた。火を吐いて墜ちて
いく、不時着したら銃撃してやらう
と思つてゐると間もなくガゼレ岬の
方向で眞赤な火をはき眞二つになつ
たと思ふと中から落下傘で三名飛び
降りた。それをわが驅逐艦から拾ひ
に行つたのだが、あとで聞けた、こ
のうちの一人がガゼル岬島にゐ
る敵の空軍司令だつたといふ。

〇〇一飛曹 一月三日だつたがガラ
マン機が低高度でやつて來た。追
ひかけて射ちまくつたが、なかなか
墜ちない。燃料を吐いてゐるがまだ
墜ちないので頭の方から一撃すると
やがて火を吐き海上二百米の所で落
下傘で降りた。こいつ生捕りして置
やれと思つて銃撃せずにその位置を
味方の船に知らして引上げた。これ
はその日の敵戦闘機隊長だつた。

〇〇一飛曹 一月三日だつたがガラ
マン機が低高度でやつて來た。追
ひかけて射ちまくつたが、なかなか
墜ちない。燃料を吐いてゐるがまだ
墜ちないので頭の方から一撃すると
やがて火を吐き海上二百米の所で落
下傘で降りた。こいつ生捕りして置
やれと思つて銃撃せずにその位置を
味方の船に知らして引上げた。これ
はその日の敵戦闘機隊長だつた。

マシーンヤル

血戦對談

本社 主催

マシーンヤル歸還將校
甲 海軍主計大尉
乙 海軍主計中尉
マシーンヤル諸島に對する敵の侵攻
作戦がいよいよ執拗を極め、我が
航空部隊及び守備隊の遠撃また勇
猛無比 逐次戦果を収めてゐるが
宛もクエゼリン、マロエラツプを
はじめマシーンヤル諸島全域で守備
將兵と辛苦をともにした前記二將
校がこの程歸還したのを機に、本
社が兩將校の出席を乞ひ、前線を
偲ぶ對談會を催した。

マシーンヤル方面の戦局はまこ
とに重大化してをり、同方面部隊が
あらゆる勞苦を克服して戦つてゐる
かを話していただき、全國民の奮起
を促すとともに飛行機、船の増産に
さらに拍車をかけたい。

單調 平擔な環境
甲 向うはこちらと違つて慰安とか
娛樂とかいふものが一つもない。二
週間一回位映畫があるくらゐのも
ので、それも月明になるとやれない
本社 あの邊はギルバートと同じに
一メートルも掘るとすぐ水の出るや
うな所か。
甲 さういふやうな所で、全く平つ
たい地形だ。
本社 要塞を造るにしても防空施設
を造るにしても非常に不便な所だ。
甲 弱るのは年がら年中暑いのみで
變化がないことだ。いつも椰子が茂
つてをるし、海岸の景色なんかは初
め行つた時にはいゝなあとと思つたが
一回か二回海岸へ出て見るともうそ
が單調さに厭きをこぼす、それに水
が悪いので胃腸をこぼす、身體の弱
い人はデング熱に罹つた際に黃疸を
やつたりなどして随分身體が弱る。

僕など向うを出發する頃には全然食
つてをった、〇〇砲の試射なんかし
てね。
乙 僕らがマロエラツプにゐた時は
二へんばかり空襲があつた、ギルバ
ート作戦の始まつた時だ、航空隊は
非常に張り切つて、敵が上空に來る
前に舞ひ上つて遠撃した。
本社 タラワ、マキン玉碎當時マ
シーンヤル方面の兵隊にどういふ反響が
あつたか。
乙 クエゼリンだけは斷じて玉碎せ
ぬぞと頑張つてゐたよ。
甲 タラワでもフナフチを爆撃した
りした、飛行機が歸つて來ると守備
隊、航空隊の地上員、設營隊の連中
などが、ワツツと飛行機の傍へ寄つ
て來て「全彈命中したか」と聽くん
だ「全彈命中に命、何個所から火災
を生じた」と聞くとき手を打つて喝采
するんだね、あの點ではタラワ、マ
キンの前線の設營隊にしては皇軍勇
士は勿論だけれども、非常に張り切
つてをつたと思ふ。

戰闘機隊が應援に出撃する時な
ど、整備隊の者も帽子を振つて盛ん
に激勵してゐた、敵機が來ると、自
分の飛行機の方へ駆け行つて、滑
走路など走らせたつことと芝生でもな
んぞも滑走して駆けて行きました。
甲 昨年九月に大島島の空襲があり
十月の初めにタロアの空襲があつた
ので敵はきつとマシーンヤルに來るだ
らうと思つてゐたが、あのタロア、
大島島の空襲があつてから一層猛訓
練をやつた、殊に毎日の夜間飛行は
凄かつた。あの時から司令以下けん
とうに、こんど來たらやつて來るや
らうと敵の機動部隊のやつて來るや
らうと敵の航空隊であれだけやつつ

食糧は罐詰と天水
本社 食糧はやつぱり罐詰ですか。
甲 罐詰ばかりではなく生糧品も入
るが、段々悪くなつて來た、罐詰も
初めはいいが、毎日となると、罐詰
の臭いが鼻につくやうになつた。
乙 出來る野菜は瓜類だけ、メロン
や南瓜や瓜は栽培する。
本社 罐詰の中味はどんなものか。
甲 野菜の罐詰で、菜つ葉や人参や
牛蒡など――さういふやつをたゞ湯
を通して罐詰にしてある、それを開
けて味を詰けるわけだ。
乙 そのほか網で魚をとる、黒鯛み
たいな魚が多い。
甲 デイサンといふのがあつたね、
かう髭を生やした……
本社 まづはないが。

守備隊の士氣冲天
甲 十月六日の大島島の空襲の直後
にはマロエラツプの守備隊が張り切
つてをった、

守備隊の士氣冲天
甲 十月六日の大島島の空襲の直後
にはマロエラツプの守備隊が張り切
つてをった、

けたのは結局その成果だらうと思ふ  
淡々たる死生觀  
本社 敵の飛行機の性能なんかは如何ですか。

乙 捕虜なんか日本は戦艦機を見

甲 「あれは恐い」といつて負けた  
一機對一機の飛行機に早いのが

乙 一對一の空戦だとたへ性能が  
同じとしても技術は我が方に一日の  
長がある。しかし敵が三機四機とま

甲 何といつても機数が少いね、あ  
れだけ廣大な正面をわづかの兵力で

乙 輸送の便のない所は半年ぐら  
かからず、食糧品などは大半駄目にな

乙 設營隊の士氣はどうか  
本社 設營隊もギルバートとマーシヤ

甲 一回貰つたきり、やつぱり自分  
の家から来る手紙が一番嬉しいらし

乙 設營隊の後などは、非常に士氣旺盛  
なものがあつた、爆撃されてもパツ

乙 設營隊も早急に欲しい、併せて  
我が方の機動部隊も強化したいとい

んと張り切つてゐる時と、自爆する  
時とのけぢめが全然分らんといつて  
敬服してゐた「今日死ぬぞ」なんて

乙 〇〇大尉がナウルから歸り、第

甲 吾々がゐた時から何時もここは  
軍の防備の第一線だから、絶対に守

乙 先づ何を措いても飛行機を造つ  
てもらひたいことだらう。

甲 吾々がゐた時から何時もここは  
軍の防備の第一線だから、絶対に守

乙 先づ何を措いても飛行機を造つ  
てもらひたいことだらう。

甲 吾々がゐた時から何時もここは  
軍の防備の第一線だから、絶対に守

乙 先づ何を措いても飛行機を造つ  
てもらひたいことだらう。

甲 吾々がゐた時から何時もここは  
軍の防備の第一線だから、絶対に守

乙 先づ何を措いても飛行機を造つ  
てもらひたいことだらう。

何よりも飛行機と船  
本社 今戦つてゐる將兵の方々のお  
氣持を推し量つて、その方々に代て

乙 先づ何を措いても飛行機を造つ

甲 吾々がゐた時から何時もここは  
軍の防備の第一線だから、絶対に守

乙 先づ何を措いても飛行機を造つ  
てもらひたいことだらう。

甲 吾々がゐた時から何時もここは  
軍の防備の第一線だから、絶対に守

乙 先づ何を措いても飛行機を造つ  
てもらひたいことだらう。

甲 吾々がゐた時から何時もここは  
軍の防備の第一線だから、絶対に守

乙 先づ何を措いても飛行機を造つ  
てもらひたいことだらう。

甲 吾々がゐた時から何時もここは  
軍の防備の第一線だから、絶対に守

乙 先づ何を措いても飛行機を造つ  
てもらひたいことだらう。

### 出陣學徒 荒鷲の敢闘

學徒出陣の  
に追及すべく上昇してゆくと、友軍  
の編隊中に毛色の變つた奴が一機混  
兵の士氣を非  
常に昂めてゐ  
る、特に敵米  
軍の主體が學  
生出身である  
といふ事實を  
見ると、實に  
皇國の學徒が  
國難に殉せん  
と勇躍出征し  
て現れたつた  
千米足らずの  
マニ山系さ  
へ越せなくな  
つた、仕方な  
く鎌首を  
持ち上げて上  
昇を始めた、  
かくて敵  
が詭向の姿勢  
をとつた瞬間  
バリッ  
と止めた一撃  
を加へると、  
もんどり  
打つた敵機  
のなかから黒  
い塊が飛び  
出し、落下傘  
が開いた、恥  
知らずにも  
それにぶらさ  
がりつつ大手  
を振り  
振り助けを乞  
ふ操縦者の卑  
怯さ加減  
には呆れ果て  
た。

### 操縦士官

攻防の火花散るアラカン空の戦戦に  
いまだいに活躍してゐる學徒がある  
この勇士こそは操縦幹部候補生出身  
の五味中尉(長野縣人)で以下同中  
尉の敢闘記である。  
(ビルマ前線基地にて、秦、川手特派員)

その一 出口准尉(鳥取縣)と共に  
隊長機の僚機となつてアラカン山脈  
を越えてアキヤブの上空を少し過ぎ  
たころ、六千米ぐらゐの高度で突  
如敵スピットファイアー一機が隊長  
機を攻撃して来た、隊長を撃たせて  
はならぬと中尉は直ちにこの敵に向  
ひ猛烈な護衛射撃を加へて、その機  
首を隊長機から外させるとともに、  
急降下して遁走してゆくところをグ  
ンゲン追跡高度二千米のところを途  
に撃墜した、これでよしと再び編隊

その二 中尉らの編隊がアラカン山  
脈を越え、マニ山系を西に見つづア  
チドンからトングク・バザの方向に  
飛翔してゐるとスピットファイアー  
四機がこちらの眞下を反對の方向に  
通つてゆく、良き獲物とばかり直ち  
に接敵を開始、まづその編隊長機に  
一撃を見舞ふと呆氣ないほどの脆さ  
で眞つ逆様に墜落、隊長機をやられ  
た敵の僚機は直ちにその鎌首をもた  
げて来たが、その手は喰はぬとサツ  
と同遊してこちらから逆攻撃をかけ  
た、二十米ぐらゐに近づいてバリバ  
リツと一連射を浴せた、ボーツと燃  
え上つた次の瞬間敵機はドカンと地  
響をたてて墜落した、とたんにその  
破片が遽り一面に噴き上げられ中尉

吹き上げられた敵機の破片の真下を飛び抜けた、中尉はこの日十六ミリの撮影機をつけてゐたが、この時の空中戦は最後の撃墜までごとごとくそのフィルムに収められてゐる。その三ノム戦線ナゲドーク上空からモンドウ方面へ飛翔中○隊長の僚機が敵の奇襲を受けた、すぐ傍を飛んでゐた中尉がこの敵機に對し支援射撃をする。敵は急降下して逃げ出した、○隊長以下編隊僚機がこの敵を追ふべく左旋回する、また別の敵機が生意氣な奴だ、隊長が撃たれてたまるものか、直ちにこれを追ふと僚機も亦これを追撃してつひに撃墜した、だが中尉はこの時、さらに新たな敵に奇襲されて中尉機はつひに傷ついた、翼に胴體にペラペラと九發の敵弾が大穴をあけた、だがこの傷ついた愛機を以てあくまでも隊長と同僚機の支援をつづけたのであつた。

整備士官

航空隊整備士官○中尉は、空の第一線に着任してから滿一年餘、ニューギニア、パナの敵輸送船攻撃を手始めにガダル、レンドバ、ペララ、トロキナ攻撃に至るまで實に百數回を數へる爆撃機隊の攻撃に日夜心血をそそいで機體の整備に活躍、司令をして「彼こそ戦地整備の本領を遺憾なく發揮したものである」と感嘆させた、以下は轉勤を前にこの士官の最新線體驗記「機體と取組んだソロモンの一年」である。

○基地に着いた翌朝、初めて飛行場に足を踏み入れた途端敵三機の襲撃を喰ひ、同時に一機でも多く整備の完璧を期して攻撃に備へなければならぬと強く覺悟した、分隊長が少いから基地に分散してゐる、加へて戦間には苛烈だ、これに應ずる準備をしておかねばならない、内地でもやつてゐたやうな事務的な仕事はここでは宿舎へ歸つて寝る前の一時間位でやつてのければ間に合はなかつた、○にみた頃などは毎日午後十一時半就寝で翌朝午前二時起床といふ日がずつと一ヶ月ぐらゐも続いた當時はガダル攻撃をやつてゐたのであるが何しろ自分と部下○名が整備の全員だ、内地では到底思ひも及ばない多數の受持ち機數を整備してどんどん攻撃に間に合はさねばならなかつた、技術的な苦勞も並大抵ではなかつた、故障原因を突止めるために燃料ポンプを細々に分解しため組立てたり十七回もやつて、漸く調整したこともある、フロリダ島沖海戦の時はエンジン故障で基地の山中に友軍機が突込んだ、この原因を探究するために三日間寝ずでエンジンを探り起し悪い箇所を調べ上げたこともある、内地の訓練では、一度飛び立つた飛行機が調子が悪くて引返してもよいが、前線では直ちに作務に影響する、たとひ故障が製作當初にあつたとしても文句などいつてゐる暇がない、一から十まで自分が責任を負つて徹底的に調整點検しなければならぬのだ、苦しい時もあるが、技術的に悪い箇所を色々工夫して、立派な飛行機を仕上げ攻撃を見送る時はほんとに泣きたい位嬉しかつた。飛行場では何時も、絶対に駄づ足を勵行してゐる、これは戦間即應の態勢をとつたものだ、高工時

代は剣道三段、運動は何でもござれで鍛へた身體ではあつたがルツセル島攻撃のときは、たうとうマリアに罹つた、だが寝たのは二日きりで、あつた三十八度ぐらゐの熱が續いて、飛行場で頭張りとした、下痢など非道い日は一日十四回も便所へ通つた、しかし氣さへは詰めてゐれば病氣の方で顔負けするものだ、蛇もトカゲも喰つた、蛇は鰻のかばに似てゐるし、鰻はなかなかの御馳走だつた。青物不足で滑走路の傍に生えてゐる「せり」のやうな草に鹽をかけて食べた、それもいまだら想へば、愉快な思ひ出である。後續の人達も「ソロモンへ死に行くんだ、それが我々にはのみ與へられた當然の道であり、最後の榮譽である」といふ悟りを開いて來るべきだ、中途半端な考へは絶體に許されな

い、戦ひはこの一年に勝つた勝つた時代から本當に喰ふか喰はれるかの土壇場に移つた。我々に要求されるものは、第一にマリアに罹らうが、下痢に悩まされやうが、或は敵襲で十日間位眠れなからうがびくともしないだけの鋼鐵の身體だ第二にどんな機體の故障をも征服し日に何十回攻撃が行はれるだけの最高度の整備完璧を期し得るだけの全機體の設備、そして最後に如何なる熾烈な銃爆撃下にあつても、自ら率先して機體と取組み、部下を動かして行けるだけの高邁な人格であらうこれが私の體験から生れた結論である。後續學徒よ我々の前途には勝利が約束されてゐるのである。進んで國難突破の礎石たらうではないか。

ラバールの○海軍戦闘機部隊にその先輩たる整備士官が○名居り中には既に操縦桿を握つて大空の決戦に勇戦奮闘、學徒の名を見事に輝かして壯烈な戦死を遂げた勇士さへあるがこの先輩達は「學徒大空につづけ」故國の後輩諸君に次の如く呼掛け、更に其奮起を促してゐる(ラバールにて、真下海軍報道班員)

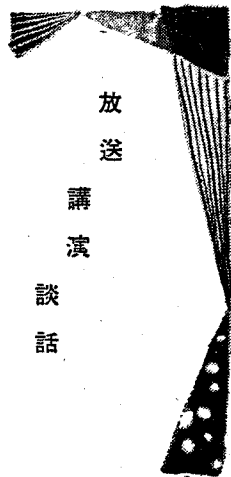
I中尉―日大出身―自分は在學中特殊更趣味をもつてゐた譯でもなく飛行機に關係してゐたこともなく殊更趣味をもつてゐた譯でもなく、然し今次航空決戦の様相を見るにアメリカ空軍の大半が學生出身者だと知つた時、腹の底からうづつたる熱血がほとばしるのを感じた、自分もやれないことはないと思ふと矢も楯もたまらず航空志願をした、いま私は第一線にたつて操縦桿を握つてゐる、大丈夫やれる！五體の健全な海の大空で敵學徒兵と雌雄を決することこそ日本男子皇國の學徒としての本懐だ、故國の諸兄に告ぐ、來れ！太平洋の航空決戦に！

○少尉―中央氣象臺附屬氣象技術官―養成所出身―學生が批難された時代はすでに去つた、南に北に我々の仲間は今全生命を投出して戦つてゐる、現代の戦争は知識の戦だ、精神力は當然のことだが、優秀の知識と體力を練つてゐるものが勝だ、海軍に入つて得た知識を十二分に發揮することとは當然であるが、さらに學園において得た知識を活用するもこの戦場だ。豫備學生出身者が學園で得た知識を活用せねばならぬ機會は戦場において實に多い、外國語において然すればするほどこれは肝要になつてくる要するに學生生活を戦争遂行上最も有意義な生活として過し、續々とわれわれの後につづかれんことを望む。

M少尉―慶大出身―學徒出身者として如何にすれば満足な御奉公が出来るか、自己の體験を通じて明確に云ひ得ることは「眞摯なる學徒は常に有能なる士官である」といふことだ。戦場はわれわれを逞しくし生れ變つた様にすかも知れぬが、それとて基礎なしには有能なものにはなり得ない、體力、氣力、學力、その他總てのものが戦と云ふ峻烈極まる部門でテストされる、而もそれはやり直すことの出来ない決定的なものである、故に満足なる御奉公は常日頃の修練にありと斷ずる。前線の戦友はみな立派に戦つてゐる、當方面の航空戦においても米英の學徒パイロットを物の見事に居り去つてゐる、いまやこの戦は彼我學徒の決戦たるの相貌を呈して來た。乞ふ諸兄、兄等の學窓生活は非常にきりつめられたとは云へ、その期間を有効に費したと云へ、その期間を有効に費し悔ひを残すことのないやうにして出陣されんことを。

S少尉―日大出身―海軍といふところは自分の性格才能を十分に伸ばすことが出来るどころだ、特に俺は飛行機を選んだ、その理由は説明するまでもなからう。アメリカの學生などに負けてたまるものか、俺は最後まで無念無想だだ與へられた仕事に全力をつくしてゐる、豫備士官などといふ觀念は全然ない、これは俺自身もさうだし周囲もさうだ。○君航空隊へ來い、男の働き場所だ、いや君だ、いや、みんな引連れて、いや君だ

先輩荒鷲は招く



放送 講演 談話

### 總てを航空機増産へ

遠藤航空兵器總局長談

遠藤三郎中將は二月七日夕、ラジ  
オ常會の時間に航空機増産の心構  
へと題して放送を行ひ、味方の苦  
しい時は、敵も辛いのだと前線の  
豊富な體験を引用して、今こそ一  
德國民が日常生活に於ても亦戰場  
に於ても總力を擧げて飛行機増産  
の一點に集中すべきことを要望し  
た。

#### 必勝の信念

元來戦争は決して生易しいもので  
はない、苦しいのが當然である、然  
しそれは敵味方同様でわれの苦しい  
時は敵もまた苦しいのである、昔か  
ら戦争は七分三分の兼ね合と申し自  
分が三分、敵が七分の苦しみなら恰  
も同一程度に苦しんでゐるかの如く  
感ずるものである、従つて戦争は最  
後迄勝を信じ絶対に負けたと思はぬ  
鞏固なる意志を以て頑張る方に榮冠  
が授けらるるものである、この意味  
においてアツツの玉碎も『我勝てり』  
マキソ、タラワの玉碎亦然りである  
何となれば玉碎の勇士は、天皇陛下  
の萬歳を唱へ我勝  
てりの信念を堅持  
しつつ突爾として  
悠久の大義に生き  
てゐるのに反し、  
これを見た敵は必  
ずや日本人恐るべ  
しとの恐怖心を心  
の中に刻みつけら  
れたに異ひないか  
らである。然しな  
がら傲岸なる敵は  
その豊富な物資  
力を過信し、まだ  
まだ敗戦感を抱か  
ず、

航空機増産の道は極めて明瞭で  
空中戦士に適する若人は宜しく空中  
戦士たるべし、その他のものは悉く  
航空機の増産に努力すべきである、  
飛行機の生産は極めて廣汎なる工業  
でその關聯する處極めて廣く恐らく  
凡ゆるものがこれに關聯すると思ふ  
からである、一例を飛行機の主材た  
るアルミニウムに採つて見るに、原  
料ボーキサイトは主として海外から  
輸入せられ従つて船がなければなら  
ぬ、又莫大な電力が必要であり爲に  
澤山の石炭を要する、アルミニウム  
の不足は強化木を以て補ふため、尨  
大なる材木を山林から切出しこれを  
薄く削り接着し壓搾して強化木とす  
るのであるが、この接着剤には牛乳  
若くは大豆より採るカゼインが必要  
なのである、即ち田畑を耕し或は乳  
牛を飼はるる農家も、山奥の木樵も  
炭坑の坑夫も、船乗も皆直接に飛行  
機に連なつてをるのでまたこれ等の  
品物は、皆臺所に連つてをるので細  
く、右はほんの一例に過ぎぬが些細  
に航空機工業を検すれば一椀の味噌  
一壘の牛乳、一ワツツの電氣、一個  
の炭、これ悉く飛行機の一部である  
従つて直接生産にたづさはつてをら  
ぬからとて航空機生産に關係なし、  
責任なしと思はるるが如きは大きな  
誤りである。

#### 航機生産

敵を攻撃する場合、主攻方面と助  
攻方面とあることは戦争の定石で  
ある、目下銃後の主攻方面は航空機  
生産で、助攻方面はその他の仕事で  
ある、故に國力の許す限り擧げて直  
接航空機生産に充當すべきで、その他  
の人員、資材、施設、電力等は助攻

的任務に働くべきと思ふのである。  
但し幾何のものを助攻方面に向ける  
かは政府が定めることであるから、  
仕事の如何に拘らず自己の職務はこ  
れ天職なりと心得一心不亂航空機増  
産を念頭に置きつつ働くべきであ  
る。自分一人位怠けようとしたらこ  
とはあるまいと思ふことは斷じてい  
けない。若し定まつた仕事が出来な  
ければ家の廻りに野菜等に南瓜等を栽培  
するのによく厨芥で鶏や兎や豚など  
を飼ふのもよい。或は自分の家の近  
所の道路の破損を補修するの結構  
で、塵も積れば山となる、要は無爲  
に暮すことなく少しでも國の爲にな  
る様戦力を増加せしむること考へ  
て働くことが必要なのである。また  
多忙な仕事を持つてゐる人でも一日  
に廿分や卅分時間を割き得ぬ事はな  
い、時間を割いて右の様なことに働  
き増すことは寧ろ疲勞とならず気分  
を轉換し、殊に家屋内にて仕事をせ  
らるる人々のためには自然を樂しみ  
且土に接するの機會を得るのであつ  
て、健康増進ともなり大いに能率も  
向上せしむる結果となる。右は積極  
面を申ししたのであるが、消極面から  
申せば各人、各家庭が極力無駄を省  
き消費を節約することが、又間接に  
航空機の増産に寄與し得ることを忘  
れてはならぬ、全國の各家庭で電氣  
を二割節約すれば、發電に要する石  
炭が一日二千噸を節約し得ること  
なり、これによつて一日十七機、一  
年六十機の飛行機を作る動力を得る  
のである、彼此皆然りて心掛け一つ  
で前者はプラスの戦力消耗となり、後者  
はマイナスの戦力消耗となり、その  
開きは實に大なるものがある。衣物  
は寒さを凌げば足る、食物は榮養さ  
へあれば可、住宅も雨露を凌げば足  
るのである、かくの如きことは理窟  
でなく要は斷行である。

#### 必需資材の盗用

次に一方主攻方面の直接航空機生  
産に従事する人々は一德國民の選  
手で、第一線部隊の兵站部隊で、そ  
の活動如何は直ちに戦争の勝敗に影  
響し、その一瞬偷安は直ちに我々の  
戦友の血を以て贖はざるべからざる  
結果となるのである。苦しい勤務は  
お察しするがその責任の重大なるに  
鑑み、死力を竭して任務完遂に邁進  
せらるべきである、この重大なる任  
務完遂のため人員にしても、電力機  
械にしても、資材にしても、工作機  
械にしても十分でないことはよく承知し  
てゐるがまだまだ努力次第で能率を  
向上する餘地が尠くない様に思ふ、  
弱音を吐いて人員をくれ、器材をく  
れといふことは軍人が戦場において  
増援を求むると等しく決して名譽の  
ことではない。山崎部隊長は全員玉  
砕するも一度も増援を乞はなかつた  
然るる一部の例ではあらうが増産を  
要求すると直ちに人員、器材等の増  
加を要求し而もその働きは必ずしも  
精一杯でないものも屢々耳にするの  
である、この間も某會社の工具寄宿  
舎から一萬點に餘るジュラルミンの  
私物道具類が現はれたのである、こ  
れ等は飛行機を作るべき大切な資材  
とであり、削面迄「返り材」の名のも  
とにその百分を回収して、再び飛行  
機とすべく努力してゐるのであるの  
で、何等戦力とならぬ指環や、さい  
ころや帶革の前身金の様な小さなもの  
から煙草の吸殻入や手箱、娯樂品、  
馬穴等各種のものを飛行機を作るべ

き機械を使用し、飛行機を作るべき時間を削いで作つたものであつて、監督の地位にある私共何とも申譯のないことと存じ眞に恐縮してゐる次第である。戦争の勝敗を決する主決戦方面を擔當してゐるこれ等の人々に、かくの如きは斷じて許されぬ處である。嚴に猛省を要すると共に各家庭各隣組等におかれても萬一かく遠慮なく御注意を御覧になつたら

△放送△

# 木造船の強化

妹尾海運總局長官談

量を持つ米の總反攻は愈々熾烈を加へてゐるとき、妹尾知之長官は二日六日夕ラジオを通じて全國民に呼びかけ、一刻も早く木船を増産、所期の目標完遂に一億の協力を要望した。放送要旨左の如し。

敵米英は小癩にも今年を總反攻の年と呼號し、遂にマーシャル諸島にまでその反攻の手を伸ばして來た、この秋我々に課せられた最大の責務は多くの航空機と、多くの艦船とを而も一刻も早く前線に送ることである、この重大な國民の責務を果す上

に木船が如何に重要な役割を來しつつあるか、木船の製造及修繕が如何に現在の戦局打開に必要であるかについて述べたい。

第一次世界大戦當時から既に海上輸送力を確保するか否かに依つて勝敗が決せられてゐることは御承知の通りである、其の爲に造船が前線特

望の兵器である航空機と並んで五大重點産業中でも一つの製品工業として特に採上げられたのである、鐵鋼資源が十分でなく又一刻も早く輸送力を増強しなければならぬ現在、短期達成が出来る木船の建造が如何に重要であるかは昨年長くも木船建造に對して御下賜の木材を賜つた事に依つても、戰時行政職權特別に依る内閣總理大臣の指示が先づ第一番も十分に判斷出来る。然し乍ら遺憾も十分には熱意が十分であつて資材、勞務の方面、なかにぐく資材が旨くゆきわたらなかつた爲に、現在の昭和十八年度初にたてた豫定通りの成績には達して居らぬ、然しこのままに昭和十八年度を終る事は出来ないう今回二月一日から三月卅一日迄を特に「木船非常増産及修繕強化期間」と定めて大々的な運動を行ふこととなつた。この際先づ工場の皆様方に申しあげるが、船を早く造れといふ事になつても決して粗製濫造といふ事のない様に特別にお願ひしたい。諸君のほんの一つの怠慢や不注意が數十人の生命と貴重なる資源をあたらし海底の藻屑と化してしまふ結果になるといふ事をよくよくお考になつて頂きたい。

次此の様に輸送力化することを一日も早く期待せられてゐる船であるから、全く造船所と一心同體になつて一刻も早く船を仕上げ、一刻も早く引取つて輸送力化し國家のお役に立たせて頂きたい、尙造船は所謂綜合工業であつて船體、機關、艙裝品はもとより乗組員、食器椅子等になる迄各方面の御協力を得なければならぬのであるし、又此等を作る人々だけでも十分此等の輸送に従事する人々にも十分御協力を願ひねばならぬ、特に鐵道輸送、小運送の協力をお願ひする、今假に約二千萬人の男子が、一年一着の上着の新調を見合せるとその原料のバル用木材約十九萬石が浮き、その木材だけの百噸型の木船が百九十隻出来るので、何萬噸といふ新しい輸送力が出て來て、實際に船を造るのは工場の人々であるが、其の背後の國民凡てが大工道具を持たない木船に従事する勞務者であるといふことがお判りになると思ふ。

最後に今一言お願ひ致し度いことは木船乗組員のこと、皆様の中間から一人でも多光輝ある傳統の海國日本に戦時海運を背負つて立たれん決意を抱いて海上に進出せられんことを切望する。

## 海上作戦の特質

高橋海軍大將

高橋三吉大將は二月廿三日日鐵九州作業場に於て講演を行ひ、海上作戦の特質と必勝の信念に就て述べ、決戦下産業戦士の奮起を強調した。講演概要は次の通り。

國民の中には獨守戰の一進一退に對する批判と同じ眼で南方の戦局を考へる者があるやうだが、それは海上作戦に陸上作戦の相違を知らない者だ。海は戦ひは陸と全く違つた性質を持つてゐることを忘れてはならない、日露戰爭の場合を考へた時、狭い朝鮮海峽で僅か二日間に行はれた海戦の結果はどうだつたか、狭い海峽を占領したのではない、海上權を奪つてしまつたのではない、ここに海上作戦を繞る根本的特質があるのだ、今日の戦ひは航空機の特異な發達により海戦の方法に大革命をもたらした、海上權を奪ふ主力が主力艦ではなく航空兵力に移つて來た譯だ、「一機でも多く」といふ聲はここから起つてゐる、南方には島が多い、航空基地としての島は沈まさない、長所と、機動性が無いといふ短所があるが、航空母艦は機動性といふ長所と撃沈されるといふ短所がある、だからこの二つを巧妙に活用するところに苦心があるわけだ。日米共この使ひ分けに必死になつてゐる、それは日本が何故後退するのか、飛行機が足りないからだ、南方の島が今日まで相當敵に奪はれて

望の兵器である航空機と並んで五大重點産業中でも一つの製品工業として特に採上げられたのである、鐵鋼資源が十分でなく又一刻も早く輸送力を増強しなければならぬ現在、短期達成が出来る木船の建造が如何に重要であるかは昨年長くも木船建造に對して御下賜の木材を賜つた事に依つても、戰時行政職權特別に依る内閣總理大臣の指示が先づ第一番も十分に判斷出来る。然し乍ら遺憾も十分には熱意が十分であつて資材、勞務の方面、なかにぐく資材が旨くゆきわたらなかつた爲に、現在の昭和十八年度初にたてた豫定通りの成績には達して居らぬ、然しこのままに昭和十八年度を終る事は出来ないう今回二月一日から三月卅一日迄を特に「木船非常増産及修繕強化期間」と定めて大々的な運動を行ふこととなつた。この際先づ工場の皆様方に申しあげるが、船を早く造れといふ事になつても決して粗製濫造といふ事のない様に特別にお願ひしたい。諸君のほんの一つの怠慢や不注意が數十人の生命と貴重なる資源をあたらし海底の藻屑と化してしまふ結果になるといふ事をよくよくお考になつて頂きたい。

次に各種の資材に付ては恐らく従來よりは遙かに十分にお手許に行くが、この資材は決して樂々と諸君の處に入つて來ただけでなく、他の用途に向けてあつたものを特にそちらを犠牲にして此方に廻すのであるから、いやしくも十分にあるからといつて決して無駄にする様な事のないやうにやつて頂きたい。第三に修繕

高橋三吉大將は二月廿三日日鐵九州作業場に於て講演を行ひ、海上作戦の特質と必勝の信念に就て述べ、決戦下産業戦士の奮起を強調した。講演概要は次の通り。

國民の中には獨守戰の一進一退に對する批判と同じ眼で南方の戦局を考へる者があるやうだが、それは海上作戦に陸上作戦の相違を知らない者だ。海は戦ひは陸と全く違つた性質を持つてゐることを忘れてはならない、日露戰爭の場合を考へた時、狭い朝鮮海峽で僅か二日間に行はれた海戦の結果はどうだつたか、狭い海峽を占領したのではない、海上權を奪つてしまつたのではない、ここに海上作戦を繞る根本的特質があるのだ、今日の戦ひは航空機の特異な發達により海戦の方法に大革命をもたらした、海上權を奪ふ主力が主力艦ではなく航空兵力に移つて來た譯だ、「一機でも多く」といふ聲はここから起つてゐる、南方には島が多い、航空基地としての島は沈まさない、長所と、機動性が無いといふ短所があるが、航空母艦は機動性といふ長所と撃沈されるといふ短所がある、だからこの二つを巧妙に活用するところに苦心があるわけだ。日米共この使ひ分けに必死になつてゐる、それは日本が何故後退するのか、飛行機が足りないからだ、南方の島が今日まで相當敵に奪はれて

望の兵器である航空機と並んで五大重點産業中でも一つの製品工業として特に採上げられたのである、鐵鋼資源が十分でなく又一刻も早く輸送力を増強しなければならぬ現在、短期達成が出来る木船の建造が如何に重要であるかは昨年長くも木船建造に對して御下賜の木材を賜つた事に依つても、戰時行政職權特別に依る内閣總理大臣の指示が先づ第一番も十分に判斷出来る。然し乍ら遺憾も十分には熱意が十分であつて資材、勞務の方面、なかにぐく資材が旨くゆきわたらなかつた爲に、現在の昭和十八年度初にたてた豫定通りの成績には達して居らぬ、然しこのままに昭和十八年度を終る事は出来ないう今回二月一日から三月卅一日迄を特に「木船非常増産及修繕強化期間」と定めて大々的な運動を行ふこととなつた。この際先づ工場の皆様方に申しあげるが、船を早く造れといふ事になつても決して粗製濫造といふ事のない様に特別にお願ひしたい。諸君のほんの一つの怠慢や不注意が數十人の生命と貴重なる資源をあたらし海底の藻屑と化してしまふ結果になるといふ事をよくよくお考になつて頂きたい。

次に各種の資材に付ては恐らく従來よりは遙かに十分にお手許に行くが、この資材は決して樂々と諸君の處に入つて來ただけでなく、他の用途に向けてあつたものを特にそちらを犠牲にして此方に廻すのであるから、いやしくも十分にあるからといつて決して無駄にする様な事のないやうにやつて頂きたい。第三に修繕

高橋三吉大將は二月廿三日日鐵九州作業場に於て講演を行ひ、海上作戦の特質と必勝の信念に就て述べ、決戦下産業戦士の奮起を強調した。講演概要は次の通り。

國民の中には獨守戰の一進一退に對する批判と同じ眼で南方の戦局を考へる者があるやうだが、それは海上作戦に陸上作戦の相違を知らない者だ。海は戦ひは陸と全く違つた性質を持つてゐることを忘れてはならない、日露戰爭の場合を考へた時、狭い朝鮮海峽で僅か二日間に行はれた海戦の結果はどうだつたか、狭い海峽を占領したのではない、海上權を奪つてしまつたのではない、ここに海上作戦を繞る根本的特質があるのだ、今日の戦ひは航空機の特異な發達により海戦の方法に大革命をもたらした、海上權を奪ふ主力が主力艦ではなく航空兵力に移つて來た譯だ、「一機でも多く」といふ聲はここから起つてゐる、南方には島が多い、航空基地としての島は沈まさない、長所と、機動性が無いといふ短所があるが、航空母艦は機動性といふ長所と撃沈されるといふ短所がある、だからこの二つを巧妙に活用するところに苦心があるわけだ。日米共この使ひ分けに必死になつてゐる、それは日本が何故後退するのか、飛行機が足りないからだ、南方の島が今日まで相當敵に奪はれて

# 時事文獻彙報

凡 一、太字は單行本  
 一、配列は論題・筆者名・雜誌(發行所)名・發行日の順・單に二とあるは二月號  
 一、昭和十九年一月廿六日より十九年二月二十五日迄  
 刊行のもの  
 例 一、昭和十九年一月廿六日より十九年二月二十五日迄

## 總記

テマ	本多喜久夫	愛亞書房
北海道年鑑	北海道新聞社編	同社
同盟時事年鑑	同盟通信社編	同社
國內及大東亞の指導	三宅雄二郎	言論報國社
世界の現實とその修理	白鳥對花見	盟邦評論
言論界に與ふ	德富對鹿子	言論報國社
思想戦と自由主義	野間海造	言論報國社
日本主義の實踐的性格	紀平正美	言論報國社
大東亞思想戦の意義と目標	滿田巖	言論報國社
皇室	池田源治	鱒書房
東久瀨司令官官	池田源治	鱒書房

## 政治・外交(法律)

戰時の政治と公法	中野登美雄	東洋經濟新報社
商工組合法講話	清水兼男	栗田書店
決戦下の司法行政	稻川宮雄	有斐閣
國土計畫の理論	日下藤吾	秀文閣
憲法日本憲法	杉村章三郎	大鷗社
大東亞共同宣言	情報記者會	新紀元社
國民組織と國民運動	田畑嚴總	新文書院
戰時生活の法律と判例	齋藤秀夫	河出書房
戰時内閣各省機構便覽	三輪勝彦編	河出書房
行政の現實の把握	長濱政壽	河出書房
神國體制確立への政治的使命	米村格夫	時局日本
新史道論	竹村幸雄	時局日本
地政學と所謂其築園	中原平學	時局日本
疎開と不燃都市の建設	田邊徹	時局日本
農工地帯の調整	松本治彦	時局日本

## 財政・經濟

日本國防圈	野副重次	國土計畫
北九州計畫上の諸問題	赤岩勝美	國土計畫
大東亞宣言の眞義(鼎談)	齋藤忠孝	國土計畫
大東亞宣言(特輯)	內藤智秀	國土計畫
大東亞會議の世界的意義	井口貞夫	外交評論
日華結合の本質問題	山崎清純	中央公論
總動員體制の私法的側面	林信雄	財政
戰時國際法上再檢討	信夫淳平	外交雜誌
國民所得とその分布	日本統計學會編	日本評論社
組合經濟と配給經濟	菊澤謙三	嚴松堂書店
戰争經濟講話	矢部利茂	朝日新聞社
物價手帖	今村昇	鱒書房
戰時經濟の動向	中山伊知郎	大理事書房
原價計算の運用	今井忍	伊藤書店
經濟及經濟學の再出發	神戸商大新聞部	日本評論社
戰時石炭經濟構造論	石炭經濟調査會	長門屋書房
戰時下專賣事業の動向	濱田幸雄	財政
國民貯蓄の體系	小島昌太郎	財政
日本經濟の創造的性格	岡本廣作	國民評論
國民經濟學の方法	橋本八男	財政
經濟學研究の新方向	堀經夫	財政
軍需會社と國體の護持	西谷彌兵衛	財政
國體と資本主義	難波田春夫	現代
皇道經濟を現地に聽く(座談會)	湯川茂雄他	言論報國社
構造の論理より觀たる營團	杉村廣藏	統制經濟
航空機増産の技術と經濟(特輯)	菊池甫平他	右
航空戦と經濟構造	沖中恒幸	科學主義工業
現下の電力問題と電力増	小澤輝他	國策研究
強消費規正對策(座談會)	國策研究會	國策研究
今戰時經濟の特質	大東洋經濟	國策研究

## 産業・勞務

女子勤勞	桐原葆見	東洋書館
決戦下の技術と生産	立川聖	實業の日本社
造船所	田部春重	文明社
皇國勤勞觀と産業報國運動	町田辰次郎	昭和刊行會
産業運營形態論	竹中龍雄	經濟學雜誌
空機生産態勢の根本問題	難波田春夫	創
航空機生産方式の革新(量)	吉城肇	科學主義工業
の生産に對する頭の切替へ	肇	科學主義工業

## 交通・通信

企業整備の最近施策	橋口義男	經濟每日
素材工業の特殊性と生産隘路	右	社會政策時報
多量生産と航空機工業の現状	右	同
資材勞務の節約と科學技術	大河内正敏	科學主義工業
朝鮮工業の再認識	山本登	國際經濟研究
勞務抽出力への一試算	大東洋經濟	國際經濟研究
農業地域の課題	太田謙吉	國土計畫
國民徵用の現状と今後	秋田實他	國土計畫
後の諸課題(座談會)	荒川卓治郎他	時局日本
皇國勤勞觀の確立	難波田春夫	時局日本
戰時生産動員の根本問題	田村民平	科學主義工業
徵用制度の基礎と運用	本位田祥男	右
多量生産と勤勞統制問題	河野密	右
勞務管理機構に就て	後藤清	社會政策時報
炭礦に於ける當面の勞務事情	大塚好	右
勤勞の科學性と教育	小野哲四郎	社會政策時報
日本勤勞觀の立場	暉峻義等	理想
成層圈飛行	下程勇吉	同
日本の鐵道	中飯塚正夫	借成社
日本の木船	立川信二	鶴書房
通關問題とその解決方策	堀口春重	院成光館
空間の配分より時間配分へ	堀口大八	國土計畫
海運の決戦態勢(彼我)	秋本久治	創
海運政策實施態の檢討	秋本久治	創

## 軍事

日本選兵史	飯島茂	開發社
水軍の傳統	松波治郎	彰文館
陸海軍少兵志願者讀本	鈴木英夫	希望の窓社
毒ガス彈燒夷彈	堀口博	松山房
戒嚴令詳論	三浦惠一	龍山房
雷撃機	松永壽雄	東水社
防空總論	館林三喜男	河出書房
防空消防	竹内武	東亞出版社
大本營	小笠原長生	東水社
陸軍を語る(座談會)	尾佐竹猛他	日本評論
日露戰爭の意義	中井良太郎	文藝春秋



四十年戦争—秘開日露役— 櫻井 忠温 改 造

文化・社会  
日本人口論の史的研究所 吉田 秀夫 河出書房  
日本家族制度と小作制度 有賀喜左衛門 河出書房  
民族學研究(第一輯) 林春雄 朝倉書店  
大都市町内會に關する調査 東京市政 同 會  
調査會

人口學研究 青森 和雄 徹文館  
本邦死産率に關する統計的研究 金子 章 人口問題研究  
決戦下食生活への反省 杉 靖三郎 現代  
決戦生活論—決戦生活における實際問題— 蛭川 虎三 改造  
決戦下の共同炊事 森川 規矩 科學主義工業  
戦争經濟と配給 柳川 昇 經濟學論叢  
指導原理としての日本文化 齊藤 响 言論報國  
戦争遂行の主體 穂積 七郎 中央公論  
經濟主義の克服 戸田 貞三 日本諸學  
家風 大串免代夫 日本評論  
綜合雜誌論 野村 重臣 讀書人  
出版事業整備と綜合雜誌批判 二二

歴史・傳記(地理)  
薩田幽谷の思想 塚本 勝義 昭和圖書  
E. H. Parker 關 丙台譯 大和書店  
薩祖一千年史 關 丙台譯 大和書店  
自然科學觀察と研究叢書 本田正次編 山雅房  
(二)日本列島篇

國史辭典(四) 富山房編 富山房  
勅撰六國史大觀 三浦 藤作 中興館  
元帥山本五十六(上、正傳) 山岡 莊八 潮文閣  
大日本雄 澤會講談社  
奇兵隊史録 平尾 道雄 河出書房  
日本文化の發達 魚澄惣五郎 一元社  
民族學新論 鈴木 憲久 柳原書店  
譯文大日本(三) 山路彌吉譯 春秋社  
後藤 新平 傳 鶴見 祐輔 太平洋協會  
(國務大臣時代前期下) 出版部  
陸羯南 野村 義太郎 昭和刊行會  
五人組帳の研究 吉田 兼太郎 有斐閣  
日露交渉史話 平岡 雅英 筑摩書房  
日本の國家建設 ハウスホーファー 龍吟社  
梅澤新二譯  
回教海軍史 岡島誠太郎 天理時報社  
指導者としての橋本景岳先生 平 泉 澄 言論報國

本居宣長の國學思想 藤田徳太郎 言論報國  
尊攘維新と西郷隆盛 津久井重雄 同  
愛國百人一首年表 日本文學報國會編 協榮出版社  
標準インドネシア語會話 ハツヂ・イスマ 玄萬堂書院  
イル・ナチール  
日交馬英日用語字典 葉松 栢編 文求堂書店  
水産の化學 大谷 武夫 河出書房  
血液記 林 範治 力書房  
世界哲學 小尾 宗壽 櫻井書店  
國哲學概論 入澤 秀俊 地人書館  
天氣分析(上卷) 荒川 北野大吉編 三省堂  
東亞同文書院學術研究年報 笠井 鎮夫 日本評論社  
タガログ語語彙 近藤壽治他 知性  
學問と鍊成(座談會) 田中 忠雄 日本諸學  
大東亞建設と諸學の在り方(特 輯) 右 同  
文化史觀を正す 田中 忠雄 讀書人

世界大戰  
ヨーロッパ要塞戰 ヨーロッパ要塞戰 上野浩一郎 歐亞通信社  
獨ノ戰爭史 赤神 良讓 國際反共聯盟  
ノ波紛争の経緯 同 國策研究會  
反樞軸軍機構圖 同 同盟世界週報  
現大戰の本源檢討 鈴木 憲久 外交時報  
對獨爆撃と米英の戦法 濱田常二良 右 同  
獨ノ夏季作戦の特色 グランダム 協會々報

大東亞戰爭  
コレヒドール最後の日 ウノ・カズマロ 成徳書院  
山崎軍神部隊 柴田 望月譯 朝日新聞社  
軍神山崎部隊 山本地榮編 毎日新聞社  
皇戰の指導性 相馬 基編 言論報國  
大東亞戰爭の本質 橋 孝三郎 言論報國  
敵米、英の戦争目的を衝く 野村 重臣 言論報國  
島嶼爭奪戰(特 輯) 報 道  
米英將對日總攻勢の解剖(特 輯) 同盟世界週報  
戰亂下の世界金融情勢 金融研究會譯 慶應出版社  
世界政治年報(第一輯) 日本政治研究室編 昭和刊行會  
兩洋事情研究會々報(二九) 兩洋事情 同 會  
交戰國人的資源動員的發展(特 輯) 研究會 同 會  
敵米英の科學技術動員 後藤 正夫 同盟世界週報  
國策研究會 二二

現代戰と統計 川島 孝彦 月報ロシヤ  
總力戰の經濟學 A. A. マグナス 協會々報  
アジヤ周邊民族史 竹尾 式 今日の問題社  
大東亞結集各域國民運動鳥瞰(特 輯) 同 會  
共榮各國の財政を見る(特 輯) 同 會  
大陸經金屬智産(座談會) 内野正夫他 大陸東洋經濟  
日滿青年少運 木村禧八郎他 (座談會) 興 亞  
動の現狀と將來 同 會  
東亞の經濟動脈(特輯) 同 會  
漢民族の發展的方向 同 會  
途と日本の地位 同 會

滿洲・人と生活 山本 惣治 ダイヤモ  
康徳十一年度の滿洲國豫算 日笠芳太郎 外交時報  
穀倉滿洲の躍進 同 會  
支那・蒙古 中國法制調查會編 大同印書館  
秘境雲南 山縣 初男 中文館  
支那の姓氏と家族制度 西山 榮久 六興出版部  
廣東十三行考 梁 嘉 彬 日光書院  
大東亞戰爭第二年に於ける中國 經濟月報  
經濟的動態—上海を中心として— 同 會  
國策諸國社上期事業及 同 會  
び調整—中國に於ける— 同 會  
支那言論界の現況 大星 石松 經濟月報  
國民政府と李士群の死 志賀 重義 經濟月報  
參戰國府の經濟政策 同 會  
その基本的動向— 同 會  
決戦下の中國財政經濟問題 福田 越夫 新東亞經濟  
中支の物價昂騰と其對策 關口 猛夫 同 會  
現地視察報告 木村禧八郎 國際研究會  
世界的分裂下の蒙古の 遠藤 一郎 蒙 古  
國際環境と民族運動 菊池 杜夫 右 同  
蒙としての喇嘛廟—その特 質としての集團概要— 同 會  
外蒙踏査記(下) ハスルンド 協會々報  
重慶の政治建設 草野 文男 東亞文化園  
中共ものがたり 同 會

南洋年鑑(第四版) 臺灣總督府 南方實業館  
南方商學 南種 康博 地人書館

南洋年鑑(第四版) 臺灣總督府 南方實業館  
南方商學 南種 康博 地人書館

華僑本質論..... 吳至惠 千倉書房

大南洋地名辭典(四)泰國佛印..... 南洋經濟研究會編 株式會社

南方交通論..... 島田孝一 南洋經濟研究

南方に於ける邦人教育の諸問題..... 伊藤 典典 南洋經濟研究

南方に於ける土着人教育の諸問題..... 神保光太郎 右 同

インド概観..... 東亞經濟調查局 同 局

印度洋..... 柴田 賢一 新亞細亞

インドウ教の本質..... A・ユヌフ・アリ 綜合インド

インドの對英負債償還とその戰時財政的意義..... 矢口孝次郎 國際經濟研究

「印度の富の流出」に關する當定論..... 矢口孝次郎 國際經濟研究

インド労働者の問題..... M・リード 新亞細亞

ベンガルの地政概観..... N・クレブス 右 同

印度問題に於けるベンガル地方の重要性..... 伊東 敬 右 同

印度は搖ぐ(特輯)..... 報 道 同

印度の農業と戰爭..... グリグウィッチ 國際文化

大緬甸誌(下卷)..... 緬甸研究會編 三省堂

ビブン政權のその人的構成..... (座談會) 經濟毎日

日泰經濟提携を語る..... 森 徳久 創 造

泰國の農業經濟——米穀を中心としての踏査——..... 松田 延一 朝倉書店

佛印農業論..... スクリヴナー 中興館

マライ地下資源..... 國松 久彌譯 中興館

馬來半島橫斷運河..... 渡邊源一郎 新亞細亞

マライ軍政下の重要課題..... 後藤 友治 明 文 堂

米・甘蔗(比律賓農業)..... 鈴木 忠一 地 政 學

獨立比律賓の民族問題..... 山本 忠一 同 進 社

スマトラ..... 南方産業調查會編 南洋協會編

東インド労働政策史..... 南洋協會編 興 亞 社

ジャワ民衆指導の現況..... 瀨田 省三 電 氣 書 房

新西蘭の現勢..... 瀨田 省三 電 氣 書 房

瀾洲經濟史研究..... 市川泰治郎 象 山 閣

ニユウ・ギニア學術探検..... (座談會) 放 送

南阿聯邦に於ける土人問題..... 吉田 賢吉 國際經濟研究

戰時獨乙の警察..... シュビールハーゲン 文松堂書店

獨乙の國防教育..... フアルゲンハイン 光 畫 莊

ドイツ最高統帥論..... 小笠原 稔譯 新 正 堂

ドイツ經濟戰線の展望..... 近藤 春雄 同盟世界週報

獨逸の思想戰と文化動員..... 佐竹 金次 現 代

獨逸の前途と獨逸の工業力..... 佐竹 金次 同盟世界週報

ソ聯最高會議と二重要議題..... 三木 邦雄 月刊ロシヤ

ソ聯の戰時政策と豫算..... 三木 邦雄 月刊ロシヤ

ソ聯の科學政策..... 三木 邦雄 月刊ロシヤ

科學アカデミー新正會員..... 八杉 龍一 右 同

露西亞科學發達史..... 八杉 龍一 右 同

露西亞地方分權制と對米英政治攻勢..... 園部 四郎 右 同

東一ソ—黒龍江流域の工場工業地域に就いて..... 鹿島 千早 地 理 學

ソ聯極東の産業事情..... サマリンツァン 協 會 々 報

イギリス植民地經濟論(二)..... L.C. A・ノールス 栗 田 書 店

イギリス戰費の實態..... キートン 正二譯 栗 田 書 店

英國の石炭問題——減産の諸原因と國家管理——..... 川喜田孝哉譯 國際書房

危局迫るスペイン..... ドイツ外交通信 協 會 々 報

北 米..... 池上 博 人 文 閣

米國對比政策史..... 恒川 眞 高 山 書 院

米國經濟戰力の再檢討..... (特 輯) 經濟毎日

アメリカの鐵鋼業..... 嘉治 眞三 經濟學雜誌

「ニユー・デイル」外政々策——その經濟思想的背景——..... 都留 重人 外 交 評 論

アメリカ生産力の諸問題..... 寺西 五郎 統 制 經 濟

カナダの戰時經濟..... ラルスキ 協 會 々 報

亞國を繞る米洲情勢檢討會記錄公表..... 細川隆元他 協 會 々 報

世界最惡の旅..... チュリエイカラード 明 文 堂

兩極地方..... 加納 一郎譯 明 文 堂

編輯後記

○三月六日、勤人の退け時の街頭を、月報子も亦新橋驛に急ぐ。何時もと同じやうな歸るまでにはあつたが、何かなしに薄ら寒いといふか、淋しいといふか、物足らぬ感じの湧いて来るのを抑へることが出来なかつた。さうだ今日から夕刊がなくなつたのだ。歸路夕刊を買ふことなど殆どない私ではあつたが、夕刊スタンドのない街頭風景は、矢張り物足らないのである。

昭和九年三月五日印刷本 昭和九年三月五日發行 行 (定價)圓半錢 送料等 特別寄附捐 九錢 合計發價 圓五十九錢 内地一ヶ年分(税込) 前金十九圓(八錢) (送料三六錢) 編輯發行 杉田才一 兼印刷人 杉田才一 東京都芝區清洲町ノ士 印刷所 關東印刷株式會社 (東京一〇八) 東京都麹町區日比谷公園 發行所 同人會社 同人會社 (日本出版會) 會員會(三〇〇〇人) (日本出版會) (編輯部) 編輯部 編輯部 東京都神田區幸町二ノ三 營業所 同人會社通信出版部 電話(總機)57(2)一五番 振替東京六〇三番 東京都神田區區役所前 印刷日本出版配給株式會社

斷大減紙 斷行が傳 えられた 當時抱い た悲壯感 は、微塵 も浮んで 來ないの である。 僅か一年 の違ひで はあるが 月報子も 成長した かなと思 った。 ○それに 夕刊廢止 といふ今 日的情勢 下に本誌 の責任は いよいよ 重大とな った。

濠洲政府編 西村勝比古譯

# ニューギニヤ研究

弘報二十六號  
A五判 五八四頁  
定価 七圓五十錢  
送料 五圓十錢

本書は濠洲政府の手になれる最も信すべきもので、ニューギニヤの中、委任統治領即ちパプアの南部・ピスマルク及びソロモン群島其他大小六百有餘の島々についての調査研究を紹介したもので、その内容は、ニューギニヤの歴史・地質・氣候風土・資源・政治及經濟・宗教・各種貴重な統計・年表・地圖・寫眞等豊富に收載されてゐる。

# 現代のトルコ

Gパーカー、Eスミス共著 安井太郎譯 弘報二十六號  
B六判 四〇〇頁  
定価 三圓二〇錢  
送料 三圓

本書は英國下院代議士たる著者が、前大戰後トルコを視察し直接得たる諸印象を基礎にあらゆる資料を検討し、客觀的立場に於て著されたものである。現代國家トルコの總ゆる部門を具に検討したる本書は一九一四年出版といふ内容の斬新さと相俟つて斷然類書を抜いてゐる。國際關係の微妙なる折世界注視の的たる現代トルコの全貌を知る最適の入門書といへよう。

東京都小石川區水道端二ノ十社  
文 明 社  
振 替 東京 一七〇一六番

録目録  
圖書目録

野 依 秀 市 著

# 米本土空襲

増刷 出來

(價一・〇〇)

太平洋に死闘續く秋、著者は敵米を降服せしむるには米本土空襲の他なしと強唱絶叫す。

渡邊 武史 著

# アツツの芳魂

二六〇頁 價一・八〇

苛烈な大東亞戰爭下の國民に與へるアツツ魂こそ日本精神の糧。

野 依 秀 市 著

# 日本人戦力論

四〇〇頁 價三・〇〇

決戦下日本國家の底力を検討し、士氣の昂揚と生産増強の實現に拍車を加へんとす。

房 書 閣 文 秀 ・ 都 京 東

# 同盟通信

## 海外電眞版

毎一回・八一〇頁  
B五判・九ボ組  
購讀料年二〇〇圓

同盟独自の世界通信網を通じて蒐集される日数萬語の世界情報を壓縮編輯せるものにして、新聞の掲載せられざる海外電報は擧げてこの版に蒐録。世界情勢に關心を有つ人士にとつて必讀の重要資料。

## 附録 世界各國政府人名録

每回約三十餘頁・第四回 英國篇(下) 三月發行

## 東亞電報版

毎一回・八頁  
B五判・九ボ組  
購讀料年二〇〇圓

大東亞諸地域に日日生起する政治、經濟、軍事、文化その他全ニユースの集大成版。東亞新秩序の歩みは本通信版を通じてのみ正確且つ迅速に把握し得る。

## 附録 大東亞各國主要人名録

每回約二十餘頁・第一回 一月中旬發行

社 信 通 盟 同 團 法

# 告報線前ルウパ

日十三月三  
開公系紅

## 今日も明日も

空を掩ふて來襲する敵機！  
だがラパウルは陥ちない！  
なぜか？

生々しい現地報告が、この謎に答へる



社 画 映 本 日 人 法 國 社 作 製 日 央 日

昭和十二年七月廿三日第三種郵便物認可

發行所 東京都麹町區日比谷公園

# 貯蓄 銃後 彈丸 !!

東京日比谷

## 第一生命保險相互會社



本劑はエスト  
テル型合成  
女性ホルモ  
ン劑にして  
作用の持續  
性と安全性  
の確保を期  
した新製劑  
である。

生理障害：下腹痛、腰痛、下

腹部緊満感、頭暈、頭痛、生  
理不順、生過過多・寡少

更年期障害：頭痛、逆上、眩暈

耳鳴、肩凝、四肢冷感、疲勞  
倦怠

一錠中含有量 五〇ガンマ

★一〇〇錠 三〇〇錠

武田製薬品

# オースアル錠

製法特許

製造發賣元 武田藥品工業株式會社 大阪道修町

武田製薬品 總代理 東京日比谷公園 電話 三五八〇〇番 賣價一圓五十九錢(稅込)